

令和5年度地域観光資源の中国語解説整備支援事業 実施地域一覧

地域番号	カテゴリ	都道府県	地域協議会名	英語解説文作成年度	英語事例集対応番号
014	観光 (11地域)	北海道	函館市	令和元年度	001
015		北海道	札幌市	令和2年度	026
016		岩手県	雫石町観光戦略推進会議	令和3年度	024
017		福島県	会津若松市食と農の景勝地推進協議会	令和4年度	014
018		秋田県	男鹿版DMOインバウンド推進委員会	令和元年度	037
019		石川県	一般社団法人 能登半島広域観光協会	令和4年度	016
020		京都府	平安神宮	令和元年度	056
021		京都府	一般社団法人南丹市美山観光まちづくり協会	令和4年度	019
022		滋賀県	一般社団法人近江八幡観光物産協会	令和4年度	017
023		福岡県	太宰府市日本遺産活性化協議会	令和元年度	031
024		長崎県	「国境の島」多言語解説協議会	令和4年度	021

地域番号	014	協議会名	函館市
------	-----	------	-----

解説文一覧

NO.	スポット名 (タイトル)	中国語文字数	想定媒体
014-035	函館ハリストス正教会復活聖堂	490	パンフレット

【タイトル】 函館ハリストス正教会復活聖堂

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

函館圣复活东正教教堂

函館聖復活東正教教堂始建於 1860 年，當時是俄國駐函館領事館的附屬教堂。它是日本首座東正教教堂，也是東正教教堂最具代表價值的建築。1861 年，俄羅斯的東正教神父伊萬·德米特里耶維奇·卡薩特金（Kasatkin, Ivan Dmitrievich, 1836-1912；又稱日本的聖尼古拉）被派駐來此。1868 年，最初的三位日本人在這裡接受洗禮入教。1872 年，卡薩特金移居東京，並繼續在日本各地傳教，後來又籌集資金在東京建造了日本東正教的主教堂——聖復活大教堂（尼古拉堂）。

最初的教堂是一座木結構建築，1907 年毀於一場大火。如今這座「聖復活教堂」是第二代，重建於 1916 年。磚造、白灰泥牆、綠銅屋頂和八角鐘樓，都體現了非常典型的俄國拜占庭式風格。六口大鐘的鐘聲獨特而美妙，被日本環境省列入「日本聲音百選」。

教堂內最引人注意的是「聖障」，這是一面佈滿了精美聖像浮雕的木牆。木牆中央就是被稱為「聖門」的入口，聖門上方是諸多俄國的聖像，包括耶穌、天使加百列、聖母瑪利亞、四位傳福音者，以及最後的晚餐。教堂內部還裝飾著日本唯一的東正教聖像女畫家山下りん(Yamashita Rin, 1857-1939)的 12 幅畫作。聖障和教堂於 1983 年被指定為國家重要文化財產。如今，這座教堂仍吸引著日本和世界各地的眾多信徒及遊客紛至沓來。

<繁体字>

函館聖復活東正教教堂

函館聖復活東正教教堂初建於 1860 年，當時是俄羅斯駐函館領事館的附屬教堂。它是日本首座東正教教堂，也是東正教教堂最具代表價值的建築。1861 年，俄羅斯的東正教神父伊萬·德米特里耶維奇·卡薩特金（Kasatkin, Ivan Dmitrievich, 1836-1912；又稱日本聖尼古拉）被派駐此地。1868 年，最初的三位日本人在這裡接受洗禮入教。1872 年，卡薩特金移居東京，並繼續在日本各地傳教，後來又籌集資金在東京建造了日本東正教的主教堂——聖復活大教堂（尼古拉堂）。

最初的教堂是一座木結構建築，1907 年不幸遭到祝融之災。現在這座「聖復活教堂」是第二代，重建於 1916 年。磚造、白灰泥牆、綠銅屋頂和八角鐘樓，都展現了典型俄羅斯拜占庭式風格。六口大鐘的鐘聲獨特而美妙，被日本環境省列入「日本聲音百選」。

教堂内最引人注意的是「聖障」，這是一面布滿了精美聖像浮雕的木牆。木牆中央是被稱為「聖門」的入口，聖門上方有許多俄羅斯聖像，包括耶穌、天使加百列、聖母瑪利亞、四位傳福音者，以及最後的晚餐。教堂內部還掛著日本唯一的東正教聖像女畫家山下りん（Yamashita Rin, 1857-1939）的 12 幅畫作作為裝飾。聖障和教堂於 1983 年被指定為國家重要文化財產。如今，這座教堂仍吸引著大量信徒和遊客從日本和世界各地的前來朝聖。

<日本語仮訳>

函館ハリストス正教会・主の復活聖堂

函館ハリストス正教会は 1860 年、函館のロシア領事館の付属聖堂として建立されたのが始まりです。函館ハリストス正教会は日本最初の東方正教会であり、正教会聖堂の代表的建築として、その価値は極めて高い。1861 年に、ロシア正教会修道士で日本の聖ニコライとしても知られる、イヴァーン・ドミートリエヴィチ・カサートキン（Kasatkin, Ivan Dmitrievich, 1836-1912、日本のニコライとも呼ばれている）が函館に派遣されました。そして 1868 年に、最初の 3 人の日本人が洗礼を受けました。1872 年に、カサートキンは東京に移り、日本全国で正教会の伝道を始め、その後、日本正教会の主教座大聖堂である「ニコライ堂」の建立資金を集めました。

木造であった初代聖堂は 1907 年に大火で焼失しましたが、1916 年に二代目となる現聖堂（主の復活聖堂）が再建されました。ビザンティン建築を象徴するこの聖堂は、レンガ造に真白な漆喰壁や緑青がふいた屋根、八角形の鐘楼などが特徴です。6 つの鐘が奏でる独特の音は、日本環境省に「日本の音百選」に選ばれています。

聖堂内で目を引くのは、聖なる扉としても知られる入口を囲む精巧な彫刻が施されたイコン（聖像）で覆われた木造の壁、イコノスタス（聖障）。扉の上には、ロシアの聖人たちのイコン、イエス、天使ガブリエル、聖母マリア、4 人の福音宣教者、そして最後の晚餐が並びます。正教のイコンを描く日本で唯一の女性画家、山下りん（1857-1939）による 12 枚のイコン画も注目です。イコノスタスと聖堂は、1983 年に国の重要文化財に指定されました。函館正教会は今なお、日本、そして世界各地から数多くの礼拝者や訪問者を集めています。

地域番号	015	協議会名	札幌市
------	-----	------	-----

解説文一覧

NO.	スポット名 (タイトル)	中国語文字数	想定媒体
015-001	さっぽろ雪まつり - 雪まつりとは	540	WEB
015-002	さっぽろ雪まつり - 雪まつりの歴史	940	WEB
015-003	さっぽろ雪まつり - 雪まつりの歴史	970	パンフレット
015-004	さっぽろ雪まつり - 大通会場の内容	820	WEB
015-005	さっぽろ雪まつり - 大通会場の内容	820	パンフレット
015-006	さっぽろ雪まつり - 大雪像の制作方法	430	WEB
015-007	さっぽろ雪まつり - 大雪像の制作方法	420	パンフレット
015-008	さっぽろ雪まつり - プロジェクションマッピング	310	WEB
015-009	さっぽろ雪まつり - 市民雪像	295	WEB
015-010	さっぽろ雪まつり - 国際雪像コンクール	490	WEB
015-011	さっぽろ雪まつり - スキー・スノーボードのジャンプ	285	WEB
015-012	さっぽろ雪まつり - つどいむ会場の内容 (屋外)	790	WEB
015-013	さっぽろ雪まつり - つどいむ会場の内容 (屋外)	810	パンフレット
015-014	さっぽろ雪まつり - つどいむ会場の内容 (屋内)	465	WEB
015-015	さっぽろ雪まつり - つどいむ会場の内容 (屋内)	465	パンフレット
015-016	さっぽろ雪まつり - 市民を巻き込んだ取り組み (スノーオブジェコンテスト、地元住民手作りのウェルカム雪像)	350	WEB
015-017	さっぽろ雪まつり - すずきの会場があるすずきとは	525	WEB
015-018	さっぽろ雪まつり - すずきの会場があるすずきとは	530	パンフレット
015-019	さっぽろ雪まつり - 氷像の制作方法やすずきの会場の内容	375	WEB
015-020	さっぽろ雪まつり - 福祉ボランティアハウスの取り組みについて	470	WEB
015-021	さっぽろ夏まつり - 夏まつりの歴史	530	WEB
015-022	さっぽろ夏まつり - 福祉協賛ビアガーデン	525	WEB
015-023	さっぽろ夏まつり - 北海盆踊り	430	WEB
015-024	さっぽろ夏まつり - すずきの祭り	510	WEB
015-025	さっぽろオータムフェスト - 開催コンセプト	500	WEB
015-026	さっぽろオータムフェスト - 開催内容	810	WEB
015-027	さっぽろオータムフェスト - 食の安全安心の取組	420	WEB

【タイトル】 さっぽろ雪まつり - 雪まつりとは

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

札幌冰雪节

札幌冰雪节是每年二月举办的冰雪盛典，为期一周。庆祝活动会在札幌及周边地区举行，共设有三个会场。札幌是北海道（日本主岛中最北的岛屿）的首府和最大的城市，也是世界上降雪量最多的城市之一。这里的年平均降雪量为 485 厘米，积雪厚度通常可达到 80 至 90 厘米。

三个会场各有不同的侧重点和特色。在札幌市中心的大通公园，到处是精美的雪雕，覆盖了所有 12 个街区。在大通公园附近的餐饮娱乐街区薄野，主打为冰雕展和夜间灯光秀。约 10 公里外的 TSUDOME 会场则是一座冰雪公园，举办丰富多彩的室内和室外活动。

每年的冰雪节都会根据不同的主题展出多座大型雪雕，其中包括以雪雕重现著名建筑物，大小几乎与实物相同。有些雪雕需要搭脚手架，还需要搬运以卡车计的雪量才能制作出来。此外，会场内还会展出札幌市民和国际团队手工制作的多座中型和大量小型雪雕。札幌冰雪节的独特之处在于通过社区集体制作雪雕来赞颂文化表达与情感联系，并利用科技来打造更美好的体验。

一位帮助发起冰雪节的札幌教师曾这样教导自己的学生：要把充沛的降雪当作自己欢迎的朋友，而不是敌人或讨厌的人，这样才能创造快乐和可能性。札幌社区接受了这一观点，将最初只有少量雪雕和打雪仗活动的节日打造成了闻名世界的盛会，每年吸引数百万游客前来游玩观光。

<繁体字>

札幌雪祭

札幌雪祭是在每年二月舉辦、為期一週的冰雪盛典，慶祝活動在札幌及周邊地區舉行，共設有三個會場。札幌是北海道（日本主島中最北的島嶼）的首府和最大城市，也是

世界上降雪量最多的城市之一，這裡的年平均降雪量為 485 公分，積雪厚度通常可達 80 至 90 公分。

札幌雪祭的三個會場各有不同的側重點和特色。札幌市中心的大通公園各處都是精美雪雕，範圍橫跨超過 12 個街區。在大通公園附近的薄野一帶，餐廳與娛樂場所林立，主打冰雕和夜間燈光秀。約 10 公里外的 TSUDOME 會場則是一座冰雪公園，舉辦各式各樣的室內和戶外活動。

雪祭每年都依不同主題展出多座大型雪雕，其中包括根據著名建築物打造的雪雕，大小幾乎與實物相同。有些雪雕在製作時需要搭建腳架，還得運來以卡車計的雪。另外，會場內還會展出札幌市民和各國團隊親手製作的多座中型及大量的小型雪雕。札幌雪祭的獨特之處，在於凝聚社群，給予人們集體製作雪雕的機會，讚頌文化表現與彼此間深厚的連結，並運用科技打造更美好的體驗。

一位幫助發起雪祭的札幌教師曾如此教導自己學生：不要把充沛的降雪視為敵人或討厭的人，而是當作自己的朋友並歡喜迎接它，這樣才會帶來喜悅且創造可能性。札幌在地社群也採納了這種觀點，將最初只有少量雪雕和打雪仗活動的祭典，打造成世界聞名的盛會，每年吸引數百萬遊客慕名前來。

<日本語仮訳>

さっぽろ雪まつり

さっぽろ雪まつりは毎年 2 月に 1 週間にわたり開催される、雪と氷の祭典です。日本の主要な島のうち最北の北海道の最大の都市である札幌とその近郊の計 3 ヶ所でイベントが行われます。札幌は世界的にも降雪量が多い都市です。毎年の降雪量は平均 485 センチメートルで、積雪は 80～90 センチメートルにもなります。

3 ヶ所の会場にはそれぞれ主眼や特徴が異なります。最初の会場となった大通公園会場は札幌中心部にあり、12 ブロック以上にわたって雪像が展開されます。大通に近い繁華街すすきでは、氷像と夜のイルミネーションが目玉となっています。約 10 キロ離れたところに、屋内・屋外アクティビティが楽しめる雪の公園、つどーむがあります。

雪まつりの主役は毎年異なるテーマで造られる巨大な雪像で、ほぼ原寸大の有名建築の再現などもあります。制作にあたり足場を組んだり、トラック単位での雪の搬入が必要になったりするものもあります。また、札幌市民や国際チームによる手作りの中規模や小型の雪像もあります。コミュニティー一体となった雪像制作による文化表現や絆の祝福とともに、観覧体験を演出するテクノロジーの活用も、雪まつりならではの特徴です。

ある札幌の学校の先生が生徒たちに伝えたように、雪を敵ややっかい者ではなく友達として喜んで迎えば、喜びや可能性がもたらされます。札幌の人たちはこの視点を受け入れることで、当初はいくつかの雪像と雪合戦から始まったこの雪まつりを、毎年何百万人もが訪れる世界的に有名なイベントへと変身させました。

【タイトル】 さっぽろ雪まつり - 雪まつりの歴史

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

札幌冰雪节的历史

札幌冰雪节始于 1950 年冬天，当时一群初中生和高中生在美术老师的指导下，在大通公园的一角建造了 6 座雪雕。除此之外，人们还开展了各种精彩活动，包括赛狗、方块舞、打雪仗，以及争夺旗帜的大型团体雪战。这次节庆活动让人们轻松地享受冰雪带来的乐趣，吸引约 5 万人参加。后来，这项活动不断发展壮大，除 2021 年外每年都有举办。

1955 年，日本陆上自卫队成员开始协助举办札幌冰雪节。札幌驻屯地是自卫队规模最大的军队——北部方面队的驻地，一些冰雪节志愿者就驻守在这里。1959 年，2500 名日本自卫队成员参与了大型雪雕的建造。在建造过程中，他们的工程技术和后勤技能发挥了十分重要的作用，而大型雪雕如今也成为了札幌冰雪节的象征。

1972 年，札幌举办了冬季奥运会，札幌冰雪节也获得了国际认可。当年有以虚构人物格列佛为原型的一座 25 米高的雪雕迎接前来参加冰雪节的人们。这座雪雕出现在奥运会的媒体报道中，因此提高了冰雪节的知名度。

1974 年，是冰雪节发展与困难并存的一年。国际雪雕比赛于那一年首次举办，来自 6 个国家的队伍展开了角逐。参赛队伍的数量每年都会变化，1998 年有多达 20 个地区参赛，而 2020 年则有 11 个地区参赛。1974 年的全球石油危机导致运雪的卡车和压雪燃料短缺，为冰雪节带来了重重困难。由于没有足够的雪来制作实心雪雕，人们使用钢桶来填补雪雕底部的空间。然而，由于中心部分的冰冻材料较少，雪雕的融化速度比平时更快，人们因此担心这些雪雕会在冰雪节结束前倒塌。

1979 年，艺术家冈本太郎 (1911–1996) 的雪雕作品进一步提高了札幌冰雪节的声誉。冈本为 1970 年在日本大阪举办的世界博览会建造了标志性雕塑建筑“太阳之塔”，并因此而声名远扬。

札幌市于 1983 年将餐饮娱乐街区薄野增设为冰雪节会场，并于 2009 年在 TSUDOME 增设了冬季游乐场。薄野会场的冰世界活动侧重于雕刻和展示精美的冰雕，为冰雪节中带来了冰的元素。TSUDOME 会场的设立不仅带来了冰滑道和雪胎滑道等新的室外活动，也为人们提供了室内场地，开展老少皆宜的实践活动。

2013 年，人们开始运用光雕投影技术来为雪雕增加动感、色彩和声音。这一发展使得游客数量显著增长。如今，每年有 200 多万人前来参加札幌冰雪节。

<繁体字>

札幌雪祭的歷史

札幌雪祭始於西元 1950 年冬季，當時一群國中生和高中生在美術老師的指導下，在大通公園的一角建造了 6 座雪雕。除此之外，當時還舉行了賽狗、方塊舞、打雪仗，以及爭奪旗幟的大型團體雪戰等各種精彩活動，這次活動既有趣，又讓大家能輕鬆愉快地享受冰雪帶來的樂趣，共吸引了約 5 萬人參加。後來活動不斷發展，除西元 2021 年外每年都有舉辦。

西元 1955 年，日本陸上自衛隊成員開始協助舉辦札幌雪祭。札幌駐屯地為自衛隊中規模最大的軍隊，也就是北部方面隊所駐紮的地方，一些雪祭志工就駐守在此。西元 1959 年，2,500 名日本陸上自衛隊成員參與製作大型雪雕，他們的工程技術和後勤技能，發揮了十分重要的作用，所打造的大型雪雕如今也成為札幌雪祭的象徵。

札幌於西元 1972 年舉辦了冬季奧運會，使得札幌雪祭獲得了國際關注，該年以文學名著中的虛構人物格列佛為原型，建造了一座 25 公尺高的雪雕，來歡迎前來參加雪祭的人們。這座雪雕出現在奧運會的媒體報導中，因此提高了雪祭的知名度。

西元 1974 年，對雪祭來說是發展與困難並存的一年。這年首次舉辦了國際雪雕比賽，有來自 6 國的隊伍角逐優勝殊榮。參賽隊伍的數量每年都會變化，西元 1998 年有多達 20 個地區參賽，西元 2020 年則有 11 個地區。西元 1974 年之所以是困難重重的一年，是因全球石油危機導致運雪的卡車和壓雪燃料短缺。由於沒有足夠的雪來製作實心雪雕，人們於是用鋼桶來填補雪雕底部的空間。然而中心部分的冰雪材料因此較少，雪雕開始融化的速度比平時更快，讓人擔心雕像可能會在雪祭結束前就倒下。

西元 1979 年，藝術家岡本太郎（西元 1911-1996）的雪雕作品進一步提高了札幌雪祭的名聲。回顧西元 1970 年時，岡本為了日本大阪萬博建造代表性的雕塑建築「太陽之塔」，因而聲名遠播。

到了西元 1983 年，札幌市將作為餐飲娛樂街區的薄野增設為雪祭會場，隨後西元 2009 年增設 TSUDOME 冬季遊樂場。薄野會場的 Susukino Ice WORLD 側重雕刻和展示精美冰雕，為雪祭帶來冰的元素。TSUDOME 會場的設立則不僅讓人們可以體驗溜滑梯、雪上泛舟等嶄新的戶外活動，也提供了室內場地，能用於舉辦適合所有年齡層的實踐活動。

西元 2013 年，人們開始運用光雕投影技術，為雪雕增加動感並增添色彩和聲音效果，技術的進步讓遊客數量顯著成長。如今，每年有 200 多萬人前來參加札幌雪祭。

<日本語仮訳>

さっぽろ雪まつりの歴史

さっぽろ雪まつりは 1950 年の冬、中高生らが美術教師の監督の下、大通公園の一角に 6 基の雪像を作ったことから始まりました。ドッグレースやスクエアダンス、雪合戦、そして旗を使ったチーム対抗雪合戦大会も開催されました。この雪まつりは気楽に雪を楽しむイベントで、約 50,000 人が参加しました。イベントの規模は徐々に大きくなり、それ以来 2021 年を除き毎年開催されています。

1955 年からは陸上自衛隊の隊員が雪まつりに協力するようになりました。札幌駐屯地は自衛隊の中でも最大規模の方面隊である北部方面隊の拠点となっていて、まつりのボランティアの何人かがそこに駐在しています。1959 年には 2,500 人の自衛隊員が大型雪像の制作に参加しました。今では雪まつりの象徴となっている巨大雪像の制作において、隊員らの工学・兵站技術は大いに役立ちました。

1972 年には札幌は冬季オリンピックを開催し、雪まつりは国際的にも注目を浴びることとなりました。神話上の人物ガリバーの高さ 25 メートルの雪像は、その年のフェスティバルで人々を歓迎し、オリンピックのメディア報道で取り上げられ、フェスティバルの認知度を高めました。

1974 年は雪まつりにとって成長の年であるとともに、苦難の年でもありました。国際雪像コンクールが初めて開かれた年であり、6 ヶ国のチームが参加しました。参加チーム数は年によって異なり、日本からは 1998 年には 20 チーム、2020 年には 11 チームの参加が見られました。1974 年の苦難は世界的なオイルショックのためトラックを使った雪の搬入と圧雪のための燃料が不足したことによります。例年よりも使用できる雪が少なかったため雪像の基礎部分にはドラム缶を使ってスペースを埋めました。しかし、中心部の雪が少ないために、例年より早く溶け始めてしまい、雪まつり閉幕までに崩壊するおそれもありました。

1979年には、日本人芸術家・岡本太郎（1911～1996）制作の雪像により、雪まつりへの注目度がさらに高まりました。岡本は1970年に大阪で開かれた万国博覧会のために建てられた「太陽の塔」の作者として有名です。

1983年には歓楽街であるすすきのが、また2009年には冬季用遊戯施設つどーむが会場に加わりました。すすきの会場はアイスワールドで精巧な氷像を制作・展示し、雪まつりに氷の要素を取り入れました。つどーむ会場からは、氷やトンネル型すべり台などアウトドアアクティビティや、どの世代でも楽しめる体験型アクティビティという新しい要素が加わりました。

2013年には、プロジェクションマッピング技術により雪像に動きや色、音がもたらされました。これにより来場者数にも著しい増加が見られ、今では毎年200万人以上がさっぽろ雪まつりを訪れます。

【タイトル】 さっぽろ雪まつり - 雪まつりの歴史

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

札幌冰雪节的历史

札幌冰雪节始于 1950 年冬天，当时一群初中生和高中生在美术老师的指导下在大通公园的一角建造了 6 座雪雕。除此之外，人们还开展了各种精彩活动，包括赛狗、方块舞、打雪仗，以及争夺旗帜的大型团体雪战。这次节庆活动让人们轻松地享受冰雪带来的乐趣，吸引约 5 万人参加。后来，这项活动不断发展壮大，除 2021 年外每年都会举办一次。

1955 年，日本陆上自卫队成员开始协助举办札幌冰雪节。札幌驻屯地是自卫队规模最大的军队——北部方面队的驻地，一些冰雪节志愿者就驻守在这里。1959 年，2500 名日本自卫队成员参与了大型雪雕的建造。在建造过程中，他们的工程技术和后勤技能发挥了十分重要的作用，而大型雪雕如今也成为了札幌冰雪节的象征。

1972 年，札幌举办了冬季奥运会，札幌冰雪节也获得了国际认可。那一年，以虚构人物格列佛为原型建造的一座 25 米高的雪雕迎接前来参加冰雪节的人们。这座雪雕出现在奥运会的媒体报道中，因此提高了冰雪节的知名度。时至今日，这座雪雕依然是札幌冰雪节历史上最大的雪雕。

1974 年，是冰雪节发展与困难并存的一年。国际雪雕比赛于那一年首次举办，来自 6 个国家的队伍展开了角逐。参赛队伍的数量每年都会变化，1998 年有多达 20 个地区参赛，而 2020 年则有 11 个地区参赛。1974 年的全球石油危机导致运雪的卡车和压雪燃料短缺，为冰雪节带来了重重困难。由于没有足够的雪来制作实心雪雕，人们使用钢桶来填补雪雕底部的空间。然而，由于中心部分的冰冻材料较少，雪雕的融化速度比平时更快，人们因此担心这些雪雕会在冰雪节结束前倒塌。

1979 年，艺术家冈本太郎 (1911–1996) 的雪雕作品进一步提高了札幌冰雪节的声誉。冈本为 1970 年在日本大阪举办的世界博览会建造了标志性雕塑建筑“太阳之塔”，并因此而声名远扬。

札幌市于 1983 年将餐饮娱乐街区薄野增设为冰雪节会场，并于 2009 年在 TSUDOME 增设了冬季游乐场。薄野会场的冰世界活动侧重于雕刻和展示精美的冰雕，为冰雪节中带来了冰的元素。TSUDOME 会场的设立不仅带来了冰滑道和雪胎滑道等新的室外活动，也为人们提供了室内场地，开展老少皆宜的实践活动。

2013 年，人們開始運用光雕投影技術來為雪雕增加動感、色彩和聲音。這一發展使得遊客數量顯著增長。如今，每年有 200 多萬人前來參加札幌冰雪節。

<繁體字>

札幌雪祭的歷史

札幌雪祭始於西元 1950 年冬季，當時一群國中生和高中生在美術老師的指導下，在大通公園的一角建造了 6 座雪雕。除此之外，當時還舉行了賽狗、方塊舞、打雪仗，以及爭奪旗幟的大型團體雪戰等各種精彩活動，這次活動既有趣，又讓大家能輕鬆愉快地享受冰雪帶來的樂趣，共吸引了約 5 萬人參加。後來活動不斷發展，除西元 2021 年外每年都舉辦一次。

西元 1955 年，日本陸上自衛隊成員開始協助舉辦札幌雪祭。札幌駐屯地為自衛隊中規模最大的軍隊，也就是北部方面隊所駐紮的地方，一些雪祭志工就駐守在此。西元 1959 年，2,500 名日本陸上自衛隊成員參與製作大型雪雕，他們的工程技術和後勤技能，發揮了十分重要的作用，所打造的大型雪雕如今也成為札幌雪祭的象徵。

札幌於西元 1972 年舉辦了冬季奧運會，使得札幌雪祭獲得了國際關注，該年以文學名著中的虛構人物格列佛為原型，建造了一座 25 公尺高的雪雕，來歡迎前來參加雪祭的人們。這座雪雕出現在奧運會的媒體報導中，因此提高了雪祭的知名度。時至今日，這座雪雕依然是札幌雪祭史上最大的雪雕。

不過到了西元 1974 年，對雪祭來說則是發展與困難並存的一年。這年首次舉辦了國際雪雕比賽，有來自 6 國的隊伍角逐優勝殊榮。參賽隊伍的數量每年都會變化，西元 1998 年有多達 20 個地區參賽，西元 2020 年則有 11 個地區參賽。西元 1974 年之所以是困難重重的一年，是因全球石油危機導致運雪的卡車和壓雪燃料短缺。由於沒有足夠的雪來製作實心雪雕，人們於是用鋼桶來填補雪雕底部的空間。然而中心部分的冰雪材料因此較少，雪雕開始融化的速度比平時更快，讓人擔心雕像可能會在雪祭結束前就倒下。

西元 1979 年，藝術家岡本太郎（西元 1911–1996）的雪雕作品進一步提高了札幌雪祭的名聲。回顧西元 1970 年時，岡本為了日本大阪萬博建造代表性的雕塑建築「太陽之塔」，因而聲名遠播。

到了西元 1983 年，札幌市將作為餐飲娛樂街區的薄野增設為雪祭會場，隨後西元 2009 年增設 TSUDOME 冬季遊樂場。薄野會場的 Susukino Ice WORLD 側重雕刻和展示精美冰雕，為雪祭帶來冰的元素。TSUDOME 會場的設立則不僅讓人們可以體驗溜滑梯、雪上泛舟等嶄新的戶外活動，也提供了室內場地，能用於舉辦適合所有年齡層的實踐活動。

西元 2013 年，人們開始運用光雕投影技術，為雪雕增加動感並增添色彩和聲音效果，技術的進步讓遊客數量顯著成長。如今，每年有 200 多萬人前來參加札幌雪祭。

<日本語仮訳>

さっぽろ雪まつりの歴史

さっぽろ雪まつりは 1950 年の冬、中高生らが美術教師の監督の下、大通公園の一角に 6 基の雪像を作ったことから始まりました。ドッグレースやスクエアダンス、雪合戦、そして旗を使ったチーム対抗雪合戦大会も開催されました。この雪まつりは気楽に雪を楽しめるイベントで、約 50,000 人が参加しました。イベントの規模は徐々に大きくなり、それ以来 2021 年を除き毎年開催されています。

1955 年からは陸上自衛隊の隊員が雪まつりに協力するようになりました。札幌駐屯地は自衛隊の中でも最大規模の方面隊である北部方面隊の拠点となっていて、まつりのボランティアの何人かがそこに駐在しています。1959 年には 2,500 人の自衛隊員が大型雪像の制作に参加しました。今では雪まつりの象徴となっている巨大雪像の制作において、隊員らの工学・兵站技術は大いに役立ちました。

1972 年には札幌は冬季オリンピックを開催し、雪まつりは国際的にも注目を浴びることとなりました。神話上の人物ガリバーの高さ 25 メートルの雪像はその年のフェスティバルで人々を歓迎し、オリンピックのメディア報道で取り上げられ、フェスティバルの認知度を高めました。今でも雪まつり史上最大の雪像です。

1974 年は雪まつりにとって成長の年であるとともに、苦難の年でもありました。国際雪像コンクールが初めて開かれた年であり、6 ヶ国のチームが参加しました。参加チーム数は年によって異なり、日本からは 1998 年には 20 チーム、2020 年には 11 チームの参加が見られました。1974 年の苦難は世界的なオイルショックのためトラックを使った雪の搬入と圧雪のための燃料が不足したことによります。例年よりも使用できる雪が少なかったため、雪像の基礎部分にはドラム缶を使ってスペースを埋めました。しかし、中心部の雪が少ないために、例年より早く溶け始めてしまい、雪まつり閉幕までに崩壊するおそれもありました。

1979 年には、日本人芸術家・岡本太郎（1911～1996）制作の雪像により、雪まつりへの注目度がさらに高まりました。岡本は 1970 年に大阪で開かれた万国博覧会のために建てられた「太陽の塔」の作者として有名です。

1983 年には歓楽街であるすすきのが、また 2009 年には冬季用遊戯施設つどーむが会場に加わりました。すすきの会場はアイスワールドで精巧な氷像を制作・展示し、雪まつりに氷の要素を取り入れました。つどーむ会場からは、氷やトンネル型すべり台などアウトドアアクティビティや、どの世代でも楽しめる体験型アクティビティという新しい要素が加わりました。

2013 年には、プロジェクションマッピング技術により雪像に動きや色、音がもたらされました。これにより来場者数にも著しい増加が見られ、今では毎年 200 万人以上がさっぽろ雪まつりを訪れます。

【タイトル】 さっぽろ雪まつり - 大通会場の内容

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

大通会场

大通公园是 1950 年首次举办札幌冰雪节的地点，如今仍是这场盛典的主会场。公园内共有 12 个街区，绵延 1.5 公里，冰雪节的大部分雪雕都位于这些街区内。这些年来，大通公园还会定期举办溜冰、跳台滑雪和北海道特色美食公园等精彩活动。

各街区的亮点

大通公园的 12 个街区被称为丁目，以数字来命名，比如 1 丁目和 2 丁目等。

1 丁目は J:COM 广场的所在地，札幌电视塔便是位于此处。如果您想欣赏大通会场的全貌，不妨前往电视塔的观景台，尤其推荐这里的夜景。由于大型雪雕通常面向电视塔而建造，因此这里是同时观赏所有雪雕的绝佳地点。

2 丁目每年都有不同的主题。2020 年的主题是阿伊努族的传统、手工艺、美食和音乐。此外，这里放置了运用增强现实和光雕投影技术的雪雕。

3 丁目は HTB Park Air 广场的所在地。双板和单板滑雪高手会在这里展开角逐，在 24 米高且布满雪包的山丘上表演自由式跳跃和杂技。

4 丁目は STV 广场，广场内建有第一座大型雪雕，并设有餐饮场所。

5 丁目は第二座大型雪雕的所在地，并设有更多餐饮场所。

6 丁目位于公园的中心，是公园内三座“市民广场”之一，展示札幌市民制作的雪雕作品。这片街区的主要景点是北海道美食公园，游客可以品尝当地的冬季特色美食。这里亦还提供多种援助和信息服务。

7 丁目每年都会以不同国家为主题，展出代表当地的著名建筑或场景为原型的大型雪雕。

8 丁目是 HTB 雪广场，广场内有另一座大型雪雕，并设有餐饮场所和休息区。

9 丁目是市民广场，广场内有许多由札幌市民制作的雪雕。

10 丁目建有最后一座大型雪雕和一座中型雪雕，并设有餐饮场所。

11 丁目是国际广场，广场内会举办国际雪雕比赛，并设有国际广场美食街。

12 丁目是最后一座市民广场，广场内展示着札幌市民制作的雪雕。

信息和援助

大通公园内设有两个旅游信息中心，分别位于 6 丁目和 9 丁目。园内的志愿者会说英语、韩语、中文和泰语，可为游客提供援助。部分志愿者还可担任翻译兼导游。如需使用其他语言，可通过平板电脑交流。

<繁体字>

大通會場

大通公園是西元 1950 年時首次舉辦札幌雪祭的地點，如今仍是這場盛典的主會場。公園內共有 12 個街區，延伸 1.5 公里，雪祭的大部分雪雕都位於其中。這些年來，大通公園定時舉辦溜冰、跳台滑雪等活動，公園內的美食廣場也定期聚集許多販賣北海道特色美食的攤販。

各街區的亮點

大通公園的 12 個街區稱為丁目，以數字來命名，例如 1 丁目和 2 丁目等。

1 丁目は J:COM 廣場的所在地，札幌電視塔便位於此處。如果想一次欣賞整個大通會場，不妨前往電視塔的觀景台，尤其別錯過這裡的夜景。由於大型雪雕通常面向電視塔建造，讓此處成為同時觀賞所有雪雕的絕佳地點。

2 丁目每年都有不同的主題，西元 2020 年是愛努族的傳統、手工藝、料理和音樂。此外，這裡還放置了運用擴增實境和光雕投影技術的雪雕。

3 丁目為 HTB Park Air 廣場的所在地，雙板和單板滑雪好手會在這裡較勁，在布滿小雪坡的 24 公尺山丘上表演自由式跳躍和雜技。

4 丁目為 STV 廣場，當中展示雪祭的第一座大型雪雕，並販售許多美食。

5 丁目は第二座大型雪雕的展示地點，並販售更多美食。

6 丁目位於中心位置，是公園內三座市民廣場之一，展示札幌市民製作的雪雕作品，當中的主要景點是北海道美食廣場，販售當地的冬季特色美食。這裡亦提供各種援助和資訊服務。

7 丁目每年都以不同國家為主題，展出刻劃該國的著名建築或場景的大型雪雕。

8 丁目為雪之 HTB 廣場，當中有另一座大型雪雕，並設有餐飲區和休息區。

9 丁目為市民廣場，當中有許多由札幌市民製作的雪雕。

10 丁目展示最後一座大型雪雕和一座中型雪雕，並販售許多美食。

11 丁目為國際廣場，這裡會舉辦國際雪雕比賽，並設有國際廣場美食街。

12 丁目は最後一處市民廣場，當中展示著札幌市民所製作的雪雕。

資訊和援助

大通公園內設有兩個旅遊資訊中心，分別位於 6 丁目和 9 丁目。志工們會說英語、韓語、中文和泰語，可為遊客提供援助。部分志工還可擔任口譯兼導遊。如果使用其他語言，則可透過平板電腦對話。

<日本語仮訳>

大通り会場

大通公園は 1950 年に雪まつりが初めて開催された会場で、今でもさっぽろ雪まつりのメイン会場です。今でもほとんどの雪像がこの 1.5 キロ・12 ブロックにわたり展開します。この会場では、歴史の中でアイスリンクやスキーのジャンプ台、北海道名物が並ぶ屋台村が定期的に設置されてきました。

ブロック毎のハイライト

公園の 12 ブロックは、1 丁目、2 丁目のように、「何丁目」と呼ばれます。

1 丁目には、札幌テレビ塔がある「J:COM ひろば」があります。テレビ塔の展望台は大通会場全体を見渡すのに最適で、特に夜がおすすです。大雪像は通常テレビ塔に向いて建てられるため、すべての雪像を見ることができる最高の場所です。

2 丁目は、毎年異なるテーマを持っています。2020 年には、アイヌの伝統、工芸品、料理、音楽などがメインテーマでした。また、雪像への AR・プロジェクトマッピングプロジェクトの会場となりました。

3 丁目は「HTB AIR PARK 広場」となり、トップクラスのスキー・スノーボード選手が技を競います。高さ 24 メートルのモーグルヒルでのフリースタイルジャンプやアクロバットを披露します。

4 丁目の「STV 広場」は一つ目の大雪像があります。このブロックには飲食のコーナーもあります。

5 丁目にはさらに大雪像が並び、こちらでも飲食コーナーが展開されます。

6 丁目は中間地点となり、公園全体に 3 ヶ所設けられる「市民の広場」の一つであるこのブロックには札幌市民による雪像が並びます。こちらの目玉は「北海道食の広場」で、冬の名物地元料理が楽しめます。こちらにはたくさんのサービス・案内所も設けられます。

7 丁目では毎年異なる国とテーマが設定され、その国の有名な建物や風景をモチーフにした大雪像も 1 基展示されます。

8 丁目は「雪の HTB 広場」で、こちらも大雪像が飲食・休憩場所とともに並びます。

9 丁目は「市民の広場」で、札幌市民による多くの雪像が並びます。

10 丁目には大雪像の最後の一群、中雪像、飲食サービスが並びます。

11 丁目は「国際広場」で、国際雪像コンクールおよび国際広場グルメストリートの会場となります。

12 丁目は最後の「市民の広場」で、札幌市民による雪像が並びます。

インフォメーションとサポート

大通公園には観光インフォメーションセンターが2ヶ所、6丁目と9丁目に設置されています。英語、韓国語、中国語、タイ語を話すボランティアがおり、お手伝いや通訳案内を提供します。他の言語でのご相談はタブレットを使用して対応可能です。

【タイトル】 さっぽろ雪まつり - 大通会場の内容

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

大通会场

大通公园是 1950 年首次举办札幌冰雪节的地点，如今仍是这场盛典的主会场。公园内共有 12 个街区，绵延 1.5 公里，冰雪节的大部分雪雕都位于这些街区内。这些年来，大通公园还会定期举办溜冰、跳台滑雪和北海道特色美食公园等精彩活动。

各街区的亮点

大通公园的 12 个街区被称为丁目，以数字来命名，比如 1 丁目和 2 丁目等。

1 丁目は J:COM 广场的所在地，札幌电视塔便是位于此处。如果您想欣赏大通会场的全貌，不妨前往电视塔的观景台，尤其推荐这里的夜景。由于大型雪雕通常面向电视塔而建造，因此这里是同时观赏所有雪雕的绝佳地点。

2 丁目每年都有不同的主题。2020 年的主题是阿伊努族的传统、手工艺、美食和音乐。此外，这里放置了运用增强现实和光雕投影技术的雪雕。

3 丁目は HTB Park Air 广场的所在地。双板和单板滑雪高手会在这里展开角逐，在 24 米高且布满雪包的山丘上表演自由式跳跃和杂技。

4 丁目は STV 广场，广场内建有第一座大型雪雕，并设有餐饮场所。

5 丁目は第二座大型雪雕的所在地，并设有更多餐饮场所。

6 丁目位于公园的中心，是公园内三座“市民广场”之一，展示札幌市民制作的雪雕作品。这片街区的主要景点是北海道美食公园，游客可以品尝当地的冬季特色美食。这里亦提供多种援助和信息服务。

7 丁目每年都会以不同国家为主题，展出代表当地的著名建筑或场景为原型的大型雪雕。

8 丁目は HTB 雪广场，广场内有另一座大型雪雕，并设有餐饮场所和休息区。

9 丁目是市民广场，广场内有许多由札幌市民制作的雪雕。

10 丁目建有最后一座大型雪雕和一座中型雪雕，并设有餐饮场所。

11 丁目は国际广场，广场内会举办国际雪雕比赛，并设有国际广场美食街。

12 丁目は最后一座市民广场，广场内展示着札幌市民制作的雪雕。

信息和援助

大通公园内设有两个旅游信息中心，分别位于 6 丁目和 9 丁目。园内的志愿者会说英语、韩语、中文和泰语，可为游客提供援助。部分志愿者还可担任翻译兼导游。如需使用其他语言，可通过平板电脑交流。

<繁体字>

大通會場

大通公園是西元 1950 年時首次舉辦札幌雪祭的地點，如今仍是這場盛典的主會場。公園內共有 12 個街區，延伸 1.5 公里，雪祭的大部分雪雕都位於其中。這些年來，大通公園定時舉辦溜冰、跳台滑雪等活動，公園內的美食廣場也定期聚集許多販賣北海道特色美食的攤販。

各街區的亮點

大通公園的 12 個街區稱為丁目，以數字來命名，例如 1 丁目和 2 丁目等。

1 丁目は J:COM 廣場的所在地，札幌電視塔便位於此處。如果想一次欣賞整個大通會場，不妨前往電視塔的觀景台，尤其別錯過這裡的夜景。由於大型雪雕通常面向電視塔建造，讓此處成為同時觀賞所有雪雕的絕佳地點。

2 丁目每年都有不同的主題，西元 2020 年是愛努族的傳統、手工藝、料理和音樂。此外，這裡還放置了運用擴增實境和光雕投影技術的雪雕。

3 丁目は HTB Park Air 廣場的所在地，雙板和單板滑雪好手會在這裡較勁，在布滿小雪坡的 24 公尺山丘上表演自由式跳躍和雜技。

4 丁目は STV 廣場，當中展示雪祭的第一座大型雪雕，並販售許多美食。

5 丁目は第二座大型雪雕的展示地點，並販售更多美食。

6 丁目位於中心位置，是公園內三座市民廣場之一，展示札幌市民製作的雪雕作品，當中的主要景點是北海道美食廣場，販售當地的冬季特色美食。這裡亦提供各種援助和資訊服務。

7 丁目每年都以不同國家為主題，展出刻劃該國的著名建築或場景的大型雪雕。

8 丁目為雪之 HTB 廣場，當中有另一座大型雪雕，並設有餐飲區和休息區。

9 丁目為市民廣場，當中有許多由札幌市民製作的雪雕。

10 丁目展示最後一座大型雪雕和一座中型雪雕，並販售許多美食。

11 丁目為國際廣場，這裡會舉辦國際雪雕比賽，並設有國際廣場美食街。

12 丁目是最後一處市民廣場，當中展示著札幌市民所製作的雪雕。

資訊和援助

大通公園內設有兩個旅遊資訊中心，分別位於 6 丁目和 9 丁目。志工們會說英語、韓語、中文和泰語，可為遊客提供援助。部分志工還可擔任口譯兼導遊。如果使用其他語言，則可透過平板電腦對話。

<日本語仮訳>

大通り会場

大通公園は 1950 年に雪まつりが初めて開催された会場で、今でもさっぽろ雪まつりのメイン会場です。今でもほとんどの雪像がこの 1.5 キロ・12 ブロックにわたり展開します。この会場では、歴史の中でアイスリンクやスキーのジャンプ台、北海道名物が並ぶ屋台村が定期的に設置されてきました。

ブロック毎のハイライト

公園の 12 ブロックは、1 丁目、2 丁目のように、「何丁目」と呼ばれます。

1 丁目には、札幌テレビ塔がある「J:COM ひろば」があります。テレビ塔の展望台は大通会場全体を見渡すのに最適で、特に夜がおすすです。大雪像は通常テレビ塔に向いて建てられるため、すべての雪像を見ることができる最高の場所です。

2 丁目は、毎年異なるテーマを持っています。2020 年には、アイヌの伝統、工芸品、料理、音楽などがメインテーマでした。また、雪像への AR・プロジェクションマッピングプロジェクトの会場となりました。

3 丁目は「HTB AIR PARK 広場」となり、トップクラスのスキー・スノーボード選手が技を競います。高さ 24 メートルのモーグルヒルでのフリースタイルジャンプやアクロバットを披露します。

4 丁目の「STV 広場」は一つ目の大雪像があります。このブロックには飲食のコーナーもあります。

5 丁目にはさらに大雪像が並び、こちらでも飲食コーナーが展開されます。

6 丁目は中間地点となり、公園全体に 3 ヶ所設けられる「市民の広場」の一つであるこのブロックには札幌市民による雪像が並びます。こちらの目玉は「北海道食の広場」で、冬の名物地元料理が楽しめます。またこちらにはたくさんのサービス・案内所も設けられます。

7 丁目では毎年異なる国とテーマが設定され、その国の有名な建物や風景をモチーフにした大雪像も 1 基展示されます。

8 丁目は「雪の HTB 広場」で、こちらも大雪像が飲食・休憩場所とともに並びます。

9 丁目は「市民の広場」で、札幌市民による多くの雪像が並びます。

10 丁目には大雪像の最後の一群、中雪像、飲食サービスが並びます。

11 丁目は「国際広場」で、国際雪像コンクールおよび国際広場グルメストリートの会場となります。

12 丁目は最後の「市民の広場」で、札幌市民による雪像が並びます。

インフォメーションとサポート

大通公園には観光インフォメーションセンターが 2 ヶ所、6 丁目と 9 丁目に設置されています。英語、韓国語、中国語、タイ語を話すボランティアがおり、お手伝いや通訳案内を提供します。他の言語でのご相談はタブレットを使用して対応可能です。

【タイトル】 さっぽろ雪まつり - 大雪像の制作方法

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

制作最大的雪雕

札幌冰雪节的主要看点是 5 座巨大的雪雕。雪雕的设计每年都会改变，通常会忠实地再现建筑物或刻画流行文化中的人物。一些雪雕会有四五层楼那么高，均需要大量的雪来建造。在这些大型雪雕中，有两座由日本陆上自卫队 (GSDF) 成员建造，其余三座则由陆上自卫队退役军人带领市民团体建造。

雪会以卡车运送至大通公园内的雪雕建造地点。许多雪雕的建造过程会搭建框架和脚架，并用起重机将雪填入框架中。然后，将雪压成紧实的雪胚，再将框架拆除，之后便可以开始雕刻。有些雪雕还会用到手工制作的雪砖，制作方法是将雪放入单独的模具中压实。在制作的最后阶段，专业人员还会加入灯光。许多大型雪雕的表面都可用于投射影像。

札幌冰雪节每年所需的雪多达 3 万吨，其中约一半都用于制作大型雪雕。许多时候会有多达 1 万人参与运雪和雪雕建造。天气会对雪雕的建造工作产生很大的影响。冰雪节的举办时间是提前决定的，因此运雪的时间也是固定的。如果因为下雨或气候异常温暖导致雪雕需要修复，制作团队往往会在夜里加班。

<繁体字>

製作最大型的雪雕

札幌雪祭的主要看點是 5 座巨大雪雕，設計每年都會改變，通常會忠實重現建築物外觀，或刻劃流行文化中的人物。一些雪雕高達四、五層樓，都需要大量的雪來建造。在這些大型雪雕中，有兩座由日本陸上自衛隊 (GSDF) 的成員製作，其餘三座則由陸上自衛隊的退役軍人帶領市民團體製作。

雪會以卡車運到大通公園內製作雪雕的地點。在許多製作雪雕的過程中，會搭建框架和腳架，並用起重機將雪填入框架中，接著再把雪壓成緊實而堅固的雪塊，之後將框架拆除，就可以開始雕刻。有些雪雕還會用到手工製作的雪磚，其製作方法是將雪放入單獨的

模具中壓實。在製作的最後階段，還會加上燈光。許多大型雪雕的表面還可用於投射影像。

札幌雪祭每年需要用到的雪多達 3 萬公噸，大約一半都用於製作大型雪雕。許多時候會有多達 1 萬人參與運雪和製作雪雕。對於雪雕的製作來說，天氣是影響很大的因素，因為雪祭的舉辦時間會事先決定，因此運雪的時間也是固定的，如果屆時遇到下雨或氣候異常溫暖，導致雪雕需要修復，製作團隊往往晚上還得繼續工作。

<日本語仮訳>

大雪像の制作方法

さっぽろ雪まつりの中で客をひきつける主要なものとしては、5つの巨大な雪像があります。デザインは毎年変わり、建物を忠実に再現したものや、大衆文化のキャラクターを表現したものであつたりします。ひとつが4~5階建ての建物の高さになるものもあり、膨大な量の雪を必要とします。これらのうち2つは、陸上自衛隊員たちの作品です。残る3つは、自衛隊を退役した人々に率いられた市民グループが作っています。

雪は、雪像が作られる大通公園内の現場までトラックで運び込まれます。多くの雪像では、まず枠組みを作って足場を組み、クレーンを使って枠の中へ雪を入れていきます。そして雪を下へ押し込み、密度のある固い塊にします。その後に枠を外し、像を彫っていきます。デザインによっては、型に雪を密に詰め込んで手作りした、雪のレンガが使われることもあります。最終段階で照明が加えられ、多くの巨大な雪像が、動画を投影する画面の役を果たします。

雪まつりには通常、最大で3万トンの雪が必要になり、そのうち半分の雪が大雪像に使われます。雪を運んで雪像を作るのに、毎年1万人もの人々が関わっています。天気は作業に大きな影響を及ぼします。雪まつりの開催日は先に決まるため、それに従って雪を運び入れる日も決まっています。雨が降ったり、季節外れの暖かさになったりして雪像を修復しなければならないときには、制作チームは夜まで残って作業をします。

【タイトル】 さっぽろ雪まつり - 大雪像の制作方法

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

制作大型雪雕

札幌冰雪节的主要看点是 5 座巨大的雪雕。雪雕的设计每年都会改变，通常会忠实地再现建筑物或刻画流行文化中的人物。一些雪雕会有四五层楼那么高，均需要大量的雪来建造。在这些大型雪雕中，有两座由日本陆上自卫队 (GSDF) 成员建造。其余三座则由陆上自卫队退役军人带领市民团体建造。

雪会以卡车运送至大通公园内的雪雕建造地点。许多雪雕的建造过程中会搭建框架和脚架，并用起重机将雪填入框架中。然后，他们会将雪压成紧实的雪胚，再将框架拆除，之后便可以进行雕刻。有些雪雕还会用到手工制作的雪砖，制作方法是将雪放入单独的模具中压实。在制作的最后阶段，专业人员还会加入灯光。许多大型雪雕的表面都可用于投射影像。

许多时候会有多达 1 万人参与冰雪节的运雪和雪雕建造工作，运送的雪量可达 3 万多吨。天气会对雪雕的建造工作产生很大的影响。冰雪节的举办时间是提前决定的，因此运雪的时间也是固定的。如果因为下雨或气候异常温暖导致雪雕需要修复，制作团队往往会在夜里加班。

<繁体字>

製作大型雪雕

札幌雪祭的主要看點是 5 座巨大雪雕，設計每年都會改變，通常會忠實重現建築物外觀，或刻劃流行文化中的人物。一些雪雕高達四、五層樓，都需要大量的雪來建造。在這些大型雪雕中，有兩座由日本陸上自衛隊 (GSDF) 的成員製作，其餘三座則由陸上自衛隊的退役軍人帶領市民團體製作。

雪會透過卡車運到大通公園內製作雪雕的地點。在許多製作雪雕的過程中，會搭建框架和腳架，並用起重機將雪填入框架中，接著再把雪壓成緊實而堅固的雪塊，之後將框架拆除，就可以開始雕刻。有些雪雕還會用到手工製作的雪磚，其製作方法是將雪放入單獨的模具中壓實。在製作的最後階段，還會加上燈光。許多大型雪雕的表面還可用於投射影像。

許多時候會有多達 1 萬人參與雪祭的運雪和雪雕製作工作，运送的雪量可達 3 萬公噸左右。對於雪雕的製作來說，天氣是影響很大的因素，因為雪祭的舉辦時間會事先決定，

因此運雪的時間也是固定的，如果屆時遇到下雨或氣候異常溫暖，導致雪雕需要修復，製作團隊往往晚上還得繼續工作。

<日本語仮訳>

大雪像の制作方法

さっぽろ雪まつりの中で客をひきつける主要なものとしては、5つの巨大な雪像があります。デザインは毎年変わり、建物を忠実に再現したものや、大衆文化のキャラクターを表現したものであったりします。ひとつが4～5階建ての建物の高さになるものもあり、膨大な量の雪を必要とします。これらのうち2つは、陸上自衛隊員たちの作品です。残る3つは、自衛隊を退役した人々に率いられた市民グループが作っています。

雪は、雪像が作られる大通公園内の現場までトラックで運び込まれます。多くの雪像では、まず枠組みを作って足場を組み、クレーンを使って枠の中へ雪を入れていきます。そして雪を下へ押し込み、密度のある固い塊にします。その後枠を外し、像を彫っていきます。デザインによっては、型に雪を密に詰め込んで手作りした、雪のレンガが使われることもあります。最終段階で照明が加えられ、多くの巨大な雪像が、動画を投影する画面の役を果たします。

毎年1万人もの人々が3万トンもの雪を祭りのために運搬して雪像を制作することに関わっています。天気は作業に大きな影響を及ぼします。雪まつりの開催日は先に決まるため、それに従って雪を運び入れる日も決まっています。雨が降ったり、季節外れの暖かさになったりして雪像を修復しなければならないときには、制作チームは夜まで残って作業をします。

【タイトル】 さっぽろ雪まつり - プロジェクションマッピング

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

光雕投影

到了夜晚，大通公园的洁白雪雕和周围景观，在灯光和光雕投影的装饰下呈现出绚丽的色彩。

光雕投影利用雪雕和其他物体打造出栩栩如生而又如梦似幻的绚丽场景，并配备不断变化的画面和丰富的音效。电脑生成的图像叠加投射在雪的表面，配合通常专门为表演而创作的音乐。每场表演会持续约 4 分钟。

在 2013 年推出光雕投影表演之前，参加冰雪节的人数会在中午达到高峰。如今，大多数游客会在晚上七八点左右到达会场。造成这种转变的主因，正是光雕投影表演。

欣赏大通公园光雕投影表演的另一种方式是使用独家应用程序。游客可以在智能手机或其他移动设备上安装这一应用程序，从而解锁运用增强现实技术的隐藏内容。没有智能设备的游客可以在冰雪节会场免费租借。

<繁体字>

光雕投影

到了夜晚時分，大通公園的潔白雪雕和周圍景觀，在打上燈光和光雕投影後呈現出絢麗的色彩。

光雕投影運用雪雕和其他物體，打造出栩栩如生又如夢似幻的絢麗場景，充滿動感與豐富的聲音效果。在進行光雕投影時，電腦合成影像會投射到雪的表面，配合通常專門為表演而創作的音樂。每場表演大約持續 4 分鐘。

在西元 2013 年推出光雕投影表演之前，參加雪祭的人數在中午左右達到高峰，但現在大多數遊客會於晚上七八點左右來到會場。造成這種轉變的主因，正是光雕投影表演。

另一種欣賞大通公園光雕投影表演的方式，則是使用專屬 App。遊客可以在智慧型手機或其他行動裝置上，安裝這款 App，就能看到運用擴增實境技術打造的隱藏版內容。沒有智慧型裝置的遊客可以在雪祭會場免費租借。

<日本語仮訳>

プロジェクションマッピング

夜間は、イルミネーションやプロジェクションマッピングによって、純白の雪像や大通公園の景色に鮮やかな色彩が降り注ぎます。

プロジェクションマッピングは、雪像や周囲の物体を動きと音であふれた、リアルながらも幻想的な光景へと一変させます。これはコンピューターで作成したグラフィックを音楽とシンクロさせながら雪の上に投影させているのですが、音楽もショーのために特別に制作されたものであったりします。プロジェクションマッピングのショーは 4 分ほどです。

2013 年にプロジェクトマッピングショーが導入される以前は、来場者の訪れるピークは正午前後でした。今ではほとんどの人が夜の 7 時か 8 時頃に来場しますが、プロジェクトマッピングショーがその一番の理由となっています。

大通公園でのプロジェクションマッピングのテーマの楽しみ方のひとつとして、スマートフォンなどのモバイル端末で AR 技術を駆使した隠しコンテンツが解除できる専用アプリがあります。端末を持っていない方は、会場でレンタルすることができます。

【タイトル】 さっぽろ雪まつり - 市民雪像

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

市民雪雕

札幌冰雪节上较大的雪雕会根据规划主题进行建造，由国际团队、日本自卫队成员和企业赞助商组织的团队共同完成。不过，当地社区的居民也有机会参加“市民雪雕”比赛。参赛队伍需要提前申请并选择自己的创作主题，这些主题通常反映了日本的生活和流行文化以及北海道的特色。哆啦 A 梦和小黄人等动漫人物是多年来备受喜爱的主题。

市民雪雕会在冰雪节开幕前几天制作。路人往往会驻足观看雪雕的成型过程，并为制作团队加油鼓劲。冰雪节开幕后，游客可以使用特别的智能手机应用程序为自己喜爱的市民雪雕作品投票。获胜者名单将于冰雪节的最后一天公布。在大通公园的各个角落都可以见到市民雪雕，其中大部分作品位于 9 丁目的市民广场。

<繁体字>

市民雪雕

札幌雪祭上較大的雪雕會根據規劃的主題打造，由各國團隊、日本自衛隊成員和企業贊助商籌組的團隊製作。不過，在地社群的居民也有機會參加「市民雪雕」比賽。參賽隊伍需要提前申請並選擇創作主題，這些主題通常反映日本的生活、流行文化以及北海道的特色，其中哆啦 A 夢和小小兵等動漫人物是多年來特別受歡迎的主題。

市民雪雕會在雪祭開幕前幾天製作，路人往往停下腳步，觀看雪雕成型的過程，並為製作團隊加油。雪祭開幕後，遊客可以使用特別的智慧型手機 App，為自己喜愛的市民雪雕作品投票。獲勝者名單將在雪祭最後一天公布。在大通公園的各個角落都能見到市民雪雕，其中大部分作品位於 9 丁目的市民廣場。

<日本語仮訳>

市民雪像

比較的大きな雪像は、計画されたテーマに基づき、海外チーム、自衛隊員、企業スポンサーの手配したグループなどによって作られます。しかしながら、地元住民は「市民雪像」の制作に参加する機会があります。チームは事前に応募し、自分たちでテーマを選択することができます。テーマは、日本の生活や、ポップカルチャー、また北海道という地域の特色を反映するものになることが多いものです。例えばドラえもんやミニオンズといったアニメキャラクターは、長年の人気テーマであるようです。

市民雪像の制作は、まつりに向けて、数日間の間をかけて行われます。この時期に札幌を訪れる観光客は、雪像が作られていく様子を見たり、制作チームに声援を送ったりすることができます。まつりが始まると来場者は、気に入った市民雪像に投票することができ、結果は最終日に発表されます。スマートフォンから投票できる特別なコンテストアプリもあります。市民雪像は大通公園の至る所でみられますが、多くは9丁目の「市民の広場」にあります。

【タイトル】 さっぽろ雪まつり - 国際雪像コンクール

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

国际雪雕比赛

国际雪雕比赛是札幌冰雪节的重要一环。来自全球各个国家和地区的团队每年都会竞相制作最令人印象深刻的雪雕。这项赛事不仅展现了札幌与国际社会建立友好关系的决心，而且开辟了文化交流与创造的途径。这项国际赛事始于1974年，当时有6个国家的团队前来参赛。这些年来，已有来自37个不同国家和地区的团队参加过这项赛事。

国际雪雕比赛中的创作主题通常会与本地雕刻家选择的主题大相径庭。一支新西兰团队曾制作过一个巨大的橄榄球，另有一年一支波兰团队则塑造了一位年轻的大自然母亲。还有一些团队来自从未下过雪的热带国家，他们也时常参加比赛。泰国团队参加过多个年份的比赛，曾经塑造了一群欢快的大象，还有一次则以曼谷宏伟宫殿的外墙为原型建造了一座雪雕。马来西亚团队也经常参赛，有一年曾制作了一座由4只长鼻猴组成的雪雕。

参赛团队由3人组成，他们有很长的时间来对雪雕进行规划，但必须在5天内完成制作。游客可以观看参赛团队制作雪雕，并与队员自由交谈。

国际雪雕比赛的举办场地是大通公园11丁目。在札幌电视塔上可以俯瞰精彩赛事和公园内的所有雪雕和冰雕。天气晴朗的时候可以一直看到远处大仓山上的奥林匹克滑雪跳台。

<繁体字>

國際雪雕比賽

國際雪雕比賽是札幌雪祭特重要一環，來自世界各個國家和地區的團隊，每年都會互相競爭，看誰能夠製作最令人印象深刻的雪雕，這項賽事不僅展現了札幌與國際社會建立友好關係的決心，還開闢了文化交流與展現創造力的途徑。這項國際賽事始於西元1974年，當時有6個國家的團隊前來參與。隨著歲月累積，已有來自37個不同國家和地區的團隊參加這項盛會。

在國際雪雕比賽中，通常可見與本地雪雕製作者所選主題大相徑庭的創作，曾經有支紐西蘭團隊製作一顆巨大的橄欖球，另有一年波蘭團隊則製作了年輕的大自然之母。還有一些團隊來自從未下雪的熱帶國家，他們也時常參加比賽。比如泰國團隊多年來數次參賽，曾經打造出一群愉快的大象，還有一次建造了一座以曼谷宏偉宮殿外牆為原型的雪雕。此外，馬來西亞團隊也經常參賽，有一年製作了一座由 4 隻長鼻猴組成的雪雕。

參賽團隊由 3 人組成，他們有許多時間能構想要製作怎樣的雪雕，但必須在 5 天內完成。遊客可以觀看參賽團隊製作雪雕，也能與隊員自由交談。

國際雪雕比賽在大通公園 11 丁目舉辦。在札幌電視塔上，可以俯瞰精彩賽事和公園內的所有雪雕和冰雕。天氣晴朗的時候能看到遠處大倉山上的奧林匹克滑雪跳台。

<日本語仮訳>

国際雪像コンクール

さっぽろ雪まつりの目玉のひとつが、「国際雪像コンクール」です。毎年、海外からのチームが、最も印象に残る雪像づくりを競い合います。国際コンクールは、1974 年に 6 カ国のチームの参加で始まりましたが、国際社会との友好的な関係を育んでいこうとする札幌の姿勢を示しています。これがまつりへの大きなインパクトとなり、文化交流や創造性への道を開いてきました。これまで、37 の国や地域からのチームがコンクールに参加してきました。

これら海外の参加者たちが表現しようと選ぶ題材は、地元の参加者たちのものとは全く違うものになったりします。ニュージーランドのチームが巨大なラグビーボールを制作したり、ポーランドのチームが若い「母なる自然」を表現したりしたこともありました。雪の降らない暑い国のチームも果敢に参加します。例えば、タイのチームは何度もコンクールに参加しており、ある年には元気な像の群れを制作し、別の年にはバンコクの大宮殿の堂々とした正面の姿を造り上げました。マレーシアも度々参加しており、ある年の出品作は、4 匹のテングザルでした。

3 人組の各チームは、計画に長い時間をかけながらも、雪像づくりにはわずか 5 日間しか与えられないので、朝から晩まで作業します。来場者は、チームの作品づくりを見学したり、チームの人たちと自由に話をしたりすることができます。

国際コンクールの雪像は、大通公園の 11 丁目地区で見ることができます。俯瞰的な景観を眺めるのであれば、さっぽろテレビ塔からコンクールや大通公園のすべての雪像や氷像を見ることができます。天気の良い日には大倉山のオリンピックスキージャンプ台まで見渡せます。

【タイトル】 さっぽろ雪まつり - スキー・スノーボードのジャンプ

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

白色恋人 PARK AIR 滑雪跳台

许多日本顶级双板和单板滑雪高手都会前往札幌的白色恋人 PARK AIR 跳台一展身手。在札幌冰雪节期间，他们会参加比赛和表演跳台滑雪。比赛和表演会在大通公园 3 丁目的 HTB Park Air 广场进行，这里的跳台高 24 米，长 65 米，最大坡度为 39 度，让选手们可以达到惊人的速度。双板和单板滑雪高手们会在短距离赛道上飞驰而下，表演跳跃和其他杂技，有时还会组成同步表演的团队。

滑雪比赛设有单板滑雪和双板滑雪项目，分为青少年组、夜间组和别具特色的猫跳滑雪组。这项充满活力的快节奏赛事始于 2007 年，吸引了众多冬季运动爱好者。公众可以观看比赛，但现场不设座席。

<繁体字>

白色戀人 PARK AIR 滑雪跳台

許多日本頂級雙板和單板滑雪好手，都會前往札幌的白色戀人 PARK AIR 滑雪跳台一展身手。在札幌雪祭期間，他們會在比賽中較勁並表演跳台滑雪。比賽和表演會場為大通公園 3 丁目的 HTB Park Air 廣場，當中的跳台高 24 公尺，長 65 公尺，最大坡度為 39 度，讓選手們可以達到驚人的速度。雙板和單板滑雪好手在短距離賽道上飛躍而下，表演跳躍和其他雜技，有時還會組隊同步表演。

滑雪比賽有單板滑雪和雙板滑雪項目，分為青少年組、夜間組和別具特色的饅頭滑雪組。這項充滿活力的快節奏賽事始於西元 2007 年，吸引了眾多冬季運動愛好者。比賽開放一般民眾觀看，但現場不設座席。

<日本語仮訳>

スキー・スノーボードのジャンプ

日本のトップクラスのスキーマーやスノーボーダーの多くが、札幌の白い恋人 PARKAIR ジャンプにやって来ます。彼らはさっぽろ雪まつりの開催中、トーナメントで戦い、エキシビジョンジャンプを行

います。開催場所は、大通 3 丁目の HTB PARK AIR 広場にある、高さ 24 メートル、全長 65 メートルのジャンプ台です。その最大斜度は 39 度で、息をのむようなスピードが出ます。精鋭のスキーヤーやスノーボーダーが、ショートコースを猛スピードで下りながら、ジャンプやアクロバットを行い、時にはチームで動きをシンクロさせて行われます。

スノーボーダーとスキーヤーはどちらもトーナメントで戦い、ジュニアセッション、ナイトセッション、スペシャルモーグルセッションがあります。このスピードのあるダイナミックなイベントは 2007 年に始まり、大勢のウィンタースポーツ愛好家を引き寄せています。パブリックビューイングができますが、座席はありません。

【タイトル】 さっぽろ雪まつり - つどーむ会場の内容（屋外）

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

TSUDOME 的户外活动

TSUDOME 会场距离大通公园约 10 公里，是体验各种冬季户外运动和娱乐活动的场所。会场内有将近 24 个雪上娱乐项目可供选择，适合所有年龄段的人士参与。

滑道

雪胎滑道建在 100 米长的斜坡上，两侧向上隆起，可确保大人和孩子的安全。会场内共有 6 条滑道，可最大限度地减少等待时间。

Waku Waku 滑道设有几条雪橇和雪胎滑道，其中有条设计成双人雪胎滑道，可供一名成人和一名儿童一起滑行。

冰滑道不仅设有两条可供双人滑行的“亲子滑道”，也设有单人滑道。

而在隧道滑道中，幼儿和低龄儿童可以穿越雪地中的隧道，体验快速滑行的乐趣。

其他活动

Waku Waku 雪地乐园包含 4 个区域，分别是雪地迷宫、雪地隧道、堆雪人场地和玩雪区。

园内还提供两种雪地高尔夫项目，分别是 6 洞雪地高尔夫和融合了足球和高尔夫球特色的雪地“足式高尔夫”。

“雪球挑战者”是一种简单的游戏，参与者需要向目标投掷雪球来赢取奖品。

“雪筏”是深受各年龄段游客喜爱的活动。游客可坐在雪筏中，在雪地摩托的牵引下在雪地上滑行。

此外，园内还建有一座传统雪橇滑坡。

适合低龄儿童的活动

4岁以下的儿童可以选择多种活动。雪地儿童探险乐园提供雪地平衡车（即配有滑雪板的雪地滑步车），可供最小两岁的孩子使用。此外，园内还提供配有滑雪板的踏板车。

静态活动

TSUDOME 还有许多较为静态的活动，比如用放大镜观察雪晶，以及将身体的一部分埋在雪中并拍摄纪念照。在冰雪节冰雪咖啡厅，游客可以用冰制作杯子，然后用这只杯子饮用软饮料或酒精饮料。游客还可以在会场内悠闲漫步，欣赏当地居民制作的“欢迎”雪雕和高中生制作的各种雪雕作品。

基本信息

TSUDOME 会场在一月的最后一天开放（比其他会场早几天），于每天上午 9 点开放至日落时分，持续开放两周。强烈建议您在前往该会场时穿着保暖的滑雪服或防雪服，并戴上帽子和手套。TSUDOME 和市中心之间有定期往返的班车和出租车。

<繁体字>

TSUDOME 的戶外活動

TSUDOME 會場距離大通公園約 10 公里，可體驗各種冬季戶外運動和娛樂活動，會場內有將近 24 種雪上娛樂項目選擇，無論年齡為何都能玩得盡興。

溜滑梯

橡皮胎滑雪樂建在 100 公尺長的斜坡上，兩側向上隆起，可確保大人和小孩的安全。會場內共有 6 條溜滑梯，可盡量縮短等待時間。

Waku Waku 溜滑梯設有幾條雪橇和雪上甜甜圈溜滑梯，其中有兩條設計成雙人雪上甜甜圈溜滑梯，可供一名成人陪同一名兒童滑行。

冰製溜滑梯則不僅設有兩條可供雙人滑行的「親子溜滑梯」，也設有單人溜滑梯。

而在隧道溜滑梯中，幼兒和孩童可以穿越雪地中的隧道，體驗快速滑行的樂趣。

其他活動

Waku Waku 雪地樂園包含 4 個區域，分別是雪地迷宮、雪地隧道、堆雪人場地和玩雪區。

園内還提供兩種雪地高爾夫項目，分別是 6 洞雪地高爾夫，以及融合了足球和高爾夫球特色的雪地「足式高爾夫」。

「雪球挑戰者」則是一種簡單的遊戲，參與者得向目標投擲雪球來贏取獎品。

「雪上泛舟」則是深受各年齡層的遊客喜愛的活動，參與者可坐上香蕉船，在雪上摩托車的牽引下在雪地滑行。

此外，這裡還有一座傳統雪橇斜坡。

適合幼童的活動

4 歲以下的兒童有多種活動可以選擇。雪地兒童探險樂園提供雪上小型自行車（即配有滑雪板的雪地滑步車），能讓最小兩歲的兒童使用。此外，園內還具備配有滑雪板的滑板車。

靜態活動

TSUDOME 還有舉辦許多較為靜態的活動，例如用放大鏡觀察雪晶，以及將身體的一部分埋在雪中，並拍攝紀念照。遊客還可以在雪祭的冰雪咖啡廳中，用自己動手做的冰製杯子喝些無酒精飲品或酒精飲料，或在會場內四處走走，欣賞當地居民為了歡迎遊客到訪而製作的雪雕，以及由高中生完成的各種雪雕作品。

基本資訊

TSUDOME 會場在一月的最後一天開放（比其他會場早幾天），每天上午 9 點開門至日落時分，持續開放兩週。強烈建議您在前往會場時，穿著保暖的滑雪服裝或防雪衣，並戴上帽子和手套。TSUDOME 和市中心之間有定時往返的接駁車和計程車。

<日本語仮訳>

つどーむ会場の内容（屋外）

つどーむ会場は大通公園から約 10 キロのところであり、様々な屋外のウィンタースポーツと楽しいアクティビティを提供してくれます。全ての年齢の人が雪の中で楽しめる約 24 のオプションがあります。

スライダー

チューブスライダーは、長さ 100 メートルのスロープを滑り降ります。大人も子供も両者の安全を保つため、スロープの両側は高くなっています。待ち時間が最少になるように、レーンは 6 つあります。

わくわくスライダーには、親子が前後に 2 人乗りするチューブ用の 2 レーンを含め、そりやチューブ用に数レーンあります。

氷のすべり台には、1 人滑り用のレーンと同様に、ペアで滑るための「親子レーン」が 2 つあります。

幼児や低年齢の子供は、トンネルすべり台で、雪のトンネルの中を勢いよく滑ることができます。

その他のアクティビティ

わくわくスノーパークには 4 つのエリアがあります。雪の迷路エリア、雪のトンネルエリア、雪だるまを作るエリア、雪遊びのエリア、です。

2 種のスノーゴルフが楽しめます。1 つは 6 ホールのスノーゴルフコースで、もう 1 つはサッカーとゴルフを融合させた雪の「フットゴルフ」です。

スノーボールチャレンジャーは、賞品を手に入れるため、標的に雪玉を投げるというシンプルなゲームです。

雪原上をスノーモービルで引っ張られる「スノーラフト」は、全ての年齢のビジターに人気です。

昔ながらのそり用のスロープもあります。

低年齢の子供向け

4 歳以下の子供に、いくつかオプションがあります。スノーキッズアドベンチャーでは、スノーストライダーというスキーが装備された雪用のストライダーを楽しめます。これは 2 歳児でも乗ることができます。スキーが装備されたキックスクーターもあります。

静けさを求めて（もっと静かに楽しむには）

つどーむでのアクティビティはよりおとなしく楽しむオプションも沢山用意しています、例えば、ループで雪の結晶を観察することもできますし、体の一部を雪の中に埋めて写真撮影もできます。雪まつりアイスカフェでは、ビジターは氷からグラスを作ることができ、そのグラスでソフトドリンクやアルコール飲料を楽しめます。さらに、地域住民が作った「ウェルカム」の意を込めた雪像と高校生が作った「スノーオブジェ」を愛でながら散歩することもオプションの 1 つです。

一般情報

つどーむ会場は、他の会場より数日早く、1 月の最終日に開き、2 週間運営されます。毎日午前 9 時に開き、日没の頃閉まります。つどーむ会場を訪れる時は、帽子と手袋、そして暖かいスキ

ーウェアかスノースーツの着用を強くお勧めします。シャトルバスとタクシーがつどーむ会場と市の中心部との間を定期的に走っています。

【タイトル】 さっぽろ雪まつり - つどいむ会場の内容（屋外）

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

TSUDOME 的户外活动

TSUDOME 会场距离大通公园约 10 公里，可提供各种冬季户外运动体验和娱乐活动。会场内有将近 24 个雪上娱乐项目可供选择，适合所有年龄段的人士参与。

滑道

雪胎滑道建在 100 米长的斜坡上，两侧向上隆起，可确保大人和孩子的安全。会场内共有 6 条滑道，可最大限度地减少等待时间。Waku Waku 滑道设有几条雪橇和雪胎滑道，其中有两条设计成双人雪胎滑道，可供一名成人和一名儿童一起滑行。冰滑道不仅设有两条可供双人滑行的“亲子滑道”，也设有单人滑道。而在隧道滑道中，幼儿和低龄儿童可以穿越雪地中的隧道，体验快速滑行的乐趣。

其他活动

Waku Waku 雪地乐园包含 4 个区域，分别是雪地迷宫、雪地隧道、堆雪人场地和玩雪区。TSUDOME 会场还提供两种雪地高尔夫项目，分别是 6 洞雪地高尔夫和融合了足球和高尔夫球特色的雪地“足式高尔夫”。游客还可以体验“雪球挑战者”活动。这是一种简单的游戏，参与者需要向目标投掷雪球来赢取奖品。“雪筏”是深受各年龄段游客喜爱的活动。游客可坐在雪筏中，在雪地摩托的牵引下在雪地上滑行。此外，园内还建有一座传统雪橇滑坡。

适合低龄儿童的活动

4 岁以下的儿童可以选择多种活动。雪地儿童探险乐园提供雪地平衡车（即配有滑雪板的雪地滑步车），可供最小两岁的孩子使用。此外，园内还提供配有滑雪板的踏板车。

静态活动

TSUDOME 还有许多较为静态的活动，比如用放大镜观察雪晶，以及将身体的一部分埋在雪中并拍摄纪念照。在冰雪节冰雪咖啡厅，游客可以用冰制作杯子，然后用这只杯子饮用软饮料或酒精饮料。游客还可以在会场内悠闲漫步，欣赏当地居民制作的“欢迎”雪雕和高中生制作的各种雪雕作品。

基本信息

TSUDOME 会场在一月的最后一天开放（比其他会场早几天），于每天上午 9 点开放至日落时分，持续开放两周。强烈建议您在前往该会场时穿着保暖的滑雪服或防雪服，并戴上帽子和手套。TSUDOME 和市中心之间有定期往返的班车和出租车。

<繁体字>

TSUDOME 的戶外活動

TSUDOME 會場距離大通公園約 10 公里，可體驗各種冬季戶外運動和娛樂活動。會場內有將近 24 種雪上娛樂項目選擇，無論年齡為何都能玩得盡興。

溜滑梯

橡皮胎滑雪樂建在 100 公尺長的斜坡上，兩側向上隆起，可確保大人和小孩的安全。會場內共有 6 條溜滑梯，可盡量減少等待時間。Waku Waku 溜滑梯設有幾條雪橇和雪上甜甜圈溜滑梯，其中有兩條設計成雙人雪上橡皮胎溜滑梯，可供一名成人陪同一名兒童滑行。冰製溜滑梯則不僅設有兩條可供雙人滑行的「親子溜滑梯」，也設有單人溜滑梯。而在隧道溜滑梯中，幼兒和孩童可以穿越雪地中的隧道，體驗快速滑行的樂趣。

其他活動

Waku Waku 雪地樂園包含 4 個區域，分別是雪地迷宮、雪地隧道、堆雪人場地和玩雪區。TSUDOME 會場還提供兩種雪地高爾夫項目，分別是 6 洞雪地高爾夫，以及融合了足球和高爾夫球特色的雪地「足式高爾夫」。遊客還可以參加「雪球挑戰者」，這種遊戲很簡單，參與者需要向目標投擲雪球來贏取獎品。另外還有深受各年齡層的遊客喜愛的「雪上泛舟」，參與者可坐上香蕉船，在雪上摩托車的牽引下在雪地滑行。此外，這裡還有一座傳統雪橇斜坡。

適合幼童的活動

4 歲以下的兒童有多種活動可以選擇。雪地兒童探險樂園提供雪上小型自行車（即配有滑雪板的雪地滑步車），能讓最小兩歲的兒童使用。此外，園內還具備配有滑雪板的滑板車。

靜態活動

TSUDOME 還有舉辦許多較為靜態的活動，例如用放大鏡觀察雪晶，以及將身體的一部分埋在雪中，並拍攝紀念照。遊客還可以在雪祭的冰雪咖啡廳中，用自己動手做的冰製杯子喝些無酒精飲品或酒精飲料，或在會場內四處走走，欣賞當地居民為了歡迎遊客到訪而製作的雪雕，以及由高中生完成的各種雪雕作品。

基本資訊

TSUDOME 會場在一月的最後一天開放（比其他會場早幾天），每天上午 9 點開門至日落時分，持續開放兩週。強烈建議您在前往會場時，穿著保暖的滑雪服裝或防雪衣，並戴上帽子和手套。另外，TSUDOME 和市中心之間有定時往返的接駁車和計程車。

<日本語仮訳>

つどーむ会場の内容（屋外）

つどーむ会場は大通公園から約 10 キロのところであり、様々な屋外のウィンタースポーツと楽しいアクティビティを提供してくれます。全ての年齢の人が雪の中で楽しめる約 24 のオプションがあります。

スライダー

チューブスライダーは、長さ 100 メートルのスロープを滑り降ります。大人も子供も両者の安全を保つため、スロープの両側は高くなっており、待ち時間が最少になるように、レーンは 6 つあります。わくわくスライダーには、親子が前後に 2 人乗りするチューブ用の 2 レーンを含め、そりやチューブ用に数レーンあります。氷のすべり台には、1 人滑り用のレーンと同様に、ペアで滑るための「親子レーン」が 2 つあります。幼児や低年齢の子供は、トンネルすべり台で、雪のトンネルの中を勢いよく滑ることができます。

その他のアクティビティ

わくわくスノーパークには 4 つのエリアがあります。雪の迷路エリア、雪のトンネルエリア、雪だるまを作るエリア、雪遊びのエリア、です。

2 種のスノーゴルフが楽しめます。1 つは 6 ホールのスノーゴルフコースで、もう 1 つはサッカーとゴルフを融合させた雪の「フットゴルフ」です。

スノーボールチャレンジャーは、賞品を手に入れるため、標的に雪玉を投げるというシンプルなゲームです。

雪原上をスノーモービルで引っ張られる「スノーラフト」は、全ての年齢のビジターに人気です。昔ながらのそり用のスロープもあります。

低年齢の子供向け

4 歳以下の子供に、いくつかオプションがあります。スノーキッズアドベンチャーでは、スノーストライダーというスキーが装備された雪用のストライダーを楽しめます。これは 2 歳児でも乗ることができます。スキーが装備されたキックスクーターもあります。

静けさを求めて（もっと静かに楽しむには）

つどーむでのアクティビティはよりおとなしく楽しむオプションも沢山用意しています。例えば、ループで雪の結晶を観察することもできますし、体の一部を雪の中に埋めて写真撮影もできます。雪まつりアイスカフェでは、ビジターは氷からグラスを作ることができ、そのグラスでソフトドリンクやアルコール飲料を楽しめます。さらに、地域住民が作った「ウェルカム」の意を込めた雪像と高校生が作った「スノーオブジェ」を愛でながら散歩することもオプションの 1 つです。

一般情報

つどーむ会場は、他の会場より数日早く、1 月の最終日に開き、2 週間運営されます。毎日午前 9 時に開き、日没の頃閉まります。つどーむ会場を訪れる時は、帽子と手袋、そして暖かいスキーウェアかスノースーツの着用を強くお勧めします。シャトルバスとタクシーがつどーむ会場と市の中心部との間を定期的に走っています。

【タイトル】 つどむ会場の内容（屋外）

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

TSUDOME 内部

在札幌冰雪节期间，TSUDOME 提供各种美食和室内活动。馆内设有出售北海道特产的各种美食摊位、一间咖啡厅、一间餐厅和配备充气游乐设施的儿童区，还会开展丰富多彩的舞台活动。场馆可容纳 3000 人，在冰雪节以外的时间作为多功能厅和体育场馆使用。

美食

北海道美食节设有各种摊位，提供来自岛内各个地区的美食。如果您想坐下来用餐，可以前往供应北海道特色美食的 TSUDOME 热咖啡厅。吉川冰雪节茶屋则供应抹茶和甜点等简单茶食。

活动

雪教育广场不仅提供关于雪和冬季运动的信息，还提供冰球等冬季运动的虚拟现实 (VR) 体验。

儿童公园内设有一座大型充气滑梯和其他攀爬与跳跃活动场地，其中包括一个北海道形状的弹跳区。儿童公园内的每处景点分别收费。平日可购买两小时通票，畅玩所有景点。

观看表演

体育馆内每天会安排各种表演，比如夜来舞和音乐剧表演，还会有人气角色登场。表演时间通常为上午 10:00 至下午 4:30。

信息和服务

咨询台以多种语言提供信息。此外，馆内还提供自动取款机和行李寄存等服务。馆外则有排队等候的班车和出租车，可将游客送回市中心。

<繁体字>

TSUDOME 内部

在札幌雪祭期間，TSUDOME 內販售各種美食並舉辦各類室內活動。館內設有販賣北海道特產的美食攤位、一間咖啡廳、一間餐廳和備有充氣遊樂設施的兒童區，還有豐富的舞台活動。場館可容納 3,000 人，在雪祭以外的時間作為多功能廳和體育場館使用。

美食

北海道美食節設有各種攤位，提供北海道各地的美食，若想坐下來用餐，可以前往販售北海道特色美食的 TSUDOME 熱咖啡廳。至於雪祭吉川茶屋，則販售抹茶和甜點等輕食。

活動

雪教育廣場不僅提供關於雪和冬季運動的資訊，還提供冰上曲棍球等冬季運動的虛擬實境（VR）體驗。

兒童公園內則設有一座大型充氣溜滑梯，以及其他攀爬與跳躍活動場地，其中包括一個北海道形狀的彈跳區。此外，兒童公園內的每個設施分別收費。平日可購買兩小時套票，暢玩所有設施。

表演

TSUDOME 內每天都會安排夜來舞、音樂劇演出等各種表演，還會有人氣角色登場，這些表演的時間通常為上午 10:00 至下午 4:30。

資訊和服務

諮詢台提供多種語言的資訊。館內還設有提款機，並提供行李寄放等服務；館外則有排隊等候的接駁車和計程車，可將遊客送回市中心。

<日本語仮訳>

つどーむ会場の内容（屋内）

雪まつりの期間中、つどーむ会場のドーム内では食べ物や屋内アクティビティが提供されます。北海道の特産物を売る食べ物屋台やカフェ、レストラン、空気で膨らませた遊具を備えたキッズパーク、ステージイベントがあります。このドームは他の時期には、3000 人を収容する多目的ホールやスポーツ会場として使われています。

食べる

北海道グルメフェアは、北海道各地の料理を提供するブースが特色です。座って食事をする場合、つどーむホット CAFE でも北海道の特産品が食べられます。一方、雪まつりの茶処よしかわは、抹茶や甘味のような軽めの食べ物を提供してくれます。

体験する

雪育ひろばは、雪とウィンタースポーツについての情報を提供します。アイスホッケーなどウィンタースポーツの VR 体験も備えています。

キッズパークには、空気で膨らませた大きなすべり台や、北海道の形をしたバウンスエリアを含め、登ったりジャンプしたりするアクティビティがあります。キッズパークの各アトラクションで料金が課され、平日は全てのアトラクションを 2 時間乗り放題のパスチケットを購入できます。

見る

ステージにはよさこい演舞を含め、様々なパフォーマンスやミュージカル公演が行われたり、人気キャラクターが登場したりします。通常午前 10 時から午後 4 時 30 分までです。

案内とサービス

インフォメーションカウンターでは、多言語でのご案内が可能です。キャッシュマシーンや手荷物預かり、その他のサービスも利用できます。ドーム内は禁煙ですのでご注意ください。ドームの外に、ビジターを市の中心地に送るシャトルバスとタクシーが並んでいます。

【タイトル】 さっぽろ雪まつり - つどーむ会場の内容（屋内）

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

TSUDOME 内部

在札幌冰雪节期间，TSUDOME 提供各种美食和室内活动。馆内设有出售北海道特产的各种美食摊位、一间咖啡厅、一间餐厅和配备充气游乐设施的儿童区，还会开展丰富多彩的舞台活动。该场馆可容纳 3000 人，在冰雪节以外的时间会作为多功能厅和体育场馆使用。

美食

北海道美食节设有各种摊位，提供来自岛内各个地区的美食。如果您想坐下来用餐，可以前往供应北海道特色美食的 TSUDOME 热咖啡厅。吉川冰雪节茶屋则供应抹茶和甜点等简单茶食。

活动

雪教育广场不仅提供关于雪和冬季运动的信息，还提供冰球等冬季运动的虚拟现实 (VR) 体验。

儿童公园内设有一座大型充气滑梯和其他攀爬与跳跃活动场地，其中包括一个北海道形状的弹跳区。儿童公园内的每处景点分别收费。平日可购买两小时通票，畅玩所有景点。

观看表演

体育馆内每天会安排各种表演，比如夜来舞和音乐剧表演，还会有人气角色登场。表演时间通常为上午 10:00 至下午 4:30。

信息和服务

咨询台以多种语言提供信息。此外，馆内还提供自动取款机和行李寄存等服务。馆外则有排队等候的班车和出租车，可将游客送回市中心。

<繁体字>

TSUDOME 内部

在札幌雪祭期間，TSUDOME 內販售各種美食並舉辦各類室內活動。館內設有販賣北海道特產的美食攤位、一間咖啡廳、一間餐廳和備有充氣遊樂設施的兒童區，還有豐富的舞台活動。這個場館可容納 3,000 人，在雪祭以外的時間作為多功能廳和體育場館使用。

美食

北海道美食節設有各種攤位，提供北海道各地的美食，若想坐下來用餐，可以前往販售北海道特色美食的 TSUDOME 熱咖啡廳。至於雪祭吉川茶屋，則販售抹茶和甜點等輕食。

活動

雪教育廣場不僅提供關於雪和冬季運動的資訊，還提供冰上曲棍球等冬季運動的虛擬實境（VR）體驗。

兒童公園內則設有一座大型充氣溜滑梯，以及其他攀爬與跳躍活動場地，其中包括一個北海道形狀的彈跳區。此外，兒童公園內的每個設施分別收費。平日可購買兩小時套票，暢玩所有設施。

表演

TSUDOME 內每天都會安排夜來舞、音樂劇演出等各種表演，還會有人氣角色登場，這些表演的時間通常為上午 10:00 至下午 4:30。

資訊和服務

諮詢台提供多種語言的資訊。館內還設有提款機，並提供行李寄放等服務；館外則有排隊等候的接駁車和計程車，可將遊客送回市中心。

<日本語仮訳>

つどーむ会場の内容（屋内）

雪まつりの期間中、つどーむ会場のドーム内では食べ物や屋内アクティビティが提供されます。北海道の特産物を売る食べ物屋台やカフェ、レストラン、空気で膨らませた遊具を備えたキッズパーク、ステージイベントがあります。このドームは他の時期には、3000 人を収容する多目的ホールやスポーツ会場として使われています。

食べる

北海道グルメフェアは、北海道各地の料理を提供するブースが特色です。座って食事をする場合、つどーむホット CAFE でも北海道の特産品が食べられます。一方、雪まつりの茶処よしかわは、抹茶や甘味のような軽めの食べ物を提供してくれます。

体験する

雪育ひろばは、雪とウィンタースポーツについての情報を提供します。アイスホッケーなどウィンタースポーツの VR 体験も備えています。

キッズパークには、空気で膨らませた大きなすべり台や、北海道の形をしたバウンスエリアを含め、登ったりジャンプしたりするアクティビティがあります。キッズパークの各アトラクションで料金が課され、平日は全てのアトラクションを 2 時間乗り放題のパスチケットを購入できます。

見る

ステージにはよさこい演舞を含め、様々なパフォーマンスやミュージカル公演が行われたり、人気キャラクターが登場したりします。通常午前 10 時から午後 4 時 30 分までです。

案内とサービス

インフォメーションカウンターでは、多言語でのご案内が可能です。キャッシュマシンや手荷物預かり、その他のサービスも利用できます。ドーム内は禁煙ですのでご注意ください。ドームの外に、ビジターを市の中心地に送るシャトルバスとタクシーが並んでいます。

【タイトル】 さっぽろ雪まつり - 市民を巻き込んだ取り組み（スノーオブジェコンテスト、地元住民手作りのウェルカム雪像）

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

TSUDOME 的小型雪雕

TSUDOME 的室外场地摆放了两组小型雪雕。

第一组是成排摆放的小型雪雕，用于问候札幌冰雪节游客，当中有创作者想传达的信息，有时还会附上他们的照片。这些“欢迎”雪雕代表了那些未在冰雪节其他会场制作雪雕的当地居民，表达札幌乃至整个北海道的人民对所有到访者的感激之情。这些小型雪雕通常会摆放在展现流行文化的较大雪雕旁边。

第二组是由当地高中美术俱乐部的学生制作的雪雕作品，往往以比如动漫人物和流行音乐家等为文化主题。这些学生就好比回溯 1950 年，制作了第一批雪雕，缔造札幌冰雪节的那群年青人。

学生制作的雪雕作品也是比赛一环，观众可以使用名为“札幌美食优惠券”的应用程序为自己喜爱的作品投票。投票者均可以参加抽奖，赢取价值 100 至 1000 日元的优惠券，这些优惠券可在指定餐厅使用。

<繁体字>

TSUDOME 的小型雪雕

TSUDOME 的戶外場地擺放了兩組小型雪雕。

第一組是成排擺放的小型雪雕，用於問候參加札幌雪祭的遊客，當中有創作者想傳達的訊息，有時還會附上他們的照片。這些用於歡迎遊客的雪雕，代表沒有在雪祭的其他會場製作雪雕的當地居民，向所有到訪者表達札幌，乃至整個北海道的居民的感激之情。這些小型的雪雕，通常會擺放在展現流行文化的大型雪雕旁邊。

第二組是由當地高中美術社學生製作的雪雕作品，往往以動漫人物和流行音樂藝人等流行文化為主題。這些學生就好比回溯西元 1950 年，製作了第一批雪雕，締造札幌雪祭的那群年青人。

學生製作的雪雕作品也是比賽一環，觀眾可以使用名為「札幌美食優惠券」的 App，為自己喜愛的作品投票。投票者均可以參加抽獎，有機會贏得價值 100 至 1,000 日圓的優惠券，可在指定餐廳使用。

<日本語仮訳>

地元住民手作りのウェルカム雪像

つどーむの屋外会場には、2 グループの小さな雪像があります。

1 つ目のグループは、小さな雪だるまの列が積み重なっており、雪まつりを訪れてくれた人に、メッセージや制作者の写真までも用いて挨拶しているのが特色です。これらの「ウェルカム」雪像は、雪まつりのために他の場所に雪像を作らなかった地域住民の代わりになっているものです。札幌、概して北海道の人々が、訪れてくれた皆さんにどんなに感謝しているかを伝えるために制作されています。これらの小さな像は、通常ポップカルチャーを表す大きな像の横に置かれています。

2 つ目のグループは、地元高校の美術部生徒によって作られた「スノーオブジェ」から成っています。これらの像はアニメや漫画のキャラクターや人気の音楽アーティストのようなポップカルチャーのテーマを反映する傾向にあります。生徒が制作者であるということは、1950 年に最初の像を制作し、さっぽろ雪まつりの立ち上げに貢献したのが子供たちのグループだったこととよく似ています。

生徒が作ったスノーオブジェはコンテストの一部です。鑑賞者は、さっぽろグルメクーポンというアプリを使って、自分のお気に入り投票できます。投票した人の中から抽選でグルメクーポンサイトの登録店で使える 100~1000 円分のクーポンがもらえます。

【タイトル】 さっぽろ雪まつり - すずきの会場があるすずきのとは

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

薄野会场

薄野是札幌夜生活的中心，这里所举办的薄野冰世界则展示了用灯光装饰的冰雕。这场活动在二月初至二月中旬举办，在此期间薄野的主要街道禁止车辆通行。街道中央整齐地摆放着由当地酒店和餐厅的厨师精心雕刻的 60 座冰雕。许多冰雕都参加了二月初活动开幕后不久举行的比赛。现场共设有 5 个投票箱，每个人都可以前往任一个投票箱为自己喜爱的作品投票。

有些冰雕的体积巨大，而几乎所有冰雕都拥有精致的细节，需要高超的技艺和极大的耐心来雕刻。现实和想象中的生物是深受欢迎的主题。过去也曾展出过各种主题的作品，比如巨型威士忌酒瓶和身着传统服装的日本宫廷人物。这些冰雕在白天熠熠生辉，夜晚在灯光的照耀下则呈现出截然不同的光彩。

薄野会场就在大通公园的南面，冰雕整齐地排列在北起薄野站、南至中岛公园的街道上。会场被划分为 6 个“区”，这些分区以字母 A 至 F 命名。

首先迎接游客的是一座巨型冰塔。接下来是 A 区和 B 区，这里会展示主要的冰雕。

C 区是参赛冰雕作品展示区，D 区则是信息中心和冰吧。冰吧由半透明的冰砖砌成，为游客提供热饮。

E 区建有名为“幻彩之路”的灯光天幕，也是冰雕表演的场地。

F 区是可以与部分冰雕互动的地方。游客可从冰滑梯上滑下，或是登上冰车。该区还展示了以热门影视角色为原型的冰雕。

<繁体字>

薄野會場

薄野是札幌夜生活的中心，這裡所舉辦的薄野冰世界，展示了在燈光照耀下的冰雕。活動在二月初至二月中旬舉辦，期間薄野的主要街道禁止車輛通行。在街道的中央，成排擺放著由當地飯店、餐廳廚師精心雕刻的 60 座冰雕，當中許多冰雕都參加了二月初活動開幕後不久舉辦的比賽。現場共設有 5 個投票箱，每個人都可以為喜愛的作品在投票箱投下一票。

有些冰雕非常巨大，而且幾乎所有冰雕的細節都相當精緻，雕刻時需要高超的技藝和極大耐心。現實和想像中的生物都是熱門主題。過去也曾展出各種主題的作品，像是巨型威士忌酒瓶，以及身著傳統服裝的日本宮廷人物。這些冰雕在白天熠熠生輝，夜晚則在燈光的照耀下，又呈現出截然不同的風貌。

薄野會場就在大通公園南邊，冰雕會整齊地排列在北邊的薄野站，到南邊中島公園的街道上。會場劃分為 6 個「區」，以字母 A 至 F 命名。

首先迎接遊客的是一座巨型冰塔。接下來是 A 區和 B 區，這裡會展示主要的冰雕。

C 區是參賽冰雕作品展示區，D 區則是資訊中心和冰雪酒吧。冰雪酒吧由半透明的冰磚砌成，為遊客提供熱飲。

E 區有名為「幻彩之路」的光廊，也是冰雕表演的場地。

F 區是可以與部分冰雕互動的地方，遊客可從冰製溜滑梯滑下，或是登上冰車。這一區還展示了以熱門電視角色為原型的冰雕。

<日本語仮訳>

すすきの会場

すすきのは札幌のナイトライフの中心地であり、ここに開催するすすきのアイスワールドはライトアップされた氷像がきらきらと飾られています。イベントは 2 月初め～中旬まで開催されます。期間中、すすきのの大通りは通行止めになります。通りの中央には、地元のホテルやレストランのシェフが彫った 60 の精巧な氷像が並びます。氷像の多くが、2 月初めにイベントがオープンした直後に開催されるコンテストに参加します。誰でも会場の 5 つの投票箱で自分のお気に入り投票できます。

氷像には巨大なものもあり、すべての氷像に優れたスキルと忍耐が必要な繊細なディテールが施されていると言えるでしょう。現実の生き物や想像上の生き物が人気のテーマであり、過去の作品には巨大なウイスキーのボトルから、伝統的な衣装を着た日本の宮廷の人物までがありました。

氷像は日中は明るくきらきらと輝いていますが、夜にライトアップされるとまったく別の表情を見せま
す。

すすきのは大通公園のすぐ南にあり、北のすすきの駅から南の中島公園に向かって通りに氷像
が並びます。氷像は A から F までの 6 つの「ブロック」に分かれています。

来場者を最初に迎えるのは、巨大な氷の塔です。次はブロック A とブロック B で、メインの氷像
が展示されています。

ブロック C には、コンテストに参加している氷像が展示されています。ブロック D には、インフォメ
ーションセンターとアイスバーがあります。アイスバーは半透明の氷のレンガでできており、温かい飲み
物を提供します。

ブロック E には、イルミネーションロードと呼ばれる光のトンネルと、氷像のデモンストレーションの
会場があります。

ブロック F は、氷像と触れ合うことができる場所です。ここでは訪問者は氷の滑り台を滑り、氷の
車に乗ることができます。また、このブロックには人気のテレビキャラクターの氷像もあります。

【タイトル】 さっぽろ雪まつり - すずきの会場があるすずきのは

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

薄野会场

薄野是札幌夜生活的中心，这里所举办的薄野冰世界则展示了用灯光装饰的精美冰雕。这场活动在二月初至二月中旬举办，在此期间，薄野的主要街道禁止车辆通行。街道中央整齐地摆放着由当地酒店和餐厅的厨师精心雕刻的 60 座冰雕。许多冰雕都参加了二月初会场开放后不久举行的比赛。现场共设有 5 个投票箱，每个人都可以前往任一投票箱为自己喜爱的作品投票。

有些冰雕的体积巨大，几乎所有冰雕都拥有精致的细节，需要高超的技艺和极大的耐心来雕刻。现实和想象中的生物是深受欢迎的主题。过去也曾展出过各种主题的作品，比如巨型威士忌酒瓶和身着传统服装的日本宫廷人物。这些冰雕在白天熠熠生辉，夜晚在灯光的照耀下则呈现出截然不同的光彩。

薄野会场就在大通公园的南面，冰雕整齐地排列在北起薄野站、南至中岛公园的街道上。会场被划分为 6 个“区”，这些分区以字母 A 至 F 命名。

首先迎接游客的是一座巨型冰塔。接下来是 A 区和 B 区，这里会展示主要的冰雕。

C 区是参赛冰雕作品展示区，D 区则是信息中心和冰吧。冰吧由半透明的冰砖砌成，为游客提供热饮。

E 区建有名为“幻彩之路”的灯光天幕，也是冰雕表演的场地。

F 区是可以与部分冰雕互动的地方。游客可从冰滑梯上滑下，或是登上冰车。该区还展示了以热门影视角色为原型的冰雕。

<繁体字>

薄野會場

薄野是札幌夜生活的中心，這裡所舉辦的薄野冰世界，展示了在燈光照耀下的冰雕，活動在二月初至二月中旬舉辦，期間薄野的主要街道禁止車輛通行。在街道的中央，成排擺放著由當地飯店、餐廳廚師精心雕刻的 60 座冰雕，許多冰雕都參加了二月初會場開放後不久舉辦的比賽。現場共設有 5 個投票箱，每個人都可以為喜愛的作品在投票箱投下一票。

有些冰雕非常巨大，而且幾乎所有冰雕的細節都相當精緻，雕刻時需要高超的技藝和極大耐心。現實和想像中的生物都是熱門主題。過去也曾展出各種主題的作品，像是巨型威士忌酒瓶，以及身著傳統服裝的日本宮廷人物。這些冰雕在白天熠熠生輝，夜晚則在燈光的照耀下，又呈現出截然不同的風貌。

薄野會場就在大通公園南邊，冰雕會整齊地排列在北邊的薄野站，到南邊中島公園的街道上。會場劃分為 6 個「區」，以字母 A 至 F 命名。

首先迎接遊客的是一座巨型冰塔。接下來是 A 區和 B 區，這裡會展示主要的冰雕。

C 區是參賽冰雕作品展示區，D 區則是資訊中心和冰雪酒吧。冰雪酒吧由半透明的冰磚砌成，為遊客提供熱飲。

E 區有名為「幻彩之路」的光廊，也是冰雕表演的場地。

F 區是可以與部分冰雕互動的地方，遊客可從冰製溜滑梯滑下，或是登上冰車。這一區還展示了以熱門電視角色為原型的冰雕。

<日本語仮訳>

すすきの会場

すすきのは札幌のナイトライフの中心地であり、ライトアップされた氷像がきらきらと飾られています。イベントは 2 月初め～中旬まで開催されます。期間中、すすきのの大通りは通行止めになります。通りの中央には、地元のホテルやレストランのシェフが彫った 60 の精巧な氷像が並びます。氷像の多くが、2 月 4 日にイベントがオープンした直後に開催されるコンテストに参加します。誰でも会場の 5 つの投票箱で自分のお気に入り投票できます。

氷像には巨大なものもあり、すべての氷像に優れたスキルと忍耐が必要な繊細なディテールが施されていると言えるでしょう。現実の生き物や想像上の生き物が人気のテーマであり、過去の作品には巨大なウイスキーのボトルから、伝統的な衣装を着た日本の宮廷の人物などがありました。氷像は日中は明るくきらきらと輝いていますが、夜にライトアップされるとまったく別の表情を見せます。

すすきのは大通公園のすぐ南にあり、北のすすきの駅から南の中島公園に向かって通りに氷像が並びます。氷像は A～F までの 6 つの「ブロック」に分かれています。

来場者を最初に迎えるのは、巨大な氷の塔です。次はブロック A とブロック B で、メインの氷像が展示されています。

ブロック C には、コンテストに参加している氷像が展示されています。ブロック D には、インフォメーションセンターとアイスバーがあります。アイスバーは半透明の氷のレンガでできており、温かい飲み物を提供します。

ブロック E には、イルミネーションロードと呼ばれる光のトンネルと、氷像のデモンストレーションの会場があります。

ブロック F は、氷像と触れ合うことができる場所です。ここでは訪問者は氷の滑り台を滑り、氷の車に乗ることができます。また、このブロックには人気のテレビキャラクターの氷像もあります。

【タイトル】 さっぽろ雪まつり - 冰像の制作方法やすすきの会場の内容

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

薄野的冰雕

薄野冰世界的冰雕已发展成为冰雪节中不可或缺的一部分。与冰雪节一样，这些冰雕利用了冬季丰富的冰块资源和低温环境，使雕塑成品在整个冰雪节期间保存完好。

展出的冰雕作品精致细腻，内容也包罗万象：从海洋生物到摩托车、漫画和动漫人物，乃至真实和想象中的动物等，不一而足。部分展出的透明冰块中甚至嵌着鱼类和贝类，看起来如同裁下一块突然冻结的海面。这些雕塑大小不一。有些高度不到1米，有些则是冰塔和为冰雪节游客提供饮料的冰吧建筑。

冰雕是薄野的传统工艺。几十年来，当地厨师一直为酒店宴席制作大型冰雕和盛放生鱼片的冰制托盘。当地甚至还有名为“冰雕刻会”的组织，专门钻研冰雕工艺。

冰雪节期间，雕塑家们会以堆叠在一起的冰块雕刻成各种形状，展示这种独特的艺术。在冰雪节的头两天还将举行最佳冰雕评选活动，游客可在会场内设置的五个投票箱其中之一投票，选出自己最喜欢的冰雕。

<繁体字>

薄野的冰雕

薄野冰世界的冰雕已成為雪祭不可或缺的一部分。和雪祭一樣，這些冰雕同樣善用冬季豐富的冰塊和低溫環境等資源，使雕塑成品可以在整個雪祭期間保持完好如初。

這裡展出的冰雕作品精緻細膩，內容也包羅萬象，從海洋生物、摩托車、動漫人物，到真實和想像中的動物皆有。部分展出的透明冰塊內甚至嵌著魚類和貝類，看似裁下一塊突然凍結的海面。這些雕塑大小不一，有些高度不到1公尺，有些則是冰塔與為雪祭遊客提供飲料的冰雪酒吧等建築。

冰雕是薄野的傳統工藝。幾十年來，當地廚師一直為飯店宴席製作大型冰雕和盛放生魚片的冰托盤。當地甚至還有名為「冰雕刻會」的組織，專門研究冰雕工藝。

雪祭期間、彫刻家會將堆在一起的冰塊雕刻成各種形狀，展示這種獨特的藝術。雪祭的前兩天還會舉行最佳冰雕評選活動，遊客可在會場內設有的五個投票箱其中之一投票，選出自己最喜歡的冰雕。

<日本語仮訳>

氷像の制作方法やすずきの会場の内容

すずきのアイスワールドでの氷の彫刻は、して知られる雪まつりの重要な一部として発展を遂げました。光の彫刻は、雪まつりと同じく、冬の資源を最大限活用しています。それは利用可能な豊富な氷と、フェスティバル期間を通して完成した氷像を無傷に保つことが可能な低い気温です。

展示されている氷像は精巧で非常に緻密に作られています。海の生き物からオートバイ、マンガやアニメのキャラクター、そして現実と想像上の動物まですべてがモチーフとなっています。突然凍った海から取ったスラブのように、魚や貝が埋め込まれている透き通った氷のブロックも展示されています。氷像のサイズは、高さ 1 メートル未満のものもあれば、塔や来場者に飲み物を提供するアイスバーなどの建物もあり、大小さまざまです。

何十年もの間、シェフがホテルの宴会の彫刻や刺身の盛り合わせのために大きな氷の塊を彫っていたため、氷像はすずきでは伝統として確立されています。氷像を専門とする氷彫刻会と呼ばれる地元の組織もあるほどです。

来場者は、彫刻家が積み重ねられた氷のスラブを彫り進めて形を作る、この珍しいアートのデモンストレーションを見ることができます。最高の氷像を決定するためのコンテストは、祭りの最初の 2 日間に開催されます。来場者は、設置されている 5 つの投票箱のいずれかでお気に入りの氷像に投票できます。

【タイトル】 さっぽろ雪まつり - 福祉ボランティアハウスの取り組みについて

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

福利志愿者之家

福利志愿者之家负责为参加札幌冰雪节的游客提供服务。这些服务包括行动支持、手语翻译、英文导引和信息，以及帮助走失儿童找到家人。服务和设备由当地居民运营的非营利组织“手拉手”提供，他们全年都会为冰雪节做准备。

行动支持

“手拉手”提供专为雪地设计的特殊轮椅和手杖。有两种轮椅可供选择。一种安装了迷你滑雪板，这种轮椅在冰雪节会场有几十台。另一种则配备低压轮胎和增加附着摩擦力的链条。此类轮椅仅有一台可供出借，因此必须提前预订。使用轮椅的游客还可以借用 Nuku Nuku，这是一种由“手拉手”组织设计的拉链式全身派克大衣。此外，现场还提供杖尖带冰锥的特殊手杖，以便使用者在冰雪路面上站稳脚步。

这些设备的使用者还可以选择在志愿者陪同下游览冰雪节。除了后勤方面的支持，这些志愿者还提供陪同游览服务和有关冰雪节的信息。

地点和预订

福利志愿者之家位于大通公园主会场 6 丁目。您可以提前在网上预订设备和其他支持服务，也可以在上午 9:00 至晚上 9:00 之间亲自到福利志愿者之家预订。设备可以送至札幌站附近的酒店以及大通公园和薄野会场。以上设备与服务均为免费。

<繁体字>

福利志工之家

福利志工之家負責為參加札幌雪祭的遊客提供行動不便人士支援、手語翻譯、英語諮詢和資訊，以及幫助走失兒童找到家人等服務。服務和設備由當地居民經營的非營利組織「手拉手」提供，他們會用一整年的時間為雪祭做準備。

行動不便人士支援

「手拉手」提供專為雪地設計的特殊輪椅和手杖，當中有兩種輪椅，一種安裝了迷你滑雪板，在雪祭會場備有幾十台。另一種則配備增加附著摩擦力的寬輪胎和鏈條，但僅有一台可供租借，因此必須提前預約。使用輪椅的遊客還可以借用 Nuku Nuku，這是由「手拉手」組織設計前開拉鍊式的全身大衣。現場還提供前端為冰爪的特殊手杖，方便使用者在冰雪路面上站穩腳步。

這些設備的使用者還能選擇在志工的陪同下參觀雪祭。除了後勤方面的支援，這些志工也提供陪同遊覽服務，以及有關雪祭的資訊。

地點和預約

福利志工之家位於大通公園主會場 6 丁目。您可以提前在網路上預約設備和其他支援服務，也可以在上午 9:00 至晚上 9:00 之間親自到福利志工之家預約。另外，設備也可以送到札幌車站附近的飯店，以及大通和薄野會場。以上設備與服務均為免費。

<日本語仮訳>

福祉ボランティアハウスの取り組みについて

福祉ボランティアハウスでは、さっぽろ雪まつりの来場者を支援するサービスを提供しています。サービスには、モビリティサポート、手話通訳、英語でのガイダンスと情報が含まれ、迷子になった子供たちとその家族の再会をお手伝いします。サービスや設備は、年間を通じて雪まつりの準備をしている地元住民が運営する「手と手」（「ハンド・トゥ・ハンド」）と呼ばれる NPO 法人によって提供されます。

モビリティサポート

手と手は、雪の日用の特別な車椅子と杖を提供します。

車椅子は 2 種類用意されています。ミニスキー付きのタイプはたくさん用意があるため、会場をご利用いただけます。もう 1 つのタイプは、追加のけん引用にバルーンタイヤとチェーンが装備されています。このタイプは 1 台しか用意がないため、予約が必要です。車いす利用者は、手と手がデザインした全身用ジップフロントパーカーのヌクヌクを借りることもできます。雪や氷の上で安定するように先端にアイスピックがついた特別な杖も貸してもらえます。

そして雪まつり来場中の車椅子ユーザーに同行するボランティアを派遣します。派遣されたボランティアは、後方支援に加えて雪まつりへの同行や情報提供をします。

場所と予約

福祉ボランティアハウスは、大通公園のメイン会場である 6 丁目にあります。備品の予約やその他のサポートは、事前にオンラインで行うか、福祉ボランティアハウスで午前 9 時から午後 9 時ま

で直接行うことができます。また、札幌駅の近くのホテル、大通、すすきのの会場に備品を届けることも可能です。設備やサービスは無料で利用いただけます。

【タイトル】 さっぽろ夏まつり - 夏まつりの歴史

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

札幌夏季欢乐节的历史

札幌夏季欢乐节是7月中旬至8月中旬在札幌举行的庆祝活动，为期一个月。自其创办之初，夏季欢乐节就注重弘扬慈善精神。活动每年都将数百万日元捐给致力于儿童福利、残疾人帮扶等慈善事业的组织。

夏季欢乐节始于1954年，最初有包括七夕星祭、焰火大会、儿童相扑比赛、龙舟赛、盂兰盆舞和捕捉萤火虫等共22项活动，地点遍及全城和丰平川。

1957年，大通公园成为夏季欢乐节的主会场，那里的啤酒花园活动如今已成为整个夏季欢乐节最吸引人的活动。札幌啤酒的历史可追溯至1876年，市内有日本名列前茅的两家啤酒公司经营的啤酒厂，以及日本唯一的啤酒博物馆。

1972年，札幌与另一个啤酒之都——德国慕尼黑结为友好城市，为夏季欢乐节带来了国际风味。札幌德国村充满德国慕尼黑啤酒节的氛围，供应德国啤酒和各种德国酒吧美食。世界啤酒广场上还供应来自其他国家的各类啤酒。与此同时，日本国内四大啤酒制造商在大通公园各有一个街区的展位，提供啤酒和佐酒美食。

大通公园夏季欢乐节还包括8月中旬举行的北海盂兰盆舞。活动期间，札幌电视塔附近的2丁目会专门建造一座塔，夜间有舞者绕塔表演。

8月第一个周末举行的薄野节是另一项重要活动。薄野毗邻大通公园南端，节日期间该区域主要进行游行和舞蹈表演。

<繁体字>

札幌夏季歡樂節的歷史

札幌夏季歡樂節是 7 月中旬至 8 月中旬在札幌舉辦的慶祝活動，為期一個月。從創辦之初，夏季歡樂節就注重弘揚慈善精神，活動每年都將數百萬日圓捐贈給致力於推動兒童福利、幫助身心障礙者等慈善事業的組織。

夏季歡樂節始於西元 1954 年，最初有七夕星祭、煙火大會、兒童相撲比賽、划船慶典、盆舞和捕捉螢火蟲等 22 項活動，地點遍及全城和豐平川。

西元 1957 年，大通公園成為夏季歡樂節的主會場，所舉辦的啤酒花園，如今已成為整個夏季歡樂節最吸引人的活動。札幌啤酒的歷史可追溯到西元 1876 年，市內有兩家日本最大的啤酒公司經營的啤酒廠，以及日本唯一的啤酒博物館。

西元 1972 年，札幌與另一個啤酒之都——德國慕尼黑締結為姐妹市，為夏季歡樂節增添了國際色彩。札幌德國村販售德國啤酒和各種德國酒吧美食，洋溢著慕尼黑啤酒節的氛圍。世界啤酒廣場上還供應來自其他國家的各類啤酒，另一方面，日本國內四大啤酒製造商也各自在大通公園設有攤位，販售啤酒和適合下酒的料理。

在大通公園舉辦的夏季歡樂節活動，還包括 8 月中旬的北海盆舞。活動期間，札幌電視塔附近的 2 丁目會專門建造一座塔，夜間會有舞者繞塔表演。

另項重要活動是在 8 月第一個週末舉辦的薄野祭。薄野靠近大通公園南端，祭典期間的重頭戲為遊行和舞蹈表演。

<日本語仮訳>

さっぽろ夏まつり - 夏まつりの歴史

さっぽろ夏まつりは、7 月中旬から 8 月中旬にかけて札幌全体で 1 ヶ月間開催されます。さっぽろ夏まつりの最初から変わらず受け継がれているのは、チャリティーの精神です。ひとり親家庭や障がい者福祉団体など、児童福祉を専門とする福祉団体に毎年数百万円を寄付しています。

さっぽろ夏まつりは、七夕星まつり、花火大会、こども相撲大会、ボート祭り、盆踊り、ほたる狩りなど 22 のイベントを集めて 1954 年に始まりました。このようなイベントは豊平川をはじめ市内各地で行われていました。

1957 年には大通公園がメイン会場となり、そこで開催されるビアガーデンが今の祭りの目玉となっています。札幌のビールの歴史は 1876 年にさかのぼります。札幌には、日本最大のビール会社 2 社が経営する醸造所と、国内で唯一のビール博物館があります。

1972年に札幌市はドイツのミュンヘン（もう1つのビールの首都）と姉妹都市関係を確立したことで、さっぽろ夏まつりは国際色豊かになりました。札幌ドイツ村では、オクトーバーフェストの精神に基づいて、ドイツのビールやあらゆる種類のドイツのパブ料理を提供しています。世界のビール広場では、他の国のビールも楽しめます。一方、国内の大手醸造所4社は、大通公園のそれぞれの会場でビールとビールに合う料理を提供します。

また、大通公園では、さっぽろ夏まつりのもうひとつのイベントである北海盆踊りが8月中旬に開催されます。夕方には、さっぽろテレビ塔近くの2丁目に特別に建てられたやぐらを踊り手が取り囲みます。

もう一つの重要なイベントは、8月の最初の週末に開催されるすすきの祭りです。すすきの大通公園の南端に隣接しており、メインイベントはパレードやダンスパフォーマンスです。

【タイトル】 さっぽろ夏まつり - 福祉協賛ビアガーデン

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

札幌大通啤酒花园

札幌夏季欢乐节的重头戏是大通公园的啤酒花园，活动从7月中旬一直持续到8月中旬。啤酒花园划分为公园内的六个区域：从5丁目到8丁目，以及10丁目和11丁目，共设有13,000个座位，是全国最大的啤酒花园。啤酒节的一个重要特点是支持慈善事业，啤酒花园的部分收益将捐给慈善机构。

札幌、朝日、麒麟和三得利是日本四大啤酒厂，它们的啤酒花园位于5丁目和8丁目之间的街区，在大通公园的中心地段。四家啤酒厂提供只能在啤酒节上品尝到的限量版啤酒。再往前走，10丁目は世界啤酒广场，11丁目则是札幌德国村。此外，啤酒节还供应小酒厂精酿啤酒。购买啤酒既可以选择品酒套装，也可以选择更大规格，如三升装啤酒柱。

披萨、香肠、椒盐脆饼和牛肉开胃菜等佐酒美食一应俱全。“成吉思汗烤肉”是北海道的特色菜，以羔羊或羊肉配上大量蔬菜一同烤制而成。这道菜的名称之所以在日文中带有“成吉思汗”，据说是因为烹饪这道菜的平底锅很像蒙古士兵的头盔。您可以在每个摊位直接购买食品和饮料，也可以使用在售票处购买或向专职人员购买的消费券。

各街区均有几种座位可供选择：露天或带顶棚的非预订座位、站立式吧台座位和预订座位。某些区域的座位很快就会坐满，但外地游客可通过酒店礼宾服务预订招待座位。

<繁体字>

札幌大通啤酒花园

札幌夏季歡樂節的重頭戲是大通公園的啤酒花園，活動從7月中旬一直持續到8月中旬。啤酒花園在公園內劃分為6個區域，分別是5丁目到8丁目，以及10丁目和11丁目，當中總共設有13,000個座位，是日本規模最大的啤酒花園。支持慈善事業是夏季歡樂節重要的特徵，啤酒花園的部分收益將捐贈給慈善機構。

札幌、朝日、麒麟和三得利為日本四大啤酒製造商，它們的啤酒花園位於 5 丁目和 8 丁目之間的街區，就在大通公園的中心位置。四家啤酒製造商販售只有在夏季歡樂節才喝得到的限量版啤酒。再往前走，10 丁目は世界啤酒廣場，11 丁目則是札幌德國村。此外，您還可以在這裡一嘗小酒廠釀造的精釀啤酒。購買啤酒時既可以選擇品酒套裝，也能選擇容量更大的選項，例如三公升裝的啤酒柱。

披薩、香腸、椒鹽卷餅和牛肉開胃菜等適合下酒的料理也一應俱全。北海道的特色料理為成吉思汗烤肉，以羔羊或羊肉搭配大量蔬菜一同燒製而成。之所以名字中帶有「成吉思汗」，據說是因為用於烹飪這道料理的平底鍋很像蒙古士兵的頭盔。您可以在每個攤位直接購買美食和飲料，也能使用在售票處或向專門負責售票的工作人員購買的消費券。

各街區均有露天或上方有頂棚的非預訂桌邊座位、站立式吧台座位，以及預訂座位等多種座位可供選擇。某些區域的座位很快就會坐滿，但外地遊客可透過飯店禮賓服務去預訂招待座位。

<日本語仮訳>

福祉協賛ビアガーデン

さっぽろ夏まつりの目玉は、7 月中旬から 8 月中旬にかけて大通公園で開催されるビアガーデンです。ビアガーデンは大通公園の 5 丁目から 8 丁目までと、10 丁目と 11 丁目で 6 つのセクションに分かれています。合計 13,000 席あり、国内最大のビアガーデンとなっています。さっぽろ夏まつりの重要な特徴のひとつが慈善団体への支援であり、ビアガーデンからの収益の一部は慈善団体に寄付されます。

日本の大手の醸造所 4 社は、サッポロ、アサヒ、麒麟、サントリーです。この 4 社のビアガーデンは大通公園の中心、5 丁目から 8 丁目の会場にあります。最大手の 4 社の醸造所は、さっぽろ夏まつりでしか飲めない限定のビールを提供しています。大通公園をさらに進むと 10 丁目には世界のビール広場があり、11 丁目には札幌ドイツ村が続きます。地ビールのクラフトビールも提供しています。ビールはテイastingセットだけでなく、3 リットルのタワーピッチャーのような大きなサイズでも注文できます。

ピザ、ソーセージ、プレッツェル、ビーフオードブルセットなど、ビールとよく合う食べ物がたくさんあります。北海道で特別なメニューはジンギスカンです。ジンギスカンは、野菜をたっぷり使ったバーベキューラム、またはマトンです。ジンギスカンという名前は、モンゴルの兵士の兜に似た金属製のフライパンで調理されていることからその名が付けられました。食べ物や飲み物は、チケットカウンターまたは専門のチケットスタッフから購入できるチケットを使って、各屋台で直接注文できます。

それぞれの会場に色々な座席オプションがあります。予約なしテーブル、屋根付きまたは屋根なしのテーブル席、スタンディングバー、予約席などです。一部のエリアの座席はすぐにいっぱいになります。ただし、札幌にあるホテルに宿泊中の市外からのゲストがホテルのコンシェルジュサービスを通じて予約できる、おもてなしシートの手配ができるかもしれません。

【タイトル】 さっぽろ夏まつり - 北海盆踊り

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

北海盂兰盆舞

札幌夏季欢乐节的其中一项尾声活动是北海盂兰盆舞，于8月中旬在大通公园举行。此时期为盂兰盆节，是迎接亡灵回到人世、与亲人短暂团聚的传统节日。

而盂兰盆舞是节日期间的一种舞蹈，人们相信亡灵会在其中与生者共舞。任何人都可以加入舞蹈的人群。盂兰盆舞的许多舞步和手势都很简单，而且多次重复，因此很快就能上手。

舞蹈每天晚上6点开始，头阵是孩子们喜欢的简单舞蹈，参加舞蹈的孩子还能获得一份小礼物。每天还会有“仅限儿童”的特别抽奖活动，中奖者可以击打塔顶的大太鼓。抽奖报名会在表演开始前一刻截止。

金宾夏季欢乐节

在节日的头两天，人们可以品尝金宾“嗨棒”鸡尾酒、享受音乐、舞蹈表演和节日美食。与传统的盂兰盆舞音乐不同，节日活动期间，DJ播放的音乐涵盖流行歌曲、西洋音乐和民谣等各种类型。

化装比赛

节日最后一天的晚上，大通公园3丁目会举行化装比赛。身着盛装的舞者通常会在游行后加入盂兰盆舞。参赛申请于7月初开放，参与者可以下载申请表，并通过电子邮件、传真或邮寄方式提交。

<繁体字>

北海盆舞

札幌夏季歡樂節的其中一項尾聲活動為北海盆舞，於8月中旬在大通公園舉行，此時期為盂蘭盆節，是迎接亡靈回到人世、與親人短暫團聚的傳統節日。

盆舞是盂蘭盆節期間的一種舞蹈，人們相信亡靈會在跳盆舞時與生者共舞。任何人都可以加入舞蹈的人群。盆舞的許多舞步和手勢都很簡單，再加上多次重複，因此很快就能掌握。

舞蹈每天晚上 6 點開始，頭陣是孩子們喜歡的簡單舞蹈，參加的孩子還能獲得一份小禮物。每天會有「僅限兒童」的特別抽獎活動，中獎者可以敲打塔頂的大太鼓。抽獎報名會在表演開始前一刻截止。

Jim Beam 夏季歡樂節

在祭典的前兩天，人們可以品嚐 Jim Beam highball 雞尾酒、享受音樂、舞蹈表演和祭典美食。與傳統的盂蘭盆舞音樂不同，活動期間 DJ 播放的音樂涵蓋流行歌曲、西洋音樂和民謠等各種豐富的曲風。

扮裝大賽

祭典最後一天的晚上，大通公園 3 丁目會舉行扮裝大賽，扮裝的舞者通常會在遊行後加入盆舞的行列。參賽申請於 7 月初開放，參與者可以下載申請表，並透過電子郵件、傳真或郵寄方式提交。

<日本語仮訳>

北海盆踊り

さっぽろ夏祭りの最後のイベントの一つが、8 月中旬に大通公園で行われる「北海盆踊り」です。この時期はお盆の時期で、この世に戻ってきた死者の霊を迎えて親族との短い再会を祝う伝統的なお祭りです。

盆踊りは、この時期に行われる踊りの一種で、死者の霊が生者と一緒に踊ると考えられています。踊りの輪には誰でも参加できます。ステップや動きはシンプルで、何度も繰り返すので、すぐに覚えられます。

毎晩 18 時から子供が楽しめる簡単な踊りが始まり、子供は参加するとささやかなプレゼントがもらえます。また、毎日「子供限定」の抽選会があり、当選者には櫓の大きな太鼓を叩いてもらうことができます。抽選会への応募は午後 6 時の開演まで受け付けています。

ジムビーム夏祭り

初日の2日間は、ジムビームハイボールや音楽、ダンス、フェスフードなどが提供されます。伝統的な盆踊りの音楽から出発し、POPや洋楽、フォークソングなど様々なジャンルの曲をDJが選曲します。

仮装大会

最終日の夕方、大通公園3丁目で仮装大会が行われます。仮装した踊り子は、パレードの後、後から盆踊りに参加することが多いです。コンテストへのエントリーの申し込みは、7月上旬からダウンロードでき、メール、FAX、郵送で受け付けています。

【タイトル】 さっぽろ夏まつり - すずきの祭り

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

薄野节

薄野节在 8 月第一个周末的晚上举行，为期三天。在此期间，街道两侧会摆满小吃摊，并禁止车辆通行。主要活动包括一些游行和舞蹈表演，最后一天还有来自札幌各地的神輿游行，热闹非凡。

来自北海道各地的太鼓表演队齐聚一堂，薄野节在太鼓的回荡声中拉开序幕。伴随阵阵鼓点，妇女们身着精致华丽的服饰，妆扮成江户时代（1603-1867 年）的高级游女（即“花魁”），展开花魁巡游活动。

第二天，本地和来自各国的团队会在街头表演舞蹈。在这一天，将举行“夜来舞”比赛，身着华丽服装的演员们会以群舞的形式，在比赛中大显身手。夜来舞起源于 20 世纪 50 年代，是德岛县传统阿波舞的一种现代形式，其编舞充满了活力。

新增的桑巴狂欢节游行也在第二天进行。身着巴西狂欢节盛装的舞者沿薄野的大道表演，随后在附近的大通啤酒花园登台献艺。该巡游活动于 2019 年首次举行，当时有 13 支队伍共 635 人参加。

第三天，也是薄野节最后一天，数百人抬着神輿穿过札幌，聚集在薄野街区入口处。神輿共有七顶，需要多达 1000 人搬运。其中最大的一顶重达 1.5 吨，需要 100 人一同搬运。人群簇拥在神輿周围，随之移动，其中有一些人会准备好接替第一批抬神輿者。人们从北海道各地前来参加。

<繁体字>

薄野祭

薄野祭在 8 月第一個週末的晚上舉行，為期三天，期間街道兩側會擺滿小吃攤，並禁止車輛通行。祭典的主要活動包括幾場遊行和舞蹈表演，最後一天還有來自札幌各地的神輿遊行，氣氛非常熱鬧。

來自北海道各地的太鼓表演隊齊聚一堂，讓薄野祭在迴盪的太鼓聲中拉開序幕。伴隨陣陣鼓聲，婦女們身著精緻華麗、色彩鮮豔的服飾，裝扮成江戶時代（西元 1603-1867）的花魁（高級游女），展開花魁遊行活動。

第二天，本地和各國的團隊會在街頭表演舞蹈。這天也會舉行「夜來舞」比賽，由眾多身著華麗服裝的表演者組成各個團隊，在比賽中大顯身手。夜來舞是德島縣傳統阿波舞的現代演繹，起源於西元 1950 年代，舞步經過精心編排，充滿活力。

札幌夏季歡樂節新增的森巴狂歡節遊行也在第二天舉行，身著巴西狂歡節盛裝的舞者先沿著薄野的大道表演，隨後在附近的大通啤酒花園登台。這項遊行活動在西元 2019 年首次舉行，當時有 13 支隊伍，共 635 人參加。

第三天，也是祭典最後一天，數百人抬著神輿穿梭在札幌市內，聚集在薄野街區入口處。神輿總共有 7 部，需要 1,000 人投入參與，其中最大的一部重達 1.5 公噸，需要 100 人一起搬運。人群簇擁在神輿周圍，並隨之移動，其中有些人會準備好接替第一批抬神輿者。人們從北海道各地前來參加。

<日本語仮訳>

すすきの祭り

8 月の最初の週末の 3 日間、夕方から夜にかけて「すすきの祭り」が開催されます。この間、道路は通行止めになり、屋台が立ち並びます。主なイベントとしては、パレードや踊りなどが行われ、最終日には各地の神輿の行列が賑やかに行われます。

道内各地から集まったチームが一堂に会し、太鼓の音に包まれて祭りが始まります。太鼓の音に合わせて、江戸時代（1603-1868 年）の花魁に扮した女性たちが、精巧でカラフルな時代衣装を身にまとい、「おいらん行列」が始まります。

2 日目は、国内外のチームによる踊りが次々と通りを練り歩きます。この日は、豪華な衣装に身を包んだ大所帯の踊り手たちによる「よさこい」競演の日です。よさこいは、1950 年代に徳島県の伝統的な阿波踊りを現代風にアレンジしたもので、エネルギッシュな動きと振り付けが特徴です。

また、2 日目には、新たに加わったブラジルのカーニバルをテーマにした「サンバカーニバルパレード」が開催されます。ブラジルのカーニバルスピリットを身にまとったダンサーたちが、すすきの通りを練

り歩き、近くの大通ビアガーデンのステージでパフォーマンスを披露します。このパレードの初年度となる2019年は、13チーム、635人が参加しました。

最終日には、数百人の人々が神輿を担いで札幌市内を練り歩き、すすきのの入り口に集まります。1000人ものが7つの神輿を担ぐ必要があります。最大のものは重さ1.5トン、担ぐのに100人が必要です。神輿を取り囲み、神輿と一緒に移動する集団の中には、最初の担ぎ手の代わりとなる人たちがいて、道内各地から参加するために人が集まってきます。

【タイトル】 さっぽろオータムフェスト - 開催コンセプト

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

札幌秋季丰收节

北海道以丰富优质的食品而闻名，其中很多可以在秋季的札幌大通公园品尝到。从9月中旬开始的三个星期里，道内各地的餐厅和生产商都会带着丰收的成果聚集到公园，举行美食庆祝活动。地道特产包括鹿肉和其他野味，牛肉和奶制品，海鲜、水果和蔬菜，用当地原料酿制的啤酒、葡萄酒和清酒，以北海道小麦制作的拉面等等。许多产品都是有机生产的，其高品质得益于岛上纯净的水源和洁净的土壤。

最能总括丰收节气氛的一个关键词是“食倒”。这是一个日本常见的流行语，甚至在5丁目还有以它命名的“食倒广场”。“食倒”字面意思是“吃到倒下”（无论是身体上还是经济上），蕴含“吃到破产”之意。本着这种精神，许多游客来丰收节就是为了尽可能多地品尝北海道美食。

札幌秋季丰收节于2008年首次举办，是该市大型季节性活动中历史最短的一个。现在，它每年吸引着200多万来客。活动的最初目标之一是振兴整个北海道。早期，大通公园每年举行美食集会，全岛各城镇的特色食品和饮料汇聚一堂。活动在此基础上不断扩展，逐渐形成现在的丰收节。

丰收节活动亦是赫赫有名的德国慕尼黑啤酒节之北海道复刻版，这反映了札幌与慕尼黑之间始于1972年的友好城市纽带。

<繁体字>

札幌秋季豐收節

北海道以豐富優質的美食聞名，其中許多都可以在秋季的札幌大通公園品嚐到。從9月中旬開始的三週裡，北海道各地的餐廳和生產商都會帶著豐收成果，聚集到公園舉行美食盛會。道地特產包括鹿肉和其他野味，牛肉和乳製品，海鮮、蔬菜水果，以當地原料釀造的啤酒、葡萄酒和清酒，用北海道種植的小麥製作的拉麵等等。許多產品都是有機生產，而且多虧北海道的純水和潔淨土壤，品質都非常優良。

最能總括豐收節氣氛的一個關鍵詞是「食い倒れ」，這是一個日本常見的流行語，甚至在 5 丁目還有以它命名的「食倒廣場」。這個詞字面上的意思是「吃到倒下」（無論是身體上還是經濟上），蘊含的意思為吃到破產。本著這種精神，許多遊客參加豐收節就是為了盡可能多品嚐北海道美食。

札幌秋季豐收節於西元 2008 年首次舉辦，是札幌大型季節性活動中歷史最短的一個，如今它每年吸引 200 多萬名遊客前來參加。活動最初的目標之一是振興整個北海道。大通公園在早期每年已會舉辦美食集會，北海道各城鎮的特色美食和飲品齊聚一堂，由此活動不斷發展，逐漸形成現在的豐收節。

豐收節活動還打造了赫赫有名的德國慕尼黑啤酒節之北海道復刻版，也反映了札幌與慕尼黑從西元 1972 年起便建立的姊妹市情誼。

<日本語仮訳>

さっぽろオータムフェスト

北海道は食が豊かでおいしいことで知られていますが、その多くは秋になると札幌の大通公園に出現します。9 月中旬から 3 週間にわたり、島内各地のレストランや生産者が、収穫した食材を公園に持ち込んで美食の祭典を開催します。鹿肉などの野生動物、牛肉や乳製品、魚介類、果物や野菜、ビール、北海道産の原料で醸造するワインや日本酒、道産小麦麵を使用したラーメンなど、地域の特産品が勢ぞろい。これらの多くは有機栽培で生産されており、その品質の高さは島の澄んだ水ときれいな土壌に起因しています。

祭りの雰囲気を知る上で重要な「くだおれ」は、5 丁目の「くだおれ広場」の名前にも登場するほどの言葉です。「くだおれ」とは、破産するほどたくさん食べるという意味で、文字通り（肉体的にも比喩的にも）、倒れるまで食べることを意味しています。つまり、多くの人にとって北海道の恵みを存分に味わうことが目的なのです。

2008 年にスタートしたこのフェスティバルは、北海道の主要な季節イベントの中では最も新しいものです。現在では毎年 200 万人以上の来場者があります。このイベントのもともとの目的の一つは、北海道全体の活性化です。大通公園で開催されていた「大通まつり」を発展させたもので、道内各町の名物料理が一堂に会します。

また、ドイツ・ミュンヘンで開催されるビールの祭典「オクトーバーフェスト」の北海道版もあります。これは、1972 年に始まった札幌とミュンヘンの姉妹都市関係を反映したものです。

【タイトル】 さっぽろオータムフェスト - 開催内容

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

节日指南

札幌秋季丰收节覆盖了大通公园的大部分区域，主要活动集中在1丁目、4丁目至8丁目、10丁目和11丁目。每个区域都有独特的氛围和不同的重点。整个节日期间，每天都有约200个摊位开放，新的摊位也会陆续增加。

1 丁目：德国慕尼黑啤酒节

这一德国式啤酒节是札幌与慕尼黑长期密切友好城市关系的衍生产物，主要举办地位于札幌电视塔下。游客可以在现场乐队演奏的传统德国音乐中，品味来自德国和北海道的精酿啤酒，仿佛置身于德国慕尼黑。在这里还可品尝到香肠和其他德国美食，以及各种北海道特色菜。

4 丁目：札幌迎宾公园

这里是秋季丰收节的门户。许多摊位会供应北海道时令食材烹制的佳肴，以肉类和海鲜为主。这里有葡萄酒吧，还提供鸡尾酒、香槟和清酒，游客们可以在公园中心大喷泉周围的座位上尽情畅饮。

5 丁目：拉面盛宴和食倒广场

北海道以使用旭川小麦制作的拉面而闻名，5 丁目は品尝全岛各种拉面的好地方。水果和软冰淇淋也是该街区的另一个亮点。5 丁目的高大树木和纷纷落叶，为人们享用美酒佳肴营造了浓厚的氛围。白天这里还有一系列舞台活动。

6 丁目：餐厅

节日期间，札幌许多人气餐厅都在这里设立了临时店面。该街区的大树下摆放了餐桌，提供充足的用餐空间。

7 丁目：酒吧

该街区的特色是北海道葡萄酒和来自海外的佳酿，以及适合搭配葡萄酒的各种美食，如奶酪、烤牡蛎等。这里有许多出售葡萄酒、苹果酒、威士忌和日本烧酒的商店。

8 丁目：北海道集市

在这个街区里，游客们可以品尝到来自北海道 100 多个城镇的地方特色美食。这里的北海道地图会展示各摊点所代表城镇的具体位置，给人以身临其境游览北海道的感觉。

10 丁目：Oh! Dori 农场

这个街区专门出售各种肉类和野味，有大量鹿肉、猪肉、羊肉、鸡肉和牛肉可供选择。北海道著名的野味店也在这里设有摊位。

11 丁目：世界美食

这里有札幌各著名餐厅的大厨们为您奉上自己的拿手菜。其中许多菜肴来自民族和国际化菜系，还有来自世界各地的葡萄酒和啤酒，为该街区的菜单锦上添花。

<繁体字>

祭典參觀指南

札幌秋季豐收節的範圍，涵蓋大通公園的多半區域，主要的活動集中在 1 丁目、4 丁目至 8 丁目、10 丁力和 11 丁目，每個區域都有獨特的氛圍和不同重點。在祭典期間，每天約有 200 個攤位，而且還會陸續增加新的攤位。

1 丁目：慕尼黑啤酒節

促成這場德式啤酒節，代表札幌、慕尼黑長期以來親密的姊妹市情誼，舉辦地點位於札幌電視塔下。遊客不但可以一邊聆聽現場樂隊演奏傳統的德國音樂，一邊暢飲來自德國和北海道的精釀啤酒，感受彷彿置身於德國慕尼黑的氛圍，還能品嚐香腸和其他德國美食，以及各種北海道特色料理。

4 丁目：札幌迎賓公園

這座公園是秋季豐收節的門戶。許多攤位會販售用北海道時令食材製作的美食，以肉類和海鮮為主。這裡也有葡萄酒吧，還提供雞尾酒、香檳和清酒，遊客們可以盡情在公園中心大噴泉周圍的座位上暢飲。

5 丁目：拉麵盛宴和食倒廣場

北海道以使用旭川小麥製作的拉麵聞名，5 丁力是品嚐北海道各種拉麵的好地方。這裡販售的水果和霜淇淋也不容錯過。此外，5 丁力還有高大的樹木和紛紛落葉，營造出適合享用美酒與美食的絕佳氛圍。不僅如此，白天還有豐富的舞台活動可以欣賞。

6 丁目：餐廳

祭典期間，札幌許多人氣餐廳都設立了臨時攤位。這個街區的大樹下還有擺放餐桌，提供充足的用餐空間。

7 丁目：酒吧

這個街區的特色是北海道出產的葡萄酒，以及海外各地的上等好酒，還有起司、烤牡蠣等各種適合搭配葡萄酒的美食。另外，這裡也設有許多販售葡萄酒、蘋果酒、威士忌和日本燒酒的商店。

8 丁目：北海道市場

在這個街區中，遊客們能一次品嚐到來自北海道 100 多個城鎮的地方特色美食。這裡還設置了北海道地圖，展示各攤位所代表城鎮的具體位置，增添親身遊覽北海道的感覺。

10 丁目：Oh! Dori 農場

這個街區專門販售各種肉類和野味，有大量鹿肉、豬肉、羊肉、雞肉和牛肉可選擇。北海道知名的野味店也有在此設攤。

11 丁目：世界美食

這裡札幌各大知名餐廳的大廚雲集，準備好端出自己的拿手料理，其中許多為民族特色料理和世界各國的美食，還有來自世界各地的葡萄酒和啤酒，為到來的遊客提供豐富的用餐選擇。

<日本語仮訳>

オータムフェスト開催内容

さっぽろオータムフェストは大通公園の長さに匹敵するほど広がっており、1 丁目、4 丁目 8 丁目、10 丁目、11 丁目に出店のほとんどが集中しています。それぞれのエリアで趣向を凝らしたものが、それぞれに特色があります。1 日に約 200 軒の露店が出店し、祭りの期間中は新しい露店が登場します。

1 丁目：オクトーバーフェスト

札幌テレビ塔の下で開催されるドイツスタイルのビールフェスティバルは、札幌とミュンヘンの長年にわたる姉妹都市としての親密な関係から生まれたものです。ドイツの伝統音楽の生演奏が、ドイツと北海道の地ビールにミュンヘンらしい雰囲気醸し出します。ソーセージなどのドイツ料理をはじめ、北海道の様々な名物料理がメニューに並びます。

4 丁目：札幌ウェルカムパーク

オータムフェストの入り口です。北海道の旬の食材を使った料理を提供する屋台が多数出店し、肉料理や魚介類を中心としたメニューを提供しています。ワインバーもあり、公園中央の大きな噴水を囲む席では、カクテルやシャンパン、日本酒などを楽しむことができます。

5 丁目：ラーメンフェスとくいだおれ広場

北海道といえば、旭川産の小麦を使ったラーメンが有名です。ここでは、道内各地の様々な種類のラーメンとしてその麺を味わうことができます。フルーツやソフトクリームもこの注目アイテムのうちの1つです。このエリアにある巨木と落ちてくる葉が、ワインや食事を楽しむ雰囲気のある場所を提供してくれます。日中はステージイベントも充実しています。

6 丁目：レストラン

札幌で最も人気のあるレストランの多くが、祭りの期間中、ここに一時的な場所を設置します。公園のこのセクションの大きな木の下に設置されたテーブルには、十分なダイニングスペースがあります。

7 丁目：バー

北海道のワインをはじめ、海外のワインやチーズ、牡蠣のグリルなど、ワインに合う食材を取り揃えています。ワインやハードサイダー、ウイスキー、焼酎などのお店も多い。

8 丁目：北海道市場

北海道の100以上の町のご当地グルメが勢ぞろいしており、ここだけで北海道全体の名物を味わうことができます。また、北海道の地図上には各町の位置がピンポイントで表示されており、まるでバーチャルツアーをしているかのような感覚を味わえます。

10 丁目：Oh! Dori

このブロックは肉と狩猟肉のブロックであり、鹿肉、豚肉、子羊肉、鶏肉、牛肉を豊富に取り揃えています。北海道の名店も出店しています。

11 丁目：世界の料理

札幌を代表するレストランのシェフが腕を振ります。エスニック料理や世界各国の料理を中心に、世界各国のワインやビールなどを取り揃えています。

【タイトル】 さっぽろオータムフェスト - 食の安全安心の取組

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

从产地到餐桌的食品安全

北海道产食品的高品质源于环境。清洁的土壤和水源，以及对有机农业和可持续发展实践的重视，造就了这里纯净优质的产品。秋季丰收节的组织方确保在札幌亮相的各种产品都符合食品安全要求。

北海道是人与自然和谐共处的典范，这体现在“里山”的概念中。人们通常认为“里山”是指居住在高地的山坡上，而在地势较低的地方耕种田地。在北海道，“里山”包括乡村社区周围的山脉、树林、农场、田野和河流。

秋季丰收节上展示的产品来自北海道各地，生长在这片延伸的里山之上。在整个节日期间，保持食品质量和安全至关重要。主办方和供应商非常重视食品安全和卫生。场地管理人员和供应商会参加食品安全和卫生研讨会。研讨会由外部专家主办，每年召开 12 次。外部专家还对丰收节会场的厨房进行 16 次检测，以确保活动期间的食品安全。

我们号召参观者一起守护丰收节的食品安全。建议您勤洗手，5 丁目、7 丁目、9 丁目和 11 丁目的卫生间均提供洗手液。此外，请尽量避免将散装易腐食品带回家。

<繁体字>

從產地到餐桌的食品安全

北海道出產的優質食物源於環境，因為有乾淨的土壤和水源，加上對有機農業和永續發展作法的重視，造就出北海道質純優良的產品。秋季豐收節的主辦方盡心盡力，確保帶往札幌展出的各種產品都符合食安要求。

北海道是人與自然和諧共處的典範，體現在「里山」的概念中。人們通常認為「里山」是指居住在高地的山坡上，在下方地勢較低的地方耕種田地。在北海道，「里山」包括鄉村社區周圍的山脈、樹林、農場、田地和河流。

秋季豊收節上展示の産品來自北海道各地，生長在這片延伸的里山。整個祭典期間，保持食物的品質和安全至關重要。主辦方和供應商都非常重視食安和衛生，場地管理人員和供應商會參加食安和衛生研討會。這類研討會由外部專家主辦，每年召開 12 次。外部專家還對豊收節會場的廚房進行 16 次檢測，確保活動期間的食安。

我們鼓勵前來參加祭典的遊客一起守護豊收節的食安，並建議大家勤洗手。5 丁目、7 丁目、9 丁目和 11 丁目的廁所均有提供洗手乳。此外，請盡量不要帶大量容易腐壞的食品回家。

<日本語仮訳>

食の安全安心の取組

北海道の質の高い食材は、環境から始まります。清らかな土壌と水、有機栽培や持続可能な農業にこだわり、純度の高い食材を生産しています。オータムフェストの主催者は、こういった商品を札幌に持ち込む際に、食の安全性が確保されることを遵守しています。

北海道は人と自然が共存している代表的な場所であると言えます。それは「里山」—通常、平坦な地面で畑を耕しながら高地の斜面に住む暮らしと考えられています—という考え方にも表れています。北海道では、里山とは農村を取り巻く山や森、畑、畑、川などのことを指します。

オータムフェストに出品される商品は、北海道各地の里山で生産されたものです。祭り期間中の食の品質と安全性を保つことが何よりも重要であると考えられています。主催者や出店者は、食の安全と衛生に細心の注意を払っています。会場管理者や業者は、外部の専門家による、毎年 12 回開催されている食品安全衛生セミナーに参加しています。また、外部の専門家による会場内の厨房の試験検査は 16 回実施され、イベント期間中の安全性を確保しています。

祭りへの訪問者は、彼らができる食の安全への取り組みを奨励されています。5 丁目、7 丁目、9 丁目、11 丁目のトイレにはハンドソープを設置し、こまめな手洗いを促しています。また、多くの生鮮食品の持ち帰りは、お控えください。

地域番号	016	協議会名	雫石町観光戦略推進会議
------	-----	------	-------------

解説文一覧

NO.	スポット名 (タイトル)	中国語文字数	想定媒体
016-001	雫石町と小岩井農場	1270	WEB
016-002	しずくいし YU-YU ファームと流鏝馬 (やぶさめ) 体験	810	WEB
016-003	自由屋サマーゲレンデ	470	WEB
016-004	雫石町でのトレッキング	1370	WEB
016-005	雫石町とスノースポーツ	1340	WEB
016-006	網張ビジターセンター	515	WEB
016-007	アウトドアアクティビティ	1190	WEB
016-008	雫石の温泉	1045	WEB
016-009	雫石町の宿泊施設	995	WEB
016-010	雫石の食文化	970	WEB
016-011	地元の工芸品	1075	WEB
016-012	南部鉄器	580	WEB
016-013	森の風フラワーガーデン	280	WEB
016-014	鳥越の滝と逢滝	220	WEB
016-015	雫石町歴史民俗資料館	860	WEB
016-016	道の駅 雫石あねっこ	375	WEB

【タイトル】雫石町と小岩井農場

【想定媒体】WEB

<簡体字>

雫石町与小岩井农场

雫石町——四季皆宜的旅游胜地

雫石町（雫，音同“下”）位于岩手县最西部的山区，岩手山及其它几座山峰围绕在它周围，堪称雪上运动圣地。温暖的季节，人们还可以在风景如画的自然中体验野外徒步等户外运动。此外，这里还有温泉、传统手工艺品、本地出产的味美水果和蔬菜，各种旅游资源都很充实。

小岩井农场

岩手山下的小岩井农场占地约30平方公里，是日本最大的私营农场之一，历史可追溯至1891年。在这里，不仅可以了解雫石町乳品业的发展历史，还能参观被指定为国家重要文化财产的农场早期建筑，非常适合家庭旅游。小岩井农场所产乳制品行销全日本，并被使用在农场餐厅的各种菜肴中。此外，小岩井农场还在日本著名作家宫泽贤治的《春天与阿修罗》等多部作品中出现，深受人们喜爱。

可持续农业的先行者

小岩井农场创立之初就建立在可持续发展与环保的原则之上，这一观念现已成为商界主流趋势，而小岩井农场领先了将近百年。三位实业家联手创建了这家企业，最初目标是推动本地区的粮食生产。农场的名称分别来自三位创始人的姓氏：“小”来自日本铁道副社长小野义真，“岩”来自三菱商事社长岩崎弥之助，“井”来自时任日本铁道厅厅长的井上胜。在井上胜的发起下，三人致力于改良土壤，拓展林地和整备牧场，为如今这片绿洲奠定了基础。1899年岩崎弥之助的侄子岩崎久弥接手农场后，小岩井农场开始进军乳品业，并逐步成长为农业、林业和畜牧业的翘楚。

亲子活动

“牧场园”是小岩井农场对外开放的主要园区，为各年龄层的人提供各种活动。游客可以与动物互动，比如给小马、兔子喂食，或观察羊群，也可以体验射箭、骑马、乘马车，又或是参加拖拉机拖车之旅。在工艺美术中心，还可以自制独一无二的纪念品。

乳品业今与昔

与其它国家相比，日本乳品业的历史相对较短。农场房屋都建于 1898 年至 1936 年间，现在大部分仍在使用，其中一些已被指定为国家重要文化财产，例如两座日本最早的筒仓和六座牛舍。

来访者在上丸牛舍及周边可以了解当今奶牛场的运作、近距离观察奶牛和牛犊；在博物馆可以探寻小岩井农场的历史、了解它的创建过程、观看百年前的农业机械和照片等展品。

农场直销食品

小岩井农场出产的食品深受市场喜爱，农场餐厅里有用各种农产品烹饪的菜肴。除了奶牛和绵羊，这里还饲养土鸡，餐厅用土鸡蛋制作的招牌蛋包饭松软又美味。餐厅还提供奶味浓郁的奶汤拉面、使用本地产牛羊肉制作的菜肴等特色菜品，以及软冰淇淋和乳酪蛋糕等甜品。此外，农场商店还销售小岩井农场的全线产品，从牛奶、乳酪、黄油到鸡蛋、果酱，应有尽有。

与自然和谐共处

小岩井农场的一年四季各有魅力，无论哪个季节都有美景和适宜的活动。春季是旅游旺季，以岩手山为背景的绚烂樱花是摄影的绝佳主题。牧场里有一棵上百年的单株樱花树，日语叫做“一本樱”，俨然已成观光胜地。最初种下这棵树的本意是为第一批奶牛遮荫，如今它已经高达 20 米。

尽管大多数人来小岩井农场都是为了体验农场生活，但为了保护动物和人类的共同栖息地，农场还特地保留了一片广阔的森林，可为学校等团体组织各种森林自然体验活动，让参加者切身感受为下一代保护和维持现有环境的重要性。

<繁体字>

雫石町與小岩井農場

雫石町——四季皆宜的旅遊勝地

雫石町（雫，音同「下」）位於岩手縣最西部的山區，周圍圍繞著岩手山及其他幾座山峰，堪稱雪上運動聖地。在溫暖的季節，遊客可以在風景如畫的山野中健行或體驗其他戶外運動。除自然美景之外，這裡還可以體驗溫泉和購買傳統手工藝品，以及品嚐當地盛產的水果和蔬菜。

小岩井農場

岩手山下的小岩井農場占地約 30 平方公里，是日本最大的民營農場之一，其歷史可追溯至 1891 年。在小岩井農場，不僅可以瞭解雫石町酪農業的發展史，還能參觀被指定為國家重要文化財產的農場之早期建築，適合闔家旅遊。小岩井農場的乳製品銷往全國各地，

並用於農場餐廳的各種菜餚中。此外，日本著名作家宮澤賢治的《春天與阿修羅》等多部作品中都有對小岩井美景的描寫，深受人們喜愛。

可持續農業的先驅

小岩井農場創立之初就建立在可持續發展與環保的原則之上，此觀念在近百年之後，才成為當今商業主流趨勢。小岩井農場由三位實業家設立，最初的目標是推動該地區的糧食生產。農場的名稱就來自這三位創始人的姓氏：「小」來自日本鐵道副社長小野義真；「岩」來自三菱商事社長岩崎彌之助；「井」來自時任日本鐵道廳廳長的井上勝。在井上勝的發起下，三人致力於改良土壤、拓展林地和整備牧場，為如今這片綠洲奠定了基礎。1899年岩崎彌之助的侄子岩崎久彌接手農場後，小岩井農場開始進軍酪農業，並逐漸成為農業、林業和畜牧業的翹楚。

親子活動

「牧場園」是小岩井農場對外開放的主要園區，為各年齡層的人提供不同的活動。遊客可以與動物互動，如喂小馬、兔子和觀察羊群，也可以體驗射箭、騎馬、乘馬車，又或是參加拖拉機拖車之旅。在工藝美術中心，還可以體驗手作獨一無二的紀念品。

酪農業今與昔

日本酪農業的歷史較其他國家來說相對較短。農場房屋建於1898年至1936年間，大部分仍在使用的，其中一些建築物，如兩座日本最早的筒倉和六座牛舍，現已被指定為國家重要文化財產。

遊客在上丸牛舍及周邊可以瞭解今日奶牛場的運作、近距離觀察奶牛和牛犢；在博物館可以探尋小岩井農場的歷史、瞭解它的創建過程、觀看百年前的農業機械、照片等展品。

農場直銷食品

小岩井農場出產的食品深受市場喜愛，餐廳的菜單上列有用各種農產品製作的菜色。除了奶牛和綿羊，這裡生產的土雞蛋會被用來製作招牌菜——鬆軟美味的蛋包飯。餐廳的其他招牌菜還包括奶味濃郁的奶湯拉麵，以及使用當地產牛肉和羊肉做成的佳餚。甜點則有霜淇淋和乳酪蛋糕。從牛奶、乳酪、牛油到雞蛋、果醬，小岩井農場生產的所有產品均在農場商店銷售。

與自然和諧共處

小岩井農場的一年四季各有魅力，無論哪個季節來訪都有美景和適宜的活動。春季是旅遊旺季，以岩手山為背景的絢爛櫻花是攝影的絕佳主題。牧場裡有一棵單株櫻花樹「一本櫻」已矗立了一百多年，儼然已成觀光勝地。最初種下這棵樹的本意是為第一批奶牛遮蔭，如今這棵櫻花樹已高達20公尺。

儘管大多數人來小岩井農場都是為了體驗農場生活，但為了保護動物和人類的共同棲息地，農場還特地保留了一片廣闊的森林，可為學校以及其他團體組織各種森林自然體驗活動，讓參與者切身感受為下一代保護和維持現有環境的重要性。

<日本語仮訳>

雫石町と小岩井農場

雫石町—四季折々の表情を楽しめる場所

岩手県西部の山間部に位置する雫石町は、岩手山をはじめとする複数の山に囲まれたスノースポーツのメッカです。暖かい季節には、美しい自然の中でハイキングなどのアウトドアを楽しむことができます。また、温泉や伝統工芸品、地元産の果物や野菜なども充実しています。

小岩井農場

岩手山の麓にある小岩井農場は、1891年に設立された日本最大級の民間農場で、約30平方キロメートルの敷地を有しています。雫石町の酪農の歴史や、国の指定重要文化財である農場初期の建物を見学しながら、家族で楽しむことができます。小岩井農場の乳製品は全国で販売されており、農場レストランの様々な料理に使われています。小岩井農場は『春と修羅』など、日本の有名作家・宮沢賢治作品にも数多く登場しており、高い人気を誇ります。

持続可能な農業の先駆者

小岩井農場は、持続可能性と環境への配慮という原則に基づいて設立されました。これらの原則がビジネスの主流になる約1世紀前のことです。小岩井農場は、3人の実業家が力を合わせて設立したもので、当初の目的は地域の食糧生産を促進することでした。農園の名前は、その3人の名字を組み合わせたもので、「小」は日本鉄道副社長だった小野義真、「岩」は三菱商事社長だった岩崎彌之助、「井」は鉄道庁長官だった井上勝からきています。井上を中心に、3人は土壌改良、植林、牧草地の整備に取り組み、今日の緑のオアシスの基礎を築きました。1899年、岩崎彌之助の甥である岩崎久彌が経営を引き継ぐと、小岩井農場は酪農場として発展し、農林畜産業のリーダー的存在となりました。

家族で楽しめるアクティビティ

小岩井農場の観光客に開放されているメインエリア「まきば園」では、子供から大人まで楽しめるアクティビティが用意されています。ポニーやウサギへの餌やり、羊の群れの観察など、動物との触れ合いを体験できます。また、アーチェリー、乗馬、馬車、トラクターが引くワゴンツアーなどの体験もできます。また、アート&クラフトセンターでは、世界にひとつだけのお土産を作ることができます。

酪農の昔と今

日本の商業酪農の歴史は諸外国と比べて比較的浅く、敷地内の建造物はすべて1898年から1936年の間に建設されたもので、ほとんどが現在も使用されています。日本で最も古い2つのサイロ

や6つの牛舎など、その多くが国の重要文化財に指定されています。

上丸牛舎エリアでは、乳牛や子牛を間近に見ながら、現在の酪農の様子を知ることができます。博物館では小岩井農場の歴史に触れることができ、創業当時の様子を学んだり、100年以上前の農機具や写真などを見学したりできます。

農場直売の食品

小岩井農場で生産される食品は特別な魅力を持っています。レストランのメニューでは、あらゆる種類の農産物が使われています。小岩井農場では、牛や羊のほかに鶏も放し飼いにしており、その卵を使ったふわふわのオムレツでご飯を包んだ「オムライス」が看板メニューになっています。他にも、ミルクベースのクリーミーなスープのラーメンや、地元の牛肉や羊肉を使った料理など、特徴的なメニューが揃っています。デザートには、ソフトクリームやチーズケーキなどがあります。ファームショップでは、牛乳、チーズ、バター、卵、ジャムなど、小岩井のあらゆる商品を取り扱っています。

自然との調和

小岩井農場は年間を通して魅力的な場所で、どの季節にも見所とアトラクションがあります。その中でも春は、岩手山を背景に咲き誇る桜が写真撮影に最適として人気を集めています。また、100年以上前から牧草地に立っている「一本桜」は、観光名所にもなっています。この木は、牧場で最初に飼われた牛たちの日陰を作るために植えられたもので、今では高さ20メートルにもなります。

農場体験を目的に訪れる観光客が多い小岩井ですが、動物や人間の生息環境を守るために、広大な森林を整備しています。学校などの団体を対象に、森の中での自然活動を体験しながら、環境を守り、次世代に残すことの大切さを学ぶプログラムを提供しています。

【タイトル】 しずくいし YU-YU ファームと流鏝馬（やぶさめ）体験

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

雫石町 YU-YU 农场与流鏝马体验

YU-YU（音同“悠悠”）农场是一处以马驹为主题的设施，也是雫石町（雫，音同“下”）唯一可以体验骑马和野外骑行的场所。在从前的岩手县农村，马匹不仅是耕田、运输时不可或缺的存在，也是重要的家庭成员。雫石一带的农舍是典型的“曲家”式建筑，意为“弯曲的房屋”，正房一侧建有马厩和泥土地面的工作区，便于屋主在寒冷的冬季照看马匹。在 YU-YU 农场，倚重养马的传统延续至今。

来访者可以在农场体验日本的骑射术——流鏝马，这是一种骑在奔跑的马背上向木靶射箭的传统箭术。流鏝马比赛经验丰富的农场主，会帮助初学者体会这一古老运动的乐趣。一般认为，早在 4 世纪时日本就已有精英武士在马背上使用弓箭作战，但流鏝马可能起源于 6 世纪时武士们祈求好运的一种仪式。镰仓时代(1185-1333)，这一仪式演变为对武士精神和体魄的双重考验，并且限定只在神社举行。因此，流鏝马如今被视为一种礼仪表演，而非武艺。在日本的一些主要神社中，每逢特定时节都能看到穿着华服、技艺高超的射手们表演流鏝马。一般人如果有兴趣尝试骑射，也可以私下约定其他爱好者一比高低。

流鏝马使用的弓长达 2.2 米，要学会使用还是有必要练习一番。不过只要有耐心，几乎所有人都能成功地骑在行走的马背上射箭。YU-YU 农场配备各种体型和脾性的马匹，可供来访者根据喜好来选择。在奔跑的马背上表演流鏝马，需要相当熟练的技艺和骑术水平，因此初学者适合在慢步行走的马背上演习。

如果想更加尽兴地骑马，YU-YU 农场的向导可以带你骑行穿越雫石町风景如画的原野和山间。年幼的孩子或不太懂马的人也不用担心，只要在农场工作人员的带领下，就可安全体验骑乘的乐趣。农场还拥有一座宽敞的室内马场，即使下雨天也可以练习流鏝马和骑术。

除了马，这里还饲养着狗、猫、兔子和鸡等各种动物，并设有儿童游乐区，十分适合亲子活动。YU-YU 农场入场免费，但参加流鏝马等骑马活动需要付费，建议提前预订。

<繁体字>

雫石町 YU-YU 農場與流鏝馬體驗

YU-YU（音同「悠悠」）農場是一處以馬為主題的休閒地，也是雫石町（雫，音同「下」）唯一可以體驗騎馬和野外騎行的場所。在過去的岩手縣農村，馬是不可或缺的耕

種和移動時の夥伴，更被當作重要的家庭成員。雫石地區的農舍通常採用「曲家」式建築，意即「彎曲的房屋」，在主屋一側建有馬廄和泥土地面的工作區。這樣一來，即使在當地寒冷的冬季，也能方便地照顧馬匹。在 YU-YU 農場，對馬的關愛與尊重被視為傳統，並延續至今。

在農場，遊客可以體驗日本的騎射術——流鏑馬。流鏑馬是一種騎在奔跑的馬背上向木靶射箭的傳統箭術。流鏑馬比賽經驗豐富的農場主人，會協助初學者體驗此項傳統運動的樂趣。一般認為，早在 4 世紀時日本就已有精英武士在馬背上使用弓箭作戰，但流鏑馬可能起源於 6 世紀時武士們祈求好運的一種儀式。到了鎌倉時代（1185-1333），流鏑馬儀式演變為對武士精神和體魄上的雙重考驗，並且限定只在神社舉行。因此，現今流鏑馬更被視為一種禮儀表演，而非武藝。在日本的一些主要神社中，每逢特定時節都能看到穿著華服、技藝高超的射手們表演流鏑馬。如果有興趣嘗試騎射，也可以簡單地約上其他愛好者一較高下。

流鏑馬使用的弓長達 2.2 公尺，學會使用需要一些練習。但只要有耐心，幾乎每個人都能在騎在行走的馬背上成功射箭。根據遊客喜好，YU-YU 農場有各種體型和脾性的馬匹可供選擇。在奔跑的馬背上表演流鏑馬，需要相當高超的技藝和騎術水準，所以初學者僅限在慢步行走的馬背上演習。

如果想要多騎一會兒，YU-YU 農場的嚮導可以帶遊客騎馬穿越雫石町，欣賞風景如畫的原野和山間。就連幼兒或不太懂馬的人也不必擔心，有農場工作人員的指導，可以安全體驗騎馬的樂趣。農場還擁有一座寬敞的室內馬場，即使下雨天也可以練習流鏑馬和騎術。

除馬匹之外，農場還飼養了各種動物，包括狗、貓、兔子和雞等，並設有兒童遊樂區，適合親子活動。YU-YU 農場入場免費，但參加流鏑馬等騎馬活動需要付費，建議提前預約。

<日本語仮訳>

しずくいし YU-YU ファームと流鏑馬（やぶさめ）体験

YU-YU ファームは、雫石町で唯一、乗馬とトレッキングを提供している馬がテーマの施設です。かつて岩手県の農村では、馬は農作業や移動手段として欠かせない存在であり、家族の一員として大切にされていました。雫石地域の農家は、典型的な「曲り家」のスタイルでした。主な居住空間の隣には、馬のための厩舎棟と土間の作業場が併設されていました。この造りであれば、厳しい冬でも馬の世話がしやすかったのです。YU-YU ファームでは、馬を大切にしてきた伝統が今も受け継がれています。

ファームでは、流鏑馬（やぶさめ）を体験することができます。流鏑馬は、馬に乗って木の的に矢を射る伝統的な弓術で、オーナーが流鏑馬の大会での経験を生かして、初心者でも安心して楽しめるように工夫しています。4 世紀頃には一流の武士が馬上で弓を使って戦っていたと考えられていますが、流鏑馬は 6 世紀頃に武士が幸運を求める儀式として始まったと考えられています。鎌倉時代（1185-1333）になると、流鏑馬は武士の精神的・肉体的な鍛錬として発展し、神社でのみ行わ

れるようになりました。そのため、流鏝馬は武術というよりは儀式と考えられています。毎年特定の時期になると、日本の主要な神社では、華やかな衣装を身にまとった熟練の射手によるパフォーマンスを見ることができます。また、気軽に参加したい人は、気軽な集まりで仲間と競い合うこともできます。

流鏝馬用の 2.2 メートルの弓で矢を射るには少し練習が必要ですが、根気よく続けていけば、ほとんどの人が動く馬に乗って矢を射る満足感を味わうことができます。YU-YU ファームでは、お客さまの好みに合わせた、さまざまな大きさや気質の馬を用意しています。ただし、疾走する馬に乗って流鏝馬をするには、かなりの技術と馬術が必要なので、初心者は歩く速度が限度です。

もっと長く乗馬を楽しみたいという方には、YU-YU ファームのガイドが雫石の田園風景の中をご案内します。小さなお子さんや馬に慣れていない方でも、スタッフの案内で安心して乗馬の楽しさを体験できます。広い屋内乗馬場があるので、雨天でも流鏝馬の練習や乗馬レッスンができます。

馬だけでなく、犬、猫、ウサギ、ニワトリなどの動物も飼育されており、子供向けの遊び場もある家族で楽しめる施設です。YU-YU ファームへの入場は無料ですが、流鏝馬などの乗馬体験は有料となりますので、事前のご予約をお勧めします。

【タイトル】 自由屋サマーゲレンデ

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

自由屋夏季滑雪场

造访雫石町（雫，音同“下”）的人大多为了冬季雪上运动而来，但“自由屋”在无雪季也照样可以进行双板或单板滑雪。雪场的主人是一位热衷雪上运动的持证教练，他希望在温暖的季节里也为滑雪者带来不同的体验。这处新颖的设施很受当地居民和游客的青睐。

雪场拥有 3 种难度各异的坡道。初学者可以从最简单的坡道开始，循序渐进，建立起自信后再挑战跳跃动作。一些当地居民甚至将这里当作无雪季里保持滑雪水准的训练场，还时常有技能高超的运动员从外县赶来磨炼翻转和跳跃动作。雪场的员工都是单板或双板滑雪的好手，他们不仅对初学者予以热情鼓励，还会指导技术。每当初学者第一跳成功，员工和围观群众会即刻给予热烈的欢呼和掌声，气氛十分轻松和谐。

来访者可以使用自己的滑雪板，但鉴于在无雪季节造访雫石町的游客不太会携带装备，自由屋提供所有装备的租赁服务。工作人员非常重视安全，参加者必须穿戴救生衣、头盔和其他防护装备。儿童从 4 岁起就可以参加滑雪，有时孩子们比家长更快掌握技巧。除了大风或暴雨天气，自由屋全天候开放，这里拥有三个水上跳台，以及滑板区，还设有淋浴室和更衣室。

<繁体字>

自由屋夏季滑雪場

來到雫石町（「雫」，音同「下」）的人大多為了冬季雪上活動而來，但在「自由屋」，非雪季也同樣可以體驗雙板或單板滑雪。雪場的老闆是一位熱衷雪上運動的持證教練，他希望在溫暖的季節裡也為滑雪者帶來不同的體驗，因此創立了這處深受當地民眾及外地遊客歡迎的新穎“滑雪場”。

雪場設有 3 種不同難度的坡道。初學者從最簡單的坡道開始，循序漸進，建立起自信後再挑戰跳躍動作。當地居民甚至將這裡當作無雪季裡保持滑雪水準的訓練場，還時常有技能高超的運動員特地從外縣過來磨煉翻轉和跳躍動作。雪場的員工不但是單板或雙板滑雪的好手，更是熱情的教練，以鼓勵的方式指導初學者各種技巧。每次初學者第一跳成功，員工和圍觀群眾即爆發歡呼和掌聲，氣氛十分輕鬆和諧。

訪客可以使用自己的滑雪板。但鑒於在無雪季造訪雫石町的遊客多半不會攜帶裝備，自由屋提供所有裝備的租賃服務。參加者必須穿戴救生衣、頭盔和其他防護裝備。4 歲以

上兒童就可以參加滑雪，有時孩子們比家長更快掌握技巧呢！除了大風或暴雨天氣，自由屋全天候開放，這裡擁有三個水上跳台，以及滑板區，還設有淋浴室和更衣室。

<日本語仮訳>

自由屋サマーゲレンデ

雫石には冬にスノースポーツを楽しむ人が多く訪れますが、「自由屋」では雪のないシーズンにスキーやスノーボードを楽しむことができます。スノースポーツの愛好家であり、インストラクターの資格を持つオーナーが、暖かい季節にスキーやスノーボードをする人たちに何か変わったものを提供したいと考えました。この斬新な施設は、地元の人々や観光客に人気を博しています。

難易度の異なる3つのゲレンデがあり、初めての人は一番簡単なスロープから始めて、自信がついたら徐々に難しいジャンプに挑戦していくことができます。地元の人の中には、暖かい季節にスキーやスノーボードの腕を磨くためにこの施設を利用する人もいます。また、他県からも技術力の高い選手がフリップやジャンプの完成度を高める目的で訪れます。また、スキーやスノーボードに熟練したスタッフが、初心者を励ましたり、技術的なアドバイスをしたりしてくれます。初めてのジャンプを成功させると、スタッフや観客から歓声や拍手が沸き起こるような、協力的でおおらかな雰囲気になっています。

自分のスノーボードやスキーを持参できますが、雪のないシーズンに雫石を訪れる方は道具を持参されることもあまりないと思われるため、自由屋ではすべてレンタルで対応しています。スタッフは安全性を重視しており、参加者はライフジャケットやヘルメットなどの防護服を着用します。子供は4歳から参加でき、年上の家族よりも早くゲレンデを制覇することもあります。強風や暴風の場合を除き、雨天でも営業しています。3つのウォータージャンプに加えて、スケートボードも設置されています。シャワーや更衣室も完備されています。

【タイトル】雫石町でのトレッキング

【想定媒体】WEB

<簡体字>

在雫石町徒步旅行

雫石町（雫，音同“下”）的西北部是十和田八幡平国立公园的一部分，町内有多座山峰，由各种登山道相连。从这里出发探访岩手山、乌帽子岳、秋田驹岳和三石山都很方便。无论是资深的登山者还是只想在山间悠闲漫步的人，都能在徒步中领略当地无数美景。本篇将介绍雫石町的几条主要徒步路线，并给与一些能令旅途更为充实的建议。

在雫石町开展户外运动前，建议先造访位于十和田八幡平国立公园内的网张游客中心。中心不仅提供娱乐活动资讯，还有关于岩手山以及国立公园内其他山峰的自然历史综合信息。这座游客中心于 2020 年翻新，现在配备了增强现实(AR)等互动技术，可以用多种语言提供徒步线路地形图等各种信息。

岩手山

岩手山是日本百名山之一，海拔 2038 米，为岩手县的最高峰。雫石町就坐落在其西南方山脚下。关于这座山有一则流传甚广的传说：一头恶魔在当地为害乡里，于是神明将它绑在一座岩石山上以示惩罚。恶魔为了求得解脱，发誓不再侵扰百姓，并在岩石上留下一只手印为信，这也是“岩手”二字的由来。千百年来，当地百姓将这座山视为圣地，由此形成了山岳崇拜的传统。在网张游客中心可以了解岩手山的历史背景，及其对当地信仰和文化传统产生的影响。

从雫石町出发攀登岩手山，主要有“御神坂线”和“网张线”两条线路，均有一定难度。网张线始于网张温泉滑雪场，7 月上旬至 10 月中旬的某些特定日子，徒步旅行者可以乘坐雪场缆车直接到达位于海拔 1350 米处的登山口。秋季也有不少人乘坐缆车去看满山红叶。

三石山

三石山有两条迷人的山径：沿溪谷行走的“泷上线”略具挑战性，“奥参道线”则较短也更受欢迎。三石山以本州最早能看到红叶而闻名，不过冬季也同样会有很多徒步者来此观赏被厚重霜雪覆盖的树林——“雪怪”。

秋田驹岳

秋田驹岳的登山道“国见温泉线”难度中等，这里以夏季美不胜收的高山花卉等植物著称。

乌帽子岳

乌帽子岳的“泷上温泉线”行经千沼原，难度颇大。千沼原名副其实，共有 900 多座池塘，孕育着各种高山花卉。这里的风景甚至出现在吉卜力工作室的动画电影当中。

网张森林

这片秀丽的森林位于岩手山南麓，林中多为山毛榉和栎树。林间的“网张森林自然小径”不管什么季节对体力都没有特别要求，走完环线仅需 1 小时左右。对新手或时间有限的来访者而言，这条线路无疑会是领略自然美景的理想选择。这片森林四季风景宜人，秋天红叶缤纷时尤胜。冬季时，穿雪鞋徒步这条小径同样值得推荐。网张游客中心提供传统日式椭圆形雪鞋和现代雪鞋的租赁服务。来访者既可以参加定期成行的导览游也可以自行探索森林。借助雪鞋，甚至能进入到一些温暖季节无法到达的林中秘境。

徒步者须知

为了让现在和未来的同路人能享受到同样的自然美景，请自觉保护自然环境。请带回所有垃圾，尊重沿途所有植物和动物，不要采花，也不要投喂鸟类或野生动物。这里是亚洲黑熊的自然栖息地，因此建议徒步者沿途发出响声避免黑熊靠近，比如在背包或登山杖上系上铃铛。做计划时，徒步者应充分考虑路况、难度和自身体力，根据天气穿着合适的服装。温暖季节切记携带足够的饮用水，防止脱水和中暑。为避免虫咬，经验老道的徒步者即使在夏季也会穿长袖和长裤。如在山道上遇到对面来人，可以友好地互道一声“Konnichi wa!”（你好！）。最后，为了预防万一，请务必在出发前将您的目的地和路线告知亲朋好友。

<繁体字>

在雫石町健行

雫石町（雫，音同「下」）的西北部是十和田八幡平國立公園的一部分，町內有多座山峰，由各種登山步道相連。從這裡可以探訪岩手山、烏帽子岳、秋田駒岳和三石山。無論是資深的登山者，還是只想在山間悠閒漫步的人，都能在健行中領略無數美景。以下將介紹雫石町數條主要健行路線，並給與一些讓你在雫石町的旅程更加充實的建議。

在雫石町進行戶外運動前，建議先造訪位於十和田八幡平國立公園內的網張遊客中心。這裡不僅提供娛樂活動資訊，還有關於岩手山以及國立公園內其他山峰的自然歷史綜合資訊。這座遊客中心在 2020 年經過整修，現配備了 AR 等互動技術，可以用多種語言提供健行路線地形圖等各種資訊。

岩手山

岩手山是日本百名山之一，海拔 2038 公尺，為岩手縣的最高峰。雫石町就坐落在其西南方山腳下。岩手山有一則流傳甚廣的傳說：相傳一頭惡魔在當地為害鄉里，於是神明將

牠綁在一座岩石山上以示懲罰。為求得解脫，惡魔發誓不再侵擾百姓，並在岩石上留下一隻手印為信，這也是「岩手」二字的由來。千百年來，當地百姓將這座山視為聖地，由此形成了山岳崇拜的傳統。在網張遊客中心可以獲取岩手山的歷史介紹，及其對當地信仰和文化傳統的影響等資訊。

從雫石町出發攀登岩手山，主要有「御神坂線」和「網張線」兩條路線，均有一定難度。網張線始於網張溫泉滑雪場，7月上旬至10月中旬的某些特定日子，健行者可以乘坐雪場纜車直接到達位於海拔1350公尺處的登山口。秋季也有不少人乘坐纜車看滿山紅葉。

三石山

三石山有兩條迷人的山徑：沿溪谷行走的「瀧上線」略具挑戰性，「奧參道線」則較短也更受歡迎。三石山以本州每年秋季最早能看到紅葉而聞名。而冬季，很多健行者則來此觀賞被厚重霜雪覆蓋的樹林「雪怪」。

秋田駒岳

秋田駒岳的登山道「國見溫泉線」難度中等，這裡以夏季美不勝收的高山花卉等植物著稱。

烏帽子岳

烏帽子岳的「瀧上溫泉線」行經千沼原，難度頗大。千沼原名副其實共有900多座池塘，育有各種高山花卉。這裡的風景甚至曾出現在吉卜力工作室的動畫電影中。

網張森林

這片秀麗的森林位於岩手山南麓，林中多為山毛櫸和櫟樹。「網張森林自然小徑」穿行林間，四季皆宜行走，對體力沒有特別要求，走完環線約1小時。對第一次挑戰或時間有限的遊客而言，這條路線會是領略當地自然美景的理想選擇。這片森林四季皆風景宜人，秋天紅葉繽紛時尤勝。冬季時，穿雪鞋健行網張森林自然小徑同樣值得推薦。在網張遊客中心可以租到傳統的日式橢圓形雪鞋和現代雪鞋。遊客既可以參加定期出團的導覽也可以自行探索。借助雪鞋，還能深入一些溫暖季節無法到達的林中秘境。

健行者須知

為了確保現在和未來的遊客能享受到同樣的自然美景，請保護自然環境。請將所有垃圾帶回，尊重沿途所有植物和動物，不要採摘花卉，也不要投喂鳥類和野生動物。這裡是亞洲黑熊的自然棲息地，為避免接觸到熊，建議健行者沿途發出聲響，可以在背包或登山杖上系上鈴鐺。做登山規劃時，健行者應充分考慮路況、難度以及自身體力，根據天氣穿著合適的服裝。在溫暖的季節，務必攜帶足夠的飲用水，以防脫水和中暑。為避免蟲咬，有經驗的健行者即使在夏季也穿著長袖和長褲。走在山道上，遇到對面來人，可以友好地互道一聲「Konnichi wa!」（你好！）。最後，為了安全起見，請在出發前告知親友你的目的地和行程。

<日本語仮訳>

雫石町でのトレッキング

雫石町の北西部は十和田八幡平国立公園に属しており、町内にはさまざまな登山道で結ばれた山が複数あります。岩手山や烏帽子岳、秋田駒ヶ岳や三ツ石山など、さまざまな場所に向かうのに便利な場所です。登山経験者はもちろんのこと、のんびり歩きたい人も、この地域の美しさを徒歩で堪能できます。ここでは、雫石町の主なトレッキングコースを紹介するとともに、雫石町での滞在をより充実したものにするためのヒントを紹介します。

雫石でアウトドアを楽しむなら、「網張ビジターセンター」を訪れることをおすすめします。このセンターは十和田八幡平国立公園内にあり、レクリエーション活動のほか、岩手山や国立公園エリア内の他の山々の自然や歴史に関する総合的な情報を提供しています。2020年にリニューアルされ、AR（拡張現実）などのインタラクティブ技術を活用して、登山ルートを示す地形図などの情報を多言語で提供しています。

岩手山

岩手県の最高峰である岩手山（2,038m）は日本百名山の一つであり、その南西の麓にあるのが雫石町です。よく知られた伝説によると、悪い鬼が地元の人々を苦しめていたので、神が罰として岩山に縛り付けたといえます。解放を求めた鬼は、二度と人に迷惑をかけないことを約束し、その誓いの印として岩の一つに手形を押しました。これが「岩手」（岩にある手形）の由来でもあります。その後、この地域の人々は、この山を神聖な場所と考え、山岳信仰の伝統が生まれました。網張ビジターセンターでは、岩手山の歴史や、岩手山が地域の宗教や文化に与えた影響についての情報を提供しています。

雫石町から岩手山に登る場合、「御神坂コース」と「網張コース」という2つの大きなルートがあり、どちらも難易度は高めです。網張コースは、網張温泉スキー場を起点にしています。7月上旬から10月中旬までの特定の日には、スキーリフトで1,350mを登って登山口まで行くことができます。スキーリフトは、秋に紅葉を見に来る人たちも利用します。

三ツ石山

三ツ石山には、溪谷に沿って歩くやや難しい滝ノ上コースと、距離が短く人気のある奥参道コースの2つの魅力的なコースがあります。三ツ石山は、本州で最初に紅葉が見られる場所として知られています。冬には霜や雪に覆われた木、「スノーモンスター」を見るために多くのハイカーが訪れます。

秋田駒ヶ岳

秋田駒ヶ岳に登る国見温泉コースは中程度の難易度で、夏には高山植物の花などがたくさん咲くことで知られています。

烏帽子岳

烏帽子岳には、千沼ヶ原を含む難しい「滝の上温泉コース」があります。千沼ヶ原には、「千の沼」という名の通り、900 以上の池塘があり、さまざまな高山植物が生息しています。スタジオジブリのアニメ映画のワンシーンにも登場しました。

網張の森

岩手山の南麓に広がる、ブナやミズナラを中心とした美しい森。季節を問わずあらゆる体力レベルの人が楽しめる「網張の森 自然の小径」が整備されています。一周するのにかかるのは約 1 時間で、この地域の美しい自然を知るための入門コースとして、また時間のない方にも最適です。どの季節に訪れても価値のある森ですが、特に秋の紅葉の時期は格別です。「網張の森 自然の小径」は冬にはスノーシューでの散策もおすすめです。網張ビジターセンターでは、伝統的な楕円形の和カンジキや現代的なスノーシューを借りることができます。定期的なツアーに参加することもできますし、自分で探検することも可能です。スノーシューがあれば、暖かい季節にはアクセスできない森の中を探索できます。

トレッカーへのアドバイス

現在、そしてこれからの利用者が楽しめるように、自然環境の保護にご協力ください。ゴミはすべて持ち帰り、花を摘んだり、鳥や動物に餌を与えたりしないでください。このエリアはツキノワグマの生息地なので、トレッカーはクマが近づくのを警告するために音を出すことをお勧めします。多くのハイカーは、バックパックやトレッキングポールに鈴を付けています。トレッキングを計画する際には、ルート状況や自分の体力を考慮し、天候に合わせて適切な服装をする必要があります。暖かい季節には、脱水症状や熱射病を防ぐために、十分な水を携帯することが必要です。経験豊富なトレッカーは、夏でも虫除けのために長袖・長ズボンを着用します。コースを歩いているときは、反対側から来た人に「こんにちは！」と挨拶するのが習慣になっています。最後に、トレッキングに出かける前には、万が一に備えて、自分の行き先を誰かに伝えておくことが大事です。

【タイトル】雫石町とスノースポーツ

【想定媒体】WEB

<簡体字>

雫石町与雪上运动

雫石町——四季皆宜的旅游胜地

雫石町（雫，音同“下”）位于岩手县最西部的山区，一年四季都有各种丰富的旅游资源吸引着游客到来。雫石町因毗邻岩手山和其他山脉而成为著名的雪上运动圣地，但在温暖的季节里，人们同样也能体验到许多精彩的活动。除了山道徒步，探访众多自然美景外，这里还有温泉、户外活动、传统手工艺品、本地农产品等各种诱人魅力。

彩虹是雫石町的特色景观，春天，它悬于排排樱花枝头，为绚烂花事更添亮丽；冬季则横跨白雪皑皑的岩手山，为雪景画上缤纷色彩。因此，“彩虹最爱雫石町”成为了当地的宣传语。和日本许多地方一样，雫石町也有随处可见的可爱吉祥物，当地官方形象大使是一位头戴斗笠、身穿传统服饰的年轻女子，名叫“小雫”(Shizuku-chan)。

雪上运动

冬季，大量游客涌入雫石町，多是为玩单板和双板滑雪而来。本地区有 3 座滑雪场，都位于岩手山南麓。来访者可以根据自己的需求选择雪场，如果时间允许，全都体验一遍也未尝不可。在雪道上渡过漫长而高强度的一整天后，可从雫石町的众多温泉里挑选一处泡澡休养，这定是放松肌肉、提振精神的最佳方式。

雫石滑雪场

这座毗邻雫石王子酒店的滑雪场，拥有上好的粉雪，提供适合全年龄层的各种活动，更因为兼有“滑雪进出酒店”的便利，成为在雫石町进行冬季运动和度假的理想基地。这座雪场还是 1993 年亚洲首次高山滑雪世界锦标赛的举办地。

雪场拥有 11 条雪道，其中 1 条长达 4.5 公里，所有雪道都可览尽岩手山。儿童或童心未泯的成年人可以在雫石雪上乐园玩雪橇和轮胎滑雪，这些游戏轻松有趣，是亲子活动的理想选择。此外，滑雪者还可以乘坐被称为“雪猫”的雪履带式车辆，在向导带领下前往人迹罕至之地，来一场“雪猫滑雪”，挑战无人涉足的野雪。雪场还配备可用英语授课的私人教练，面向外国游客教授单、双板滑雪。

酒店客人和当天来回的游客都可以在雫石高仓温泉享受泡澡放松的乐趣，这里不仅有四季各异的美景，还能观赏锦鲤池中色彩斑斓的游鱼。酒店还会组织观星游，带领参加者乘坐“雫石银河缆车”到海拔 730 米的高处观星，一睹日本著名作家宫泽贤治笔下的“银河铁

道之夜”。秋天红叶满山时，还能乘缆车上到热门徒步路线的起点，在滑雪场所在的高仓山上徒步游览。

网张温泉滑雪场

真正的滑雪爱好者称赞这里拥有当地质量最好的粉雪。雪场位于十和田八幡平国立公园内犬仓山的山坡上，四周被原始森林环绕。7 条雪道中，最长一条 3 公里，此外还另设有滑雪学校和儿童游乐区。秋季，来访者可以乘坐吊椅沿索道一路欣赏漫山红叶。岩手网张温泉休暇村就在滑雪场附近，内设 5 处温泉，当天来回的游客可以在“药师汤”泡澡，它的露天温泉池位于海拔 760 米高处，可将周边山野全景尽收眼底。

岩手高原雪地公园

岩手高原雪地公园规模较小，但同样拥有多种雪道、滑雪学校和儿童游乐区，并且还是眺望盛冈市风貌的绝佳观景点。雫石町的 3 座雪场中，此处的坡道长而平顺，因此特别受单板滑雪者青睐。这里有设施齐全的猫跳雪包区和“自由式滑雪道·雪地公园”区，单板滑雪者可以利用经特别整备的“雪包”挑战各种技巧。猫跳滑雪比普通高山滑雪难度更高，雪地公园为喜爱挑战的滑雪者开设了此项课程，同时也提供面向初学者的常规单、双板入门课程。公园内没有住宿点，但附近有不少日式旅馆和西式酒店。

<繁体字>

雫石町與雪上運動

雫石町——四季皆宜的旅遊勝地

雫石町（雫，音同「下」）位於岩手縣最西部的山區，一年四季皆有各種豐富的旅遊資源吸引著遊客到來。雫石町因毗鄰岩手山和其他山脈，而成為著名的雪上運動聖地，但在溫暖的季節裡，同樣也能體驗到許多精彩的活動。除了登山步道可探訪眾多自然美景外，這裡還有溫泉、戶外活動、傳統手工藝品、當地農產品等各種亮點吸引著遊客的目光。

彩虹是雫石町的特色景觀，春天，它懸於排排櫻花枝頭，為絢爛花事更添閃亮；冬季則橫跨白雪皚皚的岩手山，為雪景畫上繽紛色彩。因此，「彩虹最愛雫石町」成為了當地的最佳廣告語。和日本許多地方設有官方形象大使一樣，雫石町也有可愛的吉祥物，她是一位頭戴斗笠、身穿傳統服飾、名叫「小雫」（Shizuku-chan）的年輕女子。

雪上運動

冬季，大量遊客為體驗單板和雙板滑雪湧入雫石町。當地有 3 座滑雪場，都位於岩手山南麓。遊客可以根據自己的需求選擇雪場，如果時間允許，全都體驗一遍也未嘗不可。在雪道上渡過漫長而高強度的一整天後，從雫石町的眾多溫泉裡挑一處泡澡，可謂是放鬆肌肉、提振精神的最佳方式。

雫石滑雪場

這座毗鄰雫石王子酒店的滑雪場，擁有上好的粉雪，提供適合各年齡層各種活動，更因為兼有「滑雪進出酒店」的便利，讓它成為雫石町進行冬季運動和度假的理想基地。這座雪場還是 1993 年亞洲首次高山滑雪世界錦標賽的舉辦地。

雪場擁有 11 條雪道，皆可一覽岩手山全景，其中 1 條更長達 4.5 公里。兒童或充滿玩心的大人可以在雫石雪上樂園玩雪橇和輪胎滑雪，這種輕鬆有趣的遊戲是親子活動的理想選擇。此外，滑雪者還可以乘坐被稱為「雪貓」的雪履帶式車輛，在導遊帶領下前往人煙稀少之地，來一場「雪貓滑雪」，挑戰無人涉足的野雪。雪場還配備可用英語授課的私人教練，便於向外國遊客教授單、雙板滑雪。

酒店客人和當天來回的遊客都可以在雫石高倉溫泉享受泡澡放鬆的樂趣，這裡不僅有四季各異的美景，還能觀看錦鯉池中色彩斑斕的遊魚。酒店還會組織觀星遊，帶領參加者乘坐「雫石銀河纜車」到海拔 730 公尺的高處觀星，一睹日本著名作家宮澤賢治筆下的「銀河鐵道之夜」。秋天紅葉滿山時，還能乘纜車上到熱門健行路線的起點，在滑雪場所在的高倉山上健行遊覽。

網張溫泉滑雪場

網張溫泉滑雪場擁有滑雪愛好者眼中當地品質最好的粉雪。雪場位於十和田八幡平國立公園內犬倉山的山坡上，四周被原始森林環繞。7 條雪道中，最長一條 3 公里，此外另設有滑雪學校和兒童遊樂區。秋季，訪客可以乘坐吊椅沿索道一路欣賞漫山紅葉。岩手網張溫泉休閒村就在滑雪場附近，內設 5 處溫泉，當天來回的遊客可以在「藥師湯」泡澡，它的露天溫泉池位於海拔 760 公尺高處，可將周邊山野全景盡收眼底。

岩手高原雪地公園

岩手高原雪地公園規模較小，但同樣擁有多種雪道、滑雪學校和兒童遊樂區，並且還是眺望盛岡市風貌的絕佳觀景點。在雫石町的 3 座雪場中，這裡的坡道長而平順，因此特別受單板滑雪者青睞。這裡還有設施齊全的貓跳雪包區和「自由式滑雪道・雪地公園」區，單板滑雪者可以利用特別維護的「雪包」挑戰各種技巧。貓跳滑雪比普通高山滑雪難度更高，雪地公園為喜愛挑戰的滑雪者開設了此項課程，同時也提供初學者的常規單、雙板入門課程。公園內不提供住宿，但附近有不少日式旅館和西式酒店。

<日本語仮訳>

雫石町とスノースポーツ

雫石町—四季折々の表情を楽しむ場所

岩手県西部県境の山間部に位置する雫石町は、一年を通して観光客をさまざまな形で魅了します。岩手山をはじめとする山々が近いことから、スノースポーツのメッカとして知られていますが、暖かい季節には様々なアクティビティを楽しむことができます。ハイキングはもちろん、美しい自然の中に身を置くこともできます。また、温泉、アウトドアアクティビティ、伝統工芸、地元の農作物など、さまざまな魅力があります。

雫石町では、春にはシンボルである桜並木に虹がかかり、冬には岩手山にアーチを描く雪景色に虹がかかります。このことから、「虹の似合うまち雫石町」というキャッチフレーズが生まれました。日本の多くの地域と同様に、雫石町にも愛すべきマスコットキャラクターがいます。雫石町の公式アンバサダーである「しずくちゃん」は、伝統的な衣装に編み笠をかぶった若い女性で、町のさまざまな場所で見かけることができます。

スノースポーツ

冬の雫石町には、スキーやスノーボードを楽しむ人が多く訪れます。雫石町には 3 つのスキー場があり、いずれも岩手山の南麓に位置しているので、グループのニーズに合わせてどれかを選ぶことも、時間が許せば 3 つすべてチャレンジすることもできます。ゲレンデでの長いハードな一日の後には雫石の温泉に浸かり、疲れた筋肉を癒してリフレッシュしましょう。

雫石スキー場

最高品質のパウダースノー、誰もが楽しめるアクティビティ、そして雫石プリンスホテルに隣接しているという「スキーイン、スキーアウト」の利便性など、冬の雫石での滞在拠点として理想的なリゾートです。1993 年には、アジアで初めてアルペンスキー世界選手権が開催されました。

ここには 4.5km のコースをはじめ、岩手山を一望できる 11 のコースがあります。雫石スノーランドでは、子どもや気持ちは若い大人がそり遊びやチュービングなどのアクティビティが楽しめるので、お子様連れのファミリーにおすすめです。また、「スノーキャット」と呼ばれる履帯式の雪上車に乗って、通常のコースの先の手つかずの雪原に連れて行ってもらうガイド付きのバックカントリーツアー「キャットスキー」も注目です。海外からのお客様には、英語によるスキー・スノーボードのプライベートレッスンをご用意しています。

雫石高倉温泉は、宿泊客だけでなく日帰り客も楽しめる温泉施設です。四季折々の景色が楽しめる、池には色とりどりの鯉が泳いでいるのも魅力です。また、ホテルでは「雫石銀河ロープウェイ」に乗って、標高 730m から日本の有名作家・宮沢賢治の名作『銀河鉄道の夜』の景色を眺める星空観察ツアーも実施しています。また、紅葉の季節には、ロープウェイで人気のハイキングコースのスタート地点まで登り、スキー場のある高倉山でトレッキングをすることも可能です。

網張温泉スキー場

本格的なスキーヤーの間で、この地域で一番のパウダースノーと言われている施設です。十和田八幡平国立公園内の犬倉山の斜面に位置し、原生林に囲まれています。最長 3 キロのコースを含む 7 つのコースが用意されており、スキースクールや子供用のプレイエリアも完備されています。秋には、チェアリフトに乗って色鮮やかな紅葉を楽しむことができます。近くには「休暇村岩手網張温泉」があり、5 種類のお風呂が楽しめます。また、日帰り入浴が可能な「薬師の湯」では、760m の高さからの眺望が楽しめる露天風呂があります。

岩手高原スノーパーク

この公園の規模は比較的小さいが、様々な種類のゲレンデ、スキースクール、キッズエリアなどがあります。ここは盛岡市内を眺望できる絶好のロケーションでもあります。雫石町にある3つのスキー場の中でも、長く滑らかな斜面のあるこのスキー場は、特にスノーボーダーに人気があります。また、充実したモーグルエリアや、特別に整備された「雪のコブ」を使ってスノーボードのトリックに挑戦できる「フリースタイルコース／スノーパーク」もあります。モーグルは難易度の高いスキーで、岩手高原スノーパークでは、モーグルに挑戦したい人のためのレッスンや、初心者向けのスキー・スノーボード教室を開催しています。リゾートに隣接した宿泊施設はありませんが、周辺には日本式、西洋式の宿泊施設が数多くあります。

【タイトル】 網張ビジターセンター

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

网张游客中心

网张游客中心位于十和田八幡平国立公园内，为来访者提供岩手山及国立公园内其他群山的休闲娱乐、自然历史信息。中心于 2020 年翻新，现已配备增强现实(AR)等互动技术，以多种语言向游客提供徒步线路地形图等各类信息。

从网张出发的山道可以通往 5 座山：岩手山、乌帽子岳、秋田驹岳、三石山和八幡平山。中心的工作人员会根据山道路况提出建议，针对客人需求和喜好做出推荐，还能代为安排户外活动，并回答关于当地地形和野生动、植物方面的各种问题。

游客中心最受欢迎的活动要数夏日观萤和冬季雪鞋徒步（可租借雪鞋）。这里是“网张森林自然小径”环线的起点，这条入门级线路四季都宜行走，适合各年龄层人群，对体力要求不高，且只需 1 小时即可完成。对新手或时间有限的来访者而言，这条线路无疑是领略当地自然美景的理想选择。

游客中心同时也发挥着社区交流中心的作用，通过照片展示、自然主题艺术展和综合性图书馆向旅行者和当地居民推介本地区的魅力。中心的户外平台和舒适的室内多功能空间都对外开放，无论是各种活动的间隙休息，或是等待一起去滑雪或登山徒步的朋友时都可在此小憩。工作人员全年都会安排和推荐自然主题的大小活动，大多老少皆宜，也有专为携带幼儿的家庭定制的亲子游项目。

<繁体字>

網張遊客中心

網張遊客中心座落於十和田八幡平國立公園內，為遊客提供岩手山及國立公園內其他群山的休閒娛樂、自然歷史資訊。該中心於 2020 年經過整修，現在配備了 AR 等互動技術，以多種語言向遊客提供健行路線和地形圖等各種資訊。

從網張出發的步道可以通往 5 座山：岩手山、烏帽子岳、秋田駒岳、三石山和八幡平山。中心的工作人員會根據步道路況及遊客的需求喜好提出建議，還能代為安排戶外活動，並回答關於當地地形和野生動植物方面的各種問題。

夏日觀螢和冬季雪鞋健行（可租借雪鞋）都是遊客中心很受歡迎的活動。遊客中心也是「網張森林自然小徑」環線的起點，這條入門級路線四季都宜行走，適合各年齡層人群，

對體力要求不高，且只需 1 小時即可完成。對於初次挑戰或時間有限的遊客來說，是一個不錯的選擇，可以領略當地的自然美景。

遊客中心同時也發揮著社區交流中心的作用，透過照片展、自然主題藝術展和一座綜合性圖書館向遊客和當地居民介紹當地的魅力。中心的戶外平台和舒適的室內多功能空間都對外開放，無論是各種活動的間隙休息，或是等待去滑雪或登山健行的朋友時，都可在此小憩。工作人員全年都會安排和推薦自然主題的大小活動，大多老少皆宜，也有專為攜帶幼兒的家庭定制的親子旅遊計劃。

<日本語仮訳>

網張ビジターセンター

網張ビジターセンターは、十和田八幡平国立公園内にあり、岩手山をはじめとする国立公園エリア内の山々のレクリエーションや自然、歴史などの情報を総合的に提供しています。2020年にリニューアルされ、AR（拡張現実）などのインタラクティブな技術を活用して、登山ルートを示す地形図などの情報を多言語で紹介しています。

網張は、岩手山、烏帽子岳、秋田駒ヶ岳、三ツ石山、八幡平の 5 つの山を結ぶ登山道の玄関口です。スタッフがルートの状況をアドバイスしたり、ニーズや好みに応じたおすすめのコースを提案したりすることもできます。また、自然の中でのアクティビティの手配や、地域の地形や野生動植物についての質問にもお答えします。

夏にはホタル観賞、冬にはスノーシュートレッキング（スノーシューのレンタルあり）などのアクティビティが人気です。このセンターは、季節を問わずあらゆる体力レベルの人が参加できる「網張の森 自然の小径」のスタート地点となっています。所要時間は 1 時間程度なので、この地域の自然を知るための入門コースとして、また時間のない方にも最適です。

また、この施設は、写真の展示や自然をテーマにしたアート、充実した蔵書などを通じて、観光客や住民に地域の魅力を伝えるコミュニティの拠点としての役割も担っています。デッキや施設内の快適な多機能スペースでくつろいだりすることもできます。アクティビティの合間の休憩や、スキーやハイキングの待ち時間を過ごす場所としても最適です。スタッフは、一年を通じて自然をテーマにしたイベントやアクティビティを企画・宣伝しています。その多くは、どの年齢層にも適したもので、小さなお子様連れのご家族のための特別企画もあります。

【タイトル】アウトドアアクティビティ

【想定媒体】WEB

<簡体字>

户外活动

雫石町（雫，音同“下”）的四季都十分美丽。春有细嫩的新绿和粉红的樱花；夏有浓绿的树荫和城外山道旁的高山野花；秋季赏红叶的胜境不胜枚举；待到初雪降临，整个地区又化作冬日仙境。以下推荐能帮助来访者更好体验雫石町的精彩户外活动。

露营地

露营是与雫石町的大自然亲密接触的方式之一。町内的两处露营地设施齐备，并且都有温泉。相较酒店和传统旅馆，露营更为经济实惠。

网张温泉露营地

该营地位于海拔 770 米处，是岩手网张温泉休暇村的一部分。露营者可以使用酒店设施及毗邻的药师汤温泉馆。营地分为两片区域，一片是被树林包围的“林间营地”，另一片是开阔的“草地营地”。两边都有多块不同大小的营址，露营者可根据是否驾车以及团队人数决定在何处扎营。营地设有公用的自炊区，并供应热水。如果客人是露营新手或未带装备，营地工作人员会预先搭好帐篷，准备好全套装备和食物。营地旁就是“网张森林自然小径”，适合任何年龄的人探访，对体力也没有特殊要求。

雫石あねっこ道之站露营地

此处营地占地广阔，且位于雫石あねっこ(anekko)道之站公路服务区旁，从桥场温泉，到餐厅、店铺，设施齐备，十分便利。来此露营的多为自驾或骑摩托的客人，但营地也辟有专门区域接待搭乘公共交通而来的客人。营地面积很大，因此特别受举家出行的客人欢迎。营地旁边的小河可以嬉水，对儿童来说也非常安全，此外还有一大片草坪，能让孩子们尽情撒欢。

此处营地的名字“あねっこ”来自当地方言对年轻女子的爱称。道之站和营地之间的桥梁和道路旁有几幅あねっこの马赛克拼图，描绘了当地 5 位公主的民间传说。与日本各地一样，雫石町也随处可见自己的可爱吉祥物兼官方形象大使——头戴斗笠、身着传统あねっこ服饰的年轻女子“小雫”(Shizuku-chan)。

雪鞋徒步

在冰天雪地中探索自然，必須穿上雪鞋。在這裡，所有年齡層的人都能享受冬日風光的魅力，以及在雪地上尋找動物足印的樂趣。穿著雪鞋徒步「網張森林自然小徑」是不容錯過的體驗，在附近的網張遊客中心可以租借傳統的橢圓形日式雪鞋或現代雪鞋。那裡的工作人員還會回答任何有關於小徑以及沿途動、植物的問題。來訪者可以參加定時出發的團隊遊，也可以自由探索，還能深入一些無雪季里難以到達的森林秘境。小岩井農場也有雪鞋徒步項目，由經驗豐富的嚮導帶領客人探訪農場周邊的原生態大自然，即使是初次體驗的人也能安心參加。

綠色農家樂和農事體驗

雫石地區水質優良，土壤肥沃，有著悠久的農耕歷史。這裡種植水稻的歷史可能早至古墳時代（大約 250-552），農業和畜牧業的繁榮一直延續至今。雫石町非常歡迎來訪者通過體驗農事和與本地居民交流，更深入地了解日本鄉土生活。根據季節和個人愛好，來訪者可以參與插秧、收谷、種菜、照顧著名的雫石牛等動物，或者參加手打蕎麥麵等烹飪體驗。當地也許無法提供完善的外語服務，但加入綠色農家樂項目的雫石町居民將竭盡所能，讓每一位來訪者賓至如歸。

<繁體字>

戶外活動

雫石町（雫，音同「下」）無論四季都十分美麗。春有細嫩的新綠和粉紅的櫻花；夏有濃綠的樹蔭和城外山道旁的高山野花；秋季賞紅葉的勝境不勝枚舉；待到初雪降臨，整個地區又化為冬日仙境。以下推薦能幫助遊客更好地體驗雫石町的精彩戶外活動。

露營地

露營是與雫石町的大自然親密接觸的方式之一。町中的兩處露營地設施齊備且都有溫泉。相較酒店和傳統旅館，露營更為經濟實惠。

網張溫泉露營地

該營地位於海拔 770 公尺處，是岩手網張溫泉休暇村的一部分。露營者可以使用酒店設施及毗鄰的藥師湯溫泉館。營地分為兩片區域，一片是被樹林包圍的「林間營地」，另一片是開闊的「草地營地」。兩邊都有多塊不同大小的營址，露營者可根據是否駕車以及團隊人數決定在何處紮營。營地設有公用的自炊區，並供應熱水。對露營新手或未帶裝備的遊客，工作人員會預先搭好帳篷，準備好全套裝備和食物。營地旁就是「網張森林自然小徑」，是一條適合各年齡層，對體力也沒有特殊要求的路徑。

雫石あねっこ道之站露營地

這處營地占地廣闊，且位於雫石あねっこ（anekko）道之站公路服務區旁，從橋場溫泉，到餐廳、店鋪，設備齊全，十分便利。來此露營的多為自駕或騎摩托車的遊客，但營地也

設有專門區域接待搭乘公共交通而來的旅客。營地占地廣大，因而特別受闔家出遊的家庭旅客歡迎。營地旁邊的小河可以嬉水，對小孩來說也非常安全，此外還有一大片草坪，能讓孩子們盡情玩耍。

營地的名字「あねっこ」來自當地方言對年輕女子的暱稱。道之站和營地之間的橋梁和道路旁有數幅あねっこの馬賽克拼圖，描繪了當地 5 位公主的民間傳說。與日本其他地方一樣，雫石町也隨處可見自己的可愛吉祥物兼官方形象大使——頭戴斗笠、身著傳統あねっこ服飾，名叫「小雫」（Shizuku-chan）的年輕女子。

雪鞋健行

必須穿上雪鞋才能在冰天雪地中領略自然景觀。在這裡，各個年齡層的人都能享受冬日風光的魅力，以及尋找雪地上動物足印的樂趣。穿著雪鞋在「網張森林自然小徑」上健行是令人難忘的體驗。在附近的網張遊客中心，可以租借傳統的橢圓形日式雪鞋或現代雪鞋。任何關於小徑以及沿途能見到的植物和動物的問題都能洽詢工作人員。遊客可以參加定時出發的團體遊，也可以自由探索，還能深入一些無雪季裡難以到達的森林秘境。小岩井農場也有雪鞋健行專案，由經驗豐富的導遊帶領遊客探訪農場周邊的原始大自然，即使是毫無經驗的人也能安心參加。

綠色農家樂和農事體驗

雫石地區水質優良，土壤肥沃，有著悠久的農耕歷史。這裡種植水稻的歷史可能早至古墳時代（大約 250-552），農業和畜牧業的繁榮一直延續至今。雫石町歡迎遊客透過體驗農事和當地居民互動，更深入地瞭解日本鄉土生活。根據季節和個人愛好，遊客可以參與插秧、收穀、種菜、照顧著名的雫石牛等動物，還可參加手打蕎麥麵等烹飪體驗。當地也許無法提供完善的外語服務，但加入綠色農家樂計劃的雫石町居民將竭盡所能地讓每一位遊客賓至如歸。

<日本語仮訳>

アウトドアアクティビティ

どの季節を切り取っても美しい雫石。春には繊細な新緑とピンクの桜が、夏には深い緑の葉と高山植物の花が町の周辺の山道を彩ります。秋には色鮮やかな紅葉が楽しめる場所が数多くあり、その後雪が降ると冬のワンダーランドへと変貌します。雫石でアウトドアを楽しみたい方には、以下のような選択肢があります。

キャンプ場

雫石の自然を身近に感じることができるキャンプ場は、町内に 2 か所あり、いずれも温泉付きです。どちらも施設は充実しており、ホテルや旅館よりもリーズナブルに利用できます。

網張温泉キャンプ場

標高 770m に位置する、休暇村岩手網張温泉に併設されているキャンプ場です。キャンパーはホテルの施設や、隣接する温泉館「薬師の湯」を利用することができます。敷地は 2 つのエリアに分かれており、木立の中にある「林間サイト」と、開けた場所にある「芝生サイト」があります。それぞれ、車の持ち込みの有無や人数に応じて、いくつかのサイズから選ぶことができます。炊事場と給湯エリアは共同で使用することができます。また、初めての方や道具をお持ちでない方には、あらかじめテントが張られ、道具や食材が到着時にすべて用意されている便利なプランをご利用いただけます。キャンプ場の隣には「網張の森 自然の小径」があり、年齢や体力に関係なく楽しむことができます。

道の駅 雫石あねっこキャンプ場

広々としたこのキャンプ場は、設備の整った道の駅に隣接しているため、橋場温泉などの施設やレストラン、ショップを利用することができます。車やバイクでの利用が中心ですが、自家用車のない人のための区画も用意されています。キャンプ場は広々としているので、家族連れに特に人気があります。キャンプ場の隣には子供たちが安全に水遊びできる小川があり、芝生の上で子供たちが走り回れるスペースも十分にあります。

施設名の由来となった「あねっこ」は、若い女性に対する親しみが込められた地元の方言です。道の駅とキャンプ場を結ぶ橋や道には、地元で伝わる 5 人のお姫様の物語をモチーフにした「あねっこ」のモザイク画が施されています。日本の多くの地域と同様に、雫石にも愛すべきマスコットキャラクターがいます。しずくちゃんは、伝統的なあねっこ姿に編み笠をかぶった若い女性で、雫石の公式アンバサダーを務めています。しずくちゃんの姿は町のあちこちに見られます。

スノーシュートレッキング

雪が降り積もったこの地域の自然を探索するには、スノーシューが最適です。冬の景色を楽しんだり、雪上の動物の足跡を探したり、幅広い年齢層の方が楽しめます。「網張の森 自然の小径」はスノーシュートレッキングにお勧めです。隣接する網張ビジターセンターでは、伝統的な楕円形の和かんじきや近代的なスノーシューのレンタルを行っており、スタッフがコースについてや、周辺で見られる野生の動植物についての質問に答えてくれます。雪のない季節には入れない場所もあるので、ツアーに参加したり、自分で散策したりしてみるのもいいでしょう。雪の中の動物の足跡を探すのは、子供から大人まで楽しめます。小岩井農場でもスノーシュートレッキングを行っています。経験豊富なスタッフが、農場周辺の手つかずの自然が残る場所まで案内してくれるので、初心者でも安心してスノーシューでコースを歩くことができます。

グリーンツーリズムと農業体験

雫石地域は、良質な水と肥沃な土壌に恵まれた、古くから農業が盛んな地域です。古墳時代（250-552 年頃）には稲作が始まっていたとされ、現在も農畜産業が盛んに行われています。雫石町では、農作業や住民との交流を通じて、日本の農村の暮らしをより深く知りたいという方を歓迎します。季節や興味に応じて、田植えや稲刈り、野菜作り、雫石名物の牛をはじめとする動物の世話などを体験することができます。また、そばの手打ち体験などの料理体験も可能です。完全な外国語対応

は難しいかもしれませんが、グリーンツーリズムのプログラムに参加している雫石町の住民が、訪れる人がより良い体験ができるようにサポートしてくれます。

【タイトル】雫石の温泉

【想定媒体】WEB

<簡体字>**雫石の温泉**

雫石（雫，音同“下”）地区温泉种类丰富。任何时候泡温泉都是一种享受，尤其是在滑完一整天雪，流了一身汗的冬日。以下推荐的温泉有些是酒店或旅馆的附属设施，有些是独立场所，但大部分都接待住客和当天来回的游客。

第一次在日本泡温泉的客人应了解一些基本规定。进入温泉池前需洗净全身；不可穿衣（包括泳衣）入浴；温泉设施通常会提供洗澡用的小毛巾，但请留在池边，勿带入池中。现在大多数温泉都实行男女分浴，但一般都允许幼儿跟随大人进入任意性别的浴室。很多温泉不接受有纹身的客人，去之前最好先询问清楚。如果纹身的面积不大，可在入场前用创可贴遮住，或是预约私汤。

莺宿

这座温泉小村 450 多年来一直都是热门的温泉胜地。这里拥有各种类型的住宿，从现代风格的酒店到家族经营的日式旅馆一应俱全。传说在 16 世纪晚期，一个男人在这里看见一只日本树莺将受伤的腿泡在水中，从而发现了这处温泉。此后，当地居民开始来这里泡温泉。随着此地声名远扬，最终连当地的权贵家眷也慕名而来。

受这个传说启发，如今莺宿地区的吉祥物“ケキヨキチ”(Kekyokichi)就是一只酷爱温泉的小胖莺。此外，莺宿村中还有一挂小而美的“逢瀑布”，从当地大部分住宿地都可轻松步行到达。

网张温泉

此处温泉位于岩手山脚下岩手网张温泉休暇村内，对于驰骋于附近坡道的滑雪者来说极为便利。场内有多处浴池，从其中位于海拔 760 米处的露天浴场可全览周边风景。

南网张ありね(arine)温泉

此处位于“ゆこたんの森”(Yukotan no Mori)旅馆内的温泉对当天来回的游客开放，其内浴场仿佛融入周边森林中一般。

雫石高仓温泉

此处温泉位于雫石王子酒店内，住店客人和当天来回的游客均可利用。露天浴池四季景色皆宜，浴池旁的锦鲤池里色彩斑斓的游鱼更为泡汤增添一份趣味。

桥场温泉

此处温泉只接待当天来回的游客。温泉毗邻露营地，属于雫石あねっこ(anekko)道之站公路服务区的一部分。除了温泉，这里还有餐厅和纪念品商店。洗浴方式也有日式或西式可选。

玄武温泉

这座静谧的温泉村位于葛根田川畔，水质异常温和，其部分设施向当天来回的游客开放。

以下两处温泉冬季会因积雪关闭：

国见温泉

该温泉区有两家日式旅馆：石冢旅馆和森山庄，也都向当天来回的游客开放。旅游大巴无法进入温泉所在的溪谷，里面也没有移动电话信号，但这反而让它成为寻求避世者的理想去处。富含矿物质的温泉水色泽碧绿，极为罕见。

泷上温泉

位于“泷观庄”旅馆内的此处温泉环境幽僻，四周山毛榉树林环绕，距离壮观的鸟越瀑布也很近。温泉也接待当天来回的游客。

<繁体字>

雫石的温泉

雫石（雫，音同「下」）地区温泉种类丰富。泡温泉在任何时候都是享受，在滑完一整天雪后的冬日更是如此。以下推荐的温泉有些是酒店或旅馆内的附属设施，有些是独立场所，但大部分都接待住客和当天来回的游客。

第一次在日本泡温泉的游客应了解一些基本规定。进入温泉池前需洗净全身；不可穿衣（包括泳衣）入浴；泡温泉通常会提供洗澡用的小毛巾，但请留在池边，勿带入池中。现在大多数温泉实行男女分浴，但一般都允许儿童跟随大人进入任意性别的浴室。有些温泉不接受有纹身的游客，建议事先询问商家。如是小纹身，或者可以在入场前用 OK 蹦遮住，或是预约私人浴池。

鶯宿

这座温泉小村 450 多年以来一直都是热门的温泉胜地。这里拥有各种类型的住宿，从现代风格的酒店到家族经营的日式旅馆一应俱全。传说在 16 世纪晚期，有个男人看见一隻日本树莺将受伤的腿泡在水中，从而发现了这处温泉。此后，当地居民便开始来此处泡汤，温泉盛名不脛而走，最后连当地权贵家眷也闻名而至。

鶯宿地區的吉祥物「ケキヨキチ」(Kekyokichi)——一隻酷愛溫泉的小胖鶯，便是受到這個傳說的啟發。此外，鶯宿村中還有一掛小而美的「逢瀑布」，當地大部分住宿旅館均可輕鬆步行到達。

網張溫泉

這處溫泉位於岩手網張溫泉休暇村內、岩手山腳下，對於馳騁於附近坡道的滑雪者來說極為便利。場內有多個浴池，從其中位於海拔 760 公尺處的露天浴場可全覽周邊風景。

南網張ありね (arine) 溫泉

這處位於「ゆこたんの森」(Yukotan no Mori) 旅館內的溫泉浴場宛如融於週邊的林之中，對當天來回的遊客開放。

雫石高倉溫泉

此處溫泉位於雫石王子酒店內，房客和當天來回的遊客均可使用。露天浴池四季景色皆宜，浴池旁的錦鯉池中色彩斑斕的遊魚更為泡湯增添一份趣味。

橋場溫泉

這處溫泉只接待當天來回的遊客。溫泉毗鄰露營地，屬於雫石あねっこ (anekko) 道之站公路服務區的一部分。除了溫泉，服務區還有餐廳和紀念品商店。洗浴方式可選日式或西式。

玄武溫泉

這座靜謐的溫泉村位於葛根田川畔，水質異常溫和，其部分設施向當天來回的遊客開放。

以下兩處溫泉冬季會因積雪關閉：

國見溫泉

該溫泉區有兩家日式旅館：石塚旅館和森山莊，皆向當天來回的遊客開放。旅遊大巴無法進入溫泉所在的溪谷，溪谷裡也沒有手機訊號，但這反而讓它成為尋求避世者的理想去處。富含礦物質的溫泉水色澤碧綠，極為罕見。

瀧上溫泉

位於「瀧觀莊」旅館內的這處溫泉環境幽僻，四周山毛櫸樹林環繞，距離壯觀的鳥越瀑布也很近。溫泉也接待當天來回的遊客。

<日本語仮訳>

雫石の温泉

雫石地域には、さまざまな種類の温泉があります。温泉は一年中楽しめますが、冬にスキーやスノーボードで一日汗を流した後に入るのは格別です。ホテルや旅館の中にある温泉もあれば、独立した温泉もあります。ほとんどの場合、日帰りでも宿泊でも利用できます。

日本の温泉に入ったことがない人は、事前にいくつかの簡単なルールを知っておくと良いでしょう。温泉に入る前には、全身を洗って流します。衣服や水着を着たまま入ることはできません。施設では通常、体を洗うための小さなタオルが用意されていますが、これは浴槽の脇に置いておき、湯の中には持ち込まないようにします。最近では、ほとんどの温泉で男女別の浴場が設けられていますが、小さな子どもは男女どちらの保護者と一緒に入浴しても問題ありません。刺青があると入浴できない温泉も多いので、事前に確認しておくとい良いでしょう。小さなタワーであれば、絆創膏で隠してから入ることができる場合や、貸切風呂を予約できる場合もあります。

鶯宿

450年以上も前から温泉地として親しまれてきた小さな温泉郷。近代的なホテルから伝統的な家族経営の旅館まで、さまざまな宿泊施設があります。伝説によると、16世紀後半にウグイスが傷ついた足を温泉に浸しているのを見た男性によって発見されたと言われており、その後地元の人々が入浴するようになりました。やがてこの地の知名度が高まり、地元の有力者たちも訪れるようになったといま

す。現在では、このウグイスの話にちなんで、温泉好きのぽっちゃりとしたウグイス「ケキヨキチ」がマスコットキャラクターになっています。鶯宿には、小さいながらも美しい「逢滝」があり、ほとんどの宿泊施設から歩いて行くことができます。

網張温泉

岩手山のふもとの休暇村岩手網張温泉にあるこの施設は、近隣のスキー場に来るスキーヤーにとつてとても便利です。標高 760メートルからのパノラマビューを楽しめる露天風呂など、いくつかのお風呂があります。

南網張ありね温泉

宿泊施設「ゆこたんの森」にあるこの温泉では、日帰り客を歓迎しています。浴槽は周囲の森に溶け込むようにデザインされています。

雫石高倉温泉

雫石プリンスホテル内にあり、宿泊客はもちろん、日帰り入浴も可能です。露天風呂からは四季折々の景色を楽しむことができ、色とりどりの鯉が泳ぐ池が趣きを添えています。

橋場温泉

日帰り入浴専用の施設で、隣にはキャンプ場があります。道の駅「雫石あねっこ」に併設されており、レストランや土産物店もあります。お風呂は和風と洋風の2つのスタイルから選べます。

玄武温泉

葛根田川のほとりにある静かな温泉地で、泉質は非常にまろやかです。日帰り入浴可能な宿泊施設もあります。

以下の2つの温泉地は、大雪地帯のため冬期は閉鎖されます：

国見温泉

この温泉地には石塚旅館と森山荘という2つの旅館があり、日帰り入浴も可能です。観光バスも入れず携帯電話も繋がらない渓谷にあるので、孤独を求める方には最適です。珍しいエメラルドグリーンのお湯で、ミネラル分が豊富に含まれています。

滝ノ上温泉

旅館「滝観荘」にある、日帰り入浴も可能な秘湯。ブナ林に囲まれており、近くには迫力満点の鳥越の滝があります。

【タイトル】雫石町の宿泊施設

【想定媒体】WEB

<簡体字>

雫石町の住宿

雫石町（雫，音同“下”）有多种类型的住宿可供选择。来访者可以先作了解，根据自己的情况选择最合适的住宿地，让旅程更加充实。

酒店

很多为雪上运动而来的来访者，或许会把靠近滑雪场看作选择住宿的首要条件，而一些大型酒店正是建于这种便利之处。西式客房、独立卫生间，以及可随心挑选的餐饮，更适合自由行。不过，若想有更多与雫石町居民交流的机会，建议也可以选择其他住宿方式。

西式民宿

这些私人经营的小酒店或小旅馆通常采用西式装修，英语称为“Pension”，这个词源自法语，意为寄宿处，但实际上它更接近于 B&B，即提供住宿和早餐的家庭旅馆。房间大多很简单，配有床铺、衣柜和电视机，卫浴设施可能要与其他客人共享。有些民宿设有公共休息室，供客人放松和社交，或许还配有茶水或咖啡机，甚至还摆放着图书。住宿含早餐，但晚餐通常根据入住套餐而定。餐食大多采用本地食材，偏西式风格。

西式民宿的魅力在于每一家都独一无二，根据主人的兴趣和生活方式而各具特色。内部装修或质朴温馨，或雅致时髦。有的主人会将珍藏的吉他骄傲地摆出来给客人欣赏，有的主人曾在巴黎学习过，或许还会做法国菜。

雫石这些西式民宿虽然没有温泉，但周边有许多接待当天来回游客的温泉浴场。对于习惯睡床铺、吃西餐，但又想体验当地居民殷勤款待的旅行者，西式民宿是不错的选择。

日式旅馆与民宿

二者皆为日式住宿，最大的差别是房间大小。日式旅馆在大多数人的印象中是日本传统住宿设施，建筑有老有新，但内装都采用古典的日式设计。日式旅馆看重待客之道，竭尽所能为客人提供最高等级的服务。

民宿同样也是日式的，相对小而简朴，但更有亲切的家庭氛围。所谓“民宿”，就是接待住客的是普通人家的房屋。日式民宿大多集中在像雫石町这样规模较小的乡村地区。

无论是日式旅馆还是民宿，客人都睡在榻榻米的床垫上，餐食也以日式为主。住宿通常含早餐和晚餐，菜式繁多，采用本地新鲜食材烹制，尤其是旅馆，都有自己引以为豪的料理。用餐地点通常安排在客房内，菜肴摆放在矮桌上，客人坐在榻榻米上享用，也有一

些地方提供西式的餐桌和餐椅。晚餐撤走后，无需传唤就会有服务人员前来铺床，超前为客人着想正是日式服务的精髓。

雫石町的日式旅馆和民宿内都设有日式浴场，用水多取自当地温泉。通常日式旅馆中的浴场更为舒适豪华，有的甚至提供多种类型的汤池。虽有诸多细节上的差异，但日式旅馆和民宿都能让客人体验日本的传统生活、新鲜的应季食材和舒适惬意的温泉。

<繁体字>

雫石町的住宿

雫石町（雫，音同「下」）提供多种类型的住宿供游客选择。建议游客根据自己的情况选择最合适的住处，使旅程更加充实。

酒店

为雪上运动而来的游客，多把靠近滑雪场看作选择住宿的首要条件，而一些位于滑雪场旁的大型酒店正提供这种便利。西式客房、独立卫浴，以及可随心享用的餐饮，则更符合自由行旅客的偏好。若是想体验更多与雫石町居民交流的机会，建议也可以选择其他住宿方式。

西式民宿

私人经营的小酒店或小旅馆通常采用西式装修，英语称为「Pension」，这个词源自法语，意为寄宿处，但实际上它更接近于B&B，即提供住宿和早餐的家庭旅馆。房间布置大多简单，有床铺、衣柜和电视机，卫浴设施则可能要与其他房客共用。有些民宿设有公共休息室，供房客休闲和社交，有时还配有茶水或咖啡机，甚至还摆放着图书。住宿含早餐，但晚餐则根据入住方案而不同。餐食大多采用当地食材的西式风格套餐。

西式民宿的魅力在于每一家都独一无二，依老闆的兴趣和生活方式而各具特色。内部装修或质朴温馨，或雅致时髦。有的老闆会将珍藏的吉他骄傲地摆设给房客欣赏，有的老闆曾在巴黎学习过，或许还会做法国菜。

雫石的西式民宿虽然没有温泉，但周边有许多欢迎当天来回游客的温泉浴场。对于离不开睡床铺、吃西餐，但又想体验当地居民殷勤款待的游客，西式民宿是不错的选择。

日式旅馆与民宿

二者皆为日式住宿，最大的差别是房间大小。日式旅馆在大多数人的印象中是日本传统住宿设施，建筑新旧不一，但室内装潢都采用古典的日式设计。日式旅馆看重待客之道，竭尽所能为房客提供最高等级的服务。

民宿同样也是日式的，相对小而简朴，但更有亲切的家庭风格。所谓「民宿」，通常指接待住宿的一般民房。日式民宿大多集中在雫石町这样规模较小的乡村地区。

无论是日式旅馆还是民宿，睡的床铺都是铺于榻榻米上的床垫，餐食也以日式为主。住宿通常含早餐和晚餐，菜式繁多，采用当地新鲜食材制作，尤其是旅馆，多有店家引以

為豪的料理。用餐地點通常安排在客房內，餐點擺放在矮桌上，房客坐在榻榻米上享用，也有一些地方提供西式的餐桌和餐椅。用完晚餐後，服務人員會自動前來鋪床，超前理解客人需求正是日式服務的精髓。

雫石町の日式旅館和民宿内都設有日式浴場，用水多取自當地溫泉。通常日式旅館中的浴場更為舒適豪華，有的甚至提供多種類型的湯池。雖有諸多細節上的差異，但日式旅館和民宿都能讓遊客體驗日本的傳統生活、新鮮的應季食材和舒適愜意的溫泉。

<日本語仮訳>

雫石町の宿泊施設

雫石町には、さまざまなスタイルの宿泊施設があります。どのような宿泊施設があるのか知ること、より充実した滞在を楽しむことができます。

ホテル

スノースポーツが目的の方は、ゲレンデに近いことが第一条件かもしれません。大規模なホテルは、利便性を重視した場所にあります。洋式のベッド、専用のバスルーム、好きなものを好きなときに食べられるなど、自分でスケジュールを決めたい人にはメリットがあります。しかし、雫石の人々との交流を大切にしたい方には、他にもいくつかの選択肢があります。

ペンション

個人経営の小さなホテルや旅館で、洋風の内装が特徴です。ペンションの語源はフランス語の「下宿屋」ですが、ベッド&ブレイクファーストのスタイルに似ています。部屋は極めてシンプルで、ベッド、クローゼット、テレビなどがあり、バスルームは他の宿泊者と共同で使用するのが一般的です。ペンションによっては、リラックスして交流するための共同ラウンジがあり、紅茶やコーヒーメーカー、ゲストが読むための本などが用意されていることもあります。朝食は含まれおり、夕食はプランによりますが別料金になっています。食事は地元の食材を使った洋食が中心となります。

ペンションの魅力は、オーナーの趣味やスタイルに合わせて、それぞれに個性があることです。インテリアも、シンプルで居心地のよいものから、エレガントでモダンなものまでさまざま。オーナーが自慢のギターを展示していたり、パリに留学していたオーナーがフランス料理を振舞うこともあります。

雫石のペンションには温泉はありませんが、地元には日帰り入浴ができる施設がたくさんあります。慣れ親しんだベッドや洋食が好きだけれど、地元の家族のもてなしを受けてみたいという人には、ペンションは最適な選択といえるでしょう。

旅館・民宿

どちらも日本式の宿泊施設で、主な違いは大きさです。日本の伝統的な宿といえば、旅館を思い浮かべる人が多いのではないのでしょうか。建物は歴史的なものもあれば近代的なものもありますが、内装は日本の伝統的なデザインが施されています。おもてなしの心を大切にし、最高のサービスでお客様をお迎えます。

民宿も同じ日本のスタイルですが、より小さくシンプルで、より家庭的な雰囲気があります。民宿とは、一般家庭に客を招くことを意味しています。民宿は、主に雫石のような地方の小規模な地域にあります。

どちらの宿でも、寝るときは布団を敷き、食事は和食が中心となります。ほとんどの宿泊施設では、朝食と夕食の両方を提供しており、地元の新鮮な食材を使った料理が豊富に用意されています。特に旅館では、自慢の料理がメニューに並ぶことが多々あります。宿泊客は畳の上に座り、低いテーブルで食事をするのが一般的ですが、洋風の椅子とテーブルを用意している宿泊施設もあります。夕食の片付けが終わると、頼まなくてもスタッフが布団を敷いてくれます。これは、お客様のニーズの先読みを大切にしている為です。

雫石では、旅館にも民宿にも日本式のお風呂があります。多くは地元の温泉を使用していますが、一般的には旅館のお風呂の方が豪華で、種類も複数あります。こういった違いはさておき、旅館でも民宿でも、日本の伝統的な生活、旬の食材、そしてゆっくりと温かいお風呂を体験することができます。

【タイトル】雫石の食文化

【想定媒体】WEB

<簡体字>

雫石の食文化

雫石町（雫，音同“下”）的居民大多务农，本地区高品质的农产品是他们的骄傲。这里的酒店和餐厅总是尽量使用各种本地食材来招待客人。对想要体验雫石食文化的来访者，特别推荐以下美食：

荞麦面

自古以来，日本大部分地区的农作物都以水稻为主，但岩手县这样的北部地区由于夏季偏冷而很难种植。于是人们转而寻找到更为耐寒的谷物，其中之一就是荞麦，它是制作荞麦面的主要材料。只有纯净、新鲜的水才能做出美味的荞麦面，而雫石町在这一点上得天独厚。

荞麦面有多种做法，一年四季都能享用。最常见的吃法有两种，一种是凉面，盛于竹屉中、蘸专用酱油吃；另一种是热面，盛于碗中、加上各种浇头及加了荞麦酱汁的热汤一起吃。只要来雫石町的荞麦面店尝试一下，就一定会明白这种简单又高营养的料理为何如此深受当地人和游客喜爱。

雫石町产的荞麦面粉还被用来制作本地特产的日式糕点，其中最特别的是荞麦羊羹，一般的羊羹多用红豆沙制作，而它则使用荞麦粉。

乳制品

雫石町是日本著名的乳品业中心。当地两家家族企业使用本地产新鲜牛奶制作的特色产品，充分体现了雫石乳品的高质量。来到雫石町旅游时，这两家企业也都很值得探访。

意式冰淇淋

“松果手工冰淇淋牧舍”的手工意式冰淇淋远近闻名，甚至有外县人定期开车过来购买。这家企业在乳品行业深耕 30 余年后才决定尝试制作意式冰淇淋，一路将“松果”做成了当地知名品牌，现在还可在网店购买。

“松果”意式冰淇淋中，口味最独特的当属“日本山葵”和“芝麻”两种。如果在二者之间难以抉择，也可尝试双拼口味。

顾客购买冰淇淋后，可以坐在宽敞的露台上，或上二楼边俯瞰周边乡野风景边享用美味。“松果”这个店名和这家建在一片小森林旁的店铺很是相配。店主在林中铺设了木栈道，享用过甜品后，不妨进入林中感受一下大自然的拥抱。

乳酪

在雫石乳酪工坊，可以买到种类繁多的手工乳酪和酸奶。工坊主人是一对夫妻，他们的产品均采用从邻近农场直送的新鲜生乳制作。男主人曾在雫石最大的乳品业公司小岩井农场工作，掌握了精湛的技艺后，于2014年开设了这家工坊，生产出售手工乳酪制品。

这家店起初专卖新鲜乳酪，之后逐步扩充产品线，开始制作半硬乳酪，温暖的季节里还供应冰淇淋。产品中最具日本特色的是味噌风味乳酪，味噌是一种用发酵的大豆、麦曲或米曲制作的酱料。

店铺附近的空地上养着一小群山羊，它们并不用来产奶制酪，而是以吃草的方式帮助人们维护草坪。

<繁体字>

雫石的食文化

雫石町（雫，音同「下」）的居民大多務農，當地生產的高品質農產品是農民們引以為傲的成果。這裡的旅館和餐廳盡可能使用各種當地出產的食材來招待遊客。對於想要體驗雫石食文化的遊客，特別推薦以下美食：

蕎麥麵

在日本，大部分地區主要種植水稻，但像岩手縣等這樣夏季氣溫較低的北部地區很難種植稻米。因此，人們轉而尋找耐寒的穀物，蕎麥就是其中之一，這也是製作蕎麥麵的主要材料。只有純淨、新鮮的水才能做出美味的蕎麥麵，而雫石町在這一點上得天獨厚。

蕎麥麵有多種做法，並且一年四季都能享用。最常見的吃法有兩種，一種是盛於竹屨中、蘸調味醬油吃的冷麵；另一種是盛於碗中、加上各種配料及加了蕎麥醬汁的熱湯一起吃的熱麵。只要來雫石町的蕎麥麵店嘗試一下，就會明白這種簡單又高營養的料理為何如此深受當地人和遊客喜愛。

雫石町產的蕎麥麵粉也被用來製作當地特產的日式糕點，其中最獨特的是蕎麥羊羹，一般的羊羹多用紅豆沙製作，而這一種則使用蕎麥粉。

乳製品

雫石町是日本著名的酪農業中心。當地有兩家家族企業，使用在地生產的新鮮牛奶製作特色產品，充分體現了雫石乳品的高品質。造訪雫石町時，這兩家公司都是值得一遊的好地方。

義式霜淇淋

「松果手工霜淇淋牧舍」的手工義式霜淇淋聞名遐邇，時常有外縣的饕客開車慕名而來。這家公司在酪農行業深耕30餘年後，決定嘗試製作義式霜淇淋，並成功將「松果」打造成了當地著名品牌，現在甚至還可於網店購買。

「松果」義式霜淇淋中，口味最獨特的當屬「日本山葵」和「芝麻」兩種。如果兩者之間難以抉擇，也可以試試雙拼口味。

顧客購買霜淇淋後，可以坐在寬敞的露臺台上休息，或上二樓俯瞰週邊鄉野，同時享用美味。「松果」這個店名和這家建在一片小森林旁的店面相得益彰。店主在林中鋪設了木棧道，享用完甜品後，不妨進入林中感受自然風光。

乳酪

在雫石乳酪工場，可以買到種類繁多的手工乳酪和優酪乳。工場由一對夫妻經營，他們的產品均採用直接從鄰近農場送來的新鮮生乳製作。男主人曾在雫石最大的酪農業公司小岩井農場工作，掌握了精湛的技藝後，於2014年開設了這家工場，致力於生產和銷售手工乳酪製品。

起初，這家店專賣新鮮乳酪，隨著時間的推移，他們逐漸擴充了產品線，開始製作半硬質乳酪，同時在溫暖的季節供應霜淇淋。產品中最具日本特色的莫過於味噌風味乳酪，味噌是一種用發酵的大豆、麥麴或米麴製作的醬料。

店鋪附近的空地上有一小群山羊，牠們並非用來產奶製作山羊乳酪，而是透過吃草來維護草坪的小助手。

<日本語仮訳>

雫石の食文化

雫石町の住民の多くは農作業に従事しており、この地域で生産される高品質な食品を人々は誇りにしています。ホテルやレストランでは、可能な限り地元産の食材を使用しています。雫石の食文化を体験してみたい方におすすめのものを以下にご紹介します。

そば

日本の多くの地域では、古くから主に米を栽培してきましたが、岩手県などの北部では、夏の気温が低く、稲作が困難でした。そのため、寒さに強い穀物が求められました。その一つが、細い麺である「そば」の原料となる「ソバの実」です。美味しいそばを作るためには、きれいな水が必要ですが、雫石にはその水が豊富にあります。

そばは様々なアレンジが可能で、いろいろなスタイルで四季折々に楽しめます。通常、2つの方法で提供されます。つけ汁と一緒に冷やされて出されるもの（ざるそば）、またはさまざまなトッピングと共に熱いそばつゆをかけて提供されるもの（かけそば）です。雫石にあるそば屋を訪ねると、シンプルで栄養価の高い料理が地元の人にも観光客にも人気がある理由がわかります。

雫石町のそば粉は、地元の和菓子にも使われています。例えば、羊羹は小豆餡で作るのが一般的ですが、雫石にはそば粉を使った「そば羊羹」もあります。

乳製品

雫石町は日本の乳業の中心地として知られており、その乳製品の品質の高さは、家族経営の2つの企業が地元の良質な生乳を使って作っている製品に表れています。雫石を訪れた際には、ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

ジェラート

「手作りアイスクリーム牧舎 松ぼっくり」の手作りジェラートは大変人気があり、他県から定期的に車で訪れるお客さんもいるほどです。オーナーは酪農業界で30年以上働いた後、ジェラート作りに挑戦することを決意し、松ぼっくりを地元の名物にしたのです。現在、オンラインショップでの購入も可能です。

わさびやごまなど、日本ならではのフレーバーも用意されています。1種類に絞るのが難しければ、1つのコーンで2つの味が楽しめるコンビネーションもあります。

ジェラートを購入したら、広々としたデッキでリラックスしたり、2階に上がって周辺の田園地帯見下ろしながらジェラートを楽しんだりすることができます。松ぼっくりは、小さな森の端に建てられたお店にぴったりの名前です。ジェラートを楽しんだ後は、オーナーが作った木々の間を木道で、気軽な自然散策するのがおすすめです。

チーズ

雫石チーズ工房では、近隣の農家から直送された生乳を使いオーナー夫婦が職人技をふるって作る、様々な種類のチーズやヨーグルトを購入することができます。オーナーは雫石の大手酪農会社である小岩井農場で腕を磨いた後、2014年に手作りチーズの製造・販売を行うビジネスを始めました。

最初はフレッシュチーズ専門店としてスタートしましたが、徐々に商品ラインナップを増やし、セミハードタイプのチーズや暖かい季節にはアイスクリームを取り揃えています。日本的なアレンジを加えたものとしては、大豆や麦、米麴を発酵させて作った味噌で味付けしたチーズがおすすめです。

店の近くの敷地には小さな山羊の群れがいますが、山羊はチーズ製造用のミルクを提供するためではなく、草丈を低く管理するために飼われています。

【タイトル】 地元の工芸品

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

地方特色工艺品

龟甲织与雫石麻会

日本的纺织工艺历史悠久、种类繁多，其中雫石町（雫，音同“下”）的“龟甲织”独具特色，其原材料是麻纤维，织造工艺复杂。因布料表面有六边形凸起纹样，酷似龟甲，因而得名。

即使在 19 世纪晚期至 20 世纪早期的鼎盛时期，由于受时间和技术要求的限制，本地龟甲织产量也不高，而且龟甲织工匠人数也十分有限。20 世纪初，随着纺织技术的革新，织造变得更加简单，但这同时也导致了龟甲织日渐衰落。不过近几十年来，人们努力重振当地传统工艺，龟甲织这一独特的织法又回到人们的视野中。

1968 年，加藤キワ(Kiwa)和加藤ミツエ(Mitsue)这两位当地女性开始合作复兴龟甲织。加藤キワ运用年轻时积累的纺织经验，尝试织造龟甲织；加藤ミツエ则率先与其他感兴趣的市民一起成立了学习小组，运用传统工艺种麻、绩线，决心让龟甲织这一传统工艺重现雫石。

1985 年，龟甲织研究会成立，1988 年更名为雫石麻会，加藤ミツエ是第一任主席。2005 年，龟甲织被指定为日本选定保存技术。现在的雫石麻会成员们仍在为保留和传承此项技术不懈努力，他们派出织匠为游客演示工艺流程，有时还会让客人一起织造龟甲织。

在过去，龟甲织面料的主要用途之一是制作被称为“汗弹”的内衣（在雫石町历史民俗资料馆可以看到实物）。这种面料吸汗快，天热时穿着很舒适，因而在以务农人口居多的本地很受欢迎。据说，高品质的龟甲织面料还被进献给了南部藩。在镰仓时代(1185-1333)到明治维新(1868)期间，南部家族统治了日本东北大部分地区。

龟甲织使用一种背带式织机“腰机”，这也是它与众不同之处。及至 19 世纪晚期，在日本大多数地区，这种织机早已被更方便的落地织机取代。使用“腰机”时，织匠必须把布料中纵向的经线缠在身上，在经纬线时手控经线的张力，这样织出的布料才会更强韧而紧密。纺织过程需要织匠操控全身，是一件既需要体力又考验技术的工作。

如今，雫石麻会在雫石农业培训中心为当地居民和来访者实际示范或开办体验工作坊。从种麻到绩成麻线，整个过程都由手工完成。采麻后，麻会成员会去除叶片，蒸煮茎秆，然后晒干。接下来，将麻泡在上一年用废麻料制作的发酵液体中，这样才易于剥除表皮。接着再次干燥，最后将麻纤维捻成线，用天然染料上完色后，方才可以上机纺织。

雫石麻會成員織造並銷售的手工龜甲織產品既實用又富有裝飾性，是理想的禮品或紀念品。在雫石站的觀光物產中心以及町內其他場所，均可以買到用龜甲織制作的書籤、各種款式的包袋、桌巾、餐墊等物品。想要親眼目睹龜甲織示範或親自嘗試織造龜甲織，可以在觀光物產中心提前預約。

<繁體字>

地方特色工藝品

龜甲織與雫石麻會

日本的紡織工藝歷史悠久、種類繁多，其中雫石町（雫，音同「下」）的龜甲織獨具特色，其原材料是麻纖維，織造工藝十分複雜。因布料表面有六邊形凸起紋樣，酷似龜甲，因而得名。

因受到時間和技術要求的限制，即使在 19 世紀晚期至 20 世紀早期的鼎盛時期，本地龜甲織的產量也不高，龜甲織工匠人數也十分有限。20 世紀初，隨著紡織技術的革新，織造變得更加簡單，但同時也導致了龜甲織日漸衰落。近幾十年來，人們努力重振當地傳統工藝，龜甲織這一獨特的織法又回到人們的視野中。

1968 年，加藤キワ（Kiwa）和加藤ミツエ（Mitsue）這兩位當地女性開始合作復興龜甲織。加藤キワ運用年輕時累積的紡織經驗，嘗試織造龜甲織；加藤ミツエ則號召志同道合的市民成立了學習小組，運用傳統工藝種麻、績線，決心讓龜甲織這一傳統工藝重現雫石。

1985 年，龜甲織研究會成立，1988 年更名為雫石麻會，加藤ミツエ是第一任主席。2005 年，龜甲織被指定為日本選定保存技術。今日的雫石麻會成員們仍在為保留和傳承此項技術努力，他們派出織匠為遊客示範，有時還會讓客人一起織造龜甲織。

在過去，龜甲織面料的主要用途之一是製作被稱為「汗彈」的內衣（在雫石町歷史民俗資料館可以看到實物）。這種面料吸汗快，天熱時穿著很舒適，因而在以務農人口為主的地區很受歡迎。據說，高品質的龜甲織面料還被進獻給了南部藩，在鎌倉時代（1185-1333）到明治維新（1868）期間，南部家統治了日本東北大部分地區。

龜甲織另一個與眾不同之處是使用一種背帶式織機「腰機」。在日本大部分地區，這種類型的織機被 19 世紀末出現的更易於使用的落地織機取代。使用「腰機」時，織匠必須把布料中縱向的經線纏在身上，在織緯線時能夠手控經線的張力，這樣織出的布料才會更強韌而緊密。紡織全程需要織匠全身參與，是一件既需要體力，又考驗技術的工作。

如今，雫石麻會在雫石農業培訓中心為當地居民和遊客示範或開辦體驗工作坊。從種麻到績成麻線，整個過程都由手工完成。采麻後，麻會成員會去除葉片，蒸煮莖桿，然後曬乾。接下來，將麻泡在上一年用廢麻料制作的發酵液體中，這樣才易於剝除表皮。接著再次乾燥，最後將麻纖維撚成線，用天然染料上色後，方才可以上機紡織。

雫石麻會成員製作並銷售的手工龜甲織產品既實用又富有裝飾性，是理想的禮品或紀念品。在雫石站的觀光物產中心以及町內其他商店，均可以買到用龜甲織制作的書籤、各

種款式的包袋、桌巾、餐墊等物品。想要參觀龜甲織示範或嘗試織造龜甲織，可以在觀光物產中心提前預約。

<日本語訳>

地元の工芸品

亀甲織と「しずくいし麻の会」

日本には豊かな織物の伝統があり、全国にはさまざまなスタイルがあります。中でも珍しいのが雫石の亀甲織です。この複雑な技法は、麻の繊維を使った織物に用いられています。その名前は、生地に浮かび上がる亀の甲羅に似た六角形の模様由来しています。

亀甲織には時間と技術を要するため、19世紀後半から20世紀前半までの全盛期でも、この地域ではあまり生産されておらず、技術を習得している織り手も限られていました。20世紀に入り、より簡単に織物を作ることのできる方法が導入されると、「亀甲織」は衰退してしまいます。しかしここ数十年で再興の努力がなされることによって、この独自の織物の伝統への再評価につながるようになりました。

1968年、地元の2人の女性、加藤キワさんと加藤ミツエさんが協力し、キワさんの若い頃の経験を元に、亀甲織の再現に取り組みました。ミツエさんが中心となって関心のある市民と一緒に研究会を立ち上げ、伝統的な技術を用いて糸を作るための麻を栽培するなどして、雫石の伝統工芸の復活を目指しました。

ミツエさんが初代会長を務めた1985年に設立された「亀甲織研究会」は、1988年に「しずくいし麻の会」と改名されます。亀甲織は2005年に選定保存技術に指定されました。しずくいし麻の会の現在のメンバーが、その技術を保存し、受け継いでいます。同会に所属する織り手が雫石を訪れる人々に実演を行い、一緒に亀甲織りを体験してもらうこともあります。

かつて、亀甲織りの主な用途の1つは、「汗はじき」と呼ばれる下着でした（雫石町歴史民俗資料館に、この汗はじきの見本が展示されています）。その生地は汗を吸収するのに適しており、暖かい季節を快適に過ごすことができました。これは、農民が大多数を占めたこの地域では大きな利点です。亀甲織は鎌倉時代（1185-1333）から1868年の明治維新まで、東北地方の大部分を支配していた南部藩にも献上されていたといわれるほど、質の高い織物です。

亀甲織りのその他の特徴として、腰機の使用が挙げられます。日本のほとんどの地域で、腰機は19世紀後半に登場した使い勝手の良い床織機に置き換えられました。腰機を使用する場合、完成した布の中を縦に走る縦糸を、織り手の体に直接縛り付けます。つまり、縦糸の上に横糸を織り込む際に、織り手が張力をコントロールすることで、丈夫でしっかりとした布を作ることができるのです。体全体を使って織るため、体力と高度な技術が求められます。

現在、しずくいし麻の会では、雫石農業トレーニングセンターで地元住民や来場者を対象にデモンストレーションやワークショップを行っています。糸の原料となる麻の栽培に始まり、今なお全ての工程が手作業で行われています。麻を摘んだ後、麻の会の会員が葉を取り除き、茎を乾かす前に蒸します。次に、前年に出た麻の端材を発酵させた液に麻を浸します。これで表皮が剥がれやすくなり、乾燥させることができます。最後に、繊維を撚り合わせて糸を作り、天然の材料を使用して染色し、ようやく織物として織り始めることができます。

しずくいし麻の会は、実用的で装飾的な手作りの亀甲織りのアイテムを製造・販売しており、ギフトやお土産に最適です。しおり、さまざまな鞆、テーブルランナー、ランチョンマットなど、雫石駅にある雫石町観光物産センターをはじめ、町内のいくつかの場所で購入できます。デモンストレーションを見たい方や、亀甲織りを試してみたいという方は、事前に観光農産物センターでご予約ください。

【タイトル】 南部鉄器

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**南部鉄器**

雫石町（“雫”音同“下”）曾归属南部藩，在 17 世纪时是出产优质铁器的重镇。镰仓时代(1185-1333)至明治维新(1868)的几百年里，这里一直处于南部家族统治之下，因此所产铁制品也被称为“南部铁器”。直到现在，雫石町仍在制作纯手工铁壶、铁锅以及风铃等装饰品。

一般认为，本地区的铸铁工艺由京都名匠小泉仁左卫门于 1659 年传入。那时，南部家族为了推动本地文化和产业发展，特邀小泉仁左卫门来今岩手县定居制作铁器。

当时，日本传统茶道中使用的铁釜既无壶柄也无壶嘴，需要用竹勺从釜中舀取沸水。1750 年左右，第三代仁左卫门设计出了带壶柄和壶嘴的小铁壶，煮水就更为方便了。随着时间的推移，这种铁壶日渐受到大众欢迎，成为当地铸铁产业的代表性产品，“南部铁器”之名也流传开来。由于热衷茶道的南部家族的长期支持，再加上铸铁原料供应充足，本地制铁业得以蓬勃发展。

在雫石站的观光物产中心等数家工坊或店铺中，都可以买到南部铁壶和其它手工铁器。一些产品还将铸铁工艺与净法寺漆结合起来。净法寺漆起源于邻近的净法寺町地区，是岩手县的另一大特产。生漆采自漆树树液，但是随着日本漆树日益减少，目前大部分都依赖进口，而净法寺漆正是稀少珍贵的日本国产生漆，现在主要用于修复国宝。

在雫石町的一间工坊中，来访者可以同时运用南部铁器和净法寺漆这两种传统工艺来制作首饰、钥匙扣或其他原创纪念品。

<繁体字>**南部鐵器**

雫石町（雫，音同「下」）在過去屬於南部藩。17 世紀時，這個地區是出產高品質鐵器的重鎮。從鎌倉時代（1185-1333）到明治維新（1868）的幾百年間，該地區一直由南部家統治，所產鐵製品也被稱為「南部鐵器」。直到現在，當地仍在製作純手工鐵壺、鐵鍋以及風鈴等裝飾品。

一般認為，本地區的鑄鐵工藝由京都名匠小泉仁左衛門於 1659 年引入。那時，南部家希望推動當地文化和產業發展，於是邀請小泉仁左衛門移居今岩手縣，從事鐵器生產。

當時、日本傳統茶道使用的鐵釜沒有壺把和壺嘴，需要用竹勺舀取熱水。1750 年左右，第三代仁左衛門設計出了帶把手和壺嘴的小鐵壺，使得煮熱水更加方便。隨著時間的推移，這種鐵壺越來越受到大眾歡迎，並成為一大產業象徵，「南部鐵器」之名也隨之流傳開來。得益於熱衷茶道的南部家的長期支持，加上鑄鐵原料供應充足，當地製鐵業於是蓬勃發展。

南部鐵壺和其他手工鐵器可以在雫石站的觀光物產中心等多家工坊或商店中購買。一些產品還將鑄鐵工藝與淨法寺漆結合起來。淨法寺漆是岩手縣的另一大特產，起源於淨法寺町。生漆來自漆樹樹液，如今日本的漆樹很少，大部分漆都需要依賴進口，而淨法寺漆就是珍貴的日本國產生漆，主要用於修復國寶。

在雫石町的一間工坊中，遊客可以同時運用南部鐵器和淨法寺漆這兩種傳統工藝來製作首飾、鑰匙扣或其他自創紀念品。

<日本語仮訳>

南部鉄器

雫石町はかつて南部藩に属し、17 世紀には良質な鉄製品を製造する重要な拠点でした。鎌倉時代（1185-1333）から 1868 年の明治維新まで南部家の支配下にあったこの地域で作られたものは、「南部鉄器」と呼ばれるようになりました。今でも手作りの釜や鍋、風鈴などの装飾品が作られています。

1659 年に、京都の名工・小泉仁左衛門がこの地に鉄の鑄造技術を伝えたと言われています。文化・産業の振興を目指していた南部家の依頼により、仁左衛門は現在の岩手県に移り住んで生産を行うことになりました。

当時、日本の伝統的な茶道で使われていた釜には取っ手や注ぎ口はなく、竹の柄杓で湯をすくっていました。1750 年頃、3 代仁左衛門が、より便利にお湯を沸かせるようにと、取っ手と注ぎ口のついた小さな鉄瓶を考案します。この鉄瓶がやがて産業の象徴として人気を博し、南部鉄器として知られるようになりました。茶道に深い関心を持っていた南部家の継続的な支援と、製鉄に必要な材料に恵まれていたことで、この地場産業は発展を遂げたのです。

南部鉄器の鉄瓶やその他の手作りの鉄器は、雫石駅の観光物産センターなど、雫石のいくつかの工房やショップで購入できます。一部の製品は、製鉄技術と岩手県のもう一つの名産である浄法寺町で生まれた浄法寺漆を組み合わせたものです。漆は、ますます希少になってきている漆の樹液から作られています。現在、日本で使用されている漆のほとんどは外国産ですが、浄法寺漆は数少ない国産の漆で、主に国宝の修復に使用されています。

雫石町内の工房のひとつでは、南部鉄器と浄法寺漆という 2 つの伝統工芸を組み合わせた体験教室を開催しています。ジュエリーやキーホルダーなど、オリジナルのお土産を作ることができます。

【タイトル】 森の風フラワーガーデン

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

森之风花园

森之风花园是日本规模最大的西式花园之一，由本地与世界著名景观设计师石原和幸(1958-)联合建造。石原和幸曾多次在一年一度于伦敦举办的切尔西花展中获得金奖。这座花园归属酒店森之风莺宿，但对公众开放。

广阔的花园占地逾2.3万平方米，分为“森之溪谷”和“森之丘”两个区域。森之溪谷中种植了众多代表日本四季的草木花卉，还有瀑布和溪流。造型灌木区里修剪成各种动物形状的植物会让儿童和富有童心的成年人兴致勃勃，园艺发烧友则迫不及待地想要一睹石原和幸在切尔西花展上的获奖作品。森之丘则充满奇思妙想，令人仿佛置身秘密花园。傍晚时分，这里会点亮以日本童话故事为主题的灯饰。

<繁体字>

森之風花園

森之風花園是日本規模最大的西式花園之一，由當地與世界著名景觀設計師石原和幸(1958-)聯合建造。石原和幸曾多次在一年一度於倫敦舉辦的切爾西花展中獲得金獎。這座花園歸屬酒店森之風鶯宿，但對一般民眾開放。

這座廣闊的花園占地逾2.3萬平方公尺，分為「森之溪谷」和「森之丘」兩個區域。森之溪谷種植了代表日本四季的草木花卉，還有瀑布和溪流。造型灌木區裡修剪成各種動物形狀的植物會讓兒童和富有童心的成年人興致勃勃，園藝愛好者則可能會迫不及待地想要一睹石原和幸在切爾西花展上的獲獎作品。森之丘則充滿奇思妙想，令人仿佛置身秘密花園。傍晚時分，這裡會點亮以日本童話故事為主題的燈飾。

<日本語仮訳>

森の風フラワーガーデン

「森の風」は、日本最大級の西洋式庭園です。世界的に有名な日本のランドスケープデザイナー、石原和幸氏（1958- ）とのコラボレーションのもとで造営されました。石原氏は、毎年ロンドンで開催される有名なチェルシーフラワーショーで複数の金メダルを獲得しています。庭園はホテル森の風鶯宿の一部ですが、どなたでもご利用いただけます。

23,000 平方メートルを超える広大な施設は、2 つの主要なエリアに分かれています。「森の溪谷」には、日本の四季折々の花や植物が植えられており、滝や小川もあります。トピアリーガーデンでは、大人も子どもも植物で作られたさまざまな動物探しをお楽しみいただけるほか、石原氏がチェルシーフラワーショーで受賞した作品も展示されているので、ガーデニング愛好家にもお勧めです。「森の丘」エリアは、まるで秘密の花園に足を踏み入れたかのような、不思議な雰囲気醸し出しています。夜には、日本のおとぎ話に基づいたイルミネーションでライトアップされます。

【タイトル】 鳥越の滝と逢滝

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

鸟越瀑布和逢瀑布

这两座地标性瀑布，在新绿盎然的初夏和彩叶缤纷的秋季尤为迷人。

鸟越瀑布位于雫石町（雫，音同“下”）郊外风景如画的葛根田溪谷中，落差 30 米。瀑布附近就是泷上温泉区，在此可见腾腾蒸汽如云雾般缭绕在瀑布底部的碧绿水潭上。泷上温泉接待当天来回的游客，在欣赏瀑布之余还可享受泡汤乐趣。但需注意，冬季进入该区域的道路会封闭。

莺宿温泉村内的逢瀑布规模略小，但游客可以近距离地观赏这一美丽的多级瀑布。从村中大部分住宿地都可步行到达。

<繁体字>

鳥越瀑布和逢瀑布

這兩座地標性瀑布，在新綠盎然的初夏和彩葉繽紛的秋季尤為迷人。

鳥越瀑布位於雫石町（雫，音同「下」）郊外風景如畫的葛根田溪谷中，落差 30 公尺。瀑布附近就是瀧上溫泉區，在此可見騰騰蒸汽如雲霧般繚繞在瀑布底部的碧綠水潭上。瀧上溫泉接待當天來回的遊客，在欣賞瀑布之餘還可享受泡湯樂趣。但需注意，冬季進入該區域的道路會封閉。

鶯宿溫泉村內的逢瀑布規模略小，但遊客可以近距離地觀賞這一美麗的多級瀑布。從村中大部分住宿地都可步行到達。

<日本語仮訳>

鳥越の滝と逢滝

この 2 つの滝は、新緑に包まれる初夏や葉が色づく秋は特に美しい名所です。

鳥越の滝は、雫石の郊外の美しい景色が広がる葛根田溪谷沿いにある、落差 30 メートルの滝です。滝の近くには滝ノ上温泉があり、滝つぼの鮮やかな緑色から白い飛沫が上がる様子を見ることができます。滝ノ上温泉は日帰り入浴も可能なので、滝見物と入浴を組み合わせるみてはいかがでしょうか。なお、冬期は滝ノ上温泉に通じる道路が閉鎖されるので注意が必要です。

逢滝は鳥越の滝に比べると小さいですが、鶯宿温泉郷の中にあり、美しい滝の連なりを間近に見ることができます。逢滝には、鶯宿にあるほとんどの宿泊施設から歩いて行くことができます。

【タイトル】雫石町歴史民俗資料館

【想定媒体】WEB

<簡体字>

雫石町历史民俗资料馆

这座资料馆规模虽小但设施齐全，展品覆盖历史、文化和本地传统，适合所有年龄段人群参观。馆内收藏的文物最早可追溯至史前时期。馆外的农舍是传统“曲家”民居，“曲家”是一种人和马生活在同一屋檐下的住宅样式，反映了从前用来运输、务农的马匹对当地居民的重要性。

馆内最古老的展品是本地出土的旧石器时代石器，据考证已有超过 3.2 万年的历史。此外，一些绳文时代（公元前 10,000 年-公元前 300 年）的文物同样令人印象深刻，日本的史前居民当时还依靠狩猎、采集和捕鱼为生，通过这些古陶器、工具和各种工艺品，可以窥见定居此地的首批农耕者的生活面貌。

资料馆的其他收藏还有从绳文时代到现代的服装、文献、工具和各种日用品。尤为值得关注的是被称为“龟甲织”的纺织工艺展示。这种工艺极其复杂，主要原料是本地栽培的麻。“龟甲织”这个名字，因凸起且呈六边形的织物纹路酷似龟甲而来。龟甲织是雫石（雫，音同“下”）地区的特产，但在上世纪几近失传，幸而在近几十年的努力复兴下重获新生和关注。来访者可以从馆内展示中，了解这一特殊工艺的技术要点和历史。展品中有一件用龟甲织工艺制作的“汗弹”（内衣），这种面料吸汗能力强，农民通常将它穿在工作服里面。

资料馆旁的农舍是一栋典型的“曲家”民居。“曲家”顾名思义，就是“弯曲的房子”。这种 L 形民居设有马厩，主屋旁还有一处泥土地面的作业区。在雫石这样的农耕地区，马匹被视为家中不可或缺的成员，“曲家”的建筑形制，便于农民在严冬里可以就近照顾它们。

这栋保存完好的“曲家”大概已有 100 多年历史。它拥有传统的茅葺屋顶，还有家中取暖、照明和准备饭菜的“围炉里”地炉。围炉里是一个嵌入地面的四方形石坑，上方有钩，可以悬挂锅或水壶。

这栋农舍因为土地征用而被迁移至资料馆旁。20 世纪 50 年代，为治理御所湖一带的水灾，政府力促修建水坝。但因此被迫搬迁的 520 户人家不愿离开祖居地，谈判工作进行了 20 年，御所大坝最终于 1981 年投入使用。这栋农舍也是因大坝建设被迁至此处，它是雫石地区唯一一栋被精心保存下来的“曲家”建筑。

<繁体字>

雫石町歷史民俗資料館

這座資料館規模雖小但設施齊全，展品覆蓋歷史、文化和當地傳統，適合各年齡群的遊客參觀。館內收藏的文物最早可追溯至史前時期。館外的農舍是傳統「曲家」民居，「曲家」是一種人和馬生活在同一屋簷下的住宅樣式，反映了從前用來運送、務農的馬匹對當地居民的重要性。

館內最古老的展品是該地區出土的舊石器時代石器，據考證已有超過 3.2 萬年的歷史。此外，一些繩文時代（西元前 10000 年-西元前 300 年）的文物同樣令人印象深刻，顯示當時日本的居民還依靠狩獵、採集和捕魚為生，透過這些古陶器、工具和各種工藝品，可以窺見定居此地的首批農耕者的生活面貌。

資料館的其他收藏還有從繩文時代到現代的服裝、文獻、工具和各種日用品。尤為值得關注的是被稱為「龜甲織」的紡織工藝展示。這種紡織工藝極其複雜，主要原料是當地栽培的麻。「龜甲織」因凸起且呈六邊形的織物紋路酷似龜甲而得名。龜甲織是雫石（雫，音同「下」）地區的特產，但在上世紀幾近失傳，幸而在近幾十年的復興努力下重獲新生和關注。遊客可以從館內展示中，瞭解這一特殊工藝的技術和歷史。展品中有一件用龜甲織工藝製作的「汗彈」（內衣），這種面料吸汗能力強，農民通常將它穿在工作服裡面。

資料館旁的農舍是一棟典型的「曲家」民居。「曲家」顧名思義，就是「彎曲的房子」。這種 L 形民居設有馬廄，主屋旁還有一處泥地的作業區。以農耕為主的雫石地區，馬匹被視為家中不可或缺的成員，「曲家」的建築形制，便於農民在嚴冬裡可以就近照顧牠們。

這棟保存完好的「曲家」大約有百年歷史。它擁有傳統的茅葺屋頂，還有家中取暖、照明和準備飯菜的「圍爐裏」地爐。圍爐裏是一個嵌入地面的四方形石坑，上方有鉤，可以懸掛鍋或水壺。

這棟農舍因為土地徵用而被遷移至資料館旁。1950 年代，為治理御所湖一帶的水災，政府力促修建水壩，因此有 520 戶人家被迫搬遷。但他們不願離開祖居地，談判工作進行了 20 年，御所大壩最終於 1981 年開始使用。這棟農舍也是因大壩建設被遷至此處，它是雫石地區唯一一棟被精心保存下來的「曲家」建築。

<日本語仮訳>

雫石町歴史民俗資料館

小規模ながら設備の整った、歴史・文化・地元の伝統に焦点を当てたこの資料館は、年齢を問わず楽しめる場所です。館内では先史時代の出土品などを展示しており、屋外には馬が人と同じ屋根の下で暮らしていた伝統的な「曲がり家」があります。これはかつて馬が輸送や農業に重要な役割を果たしていたことを反映しています。

資料館の中で最も古い展示物は旧石器時代の石器で、この地域で発掘された 32,000 年以上前のものと考えられています。また、日本の古代人が狩猟採集と漁撈の文化を営んでいた縄文時代

(紀元前 10,000-300) の遺物のコレクションも見ものです。この時代の土器や道具、さまざまな工芸品からは、この地域に定住した最初の農民たちの生活を垣間見ることができます。

その他のセクションには、縄文時代以降から現代までの衣服、文書、道具、日用品が展示されています。特に注目すべきは、「亀甲織り」と呼ばれるこの地方の織りの技法の展示です。この複雑な織り方は、地元で栽培された麻から織物を作るのに使われます。亀甲織りの名は、織る工程で生まれる亀の甲羅に似た、隆起した六角形の模様由来しています。雫石特有の織物である亀甲織りは、20世紀に廃れかけましたが、ここ数十年の再興の努力により、改めて評価されるようになりました。展示されているこの技法で作られた「汗はじき」と呼ばれる下着などを通して、この工芸品の技術や歴史についてさらに学ぶことができます。農民たちは、汗を吸収しやすい汗はじきを作業着の下に着ていました。

資料館の隣にある農家は、文字通り「曲がった家」を意味する曲がり家です。L字型の構造で、馬を収容する厩舎と、家族の居間の隣に設置された土間の作業場で構成されています。雫石のような農村地帯では、馬は家族の大切な一員とされていたため、厳しい冬の間も馬の世話をしたり、大切に扱うことができる曲がり家のような造りになっているのです。

保存状態の良いこの曲がり家は、100年以上前のものと考えられています。伝統的な茅葺き屋根と、暖や灯りを取ったり食事の支度をしたりするための囲炉裏があります。囲炉裏とは、石を敷き詰めた四角い窪みのことで、火の上に鍋や釜を吊るすことができるフックが付いています。

現地の土地活用の変化により、この曲がり家は資料館の隣に移設されました。1950年代、政府は洪水に備えて近くの御所湖にダムを建設することを推進しました。しかし、移転の対象となった520世帯が一族の土地を手放すことに後ろ向きだったため、1981年に御所ダムが開通するまで、20年以上にわたって交渉が続けられました。資料館の敷地内に移設されたこの農家もまた、ダムの影響を受け、資料館の敷地内に移設されました。雫石町に残る曲り家の中で、このように大切に保存されているのはこの建物のみです。

【タイトル】 道の駅 雫石あねっこ

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**雫石あねっこ道之站公路服务区**

日本の公路服务区“道之站”是一种便利的旅行服务中心，设有餐厅、外卖、旅游信息咨询、礼品特产店铺和洁净的洗手间。服务区通常都会展示地方特产和地域特色，雫石（雫，音同“下”）あねっこ(anekko)堪称其中的范本。

该服务区拥有 4 家餐厅，丰俭由人。餐厅提供荞麦面、山葵等特色美食以及高品质的本地牛肉。“一目惚”（一见钟情）软冰淇淋采用雫石产的牛奶制作，十分受欢迎。这里还有一个宽敞的温泉设施，为当天来回的游客和附近露营地的住客提供西式和日式洗浴服务。礼品店里，特色工艺品和食品琳琅满目，是购买纪念品的理想场所。

室外有宽敞的空间让孩子们嬉戏，如果时间允许，还可以跨过通向露营区的桥梁去欣赏河景。服务区名里的“あねっこ”一词是当地方言对年轻女子的爱称。通往露营区的桥上和道路旁有几幅あねっこ马赛克拼图，讲述的是当地 5 位公主的民间传说。

<繁体字>**雫石あねっこ道之站公路服務區**

日本の公路服務區「道之站」是一種便利的旅行服務中心，設有餐廳、外賣、旅遊資訊諮詢、禮品特產店鋪和潔淨的洗手間。服務區通常都有地方特產和地域特色展示，雫石（雫，音同「下」）あねっこ（anekko）堪稱其中的範本。

該服務區擁有 4 家餐廳，可滿足各種預算和時間安排。餐廳提供蕎麥麵、山葵等特色美食以及高品質的本地牛肉。「一目惚」（一見鍾情）霜淇淋採用雫石產牛奶製作，十分受歡迎。這裡還有一間寬敞的溫泉設施，為當天來回的遊客和附近露營地的住客提供西式和日式洗浴服務。在禮品店裡，可以從琳琅滿目的特色工藝品和食品中選購自己最中意的紀念品。

室外有寬敞的空間讓孩子們嬉戲。如果時間允許，還可以跨過通向露營區的橋樑去欣賞河景。服務區名中的「あねっこ」一詞是當地方言對年輕女子的暱稱。通往露營區的橋上和道路旁有幾幅あねっこ馬賽克拼圖，講述的是當地 5 位公主的民間傳說。

<日本語仮訳>**道の駅 雫石あねっこ**

道の駅はレストランやテイクアウト、観光案内所、お土産店や清潔なトレイ等、旅行者に便利なサービスを提供する場所です。地元の特産品や地域の特徴を紹介する道の駅のひとつとして、雫石あねっこは大変優れた施設です。

予算やスケジュールに合わせて楽しめる 4 つのレストランがあり、蕎麦やわさび、地元の上質な牛肉を使った料理などを提供しています。雫石産の牛乳を使ったひとめぼれソフトアイスクリームは、とても人気です。また、日帰り客や、隣接するキャンプ場利用者のための、洋風と和風のお風呂が楽しめるゆったりとした温泉施設もあります。ギフトショップでは、お土産に最適な、地元で作られたさまざまな種類の工芸品や食品を買うことができます。

外には小さいお子さんが走りまわれる十分なスペースがあり、時間があればキャンプ場へ続く橋を渡って、川の景色を楽しむのもお勧めです。道の駅の名前にもなっている「あねっこ」は、若い女性を意味する親しみが込められた地元の方言です。橋やキャンプ場への道には、この地に伝わる 5 人の姫をモチーフにした、あねっこのモザイク画が飾られています。

解説文一覧

NO.	スポット名 (タイトル)	中国語文字数	想定媒体
017-001	会津戦争と籠城戦	1245	看板、WEB
017-002	会津藩の武士道	1290	看板、WEB
017-003	鶴ヶ城	1410	看板、WEB
017-004	会津を統治した大名や藩主	1445	看板、WEB
017-005	日新館と侍の子供たちの掟	1445	WEB
017-006	御薬園	570	看板、WEB
017-007	会津藩主松平家墓所 (院内御廟)	580	WEB
017-008	歴史的建造物の商店：福西本店・末廣酒造	930	WEB
017-009	会津漆器	365	WEB
017-010	円通三匠堂 (さざえ堂)	800	看板、WEB
017-011	工芸品「あかべこ」	655	看板、WEB
017-012	『会津農書』	470	看板、WEB
017-013	会津若松の食文化	780	WEB
017-014	会津の酒	620	看板、WEB
017-015	東山温泉	410	WEB
017-016	芦ノ牧温泉	365	WEB
017-017	飯盛山と白虎隊の少年たち	935	WEB
017-018	民芸品のワークショップ	415	看板、WEB
017-019	居酒屋でのお食事	350	WEB
017-020	会津三十三観音巡り	505	WEB
017-021	会津のまつり	680	WEB
017-022	会津武家屋敷	845	WEB
017-023	福島県立博物館	750	WEB
017-024	SAMURAI CITY：会津の歴史と文化	155	WEB
017-025	SAMURAI CITY：会津若松の食と酒	90	WEB
017-026	女性たちの戊辰戦争	495	WEB

【タイトル】 会津戦争と籠城戦

【想定媒体】 看板、WEB

<簡体字>

会津战争和围城之战

1868 年秋天，会津藩被卷入了戊辰战争(1868-1869)，这是一场忠于幕府（拥幕派）和支持恢复天皇统治（倒幕派）的势力之争，期间，会津若松的鹤城被包围了 1 个月之久。

幕府的支持者

江户时代(1603-1867)晚期，日本社会进入了动荡和变革的时期。在德川幕府的武士阶级统治下，天皇的地位已经名存实亡。经过 260 多年闭关锁国的孤立状态后，日本于 1853 年重新建立了与西方国家之间的国际关系。但一些武士不满于当时的幕府将军德川庆喜(1837-1913)的政策，他们担心日本的政治地位会因向西方国家开放而被削弱。

会津藩武士以纪律严明、英勇善战而闻名。会津藩与幕府关系密切，在藩主松平容保(1836-1893)的领导下，会津藩向当时的首都平安京（今京都）派出大量武士，协助维护当地治安。松平容保是德川庆喜的亲戚并深受其信赖，在 1862 年至 1868 年奉命出任守护京都要职，这一优厚待遇令其他藩主对松平容保以及会津藩的嫉妒与不信任日益增长。

权力争斗

当明治天皇(1852-1912)登基后，强大的萨摩藩、土佐藩和长州藩（今鹿儿岛县、高知县和山口县）的藩主劝说这位年轻的天皇站在他们一边，共同反对幕府。最初，德川庆喜为了避免混乱，确保自身安全，同意放弃将军地位。然而，他对倒幕的维新志士企图消除德川家族的政治影响力萌生不满，便又想从天皇手中夺回对京都的控制权，这也为内战埋下了伏笔。

1868 年 1 月 27 日，会津藩部队在京都的鸟羽伏见之战中与新成立的“萨长同盟”（萨摩藩与长州藩联盟）交战。不久之后，该同盟被天皇授予正式地位，成为新政府军。德川庆喜很快放弃了对权力的要求，逃离京都，留下松平容保及其支持者来对付新政府军。另一方面，天皇于 1867 年赢得国家统治权后结束了幕府制度，并于次年迎来了明治维新(1868)。之后，新政府军（同盟军）要求惩治松平容保和会津藩武士。松平容保一再道歉请求宽宥，但最终未果，于是他带领部队撤回了会津藩。

最后决战

当明治天皇打算实行“版籍奉还”政策，命令所有武士将土地和户籍归还朝廷时，遭到了会津藩的拒绝。会津获得本州北部的东北地区诸藩联盟“奥羽越列藩同盟”的支援，战斗

了数月之久。支持会津藩的人还包括了“新选组”的成员，这是一支由松平容保组建的保安队，旨在保护幕府在京都的势力。虽然大多数新选组成员都是浪人武士，但他们以精湛剑术和对幕府的死忠而闻名。

到了1868年秋天，随着新政府军的逼近，会津藩部队为保卫领土而孤军作战。然而敌人拥有比他们更现代、更强大的武器，比如从国外进口的枪炮。10月6日是这场内战的转折点。当时，新政府军包围了鹤城，将包括许多老弱妇孺在内的5000城民围困其中。看到局势迅速恶化之后，松平容保在1个月后同意投降。

当时，临近的米泽藩（今山形县一部分）官员前来协助谈判投降的条件。松平容保、其子松平喜德和一些高级将领被软禁，令人引以为傲的会津藩时代就此告终。日本在天皇的领导下实现了天下统一，并迁都东京，废藩立县，会津若松则成为了今天福岛县的一部分。

<繁体字>

會津戰爭和圍城之戰

1868年秋天，會津藩被捲入了戊辰戰爭（1868-1869），這是一場忠於幕府（擁幕派）和支持恢復天皇統治（倒幕派）兩股勢力之間的戰爭。在此期間，會津若松的鶴城被圍困了整整一個月。

幕府的支持者

江戶時代（1603-1867）晚期，日本社會進入了動盪和變革的時期。在德川幕府的武士階級統治下，天皇的地位已經名存實亡。經過260多年的閉關鎖國政策，日本於1853年重新與西方國家建立國際關係。然而，一些武士對幕府將軍德川慶喜（1837-1913）當時的政策感到不滿，擔心日本的政治地位會因向西方國家開放而被削弱。

會津藩武士以紀律嚴明、英勇善戰而聞名。會津藩與幕府關係密切，在藩主松平容保（1836-1893）的領導下，會津藩向當時的首都平安京（今京都）派出大量武士，協助維護當地治安。松平容保是德川慶喜的親戚並深受其信賴，在1862年至1868年奉命擔任守護京都的要職，這讓其他藩主對松平容保以及會津藩的嫉妒和不信任逐漸加深。

權力爭鬥

隨著明治天皇（1852-1912）登基，強大的薩摩藩、土佐藩和長州藩（現在的鹿兒島縣、高知縣和山口縣）的藩主說服年輕的天皇站在他們這一邊，聯合反對幕府。最初，德川慶喜為了避免混亂，確保自身安全，同意放棄將軍地位。然而，他對倒幕的維新志士試圖消除德川家族的政治影響力萌生不滿，因此想從天皇手中奪回對京都的控制權，這也為內戰埋下了伏筆。

1868年1月27日，會津藩部隊在京都的鳥羽伏見之戰中與新成立的「薩長同盟」（薩摩藩與長州藩聯盟）交戰。不久之後，該同盟被天皇授予正式地位，成為新政府軍。德川

慶喜很快放棄對權力的要求，逃離了京都，留下松平容保及其支持者來對付新政府軍。另一方面，天皇於 1867 年贏得了國家的統治權後結束了幕府政權，並於次年迎來了明治維新（1868）。新政府軍（同盟軍）要求懲治松平容保和會津藩武士，松平容保一再道歉請求寬宥，但最終未能成功，於是他率領著部隊撤回到會津藩的領地。

最後的決戰

當天皇計畫實行「版籍奉還」政策，命令所有武士將土地和戶籍歸還朝廷時，會津藩拒絕了這一命令。他們獲得本州北部的東北地區諸藩聯盟「奧羽越列藩同盟」的支援，在援軍的支援下戰鬥了數月之久。會津藩的支持者還包括「新選組」的成員，這支由松平容保組建的保安隊，旨在保護京都幕府派。儘管大多數新選組成員都是浪人武士，但他們以精湛劍術和對幕府的死忠而聞名。

到了 1868 年秋天，隨著新政府軍的逼近，會津藩部隊為保衛領土而孤軍奮戰。然而新政府軍擁有比他們更先進、更強大的武器，例如從國外進口的槍炮。10 月 6 日是這場內戰的轉捩點。當時，新政府軍包圍了鶴城，城中有包括老弱婦孺在內的約 5000 名城民。看到局勢迅速惡化之後，松平容保在 1 個月後同意投降。

當時，臨近的米澤藩（今山形縣一部分）官員前來協助談判投降的條件。松平容保、其子松平喜德和一些高級將領被軟禁，令人引以為傲的會津藩時代就此終結。日本在天皇的領導下實現了統一，並遷都東京，廢藩立縣，會津若松則成為了今天福島縣的一部分。

<日本語仮訳>

会津戦争と籠城戦

1868 年秋に、会津は戊辰戦争（1868-1869）に巻き込まれました。幕府に忠誠を誓う勢力（親幕派）と天皇の統治への復帰を支持する勢力（倒幕派）との間で戦われ、会津若松の鶴ヶ城が 1 か月にわたって包囲されました。

将軍の支持者

江戸時代（1603-1868）末期は、動乱と社会変革の時代でした。徳川将軍家による武家政権のもと、天皇は名目上の存在に過ぎなくなっていました。260 年以上にわたる鎖国を経て、1853 年に西洋諸国との国際関係が再び確立されましたが、一部の武士たちは、当時の将軍・徳川慶喜（1837-1913）の統治に不満を持っていました。西洋諸国への開放によって日本の政治的地位が弱まってしまうことを懸念していたのです。

会津藩の武士は規律を重んじ、鍛錬を怠らず、強い闘争心を持つことで知られ、幕府と密接な関係を築いていました。藩主・松平容保（1836-1893）の指揮の下、会津藩は当時の首都平安京（現在の京都）の治安維持のために多くの藩士を派遣していました。慶喜の親戚であり、厚い信頼があった容保は、1862 年から 1868 年まで京都守護職を務めることになりました。この優遇措置が、結果として他藩からの、容保や会津藩全体への妬みや不信感を高めることになりました。

権力闘争

明治天皇（1852-1912）が即位すると、当時有力であった薩摩、土佐、長州（現在の鹿児島県、高知県、山口県）の指導者層は、若い天皇に彼らと一緒に幕府に対抗するよう説得しました。慶喜は当初、混乱を避けて身の安全を確保するために、政治的地位を放棄することに同意していました。しかし慶喜は維新の志士たちが徳川一族の政治的影響力を排除しようとする動きに不満を抱き、天皇の支配から京都を取り戻そうとしました。それが内戦へと発展したのです。

1868年1月27日に会津藩は、京都の鳥羽伏見の戦いで、新たに設立された薩長同盟（薩摩藩と長州藩の同盟）と戦いました。同盟は、天皇によってすぐに新政府軍としての正式な地位を与えられました。慶喜はすぐに権力の主張を放棄して京都から脱出し、容保とその支持者に新政府軍の対処を任せました。天皇は1867年に国の統治権を獲得して武家政権を終わらせ、次の年に明治維新を迎えました。新政府軍（同盟軍）はその後、容保と会津藩士を処罰するよう要求。容保の度重なる謝罪の努力も受け入れられず、容保は軍とともに会津へと撤退することとなりました。

最終決戦

すべての武士に対し、土地と籍を朝廷に返還するよう求める「版籍奉還」が計画されているなかで、会津藩はこれを拒否。数か月間にわたり、本州北部の東北地方の諸藩の「奥羽越列藩同盟」の援軍も得て戦い続けました。会津を支持した人々の中には、京都で幕府方を守るために容保が結成した警察組織である新撰組のメンバーもいました。新撰組は浪士の集団でしたが、剣術と幕府への強い忠誠心で知られています。

1868年の秋には、新政府軍が迫る中、会津軍は領地を守るために単独で戦っていました。敵は、海外から輸入した銃や大砲を含む、より近代的で強力な武器を保持。転機が訪れたのは10月6日。新政府軍が鶴ヶ城を包囲し、多くの女性、子供、高齢者を含む5,000人の市民が城内に閉じ込められたのです。容保は、状況が急速に悪化するのを見て、1か月後に降伏することに同意しました。

近隣の米沢藩（現在の山形県の一部）の役人が降伏条件の交渉を支援。容保とその息子の喜徳ら幹部らが軟禁され、誇り高き会津藩の時代は幕を閉じたのです。日本は一人の指導者のもとで統一され、天皇は新しい首都を東京に決めました。藩を廃止して県が置かれ、会津若松は福島県の一部となりました。

【タイトル】 会津藩の武士道

【想定媒体】 看板、WEB

<簡体字>

会津藩的武士精神

武士生活建立在一种被称为“武士道”的道德行为准则上。忠义、勇气、礼节、仁慈、节俭和荣誉等价值观受到高度重视。武士并不是单一固化的群体，研究表明，他们的生活方式因时代和居住地区的不同而存在许多差异。然而历史学家一致认为，会津武士体现了武士道精神的最高境界。在会津若松，现在依然能找到许多见证武士道精神的历史遗迹，当地居民也对他们的这项文化遗产深感自豪。

正义的生活方式

会津武士的座右铭是“宁可为义而死，决不背义而生”。18世纪晚期有两套为会津藩武士制定的行为规范，一套针对藩主，一套针对家臣，但两套都反映了这句话的深义。规范中要求武士尊重民众的人权，比如不伤害老弱妇孺，以及不破坏敌人的房屋稻田，不杀害他们的牲畜。

会津武士还受过良好教育，特别喜好文化活动，比如茶道、诗歌和书法，以及武术、马术和剑术。参观会津若松保存完好的历史遗迹，能够更深入地了解武士生活。

日新馆

这所学校于1803年在会津成立，专门培养10~17岁的会津武士子弟。学生们在这里接受全面的教育，以身心兼修、文武双全为目标，为日后服务于藩主的生活做准备。日新馆位于鹤城（会津若松城）附近，被认为是同类教育机构中的佼佼者，甚至接受渴望向会津武士学习的他藩家族来访。6~9岁的男孩在进入学校之前就要学习被叫做“什之掟”的少儿武士行为准则，以尊重他人并为自己的行为负责为基础理念。即使在今天，这些准则依然是会津若松的教育核心。日新馆在戊辰战争(1868-1869)期间被摧毁，但1987年，人们在大约8公里外的会津若松市郊区忠实再现了这所学校当年的风姿。

白虎队

这支参加了戊辰战争的队伍大约有300人，主要由15~17岁的少年组成。在因战争中断学业之前，他们都是日新馆的学生。在一次战斗中，他们中一支20人的队伍与其他部队失去联系，败退到饭盛山上。当他们看到下面的小镇上升起烟雾时，误以为鹤城已经落入新政府军手中，但其实烟雾只是来自附近的民房。少年们不愿向敌人投降，最终选择了自尽，只有一人被路过的妇人救起后幸存下来。这些少年战士的坟墓就建在饭盛山上。

会津武家宅邸

会津武家宅邸中最核心的建筑，是根据西乡赖母(1830-1903)故居精心重建的武士住宅。西乡赖母是会津藩主的家老（家臣之首），也参加了戊辰战争。战争期间，他的妻子千重子(1835-1868)和五个女儿以及其他女性家庭成员一同留在家中。当战败的消息传来，这些妇女不愿被俘，纷纷结束了自己的生命。千重子用刀杀死了她的三个小女儿，然后和她两个十几岁的女儿、两个妹妹以及婆婆一起自尽而亡。

新岛八重

新岛八重(1845-1932)是会津藩最著名的女性之一。她从父亲那里学会了用枪，并参加了会津战争(1868.6-1868.11)。当会津藩军队在被围困长达一个月后向新政府军投降时，据说新岛八重写了一首诗来表达她对鹤城的爱：明日夜，何国人，凝望月色罩我城。

新岛八重在战争中幸存下来，成为女子高等教育的倡导者。鹤城内有一座她的雕像以及关于她生平成就的展示。东日本大地震发生后，为支持东北复兴，日本 NHK 在 2013 年推出了大河剧《八重之樱》，讲述的就是新岛八重的一生。

<繁体字>

會津藩的武士精神

武士生活建立在一種被稱為「武士道」的道德行為準則上。忠義、勇氣、禮節、仁慈、節儉和榮譽等價值觀受到高度重視。武士並不是單一固化的群體，研究表明，他們的生活方式因時代和居住地區的不同而存在許多差異。然而歷史學家一致認為，會津武士體現了武士道精神的最高境界。造訪如今的會津若松，依然能找到許多見證武士道精神的歷史遺跡，當地居民也對他們的這項文化遺產深感自豪。

正義的生活方式

會津武士的座右銘是「寧可為義而死，決不背義而生」。18 世紀晚期有兩套為會津藩武士制定的行為規範，一套針對藩主，一套針對家臣，但兩套都反映了這句話的深義。規範中要求武士尊重老百姓的人權，比如不傷害老弱婦孺，不破壞敵人的房屋稻田，以及不殺害他們的牲畜。

會津武士還受過良好教育，特別喜好文化活動，比如茶道、詩歌和書法，以及武術、馬術和劍術。參觀會津若松保存完好的歷史遺跡，能更深入地了解武士生活。

日新館

這所學校於 1803 年在會津成立，培養 10~17 歲的會津武士子弟。學生們接受全面的教育，以達到身心兼修、文武雙全為目標，為今後服務於藩主的生活做準備。日新館位於鶴城（會津若松城）附近，被認為是同類教育機構中的佼佼者，甚至接受渴望向會津武士學習的他藩家族來訪。在進入學校之前，6~9 歲的男孩就要學習「什之掟」，即少兒武士

行為準則，以尊重他人並為自己的行為負責為基礎理念。即使在今天，這些準則依然是會津若松的教育核心。日新館在戊辰戰爭（1868-1869）期間被摧毀，但 1987 年，人們在大約 8 公里外的會津若松郊區忠實重現了這所學校當年的風姿。

白虎隊

這支參加了戊辰戰爭的隊伍大約有 300 人，主要由 15~17 歲的少年組成。在戰爭中斷學業之前，他們都是日新館的學生。在一次戰鬥中，其中一支 20 人的隊伍與其他部隊失去聯繫，敗退到飯盛山上。當他們看到下面的小鎮上升起煙霧時，誤以為鶴城已經落入新政府軍手中，但其實煙霧來自附近的民房。少年們不願向敵人投降，最終全部選擇了自盡，其中一人被路過的婦人救起後倖存下來。這些少年戰士的墳墓就位於飯盛山上。

會津武家宅邸

會津武家宅邸最重要的建築，是根據西鄉賴母（1830-1903）故居精心重建的武士住宅。西鄉賴母是會津藩主的家老（家臣之首），也參加了戊辰戰爭。戰爭期間，他的妻子千重子（1835-1868）和五個女兒以及其他女性家庭成員一同留在家中。當戰敗的消息傳來，這些婦女不願被俘，紛紛結束了自己的生命。千重子用刀殺死了她的三個小女兒，然後和她兩個十幾歲的女兒、兩個妹妹以及婆婆一起自盡而亡。

新島八重

新島八重（1845-1932）是會津藩最著名的女性之一。她從父親那裡學會了用槍，並參加了會津戰爭（1868.6-1868.11）。當會津藩軍隊在被圍困長達一個月後向新政府軍投降時，據說新島八重寫了一首詩來表達她對鶴城的愛：明日夜，何國人，凝望月色罩我城。

新島八重在戰爭中倖存下來，成為推廣女子高等教育的有力大將。鶴城內有一座她的雕像以及關於她生平成就的展示。東日本大地震發生後，為支持東北復興，日本 NHK 在 2013 年推出了大河劇《八重之櫻》，講述的就是新島八重的一生。

<日本語仮訳>

会津藩の武士道

武士の生活は、「武士道」として知られる道徳的な行動規範に基づいていました。忠誠心、勇気、礼節、慈悲、質素、名誉などの価値観が高く重んじられました。武士という確固たる集団があるわけではなく、時代や地域に応じてその生活様式には様々な違いがあったことが調査を通じてわかっています。しかし、会津武士こそが武士道の精神を最も高次に体現した存在である、というのが歴史家の見解の一致するところではあります。会津若松には、武士道の精神を反映した史跡が今でも数多く見られ、地元住民は、そうした文化遺産を非常に誇りに思っています。

正しい生き方

会津武士は「義に死すとも不義に生きず」という言葉を大切に生きていました。これは、18 世紀後

半に会津藩士に向けて書かれた 2 つの規則に反映されています。1 つは藩主、1 つは家臣に向けて書かれたこれらの規則では、女性や子供、高齢者に危害を加えないこと、敵であってもその家や稲田を破壊し、動物を殺してはならないことなど、市民の人権を尊重することを求めています。

会津武士は、茶道、和歌、書道、武術、乗馬、剣術などの文化活動も武士の嗜みとして重んじられて教育が行われ、知識も豊富でした。保存状態の良い会津若松の史跡を訪ねれば、武士の生きざまについてさらに深く知ることができるでしょう。

日新館

10 歳から 17 歳までの会津藩士の子弟を養成するこの学校は、1803 年に会津で設立されました。生徒は藩主への奉仕に備えるべく、文武両道の総合的な教育を受けたのです。鶴ヶ城の近くにあった日新館は、当時の教育機関の主導的な存在で、会津に学ぼうとする他藩の家族の訪問を歓迎したほどでした。6 歳から 9 歳の男子は入学をする前から、武士の規範である武士の子としての心得「什の掟」を学び、他者を尊重して自分の行動に責任を持つことを基本としていました。この規範は、現代でも会津若松の教育の中核に据えられています。日新館は、戊辰戦争（1868-1869）で破壊されましたが、1987 年に約 8 キロ離れた会津若松市郊外に当時の姿を忠実に再現されています。

白虎隊

戊辰戦争（1868-1869）で戦った約 300 人編成の軍隊です。主に、戦争によって教育が中断される前に日新館の学生だった 15～17 歳の少年で構成されていました。ある戦闘で、20 人の部隊が他の部隊から離れ、飯盛山に敗走。山から眼下の町から砲煙が上がっているのを見て、鶴ヶ城が幕府軍に陥落されたのだと思いました（実際には周辺の民家から上がっていたものですが）。少年たちは、敵に降伏することを嫌い、自ら命を絶つことを選んだのです。通りかかった女性に 1 人の男子が助けられて生き残りましたが、これらの 10 代の武士たちの墓は飯盛山にあります。

会津武家屋敷

会津武家屋敷は、会津藩の家老で戊辰戦争（1868-1869）を戦った西郷頼母（1830-1903）の邸宅をもとに、復元した武家屋敷（武家屋敷）を中心とした施設です。頼母の妻、千重子（1835-1868）は、戦が始まった後も 5 人の娘や他の女性の家族とともにこの家に残りました。敗戦濃厚の報せが届くと、敵に捕らえられることを嫌い、自決することを選択。千重子は、自らの幼い娘たち 3 人を刀で殺し、10 代の娘たちと 2 人の妹、義母と共に自らも命を絶ちました。

新島八重

新島八重（1845-1932）は、会津で最も有名な女性の 1 人です。父から銃の扱いを学び、会津戦争（1868 年 6 月～11 月）に参戦しました。会津軍が 1 か月におよぶ包囲戦の後、新政府軍に包囲された時、八重は鶴ヶ城への愛を表すために詩を書いたと言われています。

「明日の夜は、何国の誰かながむらん、なれし御城に残す月かげ」

明日の夜、どこから誰かがここを見つめるだろう、月明かりに照らされた私の城。

八重は戦争を生き残り、女子高等教育の提唱者となりました。鶴ヶ城には彼女の像と彼女の業績に関する展示品が展示されています。東日本大震災を受け、東北復興支援の意味を込めて、2013年に放送されたNHK大河ドラマ「八重の桜」は八重の生涯を描く物語です。

【タイトル】 鶴ヶ城

【想定媒体】 看板、WEB

<簡体字>

鹤城

鹤城是会津若松的象征，深受人们爱戴。它不仅入选了日本 100 名城，还是国家指定史迹。这座城郭白墙红瓦，不禁令人联想到仙鹤雪白的翅膀和红色冠冕，所以得名“鹤城”。如今鹤城和鹤城城址公园都是会津若松最受欢迎的观光地。公园宽敞宁静，树木葱茏，绿草如茵，鲜花绚烂。园内种植了约 1000 株染井吉野樱花，被列入“赏樱名所百选”。

时代变迁中的城郭

鹤城是会津最古老的城郭，由战国武将芦名直盛(1323-1391)建造，最初被称为“黑川城”。之后的几个世纪里，会津的统治者几经更迭，城郭也经历了各种变迁。1590 年，蒲生氏乡(1556-1595)成为这里的统治者，他重修了城郭和七重天守阁，并将其更名为“鹤城”。后来，七重天守阁因地震受损，当时的领主加藤嘉明(1563-1631)及其子加藤明成(1592-1661)便把它改建成了一座五层天守阁，并在四周筑起高墙，挖掘了护城河。

尽管鹤城被认为是当时最坚固的城郭，但在会津战争(1868.6-1868.11)中依然遭到了严重破坏。天皇的新政府军包围鹤城后枪炮猛攻，会津藩被迫投降。明治维新(1868)结束了武士时代，鹤城也被新政府视为过往遗存。1874 年，与众多其他日本城郭的命运一样，鹤城大部分被拆除，只留下了当时的石墙。

恢复昔日荣光

1965 年，在会津若松市民的强烈要求下，当地对鹤城进行了精心修复，恢复了其昔日荣光。在 2011 年的重修中，屋顶的灰色瓦片被红色取代，令城郭重现了 19 世纪中期的色彩。今天，鹤城是日本唯一拥有红色屋顶的城郭。

精美的传统建筑技艺

这座石造城郭在戊辰战争(1868-1869)中幸免于难的部分，成为了绝佳的摄影场所。来访者还可以看到建造城壁和护城河时使用的各种建筑技术。人们认为这里的石墙在东北地区最为经典。

毛面砌法

城郭的地基部分使用各种大小、形状的未经加工天然石块堆砌而成，石块之间的空隙则用较小的石头填补。因为水可以通过缝隙流出，这种风格的石墙排水性能颇好，但同时也有易于敌人攀墙入侵的弊端。

嵌楔砌法

这种墙壁的石块被粗略地修整过，可以减少缝隙。为了更容易堆砌，石匠们敲打岩石令其棱角和表面都相对光滑。

切入砌法

到了17世纪早期，随着技术的进步，石匠们能够将石头加工成统一的尺寸，砌筑出接缝紧密的坚实高墙。但因为水渗入墙壁会损坏建筑物的结构，工匠们在墙面开设了排水口。

游女石

这块3米高的巨石位于太鼓门旁。门上放有一面太鼓，在领主驾到或外敌入侵等突发的紧急情况时会击鼓以示众人。在此摆放巨石的初衷，应该是为了保护城郭不受恶灵侵扰，但后来它有了其他用途。在1639年地震之后，1000多名劳工前来修复部分城墙，他们不得不从几公里外搬运大量巨石。当时的主管就让一位衣着华丽的花魁站在游女石上翩翩起舞，为辛苦作业的工人们加油鼓劲。

历史和风景

天守阁的一至四层为博物馆，展示武器和盔甲等武士时期的物品，以及与会津藩主和其他重要人物相关的资料。最顶层可以俯瞰城郭周围的全景，使用智能手机还能看到江户时代风景和如今风景相重叠的画面。

开馆时间：8:30~17:00（16:30最终入场）

茶室

参观城郭及其周边需要花费数小时，鹤城城址公园内的“麟阁”茶室是一处理想的休息场所，来访者可以一边享受抹茶一边欣赏迷人的茶园景色。茶室由对茶道颇有研究的领主蒲生氏乡命人建造。当时，他为了在会津推广茶道，还特地从京都请来了茶圣千利休(1522-1591)之子、茶道大师千少庵(1546-1614)。

<繁体字>

鶴城

鶴城是會津若松的象徵，深受人們愛戴，不僅入選了日本 100 名城，還是國家指定史跡。因這座城郭的白牆與紅瓦令人聯想到仙鶴雪白的翅膀和紅色冠冕，所以得名鶴城。今

天，鶴城和鶴城城址公園是會津若松最受歡迎的觀光地。公園寬敞寧靜，樹木蔥蘢，綠草如茵，鮮花盛開。園內種植了約 1000 株染井吉野櫻花，被列入「賞櫻名所百選」。

時代變遷中的城郭

鶴城是會津最古老的城郭，由戰國武將蘆名直盛（1323-1391）建造，最初被稱為黑川城。幾百年的時間裡，會津的統治者幾經更迭，城郭也經歷了各種變遷。1590 年，蒲生氏鄉（1556-1595）成為這裡的統治者，他重修了城郭和七重天守閣，並將其更名為「鶴城」。後來，七重天守閣因地震受損，當時的領主加藤嘉明（1563-1631）及其子加藤明成（1592-1661）便把它改建成了一座四周有高牆和護城河圍繞的五層天守閣。

儘管它被認為是當時最堅固的城郭，但在會津戰爭（1868.6-1868.11）中依然遭到了嚴重破壞。天皇的新政府軍包圍了鶴城，槍炮猛攻，會津藩被迫投降。明治維新（1868）結束了武士時代，鶴城被新政府視為過往遺存。1874 年，與當時眾多日本城郭的命運一樣，鶴城大部分被拆除，只有原來的石牆被保留下來。

恢復昔日榮光

1965 年，在會津若松人民的強烈要求下，當地對鶴城進行了精心修復，恢復了其昔日榮光。在 2011 年的重修中，屋頂的灰色瓦片被紅色取代，令城郭重現了 19 世紀中期的色彩。今天，鶴城是日本唯一擁有紅色屋頂的城郭。

精美的建築傳統技藝

這座石造城郭在戊辰戰爭（1868-1869）中倖免於難的部分，是絕佳的攝影場所。遊客還可以欣賞到建造城壁和護城河時所使用的各種建築技術。人們認為這裡的石牆在東北地區最具代表性。

毛面砌法

城郭的基礎部分是用未經加工的各種大小和形狀的天然石塊堆砌而成的，然後再用較小的石塊填補空隙。這種風格的石牆具有優良的排水性能，因為水可以通過縫隙流出，然而這也會讓敵人攀爬城牆入侵變得更加容易。

嵌楔砌法

這種牆壁的石塊被粗略地修整過，以減少縫隙。石匠們敲打岩石至棱角和表面都相對光滑，從而更容易堆砌。

切入砌法

到了 17 世紀早期，隨著技術的進步，石匠們能夠將石頭加工成統一的尺寸，並建造出接縫緊密的堅實高牆。因為水滲入牆壁會損壞建築物的結構，工人們還開設了排水口。

游女石

這塊高達 3 公尺高的巨石位於太鼓門旁。門上配有一面太鼓，在領主來訪或外敵入侵等突發緊急情況時就會擊鼓以示眾人。在此安置巨石，最初應該是為了保城郭不受惡靈侵

擾、但後來它有了別的用處。在 1639 年的地震之後，1000 多名勞工前來協助修復部分城牆，他們不得不從幾公里外搬運大量巨石。當時的工頭就讓一位衣著華麗的花魁站在游女石上跳舞，為辛苦作業的工人們加油鼓勁。

歷史和風景

天守閣的一至四層為博物館，展示武器和盔甲等武士時期的物品，以及與會津藩主和其他重要人物相關的資料。最上層可以俯瞰城郭周圍的全景，使用智慧型手機還能看到江戶時代風景和如今風景相重疊的畫面。

開館時間：8:30～17:00（16:30 最終入場）

茶室

參觀城郭和周邊需要花費幾個小時，鶴城城址公園內的「麟閣」茶室是一個理想的休息場所，遊客可以一邊享受抹茶一邊欣賞迷人的茶園景色。茶室由對茶道頗有研究的領主蒲生氏鄉命人建造，當時他希望將茶道引入會津。為此，他還特意從京都邀請茶聖千利休（1522-1591）之子、茶道大師千少庵（1546-1614）來此。

<日本語仮訳>

鶴ヶ城

日本 100 名城と国の史跡に指定された鶴ヶ城は、会津若松で愛されている街のシンボルです。鶴に似ていることからこの城名がつけました。白い壁と赤瓦の屋根が、鶴の白い羽と赤い冠に似ているからです。現在、鶴ヶ城と鶴ヶ城城址公園は会津若松を代表する観光名所となっています。同公園は、無数の桜の木を含む木々や芝生、花が生い茂る広々とした安らぎの空間が広がっています。公園内には約 1,000 本のソメイヨシノの桜が植えられ、「桜の名所 100 選」に選ばれています。

時代とともに変化する城

会津最古のこの城は、戦国武将・蘆名直盛（1323-1391）によって築かれ、当初は黒川城と呼ばれていました。その後、会津の統治者は幾度となく変わり、城もさまざまな変遷を遂げました。1590 年に統治者となった蒲生氏郷（1556-1595）は、7 層の天守閣とともに城を改築し、鶴ヶ城と改名しました。その後、加藤嘉明（1563-1631）とその息子の加藤明成（1592-1661）が地震の被害を受けて、高い堀と堀に囲まれた 5 層の天守閣に改築しています。

当時としては一番強固であると信じられていた鶴ヶ城ですが、会津戦争（1868 年 6 月～11 月）で大きな被害を受けました。天皇軍が城を取り囲んで鉄砲や大砲で城を破壊し、会津藩は降伏を余儀なくされたのです。明治維新（1868 年）で武士の時代が終焉を迎え、鶴ヶ城は新政府から過去の遺物とみなされるようになりました。1874 年、日本の城の多くがそうであったように、鶴ヶ城も大部分が取り壊され、当時の石垣だけが残されました。

取り戻されたかつての威容

1965年、会津若松市民の強い要望により鶴ヶ城は丁寧に復元され、かつての威容を取り戻しました。屋根には灰色の瓦が使用されていましたが、2011年の修復で赤色に変更され、19世紀半ばの城の色彩が再現されました。現在、鶴ヶ城は日本で唯一赤い屋根を持つ城です。

優れた伝統建築技術

戊辰戦争（1868-1869）の際に破壊を免れた石造りの城の一部は、フォトスポットとして絶好です。また、城壁や堀を作るために用いられた様々な建築技法を見ることができます。石垣は東北地方で最も美しいとされています。

野面積み

城の基礎は、さまざまな大きさや形の自然石をそのままの状態に積み上げ、その隙間を小石で埋めて造ります。こうした壁は、水が隙間を通り抜けるため排水は良好でしたが、敵が壁をよじ登って城に侵入するのは比較的簡単でした。

打ち込み接ぎ

壁の石の一部を成形して、隙間を減らします。石工が岩をたたいて角や表面を滑らかにし、岩を積み上げやすくするのです。

切り込み接ぎ

17世紀初頭までには、技術の進歩につれて、石工は石を均一なサイズに成形して隙間のない頑丈で高い壁を造ることができるようになりました。一方、壁に水がしみこむと建物に損傷を与える可能性があるため、水が流れるように排水口も作るようになりました。

遊女石

この高さ3メートルの岩は、大名の来訪や敵の襲来を知らせる太鼓を備えた太鼓門の側にあります。もともとは城を悪霊から守るために岩が置かれたと考えられていますが、後に別の目的で使われました。1639年の地震の後、1,000人以上の労働者が城壁の一部を修復するのを手伝いました。彼らは数キロメートル離れたところから大量の巨大な石を運ばなければなりません。彼らの監督者は、美しく着飾った花魁を遊女石の上に立たせ、労働者のために踊らせました。その美しい光景に刺激され、彼らの懸命な作業の後押しをしたそうです。

景観と歴史

城（天守閣）の1階から4階までが博物館になっており、会津藩主や他の重要人物に関する資料に加えて、武具や甲冑など武家時代の品々が展示されています。最上階からは、城の全景を一望することが可能です。また、スマートフォンを使って、江戸時代の風景と現在の風景を重ねて見ることができます。

なお、開館時間は8:30～17:00（最終入場時間は16:30）になっています。

茶室

城と敷地をしっかりと見て回るには、数時間必要になります。鶴ヶ城城址公園内にある茶室「麟閣」は、魅力的な茶園を眺めながら抹茶で一息つくのに最適な場所です。麟閣は茶の湯に造詣が深かった蒲生氏郷（1556-1595）に命じられ建てたものです。氏郷は会津に茶の湯を広めたいと考え、京都から茶聖・千利休（1522-1591）の息子で茶人の千少庵（1546-1614）を呼び寄せたのです。

【タイトル】 会津を統治した大名や藩主

【想定媒体】 看板、WEB

<簡体字>

统治会津的大名和藩主

12 世纪以后，尤其是在德川幕府统治下的江户时代(1603-1867)，会津藩的藩主们对文化和工业做出了巨大贡献，为该地区带来了深远的影响。以下都是会津历史上不可欠缺的存在。

芦名家族：建立城下町

12 世纪，惠日寺控制着当时被称为黑川的会津地区。但数个世纪以来，战乱及各种政治联盟使该地区的掌权者不断更迭。强大的芦名家族于 13 世纪控制了这一地区，并持续统治了数百年。芦名直盛(1323-1391)建造了黑川城，这是如今鹤城城址上的第一座城郭。1589 年，伊达政宗(1567-1636)击败了芦名家族，夺取了黑川城。不过，他的胜利并没持续多久。第二年，更为强大的武将丰臣秀吉(1537-1598)将黑川城分封给了他十分信赖的蒲生氏乡(1556-1595)。

蒲生家族：开发土地和发展工业

在蒲生氏乡的领导下，本地蓬勃发展。他将地名改为若松，重修城郭并将其更名为“鹤城”。他不仅让家乡（今三重县）的商人和手艺人移居会津，还吸引造酒商前来此地，为高品质酿酒业奠定了基础。此外，他也成功地让会津漆器、彩绘蜡烛和赤牛（周身红色、头部和颈部会动的纸质传统吉祥物）落地会津，而这三大传统手工艺如今也都成为了会津若松的文化瑰宝。

蒲生氏乡还从京都邀请来了茶圣千利休(1522-1591)之子、茶道大师千少庵(1546-1614)，大力推动了茶文化的发展。来访者可以在鹤城城址公园里的“麟阁”茶室，详细了解会津地区的茶文化。

加藤家族：领主更迭频繁

蒲生氏乡之子蒲生秀行(1583-1612)的嫡子英年早逝，后继无人。幕府将军德川家康(1543-1616)便指派了松山伊予藩（今爱媛县）的加藤嘉明(1563-1631)接管会津。加藤嘉明对城郭作出了进一步的整修，之后传位给了儿子。

保科家族：留下丰盛遗产

幕府第三代将军德川家光(1604-1651)用保科正之(1611-1673)取代加藤家族，确立了会津武士的基盘，并开创了一个繁荣时代。保科正之是德川家光（德川家康的孙子）同父异母的兄弟，与幕府关系密切。他推动了商业和农业的发展，使会津若松成为大米和清酒的核心产区之一。他还为会津藩制定了《会津家训十五条》，以确保会津藩对幕府的忠诚。

松平家族：两个世纪的繁荣和教育

保科家族被赐姓“松平”，德川家族就出自于这个姓氏，因此该姓氏与幕府关系非常密切。但保科正之拒绝了这一荣誉，以表明他不希望依仗德川家族的权力。然而，1696年，松平正容(1669-1731)在出任藩主期间，还是被幕府第五代将军德川纲吉(1646-1709)给予了松平的姓氏和家纹。

保科正之的后代在接下来的200年里，一直以松平家族的身份统治会津藩。松平家族第五代藩主松平容颂(1750-1805)创建了教育武士子弟的学校“日新馆”，并将其打造成了日本武士培训学校中的佼佼者。

松平容保：会津藩的最后岁月

松平家族第九代藩主松平容保(1836-1893)带领会津藩经历了戊辰战争(1868-1869)和会津战争(1868.6-1868.11)。激战期间，新政府军围困了鹤城，会津武士最终被迫投降。松平容保及其养子松平喜德(1855-1891)被软禁了一段时间。松平喜德通常被视为是松平家族的第十代家主，也是会津藩的最后一位藩主。

随着废藩置县的行政改革，会津成为福岛县的一部分。1889年，福岛县指定若松市为县内第一个市级行政单位，1951年，它与周围七个村庄合并为会津若松市。来访者可以在鹤城和位于院内山的松平家族陵园，了解更多关于会津藩主的信息。

<繁体字>

統治會津的大名和藩主

自12世紀以後，尤其是在德川幕府統治下的江戶時代（1603-1867），會津藩的藩主們對文化和工業做出了巨大貢獻，為該地區帶來了深遠的影響。因此，他們在當地歷史中赫赫有名。

蘆名家：建立城下町

12世紀，惠日寺控制著當時被稱為黑川的會津地區。但幾百年以來，戰亂及各種政治聯盟使該地區的掌權者不斷更迭。強大的蘆名家在13世紀控制了這一地區，並持續統治了數百年。蘆名直盛（1323-1391）建造了黑川城，即如今鶴城城址上的第一座城郭。1589年，伊達政宗（1567-1636）擊敗了蘆名家族，奪取了黑川城。然而，這一勝利並不持久。第二年，更為強大的武將豐臣秀吉（1537-1598）將黑川城封給了他的愛將蒲生氏鄉（1556-1595）。

蒲生家：開發土地和發展工業

在蒲生氏鄉的領導下，這片地區得以蓬勃發展。他將地名改為若松，並重修了城郭將其更名為「鶴城」。他從家鄉（今三重縣）招來商販和工匠遷入，還吸引造酒商前來，為當地高品質釀酒業奠定了基礎。此外，他還讓會津漆器、彩繪蠟燭和赤牛（周身紅色、頭部和頸部會動的紙質傳統吉祥物）成功落地會津，而這三大傳統手工藝如今也都成為了會津若松的文化瑰寶。

蒲生氏鄉也大力推動了茶文化的發展，他從京都特意邀請來了茶聖千利休（1522-1591）之子、茶道大師千少庵（1546-1614）。遊客可以在鶴城城址公園裡的「麟閣」茶室進一步了解會津地區的茶文化。

加藤家：領主更迭頻繁

蒲生氏鄉之子蒲生秀行（1583-1612）的兒子英年早逝，死後沒有繼承人。幕府將軍德川家康（1543-1616）便指派松山伊予藩(今愛媛縣)的加藤嘉明（1563-1631）接管會津。加藤嘉明對城郭進行了進一步的整修，之後傳位給了兒子。

保科家：留下豐盛遺產

幕府第三代將軍德川家光（1604-1651）用保科正之（1611-1673）取代加藤家，確立了會津武士的基盤，並開創了一個繁榮時代。保科正之是德川家光（德川家康的孫子）同父異母的兄弟，與幕府關係密切。他推動了商業和農業的發展，帶領會津若松成為了主要的大米和清酒的產區之一。他還為會津藩制定了《會津家訓十五條》，以確保本藩對幕府的忠誠。

松平家：兩百年的繁榮和教育

保科家獲得了使用「松平」姓氏的機會，德川家就出自於這個姓氏，因此松平與幕府關係密切。但保科正之拒絕了這一榮譽，以表明他不希望依仗德川家的權力。然而，1696年，在松平正容（1669-1731）出任藩主期間，還是被幕府第五代將軍德川綱吉（1646-1709）賜予了松平的姓氏和家紋。

保科正之後代在接下來的 200 年裡，一直以松平家的身份統治會津藩。松平家的第五代藩主松平容頌（1750-1805）創建了教育武士子弟的學校「日新館」，並將其打造成了日本武士教育類學校中的佼佼者。

松平容保：會津藩的最後歲月

松平家第九代藩主松平容保（1836-1893）帶領會津藩經歷了戊辰戰爭（1868-1869）和會津戰爭（1868.6-1868.11）。在激烈的戰鬥中，新政府軍圍困了鶴城，會津武士最終被迫投降。松平容保及其養子松平喜德（1855-1891）被軟禁了一段時間。松平喜德通常被認為是松平家的第十代家主，也是會津藩的最後一位藩主。

隨著廢藩置縣的行政改革，會津成為福島縣的一部分。1889 年，若松市被指定為福島縣的首個市級行政區，1951 年，它與周圍七個村莊合併為會津若松市。遊客可以透過參觀鶴城和位於院內山的松平家墓地，更深入地了解關於會津藩主的資訊。

<日本語仮訳>

会津を統治した大名や藩主

12 世紀以降、会津を治めた藩主たちは、特に江戸時代（1603-1867）の徳川幕府の下で文化や産業に大きく貢献し、この地域に大きな影響を与えました。以下は、会津の歴史を語る上で、欠かすことができない存在です。

蘆名氏 城下町の形成

12 世紀、会津（当時の黒川）を統治していたのは恵日寺でしたが、戦乱や政治的な同盟関係により、その主導権は何世紀にもわたって変化してきました。13 世紀には蘆名氏が実権を握り、数百年にわたって統治し続けました。蘆名直盛（1323-1391）は、現在鶴ヶ城が建っている場所に最初の城である黒川城を築城。1589 年、蘆名氏は伊達政宗に敗れて黒川城を奪われました。しかしその勝利も束の間、翌年に、より強い武将・豊臣秀吉（1537-1598）が黒川を厚い信頼を寄せる蒲生氏郷（1556-1595）に譲ります。

蒲生氏 土地の開発と産業の育成

蒲生氏郷の指導のもと、この地は大いに発展。地名を若松と改名し、城を改築して鶴ヶ城としました。また、故郷（現三重県）から商人や職人を会津に招き入れます。酒造業をこの地に誘致し、良質な酒造りの伝統を確立したのはその一つです。また、会津漆器や絵ろうそく、赤べこ（伝統的な縁起物である赤く塗られた張り子の首振り牛）などの工芸品も会津に定着させました。この 3 つの産業は、現在では会津若松市の文化として大切にされています。

また、氏郷は京都から茶聖・千利休（1522-1591）の子息で茶人の千少庵（1546-1614）を招き、茶文化の振興にも努めました。鶴ヶ城城址公園内の茶室「麟閣」では、この地域の茶文化について学ぶことができます。

加藤氏 統治者の目まぐるしい交代

秀行の後を継いだ嫡男は、跡継ぎがいまま亡くなりました。そこで徳川家康（1543-1616）は、松山伊予藩（現在の愛媛県）から加藤嘉明（1563-1631）を会津藩主に任命しました。嘉明は城のさらなる整備を行い、その後、息子に引き継ぎました。

保科氏 強大な遺産を築く

徳川家光（1604-1651）は、加藤氏に代わって保科正之（1611-1673）を擁し、会津武士の基盤を確立して繁栄の時代を築きました。正之は家康の異母弟（家康の孫）として、幕府と

密接な関係にありました。商業と農業を発展させ、会津若松を米と酒の一大生産地へと押し上げました。また、幕府に忠誠を誓う「会津家訓十五カ条」を制定したのも正之です。

松平氏 2 世紀にわたる繁栄と教育

保科家は、幕府と密接な関係を持つ名誉ある松平姓（松平は将軍家徳川氏の先祖）を使用する機会を与えられました。正之は、徳川家の権力を主張したくないことを示すために、この名誉ある申し出を断りました。しかし、1696 年松平正容（1669-1731）が藩主在任中、将軍徳川綱吉（1646-1709）から松平の姓と家紋を与えられました。

現在、松平家として知られる正之の子孫は、その後 200 年間会津を統治し続けることとなります。松平家 5 代藩主の容頌（1750-1805）は、武士を養成する会津日新館を創設。日本有数の武士教育機関に育て上げました。

松平容保 会津藩末期を支える

松平家第 9 代藩主である容保（1836-1893）は、戊辰戦争（1868-1869）と会津戦争（1868 年 6 月～11 月）で新政府軍により鶴ヶ城を包囲され、会津武士が降伏を強いられた激動の中、会津藩を率いました。容保と養子の喜徳（1855-1891）は、しばらくの間自宅軟禁されましたが、この喜徳は一般的には松平家の 10 代目で会津藩最後の藩主と考えられています。

廃藩置県により藩は県に改められ、会津は福島県の一部となりました。若松市は 1889 年に福島県の最初の市として誕生し、1951 年に周囲の 7 つの村と合併して会津若松となります。鶴ヶ城や院内山にある松平家御廟では会津藩主についてより深く学ぶことが可能です。

【タイトル】 日新館と侍の子供たちの掟

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

日新館和武士子弟行为准则

会津武士因其英勇和高尚的行为道德标准而闻名全日本，于 1803 年创立的“日新馆”是成就这项荣誉不可或缺的条件。这所学校可谓会津藩武士子弟教育系统的核心，在当时不但引领着同类教育机构，还接受渴望向会津学习的他藩武士来访。

日新馆占地面积约为 26,500 平方米，曾与鹤城毗邻，但在戊辰战争(1868-1869)期间被摧毁。1987 年，人们在如今的位置按照原来的设计和规模对它进行了复原，现对公众开放。来访者可以通过详细的立体布景和有关学生生活的展览了解武士的日常。武道场、日本最古老的游泳池和学习天文学的天文台，也是不容错过的看点。

男孩通常在 6~9 岁之间参加预备班，10 岁时进入学校，然后按等级划分进行学习，在 15~19 岁毕业。学生们接受全面的教育，以身心兼修、文武双全为目标，为日后服务藩主和会津藩做准备。尊重他人并为自己的行为负责是学校的基本原则，直至今日仍然体现在会津的教育价值观中。

崇高的理想和一流的设施

江户时代(1603-1867)，日本的生活变得相对和平，但人们对礼仪和行为规范的懈怠令统治阶级开始担忧。第五代会津藩主松平容颂(1744-1805)的家老（家臣之首）田中玄宰提议应该更加重视对下一代的教育。一位富有的和服商人为建造日新馆提供了大部分资金，官员、教师和学生齐心协力筹备了五年，1803 年，日新馆终于开馆。

武士阶级子弟从 10 岁开始可以入学，在校生始终保持在 1000~1300 名。一天的学习从 8:00 开始，男孩们根据他们的年龄和年级，学习科目极其广泛，包括阅读、书法、道德、礼仪、宗教、天文学，甚至医学。学习成绩优异的学生可以和富裕家庭的长子一同进入“讲释所”（大学）继续学习。

日新馆为所有学生和教师提供简单但足以饱腹的午餐，这便是日本首例学校供餐，也是首开了现代学校午餐制度的先河。之后，日本公立小学和初中也都开始供应营养丰富的热午餐。日新馆的学生们除了学习剑术、射箭、马术外，还要在“水练水马池”（相当于日本最早的学校泳池）里练习游泳，并在实践训练中掌握如何身披重甲骑马过河。

学生们还被教导如何在必要时用剑结束自己的生命。会津战争(1868.6-1868.11)中，19 名白虎队队员在饭盛山因不愿被俘而自尽身亡，他们都曾是受过这种训练的日新馆学生。

无论年龄或年级，所有学生都被要求遵守武士的准则，比如尊重大人和学长，注意自己的外表和言行，在公共场合始终表现得体等等。

武士子弟的准则——什之掟

入学前，6~9岁的男孩在各自地区上预备班。孩子们被分成10人一组（称为“什”），互相协助监督和规范彼此的行为。他们的日常生活都必须遵循少儿武士行为准则“什之掟”，为以后在日新馆的训练做准备：

- 不可忤逆长者言
- 不可不向长者行礼
- 不可诬妄不实
- 不可行卑劣事
- 不可欺凌弱小
- 不可进食于外
- 不可在外与妇人攀谈（为阻止与家庭成员以外的女孩或妇人交往）
- 结语：不行不可为之事

学生只要被认为违反了其中任何一条，就必须在老师和同学面前作出解释，然后由整个小组来决定如何处罚。最严重的处罚是暂时被开除，这在武士团体文化中被视为极大的耻辱。这些从幼年开始就遵循的准则和自我管理制度，鼓励男孩们团结协作，尊重他人，以团体需求为重。直到今天，除了“不可在外与妇人攀谈”之外，其他准则依然作为会津若松的核心价值观被传授于当地学生。

参观日新馆之后，来访者可以体验男孩们学习的科目，比如弓道和茶道，也可以参加为会津传统吉祥物“赤牛”（周身红色、头部和颈部会动的纸质传统吉祥物）上色的活动。

<繁体字>

日新館和武士子弟行為準則

會津武士因其英勇和高尚的行為道德標準而聞名全日本，而於 1803 年創立的「日新館」，正是成就這項榮譽不可或缺的條件。這所學校是會津藩武士子弟培訓系統的核心，在當時不僅引領著同類教育機構，還吸引渴望向會津學習的他藩武士來訪。

日新館占地面積約為 26,500 平方公尺，曾與鶴城毗鄰，但於戊辰戰爭（1868-1869）期間被摧毀。1987 年，人們依照原來的設計、等同的比例，在當前位置復原了它，對大眾開放。遊客可以通過詳細的立體布景和學生生活展覽來了解武士的日常。武道場、日本最古老的游泳池和學習天文學的天文台，同樣是不容錯過的看點。

男孩們通常在 6~9 歲之間參加預備班，然後在 10 歲時進入學校。他們按等級劃分，15~19 歲畢業。學生們接受全面的教育，以達到身心兼修、文武雙全，為服務藩主和會津

藩做好準備。尊重他人並為自己的行為負責是學校的基本原則，直至今日仍然反映在會津的教育價值觀中。

崇高的理想和一流的設施

江戶時代（1603-1867），日本的生活變得相對和平，但人們對禮儀和行為規範的懈怠令統治階層開始有所擔心。第五代會津藩主松平容頌（1744-1805）的家老（家臣之首）田中玄宰提議應該更加重視對下一代的教育。一位富裕的和服企業家為建造日新館提供了大部分資金，並在官員、教師和學生等民眾的共同參與下，用了五年時間，於1803年完成了日新館的建設。

武士階級子弟從10歲開始可以入學。在校生通常維持1000~1300名左右。一天的學習從早上8點開始，男孩們根據他們的年齡和年級學習廣泛的科目，包括閱讀、書法、道德、禮儀、宗教、天文學，甚至醫學。學習成績優異的學生可以和富裕家庭的長子一同進入講釋所（大學）繼續學習。

學校為所有學生和老師都提供簡單但足以飽腹的午餐，這是日本首間供餐的學校，也是首開現代學校午餐制度的先河。隨著這個制度的推廣，全國的公立國小和國中都有營養豐富的熱午餐供應。日新館的學生們不僅學習劍術、射箭、馬術，還要於「水練水馬池」（等同於日本最早的學校泳池）裡練習游泳，並在實踐訓練中掌握如何身披重甲騎馬過河。

學生們還被教導如何在必要時用劍結束自己的生命。會津戰爭（1868.6-1868.11）中，19名白虎隊隊員在飯盛山因不願被俘而自盡身亡——他們都是曾受過這種訓練的日新館學生。

無論年齡或年級，所有學生都被要求遵守武士的準則，比如尊重前輩和學長，注意自己的外表和言行，在公共場合始終表現得體等等。

武士子弟的準則——什之掟

在進入日新館之前，6~9歲的男孩在各自地區上學前班。孩子們被分成10人一組（稱為「什」），互相幫助監督和規範彼此的行為。他們的日常生活必須遵循少兒武士行為準則「什之掟」，為以後在日新館的訓練做準備：

- 不可忤逆長者言
- 不可不向長者行禮
- 不可誣妄不實
- 不可行卑劣事
- 不可欺凌弱小
- 不可進食於外
- 不可在外與婦人攀談（為阻止與家庭成員以外的女孩或婦人交往）
- 結語：不行不可為之事

學生只要被認為違反了其中一條守則，就必須在老師和同學面前作出解釋，然後由整個小組來決定如何處罰。最嚴重的處罰是暫時被開除，這在武士團體文化中被視為極大的

恥辱。這些從幼年開始就遵循的準則和自我管理制度，鼓勵男孩們團結合作，尊重他人，始終以團體需求為重。到了今天，除了「不可在外與婦人攀談」之外，其他準則依然作為會津若松的核心價值觀被傳授給當地學生。

在參觀=日新館之後，遊客可以體驗男孩們學習的科目，比如弓道和茶道，也可以參加為會津傳統吉祥物「赤牛」（周身紅色、頭部和頸部會動的紙質傳統吉祥物）上色的活動。

<日本語仮訳>

日新館と侍の子供たちの掟

会津武士は、その勇敢で高潔な道德観をもつことで全国的に有名でした。その理由として不可欠なのが、会津藩士の子息たちのために教育・育成するシステムの中心として 1803 年に設立された日新館です。日新館は当時の教育機関の主導的な存在で、会津に学ぼうとする他藩の武士の訪問も受け入れていました。

約 26,500 平方メートルに及ぶ学校の敷地は鶴ヶ城に隣接していましたが、戊辰戦争（1868-1869）の際に破壊されました。1987 年に元のデザインと規模で現在地の場所に忠実に再現され、一般に公開されています。ここでは、詳細なジオラマや生徒たちの生活の再現を通して、藩士たちの日常を知ることができます。武道場、日本最古のプール、学生が天文学について学んだ天文台などが見どころです。

男子は通常、6 歳から 9 歳の間に予備クラスに参加した後、10 歳からこの学校に入学しました。等級で管理され、10 代後半になると卒業しました。生徒たちは総合的な教育を通じて、その後の人生で、藩主や会津藩に奉仕する上で必要な心身と精神を鍛練するのです。他者を尊重する心、自分の行動に対する責任感といった鍛練の基本原則は、今日でも会津の教育的価値に残っています。

崇高な理想と一流の設備

江戸時代（1603-1867）に日本の生活が比較的平和になると、指導者たちは礼節や振舞いに緩みが生じていることに懸念を持つようになります。松平容頌（1744-1805）が第 5 代の藩主として治めている間、彼に仕えた家老の田中玄宰は、次世代の教育をより重んじることを提案しました。日新館を建設するための資金のほとんどは大店の呉服商が負担し、1803 年の開館に至るまでの 5 年間の建設期間中で、役人、教授、生徒たちもが協力して準備を進めたのでした。

武士階級の男子たちは 10 歳から日新館に入学し、1,000 人から 1,300 人の学生が常に入学しました。彼らの 1 日は午前 8 時から始まり、少年たちは年齢や学年に応じて、読書、書道、倫理、礼儀作法、宗教、天文学、さらには医学まで、幅広い教科を学びました。学業で優秀な成績を収めた者は、裕福な家庭の長男とともに、講釈所（今でいう大学）に進むことができました。

生徒と教師はすべて、日本で最初の学校給食の例である質素ながら十分な昼食を提供されました。これが全国の公立小中学校で栄養満点の炊き出し給食を提供する、近代給食制度の先駆けとなりました。日新館の生徒たちは、剣術、弓術、乗馬のほか、日本で最初の学校プールに相当する水練

水馬池で、水泳の練習もしました。実践的な練習の中には、重い鎧を着たまま馬に乗って川を渡る方法などがありました。

生徒たちは、必要な場合に剣で命を絶つ方法も教えられました。日新館の生徒でもあった白虎隊の19人の隊員は、会津戦争（1868年6月～11月）の最中の飯盛山で、この訓練をもとに、敵軍に捕らえられるのではなく自ら命を絶ったのです。

年齢や級に関係なく、すべての生徒は武士の子としての理想を保つことを求められました。これには、大人や年長の生徒に敬意を持って接すること、身だしなみや話し方に気を配ること、公共の場では常に適切な振る舞いをするなどが含まれます。

武士の子としての心構え：什の掟

日新館に入学するまでの6歳から9歳までの男の子は地区ごとの予備クラスに通っていました。彼らは10人で一つのグループ（「什」と呼ぶ）として編成され、子供たちはお互いの行動を監視し、統制することを助け合いました。日新館での修行に備えて、彼らは次の「什の掟」と呼ばれる児童規範に従って生活することを期待されていました。

- ・年長者の言うことに従いなさい。
- ・年長者にお辞儀をしなさい。
- ・嘘をついてはいけません。
- ・卑怯な振る舞いをしてはいけません。
- ・自分より弱い人をいじめてはいけません。
- ・路上で食べてはいけません。
- ・家の外で女性と話してはいけません（これは、家族以外の少女や女性との交流を思いとどまらせるためでした。）
- ・なにより：ならぬことは、ならぬものです（してはいけないことはしてはいけません）。

少年がこれらの掟のいずれかを破ったと思われる場合、教師や仲間の前に呼び出され、弁明をすることになります。その後、グループ全体で罰を決定します。最も厳しい罰は一時的な排除です。これは武士のような集団志向の文化では非常に恥ずべきことと見なされていました。少年たちは、幼い頃からこうした規則と自治の仕組みを通じて、共に働き、他の人を尊重し、グループ全体に必要なことを考慮することを奨励されました。「家の外で女性と話すな」という例外を除けば、これらのルールは今でも会津若松の学童に教育の中核として教えられています。

日新館の施設を見学した後は、少年たちが学んだ弓道や茶道などの科目を体験学習したり、会津の伝統的な縁起物である赤べこ（赤く塗られた張り子の首振り牛）の絵付けをしたりすることができます。

【タイトル】 御薬園

【想定媒体】 看板、WEB

<簡体字>**御药园**

御药园（药草园）是一所池泉回游式庭园，它的中央有一座心字形池塘，周围花草树木繁盛，四季风景各异，是国家指定名胜。这个宁静的庭园曾是会津藩主的隐居之地，拥有悠久的历史，许多当时的特征和建筑都完好地保留至今。武将芦名盛久(1416-1444)在这里建造了第一座行馆，后来藩主保科正经(1647-1681)为了当地百姓的健康开始种植草药，“御药园”也因此得名。

池塘、庭园景观以及御茶屋御殿均为18世纪晚期扩建。御茶屋御殿当初只供藩主家人和来贵宾使用，现在向公众开放，游客可以在这里一边品尝抹茶，一边欣赏庭园美景。另一处值得留意的建筑是乐寿亭，这座四角亭阁位于池塘中心的小岛上。戊辰战争(1868-1869)期间，与藩主松平容保(1836-1893)和会津武士交战的新政府军，把御茶屋御殿当作救护伤兵的医疗院，御药园因此未受到严重破坏，乐寿亭也同样幸存下来，保持了原来的模样。

1928年，松平节子(1909-1995)与昭和天皇(1901-1989)的弟弟秩父亲王(1902-1953)订婚，会津若松就此与日本皇室结下了缘分。为了在秩父宫妃及其家人来访时提供住宿，当地在附近东山温泉乡一家旅馆里扩建了一座别馆。1973年，别馆被迁至御药园，秩父宫妃势津子（即松平节子）在纪念仪式上，以自己的生日9月9日重阳节，为其命名“重阳阁”。

开园时间：8:30～17:00（16:30最终入园）

<繁体字>**御藥園**

御藥園（藥草園）是一所池泉迴遊式庭園，園內中央有一座心字形池塘，周圍花草樹木繁盛，四季景色變幻，是國家指定名勝。作為會津藩主的隱居之地，這座寧靜的庭園歷史悠久，保留了眾多原有的特色和建築。武將蘆名盛久（1416-1444）在這裡建造了第一座行館，後來藩主保科正經（1647-1681）為了當地百姓的健康開始種植草藥，因此被稱為「御藥園」。

池塘、庭園景觀以及御茶屋御殿都擴建於18世紀晚期，御茶屋御殿當初只供藩主家人和貴賓使用，現在對外開放，遊客可以在這裡品嚐抹茶、欣賞庭園美景。另一個值得留意

的建築是樂壽亭，這座四方形的亭閣位於池塘中心的小島上。在戊辰戰爭（1868-1869）期間，與藩主松平容保（1836-1893）和會津武士交戰的新政府軍，把御茶屋御殿用作救護傷兵的醫療院，因此御藥園沒有受到嚴重破壞，樂壽亭也同樣保存下來，維持了原來的樣貌。

1928年，松平節子（1909-1995）與昭和天皇（1901-1989）的弟弟秩父親王（1902-1953）訂婚，從此會津若松與日本皇室結下了緣分。為了迎接秩父宮妃和家人來訪，在附近東山溫泉鄉的旅館裡擴建了一座別館。1973年，別館被遷到御藥園，秩父宮妃的勢津子殿下（就是松平節子）在紀念儀式上，以自己生日9月9日重陽節，為其命名「重陽閣」。

開園時間：8:30～17:00（最晚入園時間 16:30）

<日本語仮訳>

御藥園

国指定名勝「御藥園」（薬草園）は池泉式回遊式池庭園で、中央の心字の池の周りに、四季折々の草花を年間通じて楽しむことができます。この静かな庭園は、会津藩主の隠居として長い歴史を持ち、その当時の特徴や建物の多くをそのまま保持しています。蘆名盛久（1416-1444）が最初の別邸を建て、大名領主・保科正経（1647-1681）が領民の健康を守るために薬草を栽培し始めたことから、御藥園と名付けられました。

池と庭園は、18世紀後半に御茶屋御殿とともに増築されました。御茶屋御殿は、当初は藩主の家族や客人のみが使用していましたが、現在では一般客に解放され、庭園の景色を楽しみながらお抹茶で一息つくことができます。注目すべきもうひとつの建物は、池の中島に建てられた魅力的な四面体のパビリオンである楽寿亭です。戊辰戦争（1868-1869）に、御茶屋御殿は藩主・松平容保（1836-1893）や会津武士と戦った官軍戦傷者の治療所として利用されたため、御藥園は大きな被害を免れました。楽寿亭も同じく、昔のままの姿で残りました。

1928年、松平節子（1909-1995）と昭和天皇の弟である秩父宮（1902-1953）との婚約が成立し、会津若松は皇室とのつながりができました。近くの東山温泉郷の旅館に別館を増築し、妃とその家族が訪れた際に宿泊されました。この別館は1973年に御藥園に移され、記念式典で秩父宮妃勢津子殿下により、ご自分のお誕生日が九月九日の重陽の節句であったことから「重陽閣」と命名されました。

御藥園の開園時間は8:30～17:00（入園締め切りは16:30）となっています。

【タイトル】 会津藩主松平家墓所（院内御廟）

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**会津藩主松平家族陵园**

在院内山森林覆盖的山坡上，安葬着松平家族曾经统治会津藩的历代藩主。这里是松平家族陵园，被指定为国家史迹。院内山在任何季节都很美丽，但秋天的红叶尤其迷人。陵园的部分陵墓已有 400 多年历史，徒步前往需要约 15 分钟。饱经风霜、布满青苔的岩石和雄伟苍劲的树木浑然一体，营造出一种安详静谧的气氛。现场有陵园平面图的英文指示牌。

松平家族的第一任藩主保科正之(1611-1673)将儿子保科正赖(1640-1657)安葬在院内山，保科正赖不足 20 岁就英年早逝。保科正之本人被埋葬在福岛县的另一处，而他之后的八位藩主均被埋葬在院内山。除了第二任藩主保科正经(1647-1681)以佛教方式下葬之外，其余藩主都按照神道教传统安葬。

陵墓样式

神道教的陵墓由三部分组成。每座墓前各矗立着一根石柱，上面刻着藩主头衔和生平事迹。每根石柱都立于“龟石”（龟形石座）之上，人们认为龟石具有神力，能守护墓穴。柱子后面有一块写有藩主名字的墓碑，其下便是埋葬藩主的八角形墓室。藩主陵墓周边还有其妻儿和其他家庭成员的坟墓，形制比较简单。

熊铃

院内山有两个入口，从东山温泉乡或会津武家宅邸出发都很方便到达。这里是亚洲黑熊的自然栖息地，在每个入口处都有一个装有“熊铃”的小木箱，这种铃铛专门用来警告黑熊不要靠近，可以免费借用。在徒步旅行时请将铃铛系在包袋上随身携带，离开时再把它放回木箱。

<繁体字>**會津藩主松平家墓園**

在院内山森林覆盖的山坡上，安葬著歷代統治會津藩的松平家藩主。這裡是松平家墓園，被指定為國家史跡。院内山的風景在任何季節都很美麗，尤其是秋季的紅葉景色更是美不勝收。墓園內的部分墳墓已有 400 多年歷史，步行前往大約需要 15 分鐘。風雨洗禮下

爬滿青苔的岩石，與高聳入雲的樹木交織出寧靜的氛圍。現場還有介紹墓園佈局的英文告示牌。

松平家的第一任藩主保科正之（1611-1673），選擇院內山作為他十幾歲的兒子保科正頼（1640-1657）的墓地。保科正之本人被埋葬在福島縣的另一處，但在他之後的八位藩主均被埋葬於院內山。除了第二任藩主保科正經（1647-1681）以佛教方式安葬外，其餘藩主都依照神道教傳統安葬。

墓地樣式

神道教的墳墓由三部分組成。墳墓前各矗立著一根石柱，上面刻著藩主頭銜和生平事蹟。每根石柱都立於「龜石」（龜形石座）之上，人們認為龜石具有神力，能守護墓穴。柱子後面有一塊寫有藩主名字的墓碑，其下是埋葬藩主的八角形墓室。藩主墳墓的周邊還有其妻兒和其他家庭成員的墳墓，形制比較簡單。

熊鈴

院內山有兩個入口，從東山溫泉鄉或會津武家宅邸出發都很方便到達。這裡是亞洲黑熊的自然棲息地，在每個入口處都有一個裝有「熊鈴」的小木箱，鈴鐺可以免費借用。熊鈴的聲音用以警告黑熊不要靠近，健行時請將鈴鐺掛在包袋上隨身攜帶好。離開時，再把它放回木箱裡。

<日本語仮訳>

会津藩主松平家墓所（院内御廟）

樹林に覆われた院内山の斜面には、藩主として会津を治めた松平家の諸大名の墓があります。この松平家墓所は、国の史跡に指定されています。自然豊かな院内山はどの季節も魅力的ですが、特に秋の紅葉が美しいです。400年以上前の墓もある墓地までのハイキングは所要時間 15 分ほどです。風化して苔むした石や雄大な木々が調和して、静謐な雰囲気を与えています。墓地には、レイアウトを説明する英語の看板があります。

松平家初代藩主保科正之（1611-1673）は、10 代の息子正頼（1640-1657）の埋葬地として院内山を選びました。正之は福島県内の別の場所に埋葬されましたが、彼に続く 8 人の藩主は院内山に葬られました。このうち、松平二代目藩主の正經（1647-1681）は仏式、その他は神式で埋葬されました。

墓地の様式

神道の墓は 3 つの部分で構成されています。各お墓の正面には石柱がそびえ立ち、藩主の官位や身分の経歴が刻まれています。それぞれの柱は亀石と呼ばれる亀の形をした石を台座としており、その神通力により墓を守っていると考えられています。柱の後ろには藩主の名を刻んだ墓石と、その下に領主が埋葬されている八角形の塚があります。付近には、妻や子供、他の家族の墓もあり、そちらは比較的簡素なものです。

熊鈴

院内山への入り口は 2 つあり、東山温泉郷と会津武家屋敷のどちらからでも簡単に行くことが可能です。各入口には熊鈴が入った小さな木箱があり、無料で借りることができます。この地域はツキノワグマの自然生息地であり、熊鈴の音はクマに対して近づかないよう警告するためのものです。ハイキング中は鈴をバッグに取り付けたり携帯したりします。森を出るときには箱に戻しましょう。

【タイトル】 歴史的建造物の商店：福西本店・末廣酒造

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

历史建筑里的商家：福西本店和末广酒造

会津藩在戊辰战争(1868-1869)结束时向新政府军投降。明治天皇(1852-1912)建立新政府后，实施了诸多改革，其中一项就是解散武士阶层。许多武士为了生存，转而从事行政工作或自行创业。随着日本进入一个新时代，会津百姓也开始重建当地经济。

若松市成立于 1889 年，1951 年与周围七个村庄合并后成为会津若松市。商人在当地的经济增长中发挥了重要作用，其中一些企业已经经营了数百年之久。福西本店和末广酒造就是两具有历史意义的企业，在参观它们保存完好的建筑时，还能了解会津若松在戊辰战争后的发展和文化。

福西本店

福西本店建于 1914 年，归福西家族所有。这个富有且颇具影响力的家族，主要经营批发业务。家族曾经居住过的主屋向公众开放，来访者可以在此参观 20 世纪早期建筑、家具和各类配件。此外，在楼内还有一家纪念品商店和餐厅。

在这个复合型设施中，店铺的仓库特别值得一观，外墙涂有罕见的黑色灰泥，这是在石膏中加入烧过的松木烟尘颗粒制成。在用灰泥膏涂抹墙壁时，需要高超的技艺来保持颜色均匀和镜面般的光泽。黑灰泥被认为会带来好运，在大多数商人只能拥有白色仓库的时代，使用黑灰泥也彰显了福西家族的财富和地位。

末广酒造

这家清酒酿造厂成立于 1850 年，现在由末广家族第七代经营。大厅拥有日本建筑中罕见的高天井，威风凛凛。末广酒造不仅是日光东照宫的官方指定供应商，它的获奖清酒也出口到了世界各地。

末广酒造对外开放，并可以提供英语导览游。导览游从酿造区开始，边参观边了解传统的“山废酿造法”^{*}，这种酿造法利用缓慢的天然发酵来生产浓郁的清酒。酒厂有一间小型博物馆，展示了公司历史和清酒酿造工艺，来访者可以在馆内酒吧试饮清酒。厂内还设有一家咖啡馆，菜单上有不少使用了清酒的甜品。这里的另一个亮点是大量私人收藏的胶片相机，也向公众开放参观。

营业时间：10:00~17:00，休息日：12 月 31 日，1 月 1 日

※山廢釀造法：在古代釀造清酒時，為了促進糖化，需要把蒸過的米放在釀造酒母的大桶中碾碎，這項工作稱為「山卸」。但明治時代末期，這項艱苦的工序被廢除，人們直接將麴的酵素溶在水中，使用這種「水麴」來發酵，其效果與「山卸」相同，由此確立了「山廢釀造法」。

<繁體字>

歷史建築裡的商家：福西本店和末廣酒造

會津藩在戊辰戰爭（1868-1869）結束時向政府軍投降。明治天皇（1852-1912）建立新政府後，實施了諸多改革，其中一項就是解散武士階層。許多武士為了生存，轉而從事行政工作或自行創業。隨著日本進入一個新時代，會津百姓也開始重建當地經濟。

若松市成立於 1889 年，1951 年與周圍七個村莊合併後成為會津若松市。商販在會津若松的經濟增長中發揮了重要作用，其中一些企業已經營了數百年之久。福西本店和末廣酒造就是兩家俱有歷史意義的企業，在參觀它們保存完好的建築時，還有機會了解會津若松在戊辰戰爭後的發展和文化。

福西本店

福西本店建於 1914 年，歸福西家所有。這個富有且頗具影響力的家族，主要經營批發。家族曾經居住過的主屋向大眾開放，可以在此參觀 20 世紀早期建築、家具和配件。同一樓內還有一家禮品店和餐廳。

店鋪的倉庫特別值得一看，外牆罕見地塗抹著黑色灰泥，這種灰泥是在石膏中加入燒過的松木煙塵顆粒製成。在用灰泥膏塗抹牆壁時，需要高超的技藝來保持顏色均勻和鏡面般的光澤。黑灰泥被認為會帶來好運，在大多數商販只能擁有白色倉庫的時代，使用黑灰泥也彰顯了福西家的財富和地位

末廣酒造

這家清酒釀造廠成立於 1850 年，現在由末廣家族第七代經營。大廳擁有日本建築中罕見的高天井，非常有氣勢。末廣酒造不僅是日光東照宮的官方指定供應商，它的獲獎清酒也出口到了世界各地。

末廣酒造開放參觀，並提供英文導覽。導覽從釀造區開始，邊參觀邊了解傳統的「山廢釀造法」※，這種釀造法利用緩慢的天然發酵來生產濃郁的清酒。酒廠有一間小型博物館，主要展示公司歷史和清酒釀造工藝，遊客可以在館內酒吧享受清酒品鑒。廠內還設有一家咖啡館，菜單上有不少使用了清酒的甜品。這裡的另一個亮點是大量私人收藏的膠片相機，也開放參觀。

營業時間：10:00~17:00，休息日：12 月 31 日，1 月 1 日

※山廢釀造法：在古代釀造清酒時，為了促進糖化，蒸過的米需要放在釀造酒母的大桶中碾碎，這項工作稱為「山卸」。但明治時代末期，這項艱苦的工序被廢除，人們直接將麴

的酵素溶在水中，使用這種「水麴」來發酵，其效果與「山卸」完全相同，由此確立了「山廢釀造法」。

<日本語仮訳>

歴史的建造物の商店：福西本店・末廣酒造

会津藩は戊辰戦争（1868-1869）の終わりに新政府軍に降伏し、明治天皇（1852-1912）のもと樹立した明治新政府はさまざまな改革を断行し、その中で武士階級を解体しました。武士の多くは行政の仕事に転向したり、事業を起こしたりして生き残りを図りました。こうして日本が新しい時代を迎える中、会津の人々は地域経済の立て直しに着手したのです。

若松市は 1889 年に誕生し、1951 年に若松が周囲の 7 つの村と合併して会津若松になりました。商人が街の経済成長に重要な役割を果たしましたが、その中には数百年にわたって商売を続けてきた商人もいました。歴史的に重要な意味を持つ福西本店と末廣酒造の二社では、保存状態の良い建物を見物しながら、戊辰戦争後の会津若松の発展と文化について学ぶことが可能です。

福西本店

福西本店は 1914 年に創業した、卸問屋を営む富豪で有力な福西家が所有する事業。同家のかつての母屋は一般公開されており、20 世紀初頭の建築、調度品、アクセサリを垣間見ることができます。現在、同じ建物内で土産物店とレストランが運営されています。

この複合施設で特に注目すべきは店蔵。その外壁は焼いた松材からのすすの粒子を漆喰に加えることによって作られた珍しい黒漆喰で建てられています。均一な色と鏡のような輝きを保つ塗装には、高い技術が必要です。黒漆喰は福をもたらすとされ、多くの商人が白い蔵を持っていた当時、これは福西家の富と地位を世に示すものでした。

末廣酒造

1850 年に創業し、7 代続く末廣家によって今も守られ続けている酒造所です。日本建築では稀なほど高い吹き抜けがある威風堂々としたホールが特長です。今日では、その受賞歴のある酒が世界中に輸出されています。末廣はまた、日光東照宮の御用達の酒でもあります。

醸造所は見学が可能で、リクエストに応じて英語でのガイド付きツアーを提供しています。ツアーは、醸造エリアの散策と、ゆっくりとした発酵を利用してコクのある酒を生み出す伝統的な山廃仕込み[※]の説明から始まります。会社の歴史や酒造りについて展示されている小さな博物館があり、また館内のバーでは酒の試飲を楽しむことが可能です。醸造所にはメニューに日本酒を使ったデザートをラインナップしたカフェもあります。もう 1 つの注目は、大規模なフィルムカメラのプライベートコレクション。こちらも見学することが可能です。

末廣酒造の営業時間は 10:00～17:00 で、休業日は 12 月 31 日と 1 月 1 日になっています。

※山廃仕込み：むかし清酒を醸造の際に、糖化を促すため酒母を仕込む桶の中で蒸米をすり潰す必要があって、この工程を「山卸」と呼びます。明治時代末期に、過酷な作業である「山卸」を廃し、

あらかじめ水に麴の酵素を溶かした「水麴」を使用することで、「山卸」と同様の効果を得られる「山麴」製法が確立しました。

【タイトル】 会津漆器

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**会津漆器**

400 多年来，会津地区一直是高品质木制漆器的主要产地，而这项产业的崛起要归功于两位领主的努力。芦名盛信(1408-1451)扶植了漆树种植业，蒲生氏乡(1556-1595)则邀请了技艺高超的木工移居会津，从而确立了漆器行业。得益于历代统治者的极力支持，以及会津工匠的木工和涂漆技术的不断提高，本地漆器产业蓬勃发展了起来。

会津漆器在 1975 年被指定为日本传统工艺品，并以会津独特的设计而闻名。它大致分为像碗这样的圆形作品，或类似托盘和盒子这样的扁平作品。然而，为了提升漆器工艺的魅力，现代工匠还将漆涂在织物、金属或玻璃上，打造出各种各样的装饰品。在涂上很多层漆之后，他们最后用彩色漆、金粉或银粉来完成复杂的手绘花样，比如松树、梅花、竹子，以及破魔箭（带来好运的祭祀用箭）等吉祥图案。在会津若松的许多地方都能体验漆器彩绘。

<繁体字>**會津漆器**

400 多年來，會津地區一直是高品質木製漆器的主要產地，而這項產業的崛起要歸功於兩位領主的努力。蘆名盛信（1408-1451 年）扶植了漆樹的種植，蒲生氏鄉（1556-1595）則邀請了技藝高超的木工來到會津，從而確立了當地漆器行業。在歷代統治者的大力支援下，同時隨著會津工匠的木工和塗漆技術的不斷提高，漆器產業蓬勃發展了起來。

會津漆器在 1975 年被指定為日本傳統工藝品，並以會津特有的設計而聞名。它大致分為像碗這樣的圓形作品，或類似托盤和盒子這樣的扁平作品。然而，為了擴大漆器工藝的吸引力，現代工匠將漆塗在織物、金屬或玻璃上，以創造出各種各樣的裝飾品。在塗上很多層漆之後，他們最後用彩色漆、金粉或銀粉來完成複雜的手繪花樣，比如松樹、梅花、竹子，以及破魔箭（帶來好運的祭祀用箭）等吉祥圖案。會津若松的許多地方都能體驗漆器彩繪。

<日本語仮訳>**会津漆器**

会津地方は 400 年以上にわたって上質な木製漆器の産地であり、その起源は二人の領主の努力にありました。蘆名盛信（1408-1451）は漆の原料となる漆栽培を奨励しました。さらに蒲生氏郷（1556-1595）が木工職人を会津に招き、漆器産業を確立させました。歴代領主の尽力と会津の職人たちの木工や漆塗りの技術力の向上により、漆器の生産が盛んになっていったのです。

会津漆器は、1975 年に日本の伝統工芸品に指定。会津ならではの独特のデザインで知られています。伝統工芸で使われる木製品は大きく分けて、お椀などの丸いものと、お盆や箱などの平らなものがあります。しかし、最近では工芸の魅力を広げるために、布や金属、ガラスなどに漆を塗り、さまざまなアクセサリーを作る職人も存在します。漆を何層にも塗り重ねた後、色漆と金粉や銀粉を使って手描きで複雑な図柄を仕上げます。松や梅、竹、破魔矢（縁起の良い矢）などが代表的な図柄です。会津若松市内各所では、漆器の絵付けを体験することができます。

【タイトル】円通三匠堂（さざえ堂）

【想定媒体】看板、WEB

<簡体字>

圆通三匠堂（荣螺堂）

这座全木制结构的寺庙位于饭盛山脚下。其内部既没有地板也没有楼梯，取而代之的是一个双螺旋结构，在设计上十分独特。来访者沿着一条长长的单向坡道上行，在顶层走过一座小桥后再单向下行，途中不会遇见对向而来的人。采用这种设计的寺庙在全日本唯有荣螺堂，它是国家指定重要文化财产。法国香波堡的楼梯也是这种罕见的双螺旋结构，据说它的设计者是莱昂纳多·达芬奇(1452-1519)。

充满灵感的设计

1796年，一位名叫郁堂的僧人主导设计了这座寺庙。据说郁堂之所以采用这种独特的双螺旋设计，是为了打造一个连接三十三尊观音的迷你版巡礼路线，便于信徒轻松朝圣。相传大慈大悲观音菩萨能化身三十三相来拯救世间万物，完整的朝圣之旅被称为“西国三十三所观音巡礼”，要穿越关西地区的和歌山县、大阪府、奈良县、兵库县、京都府、滋贺县、岐阜县这7个府县，全程需要几周甚至几个月。郁堂在荣螺堂中安置了33座观音像，参拜者可以沿坡道前行时参拜，几分钟内便可完成朝圣之旅。

今天人们在荣螺堂见到的观音像均为复制品，寺庙本身也重建于1890年。

留下时代印记

寺庙的墙壁和天花板上贴满了被称为“千社札”的彩色纸片，信徒们习惯于将这些纸片贴在神社和寺庙中，以证明他们曾经到访。这些纸札上通常写有个人的姓名和地址，还印有一些其他装饰。荣螺堂的千社札宛如一个时代的印记，告诉人们当时参拜寺庙就是一种流行的娱乐或度假休闲方式。

寺庙正式的名称是“圆通三匠堂”，从佛教中的“右绕三匝”之礼而来，在这里意指“上去一圈半，下来一圈半”。而它更广为人知的名字是“荣螺堂”，因为寺庙形如荣螺。

寺庙附近有一尊白虎队年轻武士的雕像。白虎队是一支参加过戊辰战争(1868-1869)的武士团队。饭盛山上修建了在那里牺牲的19名白虎队成员的坟墓，山顶则可以俯瞰会津若松的全景。

开放时间：8:15～日落时分（4月～12月）；9:00～16:00（1月～3月）

<繁体字>

圓通三匠堂（榮螺堂）

這座全木製寺廟位於飯盛山腳下。其造型十分別致，沒有地板也沒有樓梯，取而代之的是一個雙螺旋結構。遊客進入這座寺廟時，沿著一條長長的單向坡道上行，在頂層走過一座小橋後再單向下行，途中不會與對向來人交錯。採用這種設計的寺廟在全日本唯有榮螺堂，它是國家指定重要文化財產。類似的雙螺旋結構還可以在法國的香波堡中找到，據說它的設計者是李奧納多·達文西（1452-1519）。

充滿靈感的設計

1796年，一位名叫郁堂的僧人主導設計了這座寺廟。據說郁堂採用這種獨特的雙螺旋設計，是為了打造一個連接三十三尊觀音的迷你版巡禮路線，以便讓信徒輕鬆朝聖。相傳大慈大悲觀音菩薩能化身三十三相來拯救世間萬物。完整的朝聖之旅被稱為「西國三十三所觀音巡禮」，要穿越關西地區的和歌山縣、大阪府、奈良縣、兵庫縣、京都府、滋賀縣、岐阜縣這7個府縣，全程需要幾星期甚至幾個月。郁堂在榮螺堂中安置了33座觀音像，參拜者可以沿坡道前行時參拜，幾分鐘內便可完成朝聖之旅。

今天人們在榮螺堂見到的觀音像均為複製品，寺廟本身也重建於1890年。

留下時代印記

寺廟的牆壁和天花板上貼滿了被稱為「千社割」的彩色紙片，信徒們習慣於將這些紙片貼在神社和寺廟中，證明他們曾經到訪。這些紙割上通常寫有個人的姓名和居住地，還印有其他裝飾。榮螺堂的千社割宛如一個時代的印記，告訴人們當時參拜寺廟是一種流行的娛樂或度假休閒方式。

寺廟正式的名字是「圓通三匠堂」，從佛教中的「右繞三匝」之禮而來，這裡是指「上去一圈半，下來一圈半」。不過它更廣為人知的名字是「榮螺堂」，因為寺廟外觀很像榮螺。

寺廟附近有一尊白虎隊年輕武士的雕像。白虎隊是一支參加過戊辰戰爭（1868-1869）的武士團隊。飯盛山上修建了在那裡犧牲的19名白虎隊成員的墳墓，從山頂還可以俯瞰會津若松的全景。

開放時間：8:15～日落時分（4月～12月）；9:00～16:00（1月～3月）

<日本語仮訳>

円通三匠堂（さざえ堂）

飯盛山の麓にある木造寺院で、床や階段のない二重螺旋構造のユニークなデザインが特徴です。参拝者はスロープ状の通路を一方通行で進み、頂上で橋を渡ってから下り、上りでも下りでも誰ともすれ違わない構造となっています。このような設計の寺院は日本で唯一のもので、重要文化財に指定さ

れています。フランスのシャンボール城の階段も、同様の珍しい二重螺旋構造となっていますが、こちらはレオナルド・ダ・ヴィンチ（1452-1519）が設計しました。

インスパイアされたデザイン

1796年に完成したこの素晴らしい寺院は、郁堂と言う僧侶が中心となって設計されました。郁堂は、33体の観音像を結ぶ巡礼路を参拝者が手軽に回れるようにと、二重螺旋状の特徴的なデザインにしたと言われています。観音様は33の姿に変身することができ、生きとし生けるものを救済すると言われています。西国三十三所観音巡礼は、関西を中心とした7府県（和歌山、大阪、奈良、兵庫、京都、滋賀、岐阜）を巡り、数週間から数カ月かけて行われるのです。郁堂は、さざえ堂に33体の観音像を設置し、参詣者は参道を移動しながら、それぞれの観音像にお参りすることができるようにしました。そのため、参詣は数分で完了します。

現在の観音像は複製で、寺は1890年に再建されたものです。

時代の痕跡を残す

寺の壁や天井には、千社札と呼ばれる色とりどりの紙が貼られています。これは、信者が神社や寺に参拝した証として貼ったものです。千社札には通常、その人の名前と居住地が記され、装飾も施されています。さざえ堂の千社札は寺院参拝が娯楽や休暇の過ごし方の一形態であった時代の面影を今に伝えるものです。

寺の正式名称「円通三匠堂」は、仏教の「右繞三匝の礼」から、ここでは上りに1回転半、下りにまた1回転半のことに由来します。また、寺の形が貝のサザエに似ていることから、「さざえ堂」という通称で親しまれています。

寺の近くには、戊辰戦争（1868-1869）で活躍した10代の白虎隊の若武者の像があります。飯盛山で命を落とした隊員19名の墓があり、山頂からは市街地を一望することが可能です。

営業時間は8:15～日没（4月～12月）、9:00～16:00（1月～3月）になっています。

【タイトル】 工芸品「あかべこ」

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**传统工艺品“赤牛”**

“赤牛”是小牛或公牛模样的红色小玩偶。400 多年前，它们是一种儿童玩具或吉祥物，现在已成为会津若松的象征。赤牛用纸糊制而成，脖子细长，牛头从牛身中伸出，可上下左右不停摇摆。

关于赤牛的起源众说纷纭，最流行的说法是其源自会津地区的圆藏寺。大约在 807 年，当地居民在建造寺庙时使用牛来搬运重物。突然有一天，出现了一头神秘的红牛（可能是棕色），它一牛当先勤奋苦干，直到任务完成。心存感激的人们在寺院里竖起了赤牛的雕像，从此赤牛即被视为健康与好运的象征。

好运的象征

1590 年蒲生氏乡(1556-1595)成为会津领主，他在摸索如何增加家臣们的收入来源时，在圆藏寺听到了赤牛的故事。于是，他让工匠们以赤牛为原型创作赤牛小玩具，并在会津兴起了玩具制造产业。此时，日本正流行天花，人们相信拥有赤牛玩具的儿童不太容易感染天花，这让它成为一种倍受推崇的吉祥物。日本自古认为红色是吉利之色，能驱除厄运，或许正是赤牛的颜色才让人们有了如此的联想。

赤牛是会津若松最著名的民间工艺品之一，现在仍是手工制作。工匠先将胶水和白垩粉搅拌均匀，将日本和纸浸泡其中后取出，缠裹到木制模具上，制作出牛的形状。当和纸干了之后，他们将牛一分为二，取出模具，再用多层和纸将切开的两瓣粘合到一起，最后用绳子把牛头连同脖子系到中空的体内。

在手作工作坊中，来访者可以尝试亲手为自己的赤牛上色，创作一个独一无二的纪念品。近年来，这些适合所有年龄段的手工作坊深受学生团体和游客喜爱。当然，你也可以在会津若松各处的纪念品商店购买现成的赤牛。

<繁体字>**傳統工藝品「赤牛」**

「赤牛」是小牛或公牛模樣的紅色小玩偶。400 多年前，它們被當作兒童玩具或御守似的吉祥物，現在已成了會津若松的象徵。赤牛用紙糊製而成，長長的脖子從牛身穿出，搖搖晃晃的牛頭是它最大的特徵。

關於赤牛的起源眾說紛紜，但最廣為流傳的版本是源自會津地區的圓藏寺。根據傳說，大約在 807 年，當地居民在建造寺廟時使用牛來幫助運輸重物。有一天，突然出現了神秘的紅牛（可能是棕色），牠開始帶領牛群並不知疲倦地工作，直到任務完成。心存感激的人們在寺院裡豎立了赤牛的雕像，從此赤牛逐漸被視為健康與好運的象徵。

好運的象徵

1590 年，蒲生氏鄉（1556-1595）成為會津領主。他在思考如何增加家臣們收入來源時，在圓藏寺聽到了赤牛的故事。於是，他讓工匠們以赤牛為原型創作了赤牛小玩具，並在會津開創了玩具製造產業。那時，日本正流行天花，人們相信擁有赤牛玩具的兒童，比較不容易染到天花，因此赤牛成了大受歡迎的吉祥物。日本自古認為紅色是吉利的顏色，能驅除惡運，或許也是赤牛的顏色使人們有了那樣的聯想。

赤牛是會津若松最著名的民間工藝品之一，現在仍然以手工製作為主。工匠們先將膠水和胡粉攪拌均勻，把日本和紙浸泡其中後取出，繞到木製模具上，製作出牛的形狀。等和紙乾了以後，工匠們把牛切成兩半，取出模具後，再用多層紙把切開的兩半黏在一起，最後用繩子把牛頭和脖子連接到中空的牛身上。

在手作工作坊中，遊客可以親手為赤牛上色，創作獨一無二的紀念品。近年來，這種適合所有年齡層的手工作坊，深受學生團體和遊客的喜愛。也可以在會津若松各地的紀念品商店，購買現成的赤牛。

<日本語仮訳>

工芸品「あかべこ」

赤べこは、小さな牛、または雄牛の小さな赤い人形のことです。400 年以上前に子供の玩具やお守りとして作られ、今では会津若松のシンボルとして親しまれています。赤べこは張り子でできており、牛の体に空いた穴から長い首が出ており、この長い首が上下に揺ら揺らと動くことで、首を振っているような特徴的な動きをします。

赤べこの起源には諸説ありますが、会津の圓藏寺に由来する説が有名です。807 年頃、圓藏寺を建立する際、住民が重い資材を運ぶために牛を使っていました。ところが、ある日突然、謎の赤牛（褐牛と思われる）が現れ、他の牛たちを先導して最後まで懸命に働いたそうです。この牛に感謝した人々は、境内に赤べこの像を建立し、やがて赤べこは無病息災の象徴、縁起の良いものとされるようになりました。

幸運のシンボル

1590 年に会津領主となった蒲生氏郷（1556-1595）は、家臣のために新たな収入源を確保する方法を模索しました。寺で赤べこの話を聞いた蒲生は、赤べこをモチーフにした小さな玩具を職人に作らせ、この地方に玩具産業を興すことにしました。この頃、日本では天然痘が流行していましたが、赤べこの玩具を持っている子どもは罹りにくいとされ、縁起物としてさらに人気が高まりました。日本では

昔から赤は縁起が良く悪運を遠ざける色とされており、赤べこの色が縁起担ぎに繋がった可能性もあります。

赤べこは現在も手作りされており、会津若松の代表的な民芸品です。和紙に糊と胡粉を混ぜたものを染み込ませ、木型に巻きつけて牛を作ります。和紙が乾いたら、牛を半分に割って型から外し、さらに紙を重ねてつなぎ合わせます。頭と首は空洞になった胴体に紐で吊るします。

体験工房では、自分だけの赤べこの絵付けに挑戦し、世界でたった一つのお土産を作ることが可能です。近年は、年齢を問わず参加できるワークショップとして、学生達や観光客に人気です。既製品は、市内のお土産屋さんで購入できます。

【タイトル】『会津農書』

【想定媒体】看板、WEB

<簡体字>**《会津农书》**

会津以高品质的大米和农产品而闻名，而适合当地条件的农业技术知识已被当地农户传承了数百年。在江户时代(1603-1867)早期，会津地区农业发展迅速，这在很大程度上归功于农业研究家兼村长的佐瀬与次右卫門(1630-1711)。他根据细致观察和自身经验编写了数本关于农业技术的书籍，为整个会津地区的农业奠定了坚实基础。

佐瀬与次右卫門出生的幕内村，现在是会津若松的一部分。1684年，他出版了第一本也是他最负盛名的书籍《会津农书》。书中描述了他的经验和实验成果，以及会津地区其他农民的一些实践。这本书很快受到了当地官员们的重视，并在各自的村庄里付诸应用。

传播知识

这本书用汉字写就，当时的许多农民很难读懂。为此，佐瀬与次右卫門想出了一个巧妙的方法。他编制了《会津歌农书》，用和歌（日本传统的诗歌形式）来介绍书中大意。和歌易于记忆，因此令更多人能够了解这本书。之后，他继续为会津的农业撰写文章、提供建议，并因这些功绩和成就于1689年得到了官方表彰。

来访者可以在位于鹤城附近的福岛县立博物馆，了解更多关于《会津农书》和本地农业的历史。

<繁体字>**《會津農書》**

會津以高品質的大米和農產品而聞名，而適合當地條件的農業技術知識已被當地農家傳承了數百年。在江戶時代（1603-1867）早期，會津地區農業發展迅速，這在很大程度上歸功於農業研究家兼村長的佐瀬與次右衛門（1630-1711）。他根據細緻觀察和自身經驗編寫了數本關於農業技術的書籍，為整個會津地區的農業奠定了堅實基礎。

佐瀬與次右衛門出生的幕內村，現在是會津若松的一部分。1684年，他出版了第一本、也是他最負盛名的書籍《會津農書》。書中描述了他的經驗和實驗成果，以及會津地區其他農民的一些實踐。這本書很快受到了當地官員們的重視，並在自己的村莊裡實際應用。

傳播知識

這本書以漢字書寫，這對當時的許多農民來說很難讀懂。為此，佐瀨與次右衛門想出了一個巧妙的方法。他撰寫了《會津歌農書》，用和歌（日本傳統的詩歌形式）來介紹書中大意。和歌易於記憶，因此令更多人能夠了解這本書。之後，他繼續為會津的農業撰寫文章、提供建議，並因這些功績和成就於 1689 年得到了官方表彰。

遊客可以在位於鶴城附近的福島縣立博物館，了解更多關於《會津農書》和地區農業歷史的情況。

<日本語仮訳>

『会津農書』

会津は良質な米と農産物の産地として知られ、現在の農家にはこの地に適した専門的な技術が何世紀にもわたって伝えられています。この地の農業は、江戸時代（1603-1867）初期に急速に発展を遂げました。それは、会津の篤農家、そして村長でもあった佐瀨与次右衛門（1630-1711）の功績によるものです。会津の農業基盤を築くために、彼は入念な観察と自らの体験をもとに農業技術に関する書物を数多く残しました。

与次右衛門は幕の内村（現在の会津若松市の一部）に生まれました。1684年に書かれた、初の本にして不朽の名著である『会津農書』を出版しました。自身の経験や実験、地域の他の農家の実践内容を記したものです。同書はすぐに地域の指導者たちの関心を集め、それを自分たちの村に応用していきました。

知識の普及

この本は漢字で書かれていたため、当時の農民には読みにくいものでした。そこで、与次右衛門は、本の内容を紹介するための工夫を凝らし、会津の農業技術を和歌で表現した『会津歌農書』を作成しました。和歌は覚えやすいので、与次右衛門の作品はより多くの人目に触れることになったのです。その後も会津の農業についての執筆や助言を行い、1689年にはその功績が認められ、正式に表彰されました。

鶴ヶ城の近くにある福島県立博物館では、『会津農書』や会津の農業の歴史について詳しく知ることができます。

【タイトル】 会津若松の食文化

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

会津若松的饮食文化

日本传统饮食文化十分重视使用当地的时令食材，而食材会受本地气候和农业环境影响。会津的地形非常适合种植水稻和蔬菜，据说冬季的大雪和季节性温差可以提升食材的风味。但另一方面，这里被群山环绕，远离大海，过去很难获得新鲜海产品，因此，海产品干货成为了当地主要蛋白质来源。在江户时代(1603-1867)，海货会通过行驶在主要航线上的“北前船”沿着阿贺野川运往会津。

幕府藩政时代结束后，日本迅速实现了工业化，国家铁路系统的发展令食材运输愈发方便。尽管如此，在将现代饮食文化融入生活的同时，会津人民依然尊重传统美食。以下为大家介绍一些会津若松的美味佳肴。

乡土美食

会津最经典的一道美食是“こづゆ”(kozuyu)，这是一种以干贝为汤头、用盐和酱油调味的汤汁，里面加入芋头、胡萝卜、多种菌菇、白果和被称为“豆麩”的面筋小球，汤料十分丰富，几百年来一直深受人们喜爱。它通常出现在节日、婚礼等特殊场合，但当地餐馆全年都有供应。

“圆盒饭”的精致菜肴为人们带来视觉和味觉的享受。圆盒是一种用薄木板制成的圆形饭盒。过去，伐木工人到森林里工作时会上它。据说这是当地一家餐馆的创意，他们在容器里装上煮熟的蔬菜和海鲜等时令菜肴，并将其命名为圆盒饭。

“味噌田乐烧”是在小块的油炸豆腐上涂上一层赤味噌和糖混合的糊状物后烘烤而成的小吃。传统的做法是将豆腐块穿在木签上，再用明火炙烤。

“酱汁猪排饭”是一种盖浇饭，在米饭上铺一层卷心菜丝，加上一块酥脆的炸猪排，然后再淋上香浓酱汁。这道料理起源于20世纪早期，长久以来一直是当地人的最爱，据说每家餐馆都有自己的招牌酱汁。

会津若松美食界的相对新秀是咖喱炒面，诞生于1950年左右，结合了两种非常受欢迎的菜肴：日式咖喱和日式炒面，堪称价廉物美。

喜欢吃甜食的人可以尝试包裹着甜豆沙、年糕和核桃的和菓子（日本传统甜点），味道与抹茶十分契合。

<繁体字>

會津若松的飲食文化

日本的傳統飲食文化很重視使用當地的時令食材，而食材會受當地氣候和農業環境影響。會津的地形適合種植稻米和蔬菜，據說冬季的大雪和季節的溫差能夠提升食材的風味。另一方面，這裡被群山環繞，遠離大海，在過去很難獲得新鮮的海產品，因此，海產乾貨成了蛋白質的重要來源。在江戶時代（1603-1867），海產乾貨會透過行駛在主要航線上的「北前船」，沿著阿賀野川運往會津。

在幕府藩政時代結束後，日本迅速實行工業化，國家鐵路系統的發展方便了食材運輸。會津的居民在將現代飲食文化融入生活的同時，依然尊重傳統美食。以下，介紹會津若松的幾種美味佳餚。

鄉土美食

會津最經典的美食是「こづゆ」(kozuyu)，這是一種用干貝做湯底、用鹽和醬油調味的湯汁，裡面加入芋頭、紅蘿蔔、多種菌菇、白果，還有被稱為「豆麩」的麵筋小球，湯料十分豐富，幾百年來一直深受人們喜愛。通常出現在節日、婚禮等特殊場合，不過，當地的餐廳全年都有供應。

「圓盒飯」(wappa 飯)中的精美擺盤，像是一場視覺和味覺的享受。圓盒是一種用薄木板製成的圓形飯盒。過去，伐木工人到森林裡工作時會帶它。傳說這是當地一家餐廳的創意，在圓形飯盒的容器裡裝上煮熟的蔬菜和海鮮等當季的菜餚，把它命名為「圓盒飯」。

「味噌田樂」是在油炸豆腐塗上一層赤味噌和糖混合的糊狀物，然後燒烤而成的小吃。傳統的做法是把豆腐塊穿在木籤上，再用明火炙烤。

「醬汁豬排飯」是一種蓋飯，在米飯上鋪高麗菜的菜絲，加上酥脆的炸豬排，然後再淋上香濃醬汁。這道料理起源於 20 世紀初期，長久以來一直是當地人的最愛，據說每家餐廳都有自己的招牌醬汁。

會津若松美食界的新秀是誕生於 1950 年左右的咖哩炒麵，結合了兩種很受歡迎的菜：和風咖哩和日式炒麵，可說是價廉物美。

喜歡吃甜食的人，可以嘗試包裹著甜豆沙、麻糬和核桃的和菓子（日本傳統甜點），味道和抹茶很搭配。

<日本語仮訳>

会津若松の食文化

日本の伝統的な食文化はその土地の気候や農法に育まれた旬の食材を使うことにあります。会津の地形は米や野菜の栽培に適しており、冬の豪雪と季節の寒暖差が食材の味を引き立てると言われています。一方、山に囲まれ海から遠く離れた内陸部では、昔は新鮮な魚介類を手に入れることが非

常に困難でした。その結果、魚介類の干物が重要なタンパク源となりました。江戸時代（1603-1867）には主要航路で運航していた北前船によって、阿賀野川に沿って会津に運ばれていました。

藩政時代の終焉以降、日本は急速に工業化され、国有鉄道の発達により食材の輸送が容易になりました。そんな中でも会津の人々は、近代の食文化も取り入れると同時に、伝統的な料理を重んじてきました。ここでは、そんな会津若松の味わい深い料理の数々をご紹介します。

郷土の味

会津の代表的な料理といえば、干し貝柱の出汁に塩と醤油で味付けした「こづゆ」。里芋、人参、きのこと類、銀杏、そして豆麩（まめふ）と呼ばれる小麦粉のグルテンの小さな玉が入ったボリュームたっぷりの料理で、何百年にもわたって愛され続けています。お祭りや結婚式など特別な日に食べることが多く、地域の料理屋でも年間を通じて提供されています。

美しい盛り付けで有名な「わっぱ飯」は、目にも舌にもごちそう。わっぱは、薄い板材を曲げてつくった丸い弁当箱のことです。昔は森に出かける木こりたちが使っていました。この容器に野菜や魚介類など旬の食材を詰めて「わっぱ飯」と名付けたのは、地元の食堂の発案であるとされています。

「みそ田楽」は、厚揚げに赤みそと砂糖を混ぜたペーストをまぶして焼き上げたものです。木製の串に刺した豆腐を直火で焼くのが伝統的な食べ方です。

「ソースカツ丼」は、ご飯の上に千切りキャベツとサクサクに揚げた豚カツを乗せ、ピリッとしたソースをかけたものです。1900年代初頭から地元で愛されているこの料理は、店ごとに独自のソースがあるとも言われています。

会津若松では、1950年頃に登場した比較的新参者の「カレー焼きそば」。大人気メニューの和風カレーと焼きそばが合体したもので、食べ応えがあて価格もお手頃です。

甘いものが好きな人は、あんこや餅、クルミなどが入った和菓子をお抹茶と一緒に食べるとよいでしょう。

【タイトル】 会津の酒

【想定媒体】 看板、WEB

<簡体字>**会津清酒**

凉爽的气候、优质的大米和质地清纯的水是酿造清酒的必要条件，而会津地区正拥有这种得天独厚的条件。会津的清酒酿造厂在全国清酒比赛中经常获奖，是日本屈指可数的清酒产区之一。对于许多造访会津若松的游客来说，品尝当地清酒是旅程中极大的乐趣，而且清酒也是馈赠亲朋好友的佳品。

清酒的主要成分是大米、水、以及发酵用的麴（音同“屈”）菌。其中大米最为重要，它影响着清酒最终的香气、味道和酒精含量。会津大米的特点是颗粒大、质地柔软，无论食用还是酿酒都很适合。而且当地多软水，这也使清酒味道清淡，入口清爽。清酒的酿造过程十分复杂，需要注重众多细节。本地酿酒厂拥有 400 多年的历史，在持续生产顶级清酒的同时，还不断开拓新领域。

令人自豪的酿酒传统

会津的清酒酿造始于 16 世纪，正值蒲生氏乡(1556-1595)统治本地的时期。酿酒师们应蒲生氏乡之邀来到会津，完善了清酒酿造的环境。及至 1667 年，在会津的清酒酿造厂已经超过了 320 家。在松平容颂(1744-1805)统治时期，新一代的专业酿酒师也来到了会津，进一步促进了技术改善和清酒品质的提高。

目前，会津地区约有 30 家酿酒厂，其中 6 家位于会津若松。进入 21 世纪后，随着日本国内对清酒需求的下降，当地酒商开始将重点从产量转向质量，并取得了良好成果。之后，福岛县在日本全国清酒比赛中连续荣获 8 次金奖，其中少不了本地酒商的功劳。为了让来访者了解更多当地清酒知识，部分清酒酿造厂提供参观和品酒服务，建议提前预订。

<繁体字>**會津清酒**

涼爽的气候、優質的大米和質地清纯的水是釀造清酒的必要條件，而會津地區正擁有這種得天獨厚的條件。會津的清酒釀造廠在全國清酒比賽中經常獲獎，是日本屈指可數的清酒產區之一。對於許多造訪會津若松的遊客來說，品嚐當地清酒是旅程中極大的樂趣，而且清酒也是饋贈親朋好友的佳品。

清酒の主要成分は大米、水、以及發酵用的麴（音同「屈」）菌。其中大米最為重要，它影響著清酒最終的香氣、味道和酒精含量。會津大米的特点是顆粒大、質地柔軟，無論食用還是釀酒都很適合。而且當地多軟水，這也使清酒味道清淡，入口清爽。清酒的釀造過程十分複雜，需要注重每一個細節。當地的釀酒廠擁有 400 多年的歷史，在持續生產頂級清酒的同時，還不斷開拓新領域。

令人自豪的釀酒傳統

會津的清酒釀造始於 16 世紀蒲生氏鄉（1556-1595）統治本地的時期。釀酒師們應蒲生氏鄉之邀來到會津，完善了本地清酒釀造的環境。及至 1667 年，在會津的清酒釀造廠已經超過了 320 家。到了松平容頌（1744-1805）統治時期，新一代的專業釀酒師也來到了會津，進一步促進了技術改善和清酒品質的提高。

目前會津地區約有 30 家釀酒廠，其中 6 家位於會津若松。進入 21 世紀後，隨著日本國內對清酒需求的下降，當地酒商開始將重點從產量轉向品質，並取得了良好成果。之後福島縣在日本全國清酒比賽中連續獲得 8 次金獎，其中少不了本地酒商的功勞。為了讓遊客了解更多當地清酒知識，一部分清酒釀造廠提供參觀和品酒服務，建議提前預訂。

<日本語仮訳>

会津の酒

酒造りに必要なのは、冷涼な気候、良質な米、そして清らかな水です。会津地方はこうした条件に恵まれており、酒造りには最適な環境が整っています。会津の酒蔵は全国的な品評会での上位入賞の常連となっており、日本有数の酒どころとして知られています。会津若松を訪れる多くの人にとって、同地の地酒を味わうことは大きな楽しみであり、また、家族や友人へのお土産としても最適です。

日本酒の主な原料は、米、水、そして発酵に使用する麴菌です。その中でも米は、香りや味、アルコール度数に影響を与える重要な原料です。会津の米は粒が大きく、食用にも酒造りにも適した柔らかな食感が特徴。また、会津の水は軟水が多く、酒に淡麗な味わいを与えます。日本酒造りは複雑な工程を必要とするため、細部にまで気を配らなければなりません。400 年以上の歴史を持つ酒蔵は、現在も最高品質の酒を造り続けながら、新たな進化を遂げています。

伝統ある酒造り

会津の酒造りは、蒲生氏郷（1556-1595）が会津を統治した 16 世紀頃から始まったとされています。氏郷の招きで会津にやってきた酒造家たちは、酒造りに最適な環境を整え、1667 年には 320 軒を超える酒蔵が会津に誕生。松平容頌（1744-1805）の時代になると、新たな世代の酒造りの名人がこの地にやってきて、さらなる技術の向上と酒質の向上が図られました。

現在、会津には約 30 の酒蔵があり、そのうち 6 つが会津若松にあります。21 世紀に入り、日本酒の国内需要が減少する中、会津の酒造メーカーは生産量から品質向上への転換を図りました。それが実を結び、福島県は全国酒類コンクールで 8 年連続金賞を受賞するまでになりました。もっと詳しく

知りたい観光客のために、市内の酒蔵では、見学や試飲ができるところもあります。その際は、事前予約をお勧めします。

【タイトル】 東山温泉

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**东山温泉**

东山温泉被认为是会津地区最好的温泉村之一，深受竹久梦二、与谢野晶子等文人墨客的喜爱。传说1300多年前，这个村庄由佛僧行基(668-749)建立，并成为了当地武士特别青睐的疗养胜地。今天，汤川沿岸风景秀美的河谷中开设了旅馆、酒店、餐馆和礼品店，来访者在体验乡村生活的同时，还可轻松前往会津若松市中心。从会津若松站开车10分钟或搭乘巴士20分钟即可到达东山温泉。

东山温泉有多种住宿选择，来访者可以按照自己的需求选择最适合之处。传统风格的温泉旅馆通常为过夜的客人提供晚餐和早餐，而酒店则倾向于提供更灵活的膳食和日程安排。撇开这些差异，村里所有的温泉住宿地都能让客人享受到新鲜的时令美食以及舒适的泡澡体验，其中许多地方也欢迎不住宿的旅客前来泡温泉。

在泡温泉之前，应清洁和冲洗全身，也不能穿着衣服或者泳衣进入温泉。一些温泉不接受有纹身的客人，所以最好提前确认。细小的纹身或在泡温泉前用创可贴遮盖，或可以预订私人浴池。

<繁体字>**東山溫泉**

東山溫泉被認為是會津地區最好的溫泉村之一，深受竹久夢二、與謝野晶子等文人墨客的喜愛。根據傳說，這個村莊建於1300多年前，由佛僧行基(668-749)創立，並成為當地武士特別青睞的療養勝地。今天，湯川沿岸風景秀美的河谷中開設了旅館、酒店、餐館和禮品店，讓遊客既可以體驗鄉村生活，又能輕鬆前往會津若松市中心。從會津若松站開車10分鐘或搭乘客運20分鐘即可到達東山溫泉。

東山溫泉有多種住宿選擇，遊客可以依根據自身需求選擇最適合的場所。傳統風格的溫泉旅館通常為過夜的客人提供晚餐和早餐，而酒店則更加靈活，提供多種餐食和時間選擇。村裡所有的溫泉住宿地都能讓客人享受到新鮮的時令美食以及舒適的溫泉浸浴體驗，其中許多地方也歡迎不住宿的旅客前來泡溫泉。

在泡溫泉之前，應清潔和沖洗全身，也不能穿著衣服或者泳衣進入溫泉。一些溫泉不接受有紋身的客人，所以最好提前確認。細小的紋身或在泡溫泉前用OK繃遮蓋，或可以預訂私人浴池。

<日本語仮訳>

東山温泉

東山温泉は、この地域で最高の温泉郷のひとつと考えられ、竹久夢二や与謝野晶子などの墨客にもこよなく愛された湯の街でもあります。伝説によると、1,300年以上前に僧侶の行基（668-749）が村を設立し、地元の武士の保養所として人気があったようです。現在、村の旅館、ホテル、レストラン、土産物店が湯川沿いの風光明媚な溪谷に立ち並び、旅行者は、長閑な自然を満喫でき、また会津若松の中心部へのアクセスも良好です。東山温泉は会津若松駅から車で10分、バスで20分程度の距離にあります。

東山温泉にはさまざまな宿泊施設があり、訪れる人は自分のニーズに合わせて最適な場所と宿泊施設を選ぶことができます。旅館（伝統的な旅館）は、一般的に宿泊客の夕食と朝食の両方を提供しますが、ホテルでは食事やスケジュールをより柔軟に選択できる傾向があります。これらの違いはさておき、村のすべての温泉宿泊施設では、新鮮な季節の料理とリラックスできる温浴を体験できます。また、その多くは日帰り温泉を楽しむ客も歓迎しています。

温泉では、誰もが湯に入る前に全身を洗い、すすぐことが求められます。衣類や水着での入浴はできません。タワーのある方は入店をお断りする温泉もありますので、事前に確認しておきましょう。場合によっては、小さなタワーは絆創膏等で覆ってから入るか、貸切風呂を予約できる場合があります。

【タイトル】 芦ノ牧温泉

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**芦之牧温泉**

芦之牧温泉，是一座具有大约 1200 年历史的古村。它地处大川河谷中，与世隔绝，十分隐蔽，从前被称为“幻影村”。这里安静宁谧、风景优美，在森林小道上散步或租辆自行车骑行都是很受欢迎的休闲活动。这里也是前往会津若松周边观光的理想据点，离宿场町大内宿或塔崖溪谷都不太远。

芦之牧温泉有多种住宿选择，来访者可以按照自己的需求选择最适合之处。村里所有的温泉住宿地都能让客人享受到新鲜的时令美食以及舒适的泡澡体验，其中许多地方也欢迎不住宿的旅客前来泡温泉。从会津若松市中心开车前去大约需要 25 分钟；如果搭乘火车，从芦之牧站无法步行到达住宿地，建议提前与旅店联系安排接站。

在泡温泉之前，应清洁和冲洗全身，也不能穿着衣服或者泳衣进入浴池。一些温泉不接受有纹身的客人，所以最好提前确认。细小的纹身或在泡温泉前用创可贴遮盖，或可以预订私人浴池。

<繁体字>**蘆之牧溫泉**

蘆之牧溫泉，是一座具有大約 1200 年歷史的古村。它地處大川河谷中，與世隔絕，十分隱蔽，過去曾被稱為「幻影村」。這裡安靜寧謐、風景優美，在森林小道上散步或租輛自行車騎行，都是很受歡迎的休閒活動。這裡也是前往會津若松周邊觀光的理想據點，可方便地前往宿場町大內宿或塔崖溪谷。

蘆之牧溫泉有多種住宿選擇，遊客可以依照自身需求選擇最適合的場所。村裡所有的溫泉住宿地都能讓客人享受到新鮮的時令美食以及舒適的泡澡體驗，其中許多地方也歡迎不住宿的旅客前來泡溫泉。從會津若松市中心開車前去大約需要 25 分鐘。如果搭乘火車，從蘆之牧站無法步行到達住宿點，建議提前與住宿處聯繫，安排站點接送。

在泡溫泉之前，應清潔和沖洗全身，也不能穿著衣服或者泳衣進入溫泉。一些溫泉不接受有紋身的客人，所以最好提前確認。細小的紋身或在泡溫泉前用 OK 繃遮蓋，或可以預訂私人浴池。

<日本語仮訳>

芦ノ牧温泉

芦ノ牧温泉は約 1,200 年前に誕生し、大川渓谷の秘境にあることから「幻の村」と呼ばれていました。温泉郷はのどかな雰囲気残り、林道散策やレンタサイクルでの散策が人気のレジャーです。宿場町の大内宿や塔のへつり川渓谷など、会津若松に隣接するエリアの観光にも好立地です。

芦ノ牧温泉にはさまざまな宿泊施設があり、訪れる人は自分のニーズに最適な場所と宿泊施設を選ぶことができます。どの宿泊施設も新鮮な旬の食材とゆったりとした湯浴みを味わえ、日帰り温泉を楽しむ客も受け入れています。会津若松中心部から車で約 25 分です。電車で行く場合は、芦ノ牧駅から歩くのは現実的ではありませんので注意が必要です。送迎サービスについては、宿泊施設に確認することをお勧めします。

温泉では、誰もが湯に入る前に全身を洗い、すすぐことが求められます。衣類や水着での入浴はできません。タワーのある方は入館をお断りする温泉もありますので、事前に確認しておきましょう。場合によっては、小さなタワーは絆創膏等で覆ってから入るか、貸切風呂を予約できることもあります。

【タイトル】飯盛山と白虎隊の少年たち

【想定媒体】WEB

<簡体字>**饭盛山和白虎队的少年**

白虎队主要由15~17岁的少年组成，他们都是参加戊辰战争(1868-1869)的会津武士子弟。戊辰战争是一场发生在德川幕府军（拥幕派）和反对其统治的势力（倒幕派）之间的内战。20名白虎队成员在与其他部队断连后败走此地，最终全都选择自尽，饭盛山成了他们的安息之地。这支队伍中只有一人得以幸存，他向人们诉说了这一悲惨事件。今天，白虎队是会津武士精神的永恒象征。饭盛山上建有少年们的坟墓，来访者可以沿着通往山顶的台阶徒步前往，或支付少量费用乘坐自动扶梯上山。

藩主松平容保(1836-1893)将他的部队按年龄分为四组，白虎队是最年轻的部队，最初只打算在战斗中充当后备军。然而，到了1868年秋天，大部分会津藩部队都在会津其他地区作战，只剩下包括白虎队在内的约3000名士兵留守鹤城和城下町（围绕城郭发展起来的市镇）。10月，新政府军围攻城池，白虎队也为保护藩主和家人加了入战斗。

痛苦的决定

在会津若松东北的村庄“户之口原”经历一战后，白虎队中由20名成员组成的一支分队，与部队的其他成员断连。为了逃生，他们蹚过幽暗小峡谷中的深水，爬上了饭盛山山腰。然而当他们俯瞰山下，却见烟雾正从城中升起，便以为城池已经落入敌人之手并被付之一炬。这让少年们完全不知所措，但实际上那些烟雾只是来自附近的民舍。认为己方已经完败的少年们，没有选择投降，而是决意拔刀自尽。

关于这个故事的许多描述，都聚焦在少年们结束自己生命这一令人震惊的结局上，但历史学家的描述更加全面，他们认为最初并非所有人都支持这一决定。虽说白虎队队员从小就在武士准则的框架中成长，但他们也是一群天性活泼、经验不足的青少年，而且各自出身背景也不同。他们可能讨论了各种选择，最终达成的共识也不一定都尽人意。饭沼贞吉(1854-1931)被一位当地妇女发现并意外得救，成为了白虎队唯一的幸存者。他一生都在为失去战友而痛苦，但他后来成了家，并在电信业取得了成功。他去世后也被安葬在了19位战友长眠的饭盛山上。

来访者可以从饭盛山眺望1868年那群少年生活过的会津若松街市。附近有一座宇贺神堂，供奉着一条白蛇，它是五谷丰登之神。白虎队纪念馆坐落于山脚，展示有关白虎队和戊辰战争的历史文件和文物。造型独特的荣螺堂也在附近。

<繁体字>

飯盛山和白虎隊的少年

白虎隊主要由 15~17 歲的少年組成，他們都是參加了戊辰戰爭（1868-1869）的會津武士子弟。戊辰戰爭是發生在德川幕府軍（擁幕派）和反對其統治的勢力（倒幕派）之間的一場內戰。白虎隊的 20 名成員在與其他部隊斷聯後敗走此地，最終選擇自盡，飯盛山成了他們的安息之地。這組隊伍中只有一人倖存下來，他向人們訴說了這一悲慘事件。今天，白虎隊是會津武士精神的永恆象徵。少年們的墳墓建在飯盛山上，遊客可以沿著通往山頂的台階前往，或乘坐付費（小額）電扶梯上山。

藩主松平容保（1836-1893）將他的部隊按年齡分為四組，白虎隊是最年輕的部隊，最初只打算在戰鬥中充當後備軍。然而，到了 1868 年秋天，大部分會津藩部隊都在會津其他地區作戰，只剩下包括白虎隊在內的約 3000 名士兵留守鶴城和城下町（圍繞城郭發展起來的市鎮）。10 月，新政府軍圍攻城池，白虎隊也為保護領主和家人而加了入戰鬥。

痛苦的決定

在會津若松東北的村莊「戸之口原」經歷一戰後，白虎隊中由 20 名成員組成的一支分隊與其他部隊斷聯。為了逃生，他們蹚過幽暗小峽谷中的深水，爬上了飯盛山山腰。然而當他們俯瞰山下時，卻見煙霧正從城中升起，便以為城池已經落入敵人之手並被付之一炬。少年們頓感無措，而實際上那些煙霧只是來自附近的房屋。最後，認為己方已經完敗的他們沒有選擇向敵人投降，而是決意拔刀自盡。

關於這個故事的許多描述都聚焦在少年們結束自己生命這一震撼人心的事件上，但歷史學家的描述更加詳盡，他們認為最初並非所有人都支持這個決定。白虎隊隊員雖然從小在武士準則的框架中成長，但也是一群天性活潑、經驗不足的青少年，各自出身背景也不同。他們可能討論了各種選擇，最後達成的共識也不一定都盡人意。飯沼貞吉（1854-1931）被一位當地婦女發現並意外得救，成為了白虎隊唯一的倖存者。他一生都在為失去戰友而痛苦，但他後來成了家，並在電信業取得了成功。他去世後也被安葬在飯盛山上，那裡長眠著他的 19 位戰友。

遊客可以從飯盛山眺望 1868 年那群少年生活過的會津若松街市。附近有一座宇賀神堂，供奉著一條白蛇，祂是五穀豐登之神。白虎隊紀念館坐落於山腳，展示有關白虎隊和戊辰戰爭的歷史文件和文物。造型獨特的榮螺堂也在附近。

<日本語仮訳>

飯盛山と白虎隊の少年たち

白虎隊は、主に 15 歳から 17 歳の少年で構成された軍隊です。彼らは、徳川幕府軍（親幕派）とその統治に反対する勢力（倒幕派）との戦いであった戊辰戦争（1868-1869）に参加した会津武家の息子たちでした。飯盛山は、部隊から離れて敗走して自害した白虎隊の隊員 19 名が永眠

する地です。グループの1人は生き残り、この悲劇的な事件について語り継ぎました。今日、白虎隊は会津武士の不朽の精神を象徴する存在です。訪れる人は、山頂への階段を徒歩、あるいは小額の料金をエスカレーターを利用して、少年たちの墓地をお参りすることができます。

藩主の松平容保（1836-1893）は、年齢ごとに軍隊を4つの部隊に編成しました。白虎隊はこれらの中で最年少であり、当初は戊辰戦争での予備軍として意図されていました。しかし、1868年の秋には、会津軍の大多数は領内の他の地域で戦っており、鶴ヶ城と城下町（城郭を中心に形成された都市）を守る軍勢は白虎隊を含む約3,000人しか残っていませんでした。10月、新政府軍は城を包囲し、白虎隊自身も領主や家族を守るために戦っていたのです。

苦渋の決断

会津若松の北東にある村、戸ノ口原の戦いの後、20人から成る白虎隊の分隊の1つが他の部隊から切り離されました。小さな暗い峡谷の深い水の中を敗走した後、少年たちは飯盛山の中腹に登りました。見下ろすと町から煙が上がっているのが見え、彼らは城が敵に倒れて燃えているのだと信じ、狼狽えました。実際には城はまだ立っていて、煙は近隣の家屋からのものでした。しかし、少年たちはすべてが失われたと考え、敵に降伏する代わりに自らの命を絶ったのです。

物語の多くは、少年たちが命を絶った劇的な方法に焦点を当てていますが、研究者はこの出来事をより詳細に伝えています。それによると、最初は隊の全員が決定を支持したわけではないと考えています。白虎隊は武士の理想に従うように育てられ、教育を受けましたが、同時に活発で経験の浅い10代の多様な背景を持つ若者たちでもありました。少年たちは最終的な行動方針について、不本意な合意に達する前に、さまざまな選択肢について話し合ったことでしょう。飯沼貞吉（1854-1931）は、地元の女性によって見つけられ偶然救出された白虎隊の唯一の生存者でした。貞吉は生涯、仲間を失った悲しみを抱えながらも家族を持ち、通信業界で成功を収めたのです。彼の死後、彼は他の19人のメンバーが眠る飯盛山に埋葬されました。

飯盛山からは、少年たちが生きた1868年当時と変わらない会津若松の町並みを見渡すことができます。近くには、白蛇を五穀豊穰の神として祀る宇賀神堂、山の麓には白虎隊記念館と、ユニークなデザインが特徴のさざえ堂があります。記念館では白虎隊と戊辰戦争に関する史料や遺品が展示されています。

【タイトル】 民芸品のワークショップ

【想定媒体】 看板、WEB

<簡体字>

工艺品工坊

会津若松有许多工艺品工坊，来访者可以在这里了解当地的传统工艺，并制作独一无二的纪念品。以下介绍其中三种体验：

赤牛上色

“赤牛”是用纸浆制作的红牛小玩偶，头和脖子会上下摇摆。400 多年前，它被当作儿童玩具和吉祥物，现在则成为了会津若松的象征。这项体验活动适合所有年龄段的人。

彩绘蜡烛

在每年 2 月的“会津彩绘蜡烛祭”期间，彩绘蜡烛备受瞩目。人们将成千上万的彩绘蜡烛放置在城市各处，傍晚点亮时，柔和的光芒会照亮黑夜。这些蜡烛是用从漆树的果实中提取的天然“和蜡”制成的。即使不在节日期间，来访者也可以在工坊观摩蜡烛制作工序，并绘制独属于自己的蜡烛。

会津漆器

会津漆器美观实用，因质量上乘和设计精巧而闻名全日本。熟练的工匠会指导参与者一步一步地完成上漆的过程，并帮助他们把自选物品打造成独一无二的作品。

联系工坊

为防万一，建议来访者提前与会津若松市旅游局联系，确认是否可以参加、费用和其他有关信息：info@aizukanko.com。

<繁体字>

工艺品工坊

會津若松有許多工藝品工坊，遊客可以在那裡了解該地區的傳統工藝，並製作獨一無二的紀念品。以下介紹其中三種體驗：

赤牛上色

「赤牛」是用紙漿製作的紅牛小玩偶，頭和脖子會上下搖擺。400 多年前，赤牛被當作兒童玩具和吉祥物，現在則成為了會津若松的象徵。這項體驗活動適合所有年齡層的人。

彩繪蠟燭

在每年 2 月的「會津彩繪蠟燭祭」期間，彩繪蠟燭備受矚目。人們將成千上萬的彩繪蠟燭放置在城市各處，傍晚點亮時，柔和的光芒會照亮黑夜。這些蠟燭是用從漆樹的果實中提取的天然「和蠟」製成的。即使不在節日期間，遊客也可以來到工坊觀看蠟燭製作過程，並繪製專屬於自己的蠟燭。

會津漆器

會津漆器美觀實用，因品質上乘和設計精巧而聞名全日本。熟練的工匠會指導參與者一步一步地完成上漆的過程，並幫助他們為自選物品打造獨特的設計。

聯繫工坊

為防萬一，建議遊客提前與會津若松市旅遊局聯繫，確認是否可以參加、費用和其他相關訊息：info@aizukanko.com。

<日本語仮訳>

民芸品のワークショップ

会津若松市では、地域の伝統工芸を学び、世界にひとつだけのお土産を作ることができるワークショップが数多く開催されています。ここでは、その中から 3 つの体験をご紹介します。

赤べこ絵付け体験

赤べこは、頭が上下に動く張り子の小さな赤い牛です。400 年以上前に子供の玩具やお守りとして作られ、今では会津若松のシンボルとして愛されています。お子様からご年配の方まで幅広く楽しめる体験です。

絵ろうそく

2 月に開催される「会津絵ろうそくまつり」で特に注目される絵ろうそく。このお祭りではろうそくが街のあちこちに設置され、暗闇を優しく照らします。漆の木の实から抽出した天然の和蠟で作られたろうそくは、祭り期間中だけでなく、制作風景を見学したり、自分で絵付けをしたりすることができます。

会津漆器

会津漆器は機能性と美しさを兼ね備え、その品質の高さと繊細なデザインで全国的に知られています。熟練した職人が漆を塗る作業をひとつひとつ丁寧に指導し、参加者が選ぶアイテムにユニークなデザインを施すのをサポートしてくれます。

ワークショップへのアクセス

トラブルを避けるため、各体験の空き状況や費用、その他情報について、会津若松観光ビューローに事前にお問い合わせいただくのがおすすめです：info@aizukanko.com

【タイトル】 居酒屋での食事

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**食在居酒屋**

会津若松是日本数一数二的清酒酿造重镇，当然有许多喝酒放松的场所。如果想要体验当地人的热情好客，居酒屋尤其值得尝试，那里提供琳琅满目的饮料和食品，以及全方位服务。居酒屋老少皆宜，经常可以看到亲子家庭在里面用餐。

一进门，服务员便会招呼你到桌前坐下，或是请你脱鞋后在榻榻米上的矮桌前入座。在为你递上湿毛巾清洁双手后，服务员会给你时间浏览菜单，然后再回来点菜。居酒屋的食物往往简单可口，比如最受欢迎的“烧鸟”（烤鸡串）或炸鸡块，以及使用当地时令的特色菜。素食者同样可以在菜单上找到适合自己的食物。居酒屋提供多种酒精饮料和软饮，包括会津的获奖清酒。

居酒屋里的菜肴通常用来分享，这样席间每个人都能享受到各种口味的美食。最后，别忘了遵循日本的习俗，举杯为在会津若松的美好时光“干杯”（日语读作“Kanpai”），但无须一口全干。

<繁体字>**食在居酒屋**

會津若松是日本數一數二的清酒釀造重鎮，有許多地方可以喝酒放鬆。想要體驗當地人的熱情好客，居酒屋尤其值得嘗試，那裡提供琳琅滿目的飲料和食品，以及全方位服務。居酒屋老少皆宜，經常可以看到親子家庭在裡面用餐。

一進門，服務員便會招呼你到桌前坐下，或是請你脫鞋後在榻榻米上的矮桌前入座。在為你遞上濕毛巾清潔雙手後，服務員會給你時間瀏覽菜單，然後再回來點菜。居酒屋的食物往往簡單可口，比如最受歡迎的「燒鳥」（烤雞串）或炸雞塊，以及使用當地時令的特色菜。素食者也可以在菜單上找到適合自己的食物。居酒屋提供多種酒類和軟性飲料，包括會津的獲獎清酒。

居酒屋裡的菜餚通常用來分享，這樣席間每個人都能享受到各種口味的美食。最後，別忘了遵循日本的習俗，舉杯為在會津若松的美好時光「乾杯」（日語讀作「Kanpai」），但無須一口全乾。

<日本語仮訳>

居酒屋でのお食事

日本有数の酒どころ会津若松には、お酒を片手にくつろげる場所がたくさんあります。地元のおもてなしを楽しみたいなら、特にフルサービスで幅広い飲み物と食べ物を提供している居酒屋がお薦めです。年齢を問わず利用でき、家族連れで食事をする子どもの姿もよく見かけます。

店内に入ると、店員に迎えられ、テーブル席、または低いテーブルが置かれた畳の部屋に案内されます。畳の場合は靴を脱ぐように促されるでしょう。手をふくためのおしぼりを渡された後、給仕のスタッフはメニューを検討するための時間をくれ、その後再び注文を取りに来ます。居酒屋の料理はシンプルで食べ応えがあるのが特徴です。焼き鳥や唐揚げなどの定番メニューのほか、地元の食材を使った季節のおすすめメニューもあります。また、ベジタリアンに適したメニューもあり、お酒やノンアルコールドリンクも豊富に揃い、会津の受賞した銘酒も味わえるでしょう。

居酒屋で出される料理は、一般的にみんなでシェアすることを想定しています。そのため、グループ全員がいろいろな味を楽しむことが可能です。そして食事の際は日本の習慣に従ってグラスを掲げ、会津若松で過ごす楽しい時間に「カンパイ！」することをお忘れなく。「カンパイ」は漢字で書くと「乾杯」になりますが、一気に飲み干す必要がないことも覚えておきましょう。

【タイトル】会津三十三観音巡り

【想定媒体】看板、WEB

<簡体字>

会津三十三观音巡礼

自平安时代(794-1185)以来，会津一直是佛教文化的中心，同时，它也是日本东北地区佛教文化最早的传播地，被称为“佛都会津”。后来，藩主保科正之(1611-1673)创建了“会津三十三观音巡礼”，这是一条将大慈大悲观音菩萨的33座雕像连接在一起的路线，现已被认定为日本遗产。“三十三”这个数字意义重大，因为据说观音菩萨拥有三十三种化身。沿着这条朝圣路线，可以看到许多不同的观音菩萨像，从单独的石雕到寺庙中被指定为国宝的雕像，种类繁多。

保科正之的灵感来自于“西国三十三所观音巡礼”，这条朝圣路线约于1300年前建立，途经七个县，主要在关西地区。人们通过朝圣，请求宽恕过去的罪孽，祈求好运和健康，同时还能休闲疗养。保科正之注意到，参加西国三十三所观音巡礼的会津民众要离乡长达两个月之久，这导致了资金从会津流向其他藩地。于是，他创建了会津三十三所灵场的巡礼路线，改善道路和住宿条件，使之成为深受当地人喜爱的旅程。就这样，会津的佛教文化会同旅游业一起得到了蓬勃发展。会津三十三观音巡礼同样也受到了外来游客的欢迎，成为体验会津文化和自然美景的一种方式。今天，人们仍出于同样目的走在会津这条朝圣之路上。

<繁体字>

會津三十三觀音巡禮

自平安時代（794-1185）以來，會津一直是佛教文化的中心，同時，它也是日本東北地區佛教文化最早的傳播地，被稱為「佛都會津」。後來，藩主保科正之（1611-1673）創建了「會津三十三觀音巡禮」，這是一條將大慈大悲觀音菩薩的33座雕像連接在一起的路線，現被認為日本遺產。「三十三」這個數字意義重大，因為據說觀音菩薩擁有三十三種化身。沿著這條朝聖路線，可以看到許多不同的觀音菩薩像，從單獨的石雕到寺廟中被指定為國寶的雕像，種類繁多。

保科正之的靈感來自於「西國三十三所觀音巡禮」，這條朝聖路線約於1300年前建立，途經七個縣，主要在關西地區。人們透過朝聖，請求寬恕過去的罪孽，祈求好運和健康，同時還能休閒療養。保科正之注意到，參加西國三十三所觀音巡禮的會津民眾要離鄉長達兩個月之久，這導致了資金從會津流向其他藩地。於是，他創建了會津三十三所靈場

的巡禮路線，改善道路和住宿條件，逐漸發展成為深受當地人喜愛的旅程。就這樣，會津的佛教文化連同旅遊業一起得到了蓬勃發展。會津三十三觀音巡禮同樣也受到了外來遊客的歡迎，成為體驗會津文化和自然美景的一種方式。今天，人們仍出於同樣目的走在會津這條朝聖之路上。

<日本語仮訳>

会津三十三観音巡り

会津は、平安時代(794-1185)から仏教文化の中心地であり、東北地方でいち早く仏教文化が花開いた地として「仏都会津」とも呼ばれています。その後、藩主の保科正之（1611-1673）が33体の観音像、慈悲の菩薩を結ぶ「会津三十三観音巡り」を作りました。いまは日本遺産に認定されています。観音菩薩が33の姿に変身できると言われていることから、この数字は重要です。会津三十三観音には、単独の石像から寺院に安置され国宝に指定されている像まで、さまざまな種類の観音像があります。

正之は、約1,300年前に関西を中心とした7県を巡る西国三十三所観音巡礼の道筋に着想を得ました。人々は、罪の赦しや幸運への祈り、健康祈願、保養のために巡礼を行っていました。正之は、西国巡礼に出かけた住民が2カ月も留守にするため、会津から他藩にお金が流出していることに気づきました。そこで、会津三十三ヶ所の霊場を巡るルートを成立させ、道や宿を整備することで、地元の人々にとって魅力的な旅先にしました。こうして仏教文化と観光が結びつき、盛んになったのです。また、会津三十三観音巡りは、会津の文化や自然を体験できるものとして、会津外からの観光客にも人気になりました。会津三十三観音巡りは、現在でも同じような目的で行われています。

【タイトル】 会津のまつり

【想定媒体】 看板、WEB

<簡体字>**会津若松的节日庆典**

日本各地都有基于当地文化和传统的节日庆典，这些庆典仪式通常都独树一帜，丰富多彩。如果在庆典期间到访会津若松，请一定参与其中，尽享节日乐趣。前往之前最好查看会津若松官方旅游观光信息网站(<https://samurai-city.jp/en/>)，了解年间各种节日的具体信息。以下是会津若松两大具有代表性的节日庆典。

会津藩公行列

为期 3 天的“会津祭”是本地最大的节日，通常在 9 月下旬举行。节日高潮是历史悠久的“会津藩公行列”。首先由鹤城前的剑舞表演拉开活动帷幕，随后约 500 名表演者装扮成会津藩的藩主、武士和宫廷贵族，在会津若松市中心巡游。其中还有人策马而行，令现场更富沉浸感和临场感。节日期间还有当地儿童提着灯笼游行，以及欢迎所有人加入的传统民间舞蹈等活动。

会津彩绘蜡烛祭

手工制作的彩绘蜡烛是会津若松的一大传统民间工艺。工匠们通过复杂的手绘花草图案来展示他们的高超艺术技能。这个节日庆典在 2 月的第 2 个周五和周六举行，这时城市常常被大雪覆盖。成千上万的蜡烛被放置在鹤城、御药园等全城各处。如果想获得最完美的观感，推荐登上鹤城天守阁俯瞰远眺，或漫步城中欣赏点点烛光投射在雪地上的梦幻景观。

彩绘蜡烛艺术是在会津藩两位领主的推动下发展而来。芦名盛信(1408-1451)为扶持当地漆器产业，积极推进漆树种植。漆树的汁液是制作漆器的关键成分，而从漆树果实中提取的“和蜡”则可用于生产蜡烛。蒲生氏乡(1556-1595)则鼓励工匠在蜡烛上绘制图案。在之后历代统治者的支持下，这项民间工艺得到了蓬勃发展。彩绘蜡烛至今仍用于宗教仪式和婚礼，同时也是很受欢迎的纪念品。

<繁体字>**會津若松的節日慶典**

日本各地都擁有基於當地文化和傳統的節日慶典，這些慶典儀式通常都獨樹一幟，豐富多彩。如果在慶典期間到訪會津若松，請一定參與其中，享受這份節日樂趣。不過前往之前最好查看會津若松官方旅遊觀光網站（<https://samurai-city.jp/en/>），了解年間各種節日的具體訊息。以下是會津若松兩大最具代表性的節日慶典。

會津藩公行列

為期 3 天的「會津祭」是本地最大的節日，通常在 9 月下旬舉行。節日重頭戲是歷史悠久的「會津藩公行列」。首先由鶴城前的劍舞表演拉開活動帷幕，隨後約 500 名表演者打扮成會津藩的藩主、武士和宮廷貴族，進行一場盛大的巡遊，穿越會津若松市中心。其中還有人騎馬而行，令現場更具沉浸感和臨場感。節日期間還有當地兒童提著燈籠遊行，以及任何人都能參與的傳統民間舞蹈等活動。

會津彩繪蠟燭祭

手工製作的彩繪蠟燭是會津若松的主要傳統民間工藝之一。工匠們透過複雜的手繪花草圖案來展示他們的高超藝術技能。這個節日在 2 月的第 2 個週五和週六舉行，這時城市常常被大雪覆蓋。成千上萬的蠟燭被放置在鶴城、御藥園等全城各處。如果想獲得最好的視野，遊客可以登上鶴城天守閣俯瞰遠眺，或漫步城中欣賞點點燭光投射在雪上的夢幻景觀。

彩繪蠟燭藝術是在會津藩的兩位領主推動之下發展起來的。蘆名盛信（1408-1451）為了支持當地漆器產業，積極促進漆樹種植。漆樹的汁液是製作漆器的關鍵成分，而從漆樹果實中提取的「和蠟」則可用於生產蠟燭。蒲生氏鄉（1556-1595）則鼓勵工匠在蠟燭上繪製圖案。在之後歷代統治者的支持下，這項民間工藝得到了蓬勃發展。彩繪蠟燭至今仍用於宗教儀式和婚禮，同時也是很受歡迎的紀念品。

<日本語仮訳>

会津のまつり

日本の各地域にはその土地の文化や伝統に基づいた、独特の色彩豊かなお祭りがあります。こうした毎年のお祭りの時期に会津若松市を訪れるなら、ぜひ祭りの輪に加わることをお勧めします。会津若松の公式観光情報サイト「会津若松観光ナビ(<https://www.aizukanko.com/>)」で、年間を通して行われる様々なお祭りの日程や詳細を確認してください。代表的な祭りは以下の 2 つです。

会津藩公行列

例年 9 月下旬に 3 日間にわたって開催される会津まつりは、地域で最大のお祭りです。歴史が息づく祭りのハイライトは「会津藩公行列」です。行列は鶴ヶ城前で行われる剣舞によって始まり、その後約 500 人の参加者が、会津藩の藩主や武士、公家などに扮して市中を練り歩きます。中には馬に乗って参加する人もいて、臨場感もあり盛り上がります。また、会津まつりでは地元の子どもたちが提灯を持ったパレードや、誰でも参加できる伝統的な民俗舞踊も行われています。

会津絵ろうそくまつり

会津若松の代表的な民芸品のひとつである手づくりの「絵ろうそく」。手描きによる草花の絵柄が特徴で、職人が芸術の技を披露します。市中がまだ雪に覆われている 2 月の第 2 金曜日と土曜日に開催。鶴ヶ城や御薬園など、市内各所に数千個のろうそくが設置されています。最高の眺めを楽しむには鶴ヶ城の天守閣に登って俯瞰して眺めたり、市内を散策して雪とろうそくの光のコントラストを楽しんだりするのがお勧めです。

絵ろうそくの技術は、二人の領主の努力によって発展しました。蘆名盛信（1408-1451）は漆器産業を支えるために漆の木の栽培を奨励しました。木の樹液は漆を作るための重要な成分であり、種子から抽出された蠟はろうそくを作るために使用されました。蒲生氏郷（1556-1595）はろうそくに絵柄を描くことを奨励し、代々の藩主の庇護のもと繁栄してきました。現在も宗教儀式や結婚式で使われるほか、お土産としても人気があります。

【タイトル】 会津武家屋敷

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**会津武家宅邸**

这座露天博物馆，可以让来访者深入了解 19 世纪晚期高阶武士家庭的生活方式。博物馆的亮点是一处经复原过的会津藩主的家老（家臣之首）西乡赖母(1830-1903)的故居，内有 38 个房间，从展出的文物和立体布景中，可以窥见西乡家族和仆从们的日常生活。

馆内还设有弓箭、传统民间工艺绘画和玻璃雕刻等手工作坊，并有提供当地美食的咖啡馆和礼品店。从鹤城步行 30 分钟，或从御药园步行 15 分钟，均可到达此处。

理性的声音

了解西乡家族的背景，能为会津武家宅邸之旅更添趣味。1860 年，西乡赖母被任命为藩主松平容保(1836-1893)的家老。他对德川幕府的政治问题表示担忧，力劝藩主不要与倒幕派为敌，却因此被罢免了职务。之后政治局势恶化，幕府（拥幕派）和支持恢复天皇统治（倒幕派）的两股势力之间爆发了戊辰战争(1868-1869)。西乡赖母被要求恢复原职后，再次告诫不要与新政府军（倒幕派）开战，但依然被无视。1868 年秋天，在政府军对鹤城长达一个月的围城之后，松平容保带军投降。战后，西乡赖母被囚禁了数年，后来成为一名受人尊敬的神官和柔术大师。他在日光东照宫担任祢宜一职，辅佐成为宫司的松平容保，曾经的君臣二人再次共事。

女人们的力量

虽然西乡赖母在战争中幸存了下来，但却失去了大部分家人，其中包括他的妻子千重子(1835-1868)，五个 2~16 岁女儿，以及在家中等待战争结束的其他女性亲属。当战败的消息传来，她们不想被敌人俘虏，决意结束自己的生命。千重子用刀杀死了她的三个小女儿，然后自尽而亡。她两个十几岁的女儿、两个妹妹和婆婆也都相继自尽。会津武家宅邸里的立体布景展示了这一幕悲剧。

奈与竹纪念碑是为了纪念在会津战争(1868.6-1868.11)中身亡的 233 名妇女和儿童。它矗立在会津若松市善龙寺内，上面刻着千重子在自尽前写的一首诗——“细竹迎风立，有节骨乃坚”。虽然她没有直接参加战斗，但以自己的方式展示了会津武士精神。

开馆时间：4 月~11 月 8:30~17:00；12 月~3 月 9:00~16:30

<繁体字>

會津武家宅邸

這座露天博物館，可以讓遊客深入了解 19 世紀晚期高階武士家庭的生活方式。博物館的最大亮點是一處復原後的會津藩主的家老（家臣之首）西鄉賴母（1830-1903）的故居。宅內共有 38 個房間，從展出的文物和立體布景當中，可以窺見西鄉家和僕從們的日常生活。

博物館裡設有弓箭、傳統民間工藝繪畫和玻璃雕刻等手工作坊，並有提供當地美食的咖啡館和禮品店。從鶴城步行 30 分鐘，或從御藥園步行 15 分鐘，均可到達此處。

理性的聲音

了解西鄉家的背景，能為會津武家宅邸之旅更添趣味。1860 年，西鄉賴母被任命為藩主松平容保（1836-1893）的家老。他因擔心德川幕府的政治問題，力勸藩主不要與倒幕派為敵，卻因此被罷免了職務。之後政治局勢惡化，幕府（擁幕派）和支持恢復天皇統治（倒幕派）的兩股勢力之間爆發了戊辰戰爭（1868-1869）。西鄉賴母應要求恢復原職，再次告誡主上不要與新政府軍（倒幕派）開戰，但依然被無視。1868 年秋天，在政府軍對鶴城長達一個月的圍城之後，松平容保和會津藩部隊投降。戰後，西鄉賴母被囚禁了幾年，後來成為一名受人尊敬的神官和柔術大師。他在日光東照宮擔任禰宜一職，輔佐成為宮司的松平容保，曾經的君臣二人再次共事。

女人們的力量

雖然西鄉賴母在戰爭中倖存了下來，但卻失去了大部分的家人，其中包括他的妻子千重子（1835-1868），五個 2~16 歲女兒，以及在家中等待戰爭結束的其他女性親屬。當戰敗的消息傳來，她們不想被敵人俘虜，決意結束自己的生命。千重子用刀殺死了她的三個小女兒，然後自盡而亡。她兩個十幾歲的女兒、兩個妹妹和婆婆也都相繼自盡。會津武家宅邸裡的立體布景展示了這一幕悲劇。

奈與竹紀念碑是為了紀念在會津戰爭（1868.6-1868.11）中死亡的 233 名婦女和兒童。它矗立在會津若松市善龍寺內，上面刻著千重子在自盡前寫的一首詩——「細竹迎風立，有節骨乃堅」。雖然她沒有直接參加戰鬥，但以自己的方式展示了會津武士精神。

開館時間：4 月~11 月 8:30~17:00；12 月~3 月 9:00~16:30

<日本語仮訳>

会津武家屋敷

この野外博物館では、19 世紀後半の高位の武士の生活様式を知ることができます。その一番の見どころは、会津藩の家老である西郷頼母（1830-1903）の家を復元した武家屋敷です。家には 38 の部屋があり、家族と使用人たちの日常生活を垣間見ることができる芸術品とジオラマがあります。

施設では、弓道、伝統工芸品の絵付け、ガラス工芸などのワークショップを提供し、郷土料理を提供するカフェとギフトショップを併設。会津武家屋敷は鶴ヶ城から徒歩 30 分、御薬園から徒歩 15 分の距離にあります。

理性の声

会津武家屋敷をより楽しむためには、西郷家の生い立ちを知ることが役立ちます。頼母は 1860 年に藩主の松平容保（1836-1893）の家老に任命されました。頼母は徳川幕府との政治的問題を憂慮し、主君に対し新政府軍と関わらないよう求めましたが、その結果として地位を追われることとなりました。政情は悪化し、幕府（親幕派）と天皇への権力返還を望む人々（倒幕派）との間で戊辰戦争（1868-1869）が勃発しました。頼母は会津藩の家老としての地位に戻るよう求められ、再び新政府軍と戦うことを警告しました。しかし彼の忠告は再度無視されたのです。1868 年秋、敵が鶴ヶ城を 1 か月にわたって包囲した後、容保とその軍勢は降伏しました。頼母は戦後、数年間投獄されましたが、神道の神官および柔術の武道の師範として尊敬を集めるようになり、かつての主君である容保が宮司を務める日光東照宮の禰宜も務めました。

強さのある女性

頼母は戦争を生き延びましたが、彼の家族の多くは生き残ることが出来ませんでした。妻の千重子（1835-1868）、2 歳から 16 歳までの 5 人の娘、そして、親戚の女性たちは、実家で戦争が終わるのを待っていました。敗北の知らせが届くと、女性たちは敵の捕虜になる代わりに自らの生を終わらしました。千恵子はまず、3 人の幼い娘を刀で殺し、自らの命を断ちました。彼女の 10 代の娘たち、2 人の姉妹、そして義母も自害しました。会津武家屋敷内のジオラマは、その惨劇の場面を再現しています。

奈与竹の碑は、会津戦争（1868 年 6 月～11 月）で亡くなった 233 人の女性と子供たちに捧げられています。市内の善龍寺境内に建ち、千恵子が亡くなる直前に詠んだ歌が刻まれています。彼女は戦いに参加していませんでしたが、千恵子は会津武士の精神を独自の方法で体現していました。

「なよたけの風にまかする身ながらもたわまぬ節はありとこそきけ」

私は風にそよぐ竹葦に過ぎない

でも（聞いた話では）竹には何にも屈しないような強さがある

会津武家屋敷の開館時間は、8:30～17:00（4-11 月）、9:00～16:30（12-3 月）になっています。

【タイトル】 福島県立博物館

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**福島県立博物館**

福島県立博物館距离鹤城仅几步之遥，馆内精美的展品介绍了福岛县丰富的历史。参观者在此可以深入了解会津地区对福岛县政治文化的贡献，以及整个福岛县的情况。博物馆于1986年对外开放，时尚的设计和宽敞的布局令其充满了现代感。通过数字标牌可以获得对展品的中文和英语解说，如有需要，还可索取中文和英语导览手册。

博物馆通过文物、历史文件、模型和立体布景展示，生动再现了历史。常展按时间顺序介绍了福岛县历史上每个主要时期的宗教、农业、政治、教育、工业和艺术的发展，并通过真实再现弥生时代（公元前300年～公元300年）的日常生活，让参观者直观了解福岛县人类文明的起源，以及包括水稻种植在内的丰富农业遗产。

馆内有一个专门介绍戊辰战争(1868-1869)的展区，相信武士历史爱好者会对它特别感兴趣。戊辰战争是一场发生在德川幕府的支持者（拥幕派）和希望恢复天皇权力的势力（倒幕派）之间的内战。会津藩武士为幕府而战，在战争中发挥了重要作用，直到1868年秋天，鹤城落入新政府军手中。新政府军使用了当时最先进的进口武器与会津藩对抗，这里展示的是其中一部分。

博物馆也很适合家庭参观，有许多专为孩子们打造的元素，包括与儿童民俗文化相关的传统玩具，以及当地节日丰富多彩的展示。自然历史和地质学展区里的化石和史前生物，恐龙迷应该喜欢。馆内最不寻常的展品之一，是一辆等身大的二战时期(1939-1945)巴士复制品。由于当时汽油匮乏，这辆车居然以木炭作为燃料。

博物馆全年会举办各种短期特展和教育活动。馆内还有一间咖啡馆，供来访者在享受简餐和甜点的同时，欣赏周边鹤城城址公园的迷人景色。

开馆时间：9:30～17:00（最后入馆 16:30）

休馆日：每周一（如遇节假日，则周二休馆），假日翌日（除周六周日），年末年始（12月28日～1月4日）

<繁体字>**福島縣立博物館**

福島県立博物館距離鶴城僅幾歩之遙，館内精美的展品介绍了福島県豊富な歴史。參觀者在此可以深入了解會津地區對福島県政治文化的貢獻，以及整個福島県的情況。博物館於1986年對外開放，時尚設計和寬敞布局令其充滿現代感。透過數位標牌可以讀取展品的中文和英語解說，如有需要，還可索取中文和英語導覽手冊。

博物館透過文物、歷史檔、模型和立體布景的展示，生動再現了歷史。常展按時間順序介紹福島県歷史上每個主要時期的宗教、農業、政治、教育、工業和藝術的發展，真實再現了彌生時代（西元前300年至西元300年）的日常生活，可以讓參觀者直觀了解福島県人類文明的開端，以及包括水稻種植在內的豐富農業遺產。

館内有一個專門介紹戊辰戰爭（1868-1869）的展區，相信武士歷史愛好者會對它特別感興趣。戊辰戰爭是一場發生在德川幕府支持者（擁幕派）和主張恢復天皇權力的勢力（倒幕派）之間的內戰。會津藩武士為幕府而戰，在戰爭中發揮了重要作用，直到1868年秋天，鶴城落入新政府軍手中。新政府軍使用了當時最先進的進口武器與會津藩對抗，這裡展示的是其中一部分。

博物館也很適合家庭參觀，有許多專為孩子們打造的元素，包括與兒童民俗文化相關的傳統玩具，以及當地節日豐富多彩的展示。自然歷史和地質學展區的化石和史前生物，恐龍迷應該喜歡。館内最不尋常的展品之一，是一輛等比例的二戰時期（1939-194）巴士的複製品。由於當時汽油匱乏，這輛車居然以木炭作為燃料。

博物館全年舉辦各種短期特展和教育活動。這裡還有一間咖啡館，供遊客在享受簡餐和甜點的同時，欣賞周邊鶴城城址公園的迷人景色。

開館時間：9:30～17:00（最後入館16:30）

休館日：每週一（如遇節假日，則周二休館），假日翌日（除週六、週日），年末年始（12月28日～1月4日）

<日本語仮訳>

福島県立博物館

福島県立博物館は鶴ヶ城から歩いてすぐのところであり、福島県の豊かな歴史を美しい展示品を通じて紹介しています。訪問することで、福島県政やその文化への会津地方の貢献、県全体への理解を深めることができます。この博物館は1986年に開館しましたが、広々とした空間とデザインは非常に現代的です。展示品はデジタルサイネージによる中国語と英語解説も利用でき、希望すれば中国語と英語のガイドブックも利用できます。

館内では、文化財、史料、模型、ジオラマなどを使って、歴史を再現しています。一般展示では、福島県の歴史上の主要な時代ごとに、宗教、農業、政治、教育、産業、芸術の発展が年代順に紹介されています。稲作をはじめとする豊かな農業遺産を持つ弥生時代（紀元前300年～紀元300年）の日常生活をリアルに再現し、県内における人類の文明の始まりについて学ぶことができます。

戊辰戦争（1868-1869）についての特設エリアは、特に武士の歴史ファンにとって興味深いものです。この内戦は、徳川幕府の支持者（親幕派）と天皇の復権を願う者たち（倒幕派）との間で

争われました。会津藩士は幕府のために戦い、1868年秋に鶴ヶ城が新政府軍に陥落されるまで、この戦いにおける重要な役割を果たしました。新政府軍は、外国から輸入した最新鋭の鉄砲を使用して会津藩に対抗しましたが、その鉄砲の一部が展示されています。

子供たちの民俗文化にまつわる伝統的な玩具や、地域のお祭りを紹介するカラフルな展示もあり、子供達でも楽しめる要素も多い家族連れにも適した博物館です。恐竜好きなら、化石や先史時代の生物が展示されている自然史と地質学のエリアを見学したいことでしょう。最も風変わりな展示のひとつに、第二次世界大戦（1939-1945）当時のバスの実物大レプリカがあります。当時はガソリンが不足していたため、木炭で走るように設計されていました。

博物館では年間を通じてさまざまな短期特別展や教育プログラムを実施しています。また、カフェでは周囲の鶴ヶ城城址公園の景色と共に軽食やデザートを楽しむことが可能です。

博物館の開館時間は 9:30～17:00（最終入館は 16:30 まで）で、休館日は毎週月曜日（祝日または振替休日の場合、翌火曜日を休館日とする）、祝日の翌日（土日の場合は開館とする）、年末年始（12月28日-1月4日）になっています。

【タイトル】 SAMURAI CITY : 会津の歴史と文化

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**武士之城：会津的历史和文化**

欢迎体验会津若松丰富的武士文化遗产。旅程从参观雄伟的鹤城开始，鹤城曾经是会津武士的据点和生活中心，也是这座城市的地标，深受人们尊崇。随后，可巡访分布在市内各处的历史文化遗址，了解具有丰厚武士文化底蕴的人文故事，从中感受会津若松传承至今的自豪与热情。

<繁体字>**武士之城：會津的歷史和文化**

歡迎來體驗會津若松豐富的武士遺產。旅程從參觀雄偉的鶴城開始，這裡曾是會津武士的據點和生活中心，也是這座城市裡深受珍視的象徵。接著繼續探訪城市內多處其他歷史和文化遺址，了解武士文化底蘊豐厚的人物故事。相信，在今天的會津若松同樣能體會到自豪和熱情的武士精神。

<日本語仮訳>**SAMURAI CITY : 会津の歴史と文化**

会津若松の豊かな武士の遺産を体験してください。会津若松市の愛されるシンボルであり、かつての会津藩の拠点であった鶴ヶ城から旅は始まります。それから、会津若松市内の歴史的・文化的なスポットを巡り、侍の精神を体現していた人々の物語に触れてください。現在の会津若松にも続くその誇りや温かみを感じられるでしょう。

【タイトル】 SAMURAI CITY : 会津若松の食と酒

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

武士之城：会津若松的美食和清酒

会津自古以来就是日本屈指可数的农业地区，以美味的大米、农产品和清酒而闻名。欢迎探索会津若松的饮食历史和文化、学习如何品尝当地特色美食以及获奖清酒。

<繁体字>

武士之城：會津若松的美食和清酒

長久以來，會津一直是日本最重要的農業地區之一，以美味的大米、農產品和清酒而聞名。歡迎探索會津若松的飲食歷史和文化、學習如何品嚐當地特色美食以及獲獎的清酒。

<日本語仮訳>

SAMURAI CITY : 会津若松の食と酒

会津は古くから日本有数の農業都市であり、おいしい米、農産物、酒で知られています。会津若松の食文化や歴史、おすすめの料理や受賞歴のある地域の酒の楽しみ方などを学びましょう。

【タイトル】 女性たちの戊辰戦争

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

戊辰战争中的女性力量

武士时代以男性为主导，但会津藩的武士并不只限于男性。许多会津武士的女儿都练习过薙刀（薙，音同“替”；带金属长柄、刀刃弯曲的武器）。关于会津妇女的历史记载很少，但在戊辰战争(1868-1869)期间出现了不少著名人物，新岛八重和中野竹子就是其中两位。

新岛八重(1845-1932)，又名山本八重子，她从担任会津藩炮兵教官的父亲那里学会了射击。在会津战争(1868.6-1868.11)中，新岛八重携枪参加了鹤城保卫战，身为女性，这在当时实属罕见。后来，她又成为随军护士投身甲午战争(1884-1885)和日俄战争(1904-1905)，功绩获得了政府的认可。此外，她还在京都与人共同创办了同志社女学校，即现在的同志社女子大学。

与新岛八重同时代的中野竹子(1847-1868)也参加了会津战争。尽管会津官方不允许妇女参军，但中野竹子仍以薙刀为武器，带领一支娘子军参加了战斗，其中也包括她的母亲和妹妹。据说她击败了许多敌人，最后身受重伤而亡。她的部队后来被命名为“女子队”。

来访者可以在西乡赖母(1830-1903)故居所在的会津武家宅邸，了解更多关于会津妇女的故事。

<繁体字>

戊辰戰爭中的女性力量

武士時代以男性為主導，但會津藩的武士並不只限於男性。許多會津武士的女兒都經過薙刀（薙，音同「替」；帶金屬長柄、刀刃彎曲的武器）訓練。關於會津婦女的歷史記載很少，但在戊辰戰爭（1868-1869）期間出現了不少著名人物，新島八重和中野竹子就是其中兩位。

新島八重（1845-1932），又名山本八重子，她從擔任會津藩炮兵教官的父親那裡學會了射擊。在會津戰爭（1868.6-1868.11）中，新島八重使用槍械參加了鶴城保衛戰，在當時很少有婦女能完成這樣的壯舉。後來，她在甲午戰爭（1884-1885）和日俄戰爭（1904-1905）中以隨軍護士身份參戰，其功績獲得了政府的認可。此外，她還在京都與人共同創辦了同志社女學校，即現在的同志社女子大學。

與新島八重同時代の中野竹子（1847-1868）也參加了會津戰爭。儘管會津官方不允許婦女參軍，但中野竹子仍以薙刀為武器，帶領一支由婦女組成的獨立隊伍參戰，其中也包括她的母親和妹妹。據說她擊敗了許多敵人，最後受致命傷而死。她的部隊後來被命名為「女子隊」。

遊客可以在西鄉賴母（1830-1903）故居所在的會津武家宅邸，了解更多關於會津婦女的故事。

<日本語仮訳>

女性たちの戊辰戦争

武士の時代は男性優位でしたが、会津藩の武士は男性だけではありませんでした。会津武士の娘の多くは、薙刀（先端に湾曲した刃が付いた金属製の棒からなる剣）を使用する訓練を受けました。会津の女性に関する史料は少ないものの、新島八重や中野竹子など、戊辰戦争（1868-1869）の際に歴史にその名を刻まれた人物も存在します。

山本八重子としても知られる新島八重（1845-1932）は、会津藩の砲術教官であった父から射撃術を教わりました。八重は会津戦争（1868年6～11月）で、女性としては非常に異例のことであった銃を使って、新政府軍から鶴ヶ城を守るのを助けています。日清戦争（1884-1885）と日露戦争（1904-1905）では看護師としての功績が政府から認められました。彼女はまた、現在の同志社女子大学の前身である、同志社女学校を京都に共同創立しています。

新島と同世代の中野竹子（1847-1868）も会津の戦いに参加しています。薙刀で武装した竹子は、会津藩が女性の軍隊への参加を許可しなかったため、母親と妹を含む女性の独立した軍隊を率いていました。彼女は自身が致命傷を負うまでの間、多くの敵を倒したと言われています。その部隊は、「女子隊」と名付けられました。

会津若松市への訪問者は、西郷頼母（1830-1903）の旧居がある会津武家屋敷で、会津の女性についてより詳しく学ぶことができます。

地域番号	018	協議会名	男鹿版 DMO インバウンド推進委員会
------	-----	------	---------------------

解説文一覧

NO.	スポット名 (タイトル)	中国語文字数	想定媒体
018-022	男鹿温泉交流会館五風 なまはげ太鼓	685	WEB、看板
018-023	男鹿温泉交流会館五風 恩荷	345	WEB、看板

【タイトル】 男鹿温泉交流会館五風 なまはげ太鼓

【想定媒体】 WEB、看板

<簡体字>

男鹿温泉交流会館五風 生剥鬼太鼓秀

“生剥鬼^{*}太鼓”是男鹿独有的舞台表演艺术，它将日本传统的“和太鼓”与当地生剥鬼仪式的独特动作和造型结合在了一起。“男鹿的生剥鬼”不仅是国家指定重要非物质文化遗产，也是联合国教科文组织(UNESCO)登录的非物质文化遗产。虽然生剥鬼太鼓并不是生剥鬼传统仪式的一部分，但它在男鹿已经流行了30多年，是本地颇受欢迎的表演艺术。面貌狰狞的生剥鬼猛烈地敲打着和太鼓的样子，值得所有造访男鹿的游客前去观赏。如今仍有数个团体定期演出，甚至连本地的一所高中也拥有自己的生剥鬼太鼓队。

20世纪70年代后半期，本地首次推出了佩戴生剥鬼面具敲击传统和太鼓的全新表演形式，主要用来招待入住男鹿温泉地区酒店和日式旅馆的客人。但在最初，穿着全套生剥鬼服装且佩戴面具打鼓的难度远远超出预料，直到20世纪80年代末，第一个生剥鬼太鼓剧团成立后，这种表演才真正兴起。起初，生剥鬼太鼓仅在酒店和日式旅馆里演出，但很快名声大噪，需要有一个专门的场所来定期为大众表演。

位于男鹿温泉区的表演大厅“男鹿温泉交流会館五風”建于2007年。同年，当地确立了如今生剥鬼太鼓的演出模式，其核心表演时长为30~40分钟，充满了原始的活力。表演时，游客还能与穿梭于台下人群中的生剥鬼合影留念。“恩荷”是本地数家乐队中的一支，他们的生剥鬼太鼓表演每年4月中旬至11月下旬在男鹿温泉交流会館五風举行，20:00开场，大约演奏30分钟。

※生剥鬼：日语为“なまはげ”(namahage)，是仅流传于秋田县男鹿半岛村庄的一种辞旧迎新的活动。在12月31日除夕之夜，装扮成神鬼模样的年轻人会挨家挨户训斥懒虫。户主则如同福神在初春来访一样，身着正装欢迎并设盛宴款待他们。

<繁体字>

男鹿溫泉交流會館五風 生剝鬼太鼓秀

「生剥鬼^{*}太鼓」是男鹿獨有的舞台表演藝術，它結合了日本傳統的「和太鼓」以及當地生剥鬼儀式的獨特動作和造型。「男鹿的生剥鬼」不僅是國家指定重要非物質文化財產，也是聯合國教科文組織（UNESCO）登錄的非物質文化遺產。雖然生剥鬼太鼓並不是生剥鬼傳統儀式的一部分，但在男鹿已經流行了30多年，是本地很受歡迎的表演藝術。面

貌猙獰の生剥鬼猛烈に敲打著和太鼓の様子、值得所有造訪男鹿の遊客一觀。目前仍有數個團體定期演出，甚至連當地一所高中也擁有自己的生剥鬼太鼓隊。

1970年代後半期、當地首次推出佩戴生剥鬼面具敲打傳統和太鼓的全新表演形式，主要用來招待入住男鹿溫泉地區酒店和日式旅館的旅客。但一開始，穿著全套生剥鬼服裝且佩戴面具打鼓的難度遠遠超出預料。直到1980年代末，第一個生剥鬼太鼓劇團成立後，這種表演才真正興起。生剥鬼太鼓最早只在飯店和日式旅館裡表演，但很快名聲大噪，需要有一個能為大眾定期演出的場所。

「男鹿溫泉交流會館五風」建於2007年，是目前男鹿溫泉區的表演大廳。同年，本地確立了如今生剥鬼太鼓的演出模式，其核心表演時長為30~40分鐘，充滿了原始活力。表演時，遊客還能和在台下穿梭於人群中的生剥鬼合影留念。「恩荷」是本地數家樂隊中的一支，他們的生剥鬼太鼓表演每年4月中旬至11月下旬在男鹿溫泉交流會館五風舉行，20:00開場，大約演奏30分鐘。

※生剥鬼：日語為「なまはげ」（namahage），是僅流傳於秋田縣男鹿半島村莊的一種辭舊迎新的活動。在12月31日除夕之夜，裝扮成神鬼模樣的年輕人會挨家挨戶訓斥懶蟲。戶主則如同福神在初春來訪一樣，身著正裝歡迎並設盛宴款待他們。

<日本語仮訳>

男鹿温泉交流会館五風 なまはげ太鼓

なまはげ[※]太鼓は男鹿に特有の、和太鼓の演奏と同地域のなまはげ独特な動きと外見を組み合わせた舞台芸術です。「男鹿のナマハゲ」は国指定の重要無形民俗文化財であり、ユネスコ無形文化遺産にも登録されました。実際にはなまはげの伝統の一部ではないものの、同地域でかなりの人気のショーに育ち、30年以上にわたって披露され続けています。恐ろしい風貌のなまはげが激しく大きな和太鼓を叩く様子は必見であり、男鹿を訪問するすべての人におすすめできるアトラクションです。現在男鹿では複数のグループが定期的になまはげ太鼓を披露しています。地元の高校の1つにも、なまはげ太鼓チームがあるほどです。

仮面を被ったなまはげと伝統的な和太鼓演奏を初めて組み合わせるようになったのは、1970年代後半のことでした。男鹿温泉エリアのホテルや旅館に滞在するお客様を楽しませる目新しい出し物として考案されました。しかし、初期段階ではなまはげの衣装と仮面を被りながら和太鼓をたたくのは予想外に難しく、ショーが本格的に流行り出したのは、最初のなまはげ太鼓団が結成された1980年代後半になってからでした。ショーは主にホテルと旅館だけでしばらく行われていましたが、やがて一般向けにもショーを定期開催できるスペースを用意する必要が生まれました。

男鹿温泉エリアでショーの舞台として現在使用されている「男鹿温泉交流会館五風」は、2007年に建てられました。その年に、原始的エネルギーあふれる30から40分の演奏を中心とした現在のなまはげ太鼓のショー形式が定まったのです。なまはげは観衆の中を歩き回るので、訪れた人々はなまはげと写真撮影することができます。地元演奏グループのひとつである恩荷によるなまはげ太鼓のショーは、

4月中旬から11月下旬まで男鹿温泉交流会館五風で披露されています。20:00に開場し、演奏時間は30分程度です。

※なまはげ：秋田県男鹿半島の村々にだけ伝わる小正月行事である。大晦日の晩に、鬼のような姿に扮した若者たちが家々を回り、なまけ者を戒める。一方、福神が春の初めに来訪するように、正装した家の主人に迎えられ、ご馳走のもてなしを受ける。

【タイトル】男鹿温泉交流会館五風 恩荷

【想定媒体】WEB、看板

<簡体字>

男鹿温泉交流会館五風 恩荷乐队

恩荷乐队是一个专门表演“生剥鬼*太鼓”的艺术团体，成立于 2001 年，以男鹿温泉交流会館五風为活动据点。团员是本地一群对表演付诸极大激情的年轻兼职和太鼓鼓手。相比专业性，剧团更注重勤奋努力，因此通常会拒绝男鹿以外的大型演出邀约。尽管如此，他们的表演技艺十分精湛，平时的练习使他们耐力惊人，最长时能连续 15 分钟不间断地敲锣打鼓。

恩荷的生剥鬼太鼓表演的开场节目通常也就是剧团的招牌剧目《真山》，生剥鬼令人生畏的动作和激烈的鼓点，令观众仿佛瞬间置身于男鹿白雪皑皑的神山之中。

※生剥鬼：日语为“なまはげ”(namahage)，是仅流传于秋田县男鹿半岛村庄的一种辞旧迎新的活动。在 12 月 31 日除夕之夜，装扮成神鬼模样的年轻人会挨家挨户训斥懒虫。户主则如同福神在初春来访一样，身着正装欢迎并设盛宴款待他们。

<繁体字>

男鹿溫泉交流會館五風 恩荷樂隊

「恩荷」樂隊成立於 2001 年，專門從事「生剥鬼*太鼓」表演，以男鹿溫泉交流會館五風為活動據點。團員是一群當地年輕兼職和太鼓鼓手，他們對表演始終懷抱最大的熱情。比起專業性，劇團更重視勤奮努力，因此通常會拒絕男鹿地區以外大型演出的邀約。盡管如此，他們的表演技藝十分精湛，平時的練習更是讓團員耐力驚人，最長能連續 15 分鐘不間斷地敲鑼擊鼓。

恩荷的生剥鬼太鼓表演的開場節目通常是劇團的招牌劇目《真山》，生剥鬼令人害怕的動作和激烈的鼓點，讓觀眾仿佛瞬間置身於男鹿白雪皑皑的神山之中。

※生剥鬼：日語為「なまはげ」（namahage），是僅流傳於秋田縣男鹿半島村莊的一種辭舊迎新的活動。在 12 月 31 日除夕之夜，裝扮成神鬼模樣的年輕人會挨家挨戶訓斥懶蟲。戶主則如同福神在初春來訪一樣，身著正裝歡迎並設盛宴款待他們。

<日本語仮訳>

男鹿温泉交流会館五風 恩荷

男鹿温泉交流会館五風を拠点として活動している「恩荷」は、2001年に結成したなまはげ[※]太鼓団で、パフォーマンスに情熱を持って和太鼓を演奏する、地元のパートタイムの若者たちが所属しています。同太鼓団はプロ意識よりも努力を重視しており、男鹿以外で開催される大規模なショーへの出演依頼も大抵は断るほどです。にもかかわらず、恩荷のパフォーマンスの質は非常に高く、普段の練習のおかげで、演者は最大 15 分間休憩なしで和太鼓を叩き、銅鑼を鳴らし続ける驚異的な持久力を誇ります。

恩荷のなまはげ太鼓ショーは多くの場合、同太鼓団を象徴する演目である「真山」で始まります。なまはげの恐ろしい動きと激しい和太鼓の演奏が繰り広げられる演目のパフォーマンスは、観衆を雪に覆われた男鹿の神聖な山々へと誘います。

※なまはげ：秋田県男鹿半島の村々にだけ伝わる小正月行事である。大晦日の晩に、鬼のような姿に扮した若者たちが家々を回り、なまけ者を戒める。一方、福神が春の初めに来訪するように、正装した家の主人に迎えられ、ご馳走のもてなしを受ける。

解説文一覧

NO.	スポット名 (タイトル)	中国語文字数	想定媒体
019-001	輪島キリコ会館	520	QR、WEB
019-002	白米千枚田	580	QR、WEB
019-003	總持寺祖院	860	QR、WEB
019-004	輪島朝市	920	QR、WEB
019-005	輪島漆芸美術館	520	QR、WEB
019-006	輪島塗展示資料室	890	QR、WEB
019-007	輪島工房長屋	530	QR、WEB
019-008	輪島「塩の駅」の塩作り	780	QR、WEB
019-009	輪島市黒島伝建地区	1190	QR、WEB
019-010	和倉温泉お祭り会館	1500	WEB
019-011	青林寺御便殿	590	WEB
019-012	七尾城跡	1200	WEB
019-013	畠山氏と七尾城の包囲	1290	WEB
019-014	七尾城史資料館	420	WEB
019-015	懐古館	490	WEB
019-016	七尾城山展望台	320	WEB
019-017	花嫁のれん：家族の愛を体現する色鮮やかな シンボル	1470	WEB
019-018	揚げ浜式の塩作り	690	VR、AR
019-019	すず塩田村	465	WEB
019-020	日本における塩作りの歴史	655	WEB
019-021	珠洲焼資料館	605	看板
019-022	珠洲焼の初期の発展	465	QR
019-023	製品の革新と沿岸交易	485	QR
019-024	失われた芸術の再発見	360	QR
019-025	スズ・シアター・ミュージアム「光の方舟」	1935	WEB

【タイトル】 輪島キリコ会館

【想定媒体】 アプリ QR コード、WEB

<簡体字>

轮岛切子灯笼会馆

每年 7~10 月，能登半岛各地总共要举办约 200 场“切子灯笼祭”，以感谢掌管丰收与渔获的神明，祈祷健康与富足。半岛的节日之夜，会上演一场色彩、灯火与音乐的盛宴。被称作“切子灯笼”的巨型花车伴随着神轿穿梭于大街小巷，人们以满城的流光溢彩向神明祈祷护佑。能登切子灯笼祭是日本文化厅指定的“日本遗产”。

切子灯笼大多为高大的箱形，顶部有装饰性的屋顶。每个灯笼正面均绘有五谷丰登或渔获满舱的吉祥图案，背面则是神明、传奇武士或美人画像。

最大的切子灯笼高达 15 米，重逾 2 吨，需集百人之力方可拖动。以前人们会用挂在竹竿上的小灯笼为走夜路的神轿轿夫照明，或许这就是切子灯笼的起源。文献记载中最早的切子灯笼祭举办于 1646 年。

在轮岛切子灯笼会馆，来访者不但能近距离观摩这些装饰精美的灯笼，还可观看祭典录像、聆听传统的祭典音乐。馆内展示着 30 台大小不同的灯笼，天花板采用了挑高设计，人们可以在坡道上俯瞰它们。会馆顶层是观景区，可把轮岛港风光尽收眼底。此外，这里还有一个 30 米高的稻草火炬复制品，当地每年 8 月都在轮岛港附近举办“轮岛大祭”，熊熊燃烧的火炬意味着活动高潮。

轮岛切子灯笼会馆开放时间为每日 9:00~17:00。

<繁体字>

輪島切子燈籠會館

每年 7 至 10 月，能登半島各地總共要舉辦約 200 場「切子燈籠祭」，以感謝掌管豐收與漁獲的神明，祈禱健康和富足。半島的節日之夜，會上演一場色彩、燈火與音樂的盛宴。被稱作「切子燈籠」的巨型花車伴隨著神轎在城中遊行，大街小巷流光溢彩，人們以此向神明祈禱庇佑。能登切子燈籠祭是日本文化廳指定的「日本遺產」。

切子燈籠大多為高大的箱形結構，頂部有裝飾性屋頂。每個燈籠正面均繪有五穀豐登或漁獲滿艙的吉祥圖案，背面則是神明、傳奇武士或美人畫像。

最大の切子燈籠高達 15 公尺，重逾 2 噸，需要約百人之力才可拖動遊街。以前人們會用掛在竹竿上的小燈籠，為走夜路的神轎轎夫照明，或許這就是切子燈籠的起源。文獻記載中最早的切子燈籠祭舉辦於 1646 年。

在輪島切子燈籠會館，遊客可以近距離觀摩這些裝飾精美的燈籠，此外還可觀賞祭典影片、聆聽傳統的祭典音樂。會館天花板採用挑高設計，可容納展示 30 台大小燈籠，遊客在坡道上就能俯瞰燈籠。在會館頂層的觀景區不僅可飽覽輪島港風光，還能看到一個 30 公尺高的稻草火炬複製品，每年 8 月，當火炬在輪島港附近熊熊燃起，就意味著「輪島大祭」高潮的到來。

輪島切子燈籠會館開放時間為每日 9:00～17:00。

<日本語仮訳>

輪島キリコ会館

7 月から 10 月にかけて、能登半島全域でおよそ 200 の「キリコ祭り」が開催され、豊作と大漁を神々に感謝し、健康と富を祈念します。お祭りの夜には、能登半島の至る所が色と光と音楽で満ちあふれます。「キリコ」と呼ばれる大きな灯籠の山車に伴われた神輿が、町中をめぐりながら光で照らすことで、神のご加護を祈るのです。なお、能登キリコ祭りは日本文化庁に「日本遺産」に認定されています。

キリコの多くは、背が高い箱型の灯籠で、装飾された屋根が特徴です。灯籠の正面には、豊作や大漁を願う縁起のよい文字が、背面には、神々や伝説的な武士、美しい女性の絵が描かれています。

最も大きなキリコは高さ 15 メートルに達し、重さは 2 トンを超えるものもあります。このキリコを曳いて町中を練り歩くには、およそ 100 人の担ぎ手が必要です。キリコはおそらく、神輿の担ぎ手が暗闇の中で歩くのを助けるための、竹竿に付けた小さな灯籠として始まったのでしょう。記録に残る最初のキリコ祭りは、1646 年に開かれたものです。

輪島キリコ会館では、お祭りの動画の視聴に加えて、飾りつけられた灯籠を間近で見学することができます。また伝統的な祭りの音楽を聴くことも可能です。会館には大型のキリコと小型のキリコ合わせて 30 基を展示されており、天井は高く設計されています。スロープで上から灯籠を見ることが可能です。会館最上階の展望ロビーからは輪島港を望むことができ、藁でできた高さ 30 メートルの松明の複製があります。これは、毎年 8 月に輪島港近くで開かれる「輪島大祭」のクライマックスで燃やされる松明を模したものです。

輪島キリコ会館は、毎日午前 9 時から午後 5 時まで開館しています。

【タイトル】 白米千枚田

【想定媒体】 アプリ QR コード、WEB

<簡体字>

白米千枚田

在石川县能登半岛的白米地区，上千块梯田（日语为“棚田”）从山腰一直铺至海岸，这就是“千枚田”。它是奥能登地区具有代表性的观光地，被日本农林水产省认定为“承前启后的棚田遗产”，同时也是日本文化厅指定的“国家指定文化财产名胜”。从江户时代(1603-1867)起，这片山坡上就开始种植水稻。每块田地面积不等，小至 50 平方厘米，大至 18 平方米，完全由人力栽种。田地周围有小径，既可靠近游览，又不会破坏稻田。山顶设有旅游信息中心和店铺，来访者可在此了解传统农业并购买千枚田出产的大米。

每年 10 月中旬至次年 3 月中旬，千枚田的灯光秀亦是能登秋冬季受欢迎的活动。

地尽其用

能登半岛的气候适宜种植水稻，却匮乏可供耕种的平地。至少从江户时代开始，本地区的农民在耕种小块田地的同时，还要从事渔业或林业生产才能维持生计。开发梯田是为了在最大程度上提升大米产量并防止土壤流失。梯田如同一道道水坝，起到蓄水和保留各种沉积物的作用，因此，这里比在平原种植更节省肥料。

农业遗产保护

2011 年，“能登的里山里海”被认定为日本首个全球重要农业文化遗产(GIAHS)，而白米千枚田是该文化遗产最具代表性的组成部分。尽管水稻种植已经普遍使用小型联合收割机和脱粒机，但千枚田的梯度和不规则形状，意味着整地、插秧和收割只能靠手工操作完成，这也恰好使得本地农业传统能够得以保存，并受到高度赞誉。

<繁体字>

白米千枚田

在石川縣能登半島的白米地區，上千塊梯田（日語為「棚田」）從山腰一直鋪至海岸，這就是「千枚田」。它是奧能登地區的旗艦級觀光景點，被日本農林水產省認定為「承前啟後的棚田遺產」，同時也是日本文化廳指定的「國家指定文化財產名勝」。從江戶時代（1603-1867）起，這片山坡上就開始種植水稻。每塊田地面積不等，小至 50 平方公分，

大至 18 平方公尺，完全由人力栽種。田地周圍有小徑，可近距離遊覽，但不會對稻田造成破壞。山頂上有遊客中心和商店，遊客可在此了解傳統農業並購買千枚田出產的大米。

每年 10 月中旬至次年 3 月中旬，千枚田的燈光秀也是能登秋冬季受歡迎的活動。

地盡其用

能登半島的氣候適宜種植水稻，然而可供耕種的平地卻非常有限。最晚從江戶時代開始，當地的農民在耕種小塊田地的同時，還要從事漁業或林業生產才能維持生計。因此，開發梯田成為必要之舉，可以極大地增加大米的產量並防止土壤流失。梯田如同一道道水壩，有著蓄水和保留各種沉積物的功用，比平原種植更節省肥料。

農業遺產保護

2011 年，「能登的里山里海」被認定為日本首個全球重要農業文化遺產（GIAHS），其中，白米千枚田是該文化遺產的代表。儘管在水稻種植中，小型聯合收割機和脫粒機已相當普及，但是千枚田的梯度和不規則形狀意味著整地、插秧和收割等工作只能依靠人工完成，而這一特點使得當地農業傳統得以保留下來，並受到外界讚賞。

<日本語仮訳>

白米千枚田

石川県能登半島の白米では、海岸へと下る斜面に、千を超える棚田が連なっています。これは「千枚田」と呼ばれ、日本農林水産省から「つなぐ棚田遺産」に認定、日本文化庁から「国指定文化財名勝」に指定されている、奥能登を代表する観光スポットとして親しまれています。この斜面では、江戸時代（1603-1867）初期から米が栽培されてきました。千枚の棚田は、広さが 50 平方センチメートルから約 18 平方メートルで、すべて手作業で耕されます。訪れる人が田んぼを傷めることなく近づくよう、稲田の周りには小道が通っています。丘の上にある情報センターと売店では伝統的な農業について学ぶことができ、この稲田で育てられたお米を購入することが可能です。

毎年 10 月中旬から翌年 3 月中旬まで開かれる千枚田のイルミネーションイベントは、能登の秋冬に欠かせない人気のイベントです。

利用できる土地を最大化する

能登半島の気候は稲作に適していますが、耕作に適した平地は不足しています。少なくとも江戸時代以降、この地域の農民たちは、生きていくために狭い土地を耕すことと、漁業や林業など農業以外の仕事に分けて時間を使ってきました。棚田は米の生産量を最大化し、土壌の流出を防ぐ方法として発展しました。この稲田は、水と堆積物を保持するダムとして機能するため、必要な肥料は平地の田んぼより少なくなります。

農業遺産を保存する

2011 年、日本で初めて世界農業遺産（Globally Important Agricultural Heritage

System, GIAHS) に認定された「能登の里山里海」。白米千枚田はその構成要素のひとつで、シンボリックな存在ともいえます。稲作において、小型の収穫機や脱穀機といった機械は一般的になりましたが、白米の棚田は、その不規則な形と勾配により、土壌の整備・田植え・稲刈りをすべて手作業で行わなければなりません。この慣行により、能登半島に古くから伝わる農業の伝統が保存されていることが評価されました。

【タイトル】 總持寺祖院

【想定媒体】 アプリ QR コード、WEB

<簡体字>

总持寺祖院

总持寺祖院是日本禅宗曹洞宗的两处本山之一，至今仍是一座活跃的僧院。曹洞宗的开创者道元(1200-1253)于1223年渡海前往中国南宋学习佛法，在浙江天童寺长翁如净禅师门下开悟，得到“印可”传承，归日后创立了曹洞宗。道元强调了坐禅（坐着进行的冥想）的价值，坐禅至今仍是曹洞宗的重要修行之一。1246年，道元在福井县创建了曹洞宗最初的寺庙——永平寺。

总持寺建于1321年，创立者莹山(1268-1325)是曹洞宗普及过程中的重要人物。莹山曾在永平寺学佛，13岁剃度出家。在他的推动下，总持寺成为曹洞宗传法和修行的中心，影响遍及日本16,000多所未寺（相关寺庙）。19世纪遭遇火灾后，总持寺迁至神奈川县横滨，而位于轮岛的原总持寺被称为“总持寺祖院”。

寺院生活中心

法堂（大祖堂）是总持寺祖院最大的建筑，面积约545平方米，用于早晚诵经祈祷和说法。为了凸显弘法的重要性，法堂采用金色饰物、“轮岛涂”漆艺，以及精美的雕刻装饰，与僧堂和坐禅场所的朴素外观形成了鲜明对比。法堂正面上方的格窗上雕刻着创建者莹山的生平经历。

法堂与僧堂间通过一条长廊连接。长廊沿寺院中庭一侧而建，僧人们前去诵经打坐往来于此时，都要向庭院深处的莹山灵庙（传灯院）鞠躬，表达对创建者的敬意。传灯院建于1822年，是寺中少数躲过1898年火灾的建筑物之一。

轮藏经堂

经堂的历史可追溯至18世纪。1898年的一场大火焚毁了总持寺的大部分建筑，经堂幸免于难。经堂中央的八角柱形轮藏用于收藏经文卷轴，回转连接中央轴的手柄便可让轮藏转动起来。藏于其中的佛经共344部，据说只要转动轮藏就相当于念诵了里面的所有佛经。轮藏前方有中国南朝萧齐时代居士傅大士(497-569)的雕像，传说他是轮藏的发明者。

寺院生活体验

总持寺祖院现由僧侣和弟子们负责寺庙的日常管理。寺内接待访客，来访者仅需花费少许费用便可体验 1 小时坐禅。入住则需提前预约。住宿期间可品尝“精进料理”（日式传统素斋）、参与早课和坐禅等修行，深度体验寺庙生活。

总持寺祖院开放时间为每天 8:00~17:00。

<繁体字>

總持寺祖院

總持寺祖院是日本禪宗曹洞宗的兩處本山之一，至今仍是一座活躍的僧院。曹洞宗的開創者道元（1200-1253）於 1223 年渡海往中國南宋學習佛法，在浙江天童寺長翁如淨禪師門下開悟，得到「印可」傳承，回日本後創立了曹洞宗。道元強調了坐禪（坐著進行的冥想）的價值，坐禪至今仍是曹洞宗修行的重要內容。1246 年，道元在福井縣創立了曹洞宗最初的寺廟——永平寺。

總持寺建於 1321 年，創立者瑩山（1268-1325）是曹洞宗普及過程中的重要人物。瑩山曾在永平寺學佛，13 歲剃度出家，在他的推動下，總持寺成為曹洞宗傳法和修行的中心，對日本境內的 16,000 多所未寺（相關寺廟）都有深遠影響。19 世紀遭遇火災後，總持寺遷至神奈川縣的橫濱，而位於輪島的原總持寺則被稱為「總持寺祖院」。

寺院生活中心

法堂（大祖堂）是總持寺祖院最大的建築，面積約 545 平方公尺，用於早晚誦經祈禱和說法。法堂採用金色飾品、「輪島塗」漆藝、精美的雕刻裝飾，旨在凸顯弘法的重要性，與僧堂和坐禪場所的樸素外觀形成鮮明對比。法堂正面上方的格窗上雕刻著創立者瑩山的生平經歷。

法堂與僧堂間透過一條長廊連接。長廊沿著寺院中庭一側而建，僧侶們前往誦經和打坐時會經過長廊，都要向庭院深處的瑩山靈廟（傳燈院）鞠躬，以示對創立者的敬意。傳燈院建於 1822 年，是寺中少數躲過 1898 年火災的建築物之一。

輪藏經堂

經堂的歷史可追溯至 18 世紀。1898 年大火焚毀了總持寺的大部分建築，經堂倖免於難。經堂中央的八角柱形輪藏用於收藏經文卷軸，迴轉連接中央軸的手柄便可讓輪藏轉動起來。藏於其中的佛經共 344 部，據說只要轉動輪藏就相當於念誦了裡面的所有佛經。輪藏前方有中國南朝蕭齊時代居士傅大士（497-569）的雕像，據傳他就是輪藏的發明者。

寺院生活體驗

總持寺祖院現由僧侶和弟子們負責寺廟的日常管理。寺內可以接待遊客，遊客可花少量費用體驗 1 小時坐禪，入住則需提前預約。住宿期間可嘗試「精進料理」（日式傳統素齋），還可以參加早課、坐禪等修行，深度體驗寺廟生活。

總持寺祖院開放時間為每天 8:00～17:00。

<日本語仮訳>

總持寺祖院

總持寺祖院はいまも活動している僧院であり、日本に 2 つある曹洞宗本山のうちの 1 つです。曹洞宗の宗祖・道元（1200-1253）は、1223 年、中国・南宋に渡り浙江の天童寺で如浄禪師を師として仰ぎ、印可証明を受けました。道元はこの旅から戻ってきた後に曹洞宗を開きます。道元は、坐禪（座って行う瞑想）の価値を強調しました。坐禪は、今も曹洞宗の重要な修行の一つです。道元は 1246 年、福井県に曹洞宗の最初の寺である永平寺を創建しました。

總持寺は、曹洞宗の普及における重要人物であった瑩山（1268-1325）によって、1321 年に創建されています。瑩山は永平寺で学び、13 歳で出家。總持寺を曹洞宗の教えと修行の主要拠点とし、日本全国 16,000 を超える末寺へとその影響力を広げました。總持寺は、19 世紀の火災を受けて、神奈川県横浜に移転。輪島にある本来の總持寺は「總持寺祖院」になりました。

寺での生活の中心

法堂（大祖堂）は、朝夕の祈りと説法の間です。法堂は、總持寺祖院で最大の建物であり、約 545 平方メートルあります。法堂は、僧堂と坐禪の場の実用的な外観と対照的に、金色の飾り、輪島塗、また精巧な彫りものが配されており、仏教の教えの大切さを伝えるように設計されています。法堂正面にある彫刻を施した欄間には、總持寺の創建者である瑩山の人生が描かれています。

法堂は、長い廊下で僧堂につながっています。この廊下は、總持寺祖院の中庭の一边に沿っています。僧たちは、祈りと瞑想のために行き来する際、創建者への敬意を示すために中庭の向こう側にある瑩山の靈廟（伝燈院）にお辞儀をするようにしています。この靈廟は 1822 年に遡るもので、1898 年の火災を免れた数少ない建物の 1 つでした。

輪藏經堂

經堂は、18 世紀に遡るものです。この經堂は、1898 年に總持寺祖院のほとんどが消失した大火を免れました。經典は巻物に書かれており、中央の八角形の輪藏に保管されています。輪藏は、中央の軸で回転させることができます。中には 344 の聖典が保管されており、輪藏を回すことで、これらの聖典すべてを読むのと同じ御利益がると言われています。輪藏の前には、中国南朝時代齊国の在俗仏教者である傅大士（497-569）の像があります。傅大士は、輪藏を発明したと言われています。

寺での生活を体験する

現在、總持寺祖院には、寺の日々の管理を担当する僧と修行僧がいます。一般の方も受け入れており、1 時間の坐禪を少額の料金で体験し、事前予約をすれば、宿泊することも可能です。宿泊の際は、精進料理、朝のお祈り、坐禪など、寺での生活を体験できます。

總持寺祖院の拝観時間は、毎日午前 8 時から午後 5 時までです。

【タイトル】 輪島朝市

【想定媒体】 アプリ QR コード、WEB

<簡体字>

轮岛朝市

每天早上 8 点，轮岛港附近的朝市街就已是一派繁忙景象。街道两旁排列的露天摊位上，贩卖着乡土农产品和清晨时分刚从轮岛附近海域捕获的海产。摊主热情地吆喝，招呼顾客品尝自己的商品。来自多山的内陆地区和物产丰富的海滨地区的居民在朝市聚集交易，这一传统已延续了上千年。轮岛朝市始于平安时代(794-1185)，由早期节假日期间在神社进行的物物交换演变而来。久而久之，轮岛朝市的规模逐渐扩大，成为日本三大朝市之一。朝市街全长 360 米，共约 180 个摊位。

朝市上的女性

女人们带着刚从自家田地和花园采摘的农产品来到朝市，摊在地布上售卖。她们到得很早，把货卖完才离去。大部分摊主也都是女性，平时或是务农，或是制作盐渍海产品以便保存。就在几年前，朝市摊位还只能由母亲传给女儿，但如今这种风俗已经没有那么严格了。

本地风味

轮岛清晨的应季渔获特别多，如雪蟹、大型章鱼“水蛸”、太平洋鳕鱼，寒鰯鱼（冬）、甜虾（春）、鲍鱼（春至夏）等能登半岛独具魅力的海鲜，一年四季陆续登场。海参是能登自古以来的特产，日语称为“海鼠”。与之相关的美味除了干海参之外，还有海参的卵巢干“海鼠子”，以及用海参内脏盐腌而成的盐辛“海鼠肠”。其中海鼠肠还是曾经进贡给幕府将军的“三大珍味”之一。

经过加工的海产品便于运输，因此朝市上这类海鲜的品种最为繁多，加工方式有盐渍、干制或醋腌等。盐渍的河豚干、鲭鱼干、赤鯮（喉黑鱼）干等本地渔产不仅能长时间保存，而且风味更加浓郁。鱼露也是当地名产，它是一种将沙丁鱼或鲭鱼用盐腌渍发酵后制成的传统酱汁。当地人用它代替普通酱油使用，而每家每户都有制作鱼露的独特配方。2023 年，“能登鱼露生产技术”被列入国家非物质民俗文化财产。

面向未来

随着便利的超市和网络购物的普及，每日前往朝市采购食物的顾客越来越少，于是部分摊位开始改成周末出摊。尽管现在种田、捕鱼以及经营摊位已不再是轮岛年轻人向往的

生活，但朝市还是在悄然发生着变化。为了扶持新的事业，这里开始允许经营短期或快闪摊位，吸引了年轻工匠和创业者进驻市场。

轮岛朝市的开市时间为每天 8:00 至正午，每月第二个和第四个周三、1 月 1 日至 3 日关闭。附近休憩区域的渔火区提供烧烤设备，可以现买、现烤、现吃。

<繁体字>

輪島朝市

每天早上 8 點，輪島港附近的朝市街就已是一派繁忙景象。街道兩旁擺滿了露天攤位，販賣著當地農產品和清晨時分剛從輪島附近海域捕撈的海鮮。攤主熱情地叫賣，邀顧客品嚐自己的商品。這裡聚集了多山的內陸地區以及物產豐富的沿海地區居民，他們在朝市進行交易的傳統已延續了上千年。輪島朝市始於平安時代（794-1185），由早期節日期間在神社進行的以物易物活動演變而來。隨著時間的推移，輪島朝市的規模逐漸擴大，成為日本三大朝市之一。整條朝市街長 360 公尺，共約 180 個攤位。

朝市上的女性

女人們帶著剛從自家田地和花園採摘的農產品來到朝市，擺在地上出售。她們到得很早，把東西賣光才離去。大部分攤主也都是女性，平時或是務農，或是用鹽來醃製海產品以便保存。就在幾年前，朝市攤位還只能由母親傳給女兒，但如今這種習俗已經沒有那麼嚴格了。

在地風味

輪島清晨的漁獲特別多，隨著季節而變化，雪蟹、大型章魚「水蛸」、太平洋鱈魚，寒鰯魚（冬）、甜蝦（春）、鮑魚（春至夏）陸續登場，這些都是能登半島獨具魅力的海鮮。海參是能登自古以來的特產，日語稱為「海鼠」。與之相關的美味除了乾海參之外，還有海參的卵巢乾「海鼠子」，以及用海參內臟鹽醃而成的鹽辛「海鼠腸」。其中海鼠腸還曾經名列進貢給幕府將軍的「三大珍味」之一。

經過加工的海產品便於運輸，因此朝市上這類商品的品種繁多，加工方式有鹽漬、乾製或醋醃等。鹽漬的河豚乾、鯖魚乾、赤鯮（喉黑魚）乾等當地漁產不僅能長時間保存，而且風味更濃郁。魚露也是地方名產，這是一種將沙丁魚或鯖魚用鹽醃漬發酵後製成的傳統醬汁。當地人用它代替普通醬油使用，而每家每戶都有製作魚露的獨特配方。2023 年，「能登魚露生產技術」被列入國家非物質民俗文化財產。

面向未來

隨著便利的超市和網路購物的普及，每日前往朝市採購食物的顧客越來越少，因此部分攤位開始改成週末設攤。現在，種田、捕魚以及經營攤位不再是輪島年輕人嚮往的生活，

不過朝市也在悄然發生著變化。為了鼓勵開展新生意，此地開始允許經營短期或臨時攤位，從而吸引了年輕工匠和創業者進駐市場。

輪島朝市的開市時間為每天 8:00 至中午，每月第二個和第四個週三、1 月 1 日至 3 日公休。附近休憩區的漁火區提供燒烤設備，可以現買、現烤、現吃。

<日本語仮訳>

輪島朝市

毎朝午前 8 時から、輪島港近くの朝市通りは大いににぎわいます。通りの両側には、輪島周辺の海で朝獲れた海産物や田舎の農産物を販売する露店が立ち並び、店主たちがお客様に商品の試食をすすめています。この朝市は、千年以上にわたって山の多い内陸部と豊かな海岸部の住民が出会う場所となってきました。輪島朝市は、お祭りの日に神社で行われる物々交換から発展して、平安時代（794-1185）に始まり、時とともに日本三大朝市の 1 つに成長。現在では、360 メートルの朝市通りに、約 180 軒の露店が並びます。

朝市の女性たち

女性たちは、田畑や庭から採りたての農作物を持参して地面に置いた布の上に広げます。朝早くからやってきて、自分で持参したものが売り切れたら帰ります。露店の店主も多くは女性で、普段は農作物を育てたり、海産物を保存用に塩漬けにしたりしています。数年前まで、露店は母から娘にのみ受け継がれるものでしたが、現在ではこの風習は緩やかになっています。

地元の味

朝獲れの新鮮な魚が豊富で、季節を変えて、ずわいがに、水だこ、まだら、寒ぶり（冬）、甘えび（春）、あわび（春から夏）など、能登ならではの魅力的な魚介類が並びます。なまこは能登の名物で、「乾燥なまこ」のほか、卵巣の干物「くちこ」と内臓の塩辛「このわた」も大変有名であり、とりわけこのわたは「日本三大珍味」とされ、古くは将軍家への献上品として使われていたようです。

朝市で売られるこれらの海産物の多くは、運びやすくするために、乾燥させ、あるいは塩漬けや酢漬けにされています。ふぐ、さば、のどぐろなど、地元で獲れた魚は、保存のため、また味を凝縮させるために、塩をして乾燥させます。地元の代表的な商品は、「いしる」です。「いしる」とは、この地域で醤油の代わりに使われる魚醤です。いわしやさばなどを塩漬け込み発酵させた伝統の調味料で、家庭ごとに、それぞれの作り方があります。2023 年には「能登のいしる・いしり製造技術」が国の登録無形民俗文化財に登録されました。

未来に向けて

スーパーマーケットやインターネットでの買い物が増えたため、毎日の食べ物を朝市で買うお客様は減っています。一部の露店は週末のみの営業になりました。農業や漁業に従事し、朝市で露店を営

業するという生活を希望する輪島の若者は少数です。しかし、成長のきざしもあります。新しい事業を奨励するため、短期間露店を営業することもでき、若い職人や起業家を朝市に呼び込んでいます。

朝市は、毎日午前 8 時から正午まで営業しており、毎月第 2・第 4 水曜日、1 月 1 日から 3 日は休業日です。朝市で買った新鮮な魚を調理して食べられる、漁火コーナーが近くの休憩所に設けられています。

【タイトル】 輪島漆芸美術館

【想定媒体】 アプリ QR コード、WEB

<簡体字>

轮岛漆艺美术馆

这间美术馆不仅展示轮岛及日本其他地区的漆艺作品，还通过陈列国外作品，形象地介绍了漆器的发展历史。馆内有短片展现漆器制作的全部流程，从挑选上好的木材直到最后润色装饰。来访者还可以在这里看到一棵真正的漆树。制漆需要先在树干开孔收集树汁，然后再进行加热提炼。

漆是一种拥有 3000 多年使用历史的材料，在艺术家和漆艺匠人的手中，它更是万能的介质。漆既是可通过多层叠加来塑造形状和立体感的涂料，也是具有装饰效果的黏合剂。这里的常展包括日本及世界各地当代漆艺家的作品，充分展现了漆的多种可能性。

馆内常展的当代漆艺作品中，有一架原寸三角钢琴和一个地球仪，两者在金饰技法上均采用了“沉金”与“蒔绘”工艺。“沉金”指用锋利的金属工具在漆器上刻出细线再填以金箔或金粉；“蒔绘”则以漆为黏合剂，在器物上刷漆为底，趁漆干前洒上金、银粉。粉末颗粒大小不同，呈现出的效果也不同。为了保护“蒔绘”效果，最后还需刷上一层透明的高光漆。

美术馆的开放时间为每天 9:00~17:00。馆内还提供包括上色在内的各种手工体验活动（收费），需在网提前预订（仅日语），详情请浏览
<https://www.art.city.wajima.ishikawa.jp/taiken>。

<繁体字>

輪島漆藝美術館

這間美術館主要展示輪島及日本其他地區的漆藝作品，還透過列舉其他國家的作品，生動介紹漆器的發展歷史。館內有短片向遊客展現漆器製作的全部流程，從挑選上好的木材直到最後潤色裝飾。遊客還可以在這裡看到一棵真正的漆樹。製漆需要在樹幹開孔來收集樹汁，再將其加熱並進行提煉。

漆是擁有 3000 多年使用歷史的材料，在藝術家和漆藝匠人的手中，它能成為一種多功能的媒材。漆既是能透過多層堆疊塑造形狀和立體感的塗料，也是一種具有裝飾效果的黏合劑。本館常展包括日本及世界各地當代漆藝家的作品，充分展現了漆所具有的多種可能性。

在館內常展的當代漆藝作品中，有一架全尺寸三角鋼琴和一個地球儀，這兩個作品都採用了金飾技法，包括「沉金」和「蒔繪」工藝。其中，「沉金」指用鋒利的金屬工具在

漆器上刻出細線再填以金箔或金粉；而「蒔繪」則以漆為黏合劑，在器物上刷漆為底，趁漆乾前灑上金、銀粉。粉末顆粒大小不同，呈現出的效果也不同。為了保護「蒔繪」效果，最後還需刷上一層透明的高光漆。

美術館的開放時間為每天 9:00～17:00。館內還提供包括上色在內的各種手工體驗活動（收費），需在網上提前預約（僅日語），詳情請見 <https://www.art.city.wajima.ishikawa.jp/taiken>。

<日本語仮訳>

輪島漆芸美術館

この美術館では、輪島や他の国内漆器産地の作品、また外国の例を通して、漆器の歴史を訪ね歩くことが可能です。最高の木材の選択から、仕上げの装飾加工まで、漆器作りの過程を説明した動画も用意されています。館内では実際に漆の木を見ることも可能です。漆は、幹に傷をつけて木の樹液を集め、それを加熱・精製して作ります。

漆は 3,000 年を超える期間使われてきた素材です。芸術家や職人にとって、漆は幅広い用途に使える材料です。漆は、形や面を作るために塗り重ねることができる塗料として、また装飾効果のための接着剤としての役目を果たします。現代の日本および世界中の漆芸家による作品の常設展示は、漆の可能性を感じさせるものです。

常設展示されている現代の漆塗りのオブジェにはグランドピアノや地球儀などがあり、両方とも「沈金」や「蒔繪」という技法を使って金で飾られています。沈金は、鋭い金属の道具で漆器に細い線を彫った後、それを金箔または金粉で埋める技法です。蒔繪は、漆を接着剤として使う技法で、木地に漆を塗り、漆が乾く前に金粉や銀粉を蒔きます。金粉や銀粉の粒子の大きさは、求める効果によって異なります。仕上げに透明で光沢度の高い漆を塗ることで、蒔繪の装飾を保護します。

この美術館は、毎日午前 9 時から午後 5 時まで開館しています。また館内では、色付けなど様々な手作り体験プラン（有料）を用意しておりますが、予約専用ページより事前予約（日本語のみ）が必要です。詳細は <https://www.art.city.wajima.ishikawa.jp/taiken> をご覧ください。

【タイトル】 輪島塗展示資料室

【想定媒体】 アプリ QR コード、WEB

<簡体字>

轮岛涂展示资料室

轮岛涂展示资料室主要介绍轮岛漆器的历史以及漆艺产业协作的传统。资料室由轮岛漆器工匠协同组合创立，旨在支援保存重要的轮岛漆器作品，并加深公众对“轮岛涂”的历史和制作工序的理解。通过欣赏古往今来本地工匠的漆器作品，来访者可以充分了解轮岛涂是如何诞生的。

学习漆器制作过程

制作一件轮岛涂作品往往需要 100 多道工序，这里展示了制作过程中的各道工序。来访者可以在资料室入口观看一段关于漆器工艺的短片，有中文等 5 种语言可选。

接着迎面而来的是一个大型展示，它用 133 个木碗直观呈现了从最初的刻木、打磨，到上漆乃至最后装饰的每道工序，来访者还可以通过展示的工具和大幅照片进一步加深理解。另一间展室里陈列着 19 世纪中期以来的漆器精品，同时还会举办一些季节性展览。资料室楼下是店铺，出售由 60 多名工匠制作的当代轮岛涂作品。

历史悠久的艺术

漆来自轮岛周边森林中生长的漆树汁液。生长在这片森林的还有柏树、榉树和水曲柳，这些木材经久耐用且容易加工，因此被选为雕刻或制作漆器的木胎材料。在石川县的古遗址中发现的漆器个例表明，日本漆器工艺历史可以追溯到久远的绳文时代（公元前 10,000 年—公元前 300 年）。

轮岛专工

轮岛涂以耐用著称，其特征在于制作时使用了本地出产的“地之粉”（即硅藻土，一种沉积岩，可压碎成粉）。将地之粉与漆混合，可制成经久耐用的底漆。轮岛的工匠还会用布料来加固盘边或碗边等易损部位，这样器皿就可以使用长达几百年。此外，为了让漆器表面呈现出光滑亮泽的效果，有时需要涂上多达 30 层的漆，每一层都需手工髹涂，然后在无尘环境中干燥约 24 小时。从着手制作到完成，整套流程往往需耗时几个月。

部分轮岛涂作品出自 16 世纪。当时京都和大阪对漆器产品需求的大量增加，带动了轮岛漆器业的迅速发展。轮岛的工匠将漆器制作流程划分为不同的阶段，每一段都交由专人负责，以分工合作的方式达成了大批量生产，使轮岛漆变得价廉物美。专业分工支撑了整个专家产业体系，其中包括了林业工人、木工、漆匠和装饰艺术家等。

如今，不同工种的工匠仍然各有专攻，“涂师屋”（漆师）相当于项目经理，负责客户商谈、分派任务和交付成品。

<繁体字>

輪島塗展示資料室

輪島塗展示資料室主要介紹輪島漆器的歷史與漆藝產業合作的傳統。資料室由輪島漆器工匠協同組合創立，旨在支持保存重要的輪島漆器作品，並加強民眾對「輪島塗」的歷史和製作工序的了解。透過欣賞古往今來當地工匠的漆器作品，遊客可以充分了解輪島塗是如何誕生的。

學習漆器製作過程

每件輪島塗都需要經過 100 多道工序，這裡展示了它的每一道工序。遊客可以在資料室入口觀看一段漆器製作過程的短片，有中文等 5 種語言可選。

接著迎面而來的是一個大型展示，這個展示用 133 個木碗呈現了從最初的刻木、打磨，到上漆，乃至最後裝飾的每一步驟。展示中還有工具和大幅照片幫助遊客了解各道工序。另一間展室裡陳列的是 19 世紀中期以來的漆器精品，這裡也會舉辦一些季節性展覽。資料室樓下是店鋪，出售由大約 60 名工匠製作的當代輪島塗作品。

歷史悠久的藝術

漆來自輪島周邊森林中生長的漆樹汁液。生長在這片森林的還有柏樹、欖樹和水曲柳，這些木材經久耐用且容易加工，因此被選為雕刻或製作漆器木胎的材料。有在石川縣的考古遺址中發現的漆器表明，日本漆器工藝歷史可以追溯到久遠的繩文時代（西元前 10,000 年—西元前 300 年）。

輪島專工

輪島塗以耐用著稱，其特色在於製作過程中使用了本地出產的「地之粉」（即矽藻土，一種沉積岩，可壓碎成粉）。將地之粉與漆混合，可製成經久耐用的底漆。輪島的工匠還用布料來加固盤邊或碗邊等易損部位，令器皿可以使用幾百年。此外，想讓漆器表面呈現出光滑亮澤的效果，最多要塗上 30 層的漆，且每一層都需手工髹塗，然後在無塵環境中乾燥約 24 小時。從著手製作到完成，整套流程往往需耗時幾個月。

部分輪島塗作品出自 16 世紀。由於當時京都和大阪對漆器產品需求量大增，從而帶動了輪島的漆器業迅速發展。輪島的工匠將漆器製作流程劃分為不同階段，由專人負責其中一段，以分工合作的方式達成大批量製作，將輪島漆器變成了價廉物美的商品。專業分工支撐了整個專家產業體系，其中包括林業工人、木工、漆匠和裝飾藝術家等。

如今，不同工種的工匠仍然各有專攻，「塗師屋」（漆師）相當於專案經理，負責客戶商談、分派任務和交付成品。

<日本語仮訳>

輪島塗展示資料室

輪島塗展示資料室は、輪島における漆器の歴史と、その共同作業の伝統について展示している施設です。この資料室は、輪島における重要な漆器の保存を支援し、輪島塗の歴史とその工程について、一般の人々の理解を深めるために漆器職人の協同組合が設立しました。ここでは、地元の職人が手がけた古典作品と現代の作品の見学を通して、輪島塗の制作工程について学ぶことができます。

工程について学ぶ

輪島塗では、1つの器を作るのに100を超える工程があります。輪島塗展示資料室の展示では、この工程の各段階を見ることが可能です。資料室の入口では、漆器の工程に関する動画を中国語も含めた5つの言語で視聴することができます。

133個のお椀を使って製造工程を示した大きな展示では、最初に木を彫って磨くところから、漆を塗り最後の装飾を加えるまでの各工程を紹介しています。道具と大きな写真が添えられ、工程の各段階の理解を深めることが可能です。別の展示室では、19世紀半ばまで遡る漆器の歴史を物語る作品の展示や季節の展示も行われています。同資料室の下では、60以上の作り手による現代の輪島塗が販売されています。

古代から続く芸術

漆は、輪島周辺の森に生育する漆の木の樹液です。この地域では、糸杉、欒、トネリコも生育しており、これらの木は、耐久性があり加工もしやすいため、漆を塗る素材を彫ったり、ろくろで加工するのに使われます。石川県の遺跡で見つかった漆器の例は、日本における漆工の歴史は遠く縄文時代（紀元前10,000年～紀元前300年）まで遡ることを示唆しています。

輪島の独自性

輪島塗は、その耐久性で知られており、地元でとれる「地の粉」（珪藻土：堆積岩の一種で、細かい粉に砕くことができます）を使うことが特徴です。これを漆と混ぜて、耐久性のある下地を作ります。また、輪島の職人たちは、お皿や椀の薄い縁など壊れやすい部分を補強するために布を用い、何百年も長持ちする器を作ります。表面を滑らかで光沢のある仕上がりにするため、漆を30層もの塗り重ねることもあります。漆は手作業で塗られ、その後埃のない環境で約24時間かけて乾燥。この全工程は、着手から完了まで何か月もかかることがあります。

輪島塗には16世紀まで遡るものもあります。輪島の漆器産業は、京都と大阪の漆器に対する高い需要に支えられて急速に発展しました。輪島の漆器職人たちは、製作段階ごとに分業で仕事を進めてきました。これにより、職人たちは、競争力のある価格で質の高い製品を大量に作ることもできます。この仕事が、森林労働者から木地師、漆師、装飾を施す工芸家まで、専門家たちの社会全体を支えてきたのです。

現在も、さまざまな職人たちが、工程の特定段階を専門にしています。漆を塗る「塗師屋」は、顧客との相談や他の職人への依頼から、仕上がった品の納品まで、プロジェクトマネージャーの役割を担っています。

【タイトル】 輪島工房長屋

【想定媒体】 アプリ QR コード WEB

<簡体字>

輪島工房長屋

輪島市中心附近有 5 栋木建筑，里面聚集了多位“轮岛涂”漆艺家的作坊。来访者在这里可以参观部分轮岛涂的制作过程，如开启车床、木雕以及最后装饰润色等工序。

最先映入眼帘的是分立于街巷两侧的两栋建筑，里面是漆艺工坊与工作室，其中有几处可入内近距离参观制作过程并与工匠交流。在木胚工坊中，可以看到工匠运用小型车床制作木碗。由于榉木具备耐久且易于雕刻的优点，很多漆器都以它为材料。

在涂漆工坊里，可以看到使用“地之粉”（即硅藻土，一种沉积岩，可压碎成粉）给木胎上底料的过程。这道工序可以让胎材在上底漆前变得光滑而且牢固，碗杯口等易损部位也需用布料来加固。

涂漆要求完全无尘的环境，来访者无法进入工坊内参观，但可以通过窗口观看整个过程。小巷对面是一些当地漆艺匠人制作新品的小作坊。

第三栋建筑里是展馆和店铺。来访者可以在体验工坊里选择“蒨绘”或“沉金”技法，尝试给一小块方形漆板或是一双筷子绘制装饰图案。“蒨绘”以漆为黏合剂，趁漆面未干之时依构思往上洒金、银粉；“沉金”则是用锋利的金属工具在漆面上刻划，再往刻痕中揉入金箔或金粉，创作出嵌金图案。参与体验者在加工漆面之前，可先在纸上画好草图。

体验工坊的开放时间为 9:00~17:00（周三休息），15:30 截止登记。

<繁体字>

輪島工房長屋

輪島市中心附近有 5 棟木建築，裡面聚集了多位「輪島塗」漆藝家的工坊。遊客在這裡可以參觀部分輪島塗的製作工序，如開啟車床、木雕以及最後裝飾潤色等操作過程。

最先映入眼簾的是分立在一條街巷兩側的兩棟建築，裡面分別設有漆藝工坊與工作室。其中有幾處可入內近距離參觀製作過程並與工匠交流。在木胚工坊中，可以看到工匠運用小型車床製作木碗。由於榉木具有耐久且易於雕刻的特點，許多漆器都使用榉木作為製作材料。

在塗漆工坊裡，可以看到使用「地之粉」（即矽藻土，一種沉積岩，可壓碎成粉）給木胎上底料的過程。這道工序可以讓胎材在上底漆前變得光滑而且牢固，碗杯口等易損部位還需用布料來加固。

由於塗漆要求完全無塵的環境，遊客無法進入工坊內參觀，但可以透過視窗觀看整個過程。小巷對面是一些當地漆藝匠人製作新品的小工坊。

第三棟建築裡是陳列室和店鋪。遊客可以在體驗工坊裡選擇「蒔繪」或「沉金」技法，嘗試給一小塊方形漆板或是一雙筷子繪製裝飾圖案。「蒔繪」以漆為黏合劑，趁漆面未乾之時依構思往上灑金、銀粉；「沉金」則是用鋒利的金屬工具在漆面上刻劃，再往刻痕中揉入金箔或金粉，創作出嵌金圖案。在加工漆面之前，參加體驗的遊客可先在紙上畫好草圖。

體驗工坊的開放時間為 9:00~17:00（週三休息），15:30 截止登記。

<日本語仮訳>

輪島工房長屋

輪島中心部の程近くに、輪島塗の工芸作家たちの工房が入った木造の建物が 5 棟あり、ここでは、旋盤を回し、木地を彫り、最後に装飾を加えるところなど、その工程の一部を見学することができます。

先ず、路地を隔てて 2 つの建物があり、中には作業場や工房が入っています。工房のいくつかは入ることが可能で、工程を間近で見て職人と話をすることが可能です。木地工房では、職人が小さな旋盤を回して木の椀を作っています。木材は、耐久性がありながら彫りやすい樺が広く使われています。

塗工房では、輪島の「地の粉」（珪藻土：堆積岩の一種で、細かい粉に砕くことができます）を練ったものを木地に下塗りする工程を見学できます。この工程は、漆を塗る前に素材を滑らかにして強度を出すためのものです。また、お椀や茶碗の薄い縁など破損しやすい部分は、下地や漆を塗る前に布で補強します。

漆を塗る工程には埃が一切ない環境が必要なため、一般の方は工房内には入れませんが、窓から工程を見学することが可能です。路地を渡ると、地元の漆器職人が新しい作品を創っている小さな工房がいくつかあります。

3 番目の建物には、ギャラリーと店鋪があるほか、訪れた人が蒔絵や沈金という技法を使って、漆塗りの四角形の木板やお箸を装飾することができる工房があります。蒔絵の場合、漆を接着剤として使い、漆が乾く前に金粉や銀粉を蒔いて模様にしますが、沈金の場合は、漆を塗った表面に鋭い金属の道具を使って模様を彫り、その後線に金箔または金粉をすり込んで金の模様を作ります。参加者は、直接漆器を加工する前に、先ずは模様を紙に下書きすることが可能です。

体験工房は、午前 9 時から午後 5 時まで開館しています（水曜日は休館）。体験の受付は午後 3 時 30 分に終了します。

【タイトル】 輪島「塩の駅」の塩作り

【想定媒体】 アプリ QR コード、WEB

<簡体字>

轮岛“盐之站”的制盐业

能登半岛岩石密布的西海岸边，人们顶着烈日在沙地上劳作。他们是在用“扬滨制盐法”制盐。这种制盐方式至少自 1596 年起就已经在本地区流传。日本缺乏盐矿和盐湖，只能通过蒸发海水制盐。在轮岛“盐之站”，来访者可以免费参观制盐过程，还可付费体验一部分制盐工序，亲自制作独一无二的自家风味盐。

奥能登盐场

能登半岛上耕地面积有限，因此，16 世纪晚期至 19 世纪中期的当地领主前田家族便扶持制盐业。前田家族控制着盐的销售，盐户每生产 10 公斤盐可获得 1 公斤大米。而前田家族则用收来的盐向 17 世纪至 19 世纪统治日本的德川幕府纳税。

盐户单靠制盐所得并不足以支撑家计，他们在砍柴伐木的山坡上开垦出小片稻田，冬季还要从事捕鱼或其它产业。

扬滨制盐法

“扬滨制盐法”首先需将海水用桶运到岸边垒起的盐场，再人工扬洒，让海水在阳光下蒸发。待收集晒出的盐晶后，往里倒入海水，制成浓盐水，然后过滤煮沸，直至余下的浓盐水表面积起一层厚厚的盐壳。这样制成的盐中钠含量约 40%，氯化物含量约 60%，并富含海洋矿物质。

日本最常见的海水制盐方法是“入滨制盐法”，即利用潮汐落差将海水引入盐田。这种方法从江户时代(1603-1867)开始普及，在日本西部的濑户内海周边地区尤为盛行。然而能登半岛潮汐落差太小，无法以“入滨制盐法”制盐。如今，全日本只剩奥能登地区仍在使用耗费人工的“扬滨制盐法”制盐。

被低估的资源

20 世纪早期，政府实施盐业专卖，并致力推进机械化制盐。由于人工制盐需要大量海水和夜以继日的体力劳动，加之面临进口盐的低价竞争，奥能登的大多数盐场因无法盈利而关闭。截至 20 世纪 50 年代，整个能登半岛上仅余 2 处盐场。近年来，随着市场对手工精品盐的需求日益高涨，该地区目前共有约 20 家盐厂。

輪島鹽之站的開放時間為 3 月至 11 月間每天 9:00~17:00，冬季僅周六和周日開放且開放時間可能會縮短。

<繁體字>

輪島「鹽之站」的製鹽業

能登半島岩石密佈的西海岸沿線邊，人們頂著烈日在一片片沙地上勞作，他們正在使用「揚濱製鹽法」製作鹽。最晚自 1596 年開始，這種製鹽方式就已經在本地區流傳。由於日本缺乏鹽礦和鹽湖，只能透過蒸發海水製鹽。在輪島「鹽之站」，遊客可以免費參觀製鹽過程，還可付費體驗一些製鹽工序，親自製作自己的獨家風味鹽。

奧能登鹽場

能登半島上耕地面積有限，因此 16 世紀晚期至 19 世紀中期的當地領主前田家便扶持製鹽業發展。前田家控制了鹽的銷售，鹽戶每生產 10 公斤鹽可獲得 1 公斤大米。而前田家則用收來的鹽向 17 世紀至 19 世紀統治日本的德川幕府納稅。

由於單靠製鹽所得不足以支撐家計，鹽戶們在砍柴伐木的林地山坡上開墾出小片稻田，冬季還要從事捕魚或其它產業。

揚濱製鹽法

「揚濱製鹽法」首先需將海水用桶運到岸邊壘起的鹽場，再人工揚灑，讓其在陽光下蒸發。待收集曬出的鹽晶後，往裡倒入海水，製成濃鹽水，然後過濾煮沸，直至餘下的濃鹽水表面積起一層厚厚的鹽殼。此法製成的鹽中鈉含量約 40%，氯化物含量約 60%，並富含海洋礦物質。

在日本，最常見的海水製鹽方法是「入濱製鹽法」，即利用潮汐落差引海水入潮灘。這種方法在江戶時代（1603-1867）開始普及，尤其在日本西部的瀨戶內海周邊地區廣泛使用。然而，由於能登半島的潮汐落差較小，無法適用「入濱製鹽法」來進行製鹽。因此，如今全日本只有奧能登地區仍然使用耗費人工的「揚濱製鹽法」來製鹽。

被低估的資源

20 世紀早期，政府實施鹽業專賣，並致力推進機械化製鹽。由於人工製鹽需要大量海水和夜以繼日的體力勞動，加之面臨進口鹽的低價競爭，奧能登的大部分鹽場因無法盈利而關閉。截至 1950 年代，整個能登半島上僅餘 2 處鹽場。近年來，隨著市場對手工精品鹽的需求日益高漲，目前該地區共有大約 20 家製鹽商。

輪島鹽之站的開放時間為 3 月至 11 月間每天 9:00~17:00，冬季僅週六、週日開放，且開放時間可能會縮短。

<日本語仮訳>

輪島「塩の駅」の塩作り

能登半島の岩の多い西海岸沿いでは、太陽の下、砂に覆われた土地で働く人々がいます。これは「揚げ浜」での塩作りに従事している人たちで、当地域では、少なくとも 1596 年以來実践されてきた製塩法です。日本には塩鉱や塩湖はほとんどなく、海水を蒸発させることで塩を作る必要があります。輪島の「塩の駅」を訪れる人は、無料のツアーに参加して工程を見学することができます。また、有料で塩作りの一部に挑戦し、自分で風味をつけた塩を作ることが可能です。

奥能登の塩田

能登半島では耕作可能な土地が限られていることから、この地域を 16 世紀末から 19 世紀半ばまで統治していた前田家は、塩作りを奨励。前田家は塩の販売を管理し、塩 10 キログラムあたり 1 キログラムの米を生産者に与えました。その一方で、17 世紀から 19 世紀まで日本を統治した徳川幕府に対して塩を使って税を納めたのです。

塩生産者の家庭が、塩からの収入のみで生活を支えていくのは困難でした。そこで彼らは、薪を集めるために木を切った斜面に小さな水田を作ったほか、寒い季節には漁業やその他の仕事に従事していました。

揚げ浜式の塩作り

海岸の高い位置にある塩田（「揚げ浜」）に海水を桶で運び上げ、この海水を手作業でまいて日光で蒸発させます。できた塩の結晶をもう一度海水に溶かして、濃い塩水を作ります。これを濾過し、塩の厚い層が残りの塩水の表面にできるまで煮詰めます。できた塩は、約 40 パーセントのナトリウムと 60 パーセントの塩化物を含んでおり、海からのミネラルが豊富です。

海水から塩を作る最も一般的な方法は「入り浜」です。これは、海岸の干潟に海水を張る方法であり、特に西日本の瀬戸内海周辺地域で江戸時代（1603-1867）に広がりました。能登半島は、「入り浜」式の塩作りには満潮と干潮の差が小さすぎるのです。奥能登地域は、日本で唯一、この骨の折れる「揚げ浜」式製塩が今でも採用されています。

過小評価されてきた資源

政府は 20 世紀初めに塩業を専売化し、工程の機械化に取り組みました。より安い輸入塩の普及に加え、また塩を手作業で生産するのに必要な大量の海水と日夜にわたる肉体労働のため、奥能登の塩田のほとんどは利益が出なくなり、閉鎖されました。1950 年代には、能登半島に残る塩田は 2 ヶ所のみとなりました。この数年間で、職人の技術を用いた塩への需要が高まり、現在この地域には約 20 の生産元があります。

輪島の「塩の駅」は、3 月から 11 月までは毎日午前 9 時から午後 5 時まで営業しています（冬季は土日のみ営業で、営業時間が短くなる場合があります）。

【タイトル】 輪島市黒島伝建地区

【想定媒体】 アプリ QR コード、WEB

<簡体字>

轮岛市黒島国家重要传统建筑群保护区

“轮岛市黒島地区”是国家指定重要传统建筑群保护区，坐落于山坡之上，面朝日本海。村中房屋很有特色，屋顶铺设黑釉瓦，墙面贴着灰色外墙板。黒島是依靠船主和船员发展起来的村落，从这里的几幢豪宅就能看出船主在江户时代(1603-1867)享有的财富和地位。自江户时代中期到 19 世纪晚期，这个村子的人口规模从 150 户左右扩大到了 500 多户。大阪与北海道之间的沿海水域上，商船往返不绝，有人在这条路上发财，也有人在这条路上落魄。

海上的冒险与财富

从 18 世纪到 19 世纪早期，一艘艘被称为“北前船”（北行之船）的木船在日本海沿岸水域上航行。与陆路相比，海路运输快速且便捷。春季，船员们从大阪出发，船上满载棉花、清酒、纸、香烟等各色货物于沿途各港口进行贩卖，从而获取丰厚的利益。抵达北海道后，船上物资变成了海鲜和昆布（用来制作日式高汤的主料之一），回程继续一路售卖抵达大阪。早期，北前船往返一次需费时近一年，但利润十分可观。到江户时代，船只往返一次就可以让船主赚到相当于现在的 1 亿日元。

19 世纪 70 年代时，船只变得更大，速度也更快。一艘船一次可以运送数百吨物资，一年可以往返 3~4 次，北前船船主也跻身日本最富有的商人行列。他们在具备雄厚财力之后，就从日本各地搜集良材，建造华屋。不过，日本海沿岸气候莫测，常有船难发生。为了祈求海上平安，船主们纷纷在寺庙和神社供奉祭品和船只画像，并在家中也设置装饰精美的大型神龛和佛龛。

海滨生活

为了抵御来自日本海猛烈而咸湿的海风，黒島家家户户都在房屋外墙加上防风护板。不仅是黒島地区，能登半岛的房屋屋顶大多都铺有光亮的黑釉瓦，这种瓦片经高温烧制而成，厚实的釉层可以抵御潮湿、炎热和严寒，还有防火功效。船主家宅大多背海而建，房屋后方设有仓库，便于与商船间运送货物。

角海家族旧宅

角海家族是黒島最富裕的船主之一。1843 年至 1897 年间，角海家族拥有 7 艘船，生意十分兴隆。他们的住宅经修复后已对外开放。

这所旧宅以“坪庭”（中庭）为中心，前部为商务区，后部用于家人居住。宅中佛堂设有大型佛龕和神龕，可见船主对宗教信仰笃深。房屋后方有个面海开窗的小房间，据说主人经常坐在这里察看自家泊在海湾内的船只。

住宅后部有 4 座灰泥墙围砌的仓库，日本叫做“藏”，用来保卫家中最贵重的财产和商品免遭火灾和盗窃。最大一个仓库中存有家具、艺术品及和服，其他 3 个则用来存放盐、盐渍食品、红小豆、大米等交易货物。如今这些仓库里陈列着多艘“北前船”的同比缩小模型及其他海运相关物品。在每艘新船完工时，造船匠人都会将该船模型一同交付给船主。

旧宅提供的黑岛地区散步地图不仅介绍了本地传统建筑的特征，还解说了当地文化和习俗。从角海家族旧宅步行几分钟，即可到达黑岛天领北前船资料馆，可在此进一步了解村落历史、黑岛船员以及船运家族的生活。

两处场馆的开放时间都是 9:00~17:00（周一休息）。

<繁体字>

輪島市黑島國家重要傳統建築群保護區

「輪島市黑島地區」被指定為國家重要傳統建築群保護區，坐落於山坡之上，面朝日本海。村中房屋很有特色，大多是黑釉瓦和灰色外牆板的外觀。黑島是依靠船主和船員發展起來的村子，有几幢豪華住宅直接反映出船主在江戶時代（1603-1867）享有的財富和地位。從江戶時代中期到 19 世紀晚期，這個村子的人口規模從 150 戶左右擴大到 500 多戶。大阪與北海道之間的沿海水域上，商船往返不絕，有人在這條路上飛黃騰達，也有人在這條路上鎩羽而歸。

海上的冒險與財富

從 18 世紀到 19 世紀早期，一艘艘被稱為「北前船」（北行之船）的木船在日本海沿岸水域上航行。與陸路相比，海路運輸快速且方便。春季，船員們從大阪出發，船上滿載棉花、清酒、紙、香煙等各色商品於沿途港口一路買賣，以獲取豐厚的利益。抵達北海道後，船上物資變成了海鮮和昆布（用來製作日式高湯的主料之一），返程時繼續一路販賣抵達大阪。早期，北前船往返一次需費時近一年，但利潤估計十分可觀。到江戶時代，船隻往返一次都可以讓船主賺到相當於現在的 1 億日圓。

1870 年代，船隻變得更大，速度也更快。一艘船一次可以運送數百噸物資，一年可以往返 3 至 4 次，北前船船主也躋身日本最富有的商人行列。在具備了雄厚財力之後，他們從日本各地搜集良材，蓋起了豪宅。然而，日本海沿岸氣候莫測，常有船難發生。為了祈求海上平安，船主們紛紛在寺廟和神社供奉祭品和船隻畫像，並在家中也設置裝飾精美的大型神龕和佛龕。

海濱生活

為了抵禦來自日本海猛烈而鹹濕的海風，黑島的家家戶戶都在房屋外牆加上防風護板。不僅是黑島地區，能登半島的房屋屋頂大多都鋪有光亮的黑釉瓦，這種瓦片經高溫燒製而成，厚實的釉層可以抵禦潮濕、炎熱和嚴寒，還有防火功效。船主家宅大多背海而建，房屋後方設有倉庫，便於與商船間搬運貨物。

角海家舊宅

角海家是黑島最富裕的船主之一。1843 年至 1897 年間，角海家擁有 7 艘船，生意十分興隆。他們的住宅經修復後已對外開放。

這所舊宅以「坪庭」（中庭）為中心，前部為商務區，後部用於家人居住。宅中佛堂設有大型佛龕和神龕，可見船主對宗教信仰篤深。房屋後方有個面海開窗的小房間，據說主人經常坐在這裡察看自家泊在海灣內的船隻。

住宅後部有 4 座灰泥牆圍砌的倉庫，日本稱作「藏」，用來保衛家中最貴重的財產和商品免遭火災和盜竊。最大一個倉庫中存有傢俱、藝術品和和服，其他 3 個則用來存放鹽、鹽漬食品、紅小豆、大米等交易貨物。如今這些倉庫裡陳列著多艘「北前船」的縮小比例模型及其他海運相關物品。每艘新船完工時，造船匠都要將該船模型一併交給船主。

舊宅提供的黑島地區散步地圖不僅介紹了當地傳統建築的特徵，還解說了當地文化和習俗。從角海家舊宅步行幾分鐘，即可到達黑島天領北前船資料館，可在此進一步了解聚落歷史、黑島船員以及船運家族的生活。

兩處場館的開放時間都是 9:00～17:00（週一休息）。

<日本語仮訳>

輪島市黒島伝建地区

国指定重要伝統的建造物群保存地区に指定されている、この「輪島市黒島地区」の集落は、日本海に面した斜面にあります。その家々は、黒い釉薬瓦と灰色の下見板の外装が特徴です。黒島は、船主と船乗りの居住地として発展した集落で、住宅のいくつかは、江戸時代（1603-1867）に船主が享受した富と地位を見て取ることができます。この集落は、江戸時代中期の約 150 世帯から、19 世紀末までには 500 世帯を超える規模へと成長しました。商船は、大阪から北海道まで沿海を往復しており、この航路で財産を築いた船主もいれば、失った者もいました。

海の危険と豊かさ

「北前船」（北行きの船）と呼ばれる木造船は、18 世紀から 19 世紀初頭にかけて日本海沿岸を航行していました。陸路よりも、海路で物資を運んだほうが速く容易であったからです。船乗りたちは、春に大阪を出発する際、綿、酒、紙、煙草、またその他の商品を船に積み込み、途中の港で売買を行い、かなりの利益を上げていました。北海道に着いた船乗りたちは、海産物と昆布（主に出汁を取る）を積み込み、大阪まで戻る途中で販売。初期の北前船の場合、往復には 1 年近くかかりました

が、かなりの利益を得られる可能性がありました。江戸時代の船主たちは、1 回の往復につき、現在の 1 億円に相当する金額を稼ぐことができたのです。

1870 年代に、船はより大きく、より速くなりました。船は数百トンの物資を運べるようになり、1 年に 3～4 回往復できるようになりました。船主たちは、日本で最も豊かな商人に数えられており、国中から集めた最高の材料で大きな家を建てることができました。しかし、日本海沿いの気象条件は変わりやすく、常に難破する恐れがあったのです。そこで船主たちは、安全な航海を祈願して寺社に奉納を行い、自身の船の絵を供えました。また、自宅には、飾りのある大きな神棚や仏壇を設けたのです。

海辺の暮らし

黒島の家々は、日本海からの強い潮風から家を守るために、下見板を使っています。光沢のある黒い瓦は、能登半島の多くの家に見られるものです。この瓦は、湿気と暑さ寒さに耐え、火災から家を守れるように釉薬が厚くかけられ、高温で焼かれています。船主の家の多くは、家の後ろにある蔵と船との間で荷物を運びやすくするために、海岸に面して建てられています。

旧角海家住宅

角海家は、黒島で最も豊かな船主の 1 つでした。角海家は 1843 年から 1897 年まで活発に事業を行っており、7 隻の船を持っていました。角海家の住宅は修復されて一般公開されています。

旧角海家住宅は、「坪庭」という中庭を中心に前方に事業のための部屋、後方に家族のための部屋が配されています。仏間には大きな仏壇と神棚がありますが、これは船主にとっての信仰の重要性を窺わせるものです。住宅の後方にある小さな部屋には海に面した窓があり、家の主人が湾内の自分の船が良く見えるこの部屋によく座っていたと考えられています。

住宅の後方には漆喰壁の蔵（倉庫）が 4 棟あり、一家の最も貴重な財産や商品を、火災・盗難から守っていました。最も大きな蔵には家具・美術品・着物を保管。他の 3 棟の蔵は、商売のための塩と塩蔵品、小豆、そして米を保管するものでした。現在、これらの蔵には、複数の北前船の縮尺模型など、海運に関係する品々が展示されています。こういった模型は、新しい船が完成した際に、船大工から船主に渡されたものです。

旧角海家では、地元の伝統的建造物の特徴のみならず、文化や風習などに関する情報も掲載しているまち歩きマップを配布しています。旧角海家住宅から徒歩数分の「黒島天領北前船資料館」では、この町の歴史についてさらに学び、黒島の船乗りたちの暮らしと、海運に携わる一家の暮らしについてさらに学ぶことができます。

いずれの施設も、午前 9 時から午後 5 時まで開館（月曜は休館日）。

【タイトル】和倉温泉お祭り会館

【想定媒体】WEB

<簡体字>

和倉温泉祭会館

能登半島乡村的支柱产业是农业和渔业，自然和天气对这里的生活影响深远。为祈求农渔丰收，每年能登半島各地都会举办多姿多彩的庆典。

在和倉温泉祭会館，来访者可以通过色彩绚丽的展览和沉浸式体验，深入了解这些庆典活动。馆内展示的实物大小的“山车”（花车）令人对每年5~9月在七尾举行的四大庆典产生无限遐想，而大屏幕影像、来自现场的录音和各种体验活动，更能让人们能在一年中随时感受到节日庆典的热烈气氛。

会馆开放时间为每天9:00~17:00（停止入馆时间16:30），每月第2和第4个周三及12月31日至1月1日休息。

巨型山车：青柏祭

每年5月3日~5月5日的青柏祭是七尾市区大地主神社的春季祭典，据说这个祭典从公元981年起就开始举办，现已被联合国教科文组织(UNESCO)列入非物质文化遗产。青柏祭的重头戏是三台巨型山车“でか山”(dekayama)游行。每座山车高约12米，重约20吨，两侧挂着五颜六色的条幅，并以代表各自街区的图案为装饰主题。山车上摆放的人偶栩栩如生，展现着歌舞伎剧目中的经典场面。

燃烧的火炬：能登島向田火祭

能登島向田火祭于每年7月的最后一个周六举办，已被认定为日本遗产。那一天，能登島向田町の伊夜比咩神社附近会燃起巨大的火炬，把夜空照得一片通红。这是神社为祈求五谷丰登、渔获满舱而举行的一系列夏日祭典的高潮。

火炬实际上是一棵高达30米的松树，它被高高竖起，再用粗绳绑牢固定，树干外裹柴禾，顶上有一根装饰着白色纸带的“御币”。黄昏时分，高大的“奉灯”（灯笼花车）和神轿队伍从伊夜比咩神社出发，朝着附近的点火会场前进。

点火会场上，参加者点燃各自手中的火把，围绕在大火炬旁，并有节奏地摆动着火把以保持火焰不灭。一旦指挥发出号令，人们就会点燃大火炬周围的柴禾。火焰立即窜起，大火炬熊熊燃烧直至轰然倒下。当地人传说，如果火炬倒向山那一边，当年必定农业丰收，如果落在靠海那一边，则会渔业兴旺。火炬一倒下，人们就争先恐后地去抢顶上那根御币，据说抢到的人会拥有好运和幸福。

高耸的奉灯：石崎奉灯祭

能登半岛各地的夜间祭典上，都会推出高耸的灯笼花车为神轿照亮前行的道路。这种灯笼花车在七尾称为“奉灯”，其他地区称为“切子”。石崎奉灯祭于每年 8 月的第一个周六举办，已被认定为日本遗产。届时，石崎这个渔业小镇的居民总要聚集在石崎八幡神社祈祷渔业丰收。

节日中，6 座高大奉灯穿梭于大街小巷，分别代表石崎的不同街区。奉灯的正面写着吉祥的文字，背面则画着威风凛凛的武士或神话人物。每盏奉灯高达 13 米，重约 2 吨，约需百人之力量方可移动。推动奉灯的人群一边穿行在狭窄的道路，一边高声祈祷渔获丰收。绕城一周后，6 台奉灯聚集在临时神社前，接着烟花四起，将庆典推向最高潮。

鲜艳的彩旗：熊甲祭

鲜红的“框旗”是七尾熊甲祭的象征，每一面都高达 20 米，分别代表了熊甲神社的 19 座末社（附属神社）。熊甲祭为感谢诸神赐予丰收而设，在每年 9 月 20 日举行，是“久麻加夫都阿良加志比古神社”（俗称熊甲神社）的大祭，已被指定为国家重要非物质文化遗产。

在旗手和乐师队列的伴随下，人们抬着神轿从各个末社出发。框旗被固定在木框上，位于队列最后。每支队伍都由一位打扮成“猿田彦”的舞者领导。猿田彦是红脸、长鼻子的神灵，负责引导众神下凡。舞者们合着独特的节拍一路起舞，最终到达熊甲神社本殿（正殿）。

在神社集合后，神轿和框旗都被抬到社内广场上。各团队依次将自己的框旗倾斜放倒，直至与地面平行，然后再重新竖立起来，大约需要 40 人齐心协力才能做到。为烘托气氛取悦观众，一些团队在倾斜框旗同时，还会让神轿在其下竞演。熊甲祭集大胆的表演、舞动的神明与热烈的音乐于一体，深受观光客喜爱。

<繁体字>

和倉溫泉祭會館

能登半島鄉村的支柱產業是農業和漁業，自然和天氣對這裡的生活影響深遠。為祈求農漁豐收，每年能登半島各地都會舉行多姿多彩的慶典。

在和倉溫泉祭會館，遊客可以透過色彩絢麗的展覽和沉浸式體驗深入了解這些慶典活動。館內展示的實物大小「山車」（花車）令人對每年 5 至 9 月在七尾舉行的四大慶典產生無限遐想，而大螢幕影像、來自現場的錄音和各種體驗活動，更讓遊客可以在一年中隨時感受到節日慶典的熱烈氣氛。

會館開放時間為每天 9:00~17:00（停止入館時間 16:30），每月第 2 和第 4 個星期三及 12 月 31 日至 1 月 1 日休息。

巨型山車：青柏祭

每年5月3日至5月5日的青柏祭是七尾市區大地主神社的春季祭典，據說在西元981年就開始舉辦了，現已被聯合國教科文組織（UNESCO）列入非物質文化遺產。青柏祭的重頭戲是三台巨型山車「でか山」（dekayama）遊行。每座山車高約12公尺，重約20噸，兩側掛著五顏六色的條幅，並以代表各自街區的圖案為裝飾主題。山車上擺放栩栩如生的人偶，展示歌舞伎劇目的經典場景。

燃燒的火炬：能登島向田火祭

能登島向田火祭於每年7月的最後一個星期六舉辦，已被認定為日本遺產。那一日，能登島向田町的伊夜比咩神社附近會燃起巨大的火炬，把夜空照得一片通紅。這是神社為祈求五穀豐登、漁獲滿倉而舉行的一系列夏日祭典的高潮。

火炬實際上是一棵高達30公尺的松樹，它被高高豎起，再用粗繩綁牢固定，樹幹周圍圍著柴禾，頂上有一根裝飾著白色紙帶的「御幣」。黃昏時分，高大的「奉燈」（燈籠花車）和神轎隊伍從伊夜比咩神社出發，朝著附近的點火會場前進。

點火會場上，參加者點燃各自手中的火把，圍繞在大火炬周圍，有節奏地擺動著火把以保持火焰不滅。等到指揮發出號令，人們就點燃大火炬周圍的柴禾。火焰立即竄起，大火炬隨之熊熊燃燒，最後轟然倒下。當地人傳說，如果火炬倒向山那一邊，當年必定農業豐收，如果落在靠海那一邊，則會漁業興旺。火炬一倒下，人們就爭先恐後地去搶頂上那根御幣，據說搶到的人會擁有好運和幸福。

高聳的奉燈：石崎奉燈祭

能登半島各地的夜間祭典上，都會推出高聳的燈籠花車為神轎照亮前行的道路。這種燈籠花車在七尾稱為「奉燈」，其他地區稱為「切子」。每年8月的第一個星期六，石崎這個漁業小鎮的居民總要聚集在石崎八幡神社祈禱漁獲豐收，6座高大奉燈在街巷遊行，分別代表石崎的不同街區。奉燈的正面寫著吉祥話語，背面則畫著威風凜凜的武士或神話人物。每盞奉燈高達13公尺，重約2噸，約需百人才能推動。推行者一邊穿行在狹窄的街道，一邊高聲祈禱漁獲豐收。繞城一周後，6台奉燈聚集在臨時神社前，接著煙花燃起，把慶典推向最高潮。

石崎奉燈祭已被認定為日本遺產。

鮮豔的彩旗：熊甲祭

鮮紅的「框旗」是七尾熊甲祭的象徵，每一面都高達20公尺。熊甲祭為感謝諸神賜予豐收而設，每年9月20日舉行，是「久麻加夫都阿良加志比古神社」（俗稱熊甲神社）的大祭，已被指定為國家重要非物質民俗文化財產。一面面紅色的框旗則分別代表了熊甲神社的19座末社（附屬神社）。

在旗手和樂師佇列的伴隨下，人們抬著神轎從各個末社出發。框旗被固定在木框上，位於佇列最後。每支隊伍都由一位打扮成「猿田彥」的舞者領導。猿田彥是紅臉、長鼻子

的神祇，負責引導諸神下凡。舞者們合著獨特的節拍一路起舞，直到熊甲神社本殿（正殿）。

在神社集合後，神轎和框旗都被抬到一處廣場上。各團隊依次將自己的框旗傾斜放倒，直至與地面平行，再重新豎立起來，大約需要 40 人齊心協力才能做到。為烘托氣氛取悅觀眾，一些團隊在傾斜框旗同時，還會同時在其下讓神轎競演。熊甲祭集大膽的表演、舞動的神祇與熱烈的音樂於一體，深受遊客喜愛。

<日本語仮訳>

和倉温泉お祭り会館

能登半島村落部の基幹産業は農業と漁業であるため、ここでの暮らしは自然と天候に大きく左右されます。そのため、能登半島の各地で豊作と大漁を祈って毎年数多くのお祭りが開催されます。

和倉温泉お祭り会館は、色鮮やかで没入効果のある展示を通して、これらのお祭りについてより深く学ぶことができる施設です。5 月から 9 月に七尾で開かれる 4 つの大きなお祭りの勇壮さを想起させる実物大の山車の展示に加えて、大画面の映像や音声、そして各種の体験を通じて、お祭りの雰囲気と興奮を 1 年中味わうことができます。

会館の営業時間は 9:00～17:00（入館は 16:30 まで）。休館日は、毎月第 2、第 4 水曜日、および 12 月 31 日～1 月 1 日です。

でか山：青柏祭

ユネスコ無形文化遺産に登録された青柏祭は、七尾市街地にある大地主（おおとこぬし）神社の春の例大祭です。このお祭りは、西暦 981 年に始まったと言われ、5 月 3 日～5 月 5 日に行われます。目玉は、3 台の大きな山車（「でか山」）の曳山行事。「でか山」は高さ約 12 メートル、重さは約 20 トンあり、その側面を飾るのは色鮮やかな垂れ幕です。それぞれの「でか山」は、その地域ならではのモチーフで飾られています。上には、人気がある歌舞伎の演目の場面を描いたまるで生きているかのような人形が置かれます。

燃える大松明：能登島向田の火祭

7 月の最終土曜日に行われる能登島向田の火祭りは、日本遺産に認定されています。その日に、能登島の向田町にある伊夜比咩（いやひめ）神社近くで、大きな柱状の松明が燃やされ夜空を照らします。これは、豊作と大漁を祈って伊夜比咩神社で開かれる一連の夏祭りのクライマックスを飾るものです。この松明は、長さ 30 メートルの松の木を柴の束で包んだもので、松明の上には、白い紙垂が飾られた御幣が付いています。柱状の松明は上向きに立てられ、太い縄を使って固定されます。黄昏に背の高い奉燈（灯籠の山車）と神輿の行列が、伊夜比咩神社を出発。松明を燃やす近くの会場へと向かいます。

会場で、参加者は各自の松明に火を点けます。参加者は、大松明の周りで各自の松明を灯したままにするために、リズムカルな動きで各自の松明を回し、これは大松明の周りに積んだ柴に火を点ける

よう参加者に合図が出るまで続きます。柴はすぐに燃え上がりそして大松明が燃え、ついには崩れ落ちますが、地元の言い伝えによれば、大松明が山に向かって倒れるとその年は豊作、海に向かって倒れると大漁が期待できるそうです。大松明が倒れるとすぐに、人々は御幣を手にしようと競い合います。御幣を手にした人には、幸運と幸福をもたらされると言われています。

そびえ立つ奉燈：石崎奉燈祭

能登半島の夜祭では、神輿が進む道を照らすために背の高い灯籠がお供をします。この灯籠は、七尾では「奉燈」と呼ばれ、他の地域では「キリコ」と呼ばれます。8月の第1土曜日に、漁業の町石崎の人々は、石崎八幡神社に集まって大漁を祈るのです。

そびえ立つ6基の奉燈が町の中を練り歩きます。石崎の各地区を代表する6基の奉燈の正面には、縁起のよい文字が描かれ、背面には勇壮な武士や神話の登場人物が描かれています。高さ13メートル、重さ約2トンに及ぶ奉燈それぞれを約100人で担ぎますが、担ぎ手たちは狭い道を進んで行く際に豊漁を祈る言葉を叫びます。町を一周した後、奉燈は仮宮の前に集合。花火が打ち上げられて祭りは最高潮に達します。

石崎奉燈祭は、日本遺産に認定されています。

色鮮やかな旗：お熊甲祭

それぞれが高さ20メートルにもなる赤い「杵旗」が象徴する、七尾の「お熊甲祭」は、久麻加夫都阿良加志比古（一般的には、「おくまかぶと」の称で親しまれている）神社の大祭です。神々に豊作を感謝するため、毎年9月20日に開かれます。お熊甲祭は、国の重要無形民俗文化財に指定されています。一つひとつの赤い杵旗が、この地域の19の末社を代表しています。

各末社から、杵旗の持ち手と楽隊の行列とともに神輿が運ばれてきます。赤い杵旗は木の杵に入れられて最後尾に位置。それぞれの行列を先導するのは、「猿田彦」に扮した踊り手です。猿田彦は、赤い顔と長い鼻を持つ、他の神々を天から案内する神として知られます。踊り手たちは、独特なリズムで踊りながら神社の本殿へと到達します。

参加者たちは神社に集まった後、境内の広場へと神輿と杵旗を進めます。広場では、各集団が順番に地面と平行になるまで自らの杵旗を傾けます。杵旗とその杵を水平に傾け、再び立てるには、約40人が必要です。一部の集団は、群衆を楽しませるために杵旗を傾けている間、その下で神輿を競わせます。大胆な芸、踊る神々、そして生き活きた音楽が組み合わされたこのお祭りは、観光客に絶大な人気誇ります。

【タイトル】 青林寺御便殿

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

青林寺御便殿

1909年9月27日，皇太子嘉仁（1879-1926，1912-1926年间的大正天皇）在和仓温泉的雅舍内停留了几个小时，休息、午餐并沐浴。然后他再度出发，继续踏上为期11天的北陆（福井县、石川县、富山县）旅程。数年之间，皇太子正式访问了日本所有的都道府县。为了此次行程，当地在访问之前两年便开始修建“御便殿”（皇家行宫），当时的造价约为10万日元。

御便殿原本建于山腰，可俯瞰七尾湾。此类行宫是皇家成员前往地方上进行公务访问时休憩所用，大部分在当次访问过后随即拆除。和仓温泉御便殿（包括皇太子休憩用的正殿和侍从待命的清凉阁，二者间有走廊连接）虽保留了下来，但被分别移至两处寺庙，其中正殿于1976年被移至青林寺。

御便殿内有两间铺着榻榻米的房间，两侧设缘侧（檐廊）。地板抬高的区域是皇太子的私人空间，既可用细竹帘阻挡视线，也可用木制拉门完全封闭。

御便殿所用建材极尽高贵，与未来天皇身份匹配。大部分木料采用位于长野县木曾谷的御料林所产柏木。主室的格子穹顶由独特的虎纹日本七叶树木板拼成，富有装饰性的木纹图案充分彰显木材的稀有珍贵和木匠的精湛手艺。当时使用的部分家具也被保存下来。

2017年，此处御便殿被登录为国家物质文化财产，成为和仓温泉的热门观光地。青林寺中还会举办庭园灯光秀等季节性活动。

青林寺的开放时间为每天9:00~12:00，13:00~16:00（周四休息）。

<繁体字>

青林寺御便殿

1909年9月27日，皇太子嘉仁（1879-1926，1912-1926年間的大正天皇）在和倉溫泉的一間雅舍內休憩、午餐並入浴，在那裡度過了數小時。然後，他再度出發，繼續為期11天的北陸（福井縣、石川縣、富山縣）之旅。數年之間，皇太子正式訪問了日本所有都道府縣。為了此項行程，「御便殿」（皇家行宮）在訪問2年前便開始修建，當時的造價約為10萬日圓。

御便殿原本建於山腰，可俯瞰七尾灣。此類行宮是皇家成員前往地方上進行公務訪問時休憩所建，大部分在訪問過後隨即拆除。和倉溫泉御便殿（包括皇太子休憩用的正殿和侍從待命的清涼閣，二者間有走廊連接）雖保留了下來，但被分別移至兩處寺廟，其中正殿於 1976 年遷到了青林寺。

休憩所內有兩間鋪著榻榻米的房間，兩側設緣側（簷廊）。地板抬高的區域是皇太子的私人空間，既可用細竹簾阻擋視線，也可用木製拉門完全封閉。

御便殿所用建材極盡高貴，與未來天皇身份匹配。大部分木料採用位於長野縣木曾谷的御料林所產柏木。主室的格子穹頂由獨特的虎紋日本七葉樹木板拼成，富有裝飾性的木紋圖案充分彰顯木材的珍貴與木匠手藝的精湛。當時使用的部分傢俱也被保存下來。

2017 年，此處御便殿被登錄為國家物質文化財產，從而成為和倉溫泉的熱門觀光地。青林寺中還會舉辦庭園燈光秀等季節性活動。

青林寺的開放時間為每天 9:00～12:00, 13:00～16:00（週四休息）。

<日本語仮訳>

青林寺御便殿

1909 年 9 月 27 日、1912 年から 1926 年に大正天皇として在位された、皇太子嘉仁親王（1879-1926）は、休憩と昼食、入浴のために和倉温泉の優雅な休憩所に数時間立ち寄り、その後 11 日間の北陸（福井・石川・富山県）の旅を続けられました。皇太子は、数年間かけて日本の全都道府県を公式訪問されましたが、皇太子が利用したこの休憩所（「御便殿」）は、その訪問を見越して、訪問の 2 年前に建設を開始。当時約 10 万円の費用をかけて建てられたそうです。

この御便殿は、当初七尾湾を見渡す山腹に建てられました。元々は皇室関係者が公務で地方を旅する際の数時間の休憩先として建設され、そのほとんどは 1 回の訪問を終えた後解体されていたのです。和倉温泉の御便殿の建物（休憩所の本殿と、廊下でつながった従者のための控えの間「清涼閣」）は、当時の場所に残されていましたが、2 ヶ所のお寺に移され、本殿は 1976 年に青林寺に移築されました。

この御便殿には畳敷きの部屋が 2 つ、両側に縁側があります。床が高くなったところは、皇太子のプライベートな空間でした。この空間は、目の細かな竹の簾によって直接は見えないようにでき、木の引き戸を使えば完全に閉め切ることもできました。

将来の天皇にふさわしいように最高の材料を使って建設されたこの御便殿の木材の多くは、長野県の木曾谷にある御料林の檜です。主室には、独特な虎の縞模様（虎斑）がある柎ノ木の板でできた弓型折上げの格天井があります。木目の装飾的な模様は、上質な木材と大工の技術の高さを窺わせるものです。

当時の家具の一部は保存されています。この御便殿は、2017 年に国登録有形文化財に指定されたため、和倉温泉でも人気の観光地となりました。この寺では、庭のイルミネーションなど、季節の催しを行っています。

青林寺の拝観時間は、毎日午前 9 時から正午、および午後 1 時から午後 4 時（木曜日は休館日）となります。

【タイトル】七尾城跡

【想定媒体】WEB

<簡体字>

七尾城遗址

七尾城竣工于16世纪早期，当时被认为是一座不可攻破的城郭。这里曾经是能登畠山家族（畠，音同“田”）的居城，该家族在15世纪至16世纪统治着能登半岛。城郭和防御工事大约修于16世纪上半叶，具体时期不详。七尾城覆盖了整座城山（300米）的上部，南北长2.5公里，东西宽1公里，名列“日本100名城”。现在，七尾城遗址被指定为国家史迹名胜天然纪念物。

勾心斗角的家臣

七尾城在山脊上建造了多重区域，借势于陡峭的悬崖和山谷构成天然防线，又以土垒、石壁和栅栏予以加固。这座城郭的功能相当于一座小城镇，城墙内是重臣宅邸、仓库、寺庙、武器库和马场。重臣宅邸占地广阔，由此可窥见他们在畠山家族中的强大权势。16世纪中叶，畠山家族的相关事务由7名权臣共同把持，史称“畠山七人众”，掌握着这一地区的实权。随着世代更迭，家臣间的对立越来越严重，对领主的忠诚也开始动摇。

壮观的城郭遗址

漫步在城郭遗址中，可以领略它在16世纪时的风采。如今有一座桥梁，横跨在为延缓入侵者进攻速度而挖掘的人工壕沟上。穿越杉树林的蜿蜒小路两旁，一边是石头壁垒，一边是危险的陡坡。“二之丸”（城郭二级区域）和“三之丸”（城郭三级区域）的两道防御城墙之间，还有一道人工壕沟。许多曾经为城内供水的水井仍保留至今。遗址周围竖着很多标牌，上面介绍了根据历史记录和挖掘发现推测出的16世纪城郭的模样。

“本丸”（城郭核心区域）高踞山顶，俯瞰着七尾湾，四周被城墙和畠山家臣宅邸的防御工事环绕，十分稳固。七尾城天守可能是一栋单层木建筑，早已荡然无存，只有周围采用连锁石打造的部分森严壁垒还保留着原样。

被围困的城市

七尾城的防御优势同时也是它的弱点，它虽可与外界隔绝，但势必也切断了进出的道路，容易被围困。在1576年和1577年的几个月里，武将上杉谦信(1530-1578)在征服日本海沿岸各地的战役中包围了七尾城，最终于1577年秋天将之攻破。城内部分武士和居民都在城池被围时因染上重病而日渐衰弱。传说畠山家族重臣之一的遊佐续光(?-1581)与上杉

谦信暗中勾结，背叛了家臣之首长续连(?-1577)，并杀害了他，为敌人打开了城门。长家族向志在统一日本的强将织田信长(1534-1582)求救，但援助未能及时赶到。

废弃的城郭

上杉谦信在占领七尾城的次年春天就去世了。他死后，织田信长掌控了能登半岛和七尾城，并于1581年将它们赐予了家臣前田利家(1538-1599)。前田利家继续加固城防，但鉴于交通和治理的便利性，决定把府邸建在七尾港附近。七尾城于1589年被废弃，但前田利家增建的部分防御工事留存至今。

城郭虽已荒废，周边杉树林犹在，四下仍是当年气氛。石阶尽头便是本丸遗址，现在矗立着1934年畠山家族后人建造的神社。从这里，可将七尾市风光尽收眼底。

通往本丸的石阶不远处有停车场，步行可达。来访者也可以从山脚徒步登上本丸，徒步路线始于七尾城史资料馆附近，约需1小时。

<繁体字>

七尾城遗址

七尾城竣工於16世紀早期，當時被視為是一座不可攻破的城郭。這裡曾經是能登畠山家（畠，音同「田」）的居城，該家族在15世紀至16世紀統治著能登半島。城郭和防禦工事大約修於16世紀上半葉，具體時期不詳。七尾城覆蓋了整個城山（300公尺）的上部，南北長2.5公里，東西寬1公里，名列「日本100名城」。七尾城遗址則被指定為國家史跡名勝天然紀念物。

勾心鬥角的家臣

七尾城在山脊上建造了多重區域，借勢於陡峭的懸崖和山谷構成天然防線，又以土壘、石壁和柵欄予以加固。這座城郭的功能相當於一座小城鎮，城牆內是重臣宅邸、倉庫、寺廟、武器庫和馬場。重臣宅邸占地廣闊，從中可見他們在畠山家中的權勢之大。16世紀中葉，畠山家的相關事務由7名權臣共同把持，史稱「畠山七人眾」，掌握了這一地區的實權。隨著世代更迭，家臣間的對立越來越嚴重，對領主的忠誠也開始動搖。

壯觀的城郭遗址

漫步在城郭遗址中，可以領略它在16世紀時的風采。現在有一座橋樑橫跨在為延緩入侵者進攻速度而挖掘的人工壕溝上。穿越杉樹林的蜿蜒小路兩旁，一邊是石頭壁壘，一邊是危險的陡坡。二之丸（城郭二級區域）和三之丸（城郭三級區域）的兩道防禦工事之間，還有一道人工壕溝。許多曾經為城內供水的水井仍保留至今。遗址周圍豎著很多標牌，上面介紹了根據歷史記錄和挖掘發現推測出的16世紀城郭的模樣。

本丸（城郭核心區域）高踞山頂，俯瞰著七尾灣，四周被城牆和畠山家臣宅邸的防禦工事環繞，十分穩固。七尾城天守可能是一棟單層木建築，早已蕩然無存，只有周圍採用連鎖石打造的部分森嚴壁壘還保留著原來的樣子。

被圍困的城市

七尾城的防禦優勢同時也是它的弱點。因為它雖可與外界隔絕，但勢必也切斷了進出的道路，容易被圍困。在 1576 年和 1577 年的幾個月裡，武將上杉謙信（1530-1578）在征戰日本海沿岸各地的戰役中包圍了七尾城，最終於 1577 年秋天將其攻破。城內部分武士和居民都在城池被圍時染上重病而日漸衰弱。傳說畠山家重臣之一的遊佐續光（?-1581）與上杉謙信暗中勾結，背叛了家臣之首長續連（?-1577），還殺害了他，為敵人打開了城門。長家向志在統一日本的強將織田信長（1534-1582）求救，但援助未能及時趕到。

廢棄的城郭

上杉謙信在佔領七尾城的次年春天就去世了。他死後，織田信長掌控了能登半島和七尾城，並於 1581 年將它們賜予了家臣前田利家（1538-1599）。前田利家繼續加固城防，但為交通和治理的便利，決定把府邸建在七尾港附近。七尾城於 1589 年被廢棄，不過前田利家增建的部分防禦工事留存至今。

城雖荒廢，周邊杉樹林猶在，四下仍是當年氣氛。石階盡頭便是本丸遺址，現在矗立著 1934 年畠山家後人建造的神社。從這裡，可將七尾市風光盡收眼底。

通往本丸的石階不遠處有停車場，步行可達。遊客也可以從山腳徒步登上本丸，徒步路線始於七尾城史資料館附近，約需 1 小時。

<日本語仮訳>

七尾城跡

16 世紀初めに七尾城が建てられた際、この城を攻め落とすことはできないと考えられていました。この城は、15 世紀から 16 世紀まで能登半島を統治した能登畠山氏の居城でした。この城とその防備は 16 世紀前半に建設されましたが、正確な日付は不明です。「日本 100 名城」に定められた七尾城は、城山（300 メートル）の山上を覆い、城域は南北 2.5 キロメートル、東西 1 キロメートルに広がっていました。七尾城跡は国の史跡名勝天然記念物に認定されています。

複雑な力関係

山の尾根には、急峻な崖や谷などの自然の地形を利用した多数の曲輪が設けられ、さらに、土塁、石垣、堀がそれを補うように城を守っていました。七尾城内は、小さな町のように機能していました。垣で囲われた土地には重臣たちがおり、蔵、寺、武器庫、また馬場があったのです。重臣たちの屋敷は広く、その規模が畠山家内で重臣たちが掌握していた力の大きさを窺わせます。16 世紀半ば頃には 7 名の重臣の一団「畠山七人衆」が畠山家の庶務を管理し、実質的にこの地域を支配するようにな

りました。数世代にわたって家臣たちの対立が次第に深まり、やがて主君への忠誠心は揺らぐことになりました。

印象的な城の跡

城の敷地に残されたものの間を歩いていると、この城が 16 世紀にはどのような姿だったかを感じることができそうです。敵の足を止めるために人の手で掘った谷には、現在では橋が渡してあり、杉の森の中を曲がりくねって通る小道の片側には石垣が並び、もう一方の側には危険な斜面があります。城を守る 2 つの曲輪、二の丸（城郭の中心から二番目の防衛用空間）と三の丸（城郭の中心から三番目の防衛用空間）の間には人工の谷がもう 1 つあります。また、この城域に水を供給していた数々の井戸を今でも見ることができます。周辺には様々な掲示板があり、歴史的な記録と発掘調査に基づいて、この城が 16 世紀にはどのような姿だったと考えられるかを表示しています。

本丸（城郭の最も主要な部分）は山の頂上にあり、七尾湾の向こうまで一望することが可能です。本丸は、畠山氏の家臣の屋敷と曲輪によって、しっかりと守られていました。七尾城は、おそらく平屋の木造建築物でできていたと思われます。当時の建物は 1 つも残っていませんが、石を組み合わせることで堅固に築かれた周囲の石垣の一部は、そのまま残っています。

包囲された城下町

七尾城の防御力の強さは、同時に弱点にもなりました。この城は外部から完全に遮断することができたのですが、城の出入りができず、包囲される可能性もあったのです。1576 年と 1577 年の数か月にわたり、武将・上杉謙信（1530-1578）は、日本海沿いの諸政治勢力を征服する作戦において、七尾城を包囲し、1577 年の秋についに七尾城の防御を破りました。城内にいた武士と領民の一部は、包囲されている間に病によって衰弱。畠山氏の重臣の 1 人である遊佐続光（?-1581）は、謙信と内通し、筆頭家臣であった長続連（?-1577）に敵対したとされています。続光は長続連を殺害し、敵のために七尾城を開城したのです。長氏は、日本を自らの統治のもとに統一すべく戦った有力な武将・織田信長（1534-1582）に助けを求めましたが、間に合うことはありませんでした。

放棄された城

上杉謙信は七尾城を手に入れましたが翌年の春に亡くなり、織田信長が能登半島と七尾城の支配権を握り、1581 年にこれらの家臣の前田利家（1538-1599）に与えました。利家は、七尾城の防御をさらに強化しましたが、七尾港により近いところを本拠地としています。交通や統治の上で、そのほうが便利だったからです。七尾城は 1589 年に放棄されましたが、利家が追加した城壁の一部は今もそのまま残っています。

七尾城が放棄された後、その周辺の杉の森は保存され、七尾城周辺の当時の雰囲気をとどめています。本丸跡には石段が通じています。本丸跡には、畠山氏の子孫が 1934 年に神社を建てました。本丸跡からは七尾市を一望することが可能です。

本丸への石段から少し歩くと駐車場がありますが、山の麓から本丸まで歩くこともできます。七尾城史資料館の近くに起点があり、所要時間は約 1 時間です。

【タイトル】 畠山氏と七尾城の包囲

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

畠山家族与七尾城之围

内讷与背叛是能登畠山家族（畠，音同“田”）史上挥之不去的噩梦。该家族源于京都，从 1391 年开始统治能登国（今能登半岛，“国”是日本古代行政区划，有别于国家），直至 1577 年七尾城陷落。畠山家族统治期间，一直无法有效辖制家臣而最终被夺权。在家臣间的权力和派系争斗中，诞生了一个名为“畠山七人众”（7 位权臣）的政治集团，从根本上导致了七尾城陷落，畠山家族也就此结束了对能登的统治。

建造山城

1515 年，畠山义总(1491-1545)成为能登畠山家族第七代家主，在其统治期间，能登走向繁荣。畠山义总成功平息了畠山家族内部纷争，组建起自己的军事力量。他建造了七尾城，将之作为居城，并从京都邀请学者前来讲学，奖励工匠和商人移居七尾，一座欣欣向荣的城下町（围绕城郭发展起来的市镇）在七尾城山脚下兴起。此外，畠山义总还控制了七尾湾和富山湾的海运，为开发七尾南部的宝达金矿也作出了贡献。直到 55 岁去世前，他统治下的七尾和畠山家族一直保持着兴旺与安定。

脆弱的同盟

畠山义隆(1556-1576)在 1574 年兄长突然去世后掌权，出任能登畠山家族的第 11 代家主。此时，畠山义隆才十几岁，实权便落到了由重臣组成的畠山七人众手中。有人怀疑他的兄长是死于家臣暗杀。

从 16 世纪中期开始，畠山家族就与重臣共同治国，其中遊佐家族和长家族甚至在城郭内拥有高墙围合的宽广宅院。这些家臣经常勾心斗角，为争权结成不稳定的同盟。遊佐续光(?-1581)是能登国珠洲地方出身的武将，逐渐成为七人众的笔头（家臣之首）。除了畠山家族，遊佐续光还效忠于上杉谦信(1530-1578)。上杉谦信是越后国（今新潟县）出身的强大武将，也是与织田信长(1534-1582)争夺天下的对手。1573 年，织田信长击败当时统治日本的足利幕府，着手统一日本的大业。遊佐续光站在上杉家族一边，而他的妻舅——重臣长续连(?-1577)则是织田信长的拥趸，权力斗争由此展开。

被围困的家族

16 世纪晚期，日本处在两大军阀分治之下，织田信长在西，上杉谦信在东。两人连年征战，扫平各方势力。此时，能登国的实权落在两名对立的家臣手中，他们分别拥护一方军阀，这就令畠山家族的立场左右摇摆。1576 年，上杉谦信决定率领约 2 万士兵进军七尾城，围城两月却未能攻下。

城墙之内瘟疫爆发，第 11 代家主畠山义隆年仅 20 岁便去世，他的幼子畠山春王丸 (1572-1577) 成为新一代家主，实权则由长续连掌握，他也由此成为笔头。1577 年，上杉谦信再攻七尾城，围城近 1 年。被围期间，长续连曾向织田信长求救。

内部之敌

为守住七尾城，长续连强迫城中居民们加入畠山家族的军队。但是，疫病削弱了守军的战斗力，连年幼的家主畠山春王丸也染病身亡。据传，1577 年 9 月 15 日遊佐续光一党在城内发动叛乱，杀死了长续连及其众多族人，打开城门迎接上杉谦信和他的军队。畠山家族本就摇摇欲坠的统治，终于迎来了末日。

上杉谦信将七尾城与能登国的统治权赐予了遊佐续光。次年，上杉谦信突然辞世，很可能也是死于疾病。织田信长趁机攻进能登，遊佐续光及其子投降，但据说因为谋害长续连家族而被织田信长处死。

<繁体字>

畠山家族與七尾城之圍

內訌與背叛是能登畠山家（畠，音同「田」）史上揮之不去的噩夢。該家源於京都，從 1391 年開始統治能登國（今能登半島，「國」是日本古代行政區劃，有別於國家），直至 1577 年七尾城陷落。畠山家統治期間，一直無法有效轄制家臣而最終被奪權。在家臣間的權力和派系鬥爭過程中，誕生了一個名為「畠山七人眾」（7 位權臣）的政治組織，從根本上導致了七尾城陷落，畠山家也就此結束了對能登的統治。

建造山城

1515 年，畠山義總（1491-1545）成為能登畠山家第七代家主，能登在其統治期間欣欣向榮。畠山義總成功平息了畠山家內部紛爭，組建起自己的軍事力量，建造七尾城，將之作為居城，並從京都邀請學者前來講學，獎勵工匠和商人移居七尾，一座蒸蒸日上的城下町（圍繞城郭發展起來的市鎮）在七尾城山腳下興起。此外，畠山義總還控制了七尾灣和富山灣的海運，支援開發七尾南部的寶達金礦。直到 55 歲去世前，他統治下的七尾和畠山家一直保持著繁榮與安定。

脆弱的同盟

畠山義隆（1556-1576）在 1574 年兄長突然去世後掌權，出任能登畠山家族的第 11 代家主。當時他才十幾歲，實權便落在了由重臣組成的畠山七人眾手裡。有人懷疑他的兄長是死於家臣暗殺。

從 16 世紀中期開始，畠山家就依賴重臣治國，其中遊佐家和長家甚至在城郭內擁有高牆圍合的寬廣宅院。這些家臣經常勾心鬥角，為爭權結成不穩定的同盟。遊佐續（?-1581）是能登國珠洲地方出身的武將，逐漸成為七人眾的筆頭（家臣之首）。除了畠山家，遊佐續光還效忠於上杉謙信（1530-1578）。上杉謙信是越後國（今新潟縣）出身的強大武將，也是與織田信長（1534-1582）爭奪天下的對手。1573 年，織田信長擊敗當時統治日本的足利幕府，著手統一日本的大業。遊佐續光站在上杉家一邊，而他的妻舅——重臣長續連（?-1577）則是織田信長的擁躉，權力鬥爭由此展開。

被圍困的家族

16 世紀晚期，日本處在兩大軍閥分治之下，織田信長在西，上杉謙信在東。兩人連年征戰，掃平各方勢力。此時，能登國的實權落在兩名對立的家臣手中，他們分別支持一方軍閥，這使得畠山家的立場左右搖擺。1576 年，上杉謙信決定率領約 2 萬士兵進軍七尾城，圍城兩月未能攻下。

城牆之內瘟疫爆發，第 11 代家主畠山義隆年僅 20 歲便去世，他的幼子畠山春王丸（1572-1577）成為新一代家主，實權則由長續連掌握，他也由此成為筆頭。1577 年，上杉謙信再攻七尾城，圍城近 1 年。被圍期間，長續連向織田信長求救。

內部之敵

為守住七尾城，長續連強迫城中居民們加入畠山家的軍隊。但是，疫病削弱了守軍的戰鬥力，連年幼的家主畠山春王丸也染病身亡。1577 年 9 月 15 日，遊佐續光一黨在城內發動叛亂，殺死了長續連及其眾多族人，打開城門迎接上杉謙信和他的軍隊。畠山家本就搖搖欲墜的統治終於迎來了末日。

上杉謙信將七尾城與能登國的統治權賜予了遊佐續光。次年，上杉謙信突然辭世，很可能也是死於疾病。織田信長趁機攻進能登，遊佐續光及其子投降，但據說因為謀害長續連家而被織田信長處死。

<日本語仮訳>

畠山氏と七尾城の包囲

能登畠山氏の歴史は、内紛と裏切りに悩まされたものでした。能登畠山氏は京都出身で、能登国（現在の能登半島、古代日本の行政区画、いまの「国家」とは異なる）を、1391 年から、七尾城が落城する 1577 年まで統治しました。畠山氏は能登国を統治する間、家臣たちとの権力争いの結果権力を失ったのです。家臣間の権力闘争と相互に対立する忠誠から「畠山七人衆」が組織されることとなり、ついには七尾城の落城と畠山氏による能登統治の終焉へと至りました

山城の建立

畠山義総（1491-1545）は、1515年に能登畠山氏の第7代当主となり、その統治のもとで能登は繁栄。家内の争いを抑えることに成功し、軍事力を築き上げました。義総は自らの主たる居城として七尾城を建立し、京都から学者を招いて講義を行わせて、職人と商人に七尾への移住を奨励しました。七尾の城下町（城郭を中心に形成された都市）はその結果繁栄することとなったのです。また、七尾湾と富山湾の海運業を管理し、七尾の南にある宝達金山の開発にも貢献。七尾と畠山氏は、義総が55歳で亡くなるまで、その統治のもと繁栄と安定を大いに享受しました。

不安定な同盟関係

畠山義隆（1556-1576）は、1574年に兄が急死した後権力の座につき、能登畠山氏の第11代当主となりました。義隆の兄は家臣によって暗殺されたという説があります。能登畠山氏の新たな当主となった時、義隆はまだ10代だったため、重臣7名による政治組織、畠山七人衆が実権を握っていました。

畠山氏は、16世紀半ばから重臣たちとともに能登国を統治していました。重臣には遊佐家や長家があり、垣に囲まれた広い敷地を城内に有していたのです。これらの家臣たちは、権力を得ようと常に画策し、不安定な同盟関係を結んでいました。遊佐続光（?-1581）は、能登国の珠洲地方出身の武将であり、七人衆の筆頭にまで出世。畠山氏以外ではその忠誠は、上杉謙信（1530-1578）へと向かっていました。上杉謙信は、越後国（現在の新潟県）出身の有力な武将でした。上杉謙信は、織田信長（1534-1582）に対抗していましたが、信長は当時日本を統治していた足利幕府を1573年に滅ぼした後、日本を自らの統治のもとに統一する動きを見せていました。続光が上杉家を支持する一方、続光の義兄弟である重臣の長続連（?-1577）は織田信長を支持していたため、権力闘争が生じたのです。

包囲される一家

16世紀末、この国を支配していたのは2人の有力武将であり、2人はそれぞれの行く手にある土地を次々に征服していきました。西には織田信長、東には上杉謙信。畠山氏がどちらを支持していたかは明確ではありませんでした。畠山氏は実質的には家臣たちの支配下にあり、対立する家臣がそれぞれに異なる相手を支持していたからです。上杉謙信は、1576年に約2万の軍勢で七尾城を攻撃することを決定。2か月間包囲を行いました。城を落とすことはできませんでした。

城壁の中では疫病が起り、第11代当主の畠山義隆は20歳で亡くなりました。義隆の幼い息子、畠山春王丸（1572-1577）が新しい当主となりましたが、実権を握ったのは長続連であり、続連が筆頭の家臣の地位に就きました。上杉謙信は、1577年に再びやって来て七尾城を占領する2度目の試みを行いました。七尾城は約1年間の包囲に耐え、その間に続連は織田信長に助けを求めたのです。

内部にいた敵

長続連は、城を守るために領民を強制徴兵して軍役につかせました。しかし、疫病が領民たちを衰弱させ、幼い春王丸まで倒れて亡くなったのです。1577年9月15日、遊佐続光とその仲間たちは城内で反乱を起こし、長続連とその一族の多くを殺して、上杉謙信とその軍勢のために城門を開いたと考えられています。畠山氏の脆弱な統治は、終わりを迎えました。

上杉謙信は、七尾城と能登国の支配権を遊佐続光に与えました。翌年、上杉謙信は（おそらく病気で）急死し、織田信長が能登に攻め込みました。続光とその息子は信長に降伏しましたが、長家の暗殺の実行に加わったことで処刑されたと言われています。

【タイトル】七尾城史資料館

【想定媒体】WEB

<簡体字>

七尾城史資料館

七尾城是日本雄伟的山城之一，名列日本 100 名城。在 1577 年被武将上杉谦信(1530-1578)征服之前，七尾城一直被认为固若金汤，无法攻破。它的建造者是 15 世纪至 16 世纪统治了能登半岛 169 年的畠山家族（畠，音同“田”）。

七尾城史资料馆位于城郭遗迹脚下，主要展示发掘自遗址地下的文物。资料馆正面装饰着畠山家族的家纹——圆中划有两条水平直线。资料馆为 2 层建筑，1 楼的大屏幕上播放着还原了 16 世纪七尾城风貌的电脑合成图像，配有英文和日文解说。这段影像展现了横跨数道山脊的城郭雄姿，足以让来访者直观了解到七尾城的宏大规模。

馆中有一幅描绘 1544 年七尾城城下町（围绕城郭发展起来的市镇）风貌的大尺寸示意图，当时正值畠山家族的鼎盛时期。这些基于考古发现复原的细致图解，让来访者得以深入了解 16 世纪时普通市民的生活。资料馆 2 楼展示的是 14 世纪至 16 世纪出品的陶瓷、漆器等工艺品。

七尾城史资料馆开放时间为 9:00~17:00（周一休息）。

<繁体字>

七尾城史資料館

七尾城是日本雄偉的山城之一，名列日本 100 名城。在 1577 年被武將上杉謙信（1530-1578）征服之前，七尾城一直被視作固若金湯，無法攻破。它的建造者是 15 世紀至 16 世紀統治了能登半島 169 年的畠山家（畠，音同「田」）。

七尾城史資料館位於城郭遺跡腳下，主要展示發掘自遺址地下的文物。資料館建築正面裝飾著畠山家的家紋——圓圈中劃著兩條水平直線。資料館有兩層，1 樓的大螢幕上播放著還原了 16 世紀七尾城風貌的電腦合成圖片，配有英文和日文解說。這段影像展現了橫跨數道山脊的城郭雄姿，足以讓遊客直觀了解七尾城的宏大規模。

館中有一幅描繪 1544 年七尾城城下町（圍繞城郭發展起來的市鎮）風貌的大尺寸示意圖，當時正值畠山家的鼎盛時期。這些基於考古發現復原的細緻圖解，讓遊客得以深入了解 16 世紀時普通市民的生活。資料館 2 樓展示的是 14 世紀至 16 世紀出品的陶瓷、漆器等工藝品。

七尾城史資料館開放時間を 9:00～17:00（週一休息）。

<日本語仮訳>

七尾城史資料館

七尾城は日本の優れた山城のひとつで、日本 100 名城にも選ばれています。1577 年に武将・上杉謙信（1530-1578）の軍勢の手に落ちるまで、占領される可能性はほとんどないと考えられていました。七尾城は、15 世紀から 16 世紀にかけて 169 年間能登半島を統治した畠山氏が築城したものです。

七尾城跡がある山の麓のこの資料館では、城跡の敷地から発掘されたものを展示しています。この建物の正面には、丸の中に水平な線が 2 本引かれた畠山家の家紋が飾られています。この資料館は 2 階建てで、1 階では大画面で 16 世紀の七尾城の姿を復元した CG 映像を上映しています。この映像は、英語と日本語の 2 か国語で視聴することが可能です。この映像を観れば、いくつもの尾根に跨るかのような、七尾城の壮大なスケールをより明確に理解することができます。

大型の絵の展示もありますが、これは畠山氏が最も隆盛を極めた 1544 年に、城下町（城郭を中心に形成された都市）の在りし日の姿を描いたものです。考古学的発見に基づいた詳細な描写のこの絵は、16 世紀の一般の町人の暮らしに対する知見を与えてくれます。この資料館の 2 階には、14 世紀から 16 世紀の焼物や漆器、工芸品などが展示されています。

七尾城史資料館は、午前 9 時から午後 5 時まで開館しています（休館日は月曜日）。

【タイトル】 懷古館

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**怀古馆**

通往七尾城遗址的小道入口就在城山脚下的广场上，那里有一座大型的传统建筑，其茅草屋顶上盖满了青苔。这是1820年为饭田家族建造的住宅，饭田是当时加贺藩（今石川县）的一名“肝煎”（村长）。

此处住宅被指定为国家物质文化财产，现在是对外开放的民俗博物馆“怀古馆”。这栋保存完好的19世纪富农宅邸，不仅完整保留了茅草覆盖的“入母屋造”（歇山顶）、用于烹饪和取暖的地炉“围炉里”等当年的建筑元素，还展示了饭田家族的家居用品和所藏艺术品。屋外环绕着一个占地广阔的景观庭园，园中有水井和布满青苔的观赏石。

来访者可以从泥地房间进入起居室。起居室里靠墙摆放着装饰性的屏风，中央的“围炉里”是一家人围聚吃饭消闲的场所，它上方的挂钩用于悬挂锅子。旁边一间屋子上方的格窗上雕刻着风景名胜，屋内供奉着家族佛龛。

住宅靠后面的房间曾用来款待客人，每间都可望见庭园。其中一间悬挂着一幅大尺寸画作，描绘了强势的大名领主上杉谦信(1530-1578)在1577年率军攻占七尾城本丸（城郭核心区）后，被部将们簇拥着作诗的场景。

怀古馆的开放时间为每天9:00~17:00（周一、冬季12月中旬~3月中旬闭馆）。

<繁体字>**懷古館**

通往七尾城遺址的小道入口就在城山腳下的廣場上，那裡有一座大型的傳統建築，它的茅草屋頂上蓋滿了青苔。這是1820年為飯田家建造的住宅，飯田是當時加賀藩（今石川縣）的一名「肝煎」（村長）。

這處住宅被指定為國家物質文化財產，現在是對外開放的民俗博物館「懷古館」。這棟保存完好的19世紀富農住宅，不僅完整保留了茅草覆蓋的「入母屋造」（歇山頂）和用於烹飪、取暖的地爐「圍爐裏」等當年的建築元素，還展示了飯田家的藝術品和家居用品。屋外環繞著一個占地廣闊的景觀庭園，園中有水井和布滿青苔的觀賞石。

遊客可以從泥地房間的入口進入起居室。起居室裡靠牆擺放著裝飾性的屏風，中央的「圍爐裏」是一家人圍聚吃飯消閒的場所，它上方的掛鉤則用於懸掛鍋子。相鄰一間屋子上方的格窗上雕刻著風景名勝，屋內供奉家族佛龕。

住宅靠後面的房間都可望見庭園，曾被用來款待客人。其中一間懸掛著一幅大尺寸畫作，描繪了強勢的大名領主上杉謙信（1530-1578）在 1577 年率軍攻佔七尾城本丸（城郭核心區域）後，被部將們簇擁著作詩的場面。

懷古館的開放時間為每天 9:00～17:00（週一、冬季 12 月中旬至 3 月中旬閉館）。

<日本語仮訳>

懷古館

七尾城跡への入口、城山の麓にある広場には、苔の生えたかやぶき屋根の大きな伝統的住宅が建っています。この住宅は 1820 年に飯田家のために建てられたものです。飯田家は加賀藩（現在の石川県）の肝煎（村役人・世話役）を務めていました。

この住宅は国登録有形文化財に指定されており、民俗博物館として公開されていますが、19 世紀の裕福な農家の住宅が見事な状態で保存されています。かやぶきの「入母屋造り」や炊事兼暖房用の炉「囲炉裏」といった、当時の建物の造りが残っており、飯田家が所有していた家財道具と美術品も展示。苔に覆われた庭石と井戸のある広い庭園が住宅を囲んでいます。

住宅では土間の入口から居間に入ることができます。居間の壁には、装飾的な屏風が並んでいます。中心には、家族が集まって食事をしたりくつろいだりする囲炉裏があり、その上には鍋を吊るすためのかぎが下げられています。隣の部屋には一家の仏壇が置かれており、欄間には有名な風景が彫られています。

住宅の裏側に面した部屋からは庭が見渡すことが可能です。これらの部屋は、正式なもてなし用の客間として使われていました。そこには、1577 年に七尾城を占領した有力大名・上杉謙信（1530-1578）を描いた大きな絵が飾られています。自軍が七尾城の本丸（城郭の最も主要な部分）を落とした後に、謙信が家臣に囲まれて座り、詩を作っている場面です。

懷古館は、毎日午前 9 時から午後 5 時まで開館しています（月曜および 12 月中旬から 3 月中旬までの冬季は閉館）。

【タイトル】七尾城山展望台

【想定媒体】WEB

<簡体字>**七尾城山观景台**

七尾市城山近山顶处有一座 2 层楼观景台，登临其上可俯瞰能登半岛风光。它的西面是七尾城遗址，北面是七尾湾和能登岛，东面是富山湾。位于观景台中央的七面基柱，分别对应当地七道山梁。这七道山梁也是“七尾”的名字来源。观景台的海拔高度为 380 米，在此眺望近旁的七尾城遗迹更觉气势磅礴。

2 楼的全景照片上标有远处主要地标的位置。环绕着中央基柱的日语标牌上记载着七尾城和自 15 世纪起统治能登半岛的畠山家族（畠，音同“田”）的故事。从城郭遗址的路口到观景台的小道旁，有关于七尾城和畠山家族的英文介绍。

观景台距七尾城遗址约 1.9 公里，中间由狭窄曲折的道路相连。观景台旁有带洗手间的停车场和一个春天可赏樱花的小公园。

七尾城遗迹入口和观景台均 24 小时免费开放。

<繁体字>**七尾城山觀景台**

七尾市城山近山頂處有一座 2 層樓觀景台，登臨其上可俯瞰能登半島風光。它的西面是七尾城遺址，北面是七尾灣和能登島，東面是富山灣。位於觀景台中央的基柱建有 7 面，每一面分別對應著七尾這個名字由來的七道山脊。觀景台海拔高度為 380 公尺，於此眺望近旁的七尾城遺跡更覺氣勢磅礴。

2 樓有一幅巨大的全景照片。環繞著中央基柱的日語標牌上記載著七尾城和自 15 世紀起統治能登半島的畠山家（畠，音同「田」）的故事。從城郭遺址的路口到觀景台的小道旁，則有對七尾城和畠山家的英文介紹。

觀景台距七尾城遺址約 1.9 公里，中間由狹窄曲折的小道相連。觀景台旁有帶洗手間的停車場和一個春天可賞櫻花的小公園。

七尾城遺跡入口和觀景台都是 24 小時免費開放。

<日本語仮訳>

七尾城山展望台

七尾市の城山の頂上近くにある 2 階建ての展望台からは、能登半島を一望することができます。西には七尾城跡、北には七尾湾と能登島、東には富山湾が望むことが可能です。中央の柱は、7 つの面で構成されています。それぞれの面は、七尾という名前の由来となった 7 つの尾根に面しています。この展望台は海拔 380 メートルで、近くの七尾城跡の雄大な風景を望むことが可能です。

2 階には大きな展望写真があります。遠くにある主なランドマークの位置が表示されています。中央にある柱の周りの日本語の表示には、七尾城と 15 世紀から能登半島を統治した畠山氏の物語が記されています。七尾城跡の入口から展望台へ続く道路沿いには、七尾城と畠山氏について英語で説明した表示があります。

この展望台は七尾城跡から狭く曲がりくねった道を通って約 1,900 メートルのところであり、展望台に隣接した小さな公園とお手洗いのある駐車場もあります。春には桜の花を楽しめます。

七尾城跡への入口と展望台は 24 時間開いており、無料で利用可能です。

【タイトル】花嫁のれん：家族の愛を体現する色鮮やかなシンボル

【想定媒体】WEB

<簡体字>

花嫁暖帘：来自娘家的爱

长久以来，能登半岛的新娘出嫁时，都要以绘染着吉祥图案的鲜艳门帘作为步入新生活的象征，这就是“花嫁暖帘”。直到20世纪中叶，相亲结婚还是此地的普遍现象，迎接新娘加入新家庭的简单婚礼通常也都在男方家举行，而新娘的母亲就要为这个仪式准备装饰性的花嫁暖帘。婚礼上，花嫁暖帘大多悬挂在新郎家举办仪式的佛堂和起居室之间。花嫁暖帘象征着娘家的爱，是新娘步入新生活的起点。

对幸福未来的希冀

在婚礼举办前，花嫁暖帘作为新娘嫁妆的一部分，与服饰、家具一起被送到男方家里。花嫁暖帘大多采用红、粉、蓝等喜庆的颜色，上面有各种吉祥图案，仙鹤象征长寿，鸳鸯象征恩爱，还有新娘家乡的代表性景物。暖帘的最上方有新娘家的家纹，这也是新娘最后一次使用自家家纹。

新娘的母亲总是满怀对女儿的疼爱来构思花嫁暖帘的图样。新娘步入佛堂正式嫁入夫家时，要从花嫁暖帘下穿过，这也是她第一次看到自己的花嫁暖帘。每位新娘的花嫁暖帘都独一无二，代表着母爱和对女儿幸福未来的希冀。婚礼后，花嫁暖帘还会挂上几天，供前来新郎家贺喜的客人欣赏。此后就被小心收入抽屉，不复使用。

这一传统始于江户时代(1603-1867)晚期，直到20世纪中期还在能登、加贺、越中（今石川县和富山县）地区广泛流行。花嫁暖帘一般采用棉布，有的也使用昂贵的丝绢，上面用加贺友禅工艺绘染出精细复杂的图样。加贺友禅是17世纪在加贺地区兴起的一种利用防染剂染色的工艺，工序繁多，对技术要求很高，需要手工画出精细的线条和浓淡效果，所以有些花嫁暖帘的制作周期长达6个月。

新生活的起点

婚礼开始前，先要在新郎家门口举行仪式，纪念新娘即将成为新家庭的永久成员。新娘先把取自两家的水混入瓷杯中喝下去，然后打碎杯子，象征舍弃从前的生活。新娘参加仪式所穿的“白无垢”婚服，同样象征崭新人生的开始。

穿过绘染着娘家家纹和故乡风物的花嫁暖帘，新娘就彻底告别了昨日人生。婚礼正式开始前，新娘还要走到佛龕前，向新家庭的祖先介绍自己。

花婿暖帘

花嫁暖帘都是为新娘准备的，但入赘的新郎也会拥有自己的花婿暖帘。为了延续家族血脉，只有女儿的家庭会招一位随妻姓的上门女婿。花婿暖帘的颜色偏向冷色系，装饰也多采用显示男子汉气概的图样，如象征强大和力量的雄鹰，寓意奋发图强的鲤鱼，以及代表长寿稳固的松树。

流行图样的变化

花嫁暖帘的图样构思一方面会顺从新娘的喜好，一方面也会受到时代潮流的影响。江戸时代晚期和明治时代(1868-1912)的花嫁暖帘大多采用棉布绘染，图样主题以长寿和幸运为主，因此龟与鹤十分常见。

20 世纪至今，花嫁暖帘更趋精美。面料从棉布变成丝绢，运用加贺友禅工艺可以绘染出精细复杂的图案，以及四季花卉、风景名胜等具有当代风格的主题。1945 年后，由于化工印染技术可以染出更鲜艳的色彩，明快艳丽的花嫁暖帘逐渐成为主流。

衰退艺术的复兴

20 世纪 70 年代以来，婚礼形式逐渐从家庭仪式演变成在酒店里精心安排的舞台婚礼。由于大批女性加入就业人口的行列并获得经济独立，传统婚礼强调的“从娘家到婆家的转变”也因此变得没那么重要。花嫁暖帘的流行度大幅降低，嫁女儿的人家也不再制作使用。但近年来，人们又重燃对花嫁暖帘的兴趣。2004 年，七尾市一本杉购物街上的商户们开始在 5 月黄金周假期里展示他们的家藏花嫁暖帘。2016 年，一家花嫁暖帘馆在购物街附近开业，全年展示花嫁暖帘。此外，2015 年 JR 西日本还企划了“祝愿女性幸福的列车”，在金泽和能登之间运行“特急花嫁暖帘号”。能登半岛上的一些家庭依然使用花嫁暖帘来致敬传统，但不再带有原本决然切断新娘与娘家纽带这层含义。

<繁体字>

花嫁暖簾：來自娘家的愛

長久以來，能登半島的新娘出嫁時，都以繪染著吉祥圖案的鮮豔門簾作為步入新生活的象徵，這就是「花嫁暖簾」。直到 20 世紀中葉，相親結婚還是此地的普遍現象，迎接新娘加入新家庭的簡單婚禮通常在男方家舉行，而新娘的母親就要為這個儀式準備裝飾性的花嫁暖簾。婚禮上，花嫁暖簾大多懸掛在新郎家舉辦儀式的佛堂和起居室之間。花嫁暖簾象徵著娘家的愛，是新娘開啟新生活的起點。

對幸福未來的希冀

在婚禮舉辦前，花嫁暖簾作為新娘嫁妝的一部分，與服飾、傢俱一起被送到男方家裡。花嫁暖簾大多採用紅、粉、藍等喜慶的顏色，上面有各種吉祥圖案，仙鶴象徵長壽，鴛鴦

象徵恩愛，還有新娘家鄉的代表性景物。暖簾的最上方有新娘家的家紋，這也是新娘最後一次使用自家家紋。

新娘的母親總是滿懷對女兒的寵愛來構思花嫁暖簾的圖樣。新娘步入佛堂正式嫁入夫家時，要從花嫁暖簾下穿過，這也是她第一次看到自己的花嫁暖簾。每位新娘的花嫁暖簾都獨一無二，代表著母愛和對女兒幸福未來的希冀。婚禮後，花嫁暖簾還會掛上幾天，供前來新郎家賀喜的客人欣賞。此後就被小心收入抽屜，不再使用。

這一傳統始於江戶時代（1603-1867）晚期，直到 20 世紀中期還在能登、加賀、越中（今石川縣和富山縣）地區廣泛流行。花嫁暖簾一般採用棉布，有的也使用昂貴的絲絹，上面用加賀友禪工藝繪染出精細複雜的圖樣。加賀友禪是 17 世紀在加賀地區興起的一種利用防染劑染色的工藝，工序繁多，對技術要求很高，需要手工繪出精細的線條和濃淡效果，所以有的花嫁暖簾的製作週期長達 6 個月。

新生活的起點

婚禮開始前，要先在新郎家門口舉行儀式，紀念新娘即將成為新家庭的永久成員。新娘先把取自兩家的水混入瓷杯中喝下去，然後打碎杯子，象徵捨棄了從前的生活。新娘參加儀式所穿的「白無垢」婚禮服，同樣象徵嶄新人生的開始。

穿過繪染著娘家家紋和故鄉風物的花嫁暖簾，新娘就徹底告別了昨日人生。婚禮正式開始前，新娘還要走到佛龕前，向新家庭的祖先介紹自己。

花婿暖簾

花嫁暖簾都是為新娘準備的，但入贅的新郎也會擁有自己的花婿暖簾。為了延續家族血脈，只有女兒的家庭會招一位隨妻姓的上門女婿。花婿暖簾的顏色偏向冷色系，裝飾也多採用顯示男子漢氣概的圖樣，如象徵強大和力量的雄鷹，寓意奮發圖強的鯉魚，以及代表長壽穩固的松樹。

圖樣的變化

花嫁暖簾的圖樣構思一方面會順從新娘的喜好，一方面也會受到時代潮流的影響。江戶時代晚期和明治時代（1868-1912）的花嫁暖簾大多採用棉布繪染，圖樣主題以長壽和幸運為主，因此龜與鶴十分常見。

20 世紀至今，花嫁暖簾更趨精美。面料從棉布變成絲絹，運用加賀友禪工藝可以繪染出精細複雜的圖樣，四季花卉、風景名勝等當代偏好的題材也出現在花嫁暖簾上。1945 年後，由於化工印染技術可以染出更鮮豔的色彩，明快豔麗的花嫁暖簾逐漸成為主流。

衰退藝術的復興

1970 年代以來，婚禮形式逐漸從家庭儀式演變成在酒店裡精心安排的舞臺婚禮。由於大批女性投入就業市場並實現經濟獨立，傳統婚禮強調的「從娘家到婆家的轉變」也因此變得沒那麼重要。花嫁暖簾的流行度大幅降低，嫁女兒的人家也不再製作使用。但近年來，人們又重燃對花嫁暖簾的興趣。2004 年，七尾市一本杉購物街上的商戶們開始在 5 月黃金

週假期裡展示他們的家藏花嫁暖簾。2016年，一家花嫁暖簾館在購物街附近開業，全年展示花嫁暖簾。此外，2015年JR西日本還企劃了「祈願女性幸福的列車」，在金澤和能登之間開始運營「特急花嫁暖簾號」。能登半島上的一些家庭繼續使用花嫁暖簾來致敬傳統，但不再有原本決然切斷新娘與娘家紐帶的意味。

<日本語仮訳>

花嫁のれん：家族の愛を体現する色鮮やかなシンボル

能登半島では、長い間、縁起の良い題材が描かれた色鮮やかなのれんが、花嫁が新たな生活を迎えることを象徴してきました。20世紀半ばまでは、見合い結婚が一般的でした。結婚式は通常、花嫁を新しい家庭に迎えるためのささやかな儀式であり、花婿の家で行われていました。花嫁の母親は、この儀式のために装飾的な「花嫁のれん」を準備したのです。花嫁のれんは、結婚式のために花婿の家に吊るされました。吊るす場所は、結婚式が行われる仏間と居間のあいだが一般的でした。花嫁のれんは、花嫁の家族の愛情を象徴するものであり、花嫁の新生活への入口だったのです。

幸せな未来への希望

花嫁のれんは、結婚式前に花婿の実家に届けられる嫁入り道具（衣類や家具）の一つとして作られました。その多くには、赤・桃・青といったお祝いの色と、長寿を表す鶴や幸せな結婚を象徴するオシロリのつがいなど縁起の良い題材が描かれ、花嫁の故郷の景色なども絵柄として使われました。花嫁のれんの上部には花嫁の実家の家紋が配され、その家紋を使う最後の機会となります。

花嫁の母親が、娘のことを思いながら花嫁のれんのデザインを考えました。花嫁は、夫の家族に正式に加わるために仏間に歩み入る際に花嫁のれんをくぐりますが、花嫁が花嫁のれんを初めて見るのはこの時となります。この花嫁のれんは唯一無二のものであり、母親の愛と娘の今後の幸せを願う気持ちを体現したものでした。結婚式後の数日間花婿の家を訪れる人に見えるように吊るされ、それから丁寧に引き出しにしまわれて二度と使われることはありませんでした。

この伝統は、江戸時代（1603-1867）末期に始まり、20世紀半ばまで能登・加賀・越中（現在の石川県と富山県）で広く行われていました。花嫁のれんは綿から作られるのが一般的でしたが、最も豪華なものは絹でできており、加賀友禅を用いた複雑な題材が描かれていました。加賀友禅とは、17世紀にこの地域で発達した、防染剤を用いる染色技法です。加賀友禅による染色工程には多数の段階があり、手作業で繊細な線画を描き濃淡の効果を出すなど、高度な技術を必要とします。その制作には、最大6か月を要することもありました。

新しい生活への入口をくぐる

花嫁が永遠に新しい家族の一員となる証として、結婚式前に花婿の実家の玄関で行われる儀式がありました。花嫁は、2つの家族の水を混ぜてそれを陶磁器の盃から飲みます。その後、古い生活を離れることを示す行為として、花嫁がこの盃を投げつけて割ります。この儀式のために、花嫁は結婚式用の着物である「白無垢」を着ました。これも新しい人生を始めることの象徴です。

花嫁は、実家の家紋と自分の故郷からとった題材を描いた花嫁のれんをくぐることで、古い生活を離れたのです。それから、結婚式が始まる前に仏壇に近づいて新しい家族の先祖に自己紹介をしたでしょう。

花婿のためののれん

ほとんどののれんは花嫁のためのものでしたが、男性が妻の家族の養子になる場合は、「花婿のれん」が作られました。娘しかない家では、その家系を存続させるため、娘の婿が娘の苗字になることがありました。花婿のための模様は、寒色と男性的な題材を用いる傾向があり、強さと力を表す勇猛な鷹、障害を乗り越える象徴である鯉、長寿と堅固さを表す松の木などが描かれます。

模様の流行の変化

花嫁のれんの模様は花嫁の好みに左右されますが、同時にその時代の流行も反映します。江戸時代末期と明治時代（1868-1912）の花嫁のれんは、綿素材に長寿と幸運を願う絵柄を染め付けるのが一般的で、亀と鶴が人気でした。

20世紀から現在までに、花嫁のれんはより手の込んだものになりました。生地は綿から絹に変わり、季節の花々や有名な風景など、現代的な魅力を持つ複雑な模様や絵柄を描くため、加賀友禅の染色方法が用いられました。1945年以降は化学染料が使われるようになり、より鮮やかな色を出せるようになったため、明るい色使いのものが一般的になったのです。

衰退した芸術の復活

1970年代以降、結婚式は家で行われる個人の儀式から、ホテルで行われる手の込んだ催しに変化。より多くの女性が外で働くようになって経済的に自立したことから、花嫁が実家から嫁ぎ先の家に入ることの重みは失われました。花嫁のれんの人気は薄れ、各家庭では娘が結婚して家を離れる際に花嫁のれんを作ることをやめていったのです。近年になり、花嫁のれんに対する関心が再び高まってきました。2004年に、七尾市の一本杉通り商店街の店主たちが、毎年5月のゴールデンウィーク期間中に自分の家の花嫁のれんを展示するようになったのです。2016年には、花嫁のれんを1年中展示するために、商店街のすぐ近くに「花嫁のれん館」を開館。また、2015年に、「女性の幸せを願う列車」として、JR西日本が金沢と能登を結ぶ「特急花嫁のれん」の運行を開始しました。花嫁が家族との絆を永遠に断ち切るという本来の意味は失われましたが、能登半島の一部の家庭では古くから伝わる伝統を尊重して花嫁のれんが使われ続けています。

【タイトル】 揚げ浜式の塩作り

【想定媒体】 VR、AR

<簡体字>

扬滨制盐法

珠洲盐田村的一天早早就开始了，因为盐工们必须用木桶去附近的海岸打海水。

盐工将盛满海水的木桶运到沙田后，把海水倒入巨大的“引桶”中。

盐工先将海水装入两个“换桶”内，再把桶挂在一根桐木的圆棍两头，搬运到沙田倒入引桶。一只换桶大约可盛 36 升海水，而引桶的容量是 800 升，盐工需要往返 10 多趟才能灌满引桶。

盐工用容量较小的“打桶”从“引桶”舀水，将海水洒到沙田上。“打桶”是圆锥形的，有助于泼洒均匀。

洒完水，再用耙子平整沙田，然后等待盐晶蒸发而出。耙地可以扩大沙田的日照面积，加快自然蒸发速度。扬滨制盐法极度依赖太阳。

海水完全蒸发形成盐晶大约需要 8 小时。盐晶出现后，将含盐粒的沙子扫成一堆，置于盐场中央。

将盐和沙的混合物铲进一个叫“沼井”的木箱，准备过滤。这道工序需要更多海水，盐工又一次返回到海边。

盐工将新打来的海水倒入沼井中的含盐沙中，化开盐晶。溶化的盐从沙中滤出，高浓度的盐水就蓄在木箱底部。

收集完浓盐水之后，滤过盐水的沙子又被运回盐场。

盐工将浓盐水倒入一口容量约为 600 升的大铁锅中，然后连续煮 6 小时左右，直到水中含盐量达到 24%。

日落时，盐工开始养护盐场，平整沙地，为明天的工作做准备。

入夜，还在沸腾中的浓盐水需要细心照看，同时还要过滤几次以清除杂质。

煮盐水的茅草顶小屋称为“釜屋”，里面烟雾弥漫、闷热难当，需要有人通宵照看。

煮好的浓盐水经冷却后过滤，然后再煮再过滤，重复两次以提高含盐量。待浓盐水表面结成盐花后，舀出并滤干水分，最后把干燥盐晶包装好以供出售。

日本的扬滨制盐法已有 1200 多年历史。这种古老的制盐工艺在珠洲市延续至今，工序步骤基本未变。

<繁体字>

揚濱製鹽法

珠洲鹽田村的一天早早就開始了，因為鹽工們必須用木桶去附近的海岸打海水。

鹽工將盛滿海水的木桶運到沙田，把海水倒入巨大的「引桶」中。

鹽工先把海水裝入兩個「換桶」內，再把桶掛在一根桐木的圓棍兩頭，然後搬運到沙田倒入引桶。一個「換桶」大約可盛 36 公升海水，而引桶的容量是 800 公升，鹽工需要往返 10 多趟才能灌滿引桶。

鹽工用容量較小的「打桶」從「引桶」舀水，將海水灑到沙田上。「打桶」是圓錐形的，有助於潑灑均勻。

灑完水，再用耙子平整沙田，然後等待鹽晶蒸發而出。耙地可以擴大沙田的日照面積，加快自然蒸發速度。揚濱製鹽法極度依賴太陽。

海水完全蒸發形成鹽晶大約需要 8 小時。鹽晶出現後，將含鹽粒的沙子掃成一堆，置於鹽場中央。

將鹽和沙的混合物鏟進一個叫「沼井」的木箱，準備過濾。這道工序需要更多海水，鹽工又一次返回到海邊。

鹽工將新打來的海水倒入「沼井」中的含鹽沙中，化開鹽晶。溶化的鹽從沙中濾出，高濃度的鹽水就蓄在木箱底部。

收集完濃鹽水之後，濾過鹽水的沙子又被運回鹽場。

鹽工將濃鹽水倒入一口容量約為 600 公升的大鐵鍋中，然後連續煮 6 小時左右，直到水中含鹽量達到 24%。

日落時，鹽工開始養護鹽場，平整沙地，為明天的工作做準備。

入夜，還在沸騰中的濃鹽水需要細心照看，同時還要過濾幾次以清除雜質。

煮鹽水的茅草頂小屋稱為「釜屋」，裡面煙霧瀰漫，悶熱難當，需要有人通宵照看。

煮好的濃鹽水經冷卻後過濾，然後再煮再過濾，重複兩次以提高含鹽量。待濃鹽水表面結成鹽花後，舀出並濾乾水分，最後把乾燥鹽晶包裝好以供出售。

日本的揚濱製鹽法已有 1200 多年歷史。這種古老的製鹽工藝在珠洲市延續至今，工序步驟基本未變。

<日本語仮訳>

揚げ浜式の塩作り

揚げ浜塩田の 1 日は、海の水を汲み上げることから始まります。

「すず塩田村」の塩田の 1 日は、早朝から始まります。近くの沿岸から、木の桶で海水を集める必要があるからです。

砂を踏み締め何度も何度も海の水を運びます。

働き手たちは、海水を入れた桶を、砂で覆われた塩田にある「引桶（しこけ）」と呼ばれる大きな桶まで運びます。

そして、引桶（しこけ）と呼ばれる桶に海水を貯めていくのです。

かえ桶（かえおけ）と呼ばれる海水を入れる桶を 2 つと担い棒（にないぼう）と呼ばれる、かえ桶を担ぐ際に使う桐の丸い棒を組み合わせ、海水を運びます。それぞれの桶には、約 36 リットルの海水が入ります。「引桶」には 800 リットルの海水を入れることができるため、「引桶」を満たすには 10 回以上海水を汲んでくる必要があります。

集めた海水を砂の上に撒きます。

「引桶」からより小さな「打桶」（おちよけ）で水を汲みます。「打桶」は円錐形で、砂の上に水を均等に撒きやすくなっています。

太陽の熱で水分が蒸発し、砂の上には塩分が残ります。

水をすべて撒き終わった後、砂を熊手のようなものでならし、蒸発によって塩の結晶ができるまで放置します。砂をならすことでその表面積を増やし、自然に蒸発する過程を速めます。「揚げ浜」での塩作りには、太陽が欠かせません。

その塩分をたつぷりと含んだ砂を一箇所に集めます。

水分が完全に蒸発し、塩の結晶ができるまでには、約 8 時間かかります。その後、塩を含んだ砂を、塩田の中央に集めて積み上げます。

集めた砂は、沼井（ぬい）と呼ばれる容器に入れ、再び海水を汲みに海へ向かいます。

その後、塩と砂が混ざったものを「沼井（ぬい）」と呼ばれる木の箱にすくい入れて濾過します。この工程にはさらに海水が必要なため、働き手たちは再び海へと向かいます。

沼井（ぬい）の砂に海水を注ぎ塩を溶かします。

新しく集めた海水を、箱の中の塩を含んだ砂の上に注ぎ、塩を溶かします。溶けた塩は砂の間からしみ出し、箱の底にあるため池に濃い塩水が集まります。

こうして海水よりも何倍も濃い塩水、かん水ができるのです。

この濃い塩水を集めた後、砂を塩田に戻します。

そしてかん水を火にかけ、何時間もかけて煮詰めます。

塩水を鋳鉄製の大きな釜に移します。釜の容量は約 600 リットルです。この塩水を、塩分濃度 24 パーセント近くに達するまで約 6 時間煮詰めます。

夕暮れ、塩田では明日に向けて塩作りの準備が始まります。

日没時、塩田を手入れし、翌日の作業に備えて砂をならします。

かん水は何度が濾過して不純物を取り除き、また火にかけます。

夜間は、沸かしている塩水を注意深く見守り、不純物を取り除くために何度も濾過します。

こうした作業が夜を徹して続けられます。

「釜屋」という茅葺の小屋の中で塩水を沸かすのは暑く煙が出る作業で、一晩中見張っていなければなりません。

夜明け、ようやく塩が出来上がりました。

この塩水を冷まして濾過します。その後、塩分濃度をさらに高めるために、2 回目かつ最後の塩水の沸騰を行います。この塩水の表面に塩の結晶が開きます。それをすくい出し、残った水分をすべて抜きます。乾燥させた塩の結晶を、販売するために仕分けて包装します。

揚げ浜式塩田による塩作りは奈良時代から 1,200 年以上の歴史を経て、今も変わりなくこの珠洲市に残されているのです。

日本では、1,200 年以上にわたってこの方法で塩が作られてきました。珠洲市では、古式ゆかしい揚げ浜式の塩作りが、ほぼ変わることなく今も続けられています。

【タイトル】 ずず塩田村

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**珠洲盐田村**

在珠洲盐场，可以体验传统的“扬滨制盐法”。至少从 1596 年开始，能登半岛就采用这种工艺来制盐了。现在，珠州市仁江海岸是日本唯一仍在沿用约 500 年前的方式制盐的地区。

在盐场，来访者可以参观盐工们用扬滨制盐法制盐的过程。这项工作极其耗费人力，先要将海水泼洒在沙田上，依靠阳光蒸发。等待盐结晶出现后，将其铲起，再次加入海水。然后，过滤海水去除沙土，将得到的浓盐水倒进大铁锅内煮沸，直到水面出现一层厚厚的盐壳。

用此法可将 600 升海水制成 120 公斤盐，但需要不分昼夜劳作好几天。来访者可以提前预约，花上 2 小时体验简化的制盐流程：将海水从崎岖的海岸送至盐场，往沙田上泼洒海水，然后通过煮盐水得到一小把亲手制作的海盐。所得海盐可带走留念。

盐场旁的博物馆通过附带英文说明的立体布景和示意图介绍制盐的历史，以及日本自古以来采用的几种制盐法的差异，另外还有短片形象地展示扬滨制盐法的关键步骤。来访者可以在馆内的店铺里购买盐场产的盐，以及各种盐渍海鲜、甜点、清酒和珠洲特产的陶器等当地工艺品。馆内提供地图和当地节庆活动资讯，休息区还可眺望海景。

<繁体字>**珠洲鹽田村**

在珠洲鹽場，可以體驗傳統的「揚濱製鹽法」。至少從 1596 年開始，能登半島就採用這種工藝來製鹽了。現在，珠州市仁江海岸是日本唯一仍在沿用約 500 年前的方式製鹽的地區。

在鹽場，遊客可以參觀鹽工們用揚濱製鹽法製鹽的過程。這項工作極其耗費人力，先要將海水潑灑在沙田上，然後依靠陽光蒸發，等鹽結晶出現後，將含鹽沙鏟起，再次加入海水，過濾去除沙，得到濃鹽水，再將濃鹽水倒進大鐵鍋內煮沸，直到水面出現一層厚厚的鹽殼。

用此法可將 600 公升海水製成 120 公斤鹽，但需要不分晝夜勞作好幾天。遊客可以提前預約，花上 2 小時體驗簡化的製鹽流程：將海水從崎嶇的海岸送至鹽場，往沙田上灑海水，以及煮鹽水後得到一小把親手製作的海鹽帶回家。

鹽場旁的博物館透過有英文說明的立體布景和示意圖講述製鹽的歷史，分別介紹日本自古以來採用的幾種製鹽法的差異，另外還有短片展示揚濱製鹽法的關鍵步驟。遊客可以在館內的店鋪裡購買鹽場產的鹽，以及各種鹽漬海鮮、甜點、清酒和珠洲特產的陶器等當地工藝品。館內提供地圖和當地節慶活動資訊，休息區還可眺望海景。

<日本語仮訳>

すず塩田村

珠洲の塩田で、伝統的な「揚げ浜」式の塩作りを体験しましょう。「揚げ浜」は、能登半島では少なくとも 1596 年から行われてきた製塩法です。現在、約 500 年前と同じ方法を受け継いでいるのは、珠洲市の仁江海岸だけです。

塩田では、揚げ浜式の塩作りを実際に行っているところを見学できます。この手間のかかる製法では、海水を砂地に撒き、日光にさらして蒸発させます。できた塩の結晶をすくい上げて、さらに海水と混ぜ合わせます。それを濾過すると、砂が取り除かれ、濃い塩水ができます。この塩水を、鑄鉄製の大きな釜で、塩の結晶の厚い層ができるまで煮詰めます。

塩を 120 キログラム作るには、海水 600 リットルと、数日にわたる昼夜を徹した作業が必要です。事前予約をすると、簡略化したこの工程を 2 時間で体験することが可能です。この体験には、岩の多い海岸から海水を塩田に運び、海水を砂の上に撒き、塩水を沸かして塩を少量作る作業が含まれています。作った塩は持ち帰れます。

隣接する資料館では、英語表記のあるジオラマと絵が塩作りの歴史を物語り、古代から日本で使われてきたさまざまな方法を紹介しています。また、揚げ浜での塩作りの重要な手順を映像で紹介しています。館内のショップでは、塩田で作られた塩に加えて、塩漬けの海産物、お菓子、酒、および地元の工芸品（珠洲焼など）を購入することが可能です。地図、地元のお祭りに関する情報、さらに座って海を眺められる場所もあります。

【タイトル】日本における塩作りの歴史

【想定媒体】WEB

<簡体字>

日本的制盐史

数千年来，盐都被当作调味料和防腐剂使用，它缓解了人们对应季食材的依赖度，并使食物的长途运输成为可能。食盐分岩盐和海盐，分别来自盐矿（氯化钠矿物盐）或海水。有的国家有大型地下盐矿资源，有的国家则有盐湖。盐湖是曾经与海洋相连的内陆水域，因大部分水体已经蒸发，湖面上便留下了厚厚的盐层。

藻盐烧

日本四面环海，海洋是仅有的盐资源。食盐中的氯化钠含量接近 40%，但海水中只有 3.5%，因此，生产一小撮盐就需要耗费大量海水。2000 多年前，日本的主要制盐方法是“藻盐烧”，即干燥海藻，等到藻叶表面出现盐结晶后，收集盐晶，再兑入海水，制成浓盐水，最后倒入陶锅煮沸才得到盐。藻盐烧也是 8 世纪前日本普遍采用的制盐法。

扬滨制盐法

能登半岛地区至今仍在使用“扬滨制盐法”制盐，这一方法大约出现在 13 世纪。人们将从海边运来的海水洒到沙田上，等水自然蒸发结成盐晶，然后再加海水过滤制成浓盐水，煮沸至表面结成厚厚的盐壳。这一过程极其依赖阳光来蒸发海水，因此只能在晴天进行。

入滨制盐法

在海面潮汐落差显著的地区，人们将盐场修在海边，并留有水渠引潮水冲入盐场，这就是“入滨制盐法”。这种制盐法在江户时代(1603-1867)广泛采用，至今仍可在日本西部的濑户内海地区见到。这一过程同样极其依赖阳光来蒸发海水，因此也只能在晴天进行。

电渗析法

进入 21 世纪后，为减少人力和对阳光的依赖，人们尝试了各种蒸发工艺。如今最为普遍的是“离子交换膜电渗析制盐法”，用电从海水中分离出氯化钠颗粒，获得高浓度盐水。将盐水蒸发获取盐后，再将剩余的海水送回海里。

<繁体字>

日本的製鹽史

數千年來，鹽都被當作調味料和防腐劑使用，它緩解了人們對當季食材的依賴度，並使得長途運輸食物成為可能。食鹽分岩鹽和海鹽，分別來自鹽礦（氯化鈉礦物鹽）或海水。有的國家有大型地下鹽礦資源，有的國家則有鹽湖。鹽湖是曾經與海洋相連的內陸水域，因大部分水體已經蒸發，湖面上便留下了厚厚的鹽層。

藻鹽燒

日本四面環海，海洋是僅有的鹽資源。食鹽的氯化鈉含量接近 40%，海水中的卻只有 3.5%。生產一小撮鹽就需要耗費大量海水。2000 多年前，日本的主要製鹽方法是「藻鹽燒」，即乾燥海藻，等到藻葉表面出現鹽結晶後，收集鹽晶，再兌入海水，製成濃鹽水，最後倒入陶鍋煮沸才得到鹽。藻鹽燒也是 8 世紀前日本普遍採用的製鹽法。

揚濱製鹽法

能登半島地區至今仍在使用「揚濱製鹽法」製鹽，這一方法大約出現在 13 世紀。人們將從海邊運來的海水灑到沙田上，等水自然蒸發結成鹽晶，然後再加海水過濾製成濃鹽水，煮沸至表面結成厚厚的鹽殼。這一過程極其依賴陽光來蒸發海水，因此只能在晴天進行。

入濱製鹽法

在海面潮位差顯著的地區，人們將鹽場修在海邊，並留有水道引潮水沖入鹽場，這就是「入濱製鹽法」。這種製鹽法在江戶時代（1603-1867）廣泛採用，至今仍可在日本西部的瀨戶內海地區見到。這一過程同樣極其依賴陽光來蒸發海水，因此也只能在晴天進行。

電滲析法

進入 21 世紀後，為減少人力和對陽光的依賴，人們嘗試了各種蒸發工藝。如今最為普遍的是「離子交換膜電滲析法」，用電從海水中分離出氯化鈉顆粒，獲得高濃度鹽水。將鹽水蒸發獲取鹽後，再將剩餘的海水送回海裡。

<日本語仮訳>

日本における塩作りの歴史

塩は、数千年にわたって調味料・保存料として使われ、季節に左右されない食材の確保や、長距離輸送を可能にしてきました。塩の原料は、岩塩（塩化ナトリウム鉱物岩塩）または海水です。地下に岩塩の大きな鉱床がある国もあれば、塩湖がある国もあります。塩湖とは、かつては海につながっていた水域が陸地に囲まれるようになり、その大部分が蒸発して、湖面に塩の堆積物が残された湖です。

藻塩焼

日本は四方を海に囲まれているため、塩の供給源は海のみです。食卓塩は、40 パーセント近くが塩化ナトリウムですが、海水中の塩化ナトリウムの濃度は、わずか 3.5 パーセントです。少量の塩を作

るのにも、大量の海水が必要です。2,000 年以上前、日本での塩作りの主な方法は、「藻塩焼」でした。海藻を、表面に塩の結晶ができるまで乾燥させます。この塩の結晶を集め、さらに海水に溶かして濃い塩水を作り、この塩水を土器で煮詰めました。この方法は、8 世紀まで一般的でした。

揚げ浜

能登半島で今なお行われている「揚げ浜」式製塩は、13 世紀ころに始まりました。海水を運び、砂地に撒いて、蒸発させます。できた塩の結晶を海水に溶かして、濃い塩水を作ります。これを、塩の厚い層が塩水の表面にできるまで煮詰めます。この製法では太陽光で海水を蒸発させるため、製塩は晴れの日に限られます。

入り浜

潮の干満差が充分ある地域では、塩田は海の近くに作られ、潮水を引き入れられる水路がありました。この方法は「入り浜」と呼ばれ、江戸時代（1603-1867）に一般的になりました。現在も、西日本の瀬戸内海周辺で行われています。この製法では太陽光で海水を蒸発させるため、製塩は晴れの日に限られます。

電気透析

21 世紀になり、肉体労働や太陽光への依存を減らすため、様々な蒸発方法が試みられています。現在、最も一般的な方法は、「イオン交換膜電気透析」です。この方法は、電気を使って、塩化ナトリウム粒子を海水から分離し、濃い塩水を作るというものです。この濃い塩水を蒸発させて塩を集め、残った海水は海に戻します。

【タイトル】 珠洲焼資料館

【想定媒体】 看板

<簡体字>**珠洲烧资料馆**

“珠洲烧”指在能登半岛岬角地带出产的素烧陶器。独特的烧制工艺赋予了它独特的暗灰色泽。12 世纪中期至 15 世纪后期，珠洲一直是陶器产地，但之后这一传统工艺彻底失去了踪迹。

古老的工艺及其影响

珠洲烧陶器采用当地富含铁元素的黏土条制作。将黏土条拍打均匀，再塑成想要的形状，然后用超过 1200°C 的高温烧制出成品。高温使得柴灰附着在陶胚表面，生成如釉一般的细腻光泽。

这一技法源自 5 世纪时传入日本的朝鲜半岛“须惠器”工艺。早期珠洲烧的器形和装饰风格深受濑户和常滑地区（今爱知县）影响，这两处是 12 世纪时日本最大的陶器产地。

便利的贸易线

陶器质重且易碎，因此船运曾是最方便适宜的运输方式。能登半岛地处北海道和福井县之间的日本海贸易线上，至 14 世纪中期，珠洲烧的行销范围已覆盖日本四分之一的国土。

骤然消亡

15 世纪后半叶，珠洲烧产业一蹶不振，生产难以为继。造成这一变化的具体缘由不明，有可能是因越前（福井县）、常滑（爱知县）和备前（冈山县）等其它产区陶器产量和销量的猛增而导致。

珠洲烧再发现

在一个 1951 年发现的骨灰坛出土前，珠洲所产的这种独特陶器几乎已被人遗忘。经过继续发掘，在珠洲附近共发现了 40 处窑址。1972 年，陶艺家小野寺玄(1934-2016)开始尝试用珠洲的黏土复原传统的珠洲烧制作工艺。目前能登半岛上已有约 40 家珠洲烧制陶作坊。

资料馆展示了出品于 12 世纪至 15 世纪的珠洲烧陶器，同时也收藏了当代作品。

<繁体字>

珠洲燒資料館

「珠洲燒」指在能登半島岬角地帶出產的素燒陶器。獨特的燒製工藝賦予了它獨特的暗灰色澤。12 世紀中期至 15 世紀後期，珠洲一直是陶器產地，但之後這一傳統工藝徹底失去了蹤跡。

古老的工藝與影響

珠洲燒陶器採用當地富含鐵元素的黏土條製作。將黏土條拍打均勻，再塑成想要的形狀，然後用超過 1200°C 的高溫燒製出成品。高溫使得柴灰附著在陶胚表面，生成如釉一般的細膩光澤。

這一技法源自 5 世紀時傳入日本的朝鮮半島「須惠器」工藝。早期珠洲燒的器形和裝飾風格深受瀨戶和常滑地區（今愛知縣）影響，這兩處是 12 世紀時日本最大的陶器產地。

便利的貿易線

陶器質重且易碎，因此船運曾是最方便適宜的運輸方式。能登半島地處北海道和福井縣之間的日本海貿易線上，至 14 世紀中期，珠洲燒的銷售範圍已覆蓋日本四分之一的國土。

驟然消亡

15 世紀後半葉，珠洲燒產業一蹶不振，生產難以為繼。造成這一變化的具體緣由不明，有可能是因越前（福井縣）、常滑（愛知縣）和備前（岡山縣）等其它產區陶器產量和銷量的猛增而導致。

珠洲燒再發現

在一個 1951 年發現的骨灰壇出土前，珠洲所產的這種獨特陶器幾乎已被人遺忘。經過繼續發掘，在珠洲附近共發現了 40 處窯址。1972 年，陶藝家小野寺玄（1934-2016）開始嘗試用珠洲的黏土復原傳統的珠洲燒製作工藝。目前能登半島上已有約 40 家珠洲燒製陶作坊。

資料館展示了出品於 12 世紀至 15 世紀的珠洲燒陶器，同時亦收藏了當代作品。

<日本語仮訳>

珠洲燒資料館

珠洲燒は、能登半島の先端で作られる無釉の焼き物です。独特な暗い灰色をしており、これは焼き方に由来します。珠洲では、12 世紀半ばから 15 世紀末まで焼物が作られていましたが、その後、完全に姿を消してしまいました。

古来の技法と影響

珠洲焼の器は、鉄分の豊富な地元産の粘土をひも状に巻いて作ります。それを叩いてならし、望む形にします。1,200℃以上の高温で焼くことで、木の灰が粘土の表面に付着し、釉薬のような繊細な光沢が生まれます。

この技法は、5 世紀に日本に伝来した朝鮮半島の須恵器に由来しています。初期の珠洲焼の形と装飾様式は、現在の愛知県にある瀬戸や常滑で作られた焼物から影響を受けていました。瀬戸と常滑は、12 世紀の日本有数の焼物の産地でした。

便利な交易路

重くて壊れやすい陶磁器を流通させるには、船で運ぶのが最も便利な方法でした。能登半島は、北海道と福井県を結ぶ日本海の航路上に位置しており、流通に理想的でした。珠洲焼は、14 世紀半ばまでに、日本の 1/4 を超える地域で取引されるようになりました。

突然の衰退

15 世紀後半に珠洲焼は衰退し、生産されなくなりました。その正確な理由は不明ですが、越前（福井県）、常滑（愛知県）、備前（岡山県）といった、他の産地の生産性と流通性が向上したためと考えられます。

珠洲焼の再発見

珠洲の独特な焼物は、1951 年にひとつの骨壺が発掘されるまで、ほぼ忘れられていました。さらなる発掘により、珠洲周辺で 40 の窯が発見されました。1972 年、陶芸家の小野寺玄（1934-2016）は、珠洲焼作りの伝統的な方法をよみがえらせるために、珠洲の粘土で実験を始めました。現在、能登半島では約 40 の窯元が珠洲焼を制作しています。

当資料館では、12 世紀から 15 世紀にかけての珠洲焼とともに、現代の作品も所蔵しています。

【タイトル】 珠洲焼の初期の発展

【想定媒体】 アプリ QR コード

<簡体字>

珠洲烧的早期发展

“珠洲烧”陶器产于 12 世纪中期至 15 世纪晚期，当时的珠洲归属于能登半岛上最大的庄园“若山庄”。据说本地领主为了增加收入而将珠洲发展为了陶器产地。

5 世纪时，素烧陶器“须惠器”工艺从朝鲜半岛传入日本，珠洲的富铁黏土正是制造须惠器的理想原料。这种陶器用黏土条制作，需要先用大拍子拍打，将其修整光滑后塑形，然后放入窑中以 1200°C 以上高温烧制。烧制时黏土中的氧化铁被吸附在表面，与柴灰发生反应，令成品结实且带有自然的幽暗光泽。

珠洲烧的陶工精于制作炊具，以及储存酱油、味噌和食物并可酿制清酒的大型器皿“瓮”。12 世纪时，由于日本海沿岸农产品的产量增长，市场对瓮的需求相当旺盛。于是，珠洲烧便通过在福井和北海道之间的海岸航线运输到了各地。

珠洲烧的器形和装饰细节显然跟随着当时主要陶器产区的潮流，受濑户和常滑（今爱知县）地区的影响犹甚。装饰技法主要有用纤细刻痕绘制的花草、用梳齿划出的平行线或是用印具在黏土上盖出的花纹等。器形则主要受濑户窑影响，但也有珠洲烧自己的独特元素，譬如带凹槽的缘口。

<繁体字>

珠洲燒的早期發展

「珠洲燒」陶器產於 12 世紀中期至 15 世紀晚期，當時的珠洲歸屬於能登半島上最大的莊園「若山莊」。本地領主被認為是珠洲陶器產業蓬勃發展的主要推手，使珠洲燒成為了他們的重要經濟來源之一。

5 世紀時，素燒陶器「須惠器」工藝從朝鮮半島傳入日本，珠洲的富鐵黏土正是製造須惠器的理想原料。這種陶器用黏土條製作，需要先用大拍子拍打，修整光滑並塑形後入窯以 1200°C 以上高溫燒製。燒製時黏土中的氧化鐵被吸附在表面，與柴灰發生反應，令成品結實且帶有自然的幽暗光澤。

珠洲燒的陶工精於炊具、及用來儲存醬油、味噌和食物並可釀製清酒的大型器皿「甕」。12 世紀時，由於日本海沿岸農產品的產量增長，市場對這甕的需求相當旺盛。於是，珠洲燒透過在福井和北海道之間的海岸航線運輸各地。

珠洲焼の器形和装飾細節顯然跟隨著當時主要陶器産區の潮流，受瀬戸和常滑（今愛知縣）地區的影響猶甚。装飾技法主要有用纖細刻痕繪製的花草、用梳齒劃出的平行線或是用印具在黏土上蓋出的花紋等。器形主要受瀬戸窯影響，但也有珠洲焼の獨特元素，譬如帶凹槽的邊緣。

<日本語仮訳>

珠洲焼の初期の発展

珠洲焼は、12世紀半ばから15世紀末まで作られていました。この時期の珠洲は、能登半島最大の荘園である若山荘の一部でした。領主が、収入を増強する手段として珠洲を焼物の産地として確立する役割を担ったと考えられています。

5世紀に、素焼きの焼物「須恵器」ははじめて朝鮮半島から日本に渡来しました。珠洲の粘土は鉄分が豊富で、須恵器を作るのに理想的でした。器は粘土を巻いたものから作られ、それを大きなへらで叩き、粘土をならして成形した後、1,200℃以上の高温で焼かれます。出来上がった器は丈夫で、自然の暗い釉薬がかかっています。これは焼成の間に、酸化鉄が粘土の表面にかかり、木灰と作用し合うためです。

珠洲の陶工たちは、調理器具や、醤油や味噌を保管したり、食べ物を保存したり、酒を醸造したりするための大きな器「甕」の制作を専門にしていました。12世紀に日本海沿岸地域で農作が盛んになると、甕に対する需要は大きく伸びました。珠洲焼は、福井と北海道を結ぶ沿岸の航路に沿って、容易に輸送することができました。

珠洲焼の形状や装飾は、当時有力だった焼物の産地、特に現在の愛知県にある瀬戸と常滑の影響を受けていました。装飾には、植物の繊細な文様を彫る、平行な櫛目を入れる、粘土に模様を型押しする、などの技法がありました。形は瀬戸の窯の様式を踏襲していましたが、溝のある縁など、珠洲で発展した独自の特徴もあります。

【タイトル】 製品の革新と沿岸交易

【想定媒体】 アプリ QR コード

<簡体字>

产品创新与沿海地区贸易

珠洲陶工擅长烧制瓮、储藏罐和烹饪时使用的研钵，同时也开始为新兴的武士阶层制作宗教用具和佛像。在镰仓幕府(1185-1333)的统治下，权力从天皇和贵族转移至势力强大的军阀和武士手中。原本主要兴盛于皇家内院的佛教，在武士和平民阶层中也逐步赢得了大量信众。随着佛教在全日本的传播，武士和富农开始建造墓地并选择依照佛教传统进行火葬。于是，珠洲陶工开始制作瓮棺、骨灰坛等器皿及佛教雕像。

佛像大多以木头或石头为材料，但 12 世纪晚期至 13 世纪，珠洲陶工开始采用将黏土放入木制模具压制的工艺来大量制作佛像。据研究，一些偏远地区村民难以经常造访寺庙，便在村中建造了佛堂来供奉这些佛像。

能登半岛位于北海道和福井间的日本海航线上，船运是运送较重且易碎陶器的最佳方式。现存的许多珠洲烧器物都来自珠洲遗迹考古发掘，或是从沉船中打捞而来。

14 世纪时，珠洲烧的销售范围已覆盖日本列岛四分之一。但 15 世纪后半叶，珠洲烧产业一蹶不振，生产难以为继。造成这一变化的具体缘由不明，可能是因为越前（福井县）、常滑（爱知县）和备前（冈山县）等其它产区的陶器产量和销量猛增，将珠洲烧挤出了市场。

<繁体字>

產品創新與沿海地區貿易

珠洲陶工擅長燒製甕、儲藏罐和料理時使用的研鉢，但同時也開始為新興的武士階層製作宗教用具和佛像。在鎌倉幕府（1185-1333）的統治下，權力從天皇和貴族轉移至勢力強大的軍閥和武士手中。原本主要興盛於皇家內院的佛教在武士和平民階層中贏得了大量信徒。隨著佛教在全日本的傳播，武士和富農開始建造墓地並選擇依佛教傳統進行火葬。珠洲陶工遂開始製作甕棺、骨灰壇等器皿及各種佛教雕像。

佛像大多以木頭或石頭為材料，但 12 世紀晚期至 13 世紀，珠洲陶工開始採用將黏土放入木模壓製的工藝大量製作佛像。據研究，一些偏遠地區的村民難以經常造訪寺廟，便在村中建造了佛堂來供奉這些佛像。

能登半島位於北海道和福井間的日本海航線上，船運是運送質重且易碎陶器的最佳方式。現存的許多珠洲燒器物都來於珠洲遺跡考古發掘，或是從沉船中打撈而來。

14 世紀時、珠洲焼の銷售範圍已覆蓋日本列島四分之一國土。但 15 世紀後半葉，珠洲焼産業一蹶不振，生產難以為繼。造成這一變化的具體原因目前還不太清楚，可能是因為越前（福井縣）、常滑（愛知縣）和備前（岡山縣）等其它產區的陶器產量和銷量猛增，把珠洲燒擠出了市場。

<日本語仮訳>

製品の革新と沿岸交易

珠洲の陶工たちは、壺や保存容器、調理のためのすり鉢の製作を専門にしていたが、同時に興隆しつつあった武士階級のための仏具や仏像にも手を広げました。鎌倉時代（1185-1333）、幕府の支配の下で、権力は天皇や公家から有力な武将や武士へと移行しました。それまでは主に朝廷のものだった仏教は、武士や一般庶民の間で人気が高まりました。仏教が地方へと広がると、武士や裕福な農民は墓を建てるようになり、仏式の火葬を行うようになりました。珠洲の陶工たちは、埋葬用の甕や骨壺、仏像などを作りました。

仏像は木や石から彫るのが一般的でしたが、珠洲の陶工たちは、12 世紀末から 13 世紀にかけて、粘土を木型に押し込むことで仏像の大量生産を始めました。これらの像は、寺を定期的に訪れるのが難しい地域の村のお堂にまつられていたと考えられています。

能登半島は、北海道と福井の間の日本海沿岸の航路上にありました。重くて壊れやすい陶磁器を流通させるには、船で運ぶのが最も便利な方法でした。現存する珠洲焼の多くは、珠洲の遺跡から発掘されたものや、難破船から引き上げられたものです。

珠洲焼は、14 世紀までに、日本列島の 1/4 で流通するようになりました。15 世紀後半に珠洲焼は衰退し、生産されなくなってしまう。その正確な理由は不明ですが、越前（福井県）、常滑（愛知県）、備前（岡山県）といった、他の産地の生産性と流通性が向上した結果、珠洲焼は市場から追い出されたのかもしれない。

【タイトル】 失われた芸術の再発見

【想定媒体】 アプリ QR コード

<簡体字>

失传艺术的再发现

在一个 1951 年发现的骨灰坛出土前，珠洲所产的这种独特陶器“珠洲烧”几乎已被人遗忘。经过持续发掘，珠洲附近共发现了 40 处窑址。早期的珠洲烧在建于山坡上的隧道形“窖窑”（穴窑）中烧制。这些大型窑炉内部长约 9 米，前有小门用于取放陶器和生火，尾部设烟道和烟囱。本馆院中以原尺寸复原了一座 13 世纪的窖窑。

窑内温度可超过 1200°C，需要不断添柴拨旺以保持温度。生一次火需要持续烧窑两天至一周。烧制完毕后就必须灭火，关闭窑门和烟道，这样可以减少窑内氧气，使柴灰、烟灰与黏土中的矿物质发生反应，生成黑灰色的色调和自然的釉面。

1972 年，陶艺家小野寺玄(1934-2016)开始尝试用珠洲的黏土复原传统的珠洲烧制作工艺。目前能登半岛上已有约 40 家珠洲烧制陶作坊。馆内展示了部分当代作品，还有一部短片介绍珠洲烧的制作过程。

<繁体字>

失傳藝術的再發現

在 1951 年之前，珠洲陶器「珠洲燒」幾乎已被人們遺忘，直到有人在那年發現了一個骨灰壇的出土品。經過持續發掘，珠洲附近共發現了 40 處窯址。早期的珠洲燒是在建於山坡上的隧道形窯爐（也被稱為「窖窯」或「穴窯」）進行燒製。這些大型窯爐內部長約 9 公尺，前有小門用於取放陶器和生火，尾部設煙道和煙囪。本館院中，還有一座復原的全尺寸 13 世紀窖窯模型。

窯內溫度可超過 1200°C，需要不斷添柴撥旺以保持溫度。生一次火需要持續燒窯兩天至一星期。燒製結束時，火被熄滅，窯門和煙道關閉，這樣可以減少窯內氧氣，讓柴灰、煙灰與黏土中的礦物質發生反應，生成黑灰色的色調和自然的釉面。

1972 年，陶藝家小野寺玄（1934-2016）開始嘗試用珠洲的黏土復原傳統的珠洲燒製作工藝。目前能登半島上已有約 40 家珠洲燒製陶作坊。館內展示了部分當代作品，還有一部短片介紹珠洲燒的製作過程。

<日本語仮訳>

失われた芸術の再発見

珠洲の独特な焼物「珠洲焼」は、1951年にひとつの骨壺が発掘されるまで、ほぼ忘れられていました。さらなる発掘により、珠洲周辺で40の窯が発見されました。初期の珠洲焼は、丘の斜面に作られたトンネル状の窖窯（トンネル窯とも呼ばれる）で焼かれていました。これらの大きな窯には、長さ約9メートルの部屋がありました。正面には小さな扉があり、そこから焼物を入れたり、火を入れたりします。窯の後方には煙道と煙突がありました。当館の敷地内には、13世紀の窖窯を実物大で再現したものが 있습니다。

窯の温度は1,200℃を上回ることもあり、温度を維持するために薪をくべ続ける必要がありました。焼成には、48時間から1週間かかることもありました。焼成が終わると火は消され、窯の入口と煙道が封じられました。この方法で窯内の酸素を減らすと、木灰や煤が粘土中の鉱物と相互作用し、灰色がかった黒色と自然の釉薬が生まれるのです。

1972年、陶芸家の小野寺玄（1934-2016）は、珠洲焼作りの伝統的な方法をよみがえらせるために、珠洲の粘土で実験を始めました。現在、能登半島では約40の窯元が珠洲焼を制作しています。当館では現代の作品の一部を展示し、珠洲焼作りの工程を映像で紹介しています。

【タイトル】 スズ・シアター・ミュージアム「光の方舟」

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

珠洲剧场博物馆“光之方舟”

这是一处运用艺术手法让来访者沉浸于珠洲历史与市民生活之中的民俗博物馆，它复苏了一座城市的记忆。位于能登半岛最顶端的珠洲，曾经是一个繁荣的贸易和渔业港口，不过进出珠洲的火车已于2005年停运。尽管农业和渔业仍然是此地的支柱产业，但年轻人都陆续离乡去了大城市，目前本地一半以上的人口皆年逾六十。

许多年岁已高的居民独自住在带有仓库的大宅内，仓库里堆满了可能几代人都未曾触碰过的传统民具、家具和随身用品。很少有年轻人会想要祖父母的老家具和物品，等到主人搬走或是离世，这些东西大多将被当作废品丢弃，而关于它们的典故也将逐渐消失。

为留住本地区这些无价的民俗用品，传承珠洲老市民的故事，当地在2021年举办的“第二届奥能登国际艺术节”期间建造了这座博物馆。志愿者收集来居民不要的旧物，并对主人进行了采访。

当地邀请了8位艺术家来对这些不起眼的旧物和它们背后的故事进行再创作，通过装置和影像向未来的观众讲述珠洲的历史。许多物品都来自17世纪至19世纪初期，从朱漆餐具到清酒桶、渔网、珠洲烧陶器、锅、织布机，可谓五花八门，其中甚至还有20世纪60年代的电视机。

博物馆位于一所已关闭的小学体育馆内，这一选址也体现出人口流失给当地带来的影响。馆内根据民俗、人类学和历史三个不同主题划分了若干区域，来访者可以随意漫步其中，甚至还能零距离观赏部分展品。例如在欣赏《漂流物》这样的装置艺术作品时，当人们穿过摆满朱漆餐具的高大架子，就宛如置身在珠洲的历史长河里。

大川友希《相会的森林》

艺术家大川友希(1987-)用色彩缤纷的边角布料镶贴缠裹废弃的切子灯笼花车，希望借此吸引人们到来，分享思想和经历，再现珠洲庆典的热烈气氛。她用二手服装编织的打结长绳，就像在人去楼空的旧房子上爬满的藤蔓和树叶，营造出一片记忆的森林。

OBI《漂流物》

OBI是一个跨越美术、建筑、影像各界的艺术团体。他们收集了数百件用于家宴的成套朱漆餐具。这些都是待客用的餐具，尤其会用于节日期间，届时朋友、亲戚、邻居们都

会互相登门做客。当参观者置身于朱漆餐具高高堆起的架子间，可以强烈感受到当地人的热情好客和对传统的重视。

久野彩子《静静伫立》

金工艺术家久野彩子(1983-)创作的金属雕塑错综复杂，能将参观者的注意力集中在小细节上。她收集了木梯、耙子和锄头等旧农具，并将金属制作的微型房屋和城市景观嵌入农具的缺口和裂缝当中。她将这些被废弃的农具作为“借景”，在影视聚光灯的照射下，这些旧农具被赋予了全新角色。

竹中美幸《窥视与眺望》

这件装置作品利用半透明材料和光影效果创作，灵感来自一本在珠洲的仓库里找到的日记。艺术家竹中美幸(1976-)将废旧的日常生活用品聚集在一间充满阳光的半透明小屋周围，以此描摹出日记里的记忆。小屋中悬挂的书页和道具，巧妙地传达了日记作者的想法，却没有透露细节。

南条嘉毅《余光之海》

博物馆中最大的一件作品是一个沙坑，里面散落着老渔船的残骸、钢琴和曾经用来漂浮渔网的玻璃浮球。艺术家南条嘉毅(1977-)选用从本地古地层中发掘的沙土，从珠洲历史和渔业传统的角度再现了珠洲的环境。沙面上投映着水波和在仓库里发现的手写笔记。他的创作灵感来自于即使时代和环境改变，回忆也会留存这一理念。

桥本雅也《母音与海鸣》

艺术家桥本雅也(1978-)主要从事黏土创作。珠洲曾是陶器与陶瓦的主要产地，他充分利用这段历史，把从瓦厂的遗址上收集来的工具用于创作，以体现文化史与自然界的关联。沿走廊置于地面的黏土作品，引导参观者从博物馆昏暗的内部走向采光充足的明亮空间。这些手工或用工具制作的黏土艺术品，好似被冲上海滩的卵石和鲸骨碎片，给人带来既熟悉又亲切的感觉。

bacilli/旧世界土协会《土的故事》

这个由日本和新加坡艺术家组成的团队致力于创作多媒体作品。“迎送田神”是奥能登地区农家在家族内部世代相传的信仰之一，于2009年成为联合国教科文组织(UNESCO)的世界非物质文化遗产。艺术家们对这一传统进行了研究。每年冬天，乡村人家都要举行迎接田神仪式，感谢田神并迎接田神农闲时来家中休息。而春天，又有祈求丰收，恭送田神归田的仪式。每家习俗略有差异，而且极少相互交流。为了延承这一传统，近年来也对外公开部分仪式。艺术家们通过寻访当地人，倾听他们迎送田神的实际体验，创作了由仪式物品和图像组成的艺术装置。

三宅砂织《消失的阴影 59-1》《海景（珠洲）》《无题》

昏暗的小房间里，船只残骸、照片、影像和投影共同呈现了往日珠洲与海洋相关的章节片段。这里还投影了艺术家三宅砂织(1975-)拍摄的盐晶的照片。海洋无疑是珠洲居民生活不可或缺的一大元素，而无论是辽阔的海景还是细小的盐晶，都能让参观者领略到它的魅力。这艘船可能毁于海难，也可能只是被遗忘在了漫长的历史中。

<繁体字>

珠洲劇場博物館「光之方舟」

這處民俗博物館以藝術手法帶領遊客深入珠洲的歷史與市民生活，讓他們能夠沉浸在城市的回憶中。珠洲這座位於能登半島最頂端的城市，曾經是一個繁榮的貿易和漁業港口，不過進出珠洲的火車已於 2005 年停運。儘管農業和漁業仍然是此地的支柱產業，但年輕人陸續離開去了大城市，目前當地一半以上的人口年逾六十。

許多年歲已高的居民獨自住在帶有倉庫的大宅內，倉庫裡堆滿了傳統民具、傢俱和隨身用品，幾代人都未曾觸碰過。等到主人搬走或是離世，這些物品大多被當作廢品丟棄。很少有年輕人想要祖父母的老傢俱和物品，而圍繞這些物品的故事也逐漸在消失。

為留住當地這些無價的民俗用品，傳承珠洲老市民的故事，當地在 2021 年舉辦的第二屆奧能登國際藝術節期間建造了這座博物館。志工收集來居民不要的舊物，並採訪了它們的主人。

8 位藝術家被邀請來對這些不起眼的舊物和它們背後的故事進行再創作，透過裝置和影像向新的觀眾講述珠洲的歷史。許多物品都來自 17 世紀至 19 世紀初期，從朱漆餐具到清酒桶、漁網、珠洲燒陶器、鍋、織布機，可謂五花八門，其中甚至還有 1960 年代的電視機。

博物館位於一所已關閉的小學體育館內，這樣的選址也顯示出人口流失對當地的影響。館內根據民俗、人類學和歷史三個不同主題劃分了數個區域，遊客可以隨意漫步其中，甚至還能零距離觀賞部分展品。例如在欣賞《漂流物》這樣的裝置藝術作品時，當遊客穿過擺滿朱漆餐具的高大架子，就仿佛置身於珠洲的歷史長河裡。

大川友希《相會的森林》

藝術家大川友希（1987-）用色彩繽紛的邊角布料覆蓋了廢棄的切子燈籠花車，希望借此吸引人們到來，分享思想和經歷，再現珠洲慶典的熱烈氣氛。她用二手服裝編成的打結長繩，就像在人去樓空的舊房子上爬滿的藤蔓和樹葉，營造出一片記憶的森林。

OBI《漂流物》

OBI 是一個跨越美術、建築、影像各界的藝術團體。他們收集了數百件用於家宴的成套朱漆餐具。這些都是待客用的餐具，尤其會用於節日期間，屆時朋友、親戚、鄰居們都會互相登門做客。當遊客置身與朱漆餐具高高堆放在的架子之間，可以強烈地感受到當地人的熱情好客和對傳統的重視。

久野彩子《靜靜佇立》

金工藝術家久野彩子（1983-）創作的金屬雕塑錯綜複雜，可以將遊客的注意力集中在小細節上。她收集了木梯、耙子和鋤頭等舊農具，並將金屬製作的微型房屋和城市景觀嵌入農具的缺口和裂縫當中。她把這些被廢棄的農具作為「借景」，用影視聚光燈照射，以此賦予了這些舊農具全新的角色。

竹中美幸《窺視與眺望》

這件裝置作品利用半透明材料和光影效果創作，靈感來自一本在珠洲的倉庫裡找到的日記。藝術家竹中美幸（1976-）將日常生活老舊用品聚集在一間充滿陽光的半透明小屋周圍，以此描摹出日記裡的記憶。懸掛在小屋中書頁和道具並未透露細節資訊，但能巧妙地讓觀眾了解日記作者的意圖。

南條嘉毅《餘光之海》

博物館中最大的一件作品是一個沙坑，裡面散落著老漁船的殘骸、鋼琴以及曾用來漂浮漁網用的玻璃浮球。這是藝術家南條嘉毅（1977-）選用從當地古地層中發掘的舊物，從珠洲歷史和漁業傳統的角度再現的珠洲環境。沙面上投映著水波和在倉庫裡發現的手寫筆記。即使時代和環境改變，回憶也會留存——正是這一想法把創作靈感帶給了他。

橋本雅也《母音與海鳴》

藝術家橋本雅也（1978-）主要從事黏土創作。珠洲曾是陶器與陶瓦製作中心，他充分利用這段歷史，把從瓦廠的遺址上收集來的工具用於創作，以展現文化史與自然界的關聯。沿走廊擺放在地面的黏土作品引導遊客從博物館昏暗的內部走向採光充足的明亮空間。這些手工或工具製作的黏土藝術品好似被沖上海灘的卵石和鯨骨碎片，令人感到親切熟悉。

bacilli／舊世界土協會《土的故事》

這個由日本和新加坡藝術家組成的團隊致力於創作多媒體作品。「迎送田神」是奧能登地區農家在家族內部世代相傳的信仰之一，於2009年成為聯合國教科文組織（UNESCO）的世界非物質文化遺產。藝術家們對這一傳統進行了研究。每年冬天，鄉村人家都要舉行迎接田神儀式，感謝田神並迎接田神農閒時來家中休息。到春天，又有祈求豐收，恭送田神歸田的儀式。每家習俗略有差異，而且極少相互交流。為了延承這一傳統，近年來也對外公開了部分儀式。藝術家們透過尋訪當地人，傾聽他們的參與感受，創作了用儀式物品和影像做成的藝術裝置。

三宅砂織《消失的陰影 59-1》《海景（珠洲）》《無題》

昏暗的小房間裡，船隻殘骸、照片、影像和投影共同呈現了往日珠洲關於海洋的章節片段。藝術家三宅砂織（1975-）拍攝的鹽晶照片也被投映在這裡。海洋是珠洲這座城市不可或缺的元素之一，而無論是遼闊的海景還是細小的鹽晶，都能讓遊客感悟到它的魅力。這艘船可能毀於海難，也可能只是被遺忘在了漫長的歷史中。

<日本語仮訳>

スズ・シアター・ミュージアム「光の方舟」

芸術を使って訪れる人々に珠洲の歴史と住民の暮らしを伝えるこの民俗博物館では、町の記憶がよみがえります。能登半島の最果てにあるこの町は、かつては交易と漁業で栄えた港町でした。珠洲への鉄道は 2005 年に廃線となりました。主産業は今もなお農業と漁業ですが、時代とともに若い住民たちはより大きな都市へと移り住み、現在では地域の人口の半分以上が 60 歳を超えています。

多くの高齢者は、蔵のある大きな家にひとりで住んでおり、その蔵は何世代もの間放置されてきた民具や家具、その他雑多なものでいっぱいです。これらの品は、普通なら、所有者が引っ越したり、亡くなった時に捨てられてしまうでしょう。若い人々が祖父母の古い家具や物品を欲しがることはめったになく、そういった品々にまつわる物語は失われつつあります。

この博物館は、この地域の価値ある民具を保存し、高齢の珠洲市民の物語を残そうと、2021 年の第 2 回「奥能登国際芸術祭」にあわせて設立されました。ボランティアが不用品を集めながら、所有者に話を聞きました。

8 名の芸術家が、これらの平凡な品々とその背後にある物語を再生し、インスタレーションや映像を通して珠洲の歴史を新しい聞き手に伝えることを依頼されました。その品々の多くは、17 世紀から 19 世紀初期にさかのぼるものです。その中には朱塗りの皿から酒樽、漁網、珠洲焼、鍋、織機、さらには 1960 年代のテレビまで、さまざまなものがあります。

この博物館は、閉校した小学校の体育館にあります。この学校の閉校も、この地域の人口減の影響の 1 つです。館内は民俗学、人類学、歴史学などをテーマにゾーン分けされています。歩いて回ったり、中に入ったりできる作品も一部あります。たとえば、『ドリフターズ』というインスタレーションでは、朱塗りの漆器が棚に高く並べられた中を通して、珠洲の歴史に浸ることができます。

大川友希『待ち合わせの森』

芸術家の大川友希（1987- ）は、使われなくなったキリコ（灯籠）祭りの山車を、色鮮やかな布の切れ端で覆いました。その目的は、人々が集まって考えと経験を分かち合う、珠洲の祭りの生き生きとした雰囲気表現することでした。古着の布を結び合わせた長いひもは、この地域の空き家を覆うように繁る蔓や葉を思わせ、記憶の森を生み出しています。

OBI『ドリフターズ』

OBI は、美術・建築・映像の各分野を横断して活動している芸術家集団です。OBI は、家庭での宴に用いられた、朱塗りの揃いの食器である御膳を数百点集めました。御膳は特に、友人・親族・隣人が互いを招く祭りの時期に、客をもてなすために使われました。朱塗りの漆器が高く積み上げられた棚に囲まれると、この地域のおもてなしと伝統の重みが強く感じられます。

久野彩子『静かに佇む』

金工芸作家の久野彩子（1983- ）は、見る人の注意を細部に向けるような複雑な金属彫刻を制作しています。彼女は木製のはしごや熊手、鍬などの古い農具を集め、その欠けた部分や割れ目に小さな金属の家々と町並みをはめ込みました。捨てられた農具を借景として使い、映画のようなスポットライトで照らして、農具に新しい役割を与えています。

竹中美幸『覗いて、眺めて、』

半透明の素材、光、影を取り入れたインスタレーションは、珠洲のある蔵で見つけた日記に着想を得たものです。芸術家の竹中美幸（1976- ）は、古き日常生活の品々を再利用し、光で満たされた半透明の小屋の周りに集めて、日記に書かれた記憶を描き出しました。小屋の中に吊るされたページや道具類は、詳細を明らかにすることなく日記の書き手の想いをそれとなく伝えています。

南条嘉毅『余光の海』

この博物館で最大の作品は、古い漁船の残骸やピアノ、かつて漁網を浮かせるのに使われていたガラスの浮き玉が散らばる砂場です。芸術家の南条嘉毅（1977- ）は、珠洲の環境をその歴史と漁業の遺産から考察し、この地域の古い地層から掘った砂を取り入れました。蔵で見つけた手書きのメモと波の模様が、砂の上に投映されています。南条は、時代や状況が変わっても記憶は残る、という考えに着想を得ました。

橋本雅也『母音／海鳴り』

主に粘土で作品を制作する芸術家の橋本雅也（1978- ）は、焼物と瓦の産地としての珠洲の歴史を生かしています。彼は、瓦工場の跡地から道具を集め、文化の歴史と自然界とのつながりを表現する粘土の作品を創りました。粘土の作品が廊下の床に沿って配置され、見る人を、博物館の暗い内部から、外より入ってくる光の方へと導きます。波に洗われた小石や鯨の骨のかけらのような、手作業や道具で作られた作品は、親しみを感じさせます。

bacilli／旧世界土協会『Soilstory-つちがたり-』

ミクストメディアで制作活動をしてしているこの日本とシンガポールの芸術家集団は、奥能登地域の農家で何世代も伝えられてきた、各家の信仰の一形態である「あえのこと」を研究しました。この伝統は 2009 年にユネスコ世界無形遺産に登録されました。毎年冬になると、各家庭では、田の神に感謝し、田んぼに作物がない間は家で休むよう田の神をお迎えする儀式を行います。春には、豊作を祈り、田の神を田んぼに返す儀式があります。その慣習は家ごとに少しずつ異なり、他者に伝えることはほとんどありません。しかし近年、伝統を守る一助として、一部の儀式は見学者に公開されています。この芸術家集団は、地元の人々にこの儀式についての体験談を聞き、儀式で使うモノや映像のインスタレーションを制作しました。

三宅砂織『The missing shade 59-1』『Seascape (Suzu)』『Untitled』

船の部材、写真、映像、プロジェクションを使って小さな暗い部屋で披露されているのは、海にまつわる珠洲の過去の断片です。芸術家の三宅砂織（1975- ）による塩の結晶のフォトグラムが、この

部屋の中に投映されます。見る人は、広大な海の風景から、塩の最も小さな結晶まで、珠洲での暮らしの一要素として海を鑑賞することができます。この船は、海の力によって難破したものかもしれませんが、単に歴史に見放されてしまったものなのかもしれません。

地域番号	020	協議会名	平安神宮
------	-----	------	------

解説文一覧

NO.	スポット名 (タイトル)	中国語文字数	想定媒体
020-001	平安神宮と神苑	965	看板
020-002	應天門	345	看板
020-003	龍尾壇	240	看板
020-004	白虎楼	365	看板
020-005	蒼龍楼	365	看板
020-006	左近の桜と右近の橋	245	看板
020-007	大極殿	250	看板
020-008	南神苑	395	看板
020-009	路面電車と京都の復興	355	看板
020-010	平安の苑	320	看板
020-011	西神苑	340	看板
020-012	白虎池	375	看板
020-013	七代目小川治兵衛	415	看板
020-014	中神苑	490	看板
020-015	臥龍橋	250	看板
020-016	東神苑	455	看板
020-017	平安神宮の水と池	430	看板
020-018	泰平閣と尚美館：京都復興の象徴	355	看板
020-019	平安神宮と京都の復興	990	看板
020-020	平安神宮の神苑巡り	295	看板
020-021	平安神宮の神苑	435	看板
020-022	平安神宮	2165	WEB
020-023	平安神宮の神苑	1140	パンフ

各看板に追加する一文

中国語簡体字

请扫二维码获取中文信息

中国語台湾繁体字

請掃 QR 碼獲取中文資訊

日本語

中国語の解説はこちらの QR コードを読み取って下さい

【タイトル】 平安神宮と神宮神苑

【想定媒体】 看板

<簡体字>

平安神宮和神苑（完整版）

平安神宮于 1895 年为纪念迁都平安京 1100 周年而建。自 8 世纪创建至 1868 年，平安京（今京都）就一直是天皇御所，其建筑格局深受中国唐代(618-907)首都长安（今西安）的影响。1869 年，明治政府迁都东京。平安时代(794-1185)持续了近 400 年，是日本历史上艺术和文化空前繁荣的时期之一。平安神宮供奉着平安时代的第一位天皇——桓武天皇(737-806)和统治平安京的最后一位天皇——孝明天皇(1831-1866)。

平安京天皇通常在御所的正厅“朝堂院”处理国事，神宮殿宇按照其八分之五的规模建造，再现了 1000 多年前天皇御所的景象。神宮四周修建了宽敞的日本庭园，游客可入内参观。

穿过两层楼的应天门，便是宽阔的中庭，它也是仿照朝堂院而建。庭内矗立着数座精美华丽的建筑，四周设有围墙。应天门对面的正殿是复原的大极殿，那里曾放置着天皇宝座。

平安神宮神苑是国家指定名胜，其入口位于左侧的白虎楼旁边。游览步道穿过南、西、中、东四座庭园，每一座都展示了日本不同历史时期的品味和设计特色，南神苑中狭窄蜿蜒的小路、娇艳的花朵和八重红枝垂樱，令人追忆起平安时代；东神苑内独具匠心的优雅建筑围绕着大池塘，这种风格在江户时代(1603-1867)十分流行。

<簡体字>

平安神宮和神苑（看板版）

平安神宮于 1895 年为纪念迁都平安京 1100 周年而建。自 8 世纪创建至 1868 年，平安京（今京都）就一直是天皇御所，其建筑格局深受中国唐代(618-907)首都长安（今西安）的影响。1869 年，明治政府迁都东京。平安神宮供奉着平安时代(794-1185)的第一位天皇——桓武天皇(737-806)和统治平安京的最后一位天皇——孝明天皇(1831-1866)。

神宮殿宇按照 1000 多年前平安京天皇处理国事的正厅“朝堂院”建造，规模是其八分之五。穿过两层楼的应天门，便是宽阔的中庭，庭内矗立着几座精美华丽的建筑，四周建有围墙。应天门正对面是复原的大极殿，那里曾设天皇宝座。

平安神宮神苑是国家指定名胜，其入口位于左边的白虎楼旁。游览步道穿过南、西、中、东四座庭园，每一座都展示了日本不同历史时期的品味和设计特色，南神苑中狭窄蜿

蜒的小路、娇艳的花朵和八重紅枝垂櫻，令人追憶起平安時代；東神苑內獨具匠心的優雅建築圍繞著大池塘，這種風格在江戶時代(1603-1867)十分流行。

<繁體字>

平安神宮和神苑（完整版）

平安神宮於 1895 年為紀念遷都平安京 1100 週年而建。自西元 8 世紀建立至 1868 年，平安京（今京都）就一直是天皇御所，城市格局受到中國唐代（618-907）首都長安（今西安）的影響。1869 年，明治政府遷都東京。平安時代（794-1185）持續了近 400 年，是日本歷史上藝術和文化空前繁榮的時期之一。平安神宮供奉著平安時代的第一位天皇和統治平安京的最後一位天皇，分別為桓武天皇（737-806）和孝明天皇（1831-1866）。

神宮殿宇按照平安京天皇御所的正廳，即天皇處理國事的「朝堂院」八分之五的比例而建，重現了 1000 多年前天皇御所的景象。神宮四周還建有廣闊的日本庭園，對普通遊客開放。

穿過兩層樓的應天門後，便是寬闊的中庭，它也是仿照朝堂院而建。庭內矗立著幾座精美華麗的建築，四周設有圍牆。正對應天門的是復原的大極殿，那裡會有天皇寶座。

平安神宮神苑是國家指定名勝，其入口位於左邊的白虎樓旁邊。遊覽步道穿過南、西、中、東四座庭園，每一座都展示了日本不同歷史時期的品味和設計特色，南神苑中，狹窄蜿蜒的小路、嬌豔的花朵和八重紅枝垂櫻，令人追憶起平安時代；東神苑中，獨具匠心的優雅建築圍繞著大池塘，這種風格在江戶時代（1603-1867）十分流行。

<繁體字>

平安神宮和神苑（看板版）

平安神宮於 1895 年為紀念遷都平安京 1100 週年而建。自西元 8 世紀建立至 1868 年，平安京（今京都）就一直是天皇御所，城市格局受到中國唐代（618-907）首都長安（今西安）的影響。1869 年，明治政府遷都東京。平安神宮供奉著平安時代（794-1185）的第一位和統治平安京的最後一位天皇，分別是桓武天皇（737-806）和孝明天皇（1831-1866）。

神宮殿宇按照 1000 多年前，平安京天皇在御所內處理國事的正廳「朝堂院」建造，規模是其八分之五。穿過兩層樓的應天門，便是寬闊的中庭。庭內矗立著幾座精美華麗的建築，四周設有圍牆。正對應天門的是復原的大極殿，那裡會有天皇寶座。

平安神宮神苑是國家指定名勝，其入口位於左邊的白虎樓旁邊。遊覽步道穿過南、西、中、東四座庭園，每一座都展示了日本不同歷史時期的品味和設計特色，南神苑中，狹窄蜿蜒的小路、嬌豔的花朵和八重紅枝垂櫻令人追憶起平安時代；東神苑中，獨具匠心的優雅建築圍繞著大池塘，這種風格在江戶時代（1603-1867）十分流行。

<日本語仮訳>

平安神宮と神苑（全体バージョン：約 460 中国語文字）

平安神宮は、平安京遷都 1100 周年を記念し、1895 年に創建されたものです。中国の唐王朝（618-907）の首都であった長安（現在の西安）を模し、8 世紀に造営された平安京（現在の京都）は、1868 年まで天皇の御所であり続けまして、1869 年に明治政府が東京に移りました。平安時代（794-1185）は約 400 年続き、日本史上、芸術や文化が大きく開花した時代のひとつでもありました。平安神宮の祭神は、平安時代の最初の天皇である桓武天皇（737-806）と、平安京の最後の天皇となった孝明天皇（1831-1866）です。

平安神宮の社殿は 1,000 年以上前の平安京内の天皇の御所にあった、天皇が国事を司っていた正庁である「朝堂院」を約 8 分の 5 の規模で再現されています。神宮を囲む広々とした日本庭園は、一般に公開されています。

二階建ての應天門を抜けると、装飾が施された複数の建物が並び、壁で囲まれた広い中庭へと出ます。この中庭も、朝堂院をモデルにしています。應天門の真向かいにある大きな正殿は大極殿で、玉座が置かれていた建物を復元したものです。

神苑への入り口は、左手の白虎楼の隣にあります。園路は四つの庭園に通じています。国の名勝に指定された庭園にはそれぞれ、異なる時代の日本の美意識や様式美の特徴が映し出されています。南神苑の曲がりくねった細い道、可憐な花々、そして八重紅しだれ桜は、平安時代を想起させ、また、東神苑の大きな池を中心に、優美な技巧を凝らした建物が囲む庭園様式は、江戸時代（1603-1867）に流行したものです。

<日本語仮訳>

平安神宮と神苑（看板バージョン：約 370 中国語文字）

平安神宮は、平安京遷都 1100 周年を記念し、1895 年に創建されたものです。中国の唐王朝（618-907）の首都であった長安（現在の西安）を模し、8 世紀に造営された平安京（現在の京都）は、1869 年に明治政府が東京に移るまで、天皇の御所であり続けました。平安神宮の祭神は、平安時代（794-1185）の最初の天皇である桓武天皇（737-806）と、平安京の最後の天皇となった孝明天皇（1831-1866）です。

平安神宮の社殿は 1,000 年以上前の京都平安京内の天皇の御所にあった、天皇が国事を司っていた正庁である「朝堂院」を約 8 分の 5 の規模で再現されています。二階建ての應天門を抜けると、装飾が施された複数の建物が並び、壁で囲まれた広い中庭へと出ます。應天門の真向かいにある大きな正殿は大極殿で、玉座が置かれていた建物を復元したものです。

神苑への入り口は、左手の白虎楼の隣にあります。園路は四つの庭園に通じています。国の名勝に指定された庭園にはそれぞれ、異なる時代の日本の美意識や様式美の特徴が映し出されています。南神苑の曲がりくねった細い道、可憐な花々、そして八重紅しだれ桜は、平安時代を想起させ、また、東神苑の大きな池を中心に、優美な技巧を凝らした建物が囲む庭園様式は、江戸時代

(1603-1867) に流行したものです。

【タイトル】 應天門

【想定媒体】 看板

<簡体字>

应天门

平安京是日本平安时代(794-1185)的首都，即今天的京都。平安神宫的殿宇以八分之五的比例复制了平安京天皇御所正厅“朝堂院”。朝堂院是天皇处理政务的场所，应天门复原了它的正门，是国家指定重要文化财产。应天门高 18.43 米，而原型几乎是它的两倍，更加气势恢宏。

穿过大门后就是被围墙环绕的中庭，内有数座建筑。太极殿是平安神宫的外拜殿，位于院内深处，正对应天门。太极殿左边的白虎楼旁是平安神宫神苑的入口。

平安京以位于奈良的日本早期首都平城京(710-794)为模板建成，而平城京则参照了中国唐朝(618-907)首都长安（今西安）的格局。上述每座都城都是南北中轴对称，呈棋盘状布局，正门朝南。这些都是遵循了中国风水学的基础，即按照中国古代哲学里“金木水火土”相生相克的五行原理规划。

<繁体字>

應天門

平安京是日本平安時代（794-1185）的首都，即今天的京都。平安神宮的殿宇以八分之五的比例複製了平安京天皇御所正廳「朝堂院」。朝堂院是天皇處理政務的場所，應天門復原了它的正門，是國家指定重要文化財產。應天門高 18.43 公尺，而原型幾乎是它的兩倍，更加氣勢恢宏。

穿過大門後就是被圍牆環繞的中庭，內有幾座建築。大極殿是平安神宮的外拜殿，位於院內深處，正對應天門。大極殿左邊的白虎樓旁是平安神宮神苑的入口。

平安京以位於奈良的日本早期首都平城京（710-794）為範本建成，而平城京則參照了中國唐朝（618-907）首都長安（今西安）的格局。上述每座都城都是南北中軸對稱，呈棋盤狀佈局，正門朝南。這些都是按照中國風水學的基礎規劃的，即遵循了中國古代哲學裡「金木水火土」相生相剋的五行原理。

<日本語仮訳>

應天門

平安京は日本の平安時代（794-1185）の首都であり、現在の京都の前身でもあります。平安神宮の社殿は、平安京・天皇御所にあった、天皇が国事を司っていた正庁である「朝堂院」を8分の5の規模で再現されたものです。應天門は、朝堂院の正門を復元したもので、国の重要文化財に指定されています。應天門は18.43メートルの高さがありますが、元となった門はこの2倍近くの規模で、さらに堂々とした佇まいをしていました。

門を抜けて中に入ると、壁に囲まれた中庭になっており、複数の建物が立っています。大極殿は應天門の向かい側、中庭の奥にあり、ここが平安神宮の外拝殿となります。神苑への入口は、大極殿の左側、白虎楼の隣にあります。

平安京は、奈良県にあったかつての都、平城京（710-794）をモデルにしています。平城京自体は、中国の唐王朝（618-907）の首都であった長安（現在の西安）を模しています。これらの都は南北に基盤の目状に設計されており、正門は南を向いていました。これは、中国の風水の基盤となった、古代中国の思想である「金木水火土」の相生相剋の五行説の原理に従ったものです。

【タイトル】 龍尾壇

【想定媒体】 看板

<簡体字>**龙尾坛**

龙尾坛是国家指定重要文化财产，其栏杆漆色暗红，上面装饰着雕刻精美的鍍金制品。龙尾坛将中庭分为前后两个区域，地基被抬高的后方区域两旁，分别矗立着白虎楼和苍龙楼，其正后方则是宏伟的大极殿。

在天皇御所正厅“朝堂院”内，大极殿是举办最重大的仪式和处理国家政务的特别场所，也曾设有天皇宝座。在平安京时代的天皇御所里，只有位高权重的大臣才被允许进入中庭后方被抬高的区域以及接近大极殿。现在，龙尾坛栏杆后方是专供参拜者祈祷的区域。

经过龙尾坛后，左边就是白虎楼和通往平安神宫神苑的入口。

<繁体字>**龍尾壇**

龍尾壇是國家指定重要文化財產，其欄杆漆色暗紅，上面裝飾著雕刻精美的鍍金製品。龍尾壇將中庭分為前後兩個區域，在地基有被抬高的後方區域兩邊，分別矗立著白虎樓和蒼龍樓，其正後方則是氣勢宏偉的大極殿。

在天皇御所正廳「朝堂院」內，大極殿是舉辦最重大的儀式和處理國家政務的特別場所，也曾設有天皇寶座。在平安京時代的天皇御所中，只有位高權重的大臣才被允許進入中庭後方被抬高的區域以及接近大極殿。現在，龍尾壇欄杆後方是專供參拜者祈禱的區域。

經過龍尾壇後，左邊就是白虎樓和通往平安神宮神苑的入口。

<日本語仮訳>**龍尾壇**

国の重要文化財に指定されている龍尾壇の垣は赤い漆塗りに、箔押しと彫刻が施された金属細工が装飾されており、中庭の手前の部分と高くなっている内側の部分を区切るように配されています。高くなっている区域の左右にあるのが白虎楼と蒼龍楼で、正面奥にある大きな社殿が大極殿です。

天皇御所の正厅「朝堂院」において、大極殿は最も重要な儀式や国政のための特別な場所であり、天皇の玉座があった場所です。そのため、当時の天皇御所では、高い位階を任じられた貴族のみ、

中庭の高くなっている先への立ち入りや、大極殿へ近づくことが許されていました。いま、龍尾壇の垣は、参拝者が祈りを捧げる場である奥まったエリアを区分しています。

龍尾壇を上がり左側にあるのが、白虎楼と神苑への入口です。

【タイトル】 白虎楼

【想定媒体】 看板

<簡体字>

白虎楼

白虎楼位于平安神宮大極殿的左側，被指定為國家重要文化財產。它以八分之五的比例復原了平安京天皇御所正廳左邊的大型塔樓。白虎樓擁有美麗的飛簷翹角和裝飾性的塔身，除此之外，它可能還是一座瞭望台。

白虎樓的「白虎」，是中國古代天文學中「四象」*之一，守護著西方。「四象」也是中國哲學中最基本的「金木水火土」五行概念的一部分（白虎屬金，蒼龍屬木，朱雀屬火，玄武屬水）。五行描述了各種現象之間的相互作用和關係，并被運用於從宇宙週期到風水學的一切事物。

五行的諸多概念影響著平安京都城的佈局和設計，同樣，中國唐朝(618-907)首都長安（今西安）的建設也遵循了這些概念。應天門內的手水舍（淨水池）上雕刻的白虎亦體現了中國風水學和哲學的影響。

※四象：天空中東南西北四大星區，也代表四個方位，分別是東方蒼龍，西方白虎，南方朱雀，北方玄武。

<繁体字>

白虎樓

白虎樓位於平安神宮大極殿的左側，被指定為國家重要文化財產。它以八分之五的比例復原了平安京天皇御所正廳左邊的大型塔樓。白虎樓擁有美麗的飛簷翹角和裝飾性的塔身，除了裝飾以外，它可能還是一座瞭望台。

白虎樓的「白虎」，是中國古代天文學中「四象」*之一，守護著西方。「四象」也是中國哲學中最基本的「金木水火土」五行概念的一部分（白虎屬金，蒼龍屬木，朱雀屬火，玄武屬水）。五行描述了各種現象之間的相互作用和關係，廣泛運用於從宇宙週期到風水學等各個領域。

五行的許多概念影響著平安京都城的佈局和設計，同樣，中國唐朝（618-907）首都長安（今西安）的建設也遵循了這些概念。應天門內的手水舍（淨水池）上雕刻的白虎亦展現了中國風水學和哲學的影響。

※四象：天空中東南西北四大星區，也代表四個方位，分別是東方蒼龍，西方白虎，南方朱雀，北方玄武。

<日本語仮訳>

白虎楼

国の重要文化財に指定された白虎楼は、平安神宮大極殿の正面に向かって左に位置し、平安京の天皇御所の正庁の左側に建っていた楼閣を 8 分の 5 の大きさを再現した大きなものです。傾斜した庇に、装飾された小塔のような構造が施され、装飾的な意図以外に、物見櫓としての役割を果たしていたとする説もあります。

楼閣の名称は、古代中国の天文学で方位を象徴する「四象（四神）」[※]のうち、西の白虎に由来しています。四象（四神）は、中国哲学の基本概念である「金木水火土」の五行説の一部でもあります（金を白虎、木を蒼龍、火を朱雀、水を玄武）。古代中国ではこの総括的な思想によって、現象間の相互作用や関係性についての説明がなされ、宇宙の周期から風水まで、あらゆるものにこの考えが適用されていました。

五行説は、唐（618-907）の首都である長安（現在の西安）でもそうであったように、平安京の位置や設計に影響を与えています。中国の風水と哲学の影響は、應天門の内側にある手水舎に施された、白虎の彫刻にも見て取ることができます。

※四象（四神）：天球を東西南北の四大区画に分け、東に青龍、西に白虎、南に朱雀、北に玄武のように、四方それぞれを司る神に当てた。

【タイトル】 蒼龍樓

【想定媒体】 看板

<簡体字>**苍龙楼**

苍龙楼位于平安神宮大極殿的右側，被指定為國家重要文化財產。它以八分之五的比例復原了平安京天皇御所正廳右邊的大型塔樓。蒼龍樓擁有美麗的飛簷翹角和裝飾性的塔身，除此之外，它可能還是一座瞭望台。

蒼龍樓的「蒼龍」，是中國古代天文學中「四象」[※]之一，守護著東方。「四象」也是中國哲學中最基本的「金木水火土」五行概念的一部分（白虎屬金，蒼龍屬木，朱雀屬火，玄武屬水）。五行描述了各種現象之間的相互作用和關係，並被運用於從宇宙週期到風水學的一切事物。

五行的諸多概念影響著平安京都城的佈局和設計，同樣，中國唐朝(618-907)首都長安（今西安）的建設也遵循了這些概念。應天門內的手水舍（淨水池）上雕刻的蒼龍亦體現了中國風水學和哲學的影響。

※四象：天空中東南西北四大星區，也代表四個方位，分別是東方蒼龍，西方白虎，南方朱雀，北方玄武。

<繁体字>**蒼龍樓**

蒼龍樓位於平安神宮大極殿的右側，被指定為國家重要文化財產。它以八分之五的比例復原了平安京天皇御所正廳右邊的大型塔樓。蒼龍樓擁有美麗的飛簷翹角和裝飾性的塔身，除了裝飾以外，它可能還是一座瞭望台。

蒼龍樓的「蒼龍」，是中國古代天文學中「四象」[※]之一，守護著東方。「四象」也是中國哲學中最基本的「金木水火土」五行概念的一部分（白虎屬金，蒼龍屬木，朱雀屬火，玄武屬水）。五行描述了各種現象之間的相互作用和關係，廣泛運用於從宇宙週期到風水學等各個領域。

五行的許多概念影響著平安京都城的佈局和設計，同樣，中國唐朝（618-907）首都長安（今西安）的建設也遵循了這些概念。應天門內的手水舍（淨水池）上雕刻的蒼龍亦展現了中國風水學和哲學的影響。

※四象：天空中東南西北四大星區，也代表四個方位，分別是東方蒼龍，西方白虎，南方朱雀，北方玄武。

<日本語仮訳>

蒼龍楼

国の重要文化財に指定された蒼龍楼は、平安神宮大極殿の正面に向かって右に位置し、平安京の天皇御所の正庁の右側に建っていた楼閣を 8 分の 5 の大きさで再現した大きなものです。傾斜した庇に、装飾された小塔のような構造が施され、装飾的な意図以外に、物見櫓としての役割を果たしていたとする説もあります。

楼閣の名称は、古代中国の天文学で方位を象徴する「四象（四神）」[※]のうち、東の蒼龍に由来しています。四象（四神）は、中国哲学の基本概念である「金木水火土」の五行説の一部でもあります（金を白虎、木を蒼龍、火を朱雀、水を玄武）。古代中国ではこの総括的な思想によって、現象間の相互作用や関係性についての説明がなされ、宇宙の周期から風水まで、あらゆるものにこの考えが適用されていました。

五行説は、唐（618-907）の首都である長安（現在の西安）でもそうであったように、平安京の位置や設計に影響を与えています。中国の風水や哲学の影響は、應天門の内側にある手水舎に施された、蒼龍の彫刻にも見て取ることができます。

※四象（四神）：天球を東西南北の四大区画に分け、東に青龍、西に白虎、南に朱雀、北に玄武のように、四方それぞれを司る神に当てた。

【タイトル】左近の桜と右近の橘

【想定媒体】看板

<簡体字>

左近之櫻与右近之橘

大極殿前方左右兩側，分別種着一棵樹。左邊的立花橘會在夏季開出芬芳白花，冬季結出類似柑橘的果實。自公元 8 世紀起，立花橘就常在歷史文獻和詩篇中被提及，並且與天皇的緣分深厚。右邊的櫻花樹則是日本的象徵。

這兩種樹曾被種植在平安京的紫宸殿前，被稱為“左近之櫻”和“右近之橘”。左和右是相對殿閣的主人而言，與來訪者看到的視角剛好相反。紫宸殿最初是天皇的私人居所，位於天皇御所正廳“朝堂院”後方，後來才成為整個天皇御所的中心。

立花橘和櫻花也是平安神宮的象徵，还被用於神宮的社紋之上。

<繁体字>

左近之櫻與右近之橘

大極殿前方左右兩側分別種著一棵樹。左邊的立花橘會在夏季開出芬芳白花，冬季結出類似柑橘的果實。自西元 8 世紀起，立花橘就常在歷史文獻和詩篇中被提及，並且與天皇的緣分深厚。右邊的櫻花樹則是日本的象徵。

這兩種樹曾被種植在平安京的紫宸殿前，被稱為「左近之櫻」和「右近之橘」。左和右是相對殿閣的主人而言，與遊客看到的視角剛好相反。紫宸殿最初是天皇的私人居所，位於天皇御所正廳「朝堂院」後方，後來才成為整個天皇御所的中心。

立花橘和櫻花也是平安神宮的象徵，被用於神宮的社紋之上。

<日本語仮訳>

左近の桜と右近の橘

大極殿前には、左右に対で 2 本の木が植えられています。左側にある橘は、夏には香りの良い白い花を咲かせ、冬にはみかんに似た柑橘類の実をつけます。この植物は 8 世紀からの歴史上の文献や詩に登場し、天皇に所縁があります。右側にあるのは日本の象徴である桜の木です。

これらの木は元々、平安京の紫宸殿の正面に植えられていたもので、「左近の桜」、「右近の橘」と呼ばれていました。なお、ここの「左」と「右」は、紫宸殿側から見ての左右であり、観光客の場合はちよ

うど逆になります。紫宸殿はもともと天皇の私的な居住空間であり、天皇御所の正庁である「朝堂院」の後ろに位置していましたが、後に御所の中心となる御殿となりました。

橘と桜は平安神宮の象徴であり、神紋に用いられています。

【タイトル】 大極殿

【想定媒体】 看板

<簡体字>

大极殿

大极殿是平安神宮的外拜殿，其正后方就是本殿（正殿），里面供奉着桓武天皇(737-806)和孝明天皇(1831-1866)，他们分别是平安京的第一位和最后一位天皇。本殿并不对外开放，但来访者可以登上大极殿前的阶梯进行参拜。

天皇御所正厅“朝堂院”是平安京的行政中枢，大极殿是其中主要的礼仪大厅，用于天皇主持重要仪式和处理国家政务，也曾设有天皇宝座。如今的大极殿是仿照当时原殿按比例缩小建造的，原建筑几乎是现在的两倍。

平安神宮大极殿和包括应天门、白虎楼、苍龙楼在内的诸多建筑，均为国家指定重要文化财产。

<繁体字>

大極殿

大極殿是平安神宮的外拜殿，其正後方就是本殿（正殿），裡面供奉著桓武天皇（737-806）和孝明天皇（1831-1866），他們分別是平安京的第一位和最後一位天皇。本殿並不對大眾開放，但遊客可以登上大極殿前的階梯進行參拜。

天皇御所正廳「朝堂院」是平安京的行政中樞，大極殿是其中主要的禮儀大廳，用於天皇主持重要儀式和處理國家政務，也曾設有天皇寶座。如今的大極殿是仿照當時原殿按比例縮小建造的，原建築幾乎是現在的兩倍。

平安神宮大極殿和包括應天門、白虎樓、蒼龍樓在內的許多建築，都是國家指定重要文化財產。

<日本語仮訳>

大極殿

大極殿は平安神宮の外拝殿です。大極殿の真後ろに位置している本殿には、桓武天皇（737-806）と、孝明天皇（1831-1866）が祀られています。この二人の天皇は、平安京の最初と最後

の天皇です。本殿は一般に公開されていませんが、大極殿の階段を登れば誰でも参拝することができます。

ここにある大極殿は、当時の建物を縮尺して復元したものであり、元の大極殿はほぼ二倍の大きさでした。天皇御所の正庁である「朝堂院」は、平安京の行政の中心地であり、大極殿は主な催事の場として、天皇の玉座が据えられていました。そこで天皇は重要な儀式や国事を執り行いました。

平安神宮の大極殿は、應天門と白虎楼・蒼龍楼を含む境内にある複数の建築物とともに、国の重要文化財に指定されています。

【タイトル】南神苑

【想定媒体】看板

<簡体字>

南神苑

南神苑是一座经典的回游式庭园，采用了平安时代(794-1185)的设计风格。它与平安神宫神苑的其他三座庭园都是国家指定名胜。步入南神苑，首先是一片樱花树林，每年4月中旬，八重红枝垂樱在此争相绽放。这种独一无二的美景叫做“京都之春”，在川端康成的《古都》和谷崎润一郎的《细雪》中都有提及。与日本最常见的樱花品种染井吉野相比，这种枝垂樱团簇的花朵呈现出更深的粉色。

南神苑里选栽了200余种在平安时代著名文学作品和古典诗歌（《伊势物语》《源氏物语》《古今和歌集》《竹取物语》《枕草子》）中提到的花草树木。这座庭园展现了平安时代的造园方式，以“野筋”和“遣水”为特色。野筋指园中并没有固定游览路线，游客可沿错综复杂的小路蜿蜒前行。遣水则是指通过密集种植花卉树木营造出封闭的空间，再引水打造溪流，让小溪层层穿过花木。在平安时代，王宫贵族们会在这样的庭园里寻找艺术灵感、沉思、放松，或与客人亲密交谈。

<繁体字>

南神苑

南神苑是一座經典的迴遊式庭園，採用平安時代（794-1185）的設計風格。它與平安神宮神苑的其他三座庭園都是國家指定名勝。步入南神苑，首先是一片櫻花樹林，每年4月中旬，八重紅枝垂櫻在此爭相綻放。此盛景被描寫在川端康成的《古都》和谷崎潤一郎的《細雪》中，堪稱獨一無二的「京都之春」。與日本最常見的櫻花品種染井吉野相比，這種枝垂櫻團簇的花朵呈現出更深的粉色。

南神苑裡選栽了在平安時代著名文學作品和古典詩歌（《伊勢物語》《源氏物語》《古今和歌集》《竹取物語》《枕草子》）中提及的花草樹木，足足有200多種。南神苑展現了平安時代的造園方式，以「野筋」和「遣水」為特色。野筋指園中沒有固定的遊覽路線，遊客可沿錯綜複雜的小路蜿蜒前行。遣水則是指用密集種植花卉樹木創造出封閉的空間，再引水打造溪流，讓小溪層層穿過花木。在平安時代，王宮貴族們會在這種庭園裡尋找藝術靈感、沉思、放鬆，或與客人親密交談。

<日本語仮訳>

南神苑

南神苑は、平安時代（794-1185）の様式を取り入れた伝統的な回遊式庭園です。ほかの 3 つの庭とともに、国の名勝に指定されています。散策は、桜の林から始まります。4 月中旬になると、八重紅しだれ桜が咲き誇ります。この唯一無二の「京都の春」という名の美しい景色は、川端康成の『古都』と谷崎潤一郎の『細雪』にも登場しています。房のように咲く花々は、日本で最もよく見られるソメイヨシノよりも深みのあるピンク色をしています。

南神苑に植えられている 200 種あまりの木々や花々は、平安時代の有名な文学作品や古典的な詩歌（『伊勢物語』『源氏物語』『古今和歌集』『竹取物語』『枕草子』）に登場するという理由から選ばれました。南神苑は平安時代の作庭法である「野筋」と「遣水」の様式が特色です。園内には決められた順路はなく、入り組んだ細い道「野筋」に沿ってゆっくりと巡れます。また、木々や花々を寄せ植えすることで、囲まれた空間を生み出し、外から水を引き入れる「遣水」で木花の中を幾重にも流れる小川を造ることができました。平安時代には、上流階級の人々がこのような庭園で時を過ごし、芸術的着想や安らぎを求めたり、思案にふけったり、あるいは客人と親しく会話を楽しんだのでしよう。

【タイトル】路面電車と京都の復興

【想定媒体】看板

<簡体字>

有轨电车和京都复兴

这是日本最早的一批有轨电车。1895年平安神宮建成，同年京都还导入了有轨电车，由水力发电为其供电。这辆电车就是当初往返于京都站和平安神宮之间的车辆之一，为国家指定重要文化财产。

电车线路的铺设和平安神宮的建立，都是为了配合第四届内国劝业博览会的召开，这是在京都平安神宮附近举办的一次大型博览会。而这些项目又都是更大规模的京都复兴计划中的一环，旨在纪念平安京（古都京都的古名）迁都1100周年。

1868年，日本进入明治时代(1868-1912)，天皇迁都东京。为了颂扬京都历史文化，以及解决京都因迁都而直面的经济下滑和人口减少问题，当地发起了诸多京都复兴项目。

京都的有轨电车一直运行至1961年。这辆电车在停用后被捐赠给了平安神宮，成为19世纪末京都复兴的象征。

<繁体字>

路面電車和京都復興

這是日本最早一批路面電車。1895年，即平安神宮建成的同年，京都引入了路面電車，由水力發電為其供電。這輛電車是當初往返於京都站和平安神宮之間的車輛之一，為國家指定重要文化財產。

電車線路的鋪設和平安神宮的建立，都是為了配合第四屆內國勸業博覽會的召開，這是在京都平安神宮附近舉辦的一次大型博覽會。而這些專案又都是規模更大的京都復興計劃中的一環，該復興計劃旨在紀念平安京（古都京都的古名）遷都1100週年。

1868年，日本進入明治時代（1868-1912），天皇遷都東京。為了頌揚京都歷史文化，以及解決京都因遷都而導致的經濟下滑和人口減少問題，當地發起了許多京都復興專案。

京都的路面電車一直運行至1961年。這輛電車在停用後被捐贈給了平安神宮，成為19世紀末京都復興的象徵。

<日本語仮訳>

路面電車と京都の復興

これは日本最古の路面電車のひとつです。水力発電を動力に京都で運行していたこの路面電車は、平安神宮の創建と同じ 1895 年に京都に導入されました。これは、京都駅と平安神宮地区を結んでいた当時の車両のうちのひとつであり、国の重要文化財に指定されています。

線路の敷設と平安神宮の創建は、京都で開催された大規模な博覧会である、第 4 回内国勧業博覧会（平安神宮近くで開催）に合わせて計画されました。これらの計画はより大規模な再生プロジェクトの一環として、平安京（古代の都で京都の古名）遷都 1100 周年に合わせて進められました。

このプロジェクトは、京都の伝統を祝福すると同時に、明治時代（1868-1912）が始まる 1868 年の東京への首都移転後、京都に生じた経済状況の低迷と人口減少をくいとめることを目的としていました。

路面電車は、1961 年まで京都で運行していました。ここに展示されている車両は、廃線後、19 世紀後半の復興への取り組みの象徴として平安神宮に寄贈されました。

【タイトル】 平安の苑

【想定媒体】 看板

<簡体字>

平安之苑

南神苑被称为“平安之苑”，因为它常常被选为日本平安时代(794-1185)文学的主题。这里的许多花草树木都出现在古典诗歌和文学作品中，比如由11世纪的宫廷女官紫式部所著、描写平安时代宫廷生活的经典杰作《源氏物语》。

平安时代持续了近400年，是日本历史上艺术和文化空前繁荣的盛世。自公元6世纪首次传入日本的佛教在此时蓬勃发展，随之而来的书法、绘画、雕塑和诗歌艺术，都成为了日本宫廷的基础社交艺术。日本的假名书写系统在这一时期形成，现在用作日本国歌的和歌《君之代》也是出自于平安时代的《古今和歌集》。

庭园内植物前面的标牌上，注明了它们曾在哪部文学作品中被提及，同时还有一段引文。在平安之苑内能观赏到如瞿麦、胡枝子、绣球花等多种花卉。

<繁体字>

平安之苑

南神苑被稱為「平安之苑」，因為它常常被選為日本平安時代（794-1185）文學的主題。這裡的許多花草樹木都出現在古典詩歌和文學作品中，比如由11世紀的宮廷女官紫式部所著、描寫平安時代宮廷生活的經典傑作《源氏物語》。

平安時代持續了近400年，是日本歷史上藝術和文化空前繁榮的盛世。自西元6世紀首次傳入日本的佛教在此時蓬勃發展，隨之而來的書法、繪畫、雕塑和詩歌藝術，都成為了日本宮廷的基礎社交藝術。日本的假名書寫系統在這一時期形成，現在用作日本國歌的和歌《君之代》也是出自於平安時代的《古今和歌集》。

庭園內植物前面的告示牌上，說明了它們曾在哪部文學作品中被提及，同時有一段引文。在平安之苑內能觀賞到瞿麥、胡枝子和繡球花等多類花卉。

<日本語仮訳>

平安の苑

南神苑は、平安時代（794-1185）の文学がテーマとなっているため、「平安の苑」とも呼ばれています。ここにある多くの草木や花々は、平安時代の宮中での暮らしを描いた「源氏物語」など、数々

の古典の詩や古典文学に登場しています。古典の大作である「源氏物語」は、11 世紀に侍女の紫式部が書いたものです。

400 年近く続いた平安時代は、日本の歴史上、最も芸術や文化が花開いた時代の一つでした。6 世紀に日本に伝わった仏教も平安時代に栄えました。仏教とともに伝来した書道、絵画、彫刻、詩なども隆盛し、宮廷生活に欠かせない芸術となりました。平仮名もこの時代に作られ、現在国歌として歌われている「君が代」も平安時代の『古今和歌集』に収録された和歌です。

植物の前に置かれる看板には、その植物が登場する文学作品からの引用文が記されています。庭園では、撫子、萩、あじさいなど様々な花々を見ることができます。

【タイトル】西神苑

【想定媒体】看板

<簡体字>**西神苑**

西神苑以及其他三座庭園都是國家指定名勝。西神苑的設計靈感來自佛教中的禪宗思想。禪宗在鎌倉時代(1185-1333)非常興盛，從茶道到造園，日本文化的許多方面無不受其影響。西神苑的中心是「白虎池」，而白虎正是守護西方的靈獸。一條遊覽步道圍繞著水池，步道兩旁栽種著杜鵑花叢。這座庭園綠樹環繞，寧靜祥和，在一片自然當中，大小石塊錯落有致地分布其間，可供人們停下腳步與思考。

小路邊平坦的岩石非常適合坐下休息；空地上平整的石塊，將遊客引至水邊。這些岩石與石塊布置得十分精妙，能讓遊人欣賞到庭園別樣的景緻：青松與枝條在水中的倒影青翠欲滴，池塘遠處灌木叢中的三塊立石，恰如佛陀與兩位脇侍菩薩。

白虎池沿岸叢植了大約 200 個品種共 2000 株花菖蒲，6 月是最佳賞花季節，池中的睡蓮也在那時盛開。

<繁体字>**西神苑**

西神苑以及其他三座庭園都是國家指定名勝。西神苑的設計靈感來自佛教中的禪宗思想。禪宗在鎌倉時代（1185-1333）非常興盛，從茶道到造園——日本文化的許多方面無不受其影響。西神苑的中心是「白虎池」，而白虎正是守護西方的靈獸。一條遊覽步道圍繞著水池，步道兩旁栽種著杜鵑花叢。這座庭園綠樹環繞，寧靜祥和，在一片自然當中，大小石塊錯落有致地分布其間，可供人們停下腳步與思考。

小路邊平坦的岩石非常適合坐下休息；空地上平整的石塊把遊客引到水邊。這些岩石與石塊布置得十分精妙，能讓遊人欣賞到庭園的特別景緻：青松與枝條在水中的倒影青翠欲滴，池塘遠處灌木叢中有三塊立石，宛如佛陀與兩位脅侍菩薩。

白虎池沿岸叢植了大約 200 個品種共 2000 株花菖蒲，6 月是最佳賞花季節，池中的睡蓮也在那時盛開。

<日本語仮訳>**西神苑**

ほかの 3 つの庭とともに、国の名勝に指定されている西神苑は鎌倉時代（1185-1333）に栄えた禅宗に着想を得ています。禅宗は、茶道から造園まで様々な日本文化に影響を与えました。西神苑の中心にあるのが「白虎池」です。白虎は、西の方角を守護しています。池を囲む遊歩道には、ツツジの木が植えられています。西神苑は、木々に囲まれた静かな庭園で、自然と一息ついたり考え事をしたりできるように石がさりげなく配置されています。

小道の脇にある平らな岩は座るのに最適で、開けた場所にある平らな石は、水際へと誘います。これらの岩や石は、庭園の特定の風景を間接的に楽しめるように精緻に配置されたものです。たとえば松の木とその枝が水面に映る様子や、池の反対側の植え込みに真っ直ぐに立ち上がった三つの岩は、お釈迦様と二柱の菩薩を表しています。

6 月には、白虎池の周辺に植えられたおよそ 200 種類・2,000 株の花菖蒲と、池の水面に浮かぶ睡蓮が見頃を迎えます。

【タイトル】 白虎池

【想定媒体】 看板

<簡体字>

白虎池

白虎池和平安神宮神苑里的其他池塘一样，池水均引自琵琶湖疏水（运河），而疏水的水源来自向东 10 公里外的滋贺县琵琶湖。这条运河于 1885 年开始动工，是 19 世纪晚期最庞大的土木工程项目之一。运河建设的第一阶段于 1890 年竣工，比平安神宮建成时早 5 年。

包括白虎池在内的神苑所有池塘，是各种各样植物和动物的家园，其中就有来自琵琶湖的鱼类和淡水蛤蜊。池塘里的纵带鱖是西日本独有的淡水鱼，身上有一条青蓝色条纹，已经濒临灭绝。除此之外，还有 12 种琵琶湖固有淡水鱼类以及贝类栖息于此，因此这里也被称为“迷你琵琶湖”。

在白虎池周边，种植了大约 200 种共 2000 株花菖蒲，还有数种睡莲，其中包括日本固有种日本萍蓬草，它的花比普通睡莲更小更圆。池中的花菖蒲和睡莲均在 6 月盛开。

白虎池与平安神宮神苑入口旁的塔楼“白虎楼”同名，两者均以中国古代天文学中守护西方的白虎命名。

<繁体字>

白虎池

白虎池和平安神宮神苑裡的其他池塘一樣，池水均引自琵琶湖疏水（運河），而疏水的水源來自向東 10 公里外的滋賀縣琵琶湖。這條運河於 1885 年開始動工，是 19 世紀晚期最龐大的土木工程專案之一。運河建設的第一階段於 1890 年竣工，比平安神宮建成時早 5 年。

包括白虎池在內的神苑裡的所有池塘，是各種植物和動物的家園，其中就有來自琵琶湖的魚類和淡水蛤蜊。池塘裡的縱帶鱖是西日本獨有的淡水魚，身上有一條青藍色條紋，已經瀕臨滅絕。除此之外，還有 12 種琵琶湖固有淡水魚類以及貝類棲息於此，因此這裡也被稱為「迷你琵琶湖」。

在白虎池周邊，種植了大約 200 種共 2000 株花菖蒲，還有幾種睡蓮，其中包括日本固有種本萍蓬草，它的花比普通睡蓮更小更圓。池中的花菖蒲和睡蓮均在 6 月盛開。

白虎池與平安神宮神苑入口旁的塔樓「白虎樓」同名，兩者均以中國古代天文學中守護西方的白虎命名。

<日本語仮訳>

白虎池

平安神宮神苑にある白虎池とその他の池の水は、東に 10km 離れた滋賀県の琵琶湖を水源とする琵琶湖疏水から引かれています。1885 年に着工した琵琶湖疏水は、19 世紀の終わりの最大規模の土木事業のひとつです。計画の第 1 段階は、平安神宮が創建される 5 年前の 1890 年に完了しました。

白虎池と他の池には、様々な植物と動物が生息しています。その中には、琵琶湖に生息する魚や淡水産のシジミ類が含まれています。体を横切る 1 本青緑色の縞を持つイチモンジタナゴは、絶滅が危惧される西日本に固有の淡水魚です。そのほか、12 種ほどの琵琶湖直系の固有種の淡水魚や貝が生息しているため、この池は「ミニ琵琶湖」とも呼ばれています。

白虎池の周辺には約 200 種類・2,000 株の花菖蒲が植えられており、また、日本の固有種とされるコウホネを含む数種の睡蓮も見られます。コウホネは一般に見られる睡蓮と比べて、より小さく丸い花を咲かせます。白虎池の睡蓮と花菖蒲は、6 月に花を咲かせます。

白虎池は神苑入口の横にある白虎楼と同じ名前を冠しています。どちらも、古代中国天文学の西を守護する白虎にちなんで名付けられています。

【タイトル】七代目小川治兵衛

【想定媒体】看板

<簡体字>

第七代小川治兵衛

第七代小川治兵衛(1860-1933)是明治时代(1868-1912)著名的造园大师，以“植治”为品牌打造了包括平安神宫、圆山公园在内的诸多京都著名庭园。他以擅用岩石和水景造园而闻名，被认为是现代日本园林的先驱。小川治兵卫创作了平安神宫神苑四座庭园中的三座，1895年建造了西神苑和中神苑，1916年完成了东神苑。

这些庭园既明亮又开放，拥有从琵琶湖疏水（运河）引水的大池塘。琵琶湖疏水建成于1890年，它将10公里外的琵琶湖湖水引入了京都东部地区。

小川治兵卫在1897年建造了从中神苑流向西神苑的小溪。小溪里的岩石都经过精心排列，令人感觉这是一条自然流动的溪流。溪边小道故意被设计成逆流而上的前行路径，能让游客放慢脚步享受周围的环境。

对于石材的再利用是小川治兵卫的作品特色，这种特色在他设计的许多著名庭园中都能找到，平安神宫神苑亦是如此。来访者如有兴趣或许可以留意一下这些从桥梁和其他建筑中回收来的石材。

<繁体字>

七代目小川治兵衛

七代目小川治兵衛（1860-1933）是明治時代（1868-1912）著名的造園大師，以「植治」為品牌打造了包括平安神宮、圓山公園在內的許多京都著名庭園。他以擅用岩石和水景造園而聞名，被認為是現代日本園林的先驅。他創作了平安神宮神苑四座庭園中的三座：1895年建造的西神苑和中神苑，以及1916年完成的東神苑。

這些庭園既明亮又開放，擁有從琵琶湖疏水（運河）引水的大池塘。琵琶湖疏水建成於1890年，它將10公里外的琵琶湖湖水引入了京都東部地區。

小川治兵衛在1897年建造了從中神苑流向西神苑的小溪。小溪裡的岩石都經過精心排列，令人感覺這是一條自然流動的溪流。溪邊小道故意被設計成逆流而上的前行路徑，能讓遊客放慢腳步享受周圍的環境。

小川治兵衛的作品特色之一就是善用石材的再利用。這在他設計的眾多知名庭園中皆有展現。同樣的設計概念也延伸至平安神宮的神苑中，若遊客對此感興趣，或許可以留意那些從橋樑和其他建築物中重新運用的石材。

<日本語仮訳>

七代目小川治兵衛

七代目小川治兵衛（1860-1933）は、明治時代（1868-1912）の著名な作庭家です。彼は「植治」と呼ばれ、平安神宮、円山公園など幾多の名園を造りました。彼は水と石を使った作庭で有名で、近代的な日本庭園の先駆者と考えられています。彼は、ここ平安神宮神苑にある四つの庭園のうち、1895年完成した西神苑と中神苑、および1916年に完成した東神苑の三つを手がけました。

これらの庭園は明るく開放的で、琵琶湖疎水から引かれた水で作られた大きな池を有しています。琵琶湖疎水は、10Km離れた場所から京都の東部に水を引くため1890年に建設されました。

小川治兵衛は、1897年に、中神苑から西神苑に流れる小川を造りました。自然な流れを表現するため、岩が細心の注意を払って配置されています。小川に沿った小道は水の流れに逆らって進むようになり、ゆったりとしたペースで周囲を楽しんでもらえるように敢えて設計されたものです。

神苑内で見られる、橋やその他の建造物から再利用された石にも注目です。石の再利用は小川治兵衛のトレードマークであり、彼が設計した多くの庭園に見ることができます。

【タイトル】 中神苑

【想定媒体】 看板

<簡体字>**中神苑**

中神苑是 1895 年平安神宮建成之初同時對外開放的庭園之一，由明治時代(1868-1912)著名造園大師、第七代小川治兵衛(1860-1933)設計建造，他以能巧妙運用岩石和水景造園而聞名。這是一座池泉式庭園，與平安神宮神苑中的其他三座一起被指定為國家名勝。相比同樣由小川治兵衛在神宮創建時所建造的西神苑，這裡面積略大且更為開闊。

中神苑的造園靈感來自於室町時代(1336-1573)。當時禪宗十分盛行，對能劇、茶道、造園和花道的發展產生了強烈影響。

庭園通風良好，開放通透，小路邊還有茶室“東屋”。中神苑體現了日本的侘寂美學，即從殘缺和無常中發現簡單之美，這種審美在茶道和其他傳統藝術中都十分重要。

園中池塘名為“蒼龍池”，與平安神宮中庭右側的蒼龍樓同名，兩者均以中國古代天文學中守護東方的蒼龍命名。

一連串的踏腳石穿過池塘，遊客可從池塘和不同角度觀賞園中風景，這也是中神苑頗具趣味的特色。這些石頭的高度、形狀和大小各不相同，形成了一條曲折蜿蜒的道路，由此被稱為“卧龍橋”。小川治兵衛的創作意圖則是讓遊人感受“坐在龍背上，在映入池塘的雲間飛舞”的情形。

在庭園里還能找到杜鵑花、睡蓮和光葉鸞尾。

<繁体字>**中神苑**

中神苑是 1895 年平安神宮建成之初同時對外開放的庭園之一，由明治時代（1868-1912）著名造園大師、七代目小川治兵衛（1860-1933）設計建造，他以能巧妙運用岩石和水景造園而聞名。這是一座池泉式庭園，與平安神宮神苑中的其他三座一起被指定為國家名勝。相比同樣由小川治兵衛在神宮創建時所建造的西神苑，這裡面積略大且更為開闊。

中神苑的造園靈感來自於室町時代（1336-1573）。當時禪宗十分盛行，對能劇、茶道、造園和花道的發展產生了深遠的影響。

庭園通風良好，開放通透，小路邊還有茶室「東屋」。中神苑展現了日本的侘寂美學，也就是從殘缺和無常中發現簡單之美，這種審美在茶道和其他傳統藝術中都十分重要。

園中池塘名為「蒼龍池」，與平安神宮中庭右側的蒼龍樓同名，兩者均以中國古代天文學中守護東方的蒼龍命名。

一連串的踏腳石穿過池塘，遊客可從池塘和不同角度觀賞園景，這也是中神苑頗具趣味的特色。這些石頭的高度、形狀和大小各不相同，形成了一條曲折蜿蜒的道路，由此被稱為「臥龍橋」。小川治兵衛的創作意圖則是讓遊人感受「騎於龍背上，在映入池塘的雲間飛舞」的情形。

在庭園裡還能看到杜鵑花、睡蓮和光葉鳶尾。

<日本語仮訳>

中神苑

中神苑は、1895年に平安神宮と同時に一般公開された庭園のひとつです。巧みな岩や石使いで知られる明治時代（1868-1912）の名作庭家、七代目小川治兵衛（1860-1933）により作られました。この池泉庭園はほかの3つの庭とともに、国の名勝に指定されており、同じく小川治兵衛が創建時に造園した西神苑よりもやや大きく、開けた作りになっています。

中神苑は室町時代（1336-1573）に着想を得ています。室町時代には禅宗が繁栄し、能、茶道、造園、華道などの発展に強い影響をもたらしました。

中神苑は風通しが良く開放的で、小道の脇には茶を供する「東屋」もあります。中神苑は、茶道やその他の日本の伝統芸能で重要とされる、不完全の美学「わびさび」を表現しています。

園内の池の名前は蒼龍池といい、神宮の中庭の東側にある蒼龍楼と同じ名前を冠しています。どちらも、古代中国の天文学の東を表す蒼龍にちなんで名づけられました。

池を渡るように配された飛び石は、池からの眺めや、違った角度からの眺めを楽しめる、遊び心のある演出と言えるでしょう。高さや形、大きさの違った飛び石は、曲がりくねった道を描いており、「臥龍橋」と呼ばれています。この橋を渡る人には、「龍の背にのって池に映る空の雲間を舞うかのような気分を味わっていただく」という小川治兵衛の作庭の意図が織り込まれています。

中神苑には、ツツジ、睡蓮、カキツバタなどが植わっています。

【タイトル】 臥龍橋

【想定媒体】 看板

<簡体字>

卧龙桥

这一排蜿蜒穿过池塘的踏脚石被命名为“卧龙桥”，因为这些石块逶迤而立，令人联想起巨龙背脊的弯曲线条。倒映在水中的天空和云朵平添想象，让这些踏脚石看起来就像一条苍龙在天空翱翔。

这些石块是由曾经横跨在京都鸭川上的“三条大桥”和“五条大桥”的桥墩而来，两座桥梁都是由丰臣秀吉(1537-1598)于16世纪建造，但在后来几个世纪中被拆毁，并被更大的桥梁取代。

以这种方式将石材回收再利用，是造园大师、第七代小川治兵卫(1860-1933)造园的鲜明特征。他设计了平安神宫神苑的西神苑、中神苑和东神苑。

<繁体字>

臥龍橋

這一排蜿蜒穿過池塘的踏腳石被命名為「臥龍橋」，因為這些石塊逶迤而立，令人聯想起巨龍背脊的彎曲線條。倒映在水中的天空和雲朵平添想像，讓這些踏腳石看起來像一條蒼龍在天空翱翔。

這些石塊是由曾經橫跨在京都鴨川上的「三條大橋」和「五條大橋」的橋墩而來，兩座橋樑都是由豐臣秀吉（1537-1598）於16世紀建造，後在接下來的幾個世紀中被更大的橋樑所取代。

這種將石材回收再利用的方式，是造園大師、七代目小川治兵衛（1860-1933）造園的鮮明特徵。他設計了平安神宮神苑的西神苑、中神苑和東神苑。

<日本語仮訳>

臥龍橋

曲がりくねった線を描く、池を渡るように配された飛び石の名前は、臥龍橋といいます。曲線を描く飛び石の配置が、まるで龍の背中を想起させることから名付けられました。水面に映る空や雲が、この飛び石をまるで天を舞う龍の姿のように見せています。

飛び石は、京都鴨川の三条大橋と五条大橋を支えていた橋脚が用いられています。それらの橋は16世紀に豊臣秀吉（1537-1598）によって造営されたが、後に取り壊され、より大きな橋が架けられました。

石材の再利用は、平安神宮の西神苑、中神苑、東神苑を設計した作庭家、七代目小川治兵衛（1860-1933）の特徴的な手法です。

【タイトル】東神苑

【想定媒体】看板

<簡体字>

东神苑

东神苑是明治时代(1868-1912)著名的造园大师、第七代小川治兵卫(1860-1933)为平安神宮建造的第三座庭園，他以巧妙运用岩石和水景造園而闻名。这是平安神宮神苑四座庭園中最大的一座，与其他三座一样都是国家指定名胜。游览东神苑时还可以观赏到一些优雅的木构建筑，比如从京都御所移至此处的泰平閣。

庭園的创作灵感来自江戶时代(1603-1867)的大名庭園。大名是江戶时代的地方領主，他們的庭園規模宏大，園中有可以觀賞庭園的茶室等建築，昭示着他們拥有高度文化修養和巨大財富。

东神苑围绕着大池塘“栖凤池”而建，采用了日本造園技术之一的“借景”手法令其面积更显广阔。池塘上的廊桥“泰平閣”就是以远山为背景。

池塘周围的小路两旁种有櫻花树，水边还生长着一些八重红枝垂櫻，4月上旬开放时堪称绝景。庭園里还种植着紫藤、杜鹃花和鸭跖草（跖，音同“直”）。每年7月，鸭跖草会绽放精致的蓝色小花，花期仅为一天。

东神苑和平安神宮神苑的其他庭園都是鸟儿的天堂，在这里可以观赏到苍鹭、翠鸟、暗绿绣眼鸟和大山雀等多种鸟类。

<繁体字>

東神苑

東神苑是明治時代（1868-1912）著名的造園大師、七代目小川治兵衛（1860-1933）為平安神宮建造的第三座庭園，以巧妙運用岩石和水景造園而聞名。這是平安神宮神苑四座庭園中最大的一座，與其他三座一樣都是國家指定名勝。東神苑以優雅的木構建築聞名，比如有從京都御所移至此處的泰平閣。

庭園的創作靈感來自江戶時代（1603-1867）的大名庭園。大名是江戶時代的地方領主，他們的庭園規模宏大，園中有可以觀賞庭園等建築，昭示著他們擁有高度文化修養和巨大財富。

東神苑圍繞著大池塘「棲鳳池」而建，為了使其規模更顯廣闊，採用了「借景」的技巧，這是日本的造園技術之一。池塘上的廊橋「泰平閣」就以遠山為背景。

池塘周圍的小路兩旁種有櫻花樹，水邊還生長著一些八重紅枝垂櫻，在 4 月上旬開放時堪稱絕景。庭園裡還種植著紫藤、杜鵑花和鴨跖草（跖，音同「直」）。每年 7 月，鴨跖草會綻放精緻的藍色小花，花期僅持續一天。

東神苑和平安神宮神苑的其他庭園都是鳥兒的天堂，在這裡可以觀賞到蒼鷺、翠鳥、暗綠繡眼鳥和大山雀等多種鳥類。

<日本語仮訳>

東神苑

東神苑は、岩や水を巧みに使用することで有名な明治時代（1868-1912）の名作庭家、七代目小川治兵衛（1860-1933）が設計を手掛けた平安神宮の三番目の庭園です。四つある平安神宮の神苑の中で最大で、ほかの 3 つの庭とともに、国の名勝に指定されており、園内には、京都御所にあったものを移築した泰平閣などの美しい木造建造物があります。

東神苑は、江戸時代（1603-1867）の大名庭園に着想を得ています。大名は江戸時代における各地域の統治者で、大名庭園は規模も大きく、庭を眺める茶室などの建造物で構成されており、その文化的洗練度や富を象徴するものでした。

東神苑は大きな池「栖鳳池」を中心にデザインされており、その大きさにより広がりを持たせるため、庭園の外の風景を織り込んだ「借景」と呼ばれる手法を用いています。「借景」は、日本特有の作庭手法の一つです。池にかかった屋根のある橋である「泰平閣」の向こうには、背景に山が見えます。

池の周囲の園路沿いには桜の木、池の岸には八重紅しだれ桜が植えられています。4 月上旬咲く頃は絶景となります。この庭園には、藤やツツジ、毎年 7 月に一日だけ繊細な青い花を咲かせるツユクサなどが植えられています。

東神苑を含む平安神宮の神苑では、サギや、カワセミ、メジロ、シジュウカラなど、様々な鳥を観察することができます。

【タイトル】 平安神宮の水と池

【想定媒体】 看板

<簡体字>

平安神宮の水と池

水，是平安神宮神苑設計的一個關鍵要素。東神苑的棲鳳池是神宮第一座、也是最大的池塘。它的池水流入中神苑的蒼龍池，然後繼續流向西神苑和南神苑。

平安神宮神苑裡的水扮演許多角色，有些化作美學元素，有些出於實用目的。比如，池塘反射了光線，可以令庭園看起來更為明亮和開闊；在發生火災時，它們可以成為滅火用的水源；水面平靜如同鏡面時，更加突顯了周圍的迷人景色。

溪流發出柔和的聲音，從神宮建築的東側按逆時針方向流淌。主路則從神社的西側開始，順時針穿過庭園，逆流而行。這樣的設計能讓遊人放慢腳步，悠閒地享受周圍的環境。

位於建築群東南角的這條鵝卵石引水道將琵琶湖疏水（運河）的水引入平安神宮神苑。建造這條運河是一項重大的土木工程專案，也是 1868 年東京成為首都後，京都為促進產業發展的一大舉措。為了將附近滋賀縣的琵琶湖水引入京都，這條運河在 1885 年至 1912 年間分兩階段建造，第一階段於 1890 年完成。隨著運河開通，京都各地建起了許多精美庭園，其中一些設計得標新立異。

<繁体字>

平安神宮の水與池

水，是平安神宮神苑設計的一個關鍵要素。東神苑的棲鳳池是第一座也是最大的一座池塘。其池水流入中神苑的蒼龍池，然後繼續流向西神苑和南神苑。

平安神宮神苑裡的水扮演許多角色，有些化作美學元素，有些出於實用目的。比如，池塘反射了光線，賦予庭園明亮和開闊的感覺；在發生火災時，它們可以成為滅火用的水源；水面平靜如同鏡面時，更加突顯了周圍的迷人景色。

溪流發出柔和的聲音，從神宮建築的東側按逆時針方向流淌。主路則從神社的西側開始，順時針穿過庭園，逆流而行。這樣的設計能讓遊人放慢腳步，悠閒地享受周圍的環境。

位於建築群東南角的這條鵝卵石引水道將琵琶湖疏水（運河）的水引入平安神宮神苑。建造這條運河是一項重大的土木工程專案，也是 1868 年東京成為首都後，京都為促進產業發展的一大舉措。為了將附近滋賀縣的琵琶湖水引入京都，這條運河在 1885 年至 1912 年間分兩階段建造，第一階段於 1890 年完成。隨著運河開通，京都各地建起了許多精美庭園，其中一些設計得標新立異。

<日本語仮訳>

平安神宮の水と池

平安神宮の神苑では、水が中心的な役割を果たしています。東神苑の栖鳳池は、神宮最初の池であり、最も大きい池でもあります。栖鳳池の水は、中神苑の蒼龍池へと流れ込み、その後、西神苑、南神苑へと流れていきます。

平安神宮の神苑の水は、あるものは美的要素として、またあるものは実用的な意図を持つなど様々な役割を果たしています。池が光を反射することにより、庭園をより大きく、明るく見せる効果があります。また、火災が発生した際の水源としても機能します。水面は鏡のような役割を果たし、周囲の景色をより際立たせます。

小川は穏やかなせせらぎの音を奏で、社殿の東側から流れる水は、反時計回りに設計されています。神苑の入り口は社殿の西側にあり、順路は時計回りになっています。水の流れに逆らって進むことで、急がずゆったりとしたペースで園内を散策できるようになっています。

琵琶湖疏水から引かれた水は、平安神宮の南東に位置する、この小石が敷かれた水路を通過して、神苑へと流れていきます。琵琶湖疏水の建設は最大規模の土木事業プロジェクトであり、東京に首都が移った 1868 年以降の京都の産業を促進する取り組みの一環でした。琵琶湖疏水は、近隣の滋賀県にある琵琶湖から京都へ水を引くため、1885 年から 1912 年にかけて二段階に分けて建設されました。第一段階は、1890 年に完成しました。琵琶湖疏水の完成により、京都の様々な地域で美しい庭園が作られ、その中のいくつかは、革新的な設計が施されています。

【タイトル】 泰平閣と尚美館：京都復興の象徴

【想定媒体】 看板

<簡体字>

泰平閣与尚美馆：京都复兴的象征

在 1868 年迁都东京之后，当地人为复兴京都这座故都做出了各种努力。从 1871 年至 20 世纪 20 年代，京都各地都举办了博览会，其中规模最大的一次，即第四届内国劝业博览会，于 1895 年在京都御所召开。同年，为纪念平安京（平安时代的古都，京都的前身）成立 1100 周年又建立了平安神宫。1916 年建造东神苑时，京都御所中的一个博览会展厅被移至其内，命名为“尚美馆”。同时，另一座御所建筑“泰平阁”也被移至此处。

矗立在池塘边的尚美馆主要为了装饰庭园，并不对公众开放。泰平阁是一座廊桥，中段有一间两层楼的亭子。廊桥有一个用日本扁柏皮修葺的屋顶，屋檐为唐破风（横置弓形屋檐装饰）式样。中央的亭阁顶部竖立着一只凤凰，象征着美德和优雅。桥内设有木头长椅，游客可以在此悠闲地欣赏池塘和庭园的美景。

<繁体字>

泰平閣和尚美館：京都復興的象徴

在 1868 年遷都東京之後，當地人為復興京都做出了許多努力。從 1871 年至 1920 年代，京都各地都舉辦了博覽會。規模最大的一次是第四屆內國勸業博覽會，於 1895 年在京都御所召開。同年，平安神宮為紀念平安京（平安時代的古都，京都的前身）成立 1100 週年而建立。1916 年建造東神苑時，京都御所中的一個博覽會展廳被移至其內，命名為「尚美館」。同時，另一座御所建築「泰平閣」也被移至此處。

矗立在池塘邊的尚美館主要為了裝飾庭園，並不對大眾開放。泰平閣是一座廊橋，中段有一間兩層樓的亭子。廊橋擁有檜木皮修葺的屋頂，並修建了唐破風（橫置弓形屋簷裝飾）屋簷。中央的亭閣頂部豎立著一隻鳳凰，象徵著美德和優雅。橋內設有木頭長椅，遊客可以在此悠閒地欣賞池塘和庭園的美景。

<日本語仮訳>

泰平閣と尚美館：京都復興の象徴

1868 年の東京遷都の後、古都京都を復興させるため、様々な取り組みが行われました。1871 年から 1920 年代にかけて、京都の各所で博覧会が開催されました。最も大規模な第 4 回内国勸

業博覧会は、1895年に京都御所にて開催されました。同年に、平安京（古代の都で京都の古名）の創建1,100周年を記念して平安神宮が建立されました。1916年に東神苑が造られた際に、御所の博覧会場の一つが神苑に移築され、尚美館と名付けられました。同時期に御所から移築されたもう一つの建築物が「泰平閣」です。

池の水際に佇む尚美館は主に装飾的なもので一般には公開されていません。泰平閣は、中央が二層構造になっている屋根付きの橋殿です。屋根は桧皮葺の唐破風で、中央の楼閣の上には、徳と気品を象徴する鳳凰の装飾が施されています。泰平閣内部には木製のベンチがあり、ゆっくりと庭園や池の景色を楽しむことができます。

【タイトル】 平安神宮と京都の復興

【想定媒体】 看板

<簡体字>

平安神宮与京都复兴（完整版）

在1868年迁都东京后，京都日渐衰落，而平安神宮就是京都复兴的象征。当时兴起了诸多大规模的京都复兴项目，旨在刺激经济增长，弘扬古都历史。平安神宮的建设也是其中之一。

794年，当时的日本首都从奈良迁至京都，即平安京。此后的1000多年，它一直是天皇居住之地。明治时代(1868-1912)，东京成为新首都，与此同时，平安京也正式更名为京都。

从江户时代(1603-1867)过渡到明治时代期间，社会和政治十分动荡。在明治维新和迁都东京的双重打击之下，京都的经济极度衰退。

19世纪70年代，政府为京都提供财政支持，以催生新的产业和鼓励复兴。其中一个关键项目是琵琶湖疏水（运河）的建设，它的建成将把京都与附近滋贺县的琵琶湖连接起来。1890年，琵琶湖疏水完工，不仅提供了水力发电，也疏通了水路运输。京都发展了新工业，并开设了水力发电厂，为城市的有轨电车和工厂提供电力。

为了展示新兴产业，京都多次举办博览会和交易会，其中最大的一次是于1895年举办的第四届内国劝业博览会。展会期间，企业展示新技术，城里还开通了连接京都站和博览会会场的有轨电车。同年，展会地点附近的平安神宮和神苑四座庭园中的两座开始对外开放。

平安神宮是京都复兴的永恒象征，也是对这座千年古都的致敬。

<簡体字>

平安神宮与京都复兴（看板版）

794年，日本首都从奈良迁至京都，即平安京。此后的1000多年，它一直是天皇居住之地。明治时代(1868-1912)，东京成为新首都，平安京也正式更名为京都。

从江户时代(1603-1867)过渡到明治时代期间，在明治维新和迁都东京的双重打击下，京都的经济极度衰退。为刺激经济增长、弘扬古都历史，当时兴起了诸多大规模的京都复兴项目，而建设平安神宮就是其中之一。

19世纪70年代，政府为京都提供了财政支持以鼓励复兴，其中一个关键项目是琵琶湖疏水（运河）的建设，它的建成将把京都与附近滋贺县的琵琶湖连接起来。1890年，琵琶湖疏水（运河）的建设，它的建成将把京都与附近滋贺县的琵琶湖连接起来。1890年，琵琶湖疏水（运河）的建设，它的建成将把京都与附近滋贺县的琵琶湖连接起来。

琵琶湖疏水完工，不僅提供了水力發電，也疏通了水路運輸。京都還開設了水力發電廠，為城市的有軌電車和工廠提供電力。

1895 年，京都舉辦了最大規模的第四屆內國勸業博覽會。展會期間，企業展示新技術，城裡开通了連接京都站和博覽會會場的有軌電車。同年，會場附近的平安神宮和神苑四座庭園中的兩座開始對外開放。

平安神宮是京都復興的永恆象徵，也是對這座千年古都的致敬。

<繁體字>

平安神宮與京都復興（完整版）

1868 年遷都東京後，京都日漸衰落，而平安神宮就是京都復興的象徵。當時，各種大規模的京都復興計劃應運而生，目的在於刺激經濟成長，同時傳承京都作為古都的歷史。平安神宮的建設也是其中之一。

794 年，當時的日本首都從奈良遷至京都，即平安京。此後的 1000 多年，它一直是天皇居住之地。明治時代（1868-1912），東京成為新首都，與此同時，平安京也正式更名為京都。

從江戶時代（1603-1867）過渡到明治時代期間，社會和政治十分動盪。在明治維新和遷都東京的雙重打擊之下，京都的經濟大幅衰退。

1870 年代，政府為京都提供財政援助，以催生新的產業和鼓勵復興。其中一個關鍵專案是琵琶湖疏水（運河）的建設，它的建成將把京都與附近滋賀縣的琵琶湖連接起來。1890 年，琵琶湖疏水完工，不僅提供了水力發電，也疏通了水路運輸。京都發展了新工業，並開設了水力發電廠，為城市的路面電車和工廠提供電力。

為了展示新興產業，京都多次舉辦博覽會和交易會，其中最大的一次是於 1895 年的第四屆內國勸業博覽會。展會期間，企業展示了新技術，城裡還开通了連接京都站和博覽會會場的路面電車。同年，展會地點附近的平安神宮和神苑四座庭園中的兩座開始對外開放。

平安神宮是京都復興的永恆象徵，也是對這座千年古都的致敬。

<繁體字>

平安神宮與京都復興（看板版）

794 年，日本首都從奈良遷至京都，即平安京。此後的 1000 多年，它一直是天皇居住之地。明治時代（1868-1912），東京成為新首都，平安京也正式更名為京都。

從江戶時代（1603-1867）過渡到明治時代期間，在明治維新和遷都東京的雙重打擊之下，京都的經濟大幅衰退。為了刺激經濟成長、傳承京都作為古都的歷史，當時各種大規模的京都復興計劃應運而生，平安神宮的建設也是其中之一。

1870年代、政府が京都に財政援助を提供し、復興を奨励した。その中で重要なプロジェクトは琵琶湖疏水（運河）の建設であり、これは京都と近隣の滋賀県を琵琶湖で結ぶことになった。1890年、琵琶湖疏水の完成により、水力発電が可能となり、また、物資を船で輸送できるようになった。これにより、京都では新産業が発展し、水力発電所が開業し、市電や工場に電力が供給されるようになった。

1895年、京都で開催された最大の第4回内国勧業博覧会。展覧会期間、企業は新技術、街に開通した京都駅と博覧会会場の路面電車を展示した。同年、会場近くの平安神宮と神苑の4つの庭園が公開された。

平安神宮は京都復興の永続的な象徴であり、千年の都として市の遺産を讃えるものである。

<日本語仮訳>

平安神宮と京都の復興（全体バージョン、約 500 中国語文字）

平安神宮は、1868年以降の東京への遷都に伴い衰退した京都の復興の象徴です。平安神宮の建設は、経済の促進と成長、古都としての歴史を讃える事を意図とした、複数の大規模なプロジェクトの一つでした。

794年の奈良からの遷都により、京都は平安京として誕生しました。明治時代（1868-1912）に東京が首都となるまで、千年以上にわたり天皇の居住地であり続けましたが、東京への遷都と同時に平安京は京都と改称されました。

江戸時代（1603-1867）から明治時代への移行は社会的・政治的混乱を伴いました。明治維新と東京への首都の移転は、京都の経済を著しく弱体化させました。

1870年代、政府は市に財政支援を行い、新産業の促進と、復興を奨励しました。鍵となるプロジェクトの一つが、近隣の滋賀県にある琵琶湖と京都を繋ぐ、琵琶湖疏水の建設でした。1890年の琵琶湖疎水の完成によって発電が可能となり、また、物資を船で輸送できるようになりました。これにより京都では新産業が発展し、水力発電所が開業し、市電や工場に電力が供給されるようになりました。

京都の新興産業を紹介するために市は博覧会や見本市を開催し、その最大のものが1895年に開催された第4回内国勧業博覧会でした。企業は新技術を披露し、市内には京都駅と博覧会会場を結ぶ路面電車が開通しました。同年、博覧会会場の近くに、平安神宮と現在四つあるうちの二つの神苑が開園しました。

平安神宮は京都復興の永続的な象徴であり、千年の都として市の遺産を讃えるものです。

<日本語仮訳>

平安神宮と京都の復興（看板バージョン、約 400 中国語文字）

794年の奈良からの遷都により、京都は平安京として誕生しました。明治時代（1868-1912）に東京が首都となるまで、千年以上にわたり天皇の居住地であり続けましたが、東京への遷都と同時に平安京は京都と改称されました。

江戸時代（1603-1867）から明治時代への移行に伴う明治維新と東京への首都の移転は、京都の経済を著しく弱体化させました。当時、経済の促進と成長、古都としての歴史を讃える事を意図とした、複数の大規模なプロジェクトが立ち上げられ、平安神宮の建設はその象徴でした。

1870年代、政府は市に財政支援を行い、京都の復興を奨励しました。鍵となるプロジェクトの一つが、近隣の滋賀県にある琵琶湖と京都を繋ぐ、琵琶湖疎水の建設でした。1890年の琵琶湖疎水の完成によって発電が可能となり、京都では水力発電所が開業し、市電や工場に電力が供給されるようになり、また、物資を船で輸送できるようになりました。

1895年に京都で最大規模を誇る第四回内国勸業博覧会が開催されました。企業は新技術を披露し、市内には京都駅とイベント会場を結ぶ路面電車が開通しました。同年、博覧会会場の近くに、平安神宮と現在四つあるうちの二つの神苑庭園が開園しました。

平安神宮は京都復興の永続的な象徴であり、千年の都として市の遺産を讃えるものです。

【タイトル】 平安神宮の神苑巡り

【想定媒体】 看板

<簡体字>

平安神宮神苑巡遊

平安神宮神苑占地 33,000 平方米，拥有种类繁多的植物和动物。这些美丽的庭园以大型池塘、蜿蜒小溪和历史建筑著称。所有庭园均向公众开放，入口位于白虎楼旁边，约 40 分钟左右可游览完毕。

平安神宮神苑的四座庭園分別受到平安時代(794-1185)、鎌倉時代(1185-1333)、安土桃山時代(1568-1603)和江戶時代(1603-1867)四個不同歷史時期的啟發。庭園裡有櫻花樹、花菖蒲、杜鵑花、睡蓮、松樹和楓樹等數百種植物，它們都被精心挑選後種植於此，包攬了園中一年四季的繽紛色彩。

苑內設有英語指示牌，提供關於庭園及其特點的信息，來訪者可以通過它們了解京都和日本的详细历史。

<繁体字>

平安神宮神苑巡遊

平安神宮神苑占地 33,000 平方公尺，擁有種類繁多的植物和動物。這些美麗的庭園以大池塘、蜿蜒小溪和歷史建築著稱。所有庭園均向大眾開放，入口位於白虎樓旁邊，約 40 分鐘左右可遊覽完畢。

平安神宮神苑的四座庭園分別受到平安時代（794-1185）、鎌倉時代（1185-1333）、安土桃山時代（1568-1603）和江戶時代（1603-1867）四個不同歷史時期的啟發。庭園裡有櫻花樹、花菖蒲、杜鵑花、睡蓮、松樹和楓樹等數百種植物，它們都被精心挑選後種植於此，包攬了園中一年四季的繽紛色彩。

神苑內的告示牌以英語介紹庭園、特點，以及京都和日本的詳細歷史。

<日本語仮訳>

平安神宮の神苑巡り

平安神宮の神苑は、広さ 33,000 平方メートルに及び、幅広い動植物の住処となっています。これらの美しい庭園は、広い池や曲がりくねった小川、歴史的建造物を特徴としています。神苑は一般に公開されており、40 分ほどで回ることができます。入り口は白虎楼近くの門です。

それぞれの庭園は、平安時代（794-1185）、鎌倉時代（1185-1333）、桃山時代（1568-1603）そして江戸時代（1603-1867）の四つの異なる時代に着想を得ています。桜や花菖蒲、ツツジ、睡蓮や、松、楓などを含む数百種類に及ぶ植物が、一年を通して色づくよう設計され、植えられています。

敷地内に設置されている看板には、庭園とその特徴に関する情報が英語で記載されており、京都および日本の詳しい歴史を紹介しています。

【タイトル】 平安神宮の神苑

【想定媒体】 看板

<簡体字>

平安神宮神苑

平安神宮神苑是国家指定名胜，共分为四座庭园，每一座都展示了日本不同历史时期的审美意识和设计特色。庭园设计中广泛使用了水景，有大型池塘，也有蜿蜒小溪。此外，还有数百种花卉为多类野生动物提供栖息地。

南神苑

南神苑是一座经典的回游式庭园，受平安时代(794-1185)风格的启发，拥有狭窄蜿蜒的小路和曲折的小溪。这里的植物和花卉在平安时代的古典文学作品中经常被提及，比如八重红枝垂樱。

西神苑

西神苑是宁静而充满禅意的庭园，以一座大池塘为中心，主要特色是被巧妙配置的岩石。园中的杜鹃花、花菖蒲和睡莲在4月至7月依次盛放。

中神苑

中神苑的灵感来自于室町时代(1336-1573)的侘寂美学（体会事物的残缺、古旧之美）。这里有一座大池塘，池中有一座小岛和横跨池塘的踏脚石，还有一间提供茶水和便餐的茶室“东屋”。

东神苑

东神苑的设计最为宏伟，沿袭了江户时代(1603-1867)的流行风格。它的特色是从京都御所迁来的优雅木构建筑，以及一座被梅树、樱花树、枫树和松树围绕的大池塘。

<繁体字>

平安神宮神苑

平安神宮神苑是國家指定名勝，共分為四座庭園，每座庭園都展示了日本不同歷史時期的審美意識和設計特色。庭園設計中廣泛使用了水景，有大型池塘，也有蜿蜒小溪。此外，還有數百種花卉為多類野生動物提供棲息地。

南神苑

南神苑は一座經典的迴遊式庭園，受平安時代（794-1185）風格的啟發，擁有狹窄蜿蜒的小路和曲折的小溪。這裡的植物和花卉在平安時代的古典文學作品中經常被提及，比如八重紅枝垂櫻。

西神苑

西神苑是寧靜而充滿禪意的庭園，以一座大池塘為中心。其主要特色是被巧妙設置的岩石。園中的杜鵑花、花菖蒲和睡蓮在4月至7月依次盛放。

中神苑

中神苑的靈感來自於室町時代（1336-1573）的侘寂美學（體會事物的殘缺、古舊之美）。這裡有一座大池塘，池中有一座小島和橫跨池塘的踏腳石，還有一間提供茶水和便餐的茶室「東屋」。

東神苑

東神苑的設計最為宏偉，沿襲了江戶時代（1603-1867）的流行風格。其特色是從京都御所遷來的優雅木構建築，以及一座被梅樹、櫻花樹、楓樹和松樹圍繞的大池塘。

<日本語仮訳>

平安神宮の神苑

平安神宮の神苑は、国の名勝に指定されています。神苑は、四つの庭園で構成されており、それぞれが日本の歴史における各時代ならではの美的感覚とデザインの特徴を取り入れています。大きな池や蛇行する小川など、水はその設計に大きく関わっています。また、数百種類もの花々は、様々な野生生物の生息地となっています。

南神苑

南神苑は、平安時代（794-1185）に着想を得た、狭い曲がりくねった小道や蛇行する小川がある、古典的な回遊式庭園です。この庭園には八重紅しだれ桜など、平安時代の文学作品に登場する植物が植えられています。

西神苑

西神苑は大きな池を中心とした、禅宗に着想を得た静謐な庭園です。この庭園の特徴は、巧みに配された岩です。西神苑では4月から7月にかけて、花菖蒲、睡蓮、ツツジが次々に咲きます。

中神苑

中神苑は、室町時代（1336-1573）のわびさび（不完全な美しさ）の美学が反映されています。小さな島と飛び石のある大きな池と、お茶や軽食を提供する茶屋「東屋」があります。

東神苑

東神苑は、江戸時代（1603-1867）に流行したデザインを取り入れた、最も壮大な庭園です。京都御所から移築された華やかな建造物と、梅や、桜、楓、松などの木が並ぶ大きな池が特徴です。

【タイトル】 平安神宮

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

平安神宮为了弘扬古都京都的历史文化而建，其华丽精美的建筑和典雅美丽的庭园都对公众开放。京都即千年古都平安京，平安神宮的殿宇按八分之五的比例复原了平安京最深处的“朝堂院”。

欢迎探索平安神宮及其风景优美的庭园，亲身感受京都丰富的文化遗产！

平安神宮

平安神宮是 1895 年为纪念迁都平安京 1100 周年而建。平安京的建筑格局受到中国唐代(618-907)首都长安（今西安）的影响，自 8 世纪晚期至 19 世纪中叶，它一直是日本首都。平安神宮供奉着平安时代(794-1185)的第一位天皇——桓武天皇(737-806)和统治平安京的最后一位天皇——孝明天皇(1831-1866)。

仿照古都的模式

与其他神社不同，平安神宮的殿宇是按照平安京天皇御所正厅“朝堂院”的八分之五比例复制而成。朝堂院是平安京的行政中心，也是天皇处理政务之地。平安神宮以铺满砾石的宽敞中庭为中心，华丽的厅堂和建筑左右对称而列。其中，太极殿（外拜殿）、应天门（正门）、龙尾坛、苍龙楼和白虎楼等神宮初建时的建筑都是国家指定重要文化财产。在中庭的白色砾石和四周郁郁葱葱的树木映衬之下，鲜艳的朱红色建筑显得格外醒目。

探索平安神宮神苑

神宮后面四座风景优美的庭园占地 33,000 平方米，体现了日本对大自然的认同和对自然之美的欣赏。每座庭园均以不同的风格建造，但又精心整合，使它们宛如一座完美的大庭园。四座庭园都对公众开放，约 40 分钟可完成游览。平安神宮神苑的入口在神宮的中庭内，入内需购买门票。

京都复兴的象征

建造平安神宮时，京都正面临经济停滞和人口减少的困境，造成这种情况的部分原因在于迁都东京的举措。为了纪念京都的悠久历史并促进经济增长，当地发起了诸多复兴项目，建造平安神宮也是其中之一。在其建成的同年，京都举办了规模最大的第四届内国劝业博览会，旨在展示最新技术和吸引新的产业。在随后数年中，京都经济开始改善，人口也日渐恢复。京都终于荣光再现，平安神宮则成为了京都重生的永恒象征。

交通

平安神宫位于京都的冈崎地区，从地铁东西线的东山站 1 号口出来后约需步行 10 分钟；从京阪鸭东线的三条站、神宫丸太町站前往，则需步行约 15 分钟。神宫开放时间为 6:00~18:00。

平安神宫神苑

平安神宫神苑是国家指定名胜，也是明治时代(1868-1912)具有代表性的日本庭园。四座回游式庭园分别受到平安时代(794-1185)、镰仓时代(1185-1333)、安土桃山时代(1568-1603)和江户时代(1603-1867)这四个不同历史时期的影响。从京都御所迁来的优雅木构建筑、多种巧妙的设计，都体现了这些庭园的独到之处。另外，为了让游客悠闲地享受景观带来的愉悦，庭园内还设计了坐下休息时也可欣赏美景的场所。

四季花事

平安神宫神苑里几乎四季都有鲜花盛开。四座庭园中的樱花树大多在 4 月开花，在多样的樱花品种之中，有一种名为八重红枝垂樱，它的花朵较常见品种颜色更深。花菖蒲、杜鹃花、梅花、紫藤和睡莲等花卉也会在其他季节绽放。

野生动物

平安神宫神苑的每座庭园都成为了野生动物的栖息地，园内住着鸟类、蝶类、鱼类、龟类和其他池塘生物。中神苑的池塘边质朴的茶室“东屋”或东神苑横跨池塘的廊桥“泰平阁”，都是观赏花卉和野生动物的好地方。庭园里，也许能观察到苍鹭、翠鸟、暗绿绣眼鸟和大山雀等鸟类。

著名造园大师的杰作

四座庭园创建于 1895 年至 1981 年之间，其中南神苑(1981)最新。西神苑(1895)、中神苑(1895)、东神苑(1916)都是由著名的京都造园大师、第七代小川治兵卫(1860-1933)在 100 多年前设计建成。他以擅用岩石和水景而闻名，被认为是现代日本园林的先驱。平安神宫神苑中包括了小川治兵卫最初建造的庭园，他还从附近的琵琶湖疏水（运河）引水建造了一座罕见的大池塘，在当时可谓具有划时代的意义。

充满历史气息的平安神宫神苑

平安神宫神苑里设有英语指示牌，用于介绍植物、野生动物和园林风格，此外还有关于京都和日本的详细历史。来到这里，来访者可了解到京都历史的方方面面。比如，1868 年迁都东京后京都的命运；19 世纪晚期为庭园池塘提供水源的琵琶湖疏水的建设，以及最早为城市服务的水力发电有轨电车的启动等。

平安神宫神苑开放时间

3月1日～14日以及10月：8:30～17:30；3月15日～9月30日：8:30～18:00；11月～次年2月14日：8:30～17:00；2月15日～2月底：8:30～17:30；10月22日时代祭：9:30～11:30

※闭苑时间各季节不同，敬请事先确认。

平安神宫的节庆和活动

平安神宫全年都有活动和庆典，其中最大的节日是“时代祭”，这也是京都三大祭之一，其亮点是从京都御所到平安神宫的大型游行。届时，会有数百人穿着8世纪至19世纪的服装参加游行。时代祭在每年的10月22日举行，这一天正是“京都”的誕生日，游行从中午12点开始。

6月的“薪能”表演也是年度活动之一。薪能是一种在夜间表演的能剧^{*}，舞台多设在神社、寺庙、城郭和其他历史遗址的户外。平安神宫的薪能也是晚上在神宫内表演，场地周围会点起火把照亮舞台。观赏薪能需要购票，通常在4月销售。

※能剧：始于14世纪，是将舞蹈、音乐和话剧融为一体的日本古典艺术典范，也是世上现存最古老的歌舞表演艺术形式之一。不同于薪能，能剧通常在室内演出。

<繁体字>

平安神宮是為了弘揚古都京都的歷史文化而建，建築華麗精美，庭園典雅美麗，都對大眾開放。京都即千年古都平安京，平安神宮的殿宇按八分之五的比例復原了平安京最深處的「朝堂院」。

一起來探索平安神宮及風景優美的庭園，親身感受京都豐富的文化遺產吧！

平安神宮

平安神宮是1895年為紀念遷都平安京1100週年而建造。平安京的城市格局受到中國唐代（618-907）首都長安（今西安）的影響，自8世紀晚期至19世紀中葉，平安京一直是日本首都。平安神宮供奉著平安時代（794-1185）的第一位和統治平安京的最後一位天皇，分別是桓武天皇（737-806）和孝明天皇（1831-1866）。

仿照古都的模式

與其他神社不同，平安神宮的殿宇是按照平安京天皇御所正廳「朝堂院」八分之五的比例複製而成。朝堂院是平安京的行政中心，也是天皇處理政務之地。以鋪滿礫石的寬敞中庭為中心，華麗的廳堂和建築左右對稱而列。其中，大極殿（外拜殿）、應天門（正門）、龍尾壇、蒼龍樓和白虎樓等神宮初建時的建築都是國家指定重要文化財產。在中庭的白色礫石和四周鬱鬱蔥蔥的樹木映襯之下，鮮豔的朱紅色建築顯得格外醒目。

探索平安神宮神苑

神宮後面四座風景優美的庭園占地 33,000 平方公尺，展現了日本對大自然的認同和對自然之美的欣賞。每座庭園均以不同的風格建造，但又巧妙地結合在一起，形成一個完美的大庭園。四座庭園都對大眾開放，約 40 分鐘即可完成遊覽。平安神宮神苑的入口在神宮的中庭內，入內需購買門票。

京都復興的象徵

建造平安神宮時，京都正面臨經濟停滯和人口減少的困境，造成這種情況的部分原因在於遷都東京的舉措。為了紀念城市的悠久歷史並促進經濟增長，當地發起了許多復興專案，建造平安神宮也是其中之一。在其建成的那年，京都舉辦了規模最大的第四屆內國勸業博覽會，以展示最新技術並吸引新的產業進駐。在隨後數年中，京都經濟開始改善，人口也日漸恢復。京都終於榮光再現，平安神宮則成為了京都重生的永恆象徵。

交通

平安神宮位於京都的岡崎地區，從地鐵東西線的東山站 1 號口出來後約需步行 10 分鐘；從京阪鴨東線的三條站、神宮丸太町站前往，則需步行約 15 分鐘。神宮開放時間為 6:00 至 18:00。

平安神宮神苑

平安神宮神苑是國家指定名勝，也是明治時代（1868-1912）具有代表性的日本庭園。四座迴遊式庭園分別受到平安時代（794-1185）、鎌倉時代（1185-1333）、安土桃山時代（1568-1603）和江戶時代（1603-1867）這四個不同歷史時期的影響。從京都御所遷來的優雅木構建築、多種巧妙的設計，都展現了這些庭園的獨到之處。另外，為了讓遊客悠閒地享受景觀帶來的愉悅，庭園內還設計了坐下休息時也可欣賞美景的場所。

四季花事

平安神宮神苑裡幾乎四季都有鮮花盛開。四座庭園中的櫻花樹大多在 4 月開花，在多種的櫻花品種之中，有一種名為八重紅枝垂櫻，它的花朵較常見品種顏色更深。花菖蒲、杜鵑花、梅花、紫藤和睡蓮等花卉也會在其他季節綻放。

野生動物

平安神宮神苑的每座庭園都成為了野生動物的棲息地，園內住著鳥類、蝶類、魚類、龜類和其他池塘生物。中神苑的池塘邊質樸的茶室「東屋」或東神苑橫跨池塘的廊橋「泰平閣」，都是觀賞花卉和野生動物的好地方。庭園裡，也許能見到蒼鷺、翠鳥、暗綠繡眼鳥和大山雀等鳥類。

著名造園大師的傑作

四座庭園建造於 1895 年至 1981 年之間，其中南神苑（1981）最新。西神苑（1895）、中神苑（1895）、東神苑（1916）都是由著名的京都造園大師、七代目小川治兵衛（1860-1933）在 100 多年前設計建成的。他以熟練運用岩石和水景而聞名，被認為是現代

日本園林の先驅。平安神宮神苑中包括了小川治兵衛最初建造の庭園，他還從附近的琵琶湖疏水（運河）引水建造了一座罕見の大池塘，在當時的概念中可謂具有劃時代的意義。

充滿歷史氣息的平安神宮神苑

平安神宮神苑裡的告示牌有用英語介紹植物、野生動物和庭園風格，此外還有京都和日本的詳細歷史。來到這裡，遊客可以從歷史的方方面面了解京都。比如，1868年遷都東京後京都的命運；19世紀晚期為庭園池塘提供水源的琵琶湖疏水の建設，以及最早為城市服務的水力發電路面電車の啟動等。

平安神宮神苑開放時間

3月1日至14日以及10月：8:30～17:30；3月15日至9月30日：8:30～18:00；11月至次年2月14日：8:30～17:00；2月15日至2月底：8:30～17:30；10月22日時代祭：9:30～11:30

※閉苑時間各季節不同，敬請事先確認。

平安神宮の節慶和活動

平安神宮全年都有活動和慶典，其中最大的節日是「時代祭」，這也是京都三大祭之一，其亮點是從京都御所到平安神宮的大型遊行。屆時，會有數百人穿著8世紀至19世紀的服裝參加遊行。時代祭在每年的10月22日舉行，這一天正是「京都」的誕生日，遊行從中午12點開始。

6月的「薪能」表演也是年度活動之一。薪能是一種在夜間表演的能劇^{*}，舞台多設在神社、寺廟、城堡和其他歷史遺址的戶外。平安神宮的薪能也是晚上在神宮內表演，場地周圍會點起火把照亮舞台。觀賞薪能需要購票，通常在4月開賣。

※能劇：起源於14世紀，是將舞蹈、音樂和話劇融為一體的日本古典藝術典範，也是世上現存最古老的歌舞表演藝術形式之一。不同於薪能，能劇通常在室內演出。

<日本語仮訳>

平安神宮は、古都京都の歴史的遺産を讃えています。装飾が施された建物や、美しい庭園は、一般に公開されています。平安神宮は、1000年以上続いた日本の首都である平安京（現在の京都）の最奥部の「朝堂院」を8分の5の大きさに復元したものです。

平安神宮と、美しい風景が広がる神苑を巡り、京都の豊かな文化的遺産を感じてみましょう。

平安神宮

平安神宮は、平安京の平安遷都1100周年を記念し、1895年に創建されました。中国の唐王朝（618-907）の首都であった長安（現在の西安）を模して建てられた平安京は、8世紀後半から19世紀半ばまでずっと日本の首都でした。平安神宮には、平安時代（794-1185）の最初の天

皇である桓武天皇（737-806）と、平安京最後の天皇となった孝明天皇（1831-1866）が祀られています。

古都を模した造り

平安神宮は他の神社と異なり、古都平安京の行政の中心地であり、天皇が国事を司っていた天皇御所の正庁「朝堂院」を模して 8 分の 5 の大きさで建設されました。華やかな装飾が施された広間や建物は、砂利が敷き詰められた広々とした中庭を中心に左右対象に配されています。大極殿（外拝殿）や應天門（正門）、龍尾壇、蒼龍楼、白虎楼などいくつか創建当時の社殿は、国の重要文化財に指定されています。鮮やかな朱色に塗られた建物は、中庭の白い砂利と周囲の緑樹に対して見事なコントラストを描いています。

神苑巡り

神宮の裏手には、広さは 33,000 平方メートルにも及ぶ、四つの美しい景観の庭園が広がっており、自然とその美しさに対する日本ならではの認識を表現しています。それぞれの庭園は異なるデザインで作庭されていますが、全てが慎重に統合されており、一つの大きな庭園に見えます。神苑は一般に公開されており、40 分ほどで回ることができます。神苑の入り口は、神宮内の中庭にあり、拝観料がかかります。

復興の象徴

平安神宮が創建されたのは、首都の東京移転を理由の一つとする、京都の経済状況の低迷と人口減少が生じた時期でした。平安神宮の創建は、長きにわたる京都の歴史を祝福し、経済成長の促進を促す一連のプロジェクトの一環でした。最新の技術の紹介や新産業の誘致を目的とした、大規模な第 4 回内国勧業博覧会が開催されたのと同じ年に、平安神宮は完成しました。その後京都の景気は上向きになり、人口も増加していきました。京都は再び壮大な都市として返り咲き、平安神宮は京都復興の永続的な象徴となりました。

平安神宮へのアクセス

平安神宮は京都の岡崎地区に位置しており、東西線東山駅 1 番出口から徒歩で 10 分、京阪鴨東線「三条駅」と「神宮丸太町駅」から徒歩 15 分ほどの所にあります。なお、平安神宮の参拝時間は 6:00～18:00 です。

平安神宮の神苑

平安神宮の神苑は国指定名勝に定められており、明治時代（1868-1912）の代表的な庭園です。神苑は四つの美しい回遊式庭園から成り立っており、それぞれが平安時代（794-1185）、鎌倉時代（1185-1333）、桃山時代（1568-1603）そして江戸時代（1603-1867）という異なる時代に着想を得ています。神苑には京都御所から移築された美しい建物があり、興味深いデザインが取り入れられています。また、座って休憩をしながら庭園を眺められる場所が設けられるなど、ゆっくりと景観を楽しんでもらえるよう設計されています。

四季の花々

神苑では、ほぼ一年を通して花が咲いています。四つの庭園にそれぞれ植えられている桜のほとんどは、4月に花を咲かせます。複数植えられている品種の中には、八重紅しだれ桜という名前のもがあり、他の桜と比べ、深みのある色をした花を咲かせます。その他の季節に咲く花には、花菖蒲やツツジ、梅、藤、そして睡蓮などがあります。

野生動物

神苑の各庭園は、鳥類や蝶を始め、魚や亀、その他の様々な池に生息する野生動物の住処となっています。中神苑の池端に佇む簡素な茶室「東屋」や、東神苑の池に架かる装飾の施された屋根のある橋殿「泰平閣」は、花々や野生動物を楽しむのに最適な場所です。庭園では、サギや、カワセミ、メジロやシジュウカラを観察することができます。

著名な作庭家の作品

神苑の四つの庭園は 1895 年から 1981 にかけて造られました。南神苑（1981 年）が最も新しい庭園です。西神苑（1895 年）と中神苑（1895 年）、そして東神苑（1916 年）は、いまから 100 年以上前に京都の著名な作庭家、七代目小川治兵衛（1860-1933）によって造られました。彼は水と石を使った作庭で有名で、近代日本庭園の先駆者として知られています。平安神宮の神苑には、彼が最も初期に手がけた庭が含まれており、近くの琵琶湖疎水から水を引いて稀に見るような大きな池を造ったのは、当時の概念では画期的でした。

歴史に触れられる神苑

庭園内に見られる看板には、植物や野生動物、庭園の様式などの情報が、京都と日本の歴史の詳細と共に英語で紹介されています。庭園を訪れることで、京都の歴史的側面に触れることができます。首都が東京に移った 1868 年以降、首都の東京移転をきっかけに衰退の道を辿った京都の運命や、神苑の池への水を引く 19 世紀後半に建設された琵琶湖疎水、そして京都で開通した初の水力発電による路面電車がその例です。

神苑拝観時間

3月1日～14日および10月：8:30～17:30；3月15日～9月30日：8:30～18:00；
11月～2月14日：8:30～17:00；2月15日～2月末日：8:30～17:30；10月22日
（時代祭）：9:30～11:30

※閉苑時間は季節により異なりますので、事前にご確認ください。

平安神宮のお祭りやイベント

平安神宮では一年を通してイベントやお祭りが開催されています。中でも最も大きいのが京都三大祭りのひとつである「時代祭」で、お祭りのハイライトは、京都御所から平安神宮まで続く大行列です。この行列では、何百人もの人たちが、8世紀から19世紀までの時代を再現した衣装を着て行

進します。時代祭は毎年京都の「誕生日」に当たる 10 月 22 日に開催され、行列は午後 12 時から始まります。

その他の毎年恒例のイベントには、6 月に行われる薪能があります。薪能は能劇[※]の一種で、通常夜間に神社やお寺、お城などの史跡の野外で行われます。平安神宮の薪能も境内で、夜に篝火が焚かれた中で演じられます。薪能を見るにはチケットが必要で、通常 4 月に発売されます。

※能劇：14 世紀に成立し、舞踊と音楽と演劇とが一体となった日本の代表的な古典芸能であり、世界で最も古くから続いている舞台芸術の一つです。薪能とは違って、通常屋内で行われる。

【タイトル】 平安神宮の神苑

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

平安神宮神苑

平安神宮神苑由四座美丽的庭园组成，园里拥有大型池塘、流淌的小溪、池心踏脚石和从京都御所迁来的优雅木构建筑。四座庭园都是国家指定名胜，也是明治时代(1868-1912)具有代表性的日本庭园。园内鲜花不败，四季都有如诗如画的景致。为了让游人可以悠闲地欣赏美景，庭园还设计了可以坐下观景的场所。整座神苑占地约 33,000 平方米，40 分钟左右就可观赏完毕。

平安神宮神苑开放时间

3月1日～14日以及10月：8:30～17:30；3月15日～9月30日：8:30～18:00；11月～次年2月14日：8:30～17:00；2月15日～2月底：8:30～17:30；10月22日时代祭：9:30～11:30

※闭苑时间各季节不同，敬请事先确认。

平安神宮和它的起源

平安神宮为了弘扬古都京都的历史文化遗产而建，本殿（正殿）供奉着在平安京的第一位和最后一位天皇。从 794 年至 1868 年，京都被称为平安京，在 1000 多年的时光里一直都是日本的首都。平安神宮殿宇以八分之五的比例复制了平安京天皇御所正厅“朝堂院”，朝堂院位于平安京最深处，是天皇处理政务的地方。尽管神宮建筑规模比原物小一些，但依然能给人留下深刻的印象。穿过入口处巨大的朱红色大门，眼前便是被华丽建筑群围绕的宽阔中庭。

平安神宮于 1895 年为纪念迁都平安京 1100 周年而建。平安神宮内供奉着日本第 50 代天皇，即平安京的创立者——桓武天皇(737-806)。迁都平安京之前，位处奈良、规模较小的平城京是当时的首都，桓武天皇就在那里把控朝政。随着政府和朝廷权力的增长，他认为有必要建立一个更具规模和气派的首都。于是，他选择了今天的京都为新都地点，并下令在 793 年开始建造。794 年，朝廷迁往新都，并将其命名为平安京。这标志着平安时代(794-1185)的开始，也意味着拉开了一个艺术和文学高度繁荣的和平时期的序幕。桓武天皇在位 25 年(781-806)，通过颁布实施新的法律、鼓励人们学习、支持与亚洲大陆的贸易和交流，对日本的发展做出了巨大的贡献，因而受到高度评价。他被视作京都之父，被供奉在大极殿后面的本殿圣域。

平安京的最后一位统治者孝明天皇(1831-1866)也被供奉在平安神宮。彼时，江户时代(1603-1867)已走向尾声。他在位 21 年(1847-1866)，因奠定了明治维新的基础而备受世人颂扬。明治维新是一项重大的社会和政治改革，它促进了日本工业化和国家现代化发展。明治维新之后，政府迁都东京，平安京改名为京都。

平安京身为日本首都，伴随 72 位天皇走过了千年。平安神宮不仅代表人们对古都的尊崇，也代表了对其悠久历史的敬意。

<繁体字>

平安神宮神苑

平安神宮神苑由四座美麗的庭園組成，園裡擁有大型池塘、流淌的小溪、池心腳踏石和從京都御所遷來的優雅木構建築。四座庭園都是國家指定名勝，也是明治時代（1868-1912）具有代表性的日本庭園。園內鮮花不敗，四季都有如詩如畫的景緻，為了讓遊人可以悠閒地欣賞美景，庭園還設計了可以坐下觀景的場所。整座神苑占地約 33,000 平方公尺，40 分鐘左右就可觀賞完畢。

平安神宮神苑開放時間

3 月 1 日至 14 日以及 10 月：8:30~17:30；3 月 15 日至 9 月 30 日：8:30~18:00；11 月至次年 2 月 14 日：8:30~17:00；2 月 15 日至 2 月底：8:30~17:30；10 月 22 日時代祭：9:30~11:30

※閉苑時間各季節不同，敬請事先確認。

平安神宮和它的起源

平安神宮是為了弘揚古都京都的歷史文化而建，本殿（正殿）供奉著在平安京的第一位和最後一位天皇。從 794 年至 1868 年，京都被稱為平安京，在 1000 多年的時光裡都是日本的首都。平安神宮殿宇以八分之五的比例複製了平安京天皇御所正廳「朝堂院」，朝堂院位於平安京最深處，是天皇處理政務的地方。儘管神宮建築規模比原物小一些，但依然能給人留下深刻的印象。穿過入口處巨大的朱紅色大門，眼前便是被華麗建築群圍繞的寬闊中庭。

平安神宮於 1895 年為紀念遷都平安京 1100 週年而建。平安神宮內供奉著日本第 50 代天皇，即平安京的創立者——桓武天皇（737-806）。遷都平安京之前，原處奈良、規模較小的平城京是當時的首都，桓武天皇就在那裡把控朝政。隨著政府和朝廷權力的增長，他認為有必要建立一個更具規模和氣派的首都。於是，他選擇了今天的京都為新都地點，並下令在 793 年開始建造。794 年，朝廷遷往新都，並將其命名為平安京。這標誌著平安時代（794-1185）的開始，也意味著拉開了一個藝術和文學高度繁榮的和平時期的序幕。桓武天皇在位 25 年（781-806），透過頒佈實施新的法律、鼓勵人們學習、支持與亞洲大

陸的貿易和交流，對朝政的發展做出了巨大的貢獻，因而受到高度評價。他被視作京都之父，被供奉在大極殿后面的本殿聖域。

平安京的最後一位統治者孝明天皇（1831-1866）也被供奉在平安神宮。當時，江戶時代（1603-1867）已走向尾聲。他在位 21 年(1847-1866)，因奠定了明治維新的基礎而備受世人頌揚。明治維新是一項重大的社會和政治改革，它促進了日本工業化和國家現代化發展。明治維新之後，政府遷都東京，平安京改名為京都。

平安京身為日本首都，伴隨 72 位天皇走過了千年。平安神宮不僅代表人們對古都的尊崇，也代表了對其悠久歷史的敬意。

<日本語仮訳>

平安神宮の神苑

平安神宮の神苑は 4 つの美しい庭園から成り、大きな池や流れる小川、飛び石や、京都御所から移築された美しい装飾が施された木造の建物があります。4 つの庭園は国指定名勝に定められており、明治時代（1868-1912）の代表的な庭園です。季節ごとに咲く花々により、一年を通して絵になる風景が広がり、座って景色を楽しむ場所が設けられているため、ゆっくりと楽しめるよう設計されています。33,000 平方メートルにも及ぶこの庭園は、約 40 分で回ることができます。

神苑拝観時間

3月1日～14日および10月：8:30～17:30；3月15日～9月30日：8:30～18:00；
11月～2月14日：8:30～17:00；2月15日～2月末日：8:30～17:30；10月22日
（時代祭）：9:30～11:30

※閉苑時間は季節により異なりますので、事前にご確認ください。

神宮とその由来

平安神宮は、古都としての京都の遺産を讃えており、本殿では平安京の最初の天皇と、最後の天皇を祭神として祀っています。794年から1868年まで、1,000年以上にわたって京都は日本の首都であり、平安京として知られていました。平安神宮は平安京の最奥部の一部、天皇が国事を司っていた天皇御所の正庁である「朝堂院」を模しており、当時の朝堂院を8分の5の大きさを復元しています。縮尺とはいえ、平安神宮の素晴らしさは見事なものです。入り口の朱色の巨大な門をくぐると、装飾が施された建物で囲まれた広々とした中庭が広がります。

平安神宮は、平安遷都 1100 周年を記念し、1895 年に創建されました。ここには、日本の 50 代目天皇であり、平安京を築いた桓武天皇（737-806）が祀られています。桓武天皇は、平安京を治める以前に、やや規模の小さい当時の首都であった奈良県の平城京を統治していました。政府や朝廷の発展に伴い、より広大で堂々たる首都の建設が必要と考えました。桓武天皇は現在の京都を新たな首都の地として選び、793 年にその建設を開始する命を出しました。794 年に政府は新たな首都に移り、そこを平安京と命名しました。これが、歴史上で平安時代（794-1185）として知

られる、芸術や文学が発展した平和な時代の始まりです。桓武天皇の治世は 25 年間（781-806）に及び、新たな法の発令や学問の奨励、大陸との貿易や交易の支援など、政治の発展に寄与したその功績は高く評価されています。桓武天皇は京都の生みの父として、大極殿の奥に位置する本殿に祀られています。

平安神宮には、平安京最後の天皇となった、孝明天皇（1831-1866）も祀られています。その治世は、江戸時代（1603-1867）が終わりに近づいた頃の 21 年間（1847-1866）に及び、明治維新の基盤を作り上げた功績が讃えられています。明治維新は産業の促進と国の近代化に繋がった社会的・政治的な大改革でした。明治維新により首都は東京へ移り、平安京は京都とその名を改名しました。

平安神宮は、古都平安京と、72 代の天皇の治世に渡って日本の首都として長くその役割を果たしてきた歴史に敬意を表しています。

地域番号	021	協議会名	一般社団法人南丹市美山観光まちづくり協会
------	-----	------	----------------------

解説文一覧

NO.	スポット名 (タイトル)	中国語文字数	想定媒体
021-001	美山とその暮らし	550	WEB
021-002	かやぶきの里	870	WEB
021-003	農家民宿体験	640	WEB
021-004	美山の蕎麦ときび	505	WEB
021-005	鮎	480	WEB
021-006	美山牛乳	460	WEB
021-007	どぶろく	390	WEB
021-008	美山薬草茶	330	WEB
021-009	美山かやぶきの里雪灯廊	335	WEB
021-010	ちいさな藍美術館	660	WEB
021-011	石田家住宅	660	WEB
021-012	祇園社の神楽	395	WEB

【タイトル】 美山とその暮らし

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**生活在美山**

美山町地处京都以北约 50 公里的山区，森林覆盖率达 96%，曾经是一个几乎与世隔绝的地方。全町由数十个分布在由良川河谷两岸的小村庄组成，人口总计约 3500 人。美山町以传统茅葺房屋闻名，过去这种房屋在该地区非常普遍。现在，在古村“茅葺之里”等地，人们依旧居住在这样的茅葺房屋里。茅葺之里与岐阜县的白川乡同被誉为“日本的原风景”。这里现存 39 座茅葺民宅，是国家重要传统建筑群保护区。此外，本地每年一度的茅草采收以及茅葺技术也已被列为联合国教科文组织(UNESCO)的世界非物质文化遗产。

如今的美山，早已不像过往那样闭塞，从京都搭乘火车或巴士均可轻松到达。本地居民至今仍旧保持着亲近自然、扎根当地社区的传统可持续生活方式。在美山，大多数食品都于当地自产自销，自然资源的管理也会着眼于子孙后代的传承，风俗习惯及仪式都被社区完美保留下来。美山的居民们始终致力于保持这样的生活方式，并通过各种体验活动将它们分享给旅行者。

美山保留的传统农耕以及其他举措也被认可为是对环保生活方式的贡献。如今，这处山乡因积极探索可持续性发展的生活而蜚声国际。2021 年，美山町被世界旅游组织(UNWTO)列为“世界最佳旅游山村”，以此表彰当地在推动可持续旅游方面所付出的努力。这样的旅游业形态在给予了居民自主能动性的同时，也保护了文化传统及生物多样性。

<繁体字>**生活在美山**

美山町地處京都以北約 50 公里的山區，這裡的森林覆蓋率高達 96%，曾經是一個幾乎與世隔絕的地方。全町由數十個分佈在由良川河谷兩岸的小村莊組成，人口約 3500 人。美山町以傳統茅葺房屋聞名，過去這種房屋在該地區到處可見，直至今日，在古村「茅葺之里」等地，依然有住戶居住其中。茅葺之里和岐阜縣白川鄉都被譽為「日本的原風景」，這裡現存 39 座茅葺民宅，為國家重要傳統建築群保護區。此外，當地每年一次的茅草采收以及茅葺技術也已被列為聯合國教科文組織（UNESCO）的世界非物質文化遺產。

如今的美山不再像以前一樣交通孤立，從京都搭乘火車或客運均可輕鬆前往。當地居民一直秉持親近自然、永續發展和以社區為中心的生活方式。美山的許多食品都在當地生產和銷售，自然資源的管理和利用注重永續經營，風俗習慣和儀式也在當地社區保護中傳

承給下一代。居民們致力於保護這樣的生活方式，並且透過各種體驗活動與遊客分享這份美好。

美山町保留的傳統農耕以及其他舉措，也被認可為是對環保生活方式的貢獻。如今，它因其永續發展舉措而在國際上享有盛譽。2021 年，美山町被世界旅遊組織(UNWTO)列為「世界最佳旅遊山村」，表彰當地在推動永續發展旅遊業、保護文化傳統和生物多樣性方面所做出的努力，同時給予了居民更多的自主能動性。

<日本語仮訳>

美山とその暮らし

美山町は京都市から北へ約 50 キロメートル、以前は人里離れた地であった山間部に位置しており、面積の 96%が森林に覆われている。由良川流域の数十もの小さな集落を含む、人口約 3,500 人の町である。美山町が特に注目されているのは、伝統的なかやぶき屋根の家屋。このエリアでかやぶき屋根はかつて一般的であったが、いまま歴史ある「かやぶきの里」などでは住居として利用され続けている。かやぶきの里は岐阜県・白川郷に並ぶ「日本の原風景」とも呼ばれ、現存のかやぶき屋根の民家が 39 棟立ち並び、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されており、また、毎年行われる「茅の採取」と「茅葺」の技術はユネスコの無形文化遺産に登録されている。

その美山も、今では京都から電車やバスで簡単にアクセス可能になり、以前のような人里離れた場所ではなくなった。自然に近く、地域に根ざした伝統的で持続可能な生活様式は、今でも色濃く残っている。美山で生産される食品の多くは地元で消費され、天然資源は次世代への継承を念頭に管理され、古くからの慣習や儀式も地域社会によって大事に守られているのだ。このような生活様式を守りながら、様々な体験プログラムを通じて旅行者に親しんでもらうことに、町の人々は力を注いでいる。

また、伝統的な農業をはじめとする美山の取り組みは、環境に配慮した暮らしの実現に貢献していると評価されている。今や美山町はサステナビリティへの取り組みで国際的にも注目されている。2021 年、美山町は文化、伝統、生物多様性を守りながら住民の力を引き出す持続可能な観光を推進する取り組みが評価され、国連世界観光機関（UNWTO）から「ベスト・ツーリズム・ビレッジ」の 1 つに選ばれた。

【タイトル】 かやぶきの里

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**古村“茅葺之里”**

美山町内现存 200 余座传统茅葺建筑，其中最集中的地方，便是“茅葺之里”。这个村庄里有 39 座茅葺民宅，它们排列在俯瞰农田的山坡上，远处是森林覆盖的群山。茅葺之里被誉为“日本的原风景”，可与岐阜县的白川乡媲美。

来访者可以穿过蜿蜒于房舍之间的小道，前往美山民俗资料馆等各处景点。资料馆建筑是一座经修复的 19 世纪农舍，也是少数几处能够进入内部参观的本地传统建筑之一。另一座对外开放的建筑是“小小蓝美术馆”，这处建于 1796 年的民宅，是茅葺之里现存最古老的建筑。茅葺之里是美山町内游人到访最多之地，每年会举办各种节庆盛事，比如“雪灯廊”。这个冬日庆典还会燃放烟花，为夜空添上绚烂的色彩。村庄开设英文导览游项目，让来访者可更深入地了解村庄的历史与文化。

古老的房屋与传统的环境是本地居民齐力维护的成果，他们尽心竭力，保持着社区的布局风貌与活力。茅葺之里于 1993 年被指定为国家重要传统建筑群保护区之后，保护传统建筑成为当地的义务，需要定期更换茅葺屋顶以及进行一些其他修缮。为此，茅葺之里的居民共同出资创办了一家公司，在村内经营餐厅、纪念品商店等业务。公司收益不仅能够用于支付相关维修费用，同时还为本地年轻人提供了就业机会。

在茅葺之里，大部分茅葺房屋的历史都介于 150~200 年之间。所有房屋每隔几十年就要更换一次屋顶，这是一项费力又耗时的工作。更换过程的第一步就是种植用来铺设屋顶的“芒草”。过去每家每户都有自己的芒草地，而现今，全村居民共享一片草场。这片大草场位于由良川岸边，与村庄隔河相望。芒草于每年秋末雪季到来之前收割，捆扎成束后放在户外晾上一冬，到来年春天收入室内储藏。农舍的阁楼过去也用来储藏干草，不过，现在有一个社区仓库可供大家共同使用。一年一度的茅草采收以及铺设房顶的茅葺技术已被列为联合国教科文组织(UNESCO)的世界非物质文化遗产。

过去，茅葺作业需要发动全村协力，如今则由专业人员使用本地种植的芒草完成。这项工作多在春季或夏季进行，替换下来的旧茅草可以作为肥料再次利用。大一些的房子有时需要分区完成茅葺工作，头一年更换一侧屋顶，第二年再换另一半。

<繁体字>**古村「茅葺之里」**

美山町内現存 200 餘座傳統茅葺建築，其中最集中的地方便是「茅葺之里」。這個村莊裡有 39 座茅葺民宅排列在俯瞰農田的山坡上，遠處是森林覆蓋的群山。茅葺之里被譽為「日本的原風景」，可與岐阜縣的白川鄉媲美。

遊客可以穿過蜿蜒於房舍之間的小道，前往美山民俗資料館等各處景點。資料館位於一座修復的 19 世紀農舍，也是少數幾個能夠從內部參觀當地傳統建築的景點之一。另一座對外開放的建築是「小小藍美術館」，它原本是一座民宅，建於 1796 年，是茅葺之里現存最古老的建築。茅葺之里是美山町内遊客人數最多的地方，每年會舉辦各種節慶盛事，比如「雪燈廊」。這個冬日慶典還會燃放煙花，為夜空增添絢爛色彩。村莊同時提供英文導覽服務，讓遊客更深入了解村莊的歷史與文化。

古老的房屋與傳統的環境是當地居民共同維護的成果，他們盡心竭力，保護著社區的佈局風貌與活力。茅葺之里於 1993 年被指定為國家重要傳統建築群保護區以後，維持傳統建築成為了當地的義務，需要定期更換茅葺屋頂以及進行其他維修。為此，茅葺之里的居民共同出資創辦了一家公司，在當地經營餐廳、紀念品商店等業務，公司收益不僅能夠支付相關維修費用，同時還為當地年輕人提供了就業機會。

茅葺之里大部分茅葺房屋的歷史都介於 150 年至 200 年之間，每隔幾十年就要更換一次屋頂。這是一項費力又耗時的工作，第一步是種植鋪設屋頂所需的「芒草」。過去每家每戶都有自己的芒草地，而今，全村居民共用一片草場。這片大草場位於由良川岸邊，與村莊隔河相望。芒草於每年秋末雪季到來之前收割，捆紮成束後放在戶外晾上一冬，到來年春天收入室內儲藏。農舍的閣樓過去也用作儲藏乾草，不過，現在有一個社區倉庫可共同使用。一年一度的茅草採收以及鋪設房頂的茅葺技術已被列為聯合國教科文組織（UNESCO）的世界非物質文化遺產。

過去，茅葺作業需要全村協助，如今則由專業人員使用當地種植的芒草完成。這項工作多在春季或夏季進行，替換下來的老茅草可以作為肥料再次利用。大一些的房子有時需要分區完成茅葺工作，第一年更換一側屋頂，次年再換另一側。

<日本語仮訳>

かやぶきの里

美山町内には 200 軒以上の伝統的なかやぶき屋根の建物がある。なかでも、「かやぶきの里」はこのような建物が最も密集する集落である。農地を望む丘陵地に 39 棟のかやぶき民家が建ち並び、遠くには森林の山が見える。かやぶきの里は岐阜県・白川郷に並ぶ「日本の原風景」とも呼ばれている。

家々の間を縫うように歩くと、美山民俗資料館など多くの観光スポットにたどり着くことができる。19 世紀の農家を利用して復元された美山民俗資料館は、この地域の伝統建築を内部から見ることができる数少ない場所となっている。また、1796 年に建てられた現存するかやぶきの里で最古の邸宅も「ちいさな藍美術館」として一般公開されている。かやぶきの里は美山で最も多くの人を訪れる場所で、毎年、「雪灯廊」などのイベントも開催される。「雪灯廊」の一部の日程では、冬の花火が夜空を

彩る。なお、英語ガイドの案内で、村の歴史や文化について詳しく知ることができる。

歴史的な家屋や伝統的な環境は住民の努力によって守られ、地域の建造物や活気を守るために、協力して取り組んでいる。かやぶきの里は 1993 年に国の重要伝統的建造物群保存地区に指定され、伝統的な建造物の保全が義務づけられたことだ。そのため、定期的に屋根の葺き替えを行うなど、維持管理を徹底している。その費用と地元の若者の雇用を確保するために、かやぶきの里の住民が共同出資して、集落内でレストランや土産物店などを経営する会社を設立している。

かやぶきの里のかやぶき屋根の家屋は、ほとんどが築 150～200 年。数十年に一度、家ごとに葺き替えを行うが、葺き替えに使うススキを育てるところから始まる手間のかかる仕事である。かつては各戸に専用の茅場があったが、現在は由良川を挟んだ対岸にある畑を共同で使用している。雪が降る前の晩秋に刈り取ったススキは、束ねて冬の間天日干しし、翌年の春から室内に保管する。農家の屋根裏は昔、草の貯蔵庫を兼ねていたが、現在は共同倉庫を利用している。毎年行われる「茅の採取」と「茅葺」の技術はユネスコの無形文化遺産に登録されている。

茅葺き作業はかつて村人総出で行っていたが、現在は地元産のススキを使い、春または夏に専門家が行っている。屋根の茅は肥料として再利用することができる。大きな家では、片方をその年に、もう片方をその翌年にというように、部分的に葺き替えをすることもある。

【タイトル】 農家民宿体験

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**入住农舍**

美山以生态友好和以社区为核心的生活方式著称，这里有几家民宿能让游人体验到这种生活。这些民宿尽管并非真正的农场，但却为来访者提供了一个远离城市喧嚣、置身于大自然中的宁静环境。有些民宿是由传统茅葺建筑改造而来，并由本地居民创办的公司管理，比如位于古村“茅葺之里”的“またべ”(Matabe)。也有一些是现代化建筑，配备了等同酒店的便捷设施。但所有民宿的运营均秉持了美山可持续发展、厉行节约的精神。

家庭经营的“农家民宿 久里庵”是一处拥有 200 年历史的老宅，在这里很容易窥见美山地区日常生活的面貌。猫咪漫步屋内外，母鸡在园子里下完蛋后“咯咯”地叫着。下午抵达入住后，可以围坐在屋内传统的“围炉里”（用于烹饪和取暖的地炉）旁，享受刚沏好的抹茶和甜点。旅程之后仍有余力的客人，会被邀请一起准备晚餐的菜蔬，或许还能学得一两个烹饪小技巧。晚餐也在围炉里旁享用，有时店家还会提供明火大锅烹制的散养本地土鸡。久里庵都是在榻榻米上直接铺床垫和被褥的日式房间，但也有其他旅店提供带西式床铺的房间。

入住久里庵的客人可以在早餐过后尝试亲手制作乌冬面。首先将面团揉至光滑，放在一旁静置，趁饴面的这段时间去老板自家的小菜地里挑选一些时令蔬菜，准备制作天妇罗。回来后，将饴好的面团擀开，切成面条，煮熟后搭配现炸的天妇罗一起享用。天气允许的话，还可以选择在室外用餐。午餐后是散步的好时间，可以沿着由良川河岸漫步，欣赏周围风光。

每家民宿都有自己的体验项目，包括徒步导览游、茅葺体验或手工制作草鞋等活动。

<繁体字>**入住農舍**

美山以生態友善及以社區為中心的生活方式著稱，當地有數家民宿能令遊客體驗這種生活。儘管並非真正的農場，但這裡擁有寧靜的自然環境，遠離城市喧囂。民宿中有一些是利用了傳統的茅葺建築來經營，比如位於古村「茅葺之里」的「またべ」(Matabe)，它由當地居民開辦的公司管理。也有一些現代建築風格的民宿，配置了酒店般便捷的設施。但無論哪一種，均秉持了美山永續發展、節約的精神。

家庭經營的「農家民宿 久里庵」是一處有著 200 年歷史的老宅，在這裡可以窺見美山地區日常生活的面貌。貓咪漫步屋內外，母雞在園子裡下了蛋，咯咯地叫著。下午抵達入住後，可以圍坐在屋內傳統的「圍爐裏」（用於烹飪和取暖的地爐）旁，享受剛沏好的抹茶和甜點。旅程之後仍有餘力的遊客，會被主人邀請一起準備晚餐用的蔬菜，或許還能學得一兩個烹飪小撇步。晚餐也在圍爐裏旁吃，有時會有用大鍋烹調的當地放山雞。雖說也有旅館提供床鋪，但在久里庵，遊客住的都是直接在榻榻米上鋪床墊和被褥的日式房間。

入住久里庵的遊客可以在早餐過後嘗試親手製作烏龍麵。首先是揉麵至光滑成團，放在一旁醒麵，趁這個空檔去老闆自家的小菜地裡挑選一些時令蔬菜，準備製作天婦羅。回來後，將醒好的麵團擀開，切成麵條，煮熟後搭配現炸的天婦羅一同上桌。天氣適宜的話，可以在室外享用午餐。午餐後是散步的好時間，可沿著由良川河岸漫步，欣賞周遭風光。

每家民宿都有自己的體驗項目，包括健行導覽、茅葺體驗或手工製作草鞋等活動。

<日本語仮訳>

農家民宿体験

美山には、環境に配慮した地域密着型のライフスタイルを体験できる民宿がいくつかある。本格的な農場ではないものの、自然の中にある静かな環境で、都会の喧騒から離れた時間を過ごすことができる。歴史的な集落「かやぶきの里」にある、地元住民が運営する会社が運営している「またべ」のように、伝統的なかやぶき屋根の建物を利用した民宿もある。また、近代的な建物でホテルのように便利な設備が整っているところもあるが、いずれも持続可能性を重視して廃棄物を最小限に抑えるという美山の本質に則っている。

家族経営の「農家民宿 久里庵」は築 200 年の古民家である。ここでは、猫が自由に出入りし、庭で産卵後の鶏が鳴くなど、美山の日常を窺い知ることができる。午後に到着すると、屋内で古くから使われている「囲炉裏」（床に設置した炊事兼暖房用の炉）の側で点てたばかりの抹茶とお菓子が振る舞われることもある。美山までの旅を経てもなお体力が有り余っている人は、夕食の野菜の調理を手伝い、料理の仕方を教わることができる。囲炉裏を囲んでの夕食には、地元産の放し飼いの鶏が大鍋で調理されて提供されることもある。久里庵では畳の部屋に布団を敷いて寝るが、ベッドを使った部屋を用意している宿もある。

久里庵では朝食後、うどん打ちを体験することができる。生地を混ぜて適度な硬さにこねて寝かせた後、ホストファミリーの野菜畑で天ぷらにする季節の食材を選ぶ。その後、生地を伸ばして麺の形を整え、カットして茹でたら、揚げたての天ぷらと一緒に野外で昼食をとる（天気の良い日）。昼食後は由良川沿いを散策する時間があり、周囲の景観を楽しむことができる。

ガイド付きハイキングツアー、茅葺き体験、草履作りなど、各民宿で独自の体験プログラムが用意されている。

【タイトル】 美山の蕎麦ときび

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**美山の荞麦与黄米**

荞麦是美山町常见的主食，也是本地风光中引人注目的一大特色。这是一种生命力很强的植物，不需要太过精心的照料，通常种在稻田的行垄间。荞麦在 20 世纪晚期才成为美山町主要的食材。当时，人口减少导致越来越多的稻田闲置荒废。本地农民最初将荞麦种在部分荒田里，就是因为它们生长茂密，还能开出漂亮的白色花朵，令风景更美。

美山荞麦以美景闻名，荞麦面则以美味著称，如今，它们早已是本地特色美食。位于“茅葺之里”村口的北村餐厅提供手切荞麦面，原材料就来自附近的荞麦地。每年 8 月上旬，趁着稻田秋收前的少许空闲，本地农民开始播种荞麦，到 9 月中旬时，地里开满成片的白色花朵。每逢花期，町内会举办荞麦花摄影比赛，届时摄影爱好者将云集美山。10 月是荞麦的收割季，11 月就能品尝到当年的新荞麦。微微泛绿的新荞麦面口感更为细腻、香味更为浓郁，是不容错过的当季美味。

黄米是美山町的另一种传统作物，以前是大米短缺时的替代品，至今依然能在本地餐单上看到它们。黄米生长所需的水分比大米少一些，过去通常会将它掺入大米中以增加主食的分量。现在，人们会将黄米粉与糯米粉混合，做成黄米麻糬。这是一种口味清淡的甜点，在本地咖啡馆和商店均有销售。

<繁体字>**美山的蕎麥與黃米**

蕎麥是美山町常見的主食，也是當地旅遊中引人注目的一大特色。蕎麥是一種生命力很強的植物，不需要太過精心的照料，通常種在稻田的行壟間。在 20 世紀晚期，蕎麥成為美山町主要農產品。當時，人口下降導致越來越多的稻田閒置荒廢。蕎麥生長茂密，還能開出漂亮的白色花朵，最初當地農民是希望美化環境才將它們種在部分荒田裡。

美山蕎麥以美景聞名，蕎麥麵則以美味著稱，如今，它們早已被視為當地特色美食。位於「茅葺之里」村口的北村餐廳提供手工蕎麥麵，原材料就來自附近的蕎麥地。每年 8 月上旬，趁著稻田秋收前的少許空間，當地農民開始播種蕎麥，到 9 月中旬時，地裡便開滿成片的白色花朵。每逢花期，町內會舉辦蕎麥花攝影比賽，屆時攝影愛好者將雲集美山。10 月是蕎麥的收割季，11 月是當年的新蕎麥上市。微微泛綠的新蕎麥麵口感更為細膩、香味更為濃郁，是不容錯過的當季美味。

黄米是美山町的另一種傳統作物，通常是作為大米的輔食，至今依然能在當地餐單上看到它的身影。黄米生長所需的水分比大米少一些，以前多會將它摻入大米，這樣可以增加主食的分量。現在，當地居民會將黄米粉與糯米粉混合，做成黄米麻糬，這是一種口味清淡的甜點，在當地咖啡館和商店均有銷售。

<日本語仮訳>

美山の蕎麦ときび

美山町の食に欠かせないだけでなく、景観の美化にも使われる蕎麦は、丈夫で手入れが楽なため、田んぼの脇で補完的に栽培されてきた。美山で蕎麦が中心的な存在になったのは20世紀後半。過疎化が進み、使われない田んぼが増えていた時期だ。密生して白い美しい花を咲かせる蕎麦は当初、地元の農家が景観を良くするために空き地の一部に植えられたという。

蕎麦の味も評判となり、今では地元の名産として親しまれている。かやぶきの里の入り口付近にあるお食事処「きたむら」では、周辺に広がる畑で採れたものを使った手打ち蕎麦を提供している。蕎麦は稲作農家が収穫期を迎える前の8月上旬に植えられる。9月中旬になると畑一面に白い花のじゅうたんが広がる。この時期、美山町では「そばの花フォトコンテスト」が開催され、多くのカメラマンが訪れる。10月の収穫を経て、11月にはその年の新蕎麦が販売される。みどりがかっている新蕎麦は、独特な風味と香りがあるため、是非味わってみよう。

きびも美山で古くから米の補完として栽培されている穀物で、今でも地元のメニューに上る。米に比べて栽培に多くの水がいらぬこともあり、主食である米に混ぜてボリュームを出すことが多かった。現在ではもち米にきび粉を混ぜて、甘さ控えめの「きび餅」として、カフェや商店で売られている。

【タイトル】 鮎

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**香鱼**

香鱼，日文写作“鮎”，是美山町传统饮食中的重要食材。香鱼以甜美多汁和馥郁香气著称，烹饪方式一般有两种：“甘露煮”是加酱油和糖慢煨；“盐烧”则是撒上盐后烧烤。这种小鱼盛产于美山町的由良川，因为它们赖以生存的水藻只能生长在这样无污染的纯净水域中。

过去每到秋天，由良川上游孵化出的小香鱼便开始顺流而下，迁徙至日本海若狭湾中更温暖的水域直至成年，等到来年春天再溯流而上，返回出生地产卵。然而，河上筑起的水坝阻断了它们的迁徙循环，如今只能每年向河中投放香鱼苗予以补充。夏天是垂钓季，届时美山町的河岸旁人头涌动，挤满了来自远近不同地区的垂钓爱好者。

在美山地区钓香鱼，最常见的方法是“友钓”，就是将一条活香鱼系在钓钩旁的鼻环上，再放入水中作为诱饵。香鱼的领地意识很强，会本能地攻击任何可能夺取它们食物的入侵者。只要等到河中大些的香鱼聚集到鱼饵身边时下网，有时一次就能捞起好几条上钩的香鱼。

香鱼捕捞受到严格管制，必须持有“游渔券”（钓鱼券）方可垂钓。证件可在美山町渔业组合事务所购买，单日券 3600 日元，全年券 13,800 日元。

<繁体字>**香魚**

香魚，日文寫作「鮎」，是美山町傳統飲食中的重要食材。香魚以甜美多汁和馥郁香氣著稱，烹飪方式一般有兩種：「甘露煮」是加醬油和糖慢煨；「鹽燒」則是撒上鹽後烤製。這種小魚盛產於美山町的由良川，因為其生存所需的水藻只能生長在這樣無污染的純淨水域中。

過去每到秋天，由良川上游孵化出的小香魚會順著水流下游，遷移到日本海若狹灣中更溫暖的水域，直到長大成魚。然後在來年春天，牠們會沿著水流再次溯河洄游，返回出生地產卵。然而，由於河上的水壩阻斷了牠們的遷徙路線，現在只能透過人工每年投放香魚稚魚來進行繁殖。夏天是垂釣季，屆時美山町的河岸旁人頭湧動，擠滿了來自遠近不同地區的釣魚愛好者。

在美山地區釣香魚，最常用的方法被稱為「友釣」，就是將一條活香魚繫在釣鉤旁的鼻環上，放入水中作為誘餌。香魚的領地意識很強，會本能地攻擊任何可能偷取牠們食物的入侵者。只要等到河中大些的香魚聚集到魚餌身邊時下網，有時一次就能撈起好幾條上鉤的香魚。

香魚捕撈受到嚴格管制，必須持有「遊漁券」（釣魚券）方可垂釣。遊漁券可在美山町漁業組合事務所購買，一日券 3600 日圓，年票 13,800 日圓。

<日本語仮訳>

鮎

鮎は美山町の伝統的な食生活に欠かせない貴重な魚である。甘くてジューシーな味と香りが特徴で、甘露煮や塩焼きで食するのが一般的である。この小魚は、汚染されていない水域でしか育たない藻類を餌とするため、美山町の由良川に生息している。

美山の鮎はかつて、秋に上流で孵化して下流の日本海に面した比較的暖かい若狭湾で成熟し、春に産卵のために戻ってくるものであった。しかし、由良川を堰き止めたことでこの循環が崩れてしまい、現在では毎年稚アユを放流している。釣りのシーズンは夏で、美山町の河原は近隣や遠方からの釣り人たちでにぎわう。

この地域で最も一般的な鮎の釣りは「友釣り」である。これは生きた鮎を罎にして、竿の糸先の掛け針（釣針）の手前に結んだ鼻カンにつなぎ放流する方法である。鮎は縄張り意識が強く、餌を奪うような侵入者は本能的に攻撃してくる。川で大きな鮎が罎に群がるようになると、ときには一度に数匹の針掛かりした鮎を網で捕らえることができる。

アユ漁は厳しく規制されている。参加するには美山町漁業組合事務所販売されている遊漁券を購入することが義務づけられ、値段は1日 3,600 円、1年で 13,800 円。

【タイトル】 美山牛乳

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**美山牛奶**

美山町山间空气清新、水质清纯，为乳牛养殖提供了完美的条件。尽管产量不大，美山牛奶却因其高品质而备受推崇，深受本地居民喜爱的意式冰淇淋、蛋奶布丁等甜品都以它为原料。

本地养牛的历史虽然已有数世纪之久，但多以耕地、蓄肥为目的，真正养殖奶牛的时间相对较短。20 世纪 50 年代，政府计划在由良川上修筑大坝，遭到美山町民众反对，因为这必将导致耕地流失，大量家庭不得不离土搬迁。政府在与居民协商后，答应为本地农户发展乳牛养殖、茶叶种植等新产业提供扶持。

近年来，美山町的乳牛产业日渐萎缩，目前只剩下两家养殖场。奶农们以日产 3 吨牛奶为目标，致力于为将近 100 头乳牛提供无压力的宽松环境。

美山牛奶口感浓郁、乳脂丰富，这在一定程度上与本地使用的恒温消毒法有关。生牛奶仅加热到相对较低的 85°C 煮 15 分钟，这样有助于保留牛奶本身的风味。不过，这也决定了它的保质期更短，因此，美山牛奶大部分只供本地消费。它们会出现在学校的午餐里，或装在牛奶盒或玻璃瓶里出售，也被用于制作新鲜冰淇淋、意式冰淇淋、奶酪和蛋奶布丁等甜品。所有相关产品都能在町内买到。

<繁体字>**美山牛奶**

美山町山間的清新空氣和純淨無污染的水質提供了理想的環境條件，用於乳牛養殖。儘管生產量有限，美山牛奶因其高品質而備受推崇，被用於製作各種受歡迎的當地甜點，如義式霜淇淋和蛋奶布丁。

當地養牛的歷史已有數世紀之久，起初主要用於耕地和提供肥料，真正乳牛養殖的時間相對較短。1950 年代，政府計畫在由良川上修築大壩。美山町民眾反對這項工程，因為這會導致耕地流失，大量家庭不得不搬遷。政府在與居民協商後，承諾為當地農戶發展乳牛養殖、茶葉種植等新產業提供扶持。

近年來，美山町的乳牛產業日漸萎縮，目前只剩兩家養殖場還在經營。牧戶以每日出產 3 噸牛奶為目標，不斷致力於為場內將近 100 頭乳牛提供無壓力的寬鬆環境。

美山牛奶口感濃郁、乳脂豐富，這在一定程度上與當地使用的恆溫消毒法有關。生牛奶僅加熱到相對較低的 85°C 煮 15 分鐘，這樣有助於保留牛奶本身的風味。不過，這也使其保鮮期更短，因此，美山牛奶大部分只供當地消費。它們會出現在學校的午餐裡，或裝在牛奶盒或玻璃瓶裡出售，也被用於製作新鮮霜淇淋、義式霜淇淋、乳酪和蛋奶布丁等甜品。所有相關產品都能在町內買到。

<日本語仮訳>

美山牛乳

美山町は山の空気と水がきれいなため、酪農に適した環境である。美山牛乳は少量生産ながら品質が高く、ジェラートやカスタードプリンなど、地元でも人気のスイーツに多く使われている。

数世紀前から田畑を耕し、肥料を供給するために牛が飼われていたとはいえ、乳牛の飼育は比較的歴史の浅い地域である。1950 年代、政府は由良川にダムを建設する計画を打ち出した。しかし、美山町民は農地がなくなり、多くの世帯が移転することになるため反対した。そこで行政と住民の間で、酪農や茶業などの新規就農を推進する支援策を取り決めた。

現在では美山町の牛乳生産もかなり小規模化し、町内で経営を続けているのは 2 軒の酪農家のみとなった。約 100 頭の牛にストレスのない環境を提供し、1 日に約 3 トンの牛乳の生産を目指している。

美山牛乳の濃厚でクリーミーな味わいは、恒温殺菌の方法によるものでもある。生乳を 85°C の比較的低い温度で 15 分間加熱することで、牛乳本来の風味が保たれるのである。しかしその分賞味期限も短いため、学校給食をはじめ、地元で消費されることが多い。紙パックやガラス瓶で販売され、ソフトクリームやジェラート、チーズやカスタードプリンなど、町内で販売されている商品の原料としても使用されている。

【タイトル】 どぶろく

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**浊酒**

浊酒是一种简单的无过滤米酒，质地较为浑浊。先在蒸熟的米饭里加入水和米麴菌后搅拌，然后放置于凉爽处发酵即可。过去人们常常自己在家酿制浊酒，但19世纪晚期，日本政府出台法令，禁止无证酿酒。不过，美山町的浊酒在21世纪初再次崛起，当时，政府为推动乡村经济发展，放宽了酿酒禁令，美山町被指定为“浊酒特区”。

如今，美山町的餐厅和酒店都可以小规模自酿浊酒出售，前提是酿酒所用大米必须是自家种植的。本地目前有两家专门酿造浊酒的机构提供直销，同时也在“美山交流广场”公路休息站销售。这两种浊酒的酒精度都在9%左右，滋味甘甜，略带辛辣。它们的香气稍有不同，有的带有香蕉或木瓜等热带水果的芳香。

因为没有过滤，浊酒的质地比较浓稠，还会留有一些米粒的质感。这种酒中含有活性乳酸菌，如果你打算购买带回家，千万小心，不要摇晃酒瓶，并在开瓶前冷藏保存。浊酒的保质期最长不超过一个月，两周内享用风味最佳。

<繁体字>**濁酒**

濁酒是一種無過濾米酒，製作過程是在蒸熟的米飯裡加入水和米麴菌後攪拌，然後放置於涼爽處進行發酵，最終成為一種質地濁濁的酒。過去人們經常在家釀造濁酒，但19世紀晚期，日本政府發布命令禁止無證釀酒。不過，美山町的濁酒在21世紀初得以回歸，政府為推動鄉村經濟發展，放寬釀酒禁令，美山町也因此被指定為「濁酒特區」。

現在，美山町的餐廳和酒店都可以小規模自釀濁酒出售，前提是釀酒所用大米須是自己種植的。目前，當地有兩家專門釀造濁酒的工廠提供直銷，同時也在「美山交流廣場」公路休息站販售。這兩種濁酒的酒精度都在9%左右，滋味甘甜，略帶辛辣。它們的香氣稍有不同，有些帶有香蕉或木瓜等熱帶水果的風味。

因為沒有過濾，濁酒的質地比較濃稠，還會留有一些米粒的質感。這種酒中含有活性乳酸菌，如果您打算購買回家，請小心保管，避免搖晃酒瓶，並在開瓶前冷藏保存。濁酒的保鮮期最長不超過一個月，品嚐的最佳期限為兩週內。

<日本語仮訳>

どぶろく

どぶろくは、蒸した米と水と麹菌を混ぜて、涼しい場所で発酵させたシンプルな無濾過の濁り酒である。19 世紀末に政府が無許可で酒を造ることを禁止するまで、一般家庭でも醸造されていた。美山町にどぶろくが戻ったのは、「どぶろく特区」に指定された 2000 年代初頭になってからのこと。この制度は地域経済の活性化のために、政府が酒造りの規制を緩和したことがきっかけとなった。

美山町の飲食店やホテルは、米を自家栽培することを条件にどぶろく用の小規模の醸造所を設置することが可能になった。現在 2 つの施設がこの制度を利用し、道の駅「美山ふれあい広場」で販売するとともに、直売も行っている。2 品種ともアルコール度数は 9%前後で、味は甘味の中にほのかな辛みを感じられる。香りはそれぞれに個性があり、バナナやパパイアなどのトロピカルフルーツの香りがするものもある。

どぶろくは無濾過のため、とろみがあって、液体に混ざっている米粒の食感も感じられる。乳酸菌も入っているので、持ち帰る場合は瓶を振らないように注意し、開栓前は冷蔵庫で保存する。鮮度は 1 カ月ほど保たれるが、2 週間以内に飲むのがベストである。

【タイトル】 美山薬草茶

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**美山药草茶**

美山の河谷和森林里生长着种类繁多的野生草药、可食用植物以及花卉。本地居民世代采集这些植物，用来制作食物和饮品，美山药草茶即是其中一种。

本地传统采摘的草药包括具有利尿功能的问荆、可助消化的柿子叶，以及富含矿物质且据说对肝脏有益的桑叶。美山药草茶就是使用问荆、柿子叶与茶叶、车前草、山白竹、艾蒿、鱼腥草等原料调配而成。其中，鱼腥草是一种开白花的草药，生长迅速，是园丁们的“死对头”，但据说有疗愈功效而自古被人们用来制茶。

制作药草茶，需要将这些草药先放在太阳下晒干，碾碎后放入铁锅中焙炒，饮用时可使用热水或凉水冲泡。袋装药草茶包可在“茅葺之里”村口的纪念品商店和美山民俗资料馆购买。

<繁体字>**美山藥草茶**

美山の河谷和森林裡生長著種類繁多的野生草藥、可食用植物以及花卉。當地居民世代採集這些植物，用於製作食物和飲品，例如美山藥草茶。

當地傳統採摘的草藥包括具有利尿功能的問荊、有助消化的柿子葉，以及富含礦物質且據說對肝臟有益的桑葉。美山藥草茶就是使用問荊、柿子葉與茶葉、前草、山白竹、艾蒿、魚腥草等原料調配而成。其中，魚腥草是一種開白花的草藥，生長迅速，是園丁們「眼中釘」，但據說有治療功效，因此自古以來就被用來製茶。

製作藥草茶，需要將這些草藥放在太陽下曬乾，碾碎後放入鐵鍋中焙炒，飲用時可使用熱水或涼水沖泡。袋裝藥草茶包可在「茅葺之里」村前的紀念品商店和美山民俗資料館購買。

<日本語仮訳>**美山薬草茶**

美山の谷や森にはさまざまな野生のハーブや食用植物と花が生育している。地域の人々は代々これらの植物を採集し、飲用、食用に利用してきた。「美山薬草茶」はその一例です。

この地域では、利尿作用のあるスギナ、消化を助けるとされる柿の葉、ミネラルが豊富で肝臓を養うとされる桑の葉などが伝統的に使用されている。美山薬草茶はスギナと柿の葉に、茶葉、オオバコ、クマザサ、ヨモギ、そしてドクダミを混ぜ合わせたものである。ドクダミは、白い花を咲かせ、すぐに広がるので庭師には厄介者扱いされているが、古くから治癒効果があるとされ、愛飲されてきたハーブである。

お茶を作るには薬草を天日で乾燥させ、砕いて鉄鍋で炒り、お湯か水に浸す。かやぶきの里の入り口付近の土産物店や美山民俗資料館では、乾燥・焙煎した薬草茶葉の袋を購入することができる。

【タイトル】 美山かやぶきの里雪灯廊

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**美山茅葺之里雪灯廊**

美山の冬天常常大雪纷飞，此时的“美山茅葺之里雪灯廊”是全年最大的亮点之一。这场一年一度的活动在“茅葺之里”举办，从1月的最后一个星期六开始，持续一周。每当夜幕降临，人们就会点亮灯笼里的蜡烛或LED灯。在这里，任何人都可以制作属于自己的雪灯笼：有人将一桶雪倒扣在地上，再把中间掏空，就做成了一个最简单的雪灯笼；也有人会精心设计，制作出抽象的烛台，点亮之后宛如实物；更有人将雪灯笼制成热门动画人物的雕像。节庆期间，村庄里会摆出各种食品和饮料摊位。有些茅葺民居的灯光秀会一直持续到2月下旬。

2月，美山町会另办一场雪祭，场地设置在离茅葺之里约2公里的一处运动场。这项免费活动包括不少合家欢类型的项目，比如雪雕比赛、乘坐雪橇，以及充满趣味的雪上运动会等。

<繁体字>**美山茅葺之里雪燈廊**

美山の冬天常常大雪紛飛，而此時的「美山茅葺之里雪燈廊」是整年中最令人期待的活動之一。這個一年一度的節日活動在茅舍小村「茅葺之里」舉行，從1月的最後一個星期六開始，持續一周。每當夜幕降臨，燈籠中的蠟燭或LED燈點亮，營造出幽美的景觀。每個人都可以製作自己的雪燈籠：只需將一桶雪倒扣在地上，再挖空中心，便是一個簡單的雪燈籠；也有人更精益求精，創作出抽象的燭臺，點亮後看起來就像真的一樣；或者將雪燈籠塑造成熱門動畫人物的雕像。節慶期間，茅葺之里會設有小吃和飲料攤。有些茅葺民居的燈光秀一直持續到2月下旬。

在2月，美山町會舉辦另外一場雪祭，場地位於離茅葺之里约2公里的一座運動場。這項免費活動包括不少闔家歡樂的項目，比如雪雕比賽、乘坐雪橇，以及充滿趣味的雪上運動會等。

<日本語仮訳>**美山かやぶきの里雪灯廊**

冬になると大雪に見舞われる美山の風物詩のひとつとなっているのが「美山かやぶきの里雪灯廊」。かやぶきの里では毎年1月の最終土曜日から1週間にわたって開催される。夜になると、雪灯籠はろうそくやLEDで明かりが灯される。かやぶき屋根の家々で行われている雪灯籠づくりには誰でも参加することができる。バケツ一杯の雪をひっくり返し、真ん中をくり抜いただけの簡単なものから、火を灯すと命が吹き込まれるような、抽象的なキャンドルホルダーを作り上げた。人気アニメのキャラクターをモチーフにしたオブジェなど、参加者の工夫次第でさまざまな灯廊ができあがる。祭りの期間中は飲食の屋台も軒を連ねる。中には、2月下旬までライトアップするかやぶき民家もある。

2月に、美山町ではかやぶきの里から約2km離れた場所にある運動場で雪まつりを開催している。雪像コンテストやソリ遊び、雪上運動会など、家族で楽しめるプログラムが用意されている。参加は無料です。

【タイトル】 ちいさな藍美術館

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**小小蓝美术馆**

来到“茅葺之里”这座“小小蓝美术馆”，人们可以在明媚如画的环境中探索蓝染的历史。美术馆位于村里最大的一座茅葺农舍内，地势较高。这座农舍是本村世袭村长中野家族的宅邸，建于1796年。为保护梯田而建造的石头围墙颇为壮观，庭园小而精美，处处彰显着中野一族的势力与地位。

这栋建筑如今的主人是艺术家新道弘之，他出生于京都，1981年阖家迁居美山町后买下了中野家宅，并将这座历史悠久的老房子改成了印染工坊。在20世纪60年代晚期就读于京都市立美术大学时，新道弘之开始接触蓝染工艺，从那以后，他就将毕生精力投入了这项工艺之中。之所以选择美山町，是因为这里拥有纯净的地下水源，而且只有在乡下，他才可能大量烧制草木灰。制作蓝染染料需要用蓼蓝叶发酵，草木灰是这个环节必不可少的重要原料。2005年，新道弘之开办了美术馆，展示他从世界各地收来的蓝染作品，同时，还向造访茅葺之里的人们介绍这种艺术形式的历史。

在美术馆的入口处可以窥见新道弘之设在隔壁的工坊，工坊地板上嵌着装满了蓝染染料的大桶。这种染料里不含任何化学合成物，剩余时还能当作肥料使用。新道弘之一家就会用它来给自家菜园施肥。除此之外，蓝染染料还有杀菌除虫功效。

由于蓝染具有诸多益处，再加上它鲜亮的蓝紫色泽，数千年来一直受到全世界的珍视，相关历史可在新道弘之的美术馆内一探究竟。农舍的阁楼以前用来存放农家修缮房屋所用的茅葺干草，如今，这里轮替展出艺术家的数百件蓝染收藏品。美术馆门票300日元。10:00~17:00开放，12月下旬~次年3月上旬和非节假日的周四、周五闭馆。

<繁体字>**小小藍美術館**

在「茅葺之里」的「小小藍美術館」，遊客可以在明媚如畫的環境中探索藍染的歷史。這間美術館位於村裡最大的一座茅葺農舍內，地勢較高。該農舍建於1796年，原為世襲村長中野家所擁有。為保護梯田而建造的石頭圍牆頗為壯觀，庭園小而精美，這些都彰顯著村長一家的權勢和地位。

現在，這座建築的主人是藝術家新道弘之。他出生於京都，1981年舉家搬遷至美山町，買下了中野家宅，並將這座歷史悠久的老屋改造成印染工坊。新道弘之在1960年代末就讀

於京都市立美術大學，並開始接觸藍染工藝。從那以後，他投入畢生精力致力於這門工藝。之所以選擇美山町，是因為這裡擁有純淨的地下水源，而且只有在鄉下，他才可能大量燒製草木灰。製作藍染染料需要發酵蓼藍葉，草木灰是這個環節中必不可少的重要原料。2005年，新道弘之開設了小小藍美術館，展示他從世界各地收藏的藍染作品，同時向參訪茅葺之里的遊客介紹這種藝術形式的歷史。

在美術館的入口處，遊客可以窺見新道弘之設在旁邊的工作坊，工作坊地板上嵌著裝滿了藍染染料的大桶。這種染料不含任何化學合成物，剩餘時還能當作肥料使用。新道弘之一家就會用它來給自家菜園施肥。除此之外，染料還有殺菌除蟲功效。

由於藍染具有許多好處，加之其本身鮮亮的藍紫色澤，數千年來，一直受到世界各地喜好者的青睞。有關這方面的歷史，遊客可以在新道弘之的美術館中一探究竟。農舍的閣樓曾經用來存放農家修繕房屋所用的茅葺乾草，如今，這裡輪替展出藝術家的數百件藍染收藏品。美術館門票 300 日圓。10:00~17:00 開放，12 月下旬至次年 3 月上旬和非節假日的週四、週五閉館。

<日本語仮訳>

ちいさな藍美術館

かやぶきの里にある「ちいさな藍美術館」は、藍染めの歴史を風光明媚な環境の中で知ることができる施設だ。庄屋を世襲していた中野家のために 1796 年に高台に建てられた、村内最大のかやぶき屋根の農家の中にある。段々畑を守るために作られた大きな石垣や小さいものの美しい庭は、一家の地位の高さの証左である。

現在の所有者は京都出身の美術家・新道弘之。彼は 1981 年に家族で美山町に移り住み、中野家を購入して歴史的建造物を染め工房に改装した。1960 年代後半に京都市立美術大学在学中に藍染を知って以来、藍染にこだわり続けている。地下水がきれいであること、そして藍の葉を染料にするための発酵に必要な灰を作るために、木を大量に燃やすことができる田舎であることが、新道がこの町を選んだ理由である。2005 年には世界各地の藍染のコレクションを展示した美術館を開設し、かやぶきの里を訪れる人々に藍染の歴史を伝えている。

美術館の入り口からは、隣の部屋にある新道の工房を覗くことができる。藍染の染料が入った桶が床に固定されている。この染料は化学合成物質を一切含んでおらず、新道家の畑のように、役目を終えたら肥料として使うことができる。また、抗菌作用や虫除け効果もある。

このような利点と、青や紫の鮮やかな色合いから、藍染は何千年も前から世界中で珍重されてきた。かつて屋根の葺き替え用の干し草が保管されていた屋根裏部屋では、新道が収集した数百点の藍のコレクションの入れ替え式の展示を通して、藍染の歴史を学ぶことができる。美術館の入館料は 300 円。開館時間は 10:00~17:00 で、休館日は毎週木・金曜日（祝日開館）と 12 月下旬~3 月上旬。

【タイトル】 石田家住宅

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**石田家族住宅**

石田家族の茅葺屋舎は日本現存最古の農家住宅、1650年に、当時の主人は一位世襲村長、家境頗る富裕。該家族がこの建物のなかでずっと住んで1972年。同年、石田家族住宅が指定为国家重要文化財。現在、この住宅は使用と當年同様の建材で修葺され、17世紀の面影を回復した。

石田家族住宅は北山型農舎建築の範本。この建築様式は17世紀初期に京都以北の村莊で漸く発展した。北山型住宅の特徴は正方形の建物、木板壁、入り口の玄関区域を少し高くした土間。石田家族住宅と最初期の北山型農舎建築は、入り口が山壁の一方にあり、隣には牛舎がある。入り口を入った最初の部屋はキッチンと起居室、これは室内で最も大きな空間、真ん中に下向きの土間炉“囲炉裏”がある。起居室の奥には、主に客を待たせるための榻榻米の部屋、一家の佛龕、そして家族の寝室がある。当時、家族の成員はすべて藁の上で寝た。

農舎の屋根は歇山顶式、竹の骨組みを縄で縛り結び、釘は一つもない。屋根の下には閣楼がない窓、これは貯蔵と屋根交換に必要な干草を貯蔵する。このような茅葺屋根は、何十年ごとに交換が必要。屋根は3層に分かれている：最上層は厚い防水層、茅草を敷き；中間層は稲藁、農家にとって、稲藁は経済的であり大量に採集可能；最下層は、薄い皮麻の束、これは上層を支える。この伝統的な3層構造は北山地区全体でよく見られ、今ではほとんど古建築の修復にのみ使われる。私邸の主人は通常、茅草をすべて屋根に敷き、因为它们更耐用。

注意するべきは、石田家族住宅は美山町最西側にあり、大野水坝に近く、車で行く必要がある。住宅は毎年3～11月の週末と公共祭日に公開され、公開時間は10:00～16:00。

<繁体字>**石田家住宅**

石田家族的茅葺屋舎是日本現存最古老的農家住宅、建於1650年、當時的石田家頗為富裕，為世襲村長，在這座房子裡一直住到1972年。同年，石田家住宅被指定為國家重要文化財產。現在這所住宅使用了和當年同樣的建築材料加以修葺，恢復了它在17世紀時的面貌。

石田家住宅是北山型農舍建築的典範，這種建築類型在17世紀初期逐漸形成於京都以北的村莊。北山型住宅的特徵包括正方形建築、木板牆、進門玄關區域略微抬高的泥地。

和最早期的北山型農舍建築一樣，石田家住宅的入口位於山牆方，旁邊是牛棚。進屋後的第一個房間是廚房和起居室，這也是室內最大的一處空間，正中心有一個下沉式的地爐「圍爐裏」。起居室後面，有一個主要用於接待客人的榻榻米房間，還有一座家族佛龕，以及家族成員的臥室。當時，家族成員都睡在稻草上。

農舍屋頂為歇山頂式，竹子支架繩索綁縛連接，沒有一根釘子。屋頂下方的閣樓沒有窗戶，主要用於儲藏更換屋頂所需的乾草。這樣的茅葺屋頂，每隔幾十年就要更換一次。屋頂分為三層：最外層是厚實的防水層，鋪設「芒草」；中層使用稻草，對於農民來說這是經濟實惠且易於取得的材料；底層是一層薄薄地去皮麻杆，承托上面兩層。這種傳統的三層式結構曾經分佈於整個北山地區，但如今幾乎只有在古建築上使用。私人住宅的主人通常更偏好全部使用芒草來鋪設屋頂，因為它們更經久耐用。

需要留意的是，石田家住宅位於美山町最西側，靠近大野水壩，只適合自駕前往。住宅於每年 3 月至 11 月的週末和國定假日對外開放，開放時間為 10:00~16:00。

<日本語仮訳>

石田家住宅

かやぶき屋根の石田家住宅は、現存する日本最古の農家で、1650 年に庄屋を世襲していた裕福な家のために建てられたものである。その家族は、建物が国の重要文化財に指定される 1972 年までこの家で暮らし続けていた。現在では、建築時の建材を使用して 17 世紀当時の姿を再現している。

石田家住宅は、17 世紀初頭から京都北部の村々で発展した農家建築、北山型農家住居の代表格である。北山型の住宅は正方形で、板壁と少し高くなった土間の玄関などが特徴。この石田家を含む最も古い建築では、入り口は切妻側で牛小屋の横にある。屋内に入って最初の部屋は、「囲炉裏」（床に設置した炉）を中心とした台所と居間となっており、この家の中で最も広い。居間の先には、主に来客を迎えるための畳の部屋、仏壇、家族が藁で寝泊まりしていた部屋などがある。

入母屋造りの屋根は、竹で組まれた骨組みの上に、釘ではなく縄で支えられている。その下には窓のない屋根裏部屋があり、数十年に一度の葺き替えのために干し草を保管していた。屋根は水に強いススキの厚い外層部、農家で大量に手に入る安価な稲わらの中層部、外層部・中層部を支える皮が剥かれた麻茎の薄い下層部の 3 層構造になっている。北山地方では伝統的にこの三段葺きが一般的であったが、現在では主に歴史的建造物に使用されている。ススキのみで葺いた屋根のほうが耐久性が高いため、個人宅ではそちらが主流となっている。

なお、石田家は美山町西端の大野ダム付近にあり、車でのアクセスのみになります。一般公開は 3 月から 11 月の土・日・祝日の午前 10 時から午後 4 時。

【タイトル】 祇園社の神楽

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**祇園社神乐祭**

祇園社神乐祭是一场不拘一格的祭典，每年7月14日在“田歌”村的八坂神社举行。祭典的重头戏是持续大约1小时的游行，届时，村民们打扮成长鼻子天狗或鬼怪等民间传说中的角色，击鼓吹笛，载歌载舞，一路来到神社向神明敬献神乐以示供奉。这项祭典已有将近400年历史，是该村全年最重要的盛事，通常会有数百名的观光客汇聚于此。

祇園社神乐祭的起源与历史已难以考证，但据说从1640年开始田歌村就有这种习俗，有人认为它很可能发源于京都，即祇園神社总本社（八坂神社）的所在地。也有人认为，17世纪中叶，美山地区经历了一场大饥荒，因为京都的祇園神社为祛病消灾而建，于是村民们就开始向祇園神社的神明祈求消灾除厄。

如今的祇園社神乐祭，旨在祈祷五谷丰登、村庄安泰，以及构建紧密的社区关系。庆典期间演奏的音乐代代口授相传，能够熟记其旋律才被视作名副其实的田歌村居民。参加祭典的人大多对整个流程都成竹在胸，因此只需要在祭典前彩排一周即可。

<繁体字>**祇園社神樂祭**

祇園社神樂祭是一場不拘一格的祭典，每年7月14日在田歌村的八坂神社舉行。祭典最主要的活動是持續約1小時的遊行，屆時，村民們身穿長鼻子天狗或鬼怪的服裝，扮演民間傳說中的角色，擊鼓吹笛，且吟且舞，穿過村莊走向神社，向神明敬獻神樂。這項祭典已有將近400年歷史，是村裡一年中最重要的活動，往往能吸引數百名觀光客來此共襄盛事。

關於祇園社神樂祭的起源與歷史，並沒有明確記載，但據說它從1640年就開始在田歌村舉行。有人認為這個祭典最初有可能起源於京都，即祇園神社總本社（八坂神社）的所在地。也有人認為，17世紀中葉，美山地區經歷一場大飢荒，因為京都祇園神社原本就為祛病消災而創建，於是村民便開始向京都祇園神社的神明祈求消災除厄。

如今的祇園社神樂祭，旨在祈禱五穀豐登、村莊安泰，以及強化社區聯繫。慶典期間演奏的音樂代代口授相傳，能夠熟記其旋律才被視作名副其實的田歌村居民。參加祭典的人大多對整個流程早已成竹在胸，因此只需要在祭典前彩排一週即可。

<日本語仮訳>

祇園社の神楽

祇園社の神楽は、毎年 7 月 14 日に「田歌」という小さな集落にある八坂神社に行われる、多彩な表情を持つ祭りである。祭りのメインイベントは、鼻の長い天狗や鬼など民話の登場人物に扮した住民たちが、踊りを舞い太鼓や笛を鳴らしながら、神社で神聖な神楽を神様に奉納するために村中を 1 時間かけて練り歩く。400 年近い歴史を持つこの祭りは、集落にとって 1 年で最も重要な行事であり、数百人の観客が集まることもある。

祇園社の神楽の起源や歴史は定かではない。1640 年以降、田歌で行われていたと考えられており、その起源は祇園（八坂）神社の本家である京都にあるかもしれない。1600 年代半ばに美山地区が飢饉に見舞われた際、疫病除けのために創建された京都の祇園神社の神々に祈願したのが始まりという考え方もある。

現在、祇園社の神楽は五穀豊穡を祈り村の安泰を祈り、地域の絆を深めるためのものである。祇園祭の囃子は口伝で伝えられてきたもので、この囃子を覚えると一人前の田歌の住人になれると言われている。参加者の多くはそれを暗記しているため、稽古は祭りの前の 1 週間だけ行われる。

地域番号	022	協議会名	近江八幡観光物産協会
------	-----	------	------------

解説文一覧

NO.	スポット名 (タイトル)	中国語文字数	想定媒体
022-003	近江八幡とは	1995	WEB
022-005	近江商人	655	パンフ
022-006	近江商人	1325	WEB
022-008	近江八幡の水郷	655	パンフ
022-011	水郷めぐり	515	WEB、パンフ
022-013	八幡山	610	WEB
022-015	八幡山ロープウェイ	485	WEB
022-017	八幡堀	605	WEB、パンフ
022-019	八幡堀めぐり	455	WEB
022-022	左義長まつり	1670	WEB
022-024	旧西川利右衛門家住宅	610	WEB
022-026	西川甚五郎邸・本店史料館	740	WEB
022-028	丁稚羊羹	415	WEB
022-030	近江牛	575	WEB
022-033	ウィリアム・メレル・ヴォーリスと近江八幡	1635	WEB
022-034	日本各地のヴォーリス建築	760	WEB
022-035	近江八幡のヴォーリス建築	700	WEB
022-037	旧八幡郵便局	525	WEB
022-039	ヴォーリス記念館	500	WEB

【タイトル】近江八幡とは

【想定媒体】WEB

<簡体字>

近江八幡简介

近江八幡是滋贺县的一座小城市，位于琵琶湖东南岸，从京都搭乘火车前往约为40分钟车程。这里原本是一座于16世纪晚期诞生的城下町（即围绕城郭发展起来的市镇），之后渐渐发展为该地区的商业中心，一直繁荣至20世纪早期。如今，紧凑的老街区仍保持着当年的风貌，传统町屋（商人或工匠的住宅，通常与店铺或工坊合为一体）和仓库依旧鳞次栉比。令近江八幡声名远扬的还有威廉·梅瑞尔·波利斯(William Merrell Vories;1880-1964)设计的20世纪建筑，这位出生于美国的建筑师同时也是一位传教士，他在这座小城里度过了人生的大部分时光。

当然，近江八幡的居民在保护和弘扬城市文化遗产方面发挥了积极作用。

商业的繁荣

这座城市的名字取自武士阶层的守护神“八幡”。不过，近江八幡虽是武士所建，但它的繁荣却归功于更为和平的商业活动。

近江八幡的起源可以追溯至1585年，当时，丰臣秀吉(1537-1598)的外甥丰臣秀次(1568-1595)在北面高耸的八幡山上修建了一座城郭。丰臣秀吉曾是当时日本最强大的武将织田信长(1534-1582)的左膀右臂，后者已于1576年在近江国（今滋贺县）的安土建立了自己的基业。1582年，织田信长被杀，安土城被弃置，丰臣秀吉为实现他前主君统一国家的梦想而开启了征程。

1592年，丰臣秀吉过继丰臣秀次，将他立为丰臣家族的继承人。丰臣秀吉命丰臣秀次建造八幡山城作为丰臣家族在近江国的势力基盘，并授意他对城郭下的八幡町（今近江八幡）进行整修，然后从附近的安土及其他地方邀请商人迁入，免除赋税，将此地变成不受行业工会“座”制约的“乐市乐座”地带，从而促成其商业中心的地位。此外，丰臣秀次还下令挖掘了八幡堀，这条水道既是八幡山城的防御工事，也是运送物资的运河，它经由琵琶湖，将城下町与其他地区连接起来。

只是丰臣秀次并没能守住丰臣家族继承人的地位。1593年，丰臣秀吉有了自己的儿子，渐渐不再信任外甥。两年后，丰臣秀次遭到贬黜，被迫自杀身亡，八幡山城也因此废弃。然而，八幡町却依旧保持着繁荣，并逐渐发展为重要的商贸中心。这在很大程度上得益于它的地理位置，八幡町地处琵琶湖畔，同时还位于连接京都与江户（今东京）的两条主要道路之一的中山道旁。商人们从八幡町出发，最初只是遍走全国，贩卖诸如蚊帐、榻榻米

席面、麻布制品等地方特产，后来他们在各大城市逐步建立起贸易网络，从而进化为可以根据市场需求、行情、社会环境的变化，灵活调整经营策略，调节备货库存的商业模式。如今，老街区的新町和永原町这两条街道旁林立的精美的宅邸，直观体现了当年商人们积累的财富。其中位于新町的旧西川利右卫门家族住宅如今已被改造成博物馆，展示着八幡町商人们的生活与遗产。八幡町商人以勤劳、诚信和对社会的贡献而誉满全国。

身负使命而来的人

进入 20 世纪，威廉·梅瑞尔·波利斯成了八幡商人价值观的继承者，他的公益精神也被近江八幡的人们深深铭记。波利斯刚来这座城市时，在一所高中教授英文，同时致力于传播基督教。为了筹集传道资金，他不断寻求发展，涉足建筑、出版、药品贩售等多个领域。他在这座小城里创办了多家企业、学校和医疗设施，与当地民众建立起了长久牢固的关系。1958 年，波利斯成为近江八幡市首位名誉市民，由他创办的许多企业和机构至今犹存。老街区里有好几处建筑都由波利斯设计，包括旧八幡邮局、池田町的洋房、波利斯纪念馆等，其中波利斯纪念馆是波利斯与妻子的故居，现为展示其生平与成就的博物馆。

遗产守护

近江八幡市之所以能将城市的历史风貌与传统文化保留至今，还必须归功于本地居民的不懈努力。20 世纪中叶，八幡堀不再用于水路运输，以至老朽不堪。于是市政府计划将杂草丛生、臭气弥漫的河道填平。然而，本地志愿者发起了一场“保堀运动”，开始了对河沟的清理。直至今日，这项活动仍在继续。如今，八幡堀两岸与新町街、永原町街区域共同被指定为近江八幡市重要传统建筑群保护区。当旧八幡邮局陷入年久失修的境地时，又是热心的市民组建起一个非营利性机构，修缮、维护这处建筑，将其改造成一个向公众开放的画廊和活动空间。此外，市民们还与地方政府合作，长期保护位于城市北面的湿地生态系统，那是一片拥有芦苇地的沼泽，称为“水乡”，在近江八幡的历史上发挥过重要的作用。这片湿地成为了日本第一个获得“重要文化景观”称号的地方，2015 年它又作为“琵琶湖及其湖滨景观——祈愿与生活的水遗产”的一部分被认定为“日本遗产”。坐游船可游览这片湿地。

在近江八幡的文化遗产中，最具代表性的或许就是每年 3 月举办的“左义长祭”。届时，本地居民汇聚一堂，合力制作装饰精美的山车（花车）“左义长”，这些左义长将在城中巡游两日，最后来到日牟礼八幡宫，点火焚烧，以此供奉这座城市的守护神。这项祭典早在 16 世纪就已诞生，但直到今天，本地居民依然热情地参与其中，以此表达他们对家乡历史传统的骄傲与自豪。

<繁体字>

近江八幡简介

近江八幡是滋賀縣的一座小城市，位於琵琶湖東南岸，從京都搭乘電車前往約為 40 分鐘車程。近江八幡本是一座於 16 世紀晚期出現的城下町，即圍繞城郭發展起來的市鎮，到 20 世紀早期為止一直都是繁榮的商業中心。這段繁華時期的印記被保留至今，緊湊的老街區裡依然林立著傳統町屋（商人或工匠的住宅，通常與店鋪或工坊合為一體）和倉庫。同時令近江八幡聲名遠揚的還有由威廉·梅瑞爾·沃里斯（William Merrell Vories;1880-1964）設計的 20 世紀建築。這位出生於美國的建築師同時也是一位傳教士，他在這座小城裡度過了人生的大部分時光。

近江八幡居民在保護傳承當地的文化遺產中發揮著積極的作用。

商業的繁榮

這座城市的名字取自武士階層的守護神「八幡」。不過，雖然近江八幡是武士所建，但它的繁榮卻歸功於更為和平的商業。

近江八幡的起源可追溯至 1585 年，當時，豐臣秀吉（1537-1598）的外甥豐臣秀次（1568-1595）在位於北方的八幡山上修建了一座城郭。豐臣秀吉曾是當時日本最強大的武將織田信長（1534-1582）的心腹，後者於 1576 年在近江國（今滋賀縣）的安土建立了自己的基業。1582 年，織田信長被殺，安土城被棄置，豐臣秀吉開始實現他前主君統一國家的夢想。

1592 年，豐臣秀吉過繼豐臣秀次，立他為豐臣家的繼承人，並命令他負責建造八幡山城，將其作為豐臣家在近江國的居城和政權中心。同樣是在舅父授命下，豐臣秀次在城郭山腳下建設八幡町（今近江八幡），並將它發展成為一處商業中心。他從附近的安土及其他城市引進商戶，免除賦稅，保障他們不受被稱為「座」的行業工會限制，將八幡町變成了「樂市樂座」之地。此外，他還下令挖掘八幡堀，這條水道既是八幡山城的防禦工事，也是運送物資的運河，它經由琵琶湖，將城下町與其他地區連接起來。

只是豐臣秀次並沒能守住豐臣家繼承人的地位。1593 年，豐臣秀吉喜獲麟兒，漸漸疏遠外甥。兩年後，豐臣秀次遭貶，被迫自殺身亡，八幡山城也因此廢棄。然而，八幡町依舊繁榮，並逐漸發展為重要的貿易與商業中心，這在很大程度上得益於它的地理位置。八幡町地處琵琶湖畔、中山道旁，後者是連接著京都與江戶（今東京）的兩條主要道路之一。商人們從八幡町出發，走遍全國各地，最初只是販賣諸如蚊帳、榻榻米蓆面、麻布製品等地方特產。漸漸地，他們在各大城市建立起貿易網路，根據市場需求、趨勢、社會環境的變化靈活調整經營策略，調節備貨庫存。由此累積的財富反映在老街區的新町和永原町兩條街道旁林立的精美宅邸上。其中位於新町的舊西川利右衛門家住宅，如今已改造成博物館，展示八幡町商人們的生活方式與遺產，他們以勤勞、誠信和社會貢獻而享譽全國。

身負使命而來的人

進入 20 世紀，威廉·梅瑞爾·沃里斯成了八幡商人價值觀的繼承者，他本人的公益精神也被近江八幡的居民深深銘記。沃里斯剛來這座城市時，是在一所高中教授英文，同時致力於傳播基督教事業。為了籌集傳道資金，他不斷尋求發展，涉足建築、出版、藥品販售等多個領域，在這座小城裡創辦了多家企業、學校和醫療設施，與當地民眾建立起了長久

穩固的情誼。1958 年，沃里斯成為近江八幡市首位名譽市民，由他創辦的許多企業和機構至今仍舊營業。老街區裡有數處沃里斯設計的建築，包括舊八幡郵局、池田町の洋房、沃里斯紀念館等，後者是沃里斯與妻子的故居，現為展示其生平與成就的博物館。

遺産守護

近江八幡市能將城市的歷史風貌與傳統文化保留至今，是當地居民努力不懈傳承的結果。20 世紀中葉，八幡堀不再用來運送物資，以至漸漸荒廢。於是市政府計畫將雜草叢生、臭氣瀰漫的河道填平。然而，當地志工發起了一場「保堀運動」，開始了河溝清理。直至今日，這項活動仍在持續。如今，八幡堀兩岸與新町街、永原町街區域共同被指定為近江八幡市重要傳統建築群保護地區。當舊八幡郵局陷入年久失修而廢棄時，熱心的市民組建起一個非營利性機構，修繕及維護這處建築，將其改造成一個向大眾開放的畫廊和活動空間。此外，市民們還與地方政府合作，長期保護位於城市北面的濕地生態系統，那是一片獨特的蘆葦地與沼澤，被稱為「水郷」，在近江八幡的歷史上曾發揮過重要的作用。這片濕地成為了日本第一個獲得「重要文化景觀」稱號的地方，2015 年它又作為「琵琶湖及其湖濱景觀——祈願與生活的水遺產」的一部分被指定為「日本遺產」。坐遊船可遊覽這片濕地。

在近江八幡的文化遺產中，最具代表性的或許就是每年 3 月舉辦的「左義長祭」了，屆時，當地居民會聚在一起，合力製作裝飾精美的「左義長」山車（花車），這些山車將在城中遊行兩日，最後來到日牟禮八幡宮，點火焚燒，以此供奉這座城市的守護神明。這項祭典起源於 16 世紀，傳承至今，當地居民依然熱情地參與其中，以此表達他們對家鄉歷史與傳統的自豪與驕傲。

<日本語仮訳>

近江八幡とは

滋賀県近江八幡市は、京都から電車で約 40 分、琵琶湖の南東に位置する小さな都市である。16 世紀後半に城下町（城郭を中心に発達した都市）として誕生し、20 世紀初頭まで商業の中心地として栄えた。当時の面影を残すコンパクトな旧市街には、昔ながらの町屋（店舗や工房が併設する商家や職人の住宅）や土蔵が軒を連ねている。近江八幡市は、生涯の大半をここで過ごしたアメリカ出身の建築家であり宣教師でもあったウィリアム・メレル・ヴォーリス（1880-1964）が手がけた 20 世紀建築でも知られている。また、地域住民が一体となって、街の文化遺産を守り、継承することに積極的な役割を果たしている。

商業で栄えた街

近江八幡市は、武家の守護神である「八幡」からその名を取った。しかし、武士によって築かれた街でありながら、商業という平和的な営みによって繁栄してきた。

近江八幡の起源は、1585 年、武将の豊臣秀吉（1537-1598）の甥・豊臣秀次（1568-

1595) が町の北部にそびえる八幡山に築いた城に遡る。秀吉は、1576 年に近江国（現在の滋賀県）の安土を本拠地とした、当時の日本最強の武将・織田信長（1534-1582）の右腕であった。1582 年に信長が殺されると安土城は廃城となり、秀吉はかつての主君の夢であった天下統一を実現するために動き出す。

1592 年、秀吉は秀次を豊臣家の跡取りとした。秀吉は秀次に命じて、近江国に豊臣家の勢力基盤として八幡山城を築かせた。叔父の命により、城下の八幡町（現在の近江八幡市）も整備し、安土などの商人を住まわせ、税金を免除し、既存の同業者組合「座」の影響を受けない「楽市楽座」地帯とし、商業の拠点とした。また、八幡堀を掘らせ、城の防御と、琵琶湖を經由して町と他の地域を結ぶ物資輸送のための運河の役割を持たせた。

しかし、秀次の豊臣家の世継ぎとしての地位は長くは続かなかった。1593 年、秀吉に実子が生まれ、甥への信頼が薄れた。2 年後、秀吉は秀次を自害に追い込み、八幡山城は廃城となった。しかし、八幡の町は繁栄を続け、貿易や商業の重要な中心地となった。それは、琵琶湖のほとりに位置し、京都と江戸（現在の東京）を結ぶ二大街道の一つである中山道の近くにあったという地の利の良さによるものであった。八幡の商人は八幡から、当初は蚊帳や畳表、麻織物など地元の特産品を売って、全国を回っていた。そして、主要都市に交易網を築き、需要や流行、社会情勢の変化に応じて柔軟に商売のやり方や在庫を変化させていったのである。その富は、旧市街の新町・永原町界隈の邸宅に反映されている。その一つ、新町通りの旧西川利右衛門家住宅は、勤勉、誠実、社会貢献で全国的な名声を築いた八幡商人の生活と遺産を展示する博物館として整備されている。

奉仕の人生

20 世紀、八幡商人の価値観はウィリアム・メレル・ヴォーリズによって受け継がれ、その公共の精神は近江八幡で愛され続けている。ヴォーリズは、キリスト教の布教の傍ら地元の高校で英語を教えるために来日したが、布教活動の資金を得るべく、建築、出版、薬品販売などの分野に進出した。近江八幡に多くの企業や学校、医療施設を設立し、地域住民と永続的な関係を築いた。1958 年には近江八幡市初の名誉市民となり、彼が設立した多くの企業や団体が現在もその活動を続けている。旧八幡郵便局、池田町の洋館、そしてかつてヴォーリズ夫妻の自宅であったが、現在はヴォーリズの生涯と業績を紹介するヴォーリズ記念館など、旧市街地にはヴォーリズが設計した建物がいくつも残っている。

レガシーを守る

近江八幡の歴史的な街並みや伝統文化は、地域住民の粘り強い努力によって今日まで受け継がれてきた。20 世紀半ば、八幡堀は運河として使われなくなり、老朽化した。市は、生い茂り悪臭を放つ堀を埋め立てる計画を発表したが、地元有志が堀の保存運動を展開し、現在も続く清掃活動を始めたのである。堀の両岸は現在、新町通り、永原町通りとともに近江八幡市重要伝統的建造物群保存地区に指定されている。また、旧八幡郵便局が老朽化したとき、市民が NPO 法人を立ち上げて改修・保全に努め、現在は建物をギャラリーやイベントスペースとして一般に開放している。また、市街地の北に位置する「水郷」は、近江八幡の歴史上重要な役割を果たしてきたヨシ原のある湿地帯で、住民と行政が一体となって生態系の保全に一貫して取り組んできた。日本で初めて重要文化

的景観に選定され、また、2015年に「琵琶湖とその水辺景観―祈りと暮らしの水遺産」の一部として「日本遺産」にも認定されていた琵琶湖岸のこの一角は、遊覧船でめぐることができる。

近江八幡の文化遺産を最もよく表しているのは、3月の左義長まつりであろう。毎年、地元の人々が協力して精巧な「左義長」を作り、飾り付け、2日間かけて街を練り歩いた後、日牟禮八幡宮で燃やし、町の守り神に奉納する。16世紀から続くこの祭りは、住民の歴史と伝統への誇りを熱く表現している。

【タイトル】 近江商人

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

近江商人

近江商人，即出自近江国（今滋贺县）的行商，他们在 16 世纪至 19 世纪将自己的声名传遍了全日本。近江商人在远离家乡的城镇置办产业，依靠灵敏的商业嗅觉、勤奋和公正的交易精神赢得了高度赞誉。进入明治时代(1868-1912)后，日本经济的现代化发展更是少不了他们的贡献，他们当年兴办的许多企业迄今犹存。而他们累积的财富，在近江八幡老街区沿街排布的精美宅邸上便可见一斑。

来自近江各地的商人活跃在不同地区，各自贩卖自己家乡的特产。最常见的商品包括蚊帐、榻榻米席面和麻布制品。17 世纪早期，近江商人预见江户（今东京）将成为日本首都，因而成为了最早一批在那里开店经营的商人。另外，他们还参与了虾夷地（今北海道）的开发，甚至有些近江商人曾远赴暹罗（今泰国）和安南（今越南）。

近江商人坚定不移地将勤劳、节俭、诚信经营奉为信条。他们之所以践行这些行为准则，是为了克服当时社会对外来者，尤其是对商人根深蒂固的怀疑。江户时代(1603-1867)，商人处于社会最底层，因为他们自己不生产任何实在的东西。

近江商人坚守的许多准则都能反映出他们的人生哲学。其中之一是“节俭勤勉”，即长久的商业成功依赖于充分利用现有资源和勤奋工作；另一条是“三方共赢”，意为任何买卖都应当做到对卖家有利，对买家有利，对社会整体有利。

此外，还有一条更深刻的人生信条，可以用座右铭“阴德善事”（积阴德，做善事）来概括。近江商人相信，做生意应当造福社会，做到分享利益，而不是追求名誉。因此，他们往往会为创办学校、修路造桥等公共事业慷慨解囊，以此为社会做贡献。

<繁体字>

近江商人

近江商人，即出自近江國（今滋賀縣）的行商，他們在 16 世紀至 19 世紀聲名傳遍了全日本。近江商人在遠離家鄉的城鎮興辦實業，依靠靈敏的商業嗅覺、勤奮和公正的交易精神贏得了高度讚譽。進入明治時代（1868-1912）後，日本經濟的現代化發展更是少不了他們的貢獻，他們當年興辦的許多企業迄今猶存。而他們累積的財富，在近江八幡老街區沿街排布的精美宅邸中便可見一斑。

來自近江各地的商人活躍在不同地區，販賣自己家鄉的特產。最常見的商品包括蚊帳、榻榻米蓆面和麻布製品。17世紀早期，近江商人預見了江戶（今東京）將成為日本首都，因而成為了最早在那裡開店經營的一批商人。另外，他們還參與了蝦夷地（今北海道）的開發，甚至有些近江商人曾遠赴暹羅（今泰國）和安南（今越南）。

近江商人將勤勞、節儉、誠信經營奉為圭臬。他們之所以踐行這些行為準則，是為了克服當時社會對外來者，尤其是對商人根深蒂固的懷疑。江戶時代（1603-1867）的社會將商人貶為最底層，因其沒有實際的生產力。

近江商人堅守的許多準則都能反映出他們的人生哲學。其中之一是「節儉勤勉」，即成功的生意依賴於充分利用現有資源和勤奮工作；另一條是「三贏」，意指任何買賣都應當做到對賣家有利，對買家有利，對社會整體有利。

此外，更為深刻的人生座右銘可用「陰德善事」（積陰德，做善事）來概括。近江商人相信，做生意應當造福社會，分享利益，而不僅是追求名譽。因此，他們往往會為創辦學校、修路造橋等公共事業慷慨解囊，以此還利於民。

<日本語仮訳>

近江商人

近江商人は、近江国（現在の滋賀県）を拠点に他国へ行商した商人で、16世紀から19世紀にかけて全国にその名を轟かせた。遠く離れた都市や町で事業を興し、その鋭いビジネス感覚と勤勉さ、そして公正な取引の精神で高い評判を得た。また、明治時代（1868-1912）の日本経済の近代化にも貢献し、彼らが興した事業の多くは、現在も活躍する企業へと発展した。彼らが築き上げた富は、近江八幡の旧市街に立ち並ぶ邸宅に反映されている。

近江のさまざまな地域出身の商人たちは、それぞれの特産品を扱い、地域ごとに活躍していた。八幡商人が扱っていた代表的なものに、蚊帳や畳表、麻布製品などがある。1600年代前半、事実上の首都となるのを見越して、江戶（現在の東京）にいち早く出店し、蝦夷地（北海道）の開発にも携わった。また、シャム（タイ）や安南（ベトナム）まで足を伸ばした八幡商人もいた。

近江商人は、勤勉、儉約、誠実な商いを信条としていた。これは、江戸社会で、何も生産しないために社会の最下層に位置づけられた商人や外部の人間に対する根強い疑念を払拭するための行動規範でもあった。

近江商人は、自分たちの哲学を反映するさまざまな原則を持っていた。例えば、「始末して気張る」という表現は、今あるものを最大限に活用し、努力することが長期的なビジネスの成功につながるという信念を表現している。もう一つの原則は、「三方よし」という言葉に集約され、これは「売り手よし、買い手よし、世間よし」の三方よしの取引でなければならないという意味だ。

また、「陰徳善事」という言葉もある。近江商人は、商売は社会に役立つものでなければならず、称賛や注目を求めず富を分かち合うべきだと考えていた。こうして彼らの社会貢献は、学校や道路、橋の建設などの公共事業への資金提供という形が取られたのである。

【タイトル】近江商人

【想定媒体】WEB

<簡体字>**近江商人**

近江商人，即来自近江国（今滋贺县）的行商，16世纪至19世纪，他们的声名传遍了全日本。近江商人在远离家乡的城镇创办产业，依靠灵敏的商业嗅觉、勤奋和公正的交易精神赢得了高度赞誉。进入明治时代(1868-1912)后，日本经济的现代化发展更是少不了他们的贡献，他们当年兴办的许多企业迄今犹存。而他们累积的财富，在近江八幡老街区沿街排布的精美宅邸上便可见一斑。

近江商人的成功，在一定程度上要归功于所处的地理位置。近江距离政治中心京都和商业中心大阪都很近，应该从12世纪开始，近江就已经广泛展开贸易活动。但令近江商人真正崛起的，是战国武将织田信长(1534-1582)于16世纪颁布的自由贸易政策。1576年，织田信长着手修建安土城作为自己的行政中心，并在其下建立了“城下町”（围绕城郭发展起来的市镇）。为了鼓励商人来安土定居发展，织田信长允许他们独立于行业工会“座”之外，并在“乐市乐座”制度下享有高度自由。1582年，织田信长被杀，他的安土城被废弃。1585年，另一位武将丰臣秀次(1568-1595)在八幡山修建了一座新的城郭，还在其脚下建立了八幡町，这便是今天的近江八幡。丰臣秀次邀请安土商人移居八幡町，继续贯彻织田信长的自由贸易政策。

10年后，丰臣秀次去世，八幡山城亦被废弃，但自由贸易体系已经在近江国普及开来，推动着商业走向繁荣。在此期间，近江商人崛起，开始走向其他地区拓展商业。来自近江各地的商人活跃在不同地区，贩卖自己家乡的特产，最常见的商品包括蚊帐、榻榻米席面和麻布制品。17世纪早期，德川幕府建立，近江商人预见到江户将成为日本的首都，于是马上在那里开店经营。另外，他们还参与了虾夷地（今北海道）的开发。在德川幕府闭关锁国之前，甚至有近江商人远行到了暹罗（今泰国）和安南（今越南）。

斗笠、长斗篷，一根长棒挑着货物行走卖货，这就是近江商人的经典形象。近江商人的事业是从行脚贩货开始的，他们走遍日本各地兜售货物，用最受欢迎的商品建立起稳定的供需关系，再根据订单进货调配。一旦存到了足够资金，他们就会开办店铺，最成功的商人甚至能够在全国各主要城市建立起店铺网络。

近江商人之所以能够如此成功，主要归功于他们具备良好的商业道德。他们行走各方贩卖商品，身为外来者，不免常常遭受质疑，整个社会对于商人的偏见也是他们需要面对的问题。江户时代(1603-1867)，商人处于社会阶层的最底层，因为他们不生产任何实在的东西。为了克服这些障碍，他们依靠诚信买卖换取信任，凭借积极推动贸易地区的实业发

展贏得當地社會的接納。近江商人始終奉行勤勞、節儉和誠信經營，堅守基於該理念的各大行為準則。這些準則代代相傳，被視為能給家族生意帶來長久興隆的基石。其中之一是“節儉勤勉”，即商業的長久成功所依靠的是物盡其用，勤奮工作。而“三方共贏”則是近江商人最著名的信條之一，意為任何買賣都應當為賣家、買家和社会三方謀取最大利益。

近江商人的社會奉獻精神體現在“陰德善事”（積陰德，做善事）的觀念里。他們相信，對於商人來說，不求名譽、分享財富來造福社會是非常重要的。因此，他們往往會為創辦學校、修路造橋等公共事業提供資金，或通過向神社、寺廟捐資的形式來為社會做貢獻。

<繁體字>

近江商人

近江商人，即來自近江國（今滋賀縣）的行商，16世紀至19世紀，他們的聲名傳遍了全日本。近江商人在遠離家鄉的城鎮興辦實業，依靠靈敏的商業嗅覺、勤奮和公正的交易精神贏得了高度讚譽。進入明治時代(1868-1912)後，日本經濟的現代化發展更是少不了他們的貢獻，他們當年興辦的許多企業迄今猶存。而他們累積的財富，從近江八幡老街區沿街旁矗立的豪宅中便可見一斑。

近江商人的成功，在一定程度上要歸功於所處的地理位置。近江距離政治中心京都和商業中心大阪都很近，通常認為，從12世紀開始，近江就已經廣泛展開貿易活動。但令近江商人真正崛起的，是戰國武將織田信長（1534-1582）於16世紀頒佈的自由貿易政策。1576年，織田信長修建安土城作為自己的行政中心，並在其下建立了「城下町」（圍繞城郭發展起來的市鎮）。為了鼓勵商人來安土城定居發展，織田信長允許他們獨立於被稱為「座」的行業工會之外，並在「樂市樂座」制度下享有高度自由。1582年，織田信長被殺，安土城覆滅。1585年，武將豐臣秀次(1568-1595)在八幡山修建了一座新的城郭，還在其山腳下建立了八幡町，這便是今天的近江八幡。豐臣秀次邀請安土商人移居八幡町，並繼續貫徹織田信長的自由貿易政策。

10年後，豐臣秀次去世，八幡山城廢棄，但自由貿易體系已經在近江國推廣，促進商業走向繁榮。在此期間，近江商人崛起，開始向外拓展事業。來自近江各地的商人活躍在不同的地區，販賣家鄉的特產。最常見的商品包括蚊帳、榻榻米蓆面和麻布製品。17世紀早期，德川幕府建立，近江商人預測江戶將成為日本的首都，於是馬上在此開店經營。另外，他們還參與了蝦夷地（今北海道）的開發。在德川幕府閉關鎖國之前，甚至有近江商人遠行至暹羅（今泰國）和安南（今越南）。

斗笠、長斗篷，一根長棒挑著貨物行走賣貨，這就是近江商人的經典形象。近江商人的事業是從行腳販貨開始的，他們走遍日本各地兜售貨物，為最受歡迎的商品建立起穩定的供需關係，然後依據訂單進貨調配。一旦存到了足夠的資金，他們就會開辦店鋪，最成功的商人甚至能在全國各主要城市建立起店鋪網絡。

近江商人能夠如此成功，很重要的一點在於他們具備良好的商業道德。他們行走各地販賣商品，身為外來者，不免常常遭受質疑，整個社會對於商人的偏見也是他們需要面對的問題。江戶時代（1603-1867），商人處於社會階層的最底層，因為他們不生產任何實物。為了克服這些障礙，他們依靠誠信買賣換取信任，憑藉積極推動貿易地區的實業發展贏得當地社會的接納。近江商人始終奉行勤勞、節儉和誠信經營，堅守基於該理念的行為準則。這些準則代代相傳，被視為能為家族生意帶來長久興隆的基石。其中之一是「節儉勤勉」，換句話說，長期的商業成功取決於充分利用所擁有的資源並勤奮工作。而「三贏」則是近江商人最著名的圭臬之一，意為任何買賣都應當為賣家、買家和社會三方謀取最大利益。

「陰德善事」（積陰德，做善事）是近江商人們所奉行的座右銘。他們相信，對於商人來說，不求名譽，分享財富來造福社會是非常重要的。因此，他們往往會為創辦學校、修路造橋等公共事業提供資金，或向神社、寺廟捐資來回饋社會。

<日本語仮訳>

近江商人

近江商人は、近江国（現在の滋賀県）を拠点に他国へ行商した商人で、16世紀から19世紀にかけて全国にその名を轟かせた。遠く離れた都市や町で事業を興し、その鋭いビジネス感覚と勤勉さ、そして公正な取引の精神で高い評判を得た。また、明治時代（1868-1912）の日本経済の近代化にも貢献し、彼らが興した事業の多くは、現在も活躍する企業へと発展した。彼らが築き上げた富は、近江八幡の旧市街に立ち並ぶ邸宅に反映されている。

近江商人の成功は、その地理的条件にも起因している。近江は政治の中心地である京都と商業の中心地である大阪の両方に近かった。近江では12世紀以降、比較的広く交易が行われていたと考えられているが、近江商人が本格的に台頭するのは16世紀、戦国武将の織田信長（1534-1582）が始めた自由貿易政策がきっかけである。信長は1576年、近江の権力の中心地として安土城を築かせ、その下に城下町（城郭を中心に発達した都市）をつくった。信長は安土に商人を集めるため、既存の同業者組合にとらわれず、自由度の高い「楽市楽座」と呼ばれる制度で商人の活動を奨励した。1582年、信長は殺され、安土城は廃城となった。しかし別の武将、豊臣秀次（1568-1595）が1585年に八幡山に城を築き、その下に八幡町（現在の近江八幡）を作った。彼は安土商人を八幡に招き、信長の自由貿易政策を継続した。

10年後、秀次は亡くなり、城は廃墟となったが、自由貿易制度は近江国中に広がり、商業ブームを促進させた。この時期に栄えた近江商人は、他地域へも活躍の場を広げ始めた。近江の各地域の商人は、それぞれの特産品を取引し、各地域で活躍した。八幡商人は主に、蚊帳や畳表、麻布製品などを扱っていた。1600年代初頭、徳川幕府が開かれ、事実上の首都となるのを見越して、江戸にいち早く出店し、蝦夷地（北海道）の開発にも携わった。徳川幕府が外国渡航を禁止する以前は、シャム（タイ）や安南（ベトナム）まで足を伸ばした八幡商人もいた。

近江商人の典型的なイメージは、円錐形の帽子をかぶり、長いマントを着て、肩に長い棒を担いで品物を運ぶ行商人である。近江商人は、このように日本全国を旅して商品を売り歩いて、商売を始めた。人気のある商品の安定した需要を醸成し、注文を受けてから調達するようになった。そして、十分な資金が貯まると、常設の店舗を開き、最も成功した商人は主要都市に店舗網を持つようになったのである。

近江商人の成功の重要な要因に、商人としての倫理観の強さがある。行商先ではよそ者として、彼らはしばしば疑いの目を向けられた。また、江戸社会では商人は何も生産しないとして最下層に位置する存在だったため、偏見にさらされることもあった。そのため、商人たちは誠実な商いによって信用を得るとともに、商圈の産業を積極的に後押しし、地域の人々に受け入れられていった。近江商人は、勤勉、儉約、公正な取引を信条とし、その経営哲学を反映したさまざまな原則を持っていた。これらの原則は世代から世代へと受け継がれ、家業を永続させるための基本的な考え方とされた。例えば、「始末して気張る」は、今あるものを最大限に活用し、努力することが長期的なビジネスの成功につながるという商人たちの信念を表している。また、近江商人の代表的な言葉に「三方よし」という言葉がある。これは、どんな取引も売り手よし、買い手よし、そして社会全体のためになるものでなければならないという意味である。

近江商人の社会貢献の精神は、「陰徳善事」という言葉に表れている。近江商人にとって、称賛や注目を求めることなく、社会のために富を分かち合うことが重要だったのだ。その社会貢献は、学校、道路、橋などの公共事業への資金提供や、神社仏閣への寄進といった形で行われた。

【タイトル】 近江八幡の水郷

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

近江八幡的水乡

近江八幡的“水乡”是一片地处琵琶湖和近江八幡市之间的保护区，占地 3.54 平方公里，拥有由水路、芦苇地、稻田和村庄交织而成的丰富景观。数世纪以来，人类为了发展交通和渔业，在这里开辟水路、种植芦苇，水乡的自然景观便随之渐渐成形。这里的芦苇以质地坚韧闻名，自古以来就是铺设屋顶、修建房屋的建筑材料，还可用于制作屏风和卷帘。此外，芦苇地在自然生态中也有着重要的功能，如保护湖岸不受侵蚀、过滤污染物和净化水质，以及为多种水禽和鱼类提供栖息地和繁育地等。

水乡之内水路纵横，连接起八幡堀、琵琶湖及其内湖“西之湖”。这些水路的历史可以追溯至 1585 年。当时，武将丰臣秀次(1568-1595)修建了八幡山城，并在城郭脚下建立八幡町（今近江八幡），开掘八幡堀，通过水乡将八幡町与琵琶湖相连。此后，近江八幡逐步成为繁荣的商业中心，这片水路功不可没。相传，丰臣秀次还模仿贵族坐游船娱乐，在船上举办茶会，将泛舟文化带到了这片水乡。时至今日，乘船游览依旧是欣赏水乡风光的最佳选择。

顾名思义，“水乡”便是“水之故乡”，这个词表达了自然风光与人们日常生活的亲密关系。近江八幡的水乡是日本第一个获得“重要文化景观”称号之地，2015 年，它又作为“琵琶湖及其湖滨景观——祈愿与生活的水遗产”的一部分被认定为“日本遗产”。此外，1949 年日本列“琵琶湖八景”为新八景，从而更新了江户时代(1603-1867)的“近江八景”，其中，“春色·安土八幡水乡”正是描绘了近江八幡的水乡风光。相传日本各地的八景均源自中国宋代湖南的“潇湘八景”。

<繁体字>

近江八幡的水郷

近江八幡的「水郷」是一片地處琵琶湖和近江八幡市之間的保護區，占地 3.54 平方公里，擁有由水路、蘆葦地、稻田和村莊交織而成的豐富景觀。數世紀以來，人們為了發展交通和漁業，在此開闢水路、種植蘆葦，水郷的自然景觀便隨之漸漸成形。這裡的蘆葦以質地堅韌聞名，自古以來就是鋪設屋頂、修建房屋的建築材料，也用於製作屏風和卷簾。

此外，蘆葦地還在自然生態中有著重要的功能，如保護湖岸不受侵蝕；過濾污染物，淨化水質；為多種水禽和魚類提供棲息地和繁育地等。

水鄉裡水路縱橫，連接起八幡堀、琵琶湖及其內湖「西之湖」。這些水路的使用歷史可以追溯至 1585 年。當時，武將豐臣秀次（1568-1595）修建了八幡山城，並在城郭腳下建立八幡町（今近江八幡），開掘八幡堀，透過水鄉把八幡町與琵琶湖相連。此後，這片水路在近江八幡成為繁榮商業中心方面發揮著重要的作用。相傳，豐臣秀次還模仿貴族遊船娛樂，在船上舉辦茶會，將遊船傳統帶到了這片水鄉。時至今日，乘船遊覽依舊是欣賞水鄉風光的最佳選擇。

顧名思義，「水鄉」便是「水之故鄉」，這個詞表達了自然風光與人們日常生活的親密關係。近江八幡的水鄉是日本第一個獲得「重要文化景觀」稱號的景點，2015 年，它又作為「琵琶湖及其湖濱景觀——祈願與生活的水遺產」的一部分被指定為「日本遺產」。此外，1949 年日本列「琵琶湖八景」為新八景，從而更新了江戶時代（1603-1867）的「近江八景」，其中，「春色・安土八幡水鄉」正是描繪了近江八幡的水鄉風光。相傳日本各地的八景均源自中國宋代描繪洞庭湖兩岸景緻的「瀟湘八景」。

<日本語仮訳>

近江八幡の水郷

近江八幡の水郷は、琵琶湖と近江八幡の町の間にある 3.54 平方キロメートルの保護地域で、水路、ヨシ原、水田、集落が複雑に入り組んだ景観を形成している。この水郷は、人間が交通や漁業のための水路を作ったり、ヨシ原を耕したりして、何世紀にもわたって自然景観と関わりながら形成されたものである。水郷のヨシは丈夫なことで知られ、伝統的に屋根材や建築材、衝立やすだれの材料として利用されてきた。また、ヨシは湖岸を浸食から守り、水を浄化し、さまざまな水鳥や魚の生息・繁殖地となるなど、重要な自然機能を担っている。

八幡堀と琵琶湖、西の湖は水郷を流れる水路で結ばれている。この水路が交通手段として利用されるようになったのは、武將の豊臣秀次（1568-1595）が八幡山城を築いた 1585 年に遡る。秀次は城下に八幡町（現在の近江八幡）を築き、八幡堀を掘らせて、水郷を経由して町と琵琶湖を結んだ。以後、水路は近江八幡が商業の中心地として繁栄するのに重要な役割を果たした。また、秀次が公家の船遊びを真似て、船上で茶会を催したことが、この水路での船遊びの始まりと言われている。水郷の風景を味わうには、今でも船観光が最適だ。

この地域は日本語で「水の故郷」を意味する「水郷」と呼ばれ、自然の景観と人々の暮らしが密接に関係していることの流れでもある。近江八幡の水郷は、日本第 1 号の重要文化的景観に選定されている。2015 年に「琵琶湖とその水辺景観—祈りと暮らしの水遺産」の一部として「日本遺産」にも認定されており、また、「琵琶湖八景」の一つ「春色・安土八幡の水郷」に数えられる。「琵琶湖八景」は江戸時代（1603-1867）から広く知られる「近江八景」の現代版として、1949 年に選定された琵琶湖沿岸の 8 つの景勝地である。なお、日本の「八景」は中国・宋の時代の「瀟湘八景」に始まったと伝えられている。

【タイトル】水郷めぐり

【想定媒体】WEB、パンフレット

<簡体字>**水乡泛舟**

小船轻摇，四下里只有鸟鸣和风吹过芦苇的声音。成千上万高挺的绿草密密匝匝地簇拥着，从船舷两侧擦过。忽然一朵水花溅开，是左边飞来了一只红脖子的小鸕鷀（音同“辟涕”）。只见它一头扎入水中觅食，眨眼间便又飞远了。前方，一只白鹭迈着优雅的步伐，正穿行于浅滩之中。芦苇丛中，东方苇莺“嘎嘎叽、嘎嘎叽”的清脆叫声此起彼伏。

芦苇地、沼泽、稻田之间水路纵横，连通了近江八幡市与琵琶湖——这就是近江八幡的水乡。这片水乡在历史小说家司马辽太郎的游记《街道漫步》中也有提及，是远近闻名的观光胜地。2015年它还作为“琵琶湖及其湖滨景观——祈愿与生活的水遗产”的一部分被认定为“日本遗产”。水乡泛舟可以让人们置身这宁静的风光之中，远离尘嚣，悠然享受独特之美。

当地共有4家公司提供水乡泛舟服务。两家是汽船，两家是手摇船，后者由一名船夫在船尾掌舵摇船。所有船只都有顶篷，船舱简朴，铺有榻榻米地席。登船游客需脱鞋后再进入有顶篷的区域，坐在榻榻米上。

近江八幡水乡泛舟的传统，据说是始于16世纪八幡山城城主丰臣秀次(1568-1595)在船上举办的一次茶会。如今虽没有茶会，但人们可以预订美食在船中享用。所有公司都提供午餐便当和近江牛肉寿喜烧套餐。

<繁体字>**水郷游船**

游船轻摇，四周只有鸟鸣和风吹过蘆葦的聲音。成千上萬高挺的綠草密密麻麻地簇擁著，從船舷兩側擦過。忽然一朵水花濺開，是左邊飛來了一隻紅色脖頸的小鸕鷀（音同「關涕」）。只見它一頭鑽進水中覓食，眨眼間便又飛遠了。前方，一隻白鷺邁著優雅的步伐，正穿行於淺灘之中。蘆葦叢中，東方葦鶯「嘎嘎嘰、嘎嘎嘰」的清脆叫聲此起彼伏。

蘆葦地、沼澤、稻田之間水路縱橫，連通了近江八幡市与琵琶湖——這就是近江八幡的水郷。這片水郷在歷史小說家司馬遼太郎的遊記《街道漫步》中也有提及，是遠近聞名的觀光勝地。2015年它還作為「琵琶湖及其湖濱景觀——祈願與生活的水遺產」的一部分被認為「日本遺產」。水郷游船可以讓人們遠離塵囂，沉浸在這寧靜的風光之中，悠然享受獨特之美。

當地共有 4 家公司提供水郷游船服務。兩家是汽船，兩家是手搖船，後者由一名船夫在船尾掌舵搖船。所有船隻都有頂篷，船艙簡樸，鋪有榻榻米地席。登船遊客需脫鞋後再進入有頂篷的區域，坐在榻榻米上。

近江八幡水郷游船的傳統，據說始於 16 世紀當時的八幡山城城主豐臣秀次（1568-1595）在船上舉辦的一次茶會。如今，雖沒有茶會，但旅客可以預訂餐點在船中享用。各家公司都有提供午餐便當和近江牛肉壽喜燒套餐。

<日本語仮訳>

水郷めぐり

ボートが静かに揺れ、聞こえるのは鳥のさえずりとヨシ原を吹き抜ける風の音だけ。ボートの両側には、背の高い緑の草が何千本も並んでいる。水しぶきが上がり、左側に赤い首が特徴的な小さな鳥、カイツブリがやってきた。餌を求めて飛び込み、去っていく。前方では、シラサギが浅瀬をゆっくりと優雅に歩いている。ヨシ原の中では「ギョギョシ・ギョギョシ」という甲高いヨシキリの鳴き声が交錯する。

近江八幡の水郷では、ヨシ原、湿原、水田を流れる水路が、近江八幡の町と琵琶湖を結んでいる。司馬遼太郎の紀行文集『街道をゆく』にも登場するほど大変有名な観光名所であり、2015年に「琵琶湖とその水辺景観—祈りと暮らしの水遺産」の一部として「日本遺産」に認定されたこのどかな風景を眺めながら、ゆったりとした時間を過ごすことができるのが、水郷めぐりの遊覧船だ。

4社が水郷めぐりのボートツアーを行っている。モーターボートが2社、手漕ぎボートが2社で、船尾の船頭が船を進め、舵取りをする。どの船も屋根付きで、内装はシンプル、床は畳である。船に乗るときは、靴を脱いで屋根のある部分に入り、畳の上に座るのが基本だ。

近江八幡の水郷めぐりは、16世紀、八幡山城主・豊臣秀次が船上で茶会を催したのが始まりとされ、現在では、お茶の代わりに食事を予約して船上で楽しむことができる。お弁当や近江牛のすき焼きコースは各社で用意されている。

【タイトル】 八幡山

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**八幡山**

高 272 米的八幡山矗立于近江八幡的北侧，在这座城镇的历史上扮演着极其重要的角色。1585 年，丰臣秀次(1568-1595)在八幡山上修建了八幡山城，又围绕城郭在其下建立了一个城下町，这便是现在的近江八幡。丰臣秀次是战国武将丰臣秀吉(1537-1598)的外甥，也是他的继承人。丰臣秀吉志在统一日本，修建八幡山城是有意让它成为丰臣家族在近江国（今滋贺县）的势力基盘。

遵照舅父的指令，丰臣秀次对城郭下的八幡町（今近江八幡）进行整修，然后邀请商人前来定居，免除赋税，设立“乐市乐座”地带，使其不受行业工会的制约和影响，从而促成此地成为商业中心。此外，他还下令挖掘了八幡堀。这条水渠不但是城堡的防御工事，也是运输物资的运河。但后来，丰臣秀次失去舅父丰臣秀吉的信任，遭到了罢黜。两年后，他被迫自尽而亡，八幡山城随之废置。然而，八幡町繁荣依旧，最终成长为重要的商业和贸易中心。

丰臣秀次死后，他的母亲悲痛不已，遂出家为尼，并为纪念儿子建造了瑞龙寺。这座寺庙最初位于京都，1961 年迁至现在的八幡山顶。

搭乘八幡山索道，4 分钟左右即可抵达山顶。山上至今遗留着八幡山城的部分石头城墙，瑞龙寺就坐落在当年城郭的本丸（核心区域）遗址上。林间小道连接着索道站、寺庙和各处观景台。站在西侧观景台眺望，可将西之湖、近江八幡水乡与近江八幡市尽收眼底；从北面则可欣赏琵琶湖与比良山脉的景色。如果漫步游玩山顶并参观瑞龙寺，全程约需耗时 30 分钟。

<繁体字>**八幡山**

海拔 272 公尺的八幡山矗立于近江八幡的北侧，在这座城市的历史上扮演著极其重要的角色。1585 年，豐臣秀次（1568-1595）在八幡山上修建了八幡山城，又圍繞城郭建立了城下町，也就是今日的近江八幡。豐臣秀次是戰國武將豐臣秀吉（1537-1598）的外甥，也是他的繼承人。豐臣秀吉志在統一日本，修建八幡山城是有意讓它成為豐臣家在近江國（今滋賀縣）的基地。

豊臣秀次遵照舅父の指令，修整城郭下の八幡町（今近江八幡），並將其發展為商業中心。他廣邀商戶定居八幡町，免除賦稅，使其不受行業工會限制和影響，成為「樂市樂座」之地。此外，他還下令挖掘了八幡堀。這條水渠不但是城堡的防禦工事，也是運輸物資的運河。但是後來，豊臣秀次失去舅父豊臣秀吉的信任，遭到罷黜。兩年後，他被迫自盡而亡，八幡山城隨之廢棄。然而，八幡町繁榮依舊，最終發展為重要的商業和貿易中心。

豊臣秀次死後，他的母親悲痛不已，遂出家為尼，並為紀念兒子建造了瑞龍寺。這座寺廟最初位於京都，1961年遷至的八幡山頂。

搭乘八幡山索道，約4分鐘即可抵達山頂。山上至今遺留著八幡山城的部分石頭城牆，瑞龍寺就坐落在當年城郭的本丸（核心區域）遺址上。林間小道連接著索道站、寺廟和各處觀景台。站在西側觀景台眺望，可將西之湖、近江八幡水郷與近江八幡市盡收眼底；從北面則可欣賞琵琶湖與比良山脈的景色。如果漫步遊玩山頂並參觀瑞龍寺，全程約需耗時30分鐘。

<日本語仮訳>

八幡山

近江八幡の北側にそびえる標高272mの八幡山は、町の歴史上重要な役割を担ってきた。近江八幡は、1585年、豊臣秀次（1568-1595）が八幡山に築いた八幡山城の城下町（城郭を中心に発達した都市）として誕生した。秀次は天下統一を目指す戦国武将・豊臣秀吉（1537-1598）の甥で後継者であり、城は近江国（現在の滋賀県）の豊臣家の勢力基盤として築かれた。

秀次は叔父の命により、城下の八幡町（現・近江八幡市）を整備し、商人を住まわせ、税金を免除し、同業者組合による規制や影響を排除した「楽市楽座」地帯として商業の中心地とした。また、八幡堀を掘らせ、城の防御と物資輸送のための運河の役割を持たせた。しかしその後、秀吉は甥に疑念を抱くようになり、秀次は失脚した。2年後に秀次は自害に追い込まれ、八幡山城は廃城となった。しかし、町は繁栄を続け、交易や商業の重要な中心地となった。

秀次の死後、悲嘆にくれた彼の母は出家し、息子を偲んで瑞龍寺を建立した。この寺はもともと京都にあったが、1961年に現在の八幡山山頂に移された。

山頂へは、八幡山ロープウェイを利用して4分ほどで行くことができる。八幡山城の石垣が一部残っており、瑞龍寺はその本丸（最も主要な部分）跡にある。ロープウェイ駅から瑞龍寺までは林道が整備され、いくつかの展望台も設置されている。西側の展望台からは西の湖や近江八幡の水郷、近江八幡市街が一望でき、北側からは琵琶湖や比良山系が見える。山頂の散策は、景色を眺めながらお寺を参拝して30分程度でできる。

【タイトル】 八幡山ロープウェイ

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**八幡山索道**

八幡山索道是一条缆车登山道。八幡山标高 272 米，登上山巅，可居高临下，尽览周遭田园风光。16 世纪晚期的八幡山城就坐落在这里，山上依然留有当年城郭石墙的断壁残垣，城郭本丸（核心区域）遗址上现在坐落着瑞龙寺。

缆车全程只需要大约 4 分钟。从缆车内向南眺望，近江八幡市的全貌尽收眼底。东北方向可以欣赏西之湖以及位于城市和琵琶湖之间的水乡风光。西之湖另一侧是安土山与衣笠山，在 16 世纪时，它们也是重要城郭的所在地。登上山顶，一条短短的小道从索道站穿林而过，通往北侧观景台，在那里可远眺琵琶湖与湖西岸的比良山脉。

此外，八幡山索道也是众所周知最适合求婚的“恋人圣地”，山顶还有各种充满能量和气氛的景点(power spot)以及不少摄影点。

索道全年开放，每天 9:00~17:00 运行，每 15 分钟一班，发往山顶的末班缆车时间为 16:30。成年人单程票价 500 日元，往返 890 日元；6~12 岁儿童单程 250 日元，往返 450 日元；5 岁及以下儿童免票。

八幡山索道站距离日牟礼八幡宫 3 分钟步程。索道入口有一家纪念品商店，销售丁稚羊羹（用红豆沙制作的传统甜品）、索道脆米饼和精酿啤酒等本地特产。

<繁体字>**八幡山索道**

八幡山索道是一條纜車登山道。八幡山標高 272 公尺，登上山巔，可居高臨下，盡覽周遭田園風光。16 世紀晚期的八幡山城就坐落於此，山上依然留有當年城郭石牆的斷壁殘垣，原本城郭本丸（核心區域）的位置上現在坐落著瑞龍寺。

纜車只需大約 4 分鐘即可到達山頂。從纜車裡向南眺望，近江八幡市的全貌盡收眼底。東北方向可以欣賞西之湖以及位於城市和琵琶湖之間的水鄉風光。西之湖另一側是安土山與衣笠山，在 16 世紀時，它們也是重要城郭的所在地。登上山頂，一條短短的小道從索道站穿林而過，通往北側的觀景台，在那裡可遠眺琵琶湖與湖西岸的比良山脈。

此外，八幡山索道也是眾所周知最適合求婚的「戀人聖地」，山頂還有各種充滿能量和氣場的景點（power spot）以及不少攝影點。

索道全年開放，營運時間為每日 9:00～17:00，每 15 分鐘一班，發往山頂的末班纜車時間為 16:30。成年人單程票價 500 日圓，來回票價 890 日圓；6 歲至 12 歲兒童單程 250 日圓，來回票價 450 日圓；5 歲及以下兒童免票。

八幡山索道站步行三分鐘可達日牟禮八幡宮。索道入口有一家紀念品商店，銷售丁稚羊羹（用紅豆沙製作的傳統甜品）、索道脆米餅和精釀啤酒等當地特產。

<日本語仮訳>

八幡山ロープウェイ

八幡山ロープウェイは標高 272m の八幡山に登るロープウェイだ。16 世紀末に八幡山城が築かれたこの山からは、周囲の田園風景を一望することができる。山上には城の石垣の跡があり、城の本丸（最も主要な部分）跡には瑞龍寺がある。

ロープウェイで麓から山頂まで約 4 分。車内からは南側に近江八幡の町並みが一望できる。北東側には西の湖と、琵琶湖と町の間位置する水郷が見える。西の湖の向こうには、16 世紀に重要な城郭があった安土山や衣笠山がある。山上の駅から少し林道を歩くと、山頂北側に展望台があり、琵琶湖やその西側の比良山系を望むことができる。

八幡山ロープウェイはまた、プロポーズに最もふさわしい「恋人の聖地」としてもよく知られ、山頂には、さまざまなパワースポットやフォトスポットがある。

ロープウェイは年中無休で、午前 9 時から午後 5 時まで 15 分間隔で運行している（上り最終は午後 4 時 30 分）。料金は、大人片道 500 円、往復 890 円。小人（6 歳以上 13 歳未満）は片道 250 円、往復 450 円。5 歳以下の子供は無料。

八幡山ロープウェイは日牟禮八幡宮から徒歩 3 分。ロープウェイ入口にある土産店では地元の名物である「丁稚羊羹」（小豆餡でできた伝統菓子）や「ロープウェイせんべい」、クラフトビールなどを販売している。

【タイトル】 八幡堀

【想定媒体】 WEB、パンフレット

<簡体字>**八幡堀**

八幡堀是一条人工水道，在近江八幡的商业发展中扮演了十分重要的角色。八幡堀全长约 4.7 公里，其中段沿岸并排坐落着一栋栋本地商人修建的白墙仓库和传统式木结构住宅。水道两岸和老街区的新町街、永原町街一起，都已被划定为近江八幡市重要传统建筑群保护区。

八幡堀的历史可以追溯至 1585 年，当时，武将丰臣秀次(1568-1595)在修造八幡山城期间同时开凿了这条水道。它是八幡山城防御工事的组成部分，同时也是一条运河，用作八幡町（今近江八幡）与琵琶湖之间的水路运输。货物经由这条运河和琵琶湖，往来于京都、大阪、江户（今东京）等各大主要城市，为当地的繁荣与发展贡献卓著。八幡山城于 1595 年被弃置，但八幡堀运河犹存，它不仅维护了近江八幡的重要商贸中心地位，还帮助本地商人将影响力扩大到全日本。

以往，八幡堀定期有人疏浚维护，但在二战过后的几十年里却渐渐荒废，变得破败不堪。20 世纪 60 年代，河沟淤塞，堆满了各种垃圾，沟底的淤泥散发着恶臭。1972 年，当地政府因居民投诉，宣布了一项填平八幡堀的计划。然而，市民们担心这样会导致历史遗产消失，纷纷提出抗议，并发起了一场八幡堀保护运动。他们以“填平水道的那一刻，便是后悔的开始”为口号，志愿投入清理疏浚工作中。最终，市政计划中止，水道重现了昔日的美丽。如今，本地居民依然持续着对八幡堀的维护清理工作。河上泛舟已经成为热门旅游项目，护城河本身也常常被选作历史电影与电视剧的取景地。

<繁体字>**八幡堀**

八幡堀是一條人工水道，在近江八幡的商業發展中扮演了十分重要的角色。八幡堀全長約 4.7 公里，其中段沿岸併排坐落著當地商人修建的白牆倉庫和傳統式木構住宅。水道兩岸和老街區的新町街、永原町街已被劃定為近江八幡市重要傳統建築群保護地區。

八幡堀的歷史可追溯至 1585 年，當時，武將豐臣秀次（1568-1595）在修造八幡山城期間同時開鑿了這條水道。它是八幡山城防禦工事的組成部分，同時也是一條運河，用作八幡町（今近江八幡）與琵琶湖之間的水路運輸。貨物經由這條運河和琵琶湖，往來於京都、大阪、江戶（今東京）等各大主要城市，為當地的繁榮與發展貢獻良多。八幡山城於

1595 年遭到廢棄，但八幡堀運河依然還在發揮作用，它不僅維護了近江八幡的重要商貿中心地位，還幫助當地商人將影響力輻射到全日本。

以往，八幡堀定期有人疏浚維護，但在二戰過後的幾十年裡卻漸漸荒廢，變得破敗不堪。1960 年代，河溝淤塞，堆滿了各種垃圾，溝底的淤泥散發著惡臭。1972 年，當地政府因居民投訴，宣佈了一項填平八幡堀的計畫。然而，市民們擔心這樣會導致歷史遺產消失，紛紛提出抗議，並發起了一場八幡堀保護運動。他們以「填平水道的那一刻，便是後悔的開始」為口號，自發地投入清理疏浚工作中。最終，市政計畫中止，水道重現了昔日的美麗。如今，當地居民依然持續著對八幡堀的維護清理工作。河上的遊船已經成為熱門旅遊項目，而護城河也常常被選作歷史電影與電視劇的取景地。

<日本語仮訳>

八幡堀

八幡堀は、近江八幡の商業発展に大きな役割を果たした人工の水路である。全長約 4.7km の堀の中央部には、商人たちが建てた白壁の土蔵や伝統的な木造家屋が並んでいる。なお、堀の両岸は、旧市街の新町通り、永原町通りとともに近江八幡市重要伝統的建造物群保存地区に指定されている。

八幡堀の歴史は、1585 年、武将の豊臣秀次（1568-1595）が八幡山城を築城する際に堀を掘らせたのが始まりとされる。この水路は防御の目的もあったが、八幡町（現在の近江八幡）と琵琶湖を結ぶ交通路として利用された。この運河と琵琶湖を經由して、京都、大阪、江戸（現在の東京）などの大都市との物資のやりとりが行われ、町の発展と繁栄に大きく貢献した。八幡山城は 1595 年に廃城となったが、八幡堀を運河として利用し続けたことにより、近江八幡は交易の要衝としての地位を維持し、ここから全国に商人の影響力が広がっていった。

現役時代の八幡堀は定期的に浚渫され、清潔に保たれていたが、第二次世界大戦後に老朽化が進んだ。1960 年代にはゴミなどによって汚染され、底にはヘドロが堆積して悪臭を放つようになった。1972 年、近江八幡市は住民の声に応え、堀を埋め立てる計画を発表した。しかし、町の遺産が失われることを懸念した市民が堀の保存運動を起こし、「堀は埋めた瞬間から後悔が始まる」を合言葉に自主的な清掃活動を開始した。その結果、市の計画は中止され、水路はかつての美しい姿を取り戻した。現在も八幡堀は住民の手で整備され続けている。船を使った堀めぐりが観光客の間で人気となり、堀は時代劇やテレビドラマのロケ地としてもよく使われている。

【タイトル】 八幡堀めぐり

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**八幡堀泛舟**

想欣赏近江八幡重要传统建筑群保护区的风景，最便捷的方式就是参加八幡堀的泛舟之旅。这条水道曾是繁忙的运河，从如今沿河白墙仓库和优雅的商人住宅上还能看到这段历史留下的影子。江户时代(1603-1867)的气息在这里保存得如此完好，为人们带来仿如时光倒流的错觉，连历史剧也常常来这里取景。今天的运河两岸种着樱花和花菖蒲，四时风光各有不同。

“和田”“新町”两家公司提供八幡堀泛舟服务。和田有一艘最多能容纳 12 人的汽船，可提前预订，也可到现场直接登船。和田游船的运营时间是 10:00~15:00，夏季至 16:00 结束。新町是人力手摇船，由一名船夫坐在船尾。手摇船可容纳 4~6 人，须预订。新町游船的运营时间是 10:00~16:00，但周三、盂兰盆节和新年假期不营业；此外，每年 1 月、2 月期间，仅周五、周六和周日运营。

两家公司的游船都有顶篷和简单的榻榻米船舱。登船后，游客需脱鞋后才能进入顶篷区域，坐在榻榻米地垫上。所有游船的起点和终点都设在风光如画的河道中段，但也可选择水路西端区域的航路，那里更为安静。

<繁体字>**八幡堀遊船**

想欣賞近江八幡重要傳統建築群保護地區的風景，最方便的方式就是參加八幡堀的遊船之旅。這條水道曾是繁忙的運河，從如今沿河白牆倉庫和優雅的商人住宅上還能看到這段歷史留下的影子。江戶時代（1603-1867）的氣息在這裡保存良好，為人們帶來仿如時光倒流的錯覺，連歷史劇也常常來這裡取景。今天的運河兩岸種著櫻花和花菖蒲，四時風光各有不同。

「和田」、「新町」兩家公司提供八幡堀遊船服務。和田有一艘最多能容納 12 人的汽船，可提前預約，也可到現場直接登船。和田遊船的開放時間是 10:00~15:00，夏季至 16:00 結束。新町是人力手搖船，由一名船夫坐在船尾。手搖船可容納 4 人至 6 人，須提前預約。新町遊船的開放時間是 10:00~16:00，但週三、盂蘭盆節和新年假期不營業；此外，每年 1 月、2 月期間，僅週五、週六和週日營業。

兩家公司の遊船都有頂篷和簡單的榻榻米船艙。登船後，遊客需脫鞋後才能進入頂篷區域，坐在榻榻米地墊上。所有遊船的起點和終點都設在風光如畫的河道中段，但也選擇遊覽更為安靜的水路西端區域的航路。

<日本語仮訳>

八幡堀めぐり

近江八幡の重要伝統的建造物群保存地区を楽しむには、八幡堀の遊覧船に乗るのが便利である。かつて商業用水路として賑わったこの運河には、白壁の土蔵や風情ある商家が軒を連ね、その歴史を物語っている。江戸時代（1603-1867）の風景がよく残っており、タイムスリップしたかのような錯覚を覚えるほどで、時代劇の撮影がよく行われている。また、運河の両側には桜や花菖蒲が植えられ、四季折々の風景を楽しむことができる。

「和でん」と「新町」の2社が八幡堀めぐりの遊覧船を運航している。「和でん」のモーターボートは12人乗りのものまでである。事前予約も可能だが、直接乗船することもできる。夏期は午前10時から午後4時、他の季節は午後3時まで運航している。「新町」には船尾に船頭が乗る手漕ぎボートがある。4～6人乗りで、乗船には事前予約が必要だ。営業時間は午前10時から午後4時までで、水曜日とお盆、年末年始は休業。1月、2月は金、土、日曜のみ運行する。

両社とも船は屋根付きで、船内は畳敷きの簡素な造り。乗船するときは靴を脱いで屋根のある部分に入り、畳の上に座る。どのコースも絵になるお堀の中央部分が発着点だが、水路の西端の静かな場所を巡るコースもある。

【タイトル】左義長まつり

【想定媒体】WEB

<簡体字>

左义长祭

左义长祭是一个热闹非凡、富有戏剧性的节庆，迄今已经有 4 个多世纪的历史。它每年在近江八幡举办，标志着春天的开始。庆典的特色包括装饰鲜亮华丽的“左义长”花车游行、对抗推挤的角力比拼，以及最后焚烧左义长祭神的火热高潮。活动持续两天，在最靠近 3 月 15 日的周末举行。左义长祭现已被指定为国家非物质文化遗产。

一段艰难的历史

近江八幡的左义长祭可以追溯到 16 世纪。据说这项庆典是由战国武将织田信长(1534-1582)于 1579 年发起的，当时他即将统一日本，为庆祝他全新的据点安土城竣工，织田信长在安土的城下町（围绕城郭发展起来的市镇）举办了一场庆典。传说他本人也穿上艳丽的服装上场与民众一同起舞。然而，还未等他建立起稳定的政府，织田信长便于 1582 年被害。安土城被毁，安土的居民搬到了相距不远的八幡町（今近江八幡）。这些八幡町的新居民要求参与当地神社的节日庆典，却遭到了拒绝。于是，他们复兴了家乡的左义长祭。

日本各地都会举行左义长祭，大多是在 1 月。届时，人们点燃篝火，焚烧新年装饰，以此向新年期间上门赐福的神明告别。据说，这项庆典源自中国汉代正月里放爆竹除厄的习俗。由织田信长发起、在近江八幡发扬光大的左义长祭，最初也是在农历一月举行，差不多是公历的初春。19 世纪晚期，日本改行公历，近江八幡这才将本地的左义长祭定在了每年 3 月举办。

用于展示的食物

左义长祭的核心要素是名为“左义长”的“山车”（花车），这项庆典的名字也来源于此。左义长底座是一个约 3 米高的金字塔型巨大火炬，用木头和稻草层层堆叠而成。顶部装饰着寓意免除火患的红色纸条，以及扇子、纸球、钱包、骰子等象征好运的饰品。而左义长上最重要的装饰物被称为“だし(dashi)”，安装在火炬前方，它通常被做成当年生肖动物的模样。为了方便抬运左义长，人们用长杆穿过稻草底座，再用绳索将它们绑在一起，做成高约 8 米的骨架。

“だし”最独特的地方在于它们完全由可食用的材料制成。传统材料包括谷物、豆类和鲣节（鲣鱼干）、昆布等干制海产品，但近年来也出现了诸如玉米片、意大利面、口香糖

等食物。使用食材，代表着对前一年收获的感恩，也寄托着对新一年丰收的祈望。近江八幡文化传承馆以及伴家旧宅里均全年展出这类独特装饰的复制品。

号子、“喧哗”与奇葩发型

庆典活动从星期六下午 1 点开始，来自近江八幡市 13 个地区的左义长汇集在日牟礼八幡宫。左义长首先要在这里接受设计制作评审，然后依次出发，前往老街区巡游。每辆左义长重约 500 公斤，由 30 名“踊子”（舞者）抬行。为相互鼓劲，踊子们会齐喊号子“Choyare! Choyare!”或“Masse! Masse!”，“Choyare”表示抬起左义长，“Masse”表示左义长向前走。有的踊子会身穿艳丽的服饰，画上浓妆，把头发染成粉色，据说这是传承了织田信长喜好华丽的特点。巡游在下午 5 点左右结束，待左义长回到神社后，评审团就会公布本次设计制作的冠军。

第二天的左义长巡游从早晨开始，同时在神社还会举行被称为“喧哗”的角力大比拼。比拼时，左义长两两对抗，相互推挤，直到一方翻倒在地。相传“喧哗”是每个街区向神明展示力量与自豪感的方式，但究其起源，应该是因为过去当两支左义长巡游团队狭路相逢时，产生了不可避免的推挤冲突。晚上 8 点左右的火祭，迎来了庆典活动的高潮。届时，所有左义长再次汇聚神社，人们抽去抬杆，将左义长点燃供奉给神明。这个环节也有祈祷火患不侵的含义。人们围着火堆跳舞，直到晚上 11 点左右山车燃烧殆尽。最后，在一段神社巫女的神乐舞蹈表演之后，整场庆典正式结束。

全民参与

今天的左义长祭意义非凡，一是居民们亲手制作并抬着左义长巡游，由此体现社区的自豪感；二是左义长的华丽程度与大小尺寸，见证了当地商户的雄厚财力，以及对近江八幡商业传统的传承。一到新年，各大社区就开始准备制作左义长，居民们共同分摊费用，分担工作。他们共享打造左义长的喜悦与骄傲，又一同点燃左义长来祈祷来年的健康无忧、五谷丰登。这样的准备过程能够培养社区精神，而点火的高潮，是对世代传承这项庆典的人们表示敬意。

<繁体字>

左義長祭

左義長祭是一個熱鬧非凡、富有戲劇性的節慶，每年在近江八幡舉辦，標誌著春天的開始，迄今已有超過 400 年歷史。慶典的特色包括裝飾鮮豔華麗的「左義長」花車遊行、對抗推擠的角力比賽，以及最後焚燒左義長祭神的高潮。活動持續兩天，在最靠近 3 月 15 日的週末舉行。左義長祭現已被指定為國家非物質民俗文化財產。

一段艱難的歷史

近江八幡的左義長祭可以追溯到 16 世紀，據說這項慶典是由戰國武將織田信長（1534-1582）於 1579 年發起的。當時即將統一日本的織田信長，為慶祝他全新的據點安土城竣工，便在安土的城下町（圍繞城郭發展起來的市鎮）舉辦了一場慶典。相傳他本人也穿上豔麗的服裝上場與民眾一同起舞。然而，還未等他建立起穩定的政府，織田信長便於 1582 年遭到殺害。安土城被毀，當地居民搬到了相距不遠的八幡町（今近江八幡）。這些八幡町的新居民要求參與當地神社的節日慶典，卻遭到拒絕。於是，他們恢復了家鄉的左義長祭。

日本各地都會舉行左義長祭，大多是在 1 月。屆時，人們點燃篝火，焚燒新年裝飾，以此向新年期間上門賜福的神明告別。據說，這項慶典源自中國漢代正月裡放爆竹除厄的習俗。由織田信長發起、在近江八幡發揚光大的左義長祭最初也是在農曆一月舉行，差不多是公曆的初春。19 世紀晚期，日本改行公曆，近江八幡這才將當地的左義長祭定在每年 3 月舉辦。

用於展示的食物

左義長祭的主角是名為「左義長」的「山車」（花車），這項慶典的名字也來源於此。左義長底座是一個約 3 公尺高的金字塔型巨大火炬，用木頭和稻草層層堆疊而成。頂部裝飾著寓意免除火患的紅色紙條，以及扇子、紙球、錢包、骰子等象徵好運的飾品。而左義長上最重要的裝飾物被稱為「だし（dashi）」，裝飾在火炬前方，通常被做成當年生肖動物的模樣。為了方便抬運左義長，人們用長杆穿過稻草底座，再用繩索將它們綁在一起，做成高約 8 公尺的骨架。

「だし」最獨特的地方在於，它們完全由可食用的材料製成。傳統材料包括穀物、豆類和鰹節（鰹魚乾）、昆布等乾製海產品，但近年來也出現了諸如玉米片、義大利麵、口香糖等食物。使用食材，代表著對前一年收穫的感恩，也寄託著對新一年豐收的祈望。近江八幡文化傳承館以及舊伴家宅裡均有這類獨特裝飾的複製品展出，全年開放供大眾參觀。

口號、「喧嘩」與奇葩髮型

慶典活動從星期六下午 1 點開始，來自近江八幡市 13 個地區的左義長彙集在日牟禮八幡宮。左義長首先要在這裡經由評審點評其設計製作之高低，然後依次出發，前往老街区遊行。每輛左義長重約 500 公斤，由 30 名「踊子」（舞者）抬行。為相互激勵，踊子們會齊喊口號「Choyare! Choyare!」或「Masse! Masse!」，「Choyare」表示抬起左義長，「Masse」表示左義長向前走。有的踊子會身著豔麗的服飾，並畫上厚重的妝容，把頭髮染成粉色。據說這是因為傳承了織田信長喜好華麗的特點。遊行在下午 5 點左右結束，待左義長回到神社後，評審團就會公佈本次設計製作的冠軍。

第二天的左義長遊行從早上開始，同時，在神社還會舉行被稱為「喧嘩」的角力拚搏。比賽時，左義長兩兩對抗，相互推擠，直到一方翻倒在地。相傳「喧嘩」是每個街区向神明展示力量與自豪感的方式，但究其起源，應該是因為過去當兩支左義長遊行團隊狹路相逢時，產生了不可避免的推擠衝突。晚上 8 點左右的火祭，迎來了慶典活動的高潮，屆時，所有左義長再次彙聚神社，人們抽去抬杆，將左義長點燃供奉給神明。這個環節也有祈禱

火患不侵の含義。人們圍著火堆跳舞，直到晚上 11 點左右山車燃燒殆盡。最後，在一段神社巫女的神樂舞蹈表演之後，整場慶典正式結束。

全民參與

現在的左義長祭意義非凡——居民們親手製作並抬著左義長遊行，以體現身為社區一份子的自豪感；從古至今，商戶們都秉承近江八幡的商業傳統，用左義長的華麗程度與大小尺寸來展示財力。一到新年，各大社區就開始準備製作左義長，居民們共同分攤費用，分擔工作。他們共享創造左義長的喜悅與驕傲，又一同點燃左義長來祈禱來年的健康無憂、五穀豐登。這樣的準備過程能夠培養社區精神，而對於世代傳承這項慶典的人們來說，點火的高潮表達了對他們的敬意。

<日本語仮訳>

左義長まつり

近江八幡に春を告げる、毎年行われる「左義長まつり」は、400 年以上の歴史を持つ、華やかでドラマチックな祭典だ。華やかに飾られた左義長の巡行、その左義長を押し合う力比べ、そしてクライマックスには左義長を燃やして神に捧げる燃え盛る炎が特徴だ。国選択無形民俗文化財であり、3 月 15 日に近い週末の 2 日間にわたって開催される。

苦難の歴史

近江八幡の左義長まつりの歴史は 16 世紀にまでさかのぼる。1579 年、天下統一を目前にした戦国武将、織田信長（1534-1582）の発案で始まったとされる。この年、信長は新たな拠点となる安土城の完成を祝い、安土の城下町（城郭を中心に発達した都市）とで祭りを催した。信長が自ら派手な衣装を身にまとい、民衆の中で踊ったとも言われている。しかし、信長は安定した政権を築く前に、1582 年に殺害されてしまう。安土城は廃城になり、安土の人々は近くの八幡町（現在の近江八幡）に移り住んだ。移住者らは地元の神社の祭礼への参加を求めたが拒否されたため、郷里の「左義長まつり」を復活させたのである。

左義長祭りとは、1 月に日本全国で行われる祭りで、正月飾りを焚き火で燃やし、年末年始に福を運んでくる神々と別れを告げるのが一般的であり、もともと左義長は中国漢時代の正月行事として行われ、爆竹によって厄除けしたといわれている。信長が始め、近江八幡の人々が続けてきた「左義長まつり」も、もともとは旧暦の 1 月（太陽暦の初春）に行われていたが、19 世紀末に太陽暦が採用されてからは 3 月に開催されるようになった。

見世物としての食品

左義長祭りは、祭りの名前の由来となった左義長という「山車」を中心に行われる。左義長の本体は、木と稲藁を約 3m に積み上げたピラミッド型の松明である。その上部には、火除けの意味を持つ赤い紙垂や、扇子、紙玉、財布、サイコロなどの縁起の良い飾りが施される。左義長の中心となる装

飾は「だし」と呼ばれ、松明の前部に取り付けられる。だしにはその年の干支が目立つように描かれる。左義長を担ぐために藁の土台に支柱を通し、高さ約 8 メートルの骨組み全体を縄で縛る。

だしの特徴は、食べられるものだけで作られていることだ。従来は穀物や豆類、鯉節や昆布などの乾燥海産物で作られていたが、近年はコーンフレークやパスタ、ガムなども使用されている。だしに食材を使うのは、前年の収穫に感謝し、今年も豊作であるようにという願いが込められている。近江八幡文化伝承館と旧伴家住宅では、一年中だしの複製を展示している。

掛け声、喧嘩、奇抜な髪型

土曜日の午後 1 時、日牟禮八幡宮に町内 13 地区の左義長が集結することから祭りは始まる。コンクールで審査された後、順次、旧市街を練り歩く。左義長は重さ約 500 キロ、約 30 人の踊り子が担ぐ。踊り子たちは「チョウヤレ！ チョウヤレ！」「マッセ！ マッセ！」と掛け声をかけながら、互いに励まし合う。「チョーヤレ」は「左義長さしあげ」、「マッセ」は「左義長めしませ」の略である。踊り子の中には、派手な服装をし、派手な化粧をし、髪をピンク色に染める人もいる。これは織田信長の派手好みを受け継いだものともいわれる。午後 5 時頃に巡行が終わると、左義長は神社に戻り、コンクールの審査結果が発表される。

2 日目は、朝から左義長が巡行し、神社では「けんか」と呼ばれる力比べが行われる。これは、対立するグループの 2 台の左義長を押し合いへし合い、片方の左義長が倒れるまで戦うものである。けんかは、町内が神様に自分たちの強さと誇りを示すためのものとされているが、その起源は、かつて狭い町道で左義長を担ぐ集団がすれ違う際に、必然的に発生した対立にあると考えられている。祭りのクライマックスとなる午後 8 時、再び神社に左義長が集まり、担ぎ棒を外し、左義長を燃やして神様に捧げる。この行為には防火祈願の意味もある。午後 11 時頃に燃え尽きるまで火の周りで皆踊り続け、巫女による神楽で祭りは正式に終了する。

全員参加型

現在の左義長まつりは、左義長が町の人々によって作られ担がれることから、町の誇りを表すとともに、商家の財力が左義長の豪華さと壮大さを可能にした歴史的背景を持つことから、近江八幡の商家の伝統を表現するものでもある。毎年、正月になると左義長の準備が始まるが、住民が協力して費用や役割を分担している。左義長を制作する喜びと誇りを共に分かち合い、くる年の無病息災や五穀豊穡を祈願して、みんなで左義長を燃やす。その準備の過程で共同体の精神が生まれ、クライマックスの燃え盛る炎は、祭りを受け継いできた人々への敬意を表している。

【タイトル】 旧西川利右衛門家住宅

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

旧西川利右卫门家族住宅

这是一栋富商家族的住宅，他们在17世纪时主要靠贩卖蚊帐和榻榻米席面发家。第一代西川利右卫门(1590-1646)在江户（今东京）开了一间“大文字屋”，在大阪开了一间“近江屋”，由此开启了家族产业。此后，每一代家主都以“西川利右卫门”为名。

这座位于新町街西侧的宅邸由第三代西川利右卫门于1706年建造。第三代家主的弟弟西川庄六另立门户，阖家搬迁到街对面居住，并于1785年建起了属于自己的大宅。1930年，第十一代西川利右卫门去世，因其没有继承人，本家至此终结。不过，西川庄六家族依然存在，他们将西川利右卫门家族住宅捐给了近江八幡市。1983年，此处建筑被指定为国家重要文化财产，并在1985年至1988年期间进行了大规模修缮，完全复原了这座典型的江户时代(1603-1867)近江商人住宅。

如今，这座两层住宅被改造成博物馆对外开放。住宅为铁杉木结构，黑墙，人字形瓦葺屋顶。在一楼部分，玄关、店铺和厨房是泥地，生活区铺设木地板，接待室则是榻榻米地垫。房屋正面的防雨板可以拉起，方便这一侧区域用作店铺。宅邸内陈列着各种各样的历史文物和艺术品。内院中有一座白色墙壁的三层防火仓库，建于1681年至1683年之间。西川庄六家族住宅就在西川利右卫门家族住宅对面，被指定为滋贺县文化财产。

旧西川利右卫门家族住宅 9:00~16:30 开放，最后入场时间为 16:00，逢周一（节假日例外）、节假日次日、年末年初假期休馆。

<繁体字>

舊西川利右衛門家住宅

舊西川利右衛門家住宅為典型的富商家族住宅，該家族在17世紀時主要依靠販賣蚊帳和榻榻米席面發跡。第一代西川利右衛門（1590-1646）在江戶（今東京）開了一間「大文字屋」，在大阪開了一間「近江屋」，由此開啟了家族產業。此後，每一代家主都以「西川利右衛門」為名。

這座位於新町街西側的宅邸由第三代西川利右衛門於1706年建造。第三代家主的弟弟西川莊六另立門戶，舉家搬遷到對街居住，並於1785年建起了屬於自己的宅院。1930年，第十一代西川利右衛門去世，因其沒有繼承人，本家至此完結。不過，西川莊六家依然存在，他們將西川利右衛門家住宅捐給了近江八幡市。1983年，這處建築被指定為國家重要

文化財産，並在 1985 至 1988 年期間進行了大規模的修繕，完全復原了這座典型的江戸時代（1603-1867）近江商人住宅。

如今，這座兩層住宅被改造成博物館對外開放。住宅為鐵杉木結構，外牆呈現黑色，人字形屋頂上瓦片交錯。在一樓部分，玄關、店鋪和廚房是泥地，生活區鋪設木地板，接待室裡則鋪著榻榻米地墊。房屋正面的防雨板可以拉起，方便這一側區域用作店鋪。宅邸內陳列著各種各樣的歷史文物和藝術品。內院中有一座白色牆壁的三層防火倉庫，建於 1681 至 1683 年之間。西川莊六家住宅就在西川利右衛門家住宅對面，被指定為滋賀縣文化財產。

舊西川利右衛門家住宅 9:00～16:30 開放，最後進場時間為 16:00，逢週一（節假日例外）、節假日次日、年末年初假期休館。

<日本語仮訳>

旧西川利右衛門家住宅

旧西川利右衛門家住宅は、17 世紀に蚊帳や畳表を中心に販売し、財を成した商家の邸宅である。初代西川利右衛門（1590-1646）は、江戸（現在の東京）に「大文字屋」、大阪に「近江屋」という屋号で店を構え、家業を興した。以後、歴代の当主は西川利右衛門を名乗った。

新町通の西側に 1706 年に家建てたのは三代目の西川利右衛門である。三代目利右衛門の弟・庄六が分家し、利右衛門邸の向かいに住むようになり、1785 年に邸宅を建てた。1930 年、11 代目西川利右衛門が後継者なく死去し、本家は終焉を迎えた。しかし、西川庄六家は存続し、西川利右衛門邸を近江八幡市に寄贈した。1983 年に重要文化財に指定され、1985 年から 1988 年にかけて大改修が行われ、江戸時代（1603-1867）の典型的な近江商人の家として、当時の姿がよみがえった。

現在博物館として公開されている 2 階建ての住宅は梶の木材で作られ、黒塗壁、屋根は切妻造の瓦葺きである。1 階に玄関、店鋪、台所は土間、居住スペースは木のフローリング。応接室の床は畳敷きだ。建物の正面には上方に動かせる雨戸があり、その面を店鋪として利用できるようになっている。建物の中にはさまざまな歴史的な工芸品や美術品が展示されている。中庭には、1681 年から 1683 年の間に建てられた 3 階建ての耐火建築の白壁の土蔵がある。西川利右衛門家住宅の向かいにある西川庄六家住宅は滋賀県指定文化財になっている。

旧西川利右衛門家住宅の開館時間は 9:00～16:30、入館は 16:00 まで。休館日は月曜（祝日の場合は開館）、祝日の翌日と年末年始。

【タイトル】西川甚五郎邸・本店史料館

【想定媒体】WEB

<簡体字>

西川甚五郎宅邸及本店史料館

西川甚五郎宅邸是西川公司创始人家族的住宅，这家公司如今以床上用品以及其他纺织品而闻名。西川家族成员在 1587 年至 1942 年一直居住在这里，如今宅邸在每年春秋两季的特定时间面向公众开放。但宅邸域内的西川甚五郎本店和一座小型的本店史料馆全年可供参观。

西川家族的谱系可以上溯至西川仁右卫门(1549-1644)，他在 17 岁时便开办了自己的商店。到了 36 岁，西川仁右卫门接到监督建造八幡山城的任命，于是离开家乡南津田村，移居到相距不远的八幡町（今近江八幡）。两年后，他在八幡町开了一间名为“山形屋”的店铺，售卖蚊帐和榻榻米席面，为 17 世纪以后在江户（今东京）创办公司、赢得可观收益奠定了基础。

西川公司的成功，在很大程度上要归功于西川甚五郎（1582-1675；别名“甚五”）。他是西川仁右卫门的第四个儿子，于 1628 年继承父业。据说，正是西川甚五郎灵活、明智的市场策略，为西川公司未来的成长打下了基础。比如，他将公司生产的蚊帐染成浅绿色，令它们在视觉上更加舒适。对于江户、大阪这样的城市来说，蚊帐是生活必需品，因为这些城市多河流、水道，以至扰人的蚊虫无所不在。西川甚五郎别出心裁，将公司出品的蚊帐染成春日嫩叶一般的颜色，宣传这有助安眠，从而将蚊帐从生活必需品提升到了生活方式层面。

西川甚五郎本店史料馆中陈列着一顶西川企业的新式蚊帐，此外，还有各种文献资料讲述着这个家族多个世纪以来的经历与故事。史料馆位于西川甚五郎宅邸庭园中的传统仓库里，隔壁是西川近江八幡店，来访者可以在店里购买纪念品、日式床垫和被子等西川公司产品。在市场对于蚊帐的需求逐渐减少之后，床上用品便成为了西川公司的经营重点。

商店和史料馆于 10:00~17:00 间开放营业，周二休息。史料馆免费参观。

<繁体字>

西川甚五郎宅邸及本店史料館

西川甚五郎宅邸是西川公司創始人家族的住宅，這家公司如今以床具用品以及其他紡織品而聞名。西川家成員在 1587 至 1942 年期間一直居住在這裡，如今宅邸在每年春、秋

兩季の特定時間向大眾開放。但宅邸域內的西川甚五郎本店和一座小型的本店史料館全年開放參觀。

西川家の譜系可以上溯至西川仁右衛門（1549-1644），他在 17 歲時便開了自己的商店。到了 36 歲，西川仁右衛門獲得監督建造八幡山城の任命，於是離開家鄉南津田村，移居到相距不遠の八幡町（今近江八幡）。兩年後，他在八幡町開了一間名為「山形屋」の店鋪，售賣蚊帳和榻榻米蓆面，這也為 17 世紀以後在江戶（今東京）設立公司、贏得可觀收益奠定了基礎。

西川公司の成功，在很大程度上要歸功於西川甚五郎（1582-1675；別名「甚五」）。他是西川仁右衛門の第四個兒子。1628 年，他繼承父業。據說，正是西川甚五郎靈活、明智の市場策略，為西川公司未來の成長打下了基礎。比如，他將公司生產の蚊帳染成淺綠色，令它們在視覺上更加舒適。對於江戶、大阪這樣の城市來說，蚊帳是必不可少の生活用品，因為這些城市多河流、水道，以至蚊蟲無所不在，擾人清夢。西川甚五郎別出心裁，將公司販售の蚊帳染成春日嫩葉一般の顏色，宣傳這有助安眠，從而將蚊帳從生活必需品提升到了生活方式の層面。

西川甚五郎本店史料館中陳列著一頂西川企業の新式蚊帳，此外，還有各種文獻資料講述著這個家族數個世紀以來の經歷與故事。史料館位於西川甚五郎宅邸庭園中の傳統倉庫裡，隔壁是西川近江八幡店，遊客可以在店裡購買紀念品、日式床墊和被鋪等西川公司產品。在市場對於蚊帳の需求逐漸減少之後，床具用品便成為了西川公司の經營重點。

商店和史料館開放時間為每日 10:00～17:00，週二休息。史料館免費參觀。

<日本語仮訳>

西川甚五郎邸・本店史料館

西川甚五郎邸は、現在寝具や繊維製品で有名な「西川」を創業した商家の住宅である。1587 年から 1942 年まで西川家の人々が暮らしたこの屋敷は春と秋に期間限定で一般公開されている。また、敷地内には西川の本店と小さな本店史料館があり、年間を通して見学が可能。

西川家は、西川仁右衛門（1549-1644）が 17 歳で商店を始めたのが始まり。36 歳のとき、八幡山城築城の工務監督を任ぜられ、故郷の南津田村から近くの八幡（現・近江八幡市）に移り住んだ。その 2 年後、八幡に蚊帳や畳表を売る店「山形屋」を開き、17 世紀以降、江戶（現在の東京）での商売で巨利を得る会社の礎を築いたのである。

西川の成功は、仁右衛門の四男で、1628 年に父の後を継いだ西川甚五郎（別名「甚五」、1582-1675）の努力によるところが大きい。甚五郎は、蚊帳を萌黄色に染めて見栄えをよくするなど、巧みな販売戦術で将来の西川の発展の礎を築いたと言われている。蚊帳は、川や水路の多い、蚊の害に悩まされた江戶や大阪では必需品であった。甚五郎は、自社の蚊帳を春の新緑色に染め、安眠を促すというアイデアで、蚊帳を生活必需品からライフスタイルの一部に昇華させたのである。

西川甚五郎邸の庭にある伝統的な土蔵を利用した西川の本店史料館には、画期的な蚊帳のほか、一族の歴史を物語る資料などが展示されている。その隣にある西川近江八幡店では、お土産品や蚊帳の需要が少なくなってから主力となった寝具などの西川製品を販売している。

店と史料館の営業時間は火曜日を除く毎日午前 10 時～午後 5 時。史料館は入場無料。

【タイトル】 丁稚羊羹

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

丁稚羊羹

丁稚羊羹是流行于近江八幡的一种传统甜食，也是滋贺县饮食文化财产，好几家本地和菓子屋（日式传统甜品店）都有销售。这是一种简单的小吃，把红小豆、白砂糖、小麦粉、琼脂和水一起搅拌均匀，再包在竹叶里蒸制而成。这种甜食呈紫褐色，口感软糯，味道清甜。

一般来说，高价羊羹的口感更像紧实的啫喱果冻，相比之下，丁稚羊羹里水分更多，糖分却要少一些。由于价格低廉，最初它在商铺学徒群体中大受欢迎，日文称学徒为“丁稚”，据说这种小吃的名字正是来源于此。近江八幡出身的学徒们回乡休假后，常常把家乡的丁稚羊羹当作伴手礼带回大都市。不过，关于“丁稚(detchi)”之名还有另一种解读，认为它出自发音相似的日文“でっちる”(detchiru)，意思是将原材料混合并揉捏成团。

传统上，近江八幡的丁稚羊羹只在每年秋末或冬天使用当季收获的红小豆制作，因此，这种不耐久存的甜食也只有在冬季到初春时节才能品尝。不过，如今的冷藏技术让人们一年四季都能享用丁稚羊羹的美味。

<繁体字>

丁稚羊羹

丁稚羊羹是流行於近江八幡的一種傳統甜食，也是滋賀縣飲食文化財產，不少當地和菓子屋（日本傳統甜品店）可以買到。丁稚羊羹是把紅豆、白砂糖、小麥粉、瓊脂和水一起攪拌均勻，再包在竹葉裡蒸製而成的簡單小吃。這種甜食呈紫褐色，口感 Q 彈，味道清甜。

與高價羊羹口感更像緊實的果凍不同，丁稚羊羹水分更多，糖分卻要少一些。由於價格低廉，最初它在商鋪學徒中大受歡迎，日文稱學徒為「丁稚」，據說這種小吃的名字正是來源於此。近江八幡出身的學徒們回鄉休假後，常常把家鄉的丁稚羊羹當作伴手禮帶回大都市。不過，關於「丁稚 (detchi)」之名尚有另一種解讀，認為它出自發音相似的日文「でっちる」(detchiru)，意思是將原材料混合並揉捏成團。

傳統上，近江八幡的丁稚羊羹只在每年秋末或冬天使用當季收穫的紅豆製作。因此，這種不耐久存的甜食也只有在冬季到初春時節才能品嚐。不過，如今的冷藏技術讓人們一年四季都能享用到丁稚羊羹的美味。

<日本語仮訳>

丁稚羊羹

近江八幡で親しまれ、「滋賀の食文化財」として選択されている伝統的なお菓子で、地元の複数の和菓子屋が取り扱う「丁稚羊羹」。小豆餡に砂糖、小麦粉、寒天、水を加えて、竹の葉に包んで蒸して提供される素朴なお菓子である。紫がかった茶色で、ペーストのような柔らかい食感、さっぱりとした甘さが特徴。

濃厚なゼリーのような食感のより高価な羊羹に比べ、水分が多く、糖分が少ないのが特徴。その名は、商家の奉公人である「丁稚」の間で、安価なお菓子として親しまれたことに由来すると言われる。休暇に近江八幡に帰省した丁稚が、都会の職場への手土産に買って帰ったのが丁稚羊羹である。また、「丁稚」の由来は、材料をこねる、混ぜるという意味の「でちる」であるとする説もある。

近江八幡の丁稚羊羹は晩秋から冬にかけて、収穫したばかりの小豆で作るのが伝統だった。冬から春先にかけてしか食べられない生菓子だったが、冷蔵保存が可能になったことで、一年中食べられるようになった。

【タイトル】 近江牛

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**近江牛肉**

近江牛肉是滋贺县出产的和牛品种，以细腻的雪花纹路、柔嫩的口感、馥郁的醇香和甜美丰厚的滋味而著称。它拥有 400 年历史，堪称日本最古老的牛肉品牌，与神户牛肉、松阪牛肉并列为日本三大和牛。

19 世纪晚期以前，由于受佛教戒律影响，食肉几乎被完全禁止或受到严格限制。江户时代(1603-1867)，只有近江国（今滋贺县）被许可饲养屠宰牛，用以向幕府敬献制作太鼓的牛皮和据说有药用功效的味噌腌牛肉。有关肉类食品的禁令直到 1872 年才被废除，当时，政府决定接纳西方的饮食方式，希望通过摄入更多动物类食品，增强国民体质。1890 年，近江八幡开通铁路，近江牛肉的声名随之传遍全国。

近江牛肉的高品质在很大程度上要归功于近江牛的生长环境。滋贺县有广阔的草场、充足的水源和适宜畜牧业发展的温暖气候。此外，还通过合理控制养殖数量，确保尽可能精心地照顾到每一头牛的健康，以及保障环境卫生。这些肉牛使用本地稻草喂养，到 3 岁或 4 岁才宰杀，而常规肉牛平均在 2 岁就被宰杀。

近江牛肉可以做成寿喜烧、涮涮锅、牛排、日式烤肉享用，此外，在一些地方还能吃到近江牛肉寿司。近江八幡站周边和八幡堀南段的老城区里有好几家供应近江牛肉的餐厅。如果想要购买牛肉带回家，推荐“千成亭八幡堀店”，这家店铺里销售各类牛排和其他牛肉加工品，如汉堡肉饼、香肠、油炸的可乐饼和牛肉糜等。商店二楼还设有一家餐厅。

<繁体字>**近江牛肉**

近江牛肉是滋賀縣出產的和牛品種，以細膩的雪花紋路、柔嫩的口感、濃郁的醇香和甜美豐厚的滋味而著稱。它擁有 400 年歷史，堪稱日本最古老的牛肉品牌，與神戶牛肉、松阪牛肉並列為日本三大和牛。

19 世紀晚期以前，由於受佛教戒律影響，食肉幾乎被完全禁止或受到嚴格限制。江戶時代（1603-1867），只有近江國（今滋賀縣）被許可飼養屠宰牛，用以向幕府敬獻製作太鼓的牛皮和據說有藥用功效的味噌醃牛肉。有關肉類食品的禁令直到 1872 年才被取消，當時，政府決定接納西方的飲食方式，希望透過攝入更多動物類食品，增強國民體質。1890 年，近江八幡開通鐵路，近江牛肉的聲名隨之傳遍全國。

近江牛肉の高品質在很大程度上要歸功於牛的生長環境。滋賀縣有廣闊的草場、充足的水源和適宜畜牧業發展的溫暖氣候。此外，透過合理控制養殖數量，確保盡可能精心地照顧到每一頭牛的健康，以及保障環境衛生。這些肉牛使用本地稻草餵養，到 3 歲或 4 歲才宰殺，而常規肉牛則平均在 2 歲就被宰殺。

近江牛肉可以做成壽喜燒、涮涮鍋、牛排、日式烤肉享用，此外，在一些地方還能吃到近江牛肉壽司。近江八幡站周邊和八幡堀南段的老城區裡有數家供應近江牛肉的餐廳。如果想要購買牛肉帶回家，可以到「千成亭八幡堀店」選購，該店銷售各類牛排和其他牛肉加工品，如漢堡肉餅、香腸、油炸的可樂餅和牛絞肉等。商店二樓還設有一家餐廳。

<日本語仮訳>

近江牛

近江牛は滋賀県のブランド和牛で、きめ細かい霜降りと柔らかさ、芳醇な香り、甘みとコクのある味わいが特徴である。神戸牛、松阪牛と並ぶ日本三大和牛の一つに数えられ、400 年の歴史を持つ日本最古の牛肉ブランドである。

19 世紀後半以前は、仏教の禁忌により肉食はほとんど禁止または厳しく制限されていた。江戸時代（1603-1867）には、近江国（現在の滋賀県）でのみ屠殺用の牛の飼育が許可され、太鼓用の牛皮や味噌漬けの牛肉（牛肉は薬用とされていた）を幕府に献上していた。1872 年に、動物性食品を多く摂ることで健康で丈夫な国民となれるとして西洋の食生活を取り入れることになり、食肉禁止令は解かれた。近江牛の評判が全国に広まったのは、1890 年に近江八幡まで鉄道が開通してからである。

近江牛の品質の高さは、牛を育てる環境の良さによるところが大きい。滋賀県には豊富な水と広い牧草地があり、温暖な気候は畜産業に適している。また、近江牛の飼育頭数を制限することで、牛の健康や衛生面に十分配慮している。地元の稲わらを食べさせ、肉牛の平均が 2 歳であるのに対し、3～4 歳で屠殺される。

近江牛は、すき焼き、しゃぶしゃぶ、ステーキ、焼肉などで楽しめるほか、近江牛の寿司を食べられるところもある。近江八幡駅周辺や八幡堀の南側の旧市街には、近江牛のレストランが数軒ある。テイクアウトやお土産なら、ステーキなどの肉類やハンバーグ、ソーセージ、コロッケ、ミンチなどの加工品を販売している「千成亭八幡堀店」がおすすめ。2 階にはレストランも併設されている。

【タイトル】 ウィリアム・メル・ヴォーリスと近江八幡

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

威廉·梅瑞尔·波利斯与近江八幡

威廉·梅瑞尔·波利斯(1880-1964)出生于美国，是一位建筑师，也是一位实业家、基督教传教士。他在近江八幡度过了人生的大部分时光，并在各处留下了丰厚的文化遗产。波利斯最出名的身份是建筑师，在这段职业生涯里，他为日本各地设计的建筑总计超过了1600处。不过在近江八幡，人们念念不忘的还有他的社区精神与对公共事业的奉献。

建筑师波利斯

波利斯出生于美国堪萨斯州的莱文沃斯，1905年，24岁的他来到了近江八幡。当时，他受聘在滋贺县商业高中（今八幡商业高中）教授英文，然而，这位年轻人的主要目标却是将毕生奉献给基督教传教事业。他充满热情的传教活动、大受欢迎的布道讲座引发了本地居民对外来宗教传播的担忧，以至遭到抵制，最后在他任职两年后被学校解雇。

波利斯并不气馁，决定开辟第二职业来为自己的传教活动积攒资金。因他在美国短期学习过建筑学，1907年他受邀设计近江八幡基督教青年会(YMCA)大楼。次年，波利斯便创办了自己的建筑事务所。从大学时代开始，他就是基督教青年会的活跃分子，这为他提供了一个现成的日本社交网络。因此，波利斯接到了许多建筑设计委托，包括教堂、基督教青年会和私人住宅等各类建筑。随着名气越来越大，他的业务渐渐发展到了学校、医院等更大型的建筑项目。

波利斯的建筑看起来是西式风格，其实都根据日本的气候与生活方式进行了调整。同时，面对每一个项目，他都会导入崭新的思路，根据使用方的不同需求与偏好度身定制。所以，波利斯的每一份设计都是原创之作。

波利斯只能算是一位自学成才的建筑师，但他却大力推进了将西方现代建筑引入日本的进程。北至北海道，南到九州，甚至在韩国、以及包括台湾在内的中国部分地区，都能见到他的建筑。就日本境内而言，他最出名的作品主要有东京御茶之水之上的山之上酒店(Hilltop Hotel)、大阪心斋桥的大丸百货、兵库县西宫的关西学院大学上原校区等。而波利斯在近江八幡特别值得关注的建筑作品有旧八幡邮局、池田町的殖民时期风格住宅群和波利斯纪念馆等。波利斯纪念馆是波利斯最后生活的地方，如今是一座展示其生平与成就的博物馆。

建造上帝之国

波利斯热爱建筑，然而，在人间建造上帝之国才是他更宏大的目标。1911年，他创办了近江传教会，以此实体组织开展传教活动，开始在滋贺县各地传播基督教信息，还常常驾着摩托艇穿越琵琶湖。为了获得更多活动资金，波利斯于1920年开办了一家公司，进口并销售一种名叫“曼秀雷敦(Mentholatum)”的药膏，这种产品来自美国，由基督教青年会支持者、慈善家阿尔伯特·亚历山大·海德(Albert Alexander Hyde)发明。这家波利斯为销售药膏而创建的公司至今依然以“近江兄弟社”之名运营，现销售与曼秀雷敦相似的曼特敦(Menturm)系列产品。

波利斯的传教精神中蕴含着对公共事业的巨大热忱。在妻子满喜子的协助下，他筹集资金，在近江八幡创建了好几所教育及医疗机构。他的性格，以及注重勤奋努力与勤俭节约的人生哲学，都与本地居民自古就珍视并奉为准则的近江八幡商业传统十分契合。和江户时代(1603-1867)善于经商且富有公益精神的商人们一样，波利斯相信工作不该只为个人牟利，还应当最大限度上有利于客户与社会。或许正是因为这些共同点，他才能与本地居民建立起长久稳固的关系。

1941年，波利斯入籍日本，改名“一柳米来留”。他选择的“米来留”三个字表示“来自美国，留在日本”，意在表明他将在日本度过一生的决心。他把近江八幡看作世界的中心，认为是上帝的旨意指引他来到这里。

虽然波利斯早期的布道讲座曾引发怀疑，但他为近江八幡做出的贡献终究还是得到了认可，1958年，他成为了本市第一位名誉市民。波利斯来到近江八幡时除了满腹理想之外身无长物，却通过与本地居民的共同努力创造了丰硕的成果。他不仅设计建造了许多著名建筑，还创建了企业、学校与医院，其中不少至今依然活跃。

<繁体字>

威廉·梅瑞爾·沃里斯與近江八幡

威廉·梅瑞爾·沃里斯(1880-1964)出生於美國，是一位建築師，也是一位實業家、基督教傳教士。他在近江八幡度過了人生的大部分時光，並於各處留下了豐厚的文化遺產。沃里斯最出名的身份是建築師，在這段職業生涯裡，他為日本各地設計的建築總計超過了1600處。不過在近江八幡，人們念念不忘的還有他的社區精神與對公共事業的奉獻。

建築師沃里斯

沃里斯出生於美國堪薩斯州的萊文沃斯，1905年，24歲的他來到了近江八幡。當時，他受聘在滋賀縣商業高中（今八幡商業高中）教授英文，然而，這位年輕人的主要目標卻是將畢生奉獻給基督教傳教事業。他充滿熱情地傳教活動、大受歡迎的佈道講座引發了當地居民對外來宗教傳播的擔憂，以至遭到抵制，最後在他任職兩年後被學校解雇。

沃里斯並不氣餒，決定開闢新的事業來募集傳教活動的資金。因他在美國短期學習過建築學，1907年他受邀設計近江八幡基督教青年會(YMCA)大樓。次年，沃里斯便創辦

了自己的建築事務所。從大學時代開始，他就是基督教青年會的活躍人物，這為他提供了一個現成的日本社交網路。因此，沃里斯接到了許多建築設計委託，包括教堂、基督教青年會和私人住宅等各類建築。隨著名氣越來越大，他的業務漸漸發展到了學校、醫院等更大型的專案。

沃里斯的建築看起來是西式風格，其實都根據日本的氣候與生活方式進行了調整。同時，面對每一個專案，他都會引進嶄新的思路，根據使用對象的不同需求與偏好量身打造。所以，沃里斯的每一份設計都是原創之作。

沃里斯雖只能算是一位自學成才的建築師，但他卻大力將西方現代建築引入日本。北至北海道，南到九州，甚至在韓國，以及台灣、中國大陸的部分地區都能看到他的建築。就日本境內而言，他最出名的作品主要有東京御茶之水之上的山之上酒店（Hilltop Hotel）、大阪心齋橋的大丸百貨、兵庫縣西宮的關西學院大學上原校區等。而沃里斯在近江八幡特別值得關注的建築作品則有舊八幡郵局、池田町的殖民時期風格住宅群和沃里斯紀念館等，後者是沃里斯最後生活的地方，如今是一座展示其生平與成就的博物館。

建造上帝之國

沃里斯熱愛建築，然而，在人間建造上帝之國才是他更宏大的目標。1911年，他創辦了近江傳教會，以此實體組織進行傳教活動，開始在滋賀縣各地傳播基督教資訊，還常常駕駛摩托艇穿越琵琶湖。為了獲得更多活動資金，沃里斯於1920年開辦了一家公司，進口並銷售一種名叫「曼秀雷敦（Mentholatum）」的藥膏，這種產品來自美國，由基督教青年會支持者、慈善家阿爾伯特·亞歷山大·海德（Albert Alexander Hyde）發明。這家由沃里斯為銷售藥膏而創建的公司至今依然以「近江兄弟社」之名經營，現銷售與曼秀雷敦相似的曼特敦（Menturm）系列產品。

沃里斯的傳教精神中蘊含著對公共事業的巨大熱忱。在妻子滿喜子的協助下，他籌集資金，在近江八幡創建了數所教育及醫療機構。他的性格，以及注重勤奮努力和勤儉節約的人生哲學，都與當地居民自古就珍視並奉為準則的近江八幡商業傳統十分契合。和江戶時代（1603-1867）善於經商且富有公益精神的商人們一樣，沃里斯相信工作不該只為個人牟利，還應當在最大限度上還利於客戶與社會。或許正是因為這些共同點，他才能與當地居民建立起長久穩固的情誼。

1941年，沃里斯入籍日本，改名「一柳米來留」。他選擇的「米來留」三個字表示「來自美國，留在日本」，意在表明他將在日本度過一生的決心。他把近江八幡看作世界的中心，認為是上帝的旨意指引他來到這裡。

雖然沃里斯早期的佈道講座曾引發懷疑，但他為近江八幡做出的貢獻終究還是得到了認可，1958年，他成為了該市第一位名譽市民。沃里斯來到近江八幡時，除了滿腹理想之外身無長物，卻透過與當地居民的共同努力創造了豐碩的成果。他不僅設計建造了許多著名建築，還創建了企業、學校與醫院，有些至今仍然活躍。

<日本語仮訳>

ウィリアム・メレル・ヴォーリスと近江八幡

ウィリアム・メレル・ヴォーリス（1880-1964）は、アメリカ生まれの建築家、実業家、キリスト教宣教師で、その生涯の大半を近江八幡で過ごし、現在も近江八幡のあちこちにその豊かな文化遺産が残っている。建築家として最もよく知られているヴォーリスは日本全国で 1,600 以上の建物を設計したが、近江八幡では、そのコミュニティ精神と公共事業への献身も高く評価されている。

建築家ヴォーリス

カンザス州レブンワースに生まれたヴォーリスは、1905 年、24 歳で近江八幡にやってきた。滋賀県立商業高校（現在の八幡商業高校）の英語教師として採用されたが、彼の本分はキリスト教の布教に生涯を捧げることであった。しかし、彼の旺盛な布教活動や人気を博した聖書の講座は、異国の宗教の普及を懸念する地元住民の反発を招き、2 年で教師を解任される。

それでもヴォーリスは、布教活動の資金を得るために別の道を歩むことを決意する。アメリカで短期間建築を学んでいたヴォーリスは、1907 年に近江八幡 YMCA の設計を依頼された。この仕事をきっかけに、翌年、ヴォーリスは自分の建築事務所を設立することになる。大学時代から YMCA で活動していたヴォーリスは、日本での人脈も手に入れた。そのおかげで、教会や YMCA の建物、個人住宅などの設計依頼を数多く受けるようになり、その評判が高まるにつれて学校や病院などの大規模な建築も手がけるようになった。

ヴォーリスの建築は、一見すると西洋風だが、日本の風土や生活様式に合ったものである。そして、それぞれのプロジェクトに合わせて斬新なアプローチを取り入れ、使う人の要望や好みを第一に考えた設計を心がけていた。そのため、ヴォーリスの設計はすべて完全なオリジナルである。

ヴォーリスは主に独学で建築を学んだが、西洋の近代建築を日本に紹介することに大きく貢献した。日本では、北は北海道から南は九州まで、ま韓国、台湾、中国の一部でも彼の建築を見ることができる。日本では、東京・御茶ノ水の山の上ホテル、大阪・心斎橋の大丸デパート、兵庫県西宮の関西学院大学キャンパスなどが有名である。近江八幡市で特に注目されるヴォーリス建築には、旧八幡郵便局、池田町のコロニアル様式の住宅群、ヴォーリスの終の棲家で現在は彼の生涯と業績を記念する博物館であるヴォーリス記念館などがある。

神の国の建設

建築をこよなく愛したヴォーリスにとって、地上における神の国の建設は、より大きな目標であった。1911 年、宣教活動の母体となる「近江ミッション」を設立し、モーターボートで琵琶湖を横断するなど、滋賀県全域でキリスト教の伝道を開始した。1920 年、ヴォーリスは活動資金を得るために、YMCA の支援者であり慈善家のアルバート・アレキサンダー・ハイド（Albert Alexander Hyde）がアメリカで開発したメンソレータムという軟膏を輸入・販売する会社を立ち上げた。この商品を売るためにヴォーリスが設立した会社は、現在も近江兄弟社という社名で、メンソレータムの類似品である「メンターム」を販売している。

ヴォーリスの使命感には、公共事業への強いこだわりも含まれていた。近江八幡に教育施設や医療施設を建てるために、妻の満喜子と協力して資金を集めた。彼の気質と、勤勉と儉約を重んじる人間

性は、近江八幡の商家の伝統として地元の人々に大切にされてきた理念と合致するものであった。江戸時代（1603-1867）に近江八幡で活躍した有能かつ社会奉仕精神が溢れる商人たちのように、ヴォーリスもまた、自分の利益のためだけでなく、取引先のため、社会のために仕事をすることを信条としていた。その共通点からか、彼は地元の人々と長い付き合いをすることができた。

ヴォーリスは1941年に帰化し、一柳米来留（ひとつやなぎ・めれる）と名乗るようになった。「米来留」という文字には、アメリカからやってきて、日本で一生を終えるという意味が込められている。彼は、近江八幡が世界の中心であり、神の摂理に導かれた場所だと考えていた。

ヴォーリスの聖書講座は当初不信感を持たれていたが、やがて近江八幡への貢献が認められるようになり、1958年、近江八幡市初の名誉市民となった。理想だけを抱いて近江八幡にやってきたヴォーリスは、地域の人々と力を合わせて、建物だけでなく、企業や学校、病院を建設した。彼が設立した多くの企業や団体は、現在もその活動を続けている。

【タイトル】 日本各地のヴォーリス建築

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

日本各地的波利斯建筑作品

威廉·梅瑞尔·波利斯(1880-1964)的建筑作品遍布日本各地，其中包括教堂、医院、教育机构和私人住宅。以下是其中最值得关注的几处建筑：

京都·东华菜馆（旧矢尾政餐厅）

这座西班牙巴洛克风格 5 层建筑矗立于四条大桥西南侧、鸭川河畔，气势堂皇。这是波利斯唯一设计过的餐厅，于 1926 年完工，外墙上镶嵌着用赤陶精心制作的扇贝、海产、蔬菜和水果形装饰。

京都·驹井家族住宅

这座红瓦屋顶的西班牙式两层房屋建于 1927 年，主人是著名动物学家驹井卓博士(1886-1972)。这是波利斯住宅建筑作品中保存格外完好的范本，其中还保留着许多当初的家具。住宅内部简洁宽敞，光照充足，透过窗户可以看到小花园。这套住宅于 2002 年赠予公益财团日本国民信托(Japan National Trust)，每逢周五、周六向公众开放。

西宫·关西学院大学上原校区

这个西班牙传教风格的校园建成于 1929 年，因红瓦屋顶的米黄色建筑而显得别具一格，常常被誉为日本最美的大学校园之一。对称的布局以钟楼为中心左右展开，校门宛如画框，恰好将兜山借景入画，令人印象深刻。

大阪·大丸百货心斋桥店

这是大丸百货的旗舰店，主楼建于 1922 年至 1933 年之间。新文艺复兴风格(Neo-Renaissance)的外观与内部的装饰艺术风格(Art Deco)家具、天花板壁画和彩绘玻璃形成了鲜明反差。建筑在 2016 年至 2019 年进行了大规模的外部翻新，但除了在顶部加建了现代感的高层部分外，外观基本保留了大楼的原始风貌。

东京·山之上酒店（旧佐藤新兴生活馆）

此处装饰艺术风格的建筑于 1937 年竣工，原本是一个致力于社会发展的基金会总部，1954 年改造为酒店，深受川端康成(1899-1972)、三岛由纪夫(1925-1970)、远藤周作(1923-1996)等著名作家喜爱。

<繁体字>

日本各地的沃里斯建築作品

威廉·梅瑞爾·沃里斯（1880-1964）的建築作品遍佈日本各地，其中包括教堂、醫院、教育機構和私人住宅。最廣為人知的建築包含：

京都·東華菜館（舊矢尾政餐廳）

這座西班牙巴洛克風格 5 層建築矗立於四條大橋西南側、鴨川河畔，富麗堂皇。這是沃里斯唯一設計過的餐廳，於 1926 年完工，外牆上鑲嵌著用赤陶精心製作的扇貝、海產、蔬菜和水果形裝飾。

京都·駒井家住宅

這座紅瓦屋頂的西班牙式兩層房屋建於 1927 年，主人是著名動物學家駒井卓博士（1886-1972）。這是沃里斯住宅建築作品中保存格外完好的範本，其中還保留著許多當初的傢俱。住宅內部簡潔寬敞，光照充足，透過窗戶可以看到小花園。這套住宅於 2002 年捐贈給公益財團日本國民信託（Japan National Trust），每逢週五、週六向大眾開放。

西宮·關西學院大學上原校區

這個西班牙傳教風格的校園建成於 1929 年，因紅瓦屋頂的米黃色建築而顯得別具一格，常常被譽為日本最美的大學校園之一。對稱的佈局以鐘樓為中心左右展開，校門宛如畫框，恰好將兜山借景入畫，令人印象深刻。

大阪·大丸百貨心齋橋店

這是大丸百貨的旗艦店，主樓建於 1922 年至 1933 年之間。新文藝復興風格（Neo-Renaissance）的外觀與內部的裝飾藝術（Art Deco）傢俱、天花板壁畫和彩繪玻璃形成了鮮明反差。建築在 2016 年至 2019 年進行了大規模的外部翻新，但除了在頂部加建了現代感的高層部分外，外觀基本上保留了大樓的原始風貌。

東京·山之上酒店（舊佐藤新興生活館）

這處裝飾藝術風格的建築於 1937 年竣工，最初是作為一個致力於社會發展的基金會總部而建造，1954 年改造為酒店，深受川端康成（1899-1972）、三島由紀夫（1925-1970）、遠藤周作（1923-1996）等著名作家喜愛。

<日本語仮訳>

日本各地のヴォーリス建築

ウィリアム・メレル・ヴォーリス（1880-1964）の建築遺産は、教会、病院、教育施設、個人住宅など、日本全国に広がっている。以下は、彼の代表的な建築物である。

京都・東華菜館（旧矢尾政レストラン）

四条大橋の南西、鴨川のほとりに堂々とそびえ立つ 5 階建てのスパニッシュ・バロック建築。1926 年に完成したヴォーリスが設計した唯一のレストランで、外壁にはホタテの貝殻、魚介類、野菜、果物などを精巧なテラコッタで装飾している。

京都・駒井家住宅

動物学者として著名な駒井卓博士（1886-1972）のために 1927 年に建てられた、スパニッシュ様式の赤瓦屋根の 2 階建ての住宅。ヴォーリスの住宅建築の中でも特に保存状態がよく、オリジナルの家具が多く残されている。内部はシンプルで広々としており、庭に面した窓からたくさんの光が差し込む。2002 年に日本ナショナルトラストに寄贈され、毎週金・土曜日に一般公開されている。

西宮・関西学院大学上ヶ原キャンパス

1929 年に完成したスパニッシュ・ミッション様式のキャンパスで、クリーム色の建物と赤瓦の屋根が特徴的だ。日本で最も美しい大学キャンパスのひとつと称されることもある。時計台を中心に左右対称に配置され、兜山を借景にした正門が印象的である。

大阪・大丸心齋橋店

1922 年から 1933 年にかけて建設された大丸旗艦店の本館。ネオ・ルネッサンス様式の外観と、アールデコ様式の調度品や天井画、スタンドグラスを配した内装が対照的である。2016 年から 2019 年にかけて大規模な外装改修が行われたが、上に増築された高層部を除き、当初の外観はほぼ保たれている。

東京・山の上ホテル（旧佐藤新興生活館）

1937 年に完成したアールデコ様式の建築物で、当初は社会開発を目的とした財団の本部として建てられた。1954 年にホテルに改築され、川端康成（1899-1972）、三島由紀夫（1925-1970）、遠藤周作（1923-1996）ら著名な作家がよく利用した。

【タイトル】 近江八幡のヴォーリス建築

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

近江八幡的波利斯建筑作品

波利斯纪念馆

这座简朴的两层木结构建筑完工于 1931 年，是威廉·梅瑞尔·波利斯(1880-1964)和妻子满喜子晚年的家。小楼如今是纪念馆，主要展示波利斯的遗物，参观需电话预约。波利斯纪念馆现已被指定为滋贺县文化财产。

安德鲁斯纪念馆

此处建筑为纪念波利斯的大学好友赫伯特·安德鲁斯于 1907 年修建，原本是近江八幡基督教青年会的总部。这是波利斯的处女作，已被登录为国家物质文化财产。通常不对外开放，只在春、秋两季的特定时间开放团队参观。

旧八幡邮局

这是一栋西班牙样式的建筑，建于 1921 年，大约在 1960 年之前一直是一家邮局，现经本地非营利组织“一粒之会”精心修复后对外开放。每逢周六、周日和公共假日免费开放，开放时间为 11:00~17:00。

池田町西洋式住宅街

池田町地区有三栋并排的西式建筑，它们都出自波利斯的设计，参照殖民时期风格修建，外有总长约 100 米的红砖围墙。其中，沃特豪斯宅邸春、秋两季对游客团队开放，但另两栋为私人住宅，只能从外面欣赏。

沃特豪斯宅邸于 1913 年为保罗·沃特豪斯(1861-1924)修建，他原本是早稻田大学的教员，后来加入了波利斯的近江传教会。这座斜坡屋顶的三层住宅共有 11 个房间、5 个壁炉和 2 根烟囱。该建筑现已被登录为国家物质文化财产。

吉田悦藏宅邸于 1913 年为吉田悦藏(1890-1942)设计建造，他是波利斯在八幡商业高中任教时的学生，后来帮助波利斯创办了近江兄弟社。这座建筑已被指定为滋贺县文化财产。

双屋建于 1920 年，分属两户人家，主人都是近江传教会的雇员。两栋房屋左右对称，中间以一道砖墙隔开，每栋都有自己的玄关和朝向南面花园的起居室。

<繁体字>

近江八幡的沃里斯建築作品

沃里斯紀念館

這座簡樸的兩層木結構建築完工於 1931 年，是威廉·梅瑞爾·沃里斯（1880-1964）和妻子滿喜子晚年的家。小樓如今是紀念館，展示沃里斯的遺物和生平事蹟，參觀需電話預約。沃里斯紀念館現已被指定為滋賀縣文化財產。

安德魯斯紀念館

這處建築為紀念沃里斯的大學好友赫伯特·安德魯斯於 1907 年修建，原本是近江八幡基督教青年會的總部。這是沃里斯的處女作，已被登錄為國家物質文化財產。通常不對外開放，只在春、秋兩季的特定時間開放團隊參觀。

舊八幡郵局

這是一棟西班牙樣式的建築，建於 1921 年，差不多在 1960 年之前一直是一所郵局，現經當地非營利組織「一粒之會」精心修復後對外開放。每逢週六、週日和公共假日免費開放，開放時間為 11:00~17:00。

池田町西洋式住宅街

池田町地區有三棟並排的西式建築，它們都出自沃里斯的設計，參照殖民時期風格修建，外有總長約 100 公尺的紅磚圍牆。其中，沃特豪斯宅邸春、秋兩季對大眾開放團隊參觀，但另兩棟為私人住宅，不對外開放。

沃特豪斯宅邸於 1913 年為保羅·沃特豪斯（1861-1924）修建，他原本是早稻田大學的教職員工，後來加入了沃里斯的近江傳教會。這座斜坡屋頂的三層住宅共有 11 間房、5 個壁爐和 2 根煙囪。該建築現已被登錄為國家物質文化財產。

吉田悅藏宅邸於 1913 年為吉田悅藏（1890-1942）設計建造，他是沃里斯在八幡商業高中任教時的學生，並在後來幫助沃里斯創辦了近江兄弟社。這座建築已被指定為滋賀縣文化財產。

雙屋建於 1920 年，分屬兩戶人家，主人都是近江傳教會的員工。兩棟房屋左右對稱，中間以一道磚牆隔開，每棟都有自己的玄關和朝向南面花園的起居室。

<日本語仮訳>

近江八幡のヴォーリス建築

ヴォーリス記念館

ウィリアム・メレル・ヴォーリズ（1880-1964）と妻が晩年を過ごした、1931年に竣工した木造2階建ての簡素な住宅。現在は、ヴォーリズの生前の思い出の品々を展示しており、事前に電話予約をすると、見学することができる。ヴォーリズ記念館は滋賀県の文化財に指定されている。

アンドリュース記念館

1907年に近江八幡YMCAとして建設され、ヴォーリズが大学時代に親交のあったハーバート・アンドリュースを記念して建てられた。ヴォーリズの最初の建築作品であり、国の登録有形文化財である。普段は非公開だが、春と秋に団体のみで特別公開を実施している。

旧八幡郵便局

1921年に建てられ、1960年頃まで郵便局として使われていたスパニッシュ様式の建物を、地元NPO法人「一粒の会」が手塩にかけて復元し、一般公開している。土曜・日曜・祝日の午前11時から午後5時まで開館しており、入場は無料。

池田町洋風住宅街

池田町地区にはヴォーリズ設計の洋館が3棟集まっている。コロニアルスタイルで建てられた住宅は、約100mの赤レンガの壁に囲まれている。ウォーターハウス邸は春と秋に団体向けに一般公開され見学できるが、その他の建物は個人の邸宅であり、外からしか見学できない。

ウォーターハウス邸はヴォーリズの近江ミッションに参加した早稲田大学の元教員、ポール・ウォーターハウス（1861-1924）のために1913年に建てられた。切妻屋根の3階建てで、11の部屋、5つの暖炉、2本の煙突がある。国の登録有形文化財である。

吉田悦蔵邸は、ヴォーリズが教鞭をとっていた八幡商業高校時代の教え子で、後に近江兄弟社の設立にも関わった吉田悦蔵（1890-1942）のために1913年に建てたもの。滋賀県の文化財に指定されている。

ダブルハウスは、近江ミッションに雇われていた2家族のために1920年に建てられた。2棟の家はレンガの壁を挟んで左右対称の間取りで、それぞれの家に玄関ポーチと南側の庭に面したリビングルームがある。

【タイトル】旧八幡郵便局

【想定媒体】WEB

<簡体字>**旧八幡邮局**

旧八幡邮局大楼于 1921 年完工，由美国出生的建筑师、传教士兼实业家威廉·梅瑞尔·波利斯(1880-1964)设计，他在近江八幡度过了大半生。直至 1960 年左右，这座建筑一直是近江八幡市的主要邮局。此后，它曾先后被用作事务所、仓库和商店。数十年间，大楼渐渐变得破败不堪，直到“一粒之会”介入。这是一个本地非营利公益组织，创立于 1997 年，致力于建筑物保护和修复。一粒之会修复了这栋大楼，按原样重建了此前被拆毁的拱形正门。如今，旧八幡邮局被用来开办画展或活动，周末和国定假日对公众开放，开放时间为 11:00~17:00。建筑本身已被登录为国家物质文化财产。

这栋建筑折衷融合了西班牙殖民建筑风格与日式传统风格，类似设计在波利斯之后的作品中频繁出现。大量的多面窗户设计，可以为宽敞的室内带来最佳通风和采光效果，从中也能窥见波利斯注重建筑的舒适性与功能性。一楼原来是邮政业务柜台、局长办公室、接待室、收发室和办公间，收发室如今改造成了一个小小的咖啡馆。二楼有一个长方形的电话交换间和一个较小的夜班休息室。为了隔音隔热，大房间的地板下填满了锯末和木灰。相反，天花板上方和内墙后都留有空隙，以保障建筑结构内部的空气循环流通，避免因湿度过大导致建筑腐坏。

<繁体字>**舊八幡郵局**

舊八幡郵局大樓於 1921 年完工，由美國出生的建築師、傳教士兼商人威廉·梅瑞爾·沃里斯（1880-1964）設計，他在近江八幡度過了大半生。直至 1960 年左右，這座建築一直是近江八幡市的主要郵局。之後，它曾先後被用作事務所、倉庫和商店。數十年間，大樓漸漸變得破敗不堪，直到「一粒之會」介入。這是一個當地非營利公益組織，創立於 1997 年，致力於建築物保護和修復。一粒之會修復該大樓，原樣重建了此前被拆毀的拱形正門。如今，舊八幡郵局被用來開辦畫展或活動，週末和國定假日對大眾開放，開放時間為 11:00~17:00。建築本身已被登錄為國家物質文化財產。

這棟建築折衷融合了西班牙殖民建築風格與日式傳統風格，這樣的設計在沃里斯之後的作品中頻繁出現。此外，從給寬敞室內帶來最佳通風採光效果的多面窗戶設計上，就能窺見他注重建築的舒適性與功能性的一面。一樓原來是郵政業務櫃檯、局長辦公室、接待

室、收發室和辦公室，收發室如今改造成了一個小小的咖啡館。二樓有一個長方形的電話交換間和一個較小的夜班休息室。為了隔音隔熱，大房間的地板下填滿了鋸末和木灰。相反，天花板上方和內牆後都留有空隙，以保障建築結構內部的空氣流通，避免因濕度過大導致建築腐壞。

<日本語仮訳>

旧八幡郵便局

1921年に完成した旧八幡郵便局の建物は、アメリカ生まれの建築家、宣教師、実業家で、生涯の大半を近江八幡で過ごしたウィリアム・メレル・ヴォーリズ（1880-1964）の設計によるものである。この建物は1960年頃まで近江八幡市の主要な郵便局として使用され、のちに事務所、倉庫、店舗として使用された。その後数十年にわたり荒廃していたが、1997年に設立された、建物の保存と修復を目的とした地元のNPO法人「一粒の会」によって修復され、取り壊されていたアーチ型の玄関も復元された。現在、旧八幡郵便局はギャラリーやイベントスペースとして利用され、土日祝日の午前11時から午後5時まで一般公開されており、国の登録有形文化財でもある。

スパニッシュコロニアル様式と日本の様式を融合させたヴォーリズの折衷的なデザインは、その後の彼の作品に頻繁に取り入れられることになる。広々とした室内には窓が多く設けられ、新鮮な空気と陽光を取り込み、快適さと機能性を追求したヴォーリズのこだわりが感じられる。1階には、郵便局の窓口、局長室と応接室、集配室、事務室がある。集配室は現在、小さなカフェになっている。2階は、電話交換室として使われていた長方形の部屋と、夜勤時の仮眠室として使われていた小さな部屋から成っている。大きい方の部屋の床下には、防音や断熱のためにおがくずや灰が敷き詰められていた。一方、天井の上や内壁の裏側には隙間があり、空気を循環させて湿気による腐敗を防いでいる。

【タイトル】 ヴォーリス記念館

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**波利斯纪念馆**

波利斯纪念馆位于近江八幡市中心，是一座展示威廉·梅瑞尔·波利斯(1880-1964)的生平事迹和遗物的博物馆。波利斯出生于美国，身兼建筑师、传教士、商人多重角色，在近江八幡度过了人生的大部分时光。这栋两层的木结构建筑出自波利斯本人设计，原本是打算给妻子满喜子创办的幼儿园用作教师宿舍，却在建造过程中决定改为自家住宅。自1931年竣工到1964年波利斯本人去世，波利斯一家一直住在这里。

建筑整体外观简洁朴素，木质护墙板、斜坡屋顶、烟囱和双层玻璃窗，赋予其鲜明的西式特色。内部格局则同样为西式风格，但为照顾妻子的习惯，波利斯也设计了和式的榻榻米房间。从整座宅邸的布局可以看出，波利斯在设计私人住宅时，十分注重考量生活方式与功能性。为方便居住者生活，屋内到处可见各类实用性设计，比如玄关处就摆着一张舒适的换鞋长凳。

纪念馆展品包括波利斯和妻子满喜子的照片、他从美国带来的钢琴，以及波利斯亲笔书写的书法作品等。纪念馆10:00~16:00开放，需电话预约，周一、公共假日及每年12月1日~1月15日展品更换期间闭馆。门票为成人400日元，18岁及以下免票。波利斯纪念馆现已被指定为滋贺县文化财产。

<繁体字>**沃里斯纪念馆**

沃里斯纪念馆位于近江八幡市中心，是一座展示威廉·梅瑞尔·沃里斯(1880-1964)生平事迹和遗物的博物馆。沃里斯出生于美国，身兼建筑师、传教士、实业家等多重角色，在近江八幡度过了人生的大部分时光。这栋两层的木构建筑出自沃里斯本人设计，原本是打算给妻子满喜子创办的幼稚园用作教师宿舍，却在建造过程中决定改为自家住宅。自1931年竣工到1964年沃里斯本人去世，沃里斯一家一直住在这里。

建筑整体外观简洁朴素，木质护墙板、斜坡屋顶、烟囱和双层玻璃窗，为其赋予了鲜明的西式特色。内部格局同样为西式风格，但为照顾妻子的习惯，沃里斯也设计了和式的榻榻米房间。从整座宅邸的布局可以看出，沃里斯在设计私人住宅时，十分注重考量生活方式与功能性。为方便居住者生活，屋内到处可见各类实用性设计，比如玄关处就有一张舒适的换鞋长凳。

記念館展品包括沃里斯和妻子満喜子の照片、他從美國帶來的鋼琴，以及沃里斯親筆書寫的書法作品等。記念館於每日 10:00～16:00 開放，需電話預約，週一、公共假日及每年 12 月 1 日至 1 月 15 日展品更換期間閉館。門票為成人 400 日圓，18 歲及以下免票。沃里斯記念館現已被指定為滋賀縣文化財產。

<日本語仮訳>

ヴォーリス記念館

近江八幡市の中心部にあるヴォーリス記念館は、アメリカ生まれの建築家、伝道師、実業家であり、その生涯の大半を近江八幡で過ごしたウィリアム・メレル・ヴォーリス（1880-1964）の生涯、経歴、思い出の品々を紹介する博物館である。木造 2 階建てのこの建物は、ヴォーリス自身が設計したもので、当初は妻の満喜子が設立した幼稚園の教員寮として使用される予定だった。建設中に自宅になることが決まり、1931 年の完成後、1964 年にウィリアム・メレルが他界するまで、ヴォーリス夫妻の住居として使用された。

全体的にシンプルで、下見板張りの外壁、切妻屋根、煙突、二重窓など、西洋的な外観が特徴的である。内部は洋風だが、ヴォーリスは妻のために畳のある和室も用意した。家の間取りは、ヴォーリスが個人住宅を設計する際に、生活への配慮と機能性を重視したことを示している。玄関脇には靴を脱いだり履いたりするときに腰掛けられる座り心地のいいベンチを設置するなど、居住者の利便性を高める実用的な工夫が随所に施されている。

館内には、ヴォーリスと満喜子の写真、アメリカから持ち込んだピアノ、ヴォーリス自筆の書などが展示されている。開館時間は午前 10 時から午後 4 時までで、見学は電話予約制。月曜日と祝日が定休日、12 月 1 日から 1 月 15 日までは展示替えのため休館となる。入館料は大人 400 円、18 歳以下は無料。ヴォーリス記念館は滋賀県の文化財に指定されている。

地域番号	023	協議会名	太宰府市日本遺産活性化協議会
------	-----	------	----------------

解説文一覧

NO.	スポット名 (タイトル)	中国語文字数	想定媒体
023-001	地藏菩薩 (二の一)	250	パンフ
023-002	兜跋毘沙門天	445	パンフ
023-003	地藏菩薩 (二の二)	230	パンフ
023-004	十一面観音 (三の一)	200	パンフ
023-005	聖観音菩薩	330	パンフ
023-006	十一面観音菩薩 (三の二)	295	パンフ
023-007	馬頭観音菩薩	345	パンフ
023-008	狛犬	310	パンフ
023-009	不空絹索観音菩薩	340	パンフ
023-010	阿弥陀如来	270	パンフ
023-011	四天王	200	パンフ
023-012	大黒天	320	パンフ
023-013	十一面観世音菩薩 (三の三)	260	パンフ
010-014	吉祥天	290	パンフ
023-015	舞楽面	340	パンフ
023-016	梵鐘	250	パンフ
023-017	大宰府展示館へようこそ	440	看板
023-018	大宰府再現ジオラマ：自然防衛	480	看板
023-019	大宰府政庁の模型	330	看板
023-020	大宰府の色と位階	530	看板
023-021	大宰府の食文化	345	看板
023-022	8世紀の大宰府のジオラマ	420	看板
023-023	古代大宰府の発掘	425	看板
023-024	梅花の宴	480	看板
023-025	令和－時代の始まり	420	看板
023-026	学問、文化・芸術の聖地、太宰府天満宮へようこそ	265	看板
023-027	何の意味もないが本当に輝くもの	255	看板
023-028	すべては学ばれる IV	270	看板
023-029	仮想空間	265	看板
023-030	呼吸する空気のように	250	看板
023-031	歴史の問題	260	看板
023-032	時間の問題	290	看板
023-033	信仰の問題	270	看板
023-034	ソトタマシイ	260	看板
023-035	天神信仰縁起	440	パネル
023-036	太宰府天満宮と安楽寺	360	パネル

023-037	代々の太宰府天満宮	365	パネル
023-038	天神信仰	355	パネル
023-039	連歌	360	パネル
023-040	大名からの進物	355	パネル
023-041	太宰府天満宮と幕末	525	パネル
023-042	太宰府天満宮の祭りと儀式	450	パネル
023-043	竈門神社	380	看板
023-044	竈門神社授与所	370	看板
023-045	竈門神社―雰囲気ある森の神社での縁結びの支援	400	パンフ
023-046	観世音寺宝蔵殿―壮観な仏教美術品	535	パンフ
023-047	大宰府展示館―古代大宰府の証と現在も続く発見	345	パンフ
023-048	客館― 太宰府の厚いもてなしを際立たせた新たな発見	555	パンフ

【タイトル】地蔵菩薩（二の一）

【想定媒体】パンフレット

<簡体字>**地藏菩薩（二之一，梵文：Kṣitigarbha）****木雕・国家指定重要文化财产**

菩薩为了救贖芸芸众生而立誓推迟觉悟。地藏菩薩为减轻所有被困地狱的灵魂之苦，曾发愿“地狱不空，誓不成佛”。在日本，地藏菩薩也是母子、旅行者等众生的保护神，能回应人们对健康、成功的祈求，以及其他愿望。

与日本各地常见的地藏菩薩像一样，这尊雕像刻画了一位剃度僧侶，身着质朴而优雅的袈裟，头部饰有背光，左手托着一颗祈求造福众生的宝珠（包含所有善行的神圣宝石）。此尊地藏菩薩像高 136 厘米，由一整块樟木雕刻而成，历史可以追溯至 10 世纪。

<繁体字>**地藏菩薩（二之一，梵文：Kṣitigarbha）****木雕・國家指定重要文化財產**

菩薩為了救贖芸芸眾生而立誓推遲覺悟。在日本，地藏菩薩是母子和旅行者等的保護神，能應對人們對健康、成功的祈求，並滿足其他許多願望。地藏菩薩曾經發願「地獄不空，誓不成佛」，以減輕所有被困地獄的靈魂之苦。

這尊雕像刻畫了一位剃度僧侶，身著質樸而優雅的袈裟，頭部飾有背光，左手托著一顆祈求造福眾生的寶珠（包含所有善行的神聖寶石），此形象在日本各地都很常見。這尊地藏菩薩像歷史可以追溯至 10 世紀，高 136 公分，由一整塊樟木雕刻而成。

<日本語仮訳>**地藏菩薩(二の一) (サンスクリット語 : Kṣitigarbha)****木造・国指定重要文化財**

菩薩は、すべての衆生に救済をもたらすまで、悟りを先延ばしにすると誓いを立てた仏です。地藏菩薩は「地獄不空、誓不成仏」という大願があり、地獄に落とされたすべての魂の苦しみを和らげるために働き、また日本では、母子や旅人などの守護者であります。この仏は、無病息災、成功、その他の様々な願いに応えます。

この像は、簡素ですが優美な衣をまとった僧侶として表現されており、日本各地の地蔵の描写に見

られるように、剃髪した頭部の周りに光背をもっています。左手には、宝珠（すべての良い行いをおさめた宝石）を持っています。宝珠は、すべての苦しむ者に恩恵を与える地蔵菩薩の思いを表しています。本像は10世紀のものとみられます。クスノキの一木から彫られており、高さは136cmです。

【タイトル】兜跋毘沙門天

【想定媒体】パンフレット

<簡体字>

兜跋毗沙門天（梵文：Vaiśravaṇa）

木雕・国家指定重要文化财产

多闻天王是守护四方的四天王之一，负责镇守北方，也是四天王中最强大的一位。当他被单独崇拜时，就是著名的护法神之一毗沙门天。

兜跋毗沙门天是一位身披铠甲的战神，被奉为国家的保护神。在中国唐朝(618-907)时代，兜跋是西域的一个小王国。传说正是兜跋毗沙门天将兜跋王国从毁灭的边缘拯救回来，从此，战神毗沙门天便与保护国家抵御外敌的守护神联系在了一起。

毗沙门天雕像通常表现为脚踩恶魔的形象，这里的恶魔代表唤起众生黑暗欲望的恶灵，而兜跋毗沙门天站在大地女神“地天”的手掌上，左右脚边各蜷着二蓝婆和毗蓝婆两头小鬼，一起浮于滚滚云朵之上。它左手托着代表佛法宝库的佛塔，右手持着用来消除邪恶、打败佛教之敌的宝棒。

此尊兜跋毗沙门天高 160 厘米，由一整块樟木雕刻而成，其历史可追溯至公元 9 世纪。造像的面部特征和身体比例突出了力量和气势，融合了日本与西方雕像的风格，与中国的经典毗沙门天雕像截然不同。这尊雕像是观世音寺群像中最古老的一尊。

<繁体字>

兜跋毗沙門天（梵文：Vaiśravaṇa）

木雕・國家指定重要文化財產

多聞天王是守護四方的四天王之一，負責鎮守北方，也是四天王中最強大的一位。當作為四天王之外被單獨崇拜時，祂就是著名的護法神之一毗沙門天。

兜跋毗沙門天是一位身披鎧甲的戰神，被奉為國家的保護神。在中國唐朝（618-907）時代，兜跋是西域的一個小王國。傳說中，兜跋毗沙門天將兜跋王國從毀滅的邊緣拯救回來，從此，戰神毗沙門天便與保護國家抵禦外敵的守護神聯繫在了一起。

毗沙門天雕像通常表現為腳踩惡魔的形象，這裡的惡魔代表喚起眾生黑暗欲望的惡靈，而兜跋毗沙門天則站在大地女神「地天」的手掌上，左右腳邊各蜷著二藍婆和毗藍婆兩頭小鬼，一起浮於滾滾雲朵之上。它左手托著代表佛法寶庫的佛塔，右手持著用來消除邪惡、打敗佛教之敵的寶棒。

這尊兜跋毗沙門天高 160 公分，其歷史可追溯至西元 9 世紀，由一整塊樟木雕刻而成。造像的面部特徵和身體比例突出了力量和氣勢，融合了日本與西方雕像的風格，與中國的經典毗沙門天雕像截然不同。此雕像是觀世音寺群像中最古老的一尊。

<日本語仮訳>

兜跋毘沙門天（サンスクリット語：Vaiśravaṇa）

木造・国指定重要文化財

多聞天は、四方を守護する四天王の一人です。多聞天は北の方角を護る王であり、四天王の中で最も有力とされています。この仏は、四天王の一部としてではなく、一体で現れる場合は、毘沙門天と呼ばれます。

兜跋毘沙門天は武装した神として描かれており、国の守護者として信仰されています。兜跋とは、唐王朝時代（618-907）の西域の王国であり、伝説では滅亡の危機に瀕した王国を兜跋毘沙門天が救ったと言われています。この伝説は、外敵からの国土の守護者という武神と結びつく根拠になっています。

毘沙門天の像は多くの場合、衆生の邪悪な欲望を引き起こす悪霊である邪鬼を踏みつけている姿で表現されています。しかし、兜跋毘沙門天は、二藍婆と毘藍婆の二匹の小鬼を伴って、うねる雲のもとにいる大地の女神・地天の手のひらで支えられています。彼の左手は、釈迦の教えの宝庫を象徴する仏塔をかかげており、右手は、悪を排除し仏道の敵を退治するための警棒のような武器を構えています。

この兜跋毘沙門天像は高さ 160cm で 9 世紀のもので、クスノキの一木から彫られています。この和洋風の仏像には、力と強さを強調する顔の特徴と体のプロポーションが刻まれており、典型的な中国のものとはまったく異なっています。本像は観世音寺の群像の中で最古のものです。

【タイトル】 地藏菩薩(二の二)

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

地藏菩薩（二之二，梵文：Kṣitigarbha）

木雕・国家指定重要文化财产

这尊地藏菩萨为半跏趺坐像。地藏菩萨一般都以行脚僧的形象示人，这尊雕像也不例外，其右手持锡杖。僧侣在旅行时，锡杖上圆环碰撞的声音可以警告小昆虫和小生物远离伤害、驱赶危险的动物，还能告知村民有僧侣正在靠近。与另一尊地藏菩萨一样，这尊佛像的左手也托着一颗包含所有善行的宝珠。

此地藏菩萨木雕像高123厘米，有十分醒目的大背光，完成于11世纪的平安时代(794-1185)下半叶。

<繁体字>

地藏菩薩（二之二，梵文：Kṣitigarbha）

木雕・國家指定重要文化財產

這尊地藏菩薩為半跏趺坐像。地藏菩薩多數以行腳僧的形象示人，這尊雕像也不例外，其右手持錫杖。僧侶在旅行時，錫杖上圓環碰撞的聲音可以告示村民有僧侶正在靠近，同時警告小昆蟲和小生物遠離傷害，並驅趕危險的動物。與另一尊地藏菩薩一樣，這尊佛像的左手也托著一顆寶珠，其中包含所有善行。

此地藏菩薩木雕像高123公分，有十分醒目的大背光，完成於11世紀的平安時代（794-1185）下半葉。

<日本語仮訳>

地藏菩薩(二の二) (サンスクリット語：Kṣitigarbha)

木造・国指定重要文化財

この地藏菩薩は、半跏趺坐の姿で彫刻されています。地藏菩薩は、一般的には旅する僧侶として表れますが、この像も例外ではなく、その右手に錫杖を持っています。僧侶が旅でこの杖の輪から奏でる音は、小さな虫や生き物に害を与えないよう警告し、危険な動物を追い払い、また村人に僧侶がやってきたことを知らせました。ここに収蔵されているもうひとつ地藏菩薩と同様に、本像もまた左手に宝珠（すべての良い行いをおさめた宝石）を持っています。

この地蔵菩薩像は高さ 123cm の木造で、目立つ広い光背を伴っています。11 世紀に遡る、平安時代（794-1185）後期のものです。

【タイトル】 十一面観音(三の一)

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

十一面观音菩萨（三之一，梵文：Ekadasamuhka）

木雕・国家指定重要文化财产

观音是大慈大悲菩萨，拥有多种化身，并以不同的形态回应众生的呼唤。在观世音寺的宝藏殿中，有几尊形态各异的观音雕像，包括圣观音、十一面观音和马头观音。

这一尊是十一面观音菩萨，十个小头像环绕在主头像上方，使观音能够从四面八方感知众生的痛苦。这尊木雕观音像完成于 13 世纪，高度仅 103 厘米，是观世音寺宝藏殿中最小的雕像。

<繁体字>

十一面觀音菩薩（三之一，梵文：Ekadasamuhka）

木雕・國家指定重要文化財產

觀音是大慈大悲菩薩，擁有多種化身，並以不同的形態回應眾生的呼喚。在觀世音寺的寶藏殿中，有幾尊形態各異的觀音雕像，包括聖觀音、十一面觀音和馬頭觀音。

這一尊是十一面觀音菩薩，十個小頭像環繞在主頭像上方，能夠朝向四面八方，感知眾生的痛苦。這尊木雕觀音像是觀世音寺寶藏殿中最小的雕像，完成於 13 世紀，僅僅高 103 公分。

<日本語仮訳>

十一面観音(三の一)（サンスクリット語：Ekadasamuhka）

木造・国指定重要文化財

観音菩薩は慈悲と憐れみの仏です。観音はいくつもの姿で現れ、各々の嘆願に応じて異なる形で衆生の声に答えます。観世音寺の宝物殿には、聖観音、十一面観音、馬頭観音など、様々な観音の姿があります。

ここにあるのは十一面観音です。十一面の主な特徴は、仏の頭上にある 10 個の小さな頭です。無数の頭は、観音が四方八方を向いて衆生の苦しみを感じ取ることを可能にします。本像は 13 世紀のもので、高さは 103cm で、この宝蔵殿で最も小さい木彫像です。

【タイトル】 聖観音菩薩

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

聖観音菩薩（梵文：Aryâvalokitesvara）

木雕・国家指定重要文化财产

大慈大悲の観音菩薩拥有多种化身，并在所有祈求慈悲的人前显现，而圣观音菩萨是其原型。圣观音菩萨一般左手持微开的莲花苞，莲花出污泥而不染，含苞欲放的莲花代表内心纯净。佛像右手的姿态暗示着莲花蓓蕾即将绽放。

此雕像高 3.21 米，由樟木雕刻而成。雕像线条流畅，神态安详，是典型的平安时代（794-1185）晚期作品。根据历史记载，1064 年一场大火烧毁了观世音寺的大部分建筑，1066 年在复兴寺庙期间建造了这座雕像，其雕刻风格以及寄木造工艺（不同于“一木造”，是用多块木材拼合的佛像造像方式）也验证了这一点。这尊圣观音菩萨像被认为是观世音寺的本尊，因此宝藏殿中此像前方的功德箱尺寸最大。

<繁体字>

聖觀音菩薩（梵文：Aryâvalokitesvara）

木雕・國家指定重要文化財產

大慈大悲的觀音菩薩擁有多種化身，並在所有祈求慈悲的人前顯現，而聖觀音菩薩是其原型。聖觀音菩薩一般左手持微開的蓮花苞，蓮花出污泥而不染，含苞欲放的蓮花代表內心純淨。佛像右手的姿態暗示著蓮花蓓蕾即將綻放。

雕像樟木雕刻而成，高 3.21 公尺。其線條流暢，神態安詳，是典型的平安時代（794-1185）晚期作品。根據歷史記載，1064 年一場大火燒毀了觀世音寺的大部分建築，1066 年在復興寺廟時建造了這座雕像，其雕刻風格以及寄木造工藝（不同於「一木造」，是用多塊木材拼合的佛像造像方式）也驗證了這一點。這尊聖觀音菩薩像被認為是觀世音寺的本尊，因此寶藏殿中此像前面的功德箱尺寸最大。

<日本語仮訳>

聖観音菩薩（サンスクリット語：Aryâvalokitesvara）

木造・国指定重要文化財

慈悲の仏・観音は、憐れみを求める全ての人のもとに現れます。観音には多くの姿があり、聖観音はその原型です。聖観音は一般的に、左手にはわずかに開いた蓮のつぼみを握っています。開花前の蓮の蕾は、心の清浄に対する隠喩です。蓮の花の根は泥水の中で成長しますが、花は水の上に上がって咲くのです。右手の身振りは蓮のつぼみの開花を暗示しています。

この像は高さ 321cm でクスノキから彫られています。彫像のなめらかな仕上がりと穏やかな物腰は平安時代（794-1185）後期の典型的なものです。記録によれば、1064年に観世音寺は大火に襲われ、大半が焼失したが、1066年に復興される中でこの彫像が造像されたとされています。彫刻の様式と寄木造（「一木造」とは異なり、複数の木材をはぎ合せて仕上げる技法）がこの結論を裏付けています。また、仏像の前にある賽銭箱が宝蔵殿内のどの仏像よりも大きいのは、この聖観音が観世音寺の本尊だと考えられているためです。

【タイトル】 十一面観音菩薩(三の二)

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

十一面观音菩萨（三之二，梵文：Ekadasamuhka）

木雕・国家指定重要文化财产

与其他两尊十一面观音菩萨像一样，这尊观音像的主头像上方也有十个突出的小头像。本雕像最显著的特征在其紧贴着躯干的纤薄袈裟，垂坠多褶，线条优美。观音的第十一个头像位于最高点，代表着第十一个也是最后一个开悟阶段，即佛陀的境界。圣像右手下垂，结与愿印，意为实现所有众生祈求之愿，左手持一个装着莲花的宝瓶。

此像由日本扁柏雕刻而成，高达 4.98 米。从观音菩萨左上臂背面的铭文可知，这座雕像造于 1069 年。艺术史学家认为这件作品尤为珍贵，因为当时的大型雕像能如此精确断代的实属罕见。此尊雕像和圣观音像很有可能出自同一雕塑师之手。

<繁体字>

十一面觀音菩薩（三之二，梵文：Ekadasamuhka）

木雕・國家指定重要文化財產

這尊觀音像的主頭像上方也有十個突出的小頭像，這點和其他兩尊十一面觀音菩薩像一樣。本雕像最顯著的特徵在其緊貼著軀幹的薄袈裟，垂墜多褶，線條優美。觀音的第十一個頭像位於最高點，代表著第十一個也是最後一個開悟階段，即佛陀的境界。聖像右手下垂，結與願印，意為實現所有眾生祈求之願，左手持一個裝著蓮花的寶瓶。

此像高達 4.98 公尺，由檜木雕刻而成。從觀音菩薩左上臂背面的銘文可知，這座雕像出自 1069 年。藝術史學家認為這件作品尤為珍貴，因為當時的大型雕像能如此精確斷代非常罕見。此尊雕像和聖觀音像很有可能是同一雕塑師的作品。

<日本語仮訳>

十一面観音菩薩(三の二) (サンスクリット語：Ekadasamuhka)

木造・国指定重要文化財

この像は、収蔵品のほかの十一面観音像と同様、主体となる頭の上部に 10 の顔が突き出ています。本像は、胴体のラインにぴったりとついた多くの折り目のある薄い裳の流れが見事に表現されているのが特徴です。本像の最も高いところにある 11 番目の頭は、11 番目にして悟りの最終段階である仏

陀としての境地を表しています。本像の右手は願い事の成就を意味する印相（与願印）で下がり、左手は蓮華の入った花瓶を抱えています。

本像は檜材から彫られており、高さ 498cm です。像の左上腕の裏で発見された銘文は彫像が 1069 年まで遡ることを示しています。当時の大作をここまで正確に年代特定できることは稀なため、美術史家はこの作品をとりわけ貴重なものと考えています。なお、聖観音と同じ仏師による作品である可能性が高いです。

【タイトル】 馬頭観音菩薩

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>**马头观音菩萨（梵文：Hayagrīva）****木雕・国家指定重要文化财产**

观音菩萨可以显现许多形态，但只有马头观音菩萨呈现凶猛狰狞的忿怒相。“马”代表马头观音菩萨如同马儿吃草喝水那样，吞噬众生现世的一切欲望和烦恼，其形象具有深刻的象征意义。观音八条手臂中有五只手拿着吉祥法器：斧、剑、佛珠、法杖和法轮，用以赐福或护佑。马头观音像通常为三面，但本雕像后方还有一面，共计四面。

这尊木雕马头观音菩萨像高达 5.03 米，是日本现存最大的一尊马头观音像，也是唯一一尊四面八臂的马头观音像。该雕像可追溯至 1130 年左右，是平安时代(794-1185)大型丈六佛的唯一遗例，堪称 12 世纪的雕塑标杆，因此闻名日本。雕像前放着祈祷交通安全的御守，因为马头观音通常被视为护佑家畜、保佑旅途安全和平安产子的菩萨。

<繁体字>**馬頭觀音菩薩（梵文：Hayagrīva）****木雕・國家指定重要文化財產**

觀音菩薩可以多種形態顯現，但只有馬頭觀音菩薩呈現兇猛猙獰的忿怒相。馬的形象代表馬頭觀音菩薩如同馬兒吃草喝水那樣，吞噬眾生在現世的一切欲望和煩惱，具有深刻的象徵意義。觀音八條手臂中有五隻手拿著吉祥法器：斧、劍、佛珠、法杖和法輪，用以賜福或庇佑。馬頭觀音像通常為三面，但本雕像後方還有一面，共計四面。

這尊木雕馬頭觀音菩薩像是日本現存最大的一尊馬頭觀音像，高達 5.03 公尺，也是唯一一尊四面八臂的馬頭觀音像。該雕像可追溯至 1130 年左右，是平安時代（794-1185）大型丈六佛的唯一遺例，堪稱 12 世紀的雕塑標杆，因此聞名日本。雕像前放著祈禱交通安全的御守，因為馬頭觀音通常被視為庇佑家畜、保庇旅途安全和平安產子的菩薩。

<日本語仮訳>**馬頭觀音菩薩（サンスクリット語：Hayagrīva）****木造・国指定重要文化財**

觀音菩薩には多くの姿がありますが、忿怒の形相を持つのは馬頭觀音だけです。馬という比喩には深い意味があります。馬が草を食べ、水を飲み干す様になぞらえて、馬頭觀音は衆生が抱く現世の欲

望や煩悩を食い尽くすことを表現しています。馬頭観音の8本の腕のうち5本は、衆生にご利益を与えたり救ったりするために、斧や、剣、数珠、杖、輪宝といった持物を持っています。馬頭観音像は通常、顔は3面ですが、本像は後ろにもあって、全部で4面です。

この木像の高さは503cmを誇り、現存する中で日本の最大の像です。また、この像のような四面八臂像はほかに例がありません。およそ1130年頃に造られた本像は、平安時代（794-1185）の丈六の大作の唯一の遺例であり、12世紀の彫刻の基準作として日本中に良く知られています。本像の前にあるのは、交通安全のお守りです。馬頭観音は家畜の保護とともに、旅の安全や安産祈願と結びつけて考えられています。

【タイトル】 狛犬

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>**狛犬****石雕・国家指定重要文化财产**

在日本的神社或寺庙等神圣的场所，通常会安放两只成对的日本石狮“狛犬”（狛，音同“伯”）来驱除邪灵。此处的这对不同于日本普通的狛犬，它们具备明显的中国宋代石狮风格。

这对宋风狛犬看起来相似，其实有明显差别：一只张着嘴，另一只则闭着嘴。关于这种差异的含义诸说纷纭，其中一种认为，张嘴的狛犬在说梵文第一个字母“a”，而闭嘴的那只说的是“um”，这两个音结合就形成了神圣的佛教音节“aum”，表示万物之始终。此外，这对雄雌狛犬雕像还具有明显的中国特色，雌的庇护着一只幼崽，雄的则抓着一个球。

张嘴的雄狛犬高 60.6 厘米，雌狛犬则高 62.1 厘米。据一位专家推测，它们可能出自镰仓时代(1185-1333)早期。

<繁体字>**狛犬****石雕・國家指定重要文化財產**

在日本的神社或寺廟等神聖的場所，通常會安放兩隻成對的日本石獅「狛犬」（狛，音同「伯」），用以驅除邪靈。此處一對不同於日本普通的狛犬，它們具備明顯的中國宋代石獅風格。

這對宋風狛犬看起來相似，其實有明顯差別：一隻張著嘴，另一隻則閉著嘴。關於這種差異的含義眾說紛紜，其一認為，張嘴的狛犬在說梵文第一個字母「a」，而閉嘴的那只說的是「um」。這兩個音結合就形成了神聖的佛教音節「aum」，表示萬物之始終。這對雌雄狛犬雕像也具有明顯的中國特色，雌的庇護著一隻幼崽，雄的則抓著一個球。

據某專家推測，這對狛犬可能出自鎌倉時代（1185-1333）早期，張嘴的雄狛犬高 60.6 公分，雌狛犬則高 62.1 公分。

<日本語仮訳>**狛犬****石造・国指定重要文化財**

日本の寺や神社などの神聖な場所では、悪霊を追い払うために2体1対の狛犬像が置かれます。ここにある二つの像は通常の狛犬とは異なり、中国・宋の様式をもつ、石獅子像です。

この一対の宋風獅子は同じように見えますが、顕著な違いがあります。一方は口が開いており、他方は閉じています。この違いの意味については諸説あります。口を開けたほうは、サンスクリット語の最初の文字である「ア」を発声しており、もう一方は「ウン」と発音しているという話もあります。この2つを合わせると、すべてのものの始まりと終わりを意味する神聖な仏教の音節である「アウン」となります。また、2体の狛犬は雄と雌であり、片方の雌が子どもを抱いていて、もう片方の雌が鞠を抱いているという形態に、明らかな中国風の特徴が見られます。

口を開いた雄の像は高さ 60.6cm、雌の像は高さ 62.1cm です。ある専門家は、鎌倉時代（1185-1333）初期のものではないかと推測しています。

【タイトル】 不空羼索観音菩薩

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

不空羼索观音菩萨（梵文：Amoghapasa）

木雕・国家指定重要文化财产

不空羼索观音菩萨（羼，音同“倦”）是观音的众多化身之一，而这尊观音像极为罕见，是唯一一座拥有十一面的不空羼索观音雕像。部分研究者认为，观世音寺的本尊是十一面观音菩萨，因此不空羼索观音也采用了同样的元素。

不空羼索观音共有八臂，五手执法器。其中一手持宝剑，一手执羼索，用来捕捉迷失的灵魂并引导其获得救赎。另外三只手则各持法杖（或权杖）、莲花和驱赶烦恼的拂尘。

观世音寺的这尊不空羼索观音原本为泥塑，制作于奈良时代(710-794)中期，但于1221年不幸倒地摔碎。现在的木制雕像完成于1222年，像内保存了原雕像的粘土碎片。此像高达5.17米，是观世音寺中众多巨像中最大的一尊，其面相聪慧，给人以清澈明朗的印象。

<繁体字>

不空羼索觀音菩薩（梵文：Amoghapasa）

木雕・國家指定重要文化財產

不空羼索觀音菩薩（羼，音同「倦」）是觀音的眾多化身之一，而這尊觀音像是唯一一座擁有十一面的不空羼索觀音雕像，極為罕見。部分研究者認為，觀世音寺的本尊是十一面觀音菩薩，因此不空羼索觀音也採用了同樣的元素。

不空羼索觀音共有八臂，五手執法器。其中一手持寶劍、一手執羼索，用來捕捉迷失的靈魂並引導其獲得救贖。另外三隻手則各持法杖（或權杖）、蓮花和驅趕煩惱的拂塵。

觀世音寺的這尊不空羼索觀音原本為泥塑，製作於奈良時代（710-794）中期，但於1221年不幸倒地摔碎。現存的木製雕像完成於1222年，像內保存了原雕像的粘土碎片。此像是觀世音寺眾多巨像中最大的一尊，高達5.17公尺，面相聰慧，整體清澈明朗。

<日本語仮訳>

不空羼索観音菩薩（サンスクリット語：Amoghapasa）

木造・国指定重要文化財

不空羂索は、数多くある観音の姿のひとつです。この不空羂索観音像は非常に珍しいもので、十一面を持つ唯一の像です。一部の研究者は、観世音寺の本尊は十一面観音であって、その要素を不空羂索観音にも取り入れたと推測しています。

不空羂索観音は8本の腕を有し、5本の手で道具を持っています。1本の手には剣を構え、もう1本は迷える魂を捉えて救いに導くために使う縄の輪（羂索）を携えています。その他の持物は、杖（または笏）、蓮の花、煩惱を追い払う払子です。

観世音寺の最初の不空羂索像は奈良時代（710-794）中期に粘土で造られた塑像です。その像は1221年に倒れて粉砕してしまいました。ここで見られる木像はその翌年に制作されたもので、像内に最初の像の粘土の破片が納められていました。高さ517cmのこの像は、観世音寺の巨像群の中でも最大のもので、理知的な顔と、明快さ軽やかさのある仏像です。

【タイトル】 阿弥陀如来

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

阿弥陀如来（梵文：Amitabha Buddha）

木雕・国家指定重要文化财产

如来是到达证悟境界的无上佛陀，是佛教寺庙的主要供奉对象。这尊阿弥陀如来像的面容安详，衣着朴素，显示了佛陀的僧侣身份，同时也强调了其高尚的精神境界。阿弥陀如来通常坐在或站在莲花之上，因为盛开的莲花代表着觉悟。

阿弥陀的梵文是“Amitabha”，意为“无量光”，因此，阿弥陀佛常被称为“无量光佛”。

这尊木雕像高 2.19 米，推测出自平安时代(794-1185)晚期。与同期制作的其他大佛一样，这座雕像使用了将多块木材拼合的新技术“寄木造”，而不是采用单块木头的“一木造”。

<繁体字>

阿彌陀如來（梵文：Amitabha Buddha）

木雕・國家指定重要文化財產

如來是到達證悟境界的無上佛陀，是佛教寺廟的主要供奉對象。這尊阿彌陀如來的面容安詳，衣著樸素，顯示了其僧侶身份，同時也強調了祂高尚的精神境界。因為盛開的蓮花代表著覺悟，阿彌陀如來通常坐在或站在蓮花之上。

阿彌陀的梵文是「Amitabha」，意為「無量光」，因此，阿彌陀佛常被稱為「無量光佛」。

專家推測這尊木雕像出自平安時代（794-1185）晚期，高 2.19 公尺。和同期製作的其他大佛一樣，這座雕像採用的也是將多塊木材拼合的新技術「寄木造」，而非用單塊木頭的「一木造」。

<日本語仮訳>

阿弥陀如来（サンスクリット語：Amitabha Buddha）

木造・国指定重要文化財

如来は悟りを開いた最高位に至った仏であり、仏教寺院で主要な崇拝対象となっています。この阿弥陀如来の穏やかな表情と僧職にあることを示す質素な服装は、高められた精神状態を強調してい

ます。満開の蓮は悟りを示しているため、阿弥陀如来は大抵蓮の上に座っているか立っている姿で表現されます。

阿弥陀はサンスクリット語で「Amitabha」で、「無量光」を意味します。そのため、阿弥陀はしばしば「無量光仏」と呼ばれます。

この木像は高さ 219cm。平安時代（794-1185）の後期に制作されたと考えられます。同じ時期に作られたほかの巨大な像と同様、この像も一つの木材で造った「一木造」ではなく、複数の木片をつなぎ合わせる、当時の新しい彫刻技術「寄木造」を採用しています。

【タイトル】 四天王

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>**四天王（梵文：Chaturmahārāja）****木雕・国家指定重要文化财产**

四天王守護着四個基本方位：多聞天鎮守北方，增長天保護南方，持國天保衛東方，廣目天駐守西方。他們共同驅除邪惡，庇護國家，守護世界免受惡靈侵擾。

通常，四天王面目猙獰，身披鎧甲，手持聖物鎮壓敵人，每一位都腳踏一隻被他們收服的正魔惡鬼。這些 11 世紀的雕像均由樟木雕刻而成，高約 2.3 米，在當時塑造的同類雕像中，它們的尺寸異常巨大。

<繁体字>**四天王（梵文：Chaturmahārāja）****木雕・國家指定重要文化財產**

四天王守護著四個基本方位：多聞天鎮守北方，增長天保護南方，持國天保衛東方，廣目天駐守西方。他們共同驅除邪惡，庇護國家，守護世界免受惡靈侵擾。

通常，四天王面目猙獰，身披鎧甲，手持聖物鎮壓敵人，每一位都腳踏一隻被他們收服的正魔惡鬼。這些 11 世紀的雕像高約 2.3 米，均由樟木雕刻而成，與同期塑造的同類雕像相比，它們的尺寸非常巨大。

<日本語仮訳>**四天王（サンスクリット語：Chaturmahārāja）****木造・国指定重要文化財**

四天王は四方に目を光らせている守護神です。北方を多聞天、南方を增長天、東方は持国天、西方を広目天が守護しています。彼らは共同で悪を追い払い、国を庇護し、世界を悪霊から守ります。

一般的に四天王は憤怒相で、鎧を身にまとい、敵を制圧するための神聖な道具を持った姿で表現されます。四天王は踏みつけて服従させた 4 匹の天邪鬼、悪鬼のような生き物の背中の上に立っています。クスノキから彫られた各像は高さ約 230cm、11 世紀のものですが、当時制作されたこれらのタイプのものの中ではとりわけ大きな像です。

【タイトル】 大黒天

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>**大黒天（梵文：Mahākāla）****木雕・国家指定重要文化财产**

大黒天被视为食物、农民、繁荣和财富之神。这尊大黒天的身材瘦削纤细，面容威严肃穆，表明他起源于印度战神“马哈卡拉”(Mahākāla)。此像与日本常见的大黒天形象截然不同，通常的大黒天身材魁梧，面带微笑，脚踩2袋大米，肩上扛着小木槌和大宝袋。

这座雕像高1.71米，是日本现存最古老、最大的大黒天造像。与其他许多大黒天像相比，它显得格外高大，但跟宝藏殿中更为巨大醒目的雕像排列在一起，它反而让人感觉有些渺小。这尊雕像制作于平安时代(794-1185)晚期，用一整块樟木雕刻而成。由于它以非同一般的诠释方式表现了大黒天初期的形象，在日本佛教雕像中备受瞩目。雕像前放置的护身符可让家庭兴旺发达。

<繁体字>**大黒天（梵文：Mahākāla）****木雕・國家指定重要文化財產**

大黒天被視為食物、農民、繁榮和財富之神。這尊大黒天的身材瘦削纖細，面容威嚴肅穆，表明祂起源於印度戰神「馬哈卡拉」（Mahākāla）。此像與日本常見的大黒天形象截然不同，通常的大黒天身材魁梧，面帶微笑，腳踩2袋大米，肩上扛著小木槌和大寶袋。

這座雕像是日本現存最古老、最大的大黒天造像。它高1.71公尺，與其他許多大黒天像相比顯得格外高大，但跟寶藏殿中更為巨大醒目的雕像們陳列在一起，反而讓人感到有些渺小。這尊雕像用一整塊樟木雕刻而成，製作於平安時代（794-1185）晚期。因以特殊方式表現了大黒天初期的形象，在日本佛教雕像中備受矚目。雕像前放置的護身符可讓家庭興旺發達。

<日本語仮訳>**大黒天（サンスクリット語：Mahākāla）****木造・国指定重要文化財**

大黒天は食物、農民、繁栄、富の神として知られています。この大黒天の細く、人を寄せ付けないような顔立ちは、マハーカーラと呼ばれるインドの戦いの神に起源があることを窺わせます。この像は、日

本人が描く一般的な大黒天の姿、すなわち、米俵 2 表の上に立ち、小槌と大きな宝の入った袋を持ち、にっこりと微笑んだふくよかな姿からはかけ離れたものです。

本像は高さ 171cm で、日本に現存する大黒天の中で最古、かつ最大の像です。ほかの多くの大黒天と比べると、背が際立って高いものになります。しかしより大きく堂々たる彫像群があるため、この宝蔵殿の中ではむしろ小さく見えます。本像は平安時代（794-1185）後期に制作されたもので、仏師が一塊のクスノキ材から彫りました。一般的な像とは解釈が異なり、古風な面影があることで、日本の仏像の中でも注目に値するとされています。像の前に置かれているお守りは、家内繁栄を願うものです。

【タイトル】 十一面観世音菩薩(三の三)

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

十一面观音菩萨（三之三，梵文：Ekadasamuhka）

木雕・国家指定重要文化财产

这尊十一面观音菩萨站在象征佛法的莲花之上，从主头像衍生出的小头像表现了十一面观音菩萨会以各种方式来聆听、观察并满足众生的需求。

与大多数十一面观音像一样，此像的右手指向地面，结与愿印，代表愿望得以实现，左手则捧着插着莲花的宝瓶。这尊雕像高 3.03 米，是为了取代之前的造像于 1242 年重新雕刻的。观音的面容威严，姿态古朴，这在当时的雕刻作品中并不常见，很有可能保留了早期雕像的某些特征。这尊十一面观音像的主体采用了“寄木造”工艺，使用多块木材拼合而成。

<繁体字>

十一面觀音菩薩（三之三，梵文：Ekadasamuhka）

木雕・國家指定重要文化財產

這尊十一面觀音菩薩站在象徵佛法的層層蓮花之上，從主頭像衍生出的小頭像表現了十一面觀音菩薩會以各種方式聆聽、觀察和滿足眾生的需求。

這尊雕像是為了取代之前的造像於 1242 年重新雕刻的，高 3.03 公尺。觀音的面容威嚴，姿態古樸，這在當時的雕刻作品中並不常見，很有可能保留了早期雕像的某些特徵。這尊十一面觀音像的主體採用了「寄木造」工藝，使用多塊木材拼合而成。與大多數十一面觀音像一樣，此像的右手指向地面，結與願印，代表願望得以實現，左手則捧著插著蓮花的寶瓶。

<日本語仮訳>

十一面観世音菩薩(三の三) (サンスクリット語：Ekadasamuhka)

木造・国指定重要文化財

この十一面観音菩薩は、仏教の教えの象徴である蓮華の上に立っています。像の主体となる頭から派生する小さな頭は、十一面観音が耳を傾け、観察し、様々な方法で衆生の必要を満たすことを表現しています。

ほかの十一面観音像と同様に、この仏の右手は、願いを叶える与願印で地面を指しており、左手は花瓶の中に入った蓮を持っています。本像は高さ 303cm で、以前あった像に代わり、1242 年に新たに制作されました。やや厳しい顔つきや古風な姿は、当時制作された彫刻の中では一般的なものではなく、以前の古い像の面影をとどめている可能性があります。像は寄木造、すなわち彫像本体を形づくるために、いくつかの材を組み合わせる木材接合造形技法を用いて制作されました。

【タイトル】 吉祥天

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

吉祥天（梵文：Śrīmahādevī）

木雕・国家指定重要文化财产

吉祥天源自印度教女神拉克希米(Lakshmi)，被视为多子、幸福、财富、美丽和功德女神。自奈良时代(710-794)起，日本便开始普遍信仰吉祥天。

这尊吉祥天雕像身着刺绣长袍，佩戴头饰，是中国唐朝(618-907)宫廷女官的经典形象。吉祥天左手托着一颗如意宝珠，据说可以实现愿望、赐予财富，并保佑所有受苦受难的人。人们经常将吉祥天和另一位女神弁财天混淆，这颗宝珠为吉祥天独有，可以此辨别。雕像的原色痕迹如今依然清晰可见，这在 12 世纪前制作的雕像中实属罕见。此尊木雕高 2.15 米，是日本同期制作的吉祥天像中最大的一座。

<繁体字>

吉祥天（梵文：Śrīmahādevī）

木雕・國家指定重要文化財產

自奈良時代（710-794）起，日本便開始普遍信仰吉祥天。吉祥天源自印度教女神拉克希米（Lakshmi），被視為多子、幸福、財富、美麗和功德女神。

這尊吉祥天雕像身著刺繡長袍，佩戴頭飾，是中國唐朝（618-907）宮廷女官的經典形象。吉祥天左手托著一顆如意寶珠，據說可以實現願望、賜予財富，並保佑所有受苦受難的人。人們經常將吉祥天和另一位女神弁財天混淆，這顆寶珠為吉祥天獨有，可以此辨別。此尊木雕高 2.15 公尺，是日本在 12 世紀雕刻的吉祥天像中最大的一座。雕像的原色痕跡如今依然清晰可見，這在同期製作的雕塑中非常難得。

<日本語仮訳>

吉祥天（サンスクリット語：Śrīmahādevī）

木造・国指定重要文化財

吉祥天は豊穰、幸福、富、美、功德を司る女神で、ヒンドゥー教の女神ラクシュミーに由来します。吉祥天に対する日本の信仰は奈良時代（710-794）に広まっていた。

この吉祥天像は、刺繍の入った法服と頭飾りを着けた、中国唐時代（618-907）の美しい官女の典型的な姿で表現されています。左手は願いを叶え、富を与え、苦しむすべての人に恵みを与えると言われる如意宝珠を持っています。この如意宝珠によって、混同されることが多い女神・弁財天と区別します。この時代の彫刻としては珍しく元の色彩の痕跡がいまもはっきりと残っています。この木像は高さ 215cm で、12 世紀以前に作られた吉祥天像では日本最大です。

【タイトル】 舞楽面

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

舞乐面具

木雕・国家指定重要文化财产

飞鸟时代(592-710)，配戴面具的舞蹈表演从东亚（今中国大陆和朝鲜半岛）传入日本，在当时被称为“伎乐”。随着时间推移，伎乐不断融入音乐和宫廷舞蹈等要素，逐渐演变为一种为宫廷喜好的礼仪表演艺术，这就是“舞乐”。

公元7至8世纪，大宰府（今太宰府，12世纪以前的名称）是一大外交和文化交流中心，人们常为来访的政要显贵表演舞乐。这里展示了3个舞乐面具，一个是《兰陵王》中的面具，另两个则是《纳苏利》中的面具，均制作于13世纪。《兰陵王》《纳苏利》都是日本舞乐名曲，经常成对表演。

这些面具上的面部表情并非典型的日本设计，独特的长脸、高耸的鼻子和凸出的眼睛为舞乐表演增添了“国际”色彩。《兰陵王》面具顶端有一条展开双翼的龙，龙腿一直延伸到耳朵下方。

<繁体字>

舞樂面具

木雕・國家指定重要文化財產

飛鳥時代（592-710），戴面具的舞蹈表演從東亞（今中國大陸和朝鮮半島）傳入日本，當時被稱為「伎樂」。隨著時間推移，伎樂不斷融入音樂和宮廷舞蹈等要素，逐漸演變為一種受宮廷喜好的禮儀表演藝術，這就是「舞樂」。

西元7至8世紀，大宰府（今太宰府，12世紀以前的名稱）是一大外交和文化交流中心，人們常為來訪的政要顯貴表演舞樂。這裡展示了3個舞樂面具，一個是《蘭陵王》中的面具，另兩個是《納蘇利》中的面具，均製作於13世紀。《蘭陵王》、《納蘇利》都是日本舞樂名曲，經常成對表演。

這些面具的表情不同於傳統的日本風格，獨特的長臉、高聳的鼻子和凸出的眼睛為舞樂表演增添了「國際」色彩。《蘭陵王》面具頂端有一條展開雙翼的龍，龍腿一直延伸到耳朵下方。

<日本語仮訳>

舞楽面

木造・国指定重要文化財

飛鳥時代（592-710）に、東アジア（現代中国本土と朝鮮半島）から仮面舞踊が日本に紹介されました。これらの古代舞踏は、「伎楽」として知られていました。時間が経つにつれて、芸術形式は音楽と宮廷舞踊の要素と混ざり合い、舞楽に進化しました。舞楽は、宮廷が好むより風格のある儀式的なパフォーマンスです。

舞楽はまた、大宰府（現在の太宰府、12世紀までの旧名称）が外交と文化交流の一大中心地だった7～8世紀に、この地を訪れる要人のために演じられました。ここに展示されている3つの儀式用の舞楽面は13世紀に作られたもので、1つが陵王面、2つが納蘇利面です。「陵王」と「納蘇利」は対で舞う番舞で、舞楽の中では最も一般的な演目です。

これらの面の表情は、日本の意匠によく見られるものではありません。特徴的な長い顔、突出した鼻、膨れた目は、舞楽に「国際的な」特色を加えました。陵王面は翼を広げた竜が頭に乘っており、竜の脚が耳の下まで伸びています。

【タイトル】 梵鐘

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>**梵钟**

梵钟是日本各地佛教寺庙中常见的大型悬钟，用于召集僧侣祈祷和报时。这座梵钟铸造于公元7世纪末期，是日本现存同类梵钟里最古老的一座，被指定为国宝。

梵钟在佛教节日中发挥着重要作用，比如12月31日的除夕夜，僧侣们会用悬挂在绳索上的原木或木梁撞响大钟，人们云集于寺庙聆听钟声。钟体下部的唐草纹图案源自亚洲大陆，这种设计体现了大宰府（今太宰府，12世纪以前的名称）与海外源远流长的联系。

这座梵钟由青铜铸造，高160厘米，最宽处直径约86厘米。由于具有重要的历史和文化意义，它有时会在日本各地展出。

<繁体字>**梵鐘**

這座梵鐘鑄造於西元7世紀末期，是日本現存同類梵鐘之中最古老的一座，被指定為國寶。梵鐘用於召集僧侶祈禱和報時，是日本各地佛教寺廟中常見的大型懸鐘。

梵鐘在佛教節日中發揮重要作用，比如12月31日的除夕夜，僧侶們會用懸掛在繩索上的原木或木梁撞響大鐘，人們雲集到寺廟聆聽鐘聲。鐘體下部的唐草紋圖案源自亞洲大陸，這種設計體現了大宰府（今太宰府，12世紀以前的名稱）與海外源遠流長的聯繫。

這座梵鐘高160公分，最寬處直徑約86公分，由青銅鑄造。由於具有重要的歷史和文化意義，它有時會在日本各地展出。

<日本語仮訳>**梵鐘**

梵鐘は、日本各地の仏教寺院で見られる大型の釣鐘です。僧侶を祈祷のため招集するときや、日中の時を知らせるときに使われます。この梵鐘は7世紀末のもので、現存するこの種の鐘として日本最古のもので、国宝に指定されています。

梵鐘は仏教の祭礼において重要な役割を果たしており、年末には除夜の鐘の音を聞くために寺院に大勢の人が集まります。梵鐘は縄で吊るされた丸太や木の梁を使って打ちます。なお、裾をめぐる大陸様式の唐草モチーフは、大宰府（現在の太宰府、12世紀までの旧名称）と世界との長年の絆を示す一例です。

この梵鐘は青銅で鑄造されており、高さ 160cm、最大径は 86cm ほどです。非常に歴史的・文化的な重要性を持つものとして、日本各地で時々展示されています。

【タイトル】 大宰府展示館へようこそ

【想定媒体】 看板

<簡体字>

欢迎光临大宰府展示馆

太宰府在 12 世纪以前被称为“大宰府”，大宰府展示馆致力于向来访者传递大宰府的古老故事。

1300 年前，大宰府是九州行政中枢，同时也是一大政治、宗教和文化中心，更是日本通向世界之门。由于日本位于古代连接东西方的贸易路线“丝绸之路”的东端，流经大宰府的物资和文化培养了当时在日本确属罕见的国际主义、高素养以及学术性精神。

大宰府展示馆着重介绍太宰府的悠久历史。在这里，参观者可以学习当时人们如何利用本地区的自然地形进行防御，通过观赏如宫殿般精美的官署立体实景模型感受其独特的中国元素，了解人们穿着的颜色与他们的社会等级的关联，发现深受本地百姓喜爱的各种珍奇美食。除此之外，展厅一角的说明板介绍了持续至今的发掘工作，长期的考古调研，揭示了昔日大宰府的种种旧貌。

太宰府与 2019 年启用的日本新年号有着密切的联系，“令和”二字源于公元 8 世纪在大宰府举行的一场梅花宴，宴上所创诗集的序文中写道：于时初春令月，气淑风和。

请尽情享受古老的大宰府之旅吧！

<繁体字>

歡迎光臨大宰府展示館

太宰府在 12 世紀以前被稱為「大宰府」，本展示館主要介紹大宰府的古老故事。

1300 年前，大宰府是九州的行政中樞，同時也是一大政治、宗教和文化中心，更是日本通向世界之門。由於日本位於古代連接東西方的貿易路線「絲綢之路」的東端，流經大宰府的物資和文化培養了當時在日本確屬罕見的國際主義、高素養以及學術性精神。

大宰府展示館著重介紹太宰府的悠久歷史。在這裡，遊客可以看到當時人們是如何利用當地自然地形防禦；觀賞如宮殿般精美的官署立體實景模型，感受獨特的中國元素；了解人們衣著顏色與社會等級的關係；發現深受當地老百姓喜愛的各種珍奇美食。除此之外，展廳一角的說明板介紹了持續至今的發掘工作，長期的考古調查，揭示了昔日大宰府的種種舊貌。

太宰府與 2019 年啟用的日本新年號也有著密切關聯，「令和」二字源於西元 8 世紀在大宰府舉行的一場梅花宴，宴上所創詩集的序文中寫道：於時初春令月，氣淑風和。

請盡情享受古老的大宰府之旅吧！

<日本語仮訳>

大宰府展示館へようこそ

太宰府は 12 世紀まで「大宰府」と呼ばれていました。大宰府展示館は、大宰府について伝えることに力を注いでいます。

1,300 年前、大宰府は九州の行政の中心地であると同時に、政治、宗教、文化の一大拠点でした。また、外の世界への日本の出入り口でもあったのです。日本は、東西を結ぶ古代の通商路であるシルクロードの東の終点に位置していたため、大宰府を通して流れる文化や物資は、当時の日本ではまだ珍しかった、国際主義、高度な素養、学問の精神を育みました。

大宰府展示館は太宰府の豊かな歴史を伝えています。この地域の自然地形がどのようにして防衛目的に活用されたかをご覧ください。宮殿のような政庁の詳細なジオラマを見れば、中国の影響を感じることができます。また、人々が着ていた色とその階級と職業の関わりを見つけ、住民が楽しんでいた珍しい多様な料理について知ることができます。一方、パネル展示コーナーでは、古代の大宰府についてたくさんのお話を明らかにし、現在もなお継続している発掘調査に光を当てています。

太宰府は、2019 年から始まった日本の元号である「令和」と密接に関わっています。「令和」は 8 世紀に大宰府で行われた「梅花の宴」で作られた詩の序文「初春の令月にして、気淑く風和ぎ」に由来しています。

どうぞ、古代大宰府への旅をお楽しみください。

【タイトル】大宰府再現ジオラマ：自然防衛

【想定媒体】看板

<簡体字>

大宰府立体实景模型：自然防御

太宰府在 12 世纪以前被称为“大宰府”，公元 7 世纪至 12 世纪，大宰府是九州政治和文化中心。大宰府的选址充分利用了本地的地形特点，从这个立体实景模型可以看出，周围的山脉和地形巧妙地形成一个天然的瓶颈，为抵御入侵者提供了坚固的防线。

由于毗邻亚洲大陆，大宰府成为了重要的外交枢纽，它是外国使团进入博多湾后的第一个停靠港。不过，因大宰府临海，它也容易受到外国的攻击。

7 世纪的亚洲大陆政治动荡，663 年兵败于中国唐朝的日本对外防卫能力相当薄弱。于是，朝廷于 664 年下令修建“水城”，这道防御性城墙伴随着绵延超过 1.2 公里的护城河，可以阻挡来自今福岡市所在的沿海平原的潜在性攻击。为了进一步保卫城市，本地还修建了数处堡垒要塞，位于四王寺山顶的大野城就是其中之一。这些防御设施的遗迹至今依然可见。

当时大宰府的面积约为 2 平方公里，正方形的城市呈棋盘式布局，属古代东亚城市风格。来自九州各地的人们，包括高阶官僚、商人，甚至外国使节都频繁往来于此地。

12 世纪以后，城市景观慢慢发生了变化，但大宰府身为政治中心一直繁荣到了 14 世纪。

<繁体字>

大宰府立體實景模型：自然防禦

太宰府在 12 世紀以前被稱為「大宰府」，西元 7 世紀至 12 世紀，大宰府是九州政治和文化中心。從這個立體實景模型可以看出，大宰府的選址充分利用了本地的地形特點，周圍的山脈和地形巧妙地形成一個天然防線，可有效抵禦入侵者。

由於毗鄰亞洲大陸，大宰府是外國使團進入博多灣後的第一個停靠港，自然就成為了重要的外交樞紐。不過，因為臨海，它也容易受到來自國外的攻擊。

7 世紀的亞洲大陸政治動盪，663 年兵敗於中國唐朝的日本對外防衛能力相當薄弱。於是，政府於 664 年下令修建「水城」，這道防禦性城牆伴隨著綿延超過 1.2 公里的護城河，可以阻擋來自今福岡市所在的沿海平原的潛在性攻擊。為了進一步保衛城市，當地還修建了數處堡壘要塞，位於四王寺山頂的大野城就是其中之一，今天仍可以看到這些防禦工事的遺跡。

當時大宰府是一座正方形的城市，呈棋盤式布局，面積約 2 平方公里，屬古代東亞城市風格。來自九州各地的人們，包括高階官僚、商賈，甚至外國使節都頻繁往來於此。

12 世紀以後，城市景觀慢慢發生了變化，但作為政治中心的大宰府一直繁榮到了 14 世紀。

<日本語仮訳>

大宰府再現ジオラマ：自然防衛

大宰府は 12 世紀まで「大宰府」と呼ばれていました。大宰府は、7 世紀から 12 世紀のあいだ、九州における政治・文化の中心でした。街がおかれた場所は、この地域の地形的特性を活かせるように選ばれました。このジオラマは、周囲の山々や地形がいかにより自然の隘路として活用し、侵入しようとする者からしっかり防御していたかを見ることができます。

アジア本土に近いことから、大宰府は外交的な中心地となりました。この街は、博多湾に入港した外国使節団が最初に立ち寄る港でした。しかし、海から近いことで、この街は外国からの攻撃の影響を受けやすいことも事実でした。

7 世紀のアジア大陸では政治的に不安定な状況が続いており、さらに日本は 663 年に唐に敗れたため、海外の脅威に対してせい弱でした。そこで朝廷は 664 年に水城を建てることを命じたのです。水城は 1.2 キロ以上に伸びた壕を伴う防壁で、現在の福岡市が所在する海岸平野からの潜在的な攻撃を阻止する役割を果たしました。そして更なる防御のため、四王寺山の山頂に築かれた大野城をはじめ、複数の要塞が建てられましたが、これらの防御施設跡はいまでも確認できます。

大宰府の街の面積は約 2 平方キロメートルで、碁盤の目状に組み合わせた方形になっていました。これは古代東アジアの都市の特徴です。九州各地からここに集まった人々、高級官人、商人、そして外国の使節らが頻繁に往来していました。

12 世紀以降、街の姿は変化しましたが、街自体は、14 世紀まで政治的な中心地として大いに栄えました。

【タイトル】 大宰府政庁の模型

【想定媒体】 看板

<簡体字>

大宰府官署模型

这是再现了 8 世纪时大宰府官署的模型。12 世纪以前，太宰府被称为“大宰府”，当时丝绸之路贸易发达，大宰府与中国和亚洲大陆关系紧密。从建筑的美感和对称性等中国宫殿的特征中就可以看出，当时的官署深受中国影响。

这些建筑遵循中国风水学和古代哲学理论建造。正殿（行政大厅）坐北朝南，吸收阳气，行向上之运。而四王寺山山脚的地理位置则为其提供了自然防御屏障。

官署屋顶上覆盖着“鬼瓦”，这种瓦片类似中国古建筑的兽面瓦当，用以驱邪。这里展出的鬼瓦出土于大宰府，张开的大嘴和凸出的眼睛强调了恶鬼愤怒的表情。大厅内的地面和楼梯使用了装饰有花草图案的方形和三角形瓷砖。

官署遗址就在展厅外，虽然如今只剩下基石，但它曾经庞大而宏伟，与太宰府这座繁荣的国际大都市相得益彰。

<繁体字>

大宰府官署模型

這是再現了 8 世紀時大宰府官署的模型。12 世紀以前，太宰府被稱為「大宰府」，當時絲綢之路貿易發達，大宰府與中國和亞洲大陸聯繫緊密。從建築的美感和對稱性等中國宮殿的特徵中就可以看出，當時的官署深受中國影響。

這些建築遵循中國風水學和古代哲學理論建造。正殿（行政大廳）坐北朝南，吸收陽氣，行向上之運。四王寺山山腳的地理位置則提供了自然防禦屏障。

官署屋頂上覆蓋著「鬼瓦」，用以驅邪，與中國古建築的獸面瓦當相似。這裡展出的鬼瓦出土於大宰府，張開的大嘴和凸出的眼睛強調了惡鬼憤怒的表情。大廳內的地面和樓梯使用了裝飾有花草圖案的方形和三角形瓷磚。

官署遺址就在展廳外，它曾經龐大而宏偉，與太宰府這座繁華的國際大都市相得益彰，可惜如今只剩下了基石。

<日本語仮訳>

大宰府政庁の模型

これは8世紀大宰府政庁の模型である。太宰府は12世紀まで「大宰府」と呼ばれていました。当時、シルクロード貿易が行われ、中国やアジア大陸との強い絆がありました。中国の宮殿によく見られる特徴である建築の美しさとその左右対称性などに、同国の影響が見られます。

建物は中国の哲学理論と風水に従って建築されました。正殿は南向きに建てられ、陽の気ををもたらす、四王寺山の麓に立地することから、自然の地形を生かした防御も備えていました。

政庁の建物の屋根は、中国古代建築の獣面文瓦当と同様に、悪霊を脅して追い払うために、鬼瓦を使用しています。展示されている鬼瓦は、大宰府で発掘されたもので、その開いた口と飛び出した目は、鬼の憤怒相を際立たせています。建物内部の床や階段には、花や植物の柄で飾られた四角や三角のタイルが使用されました。

政庁施設がかつて立っていた場所は、展示館を出たすぐ外にあります。いまは礎石のみが残っていますが、かつては、大変栄えた国際都市・太宰府にふさわしい広大で堂々とした施設でした。

【タイトル】 太宰府の色と位階

【想定媒体】 看板

<簡体字>

大宰府的颜色与等级制度

在古代日本，颜色具有强烈的象征意义。政府官员须根据他们的官阶穿着特定颜色的衣服。如展示中的仿真人物一样，地方最高长官“帅”穿浅紫色官服，而其他官员也依照自己的身份地位穿着某种颜色。当时等级极其重要，和穿着指定颜色的权利一样，等级决定了在官僚机构中从事特定工作的资格。直到今天，我们仍然可以在日本的神社中看到这种等级制度的痕迹，比如在附近的太宰府天满宫和灶门神社，不同等级的神官就身穿不同颜色的衣服。

腰带也具有重要意义。展柜左侧的华丽腰带与低级官员佩戴的朴素腰带形成了鲜明对比。不过遗憾的是，这些腰带都系在衣服里面，并不显眼。

这些扁平的木片叫“木简”，它用途多样，比如可记录课税货物的信息。木简也很环保，当不再需要上面的信息时，只要用锋利的小刀削去表面的文字就能重复利用。在那个纸张昂贵且稀缺的年代，这种做法颇有价值。

在展品的中央，可以看到一枚砚台和一块墨条复制品，船形墨条是将松木烟灰和熬制的动物胶揉在一起制成。当时的文人墨客可能就是使用这样的书写工具来记录《万叶集》中的一些和歌（日本传统的诗歌形式）。《万叶集》是一部具有重要文化价值的和歌选集，书中和歌来自日本各地，其中也有一些是在大宰府（今太宰府，12世纪以前的名称）创作的诗歌。

<繁体字>

大宰府的颜色与等级制度

在古代日本，政府官員根據他們的官階穿著特定顏色的衣服，顏色具有強烈的象徵意義。如同展示中的模擬人物一樣，地方最高長官「帥」穿淺紫色官服，而其他官員也依照自己的身份地位穿著某種顏色。當時等級極其重要，和穿著指定顏色的權利一樣，等級決定了在官僚機構中從事特定工作的資格。直到今天，我們仍然可以在日本的神社中看到這種等級制度的痕跡，比如在附近的太宰府天滿宮和灶門神社，不同等級的神官就身穿不同顏色的衣服。

腰帶也具有重要意義。展櫃左側的華麗腰帶與職等較低的官員佩戴的樸素腰帶形成了鮮明對比。不過遺憾的是，這些腰帶都係在衣服裡面，並不顯眼。

這些扁平的木片是「木簡」，有多種用途，例如用來記錄課稅貨物的資訊。木簡也很環保，當不再需要上面的資訊時，只要用鋒利的小刀削去表面的文字就能重複利用。在紙張昂貴且稀缺的年代，這種做法頗有價值。

在展品的中央，可以看到一枚硯臺和一塊墨條的複製品。這塊船形墨是把松木煙灰和熬製的動物膠揉在一起製成的。當時的文人墨客可能就使用這樣的書寫工具來記錄《萬葉集》中的一些和歌（日本傳統的詩歌形式）。《萬葉集》是一部具有重要文化價值的和歌選集，書中和歌來自日本各地，其中也有一些是在大宰府（今太宰府，12世紀以前的名稱）創作的詩歌。

<日本語仮訳>

大宰府の色と位階

古代の日本では、色は大変象徴的なものでした。役人たちは、位階に基づいて特定の色を身に着けました。帥（長官）は、展示されている人形のように薄紫色を身にまとっていました。ほかの役人たちも身分と地位に基づいた特定の色の上着を身に着けていました。位階はとても重要視され、指定された色を身に着ける権利と同じく、官僚制度の中での特定の仕事への就任資格を規定したものです。今日もなお、日本国内の神社ではこの位階制度の名残りが窺えます。近くの太宰府天満宮や竈門神社でも、神官は地位に応じた特定の色の上着を着ています。

帯も意味が込められています。展示ケースの左側にある装飾帯は、地位の低い役人が身に着けていた地味な帯とは、恐らく対照的だったでしょう。皮肉にも、こうした帯は衣服の下に身に着けていたため、見えませんでした。

平らな木板は木簡です。木簡は、課税品に関する情報を記録するなど、様々な用途に使用されていたものです。木簡もまた、環境に配慮したものです。不要になったときは、文字の書かれた板の表面を鋭いナイフで薄く削り落とせば、再利用できます。紙が高価で希少な物品であった当時、これは価値あることでした。

展示の中央には、硯と墨の復元品があります。この舟形の墨は松の煤を膠と一緒に練り合わせて仕立てられました。当時の書き手は、『万葉集』に見られる日本の伝統的な詩「和歌」の一部を記録するため、このような文具を使用した可能性があります。『万葉集』は文化的に重要な和歌の大選集であり、日本中から集められ、大宰府（現在の太宰府、12世紀までの旧名称）で読まれた和歌も含まれています。

【タイトル】 大宰府の食文化

【想定媒体】 看板

<簡体字>

大宰府的饮食文化

“木简”，是了解公元 8 世纪时大宰府（今太宰府，12 世纪以前的名称）饮食文化的宝贵依据。从大宰府和日本古都奈良出土的木简上所刻信息，可以深入了解当时人们的消费内容。

在 730 年初的那场“梅花宴”上，可能就有与这里的展示相类似的菜肴。左侧是为高阶官员准备的丰富宴席，右侧则是为低阶人群提供的较为简单的饭菜。

为重要贵宾准备的菜单包括野鸡干、鲑鱼干、香鱼寿司、清酒蒸鲍鱼、各类时令腌菜、鲷鱼和鱿鱼等生鱼片，以及“草饼”（用糯米和艾叶制成的传统春季甜食）。如今，日本餐厅仍提供类似定食。

在宴席场景的立体实景模型中，可以看到一些客人举着酒杯。与现在樱花时节的赏樱宴会一样，日本清酒在席间扮演着重要角色，甚至还能激发人们创作和歌（日本传统的诗歌形式）的灵感。

<繁体字>

大宰府的飲食文化

「木簡」，是了解西元 8 世紀的大宰府（今太宰府，12 世紀以前的名稱）飲食文化的寶貴依據，從大宰府和日本古都奈良出土的木簡上所刻的資訊，可以深入了解當時人們的消費內容。

在 730 年初的那場「梅花宴」上，可能就有與這裡的展示相類似的菜餚。左側是為高階官員準備的豐富宴席，右側則是為低階人群提供的簡單飯菜。

為重要貴賓準備的菜單包括野雞乾和鮭魚乾、香魚壽司、清酒蒸鮑魚、各類時令醃菜、鯛魚和魷魚等生魚片，以及「草餅」（一種用糯米和艾葉製成的傳統春季甜食）。直到現在，日本餐廳仍提供類似定食。

在宴席場景的立體實景模型中，一些客人舉著酒杯。和現在櫻花時節的賞櫻宴會一樣，日本清酒在席間扮演著重要角色，甚至還能激發人們創作和歌（日本傳統的詩歌形式）的靈感。

<日本語仮訳>

大宰府の食文化

木簡は、8世紀の大宰府（現在の太宰府、12世紀までの旧名称）の食文化について、価値ある識見を与えてくれます。大宰府や、古代の都である奈良で発掘された木簡に書かれた情報をもとに、当時消費されたものについて窺い知ることが可能です。

ここに展示されている料理に似たものが、恐らく730年はじめの「梅花の宴」で出されました。高官たちは、左側の上等で多彩なご馳走が提供され、右側のより質素な食事は下級の参加者に提供されました。

最重要な来賓のメニューには雉と鮭の干物、鮎の寿司、鮑の酒蒸し、多種多様な香の物、鯛や烏賊などの刺身、また草餅（もち米とヨモギの葉で作った伝統的な春の甘味）などが含まれます。現在でも、日本の食堂で似たような定食が提供されています。

宴のジオラマでは、数人の参加者が酒盃を挙げている姿を見られます。今日の桜の開花を祝う花見の宴と同様に、酒は宴のかなめです。そしておそらく日本の伝統的な詩「和歌」を詠む参加者の創造性をかきたてる手助けとなったことでしょう。

【タイトル】 8 世紀の大宰府のジオラマ

【想定媒体】 看板

<簡体字>

公元 8 世纪的大宰府立体实景模型

公元 8 世纪时大宰府（今太宰府，12 世纪以前的名称）十分繁荣，这个立体实景模型再现了当时紧凑的规划布局。大宰府的字面意思是“传达天皇命令的伟大官衙”，意味着它是重要的对外贸易枢纽、军事要塞和政府行政中枢。然而，大宰府并非只局限于政治层面，它在日本文化和宗教方面也发挥着重要作用。

模型的最右端是观世音寺，这个庞大的建筑群是当时九州首屈一指的佛寺。这里曾有一座雄伟的五层佛塔，但后来与其他众多建筑一起毁于自然灾害。如今寺内只剩下一些重建的殿阁。

与寺庙毗邻的一所学校为来自九州北部的男孩提供教育，学生们毕业后都留在九州，成为本地政府官员。

大宰府官署位于四王寺山山脚下，它得益于山体的天然防御性，并被由防御墙和护城河组成的“水城”保护。官署是一组宏伟的朱红色宫殿式建筑群，以平城京（今奈良）的宫廷与殿宇为蓝本。立体实景模型展示了 8 世纪时大宰府的格局，但持续至今的发掘工作，依然不断地在这座古都的规模和悠久历史方面为我们带来新的发现。

<繁体字>

西元 8 世紀的大宰府立體實景模型

這個立體實景模型再現了西元 8 世紀時大宰府（今太宰府，12 世紀以前的名稱）的布局結構，緊湊而繁榮。大宰府的字面意思是「傳達天皇命令的偉大官衙」，意味著它是重要的對外貿易樞紐、軍事要塞和政府行政中樞。然而，大宰府並非只專注政治，它在日本文化和宗教方面也發揮著重要作用。

模型的最右端這片龐大的建築群，名為觀世音寺，是當時九州首屈一指的佛寺。這裡曾有一座雄偉的五層佛塔，但後來與其他許多建築一起毀於自然災害。如今寺內只剩下一些重建的殿閣。

與寺廟毗鄰的一所學校為來自九州北部的男孩提供教育，學生們畢業後都留在九州，成為當地政府官員。

大宰府官署位於四王寺山山腳下，它得益於山體的天然防禦性，並被由防禦牆和護城河組成的「水城」保護。官署是一組宏偉的朱紅色宮殿式建築群，以平城京（今奈良）的

宮廷與殿宇為藍圖。立體實景模型展示了 8 世紀時大宰府的布局結構，但持續至今的發掘工作，依然不斷在這座古都的規模和悠久歷史方面為我們帶來新的發現。

<日本語仮訳>

8 世紀の大宰府のジオラマ

このジオラマは、コンパクトながらも栄えた大宰府（現在の太宰府、12 世紀までの旧名称）の街が、8 世紀にはどのように区画されていたかを再現しています。大宰府は文字通りに訳すと「天皇の意思を伝える偉大な役所」です。この街は極めて重要な外国交易の中心地であり、軍事の拠点、政治行政の中心でした。しかし、大宰府は政治のみにあっていたわけではなく、日本の文化と宗教においても重要な役割を果たしました。

ジオラマの一番右側には、巨大な複合施設で九州の主要な仏教寺院であった頃の観世音寺があります。かつては立派な五重塔が境内に立っていましたが、自然災害により、ほかの多くの建物と同じく壊れてしまい、いまでは再建築した僅かな建物しか残っていません。

お寺に隣接する学校では、九州北部から集まった男子を教育していました。この生徒たちは、九州に留まり、官人になっていきました。

政庁は四王寺山の麓に位置し、山の自然防御や、防御用の壁と壕からなる水城に護られています。政庁は、朱色の建造物群からなる宮殿施設であり、今日の奈良にあった平城京の宮廷と宮殿をモデルにしています。このジオラマは 8 世紀の大宰府の規模を伝えるものですが、現在も行われている発掘調査は、この古代都市の規模や歴史について、さらに明らかにしています。

【タイトル】 古代大宰府の発掘

【想定媒体】 看板

<簡体字>

古代大宰府の发掘

大宰府（今太宰府，12 世纪以前的名称）不仅是举足轻重的行政和外交中心，由于跟亚洲大陆的文化联系也十分密切，所以它还是新思想和文化发展的交流中心。然而，随着 12 世纪国家控制权落入武士和大名（大领主）手中，这座城市的影响力逐渐式微。考古学家在过去 50 年的发掘中，逐渐明确了古代大宰府的规模。挖掘的现场和航拍照片，更是将昔日大宰府的城市设计和布局清晰地展示在人们面前。

遗址发掘结束后，遗存被填平并用草覆盖进行保护，同时打上标记以表明地下埋藏物。这种发掘后的处理方式既保护了自然景观，又彰显了本地历史。也有一些遗存特意不予复原裸露在外，例如这条排水沟，其历史可以追溯到公元 8 世纪早期，大宰府展示馆的外墙就是围绕着它修建的。

中央的大石块是建筑物支柱的础石，它并非出土于此，很可能是在附近发现后被移动到这里展示。

展示馆与本地社区密切合作，鼓励本地居民参与志愿者项目，帮助保护并宣传太宰府丰富的遗产及其在日本历史上所起到的重大作用。

<繁体字>

古代大宰府の發掘

大宰府（今太宰府，12 世紀以前的名稱）不僅是舉足輕重的行政和外交中心，由於它和亞洲大陸的文化聯繫十分密切，所以也是新思想和文化發展的交流中心。然而，隨著 12 世紀國家控制權落入武士和大名（大領主）手中，這座城市的影響力逐漸式微。考古學家在過去 50 年的發掘中，逐漸明確了古代大宰府的規模。挖掘的現場和航拍照片，更是將昔日大宰府的城市設計和布局結構清晰地展示在人們面前。

遺址發掘結束後，遺存被填平並用草覆蓋進行保護，同時打上標記以表明地下埋藏物。這種發掘後的處理方式既保護了自然景觀，又彰顯了在地歷史。有一些考古發現被特地保留並顯露出來以供展示，例如這條排水溝，其歷史可以追溯到西元 8 世紀早期，大宰府展示館的外牆就是圍繞著它修建的。

中央的大石塊是建築物支柱的礎石，它並非出土於此，很可能是在附近發現後被移動到這裡展示。

博物館與本地社區密切合作，鼓勵本地居民參與志工活動，幫助保護並宣傳太宰府豐富的人文遺產，及其在日本歷史上扮演的重要角色。

<日本語仮訳>

古代大宰府の発掘

大宰府（現在の太宰府、12世紀までの旧名称）はかつて、行政および外交の非常に重要な中心地でした。この地域はアジア大陸との文化的なつながりが強く、新しい思想や文化的発展の拠点でした。ところが、12世紀になると、国内の支配権が武士や大名の手に落ちたため、この街の影響力は弱まっていきました。過去50年間の発掘調査を通じて、古代太宰府の規模が明らかになってきました。考古学の発掘現場や航空写真を見ることで、大宰府のかつての設計や構成がより明確にわかります。

発掘調査した後は、遺構を守るために埋め戻し、草で覆いますが、地下にあるものを示すため表示がなされます。この発掘調査後の過程には、自然景観の保全と、この場所の歴史に光を当てるといふ、二つの役割があります。出土物の一部は、この排水溝のように、意図的に見える形で残されています。この溝は、8世紀初めに遡るものと思われ、原位置に保存されています。大宰府展示館の壁は、その周りに建てられています。

なお、中央の大きな岩は建物の柱を支えた礎石です。これは、ここで出土したものではなく、恐らく近くで見つかったものを移動して展示しています。

この展示館は、地域社会と密接に協力し、活動しています。そして、太宰府の豊かな遺産や日本の歴史における太宰府の役割などの情報を保存して広める手助けとなるためのボランティアプロジェクトに、地域住民に参加してもらっています。

【タイトル】 梅花の宴

【想定媒体】 看板

<簡体字>

梅花宴

这一处立体实景模型，展现了公元 730 年在大宰府（今太宰府，12 世纪以前的名称）最高长官——大伴旅人（665-731；身着紫衣者）将军官邸举行的“梅花宴”。这些在当时十分珍稀的梅花树来自中国，政府官员们聚集在树下食饌饮酒，即兴赋诗。

公元 7 世纪至 12 世纪是大宰府历史上的黄金时代。由于大宰府毗邻亚洲大陆，与其他王国交往频繁，大宰府的官员们对外国文化拥有深度的理解力和极高的鉴赏力。他们不仅擅长外交和军事，还同样精通诗词歌赋。参加梅花宴的人都能即兴吟歌作诗，并且取材广泛，从梅花、天气到宴会气氛，可谓包罗万象。宴会上的官方记录员则将他们创作吟诵的和歌（日本传统的诗歌形式）逐一记录存档。

模型中的精美博多人偶陶器采用福岡传统工艺烧制。如果仔细观察，还能看到酒杯中和来宾头发上的梅花。请留意官员们身着不同颜色的服装，这表明了他们的身份。

这次聚会在日本文化中具有深远的意义。《万叶集》（成书于 8 世纪、现存最古老的日本诗集）中收录了 32 首在此次宴会上创作的和歌。当今的日本政府和历史学家正是从书中这些和歌序言里的汉字中受到启发，将最新的年号命名为“令和”(2019-)。

<繁体字>

梅花宴

這一處立體實景模型，展現了西元 730 年在大宰府（今太宰府，12 世紀以前的名稱）最高長官——大伴旅人（665-731；身著紫衣者）將軍官邸舉行的「梅花宴」。這些梅花樹自中國引進，在當時十分珍貴，政府官員們聚在樹下食饌飲酒，即興賦詩。

西元 7 世紀至 12 世紀是大宰府歷史上的黃金時代。由於毗鄰亞洲大陸，與其他王國交往頻繁，大宰府的官員們不僅擅長外交和軍事，還同樣精通詩詞歌賦，對外國文化也有深度的理解和極高的鑒賞力。參加梅花宴的人都不但能即興吟歌作詩，並且創作題材廣泛，從梅花、天氣到宴會氣氛，可謂包羅萬象。宴會上的官方記錄員則將他們創作的和歌（日本傳統的詩歌形式）逐一記錄存檔。

模型中的精美的博多人偶陶器，採用福岡傳統工藝燒製。如果仔細觀察，還能看到酒杯中和來賓頭髮上的梅花。請留意官員們身著不同顏色的服裝，這表明了他們的身份。

這次聚會在日本文化中具有深遠的意義。《萬葉集》（成書於 8 世紀、現存最古老的日本詩集）中收錄了 32 首在此次宴會上創作的和歌。當今的日本政府和歷史學家正是從

《萬葉集》中這些和歌序言裡的漢字中受到啟發，將最新的年號命名為「令和」（2019-）。

<日本語仮訳>

梅花の宴

このジオラマは 730 年に大宰府（現在の太宰府、12 世紀までの旧名称）の長官・将軍である大伴旅人（665-731、紫色の衣を着用）の公邸で催された「梅花の宴」を再現したものです。中国唐朝から招来し、当時は大変珍しい梅の木の下に、官人たちは集まり、飲食し、互いに即興で日本伝統的な詩「和歌」を詠みました。

7 世紀から 12 世紀は、大宰府の歴史における黄金期でした。当時の大宰府の役人らは、この街がアジア大陸に近く、諸王朝と頻繁に交流していたことから、外国の文化に対する深い理解と認識を持っていました。彼らは外交や武芸に熟練していましたが、また堪能な歌人でもありました。梅花の宴の参加者は、各自の技能を使って、梅の開花や天候、宴の雰囲気などを主題に即興で和歌を詠んだのでしょう。公式の記録者が、参加者が吟じた和歌を記録しました。

ジオラマのなかの博多人形は、とても素晴らしい福岡オリジナルの陶器です。近くで見ると、盃の中や参加者の髪の中に梅の花が見えます。官人たちは彼らの地位を示した異なる色の衣服を身に着けていることに注目してください。

この宴は日本文化にとって深い意味を持っています。『万葉集』（現存する最古の日本歌集、8 世紀）には、この宴で詠まれた 32 首の和歌が残されています。令和（2019-）という元号は、現在の日本政府や歴史家が、『万葉集』のこれらの和歌の序文に書かれた漢字に着想を得て、名付けられました。

【タイトル】 令和－時代の始まり

【想定媒体】 看板

<簡体字>

令和——新时代的开始

在日本，每当新天皇继位时就会诞生一个新年号，标志着一个新时代的开启。令和时代始于 2019 年 5 月，而这个年号便源自一场著名的“梅花宴”，立体实景模型展示了当时的场景。宴会上创作的 32 首和歌（日本传统的诗歌形式）以及一篇描述性的序言都收录在《万叶集》（诞生于 8 世纪、现存最古老的日本诗集）之中。年号的汉字“令”“和”均取自序言。“令”的意思有些含糊，通常指命令，也有美好之意，但在《万叶集》中，它的意思更接近吉祥。“和”的意思则很明确，表示宁静或和谐。这篇序言从这句开始：

于时初春令月，气淑风和……
(初春の令月にして、気淑く風和ぎ……)

毫无疑问，这一句不仅描写梅花盛开的景致，也表现了作者眼中当时生机盎然的现实社会风貌。更重要的是，这首诗创作于大宰府（今太宰府，12 世纪以前的名称）这个以欢迎外来文化而闻名的地区。“令和”二字的含义为日本社会及其未来提供了积极视角，暗示着乐观主义、强大的国际关系、全球化和欣然接受不同文化的精神。

<繁体字>

令和——新時代的開始

在日本，新天皇繼位時會誕生一個新年號，這標誌著進入了一個新時代。始於 2019 年 5 月的令和時代，其年號便是源自一場著名的「梅花宴」，立體實景模型就展示了當時的場景。宴會上創作的 32 首和歌（日本傳統的詩歌形式）以及一篇描述性的序言都收錄在《萬葉集》（誕生於 8 世紀、現存最古老的日本詩集）之中。年號的漢字「令」、「和」均取自序言。「令」的意思有些含糊，通常指命令，也有美好之意，但在《萬葉集》中，它的意思更接近吉祥。「和」的意思則很明確，表示寧靜或和諧。這篇序言從這句開始：

於時初春令月，氣淑風和……
(初春の令月にして、気淑く風和ぎ……)

這一句不僅描寫梅花盛開的景致，也表現了作者眼中當時生機盎然的現實社會風貌。更重要的是，這首詩創作於大宰府（今太宰府，12 世紀以前的名稱）這個以歡迎外來文化

而聞名的地方。「令和」二字の含義為日本社會及其未來提供了積極視角，暗示著樂觀主義、強大的國際關係、全球化和欣然接受不同文化的精神。

<日本語仮訳>

令和 – 時代の始まり

日本では、天皇が即位するたびに、新しい時代（元号）が誕生します。令和時代は 2019 年 5 月に始まりましたが、その名前の由来は、このジオラマで描写された有名な「梅花の宴」にあります。この宴で詠まれた 32 首の和歌とその序文が、『万葉集』（現存する日本最古の歌集で 8 世紀のもの）に収録されていました。元号名をつくる 2 つの漢字「令」と「和」は、その序文から採られました。1 文字目の「令」の意味合いはやや曖昧です。通常、「指揮」または「命令」を意味しますが、一方で、「美しい」または「良い」の意味もあります。『万葉集』の該当する箇所では、「めでたい」という意味合いにより近いと言えます。2 文字目の「和」の意味は明確で、「静けさ」または「調和」です。この詩は、次のように始まります。

初春の令月にして、気淑く風和ぎ・・・
（春のはじまりの良い（令）月である。
空気は澄み、やさしい風は吹いている。）

間違いなく、この一節は、梅花の開花だけでなく、序文の作者が目にした当時の社会の活気あふれる感じを捉えようとしています。これらの詩は、外国の文化を歓迎することで知られる、大宰府（現在の太宰府、12 世紀までの旧名称）で創作されたことの意味も大きいでしょう。それは「令和」の文字に込められたニュアンスは、楽観的な思潮と、強い国際関係、グローバル化、そして異文化に対する敬意をほのめかす日本社会とその将来を前向きに捉えるものです。

【タイトル】 学問、文化・芸術の聖地、太宰府天満宮へようこそ

【想定媒体】 看板

<簡体字>

欢迎来到太宰府天満宮：学問、文化和艺术的圣地

菅原道真(845-903)是平安时代(794-1185)的学者和极具影响力的政治家，他在日本的历史和文化中留下了深刻的烙印。菅原道真去世后被尊为天神供奉在太宰府天満宮，他是学問、文化和艺术之神，与文学和书法密切相关，每年都有超过 1000 万的来访者前来参拜。

神社内矗立着 6000 多棵梅树，均为纪念深爱早春梅花的菅原道真而植。通往本殿（正殿）的三座桥分别代表过去、现在和未来，而“心字池”则代表了心灵或精神。

太宰府天満宮是日本最重要的神社之一，也是全日本 12,000 座天神社的总本宮。

<繁体字>

歡迎來到太宰府天満宮：學問、文化和藝術的聖地

菅原道真（845-903）是平安時代（794-1185）的學者和極具影響力的政治家，他在日本的歷史和文化中留下了深刻的烙印。菅原道真去世後被尊為天神供奉在太宰府天満宮，他是學問、文化和藝術之神，與文學和書法密切相關，每年都有超過 1000 萬遊客前來參拜。

神社內矗立著 6000 多棵梅樹，都是為了紀念深愛早春梅花的菅原道真所種植的。通往本殿（正殿）的三座橋分別代表過去、現在和未來，而「心字池」則代表了心靈或精神。

太宰府天満宮是全日本 12,000 座天神社的總本宮，也是日本最重要的神社之一。

<日本語仮訳>

学問、文化・芸術の聖地、太宰府天満宮へようこそ

菅原道真（845-903）は、平安時代（794-1185）の学者、そして影響力のある政治家で、日本の歴史・文化に深い足跡を残しました。道真は死後、太宰府天満宮に学問・文化・芸能の神である天神様として祀られます。毎年 1,000 万人以上の参拝者がここを訪れ、文学や書道とゆかりの深い道真をお参りします。

境内には6,000本以上の梅の木が、早春の梅の開花を愛した道真を偲ぶため植えられています。本殿に向かう3本の橋は、過去、現在、未来を表しており、心字池は心や精神を意味する「心」という漢字のような形をしています。

太宰府天満宮は、日本で最も重要な神社の一つで、全国12,000の天神社の総本宮です。

【タイトル】 何の意味もないが本当に輝くもの

【想定媒体】 看板

<簡体字>

《闪闪发光，却毫无意义》(Really shiny stuff that doesn't mean anything)

人类总是被闪闪发光的東西所吸引。英国艺术家瑞安·甘德(Ryan Gander,1976-)通过他的装置作品《闪闪发光，却毫无意义》探索了这种根本性的魅力。这个巨大的金属球由数以千计的微小、有磁性、闪闪发光且用途不明的物品组成，似乎在质疑人们对闪亮物品的深层欲望。捆绑这些物体的磁力是无形的，但如果没有它的束缚力，作品就会在顷刻间分崩离析。这种无形力量的概念正如太宰府天满宫的信仰和信念，完美融入周边环境里。

<繁体字>

《閃閃發光，卻毫無意義》(Really shiny stuff that doesn't mean anything)

英國藝術家瑞安·甘德 (Ryan Gander,1976-) 藉由裝置作品《閃閃發光，卻毫無意義》，探索了一種根本性的魅力：人類總是被閃閃發光的東西所吸引。這個巨大的金屬球由數以千計的微小、有磁性、閃閃發光且用途不明的物體組成，似乎在質疑人們對閃亮物品的深層欲望。無形的磁力捆綁住這些物體，如果沒有它的束縛力，作品就會在頃刻間分崩離析。這種無形力量的概念一如太宰府天滿宮的信仰和信念，與周邊環境相得益彰。

<日本語仮訳>

何の意味もないが本当に輝くもの (Really shiny stuff that doesn't mean anything)

人はいつも輝くものに惹かれてきました。イギリスの芸術家ライアン・ガンダー氏 (1976-) は、彼のインスタレーション、『何の意味もないが本当に輝くもの』を通じて、この本質的な魅力を探求しています。この巨大な金属の球は、使い道の不明瞭な何千もの磁気を帯びたきらめく物体で構成されています。ガンダー氏の作品は、人々を光り輝く物体へと駆り立てる根深い欲求への疑問を投げかけているようです。ここで物体をつなぎとめている磁気は見えませんが、その結合力がなければこの塊はばらばらになるでしょう。この見えないものの力という考えは、信仰と信念という太宰府天満宮に溶け込んでいる

【タイトル】 すべては学ばれる IV

【想定媒体】 看板

<簡体字>

《万物皆学问 IV》(Everything is Learned IV)

这件作品名为《万物皆学问 IV》，英国艺术家瑞安·甘德(Ryan Gander,1976-)以法国艺术家奥古斯特·罗丹(1840-1917)的著名雕塑作品《思想者》为基础，探索了一种叙事方式。我们看到的是“思想者”坐过的石头。他已经离开了现场，但他曾经来过。岩石上的凹痕表明，他曾坐在这里深思了一段时间。但他长时间沉思背后的动机是什么？他的思考是否得出了令人满意的结论？又是什么让他起身离开？“讲故事”是贯穿甘德作品的一个共同主题，通过这件作品，他再次引导我们对周遭世界提出疑问。

<繁体字>

《萬物皆學問 IV》(Everything is Learned IV)

這件作品名為《萬物皆學問 IV》，英國藝術家瑞安·甘德（Ryan Gander,1976-）以法國藝術家奧古斯特·羅丹（1840-1917）的著名雕塑作品《沉思者》為基礎，探索了一種敘事方式。我們看到的是「沉思者」坐過的石頭，他已經離開了現場，但他曾經來過。岩石上的凹痕表明，他曾坐在這裡沉思了一段時間，但他長時間沉思背後的動機是什麼？他的思考是否得出了令人滿意的結論？又是什麼讓他起身離開？甘德作品貫穿了一個共同主題：「講故事」，藉由這件作品，他再次引導我們對周遭世界提出疑問。

<日本語仮訳>

すべては学ばれる IV (Everything is Learned IV)

ライアン・ガンダー氏（1976-）はこの作品を通してオーギュスト・ロダン（1840-1917）の有名な彫刻「考える人」に基づく物語の世界を探求しています。私たちが見ているのは、「考える人」が座っていた石です。彼はその場を去りましたが、彼の存在の証拠は残っています。石の凹みは、彼がしばらく考え込んで座っていたことを示しています。しかし、彼の考えの背後にある動機は一体何だったのでしょうか？彼の考えは満足な結論に至ったのでしょうか？そして、何が彼を立ち上がらせ、行かせたのでしょうか？物語はガンダー氏の作品を貫く共通のテーマであり、この作品でもまた、彼は私たちの周りの世界に疑問を促しています。

【タイトル】 仮想空間

【想定媒体】 看板

<簡体字>

《元宇宙》(Metaverse)

英国艺术家瑞安·甘德(Ryan Gander,1976-)通过这尊 16 羽天堂鸟雕像，提出了关于事实与虚构的本质的问题。附带的文字作品为我们讲述了一个错综复杂的虚构故事，主人公是现实生活中的莫里斯·埃格顿(1874-1958)，即第四任埃格顿男爵。这位狂热的探险家从新几内亚探险归来，宣布他发现了一种罕见的天堂鸟。他还向英国女王报告了自己的发现，报纸也对这一消息大肆报道。通过这个关于男爵的杜撰故事，甘德审视了事实与虚构之间经常模糊的边界，并含蓄地提出了一个问题：是否一切永远都必须真实？

<繁体字>

《元宇宙》(Metaverse)

英國藝術家瑞安·甘德（Ryan Gander,1976-）藉由這尊 16 羽天堂鳥雕像，提出了關於事實與虛構的本質的問題。附帶的文字作品為我們講述了一個錯綜複雜的虛構故事：主人公是現實世界中的人物——第四任埃格頓男爵莫里斯·埃格頓（1874-1958），這位狂熱的探險家從新幾內亞探險歸來後，宣布自己發現了一種罕見的天堂鳥。他還向英國女王報告此事，報紙也對這一消息大肆報導。藉由這個關於男爵的杜撰故事，甘德審視了事實與虛構之間經常模糊的邊界，並含蓄地提出了一個問題：是否一切永遠都必須真實？

<日本語仮訳>

仮想空間 (Metaverse)

この『16 枚の羽毛がついた極楽鳥』の像は事実と虚構の本質についての疑問を投げかけます。ライアン・ガンダー氏（1976-）は、実在のモーリス・エガートン、第四男爵エガートン（1874-1958）を巻き込んだ架空の複雑な物語を表現します。物語では、熱心な探検家エガートンがニューギニア遠征から帰ってきて、珍しい極楽鳥を発見したと発表します。彼はその発見をイギリスの女王に披露し、新聞はそれを大々的に報道しました。ガンダー氏は、この男爵に関する作り話を通して、事実と虚構との間のしばしば曖昧となる一線を考え、暗に、完全に真実であることが常に必要かどうかを求めています。

【タイトル】 呼吸する空気のように

【想定媒体】 看板

<簡体字>

《正如我们呼吸的空气》(Like the air we breathe)

英国艺术家瑞安·甘德(Ryan Gander, 1976-)通过这件作品让我们思考，生命中最珍贵的东西是否真的可见。在神道教中，神明以多种形式显现，比如瀑布、树木、岩石和动物等等。虽然这些形态本身并不“珍贵”，但它们代表了人们信仰神明的本质。在这根木柱下埋藏着一个时间胶囊，里面装满了太宰府天满宫旁边一所幼儿园的75名儿童捐赠的“珍贵”物品。这些物品被装在密封的容器中并埋入地下，唯一能证明它们存在的就是这根木柱，上面刻着代表每件物品的图形记号。

<繁体字>

《正如我們呼吸的空氣》(Like the air we breathe)

英國藝術家瑞安·甘德(Ryan Gander, 1976-)藉由這件作品啟發我們思考，生命中最珍貴的東西是否是真的可見。在神道教中，神明以多種形式顯現，比如瀑布、樹木、岩石和動物等等。雖然這些形態本身並不「珍貴」，但它們代表了人們信仰神明的本質。在這根木柱下埋藏著一顆時光膠囊，裡面裝滿了太宰府天滿宮旁邊一所幼稚園的75個兒童捐贈的「珍貴」物品。這些物品被裝在密封的容器中並埋入地下，唯一能證明它們存在的就是這根木柱，上面刻著代表每件物品的圖形記號。

<日本語仮訳>

呼吸する空気のように (Like the air we breathe)

ライアン・ガンダー氏(1976-)は、この作品を通して、人生で最も大切なものが実際に目に見えるかどうかを考えてほしいと言います。神道では、神は、滝、木、岩、動物など様々な形で顕現します。これらの形態そのものは「大切な」ものではありませんが、それにもかかわらず、人々の神への信仰心の本質を表しています。この木の柱の下に埋められたものは、太宰府天満宮に隣接する幼稚園の園児75名から寄贈された「大切な」ものが詰まったタイムカプセルです。密閉された容器に入れられ、地中に埋められました。それらが存在する唯一の証拠は、一つひとつの物のピクトグラムが刻まれたこの木の柱です。

【タイトル】 歴史の問題

【想定媒体】 看板

<簡体字>

《历史问题》(The Problem of History)

这把不起眼的白色花园椅看似无人爱护、无人问津，但在作者藤原西芒(Simon Fujiwara, 1982-)的世界里，它却是一座战争幸存者的纪念碑。虽然看起来这把椅子像是塑料制品，但实际上却是由青铜制成。二战期间，金属需求量很大，许多神社的青铜雕塑被熔化后制成武器。这把椅子能否避免那些战时雕塑的命运呢？也许周边的树枝会把它吊起来，移至触手不可及之处。又或许把它当作“日常用品”隐藏起来，就能免受未来的摧残。不过又有谁会知道，1000年后的“日常用品”究竟意味着什么呢？

<繁体字>

《歷史問題》(The Problem of History)

這把白色花園椅似乎一點也不起眼，無人愛護、無人問津，但在作者藤原西芒(Simon Fujiwara, 1982-)的世界裡，它卻是一座戰爭倖存者的紀念碑。雖然看起來這把椅子像是塑膠製品，但實際上卻是由青銅製成。二戰期間金屬需求量很大，許多神社的青銅雕塑被熔化後製成武器。這把椅子能否避免那些戰時雕塑的命運呢？也許周邊的樹枝會把它吊起來，移至觸手不可及的地方。又或許把它當作「日常用品」隱藏起來，就能免受未來的摧殘。不過人們又怎麼能知道，1000年以後，所謂「日常用品」究竟意味著什麼呢？

<日本語仮訳>

歴史の問題 (The Problem of History)

この控えめな白いガーデンチェアは、愛されずに放置されているように見えるかもしれませんが、サイモン・フジワラ(1982-)の作品では、これは戦争の生存者の記念碑として立っています。一見プラスチックのように見えるこの椅子は、実際は青銅製です。第二次世界大戦中は金属の需要が高く、多くの神社の青銅の彫刻が溶かされて武器になりました。この椅子はかつての戦時の彫刻の運命を避けることができるのでしょうか？もしかしたら、木の枝が介入して、手の届かないところまで持ち上げてしまうかもしれません。また「日用品」として地味に隠すことができれば、将来的な破壊から守られるかもしれません。しかし実際のところ、「日用品」は1,000年後に一体何を意味するのでしょうか？

【タイトル】 時間の問題

【想定媒体】 看板

<簡体字>

《時間問題》(The Problem of Time)

随着世纪更迭，艺术品的创作材料都会逐渐老化。不仅“传统”画布作品如此，数千年前我们祖先创作的原始手绘也一样。这种老化显而易见，也让我们具像地感知时间的流逝。在这件作品中，藤原西芒(Simon Fujiwara, 1982-)在一块人造岩石上勾勒出当地幼儿园孩子的手印。这块石头原本放置在神社露天的“绘马堂”（绘马是日本神社或寺院中许愿用的木制小牌子）里，那里还有几幅因年代久远而褪色的绘画作品。随着时间的推移，手印上使用的水性颜料也会因暴露在自然环境中而褪色磨损。不过具有讽刺意味的是，人造岩石应该相对保持不变，这就引发了我们对永恒本质的思考。

<繁体字>

《時間問題》(The Problem of Time)

隨著時光流逝，藝術品的創作材料一定會逐漸老化。「傳統」畫布作品如此，數千年前我們祖先創作的原始手繪也一樣，都無法逃脫這種規律。這樣的老化顯而易見，也讓我們能更具體感受到時間的流逝。在這件作品中，藤原西芒（Simon Fujiwara, 1982-）在一塊人造岩石上勾勒出當地幼稚園孩子的手印。這塊石頭原本放置在神社露天的「繪馬堂」（繪馬是日本神社或寺院中許願用的木製小牌子）裡，那裡還有幾幅因年代久遠而褪色的繪畫作品。隨著時間推移，手印上使用的水性顏料也會因為暴露在自然環境中而褪色磨損。不過具有諷刺意味的是，人造岩石應該相對保持不變，這就引發了我們對永恆本質的思考。

<日本語仮訳>

時間の問題 (The Problem of Time)

何世紀もの時が過ぎるにつれて、芸術作品を作るのに使用された物質も劣化し始めます。これは、「伝統的な」キャンバスを基にした作品だけでなく、何千年も前に私たちの祖先によって作られた原始的な手描きの絵にも当てはまります。この劣化は一目瞭然であり、時間の経過を具体的に証明します。この作品のために、サイモン・フジワラ氏（1982-）は人工の岩の上に地元の幼稚園児の手形の輪郭を描きました。この岩は、もともとこの神社屋外の「絵馬堂」（絵馬とは、日本の社寺に祈願の目的で奉納する絵が描かれた木製の板のこと）に安置されていましたが、そこには時代とともに色あせた絵

画の例がいくつかあります。時間の経過とともに、手形に使用された水性塗料は、同じように成分の露出によって色あせてくることでしょう。皮肉なことに、人工の岩は比較的変わらず残るかもしれませんが、それはまた持続性の本質についての考えを促すこととなります。

【タイトル】 信仰の問題

【想定媒体】 看板

<簡体字>

《信仰問題》(The Problem of Faith)

随着人类不断找到更新、更复杂的方法来操纵自然世界，科学（可验证的知识）世界和信仰（精神信念）世界之间的分裂和脱节也日趋明显。藤原西芒(Simon Fujiwara, 1982-) 在其作品《信仰问题》中探索了这种对立。他将一块看起来是天然的岩石与一根人造拐杖结合起来，创造了一场关于“什么是真实、什么是虚假”的对话。作品将一块混凝土浇筑的空心岩石置于自然环境中，并在岩石中插入一个拐杖，两者并置，显得格格不入。这根拐杖似乎巧妙地暗示了信仰或宗教力量的支持。未来，这件艺术品是否也会成为信仰的对象？

<繁体字>

《信仰問題》(The Problem of Faith)

隨著人類不斷找到更新、更複雜的方法來操縱自然世界，科學（可驗證的知識）世界和信仰（精神信念）世界之間的分裂和脫節於是日趨明顯。藤原西芒（Simon Fujiwara, 1982-）在作品《信仰問題》中探索了這種對立：他將一塊看起來是天然的岩石與一根人造拐杖結合起來，創造了一場關於「什麼是真實、什麼是虛假」的對話。作品將一塊混凝土澆鑄的空心岩石置於自然環境中，並在岩石中插入一個拐杖，兩者並置，顯得格格不入。這根拐杖似乎巧妙地暗示了信仰或宗教力量的支持。未來，這件藝術品是否也會成為信仰的對象？

<日本語仮訳>

信仰の問題 (The Problem of Faith)

人類が自然界を操るための新しく、より複雑な方法を発見し続けるにつれて、科学（検証可能な知識）の世界と信仰（精神的信念）の世界との間の分裂と断絶がますます明らかになっています。サイモン・フジワラ氏（1982-）は、何が真実で何が真実でないかについての対話を生むために、自然のように見える岩と人の手によって造られた松葉杖を組み合わせ、この二律背反の関係性を探求しています。この作品は、自然環境の中に置かれた空洞のコンクリートでつくった岩に、松葉杖が挿入され、あえて不調和に並置されています。松葉杖は、信仰や宗教によって提供された支援をさりげなく仄めかしているようです。この工芸品も、将来、信仰の対象になるのでしょうか？

【タイトル】 ソトタマシイ

【想定媒体】 看板

<簡体字>**Exomind**

法国艺术家皮埃尔·于热(Pierre Huyghe,1962-)通过作品《Exomind》创造了一个极具象征意义的微宇宙，引发了人们对人造世界与自然世界之间互动关系的讨论。作品中所有生命实体和无生命物体都具有象征意义或罕见的遗传特征。于热所打造的生态系统中央是一具头部覆盖着一个蜂巢盒的女子雕像。鲜活的蜜蜂群为神社内一株嫁接了著名的“飞梅”枝条的梅树授粉。池塘里栖息着一对墨西哥蝶螈，它们一生都保留着蝌蚪般的鳍。生态系统中还有与位于吉维尼的克劳德·莫奈池塘内的品种杂交的睡莲、一些昆虫、一只花斑猫和一棵柳橙树。

<繁体字>**Exomind**

法國藝術家皮埃爾·雨格 (Pierre Huyghe,1962-)藉由作品《Exomind》創造了一個極具象徵意義的微宇宙，引發了人們討論人造世界與自然世界之間的互動關係。作品中所有生命實體和無生命物體都具有象徵意義或罕見的遺傳特徵。雨格所打造的生態系統中央是一具頭部覆蓋著一個蜂巢盒的女子雕塑。鮮活的蜜蜂群為神社內一株嫁接了著名的「飛梅」枝條的梅樹授粉。池塘裡則棲息著一對墨西哥蝶螈，牠們一生都保留著蝌蚪般的鰭。生態系統中還有與位於吉維尼的克勞德·莫內池塘內的品種雜交的睡蓮、一些昆蟲、一隻花斑貓和一棵柳橙樹。

<日本語仮訳>**ソトタマシイ (Exomind)**

フランス人芸術家のピエール・ユイグ氏（1962- ）は、『ソトタマシイ』を通じて、人間が作った世界と自然界の相互作用について議論を呼び起こす、非常に象徴的な微小宇宙を作り出しました。この作品に登場する生物や無生物はすべて象徴的な意味あるいは珍しい遺伝的特徴を有しています。中央には蜂の巣箱が頭を覆う女性の彫像があります。生きたミツバチの群体は、神社境内にある有名な「飛梅」の穂木を接ぎ木した梅の木の花に授粉します。一生を通じてオタマジャクシのようなヒレを保持する一对のアホロートル（メキシコのサンショウウオ）が池に生息しています。ユイグが作ったエコシス

テムには、ジベルニーにあるクロード・モネの池から交雑した睡蓮、昆虫、三毛猫、またオレンジの木もあります。

【タイトル】 天神信仰縁起

【想定媒体】 パネル

<簡体字>

天神信仰の起源

菅原道真(845-903)是平安时代(794-1185)重要的宫廷学者、历史学家、诗人和政治家。他位列日本朝廷第二高官，女儿则是宇多天皇(867-931)的妃子。但宇多天皇让位于儿子醍醐天皇(885-930)后，菅原道真便失去了重要的后盾。因与权倾整个平安时代的藤原家族对抗，菅原道真被诬告密谋反对年轻的醍醐天皇，遂被剥夺品级和头衔，下放到太宰府（今太宰府，12世纪以前的名称）任职。

尽管遭受挫折，菅原道真却并不记恨加害他的人。被贬两年后，菅原道真去世，他至死都保持了高风亮节。菅原道真坚强正直的性格，让他在逆境中依然坚定不移，因此受到许多人的爱戴。在菅原道真辞世后，当权者追复了他的官职和头衔。随后，人们修建了太宰府天满宫和其他神社，将他尊为掌管学问、文化和艺术的“天神”祭拜。

天神信仰演变的部分故事被描绘成了彩绘卷轴，这里展出了卷轴中的一些场面。其中一个标志性的场景是：一头拉菅原道真灵车的牛躺在地上一动不动，于是信徒认为这代表了菅原道真的遗愿，遂将其遗体安葬于此。

<繁体字>

天神信仰的起源

菅原道真（845-903），平安時代（794-1185）重要的宮廷學者、歷史學家、詩人和政治家。他位列日本朝廷第二高官，女兒則是宇多天皇（867-931）的妃子。但宇多天皇讓位於兒子醍醐天皇（885-930）後，菅原道真便失去了重要後盾。與權傾整個平安時代的藤原家族對抗後，菅原道真被誣告密謀反對年輕的醍醐天皇，還因此被剝奪了品級和頭銜，下放到太宰府（今太宰府，12世紀以前的名稱）任職。

儘管遭受挫折，菅原道真卻並不記恨加害他的人。被貶兩年後，菅原道真去世，他至死都保持了高風亮節。堅強正直的人格特質，使他在逆境中依然堅定不移，因此受到許多人的愛戴。在菅原道真辭世後，朝廷追封了他的官職和頭銜。隨後，人們修建了太宰府天滿宮和其他神社，將他奉為掌管學問、文化和藝術的「天神」。

天神信仰演變的部分故事被描繪成彩繪卷軸，這裡展出了卷軸中的一些場面。其中一個經典場景是：一頭拉菅原道真靈車的牛躺在地上一動不動，信徒認為這代表了菅原道真的遺願，遂將其遺體安葬於此。

<日本語仮訳>

天神縁起

菅原道真（845-903）は、平安時代（794-1185）の高名な宮廷学者、歴史家、歌人、政治家です。彼は朝廷の中で二番目の高位に昇進し、娘が宇多天皇（867-931）の妃になるのを見届けました。しかし、天皇が息子の醍醐天皇（885-930）に譲位すると、彼は重要な後ろ盾を失うことになります。道真は、平安時代を通して影の権力者であった手ごわい藤原氏との対立の後、幼い醍醐天皇に対して陰謀を企てたという偽りの告発をされ、位階や称号が剥奪され、大宰府（現在の太宰府、12世紀までの旧名称）の役職に左遷されました。

この挫折にもかかわらず、道真は加害者に悪意を抱かず、左遷から2年後に亡くなるまで高潔な人生を送りました。逆境に直面した中での誠実さを通して強さを見出した道真は、世間に広く称賛され、政権は、彼の位階や称号を復活させました。その後、人々は太宰府天満宮とその他の社を建て、学問・文化・芸術の神である天神として道真を祀りました。

天神信仰の進化の物語の一部は絵巻物に描かれています。この絵巻物からいくつかの場面がここに展示されており、中には、天神の亡骸を運ぶ葬送車を引く牛が横たわり、動くことを拒むという象徴的な場面も含まれています。道真の信者たちは、これを道真がここで休みたいと望んでいると解釈し、彼の亡骸をここに埋葬しました。

【タイトル】 太宰府天満宮と安楽寺

【想定媒体】 パネル

<簡体字>

太宰府天満宮和安楽寺

太宰府天満宮是全日本 12,000 多座天神社の总本宮，这里供奉着掌管学问、文化和艺术的“天神”——菅原道真(845-903)。据传，在他辞世后，拉着灵车的牛在途中突然躺下死活不肯移动，其追随便就地将他安葬，后来此处成为了供奉菅原道真的神社。

随着时间的推移，菅原道真陵墓及其周围环境逐渐发生了变化，从最初的佛教安楽寺发展成了今天属于神道教的太宰府天満宮建筑群。尽管日本全国有数以千计的神社供奉菅原道真，但太宰府天満宮才是他真正的长眠之地。

在这里可以看到有关安楽寺的现存文献（1555 年），于神社内出土的刻有“安楽寺”字样的瓦片也证实了文献记载。太宰府天満宮迄今还保留了一些佛教特色，例如由三座小桥组成的太鼓桥就反映了佛教“三世一念”的思想，第一座拱桥代表过去，中间的平桥代表现在，第二座拱桥代表未来。

<繁体字>

太宰府天満宮和安楽寺

太宰府天満宮供奉著掌管學問、文化和藝術的「天神」——菅原道真（845-903），這裡也是全日本 12,000 多座天神社的總本宮。菅原道真辭世後，為其拉靈車的牛在途中突然躺下死活不肯移動，追隨者便就地將他安葬，後來此地便成為供奉菅原道真的神社。

隨著時光流逝，菅原道真陵墓及其周遭環境逐漸發生了變化，從最初的佛教安楽寺發展成了今天屬於神道教的太宰府天満宮建築群。儘管日本全國有數以千計的神社供奉菅原道真，但太宰府天満宮才是他真正的長眠之地。

在這裡可以看到提及安楽寺的現存文獻（1555 年），於神社內出土的刻有「安楽寺」字樣的瓦片也證實了文獻記載。太宰府天満宮也保留了一些佛教特色，比如由三座小橋組成的太鼓橋就反映了佛教「三世一念」的思想，第一座拱橋代表過去，中間的平橋代表現在，第二座拱橋代表未來。

<日本語仮訳>

太宰府天満宮と安楽寺

太宰府天満宮は、菅原道真（845-903）を祀る 12,000 以上の天神社の総本宮です。道真は天神として神格化され、学問・文化・芸術の神として信仰されています。道真の死後、彼の亡骸を運ぶ葬送車を引く牛は、道に横たわり動くことを拒みました。道真の従者はその場所に道真を埋葬し、その場所がやがて道真を祀る神社になりました。

道真の墓とその周辺は、時間とともに変わり、安楽寺という仏教寺院から現在の神道を信仰する場である太宰府天満宮の施設へと発展しています。道真を祀る神社は全国に何千と存在するものの、太宰府天満宮こそが道真の安息の地です。

ここでは、安楽寺に言及する現存する文書を見ることができます。この文書は 1555 年のものです。境内で出土した瓦の一部には「安楽寺」の文字が刻まれており、この文書を裏付けるものとなっています。太宰府天満宮には、いくつかの仏教的な特徴を残しており、例えば太鼓橋。太鼓橋は 3 つの要素から成っており、「三世一念」という仏教思想に基づき、最初のアーチ形の橋が過去を、平らな橋が現在を、2 つ目のアーチ形の橋が未来を表わしています。

【タイトル】 代々の太宰府天満宮

【想定媒体】 パネル

<簡体字>

历代太宰府天満宮

公元 905 年，为了追悼老师菅原道真(845-903)，味酒安行为其创建了第一座纪念设施，这也成为了太宰府天満宮的起源。千年以来，火灾、战争、自然灾害和大规模翻修，渐渐改变了太宰府天満宮的外观和规模。

各种绘画和地图记载了神社建筑群千年来的变化。现存最古老的神社布局草图绘制于 1498 年之后不久，它参考了一本出自 1294 年的文献并准确标示出了其中提及的所有设施。地图 10 被指定为国家重要文化财产，绘制于 17 世纪末期，展示了神社全域。

这里展出的绘画是江户时代(1603-1867)的作品，图中描绘了神社内的一座九重塔和一座五重塔，这在其他画作中从未出现。现在的本殿（正殿）建于 1591 年，是安土桃山时代(1568-1603)建筑的杰出典范。它华丽多彩的风格，与室町时代(1336-1573)素雅稳重的建筑色调大相径庭。

<繁体字>

歷代太宰府天満宮

西元 905 年，為了紀念老師菅原道真（845-903），味酒安行創建了成為太宰府天満宮起源的第一座設施。千年以來，火災、戰爭、自然災害和大規模翻修，漸漸改變了太宰府天満宮的外觀和規模。

各種繪畫和地圖記載了神社建築群千年來的變化。現存最古老的神社布局草圖繪製於 1498 年之後不久，它參考了一本出自 1294 年的文獻並準確標示出了其中提及的所有設施。地圖 10 被指定為國家重要文化財產，繪製於 17 世紀末期，展示了神社全域。

這裡展出的繪畫中描繪了神社內的一座九重塔和一座五重塔，這在其他畫作中從未出現，此為江戶時代（1603-1867）作品。現存的本殿（正殿）建於 1591 年，是安土桃山時代（1568-1603）建築的傑出典範。其華麗多彩的風格，與室町時代（1336-1573）素雅穩重的建築色調有顯著差別。

<日本語仮訳>

代々の太宰府天満宮

味酒安行は師の菅原道真（845-903）を讃えるため、905年に太宰府天満宮のはじまりとなる施設を創建しました。それから何世紀にもわたって、火災や戦争、自然災害および大規模な改修などにより、太宰府天満宮の形と規模は変化してきました。

様々な絵画や地図が、何世紀にもわたる神社の変遷を年代順に記録しています。社殿の配置を示す現存する最古のスケッチは1498年より少し後のものですが、1294年の文書に記載されたすべての建物が正確に描かれています。国の重要文化財である地図10は17世紀末のもので、神社の境内の概要を示しています。

ここにある絵画は、江戸時代（1603-1867）のもので、これはほかの記録には見られない境内にある九重塔と五重塔を示しています。現在の本殿は1591年に建てられたもので、安土桃山時代（1568-1603）の建築の好事例です。華麗で色彩豊かであり、室町時代（1336-1573）の落ち着いた色調からは大きな変化を表しています。

【タイトル】 天神信仰

【想定媒体】 パネル

<簡体字>

天神信仰

菅原道真(845-903)在贬官大宰府（今太宰府，12世纪以前的名称）期间去世，但其精神至今不灭。他辞世后被奉为掌管学问、文化和艺术的天神，吸引了大批信众，特别是普通百姓，他们通过卷轴、绘画和雕塑对菅原道真产生了信仰。

“天神”菅原道真被描绘成截然不同的多种形象。一些作品保持了历史人物菅原道真端坐着的学者原型；另一些却将他刻画得面目狰狞，这可能是由于早期人们认为菅原道真死后发生的自然灾害皆是他幻化的神灵“天神”所为；其他一些形象则根据当时社会的流行风格进行了修改。随着禅宗概念的广泛传播，菅原道真的形象又有了变化。在一幅插图中，他头戴中国传统头冠，身着袈裟，手持盛开的梅花枝。

千年以来，天神信仰不断传播，信徒也随之越来越多，如今全日本有 12,000 多座天神社，而太宰府天满宫就是它们的总本宫。

<繁体字>

天神信仰

菅原道真（845-903）在貶官大宰府（今太宰府，12世紀以前的名稱）期間去世，但其精神至今不滅。他辭世後被奉為掌管學問、文化和藝術的天神，吸引了大批信徒，特別是普通百姓，他們藉由卷軸、繪畫和雕塑對菅原道真產生了信仰。

「天神」菅原道真被描繪成截然不同的多種形象。一些作品保持了歷史人物菅原道真端坐著的學者原型；另一些就顯得面目猙獰，可能是因為早期人們認為菅原道真死後發生的自然災害皆是他幻化的神靈「天神」所為；其他一些形象則根據當時社會的流行風格進行了修改。隨著禪宗概念的廣泛傳播，菅原道真的形象又發生了相應的變化。在一幅插圖中，他頭戴中國傳統頭冠，身著袈裟，手持盛開的梅花枝。

千年以來，天神信仰不斷傳播，信徒也隨之越來越多，如今全日本有 12,000 多座天神社，而太宰府天滿宮就是它們的總本宮。

<日本語仮訳>

天神信仰

菅原道真（845-904）は大宰府（現在の太宰府、12世紀までの旧名称）に左遷されて亡くなりましたが、その魂はいまも生きています。道真は死後、天神として神格化され、学問・文化・芸術の神として信仰されており、とりわけ一般の人々は絵巻物や絵画、彫刻を通じて道真の教えを学び、かなり多くの信者を集めました。

天神としての道真の描写は様々です。学者の座にあった道真の容姿に近いものや、死後に起こった天災はおそらく彼の神霊である天神の仕業であろうという初期の考えからか、恐ろしい顔つきをしたものもあります。ほかの姿は当時の流行様式に合わせて調整されています。禅がより広まりはじめると、道真の姿も変化しました。道真が中国の伝統的な頭巾と衣を身にまとい、花咲く梅の枝を搦んでいる様子が描かれた絵もあります。

天神信仰は何世紀にもわたって広まり続け、現在全国に12,000を超える天神宮があり、その総本宮が太宰府天満宮です。

【タイトル】 連歌

【想定媒体】 パネル

<簡体字>**连歌**

“连歌”是从日本传统诗歌“和歌”衍生的连句诗歌形式，由两位或多位诗人合作完成。这种形式兴盛于 14 世纪至 19 世纪，在日本宫廷和受过教育的精英阶层中尤为流行。

连歌的主题包括自然、季节、爱情和其他情感。传统上，第一位诗人首先采用 5-7-5 音节创作三行诗，再由下一位诗人以各 7 个音节的两行诗作答，之后不断轮流重复，每个人都在前一首诗句的基础上创作，既要确保作品中的连续性，又要体现诗人的机智和博学。

在太宰府天满宫，连歌被用来祭祀“天神”菅原道真(845-903)。据神社的历史学家所说，有一个故事中提到，天神会在梦中向诗人“传达”连歌的首句。即兴创作的连歌不仅仅表现了诗人的聪明才智，更被视为一种宗教活动，连歌作品都会被记录下来供后人瞻仰。

这里展示的是一卷出自 1598 年的《梦想之连歌》，装饰着梅树图案的文稿来自 1382 年举办的千句连歌诗会。

<繁体字>**連歌**

盛行於 14 世紀至 19 世紀的「連歌」，是從日本傳統詩歌「和歌」衍生而來的連句詩歌形式，由兩位或多位詩人合作完成，在日本宮廷和受過教育的精英階層中尤為流行。

連歌的主題包括自然、季節、愛情和其他情感。傳統上，第一位詩人首先採用 5-7-5 音節創作三行詩，再由下一位詩人以各 7 個音節的兩行詩作答，之後不斷輪流重複。每個人都在前一首詩句的基礎上創作，這當中不但要確保作品中的連續性，還要展現詩人的機智和博學。

在太宰府天滿宮，連歌被用來祭祀「天神」菅原道真（845-903）。據神社歷史學家講述，說有一則故事中提到，天神會在夢中向詩人「傳達」連歌的首句。即興創作的連歌不僅僅表現了詩人的聰明才智，更被視為一種宗教活動，作品都會被記錄下來供後人瞻仰。

這裡展示的是一卷出自 1598 年的《夢想之連歌》，裝飾著梅樹圖案的文稿來自 1382 年舉辦的千句連歌詩會。

<日本語仮訳>**連歌**

連歌は、和歌から派生した、句を結びつける形式の詩です。通常、2人以上の人が読みつないで展開します。14世紀から19世紀の間に栄えたこの形式は、特に宮廷社会と教養のある上流階級の間で人気がありました。

連歌は、自然や季節、愛、その他の感情などが主なテーマとされています。伝統にしたがって、最初に詠む人は5-7-5の音数律を持つ3行の句を作ります。これを受けて、次に詠む人は、7音数律の2行からなる句を詠み答えます。これが繰り返され、各人はもっぱら前句の上に読み重ね、作品が展開していき、継続的な連鎖が確保されます。このように、連歌はとりわけ、機知と学識の才が重んじられました。

太宰府天満宮では、菅原道真（845-903）の神格である天神を祀るために連歌が用いられました。神社の歴史学者たちは、天神は歌人に連歌の最初の句を夢の中で「告げる」という物語があるといます。即興の連歌の創作は、単に機知と知性を示すだけでなく、宗教行為とも考えられ、作品は後世に記録として書き残されました。

1598年に書かれた「夢想之連歌」という巻物が、ここに展示されています。梅の木の絵で装飾された本文は、1382年に開催した「千句連歌」会で詠まれたものです。

【タイトル】 大名からの進物

【想定媒体】 パネル

<簡体字>

来自大名的供品

被尊为“天神”的菅原道真(845-903)获得了从平民到贵族等社会各阶层的广泛支持。贵族阶级供奉的珍宝，现于太宰府天满宫宝物殿中展出，这些供品见证了他们虔诚的信仰。高阶官员经常向天神供奉祭品，有些为了表达感激之情，有些则是为了战争或其他事业祈求好运。

日本的许多大名（大领主）都会前往太宰府天满宫祈求战事胜利。从 10 世纪至 19 世纪后半期明治政府恢复中央集权之前，这些大名统治着大片领地。

太宰府天满宫宝物殿里陈列的供品中，包括一套来自 16 世纪强大的织田家族的盔甲，头盔上的角象征着水牛。福岡藩第一代藩主黑田长政(1568-1623)进献了一把带有紫藤家纹的刀。并非所有供奉的宝物都与战争有关，大内家族就奉上了精美的漆碗，他们在 14 世纪至 16 世纪统治着本州最西部，还曾不时占领九州北部的部分地区。

<繁体字>

来自大名的供品

被尊為「天神」的菅原道真（845-903）受到從平民到貴族等社會各階層的廣泛愛戴。貴族階級供奉的珍寶現在在太宰府天滿宮寶物殿中展出，這些供品見證了他們的虔誠信仰。高官經常向天神供奉祭品，或為了表達感激之情，或為了戰爭或其他事業祈求好運。

從 10 世紀至 19 世紀後半期明治政府恢復中央集權之前，日本的大名（大領主）統治著大片領地，許多大名也會前往太宰府天滿宮祈求戰事勝利。

太宰府天滿宮寶物殿裡陳列的供品中，包括一套來自 16 世紀強大的織田家的盔甲，頭盔上的角象徵著水牛。福岡藩第一代藩主黑田長政（1568-1623）進獻了一把帶有紫藤家紋的刀。但也不是所有供奉的寶物都與戰爭有關，14 世紀至 16 世紀統治本州最西部、還不時佔領九州北部的部分地區的大內家，就奉上了精美的漆碗。

<日本語仮訳>

大名からの進物

天神様として神格化された菅原道真は、庶民から貴族まですべての社会階層において幅広い支持を集めました。貴族階級は天神様への信仰を伝える奉納品が、太宰府天満宮の宝物殿には展示

されています。当時、高官たちが天神様に奉納することは、ごく一般的なことでした。これらの奉納品の中には感謝の気持ちを表すためのものもあれば、戦いやその他の活動での幸運を願うものもありました。

日本の大名（大領主）の多くは、戦場での勝利を祈願するために太宰府天満宮を訪れていました。彼らは、明治政府による中央集権体制に戻るまでの間、10世紀から19世紀後半にかけて、広大な領地を持っていました。

太宰府天満宮の宝物殿に展示されている進物には、16世紀の有力な大名一族である織田家の鎧もあり、その兜の角は水牛を象徴しています。福岡藩の初代藩主、黒田長政（1568-1623）は、黒田家独自の藤の家紋が入った刀を寄進しました。寄進された宝物のすべてが戦争に関するものではありません。例えば、14世紀から16世紀まで本州の西端と、時々北九州の一部を治めていた大名大内家は非常に美しい漆器を奉納しました。

【タイトル】 太宰府天満宮と幕末

【想定媒体】 パネル

<簡体字>

太宰府天満宮和幕末时期

德川幕府在 1603 年至 1867 年间统治日本。1868 年明治维新后，建立了以新登基的明治天皇(1852-1912)为核心的中央集权政府，日本的政治体制发生了翻天覆地的变化。

德川幕府时代的最后几年被称为“幕末”，其特点是极端的政治变革。大量外国人涌入，他们带来了未知的新方式和新发明，而致命的派系斗争则使支持幕府的封建守旧派（拥幕派）与支持政治改革和天皇势力的阵营（倒幕派）针锋相对。

在明治维新之前，曾经颇为强大的“公家”（对天皇、朝廷和公卿贵族的称呼，相对幕府的“武家”而言）贵族遭到拥幕派的追捕。他们居住在 794 年建立的平安京（今京都），并在随后数世纪中一直对日本社会和政治具有影响力。德川幕府末期，7 名位居高阶官位的公家贵族被逐出京都，其中 5 人逃亡至太宰府。1865 年至 1867 年间，他们在太宰府天満宮的延寿王院内避难，并在那里共商国事，为新政治体制打下了基础。因此，太宰府天満宮也是引发日本历史上最重要事件“明治维新”的一大舞台。

三条实美(1837-1891)是五人小组的成员之一，他后来担任日本内务大臣，并在 1889 年出任临时首相。这里展示的是三条实美供奉于太宰府天満宮的物品：一顶头盔、一把军扇和一副印有家纹的马鞍。

<繁体字>

太宰府天満宮和幕末時期

德川幕府在 1603 年至 1867 年間統治日本。1868 年明治維新後，建立了以新登基的明治天皇（1852-1912）為核心的中央集權政府，日本的政治體制發生了翻天覆地的變化。

德川幕府時代的最後幾年經歷了極端的政治變革，該時期被稱為「幕末」。大量外國人湧入，他們帶來了未知的新方式和新發明，而致命的派系鬥爭則使支持幕府的封建守舊派（擁幕派）與支持政治改革和天皇勢力的陣營（倒幕派）針鋒相對。

在明治維新之前，曾經頗為強大的「公家」（對天皇、朝廷和公卿貴族的稱呼，相對幕府的「武家」而言）貴族遭到忠於幕府派的追捕。他們居住在 794 年建立的平安京（今京都），並在之後的數百年中一直對日本社會和政治有影響力。德川幕府末期，7 名位居高階官位的公家貴族被逐出京都，其中 5 人逃亡至太宰府。1865 年至 1867 年間，他們在太宰府天満宮的延壽王院內避難，並在那裡共商國事，為新政治體制打下了基礎。因此，太宰府天満宮也是引發日本歷史上最重事件「明治維新」的一大舞台。

三條實美（1837-1891）是五人小組的成員之一，他後來擔任日本內務大臣，並在1889年出任臨時首相。這裡展示的是三條實美供奉於太宰府天滿宮的物品：一頂頭盔、一把軍扇和一副印有家紋的馬鞍。

<日本語仮訳>

太宰府天滿宮と幕末

1603年から1867年まで徳川幕府が日本を統治していました。しかしながら、1868年の明治維新後、新たに即位した明治天皇（1852-1912）を中心とする中央集権制が導入され、日本の政治体制は劇的に変化しました。

「幕末」と呼ばれる徳川幕府時代の最後の数年間、日本の政治は劇的な変化を遂げました。外国人の急激な流入により、馴染みのない方法や発明がもたらされ、一方で、幕府の守旧派と政治改革や天皇への忠誠を支持する派閥の間で、ひどい派閥争いが繰り広げられていました。

明治維新以前、「公家」（天皇、朝廷および天皇に近侍する朝臣一般を指し、幕府の「武家」に対する呼称）として知られたかつての有力貴族は、幕府に忠誠を誓う派閥の人々によって追われました。彼らは794年に平安京（現在の京都）を首都とし、その後数世紀にわたって日本の社会と政治に影響力を持ち続けました。徳川幕府の末期には7人の高位にある公家が京都から追われ、うち5人が太宰府に逃れました。1865年から1867年の間、一行は太宰府天滿宮の境内にある延寿王院に避難し、そこで彼らは国政についての考えを共有し、新しい政治体制につながる基礎を築きました。このように、太宰府天滿宮は、「明治維新」という日本の歴史における最も重要な出来事の一つの背景にもなったのです。

三條實美（1837-1891）は、この5人の1人でした。三條はその後、内大臣を経て、1889年には一時的に臨時の内閣総理大臣も務めました。兜、軍扇、家紋入りの鞍など、ここに見られる品々は三條により太宰府天滿宮に献上されたものです。

【タイトル】 太宰府天満宮の祭りと儀式

【想定媒体】 パネル

<簡体字>

太宰府天満宮の节庆和祭典

节庆和祭典在日本文化中根深蒂固，许多活动都与日本的寺庙和神社有关。太宰府天満宮每年都会举办 100 多场节庆和祭典，大量民众参与其中。

这幅画卷绘制于 1853 年，展现了太宰府天満宮最大的祭典仪式——每年 9 月举行的“神幸式”，即菅原道真大游行。届时，首先将菅原道真(845-903)之灵“天神”请入神轿中，抬至位于太宰府的菅原道真故居“榎社”（榎，音同“甲”）过夜；第二天早上，再将神轿抬回太宰府天満宮。祭典中，将有数百人身着平安时代(794-1185)的服装，伴随着神轿在神社内游行。

每年 1 月 7 日会举办另一个引人注目的活动“鸺替神事”（鸺，音同“学”，即红腹灰雀）。在日语中，“鸺”和“谎言”的发音都是“uso”。活动时，众人在黑暗中互相推挤，交换木雕小鸺，直到停止的信号响起。据说交换木雕小鸺就能把去年无心的谎言化作新年的吉祥，并且，在停止的信号响起时，手中的小鸺如果刻有特定标记，就可以交换一只纯金小鸺，为来年带来好运。

新年假期（元旦前后）是太宰府天満宮最热闹的时候，每年都有 200 多万人前来祈福，并为新年求取护身符。

<繁体字>

太宰府天満宮的節慶和祭典

節慶和祭典在日本文化中根深蒂固，許多活動都與寺廟和神社有關。太宰府天満宮每年都會舉辦 100 多場節慶和祭典，吸引很多民眾參加。

這幅繪製於 1853 年的畫卷展現了太宰府天満宮最大的祭典儀式——每年 9 月舉行的「神幸式」，即菅原道真大遊行。屆時，首先將菅原道真（845-903）之靈「天神」請入神轎中，抬至位於太宰府的菅原道真故居「榎社」（榎，音同「甲」）過夜；第二天早上，再將神轎抬回太宰府天満宮。祭典中，將有數百人身著平安時代（794-1185）的服裝，伴隨著神轎在神社內遊行。

每年 1 月 7 日將舉辦另一個引人注目的活動「鸺替神事」（鸺，音同「學」，即紅腹灰雀）。在日語中，「鸺」和「謊言」的發音都是「uso」，當地人相信，交換木雕小鸺，就能把去年無心的謊言化作新年的吉祥。人們在黑暗中互相推擠，交換木雕鸺，直到停止

的訊號響起。據說在訊號響起時，如果手中的小鸞刻有特定標記，就可以換到一隻純金小鸞，為來年帶來好運。

每年新年假期（元旦前後）都有 200 多萬人來這裡祈福並為新年求取護身符，這是太宰府天滿宮最熱鬧的時候。

<日本語仮訳>

太宰府天滿宮の祭りと儀式

祭りは日本文化に深く根付いており、その多くは日本の寺院や神社に関連するものです。太宰府天滿宮では、毎年 100 を超える祭りや神事が行われており、多くの人々がこれらの行事に参加しています。

神幸式 – 菅原道真の大名行列は毎年 9 月に行われる神社最大の儀式で、1853 年のこの巻物に描かれています。天神としても知られる菅原道真（845-903）の霊が、太宰府にある道真の以前の住まいである榎社で一夜を過ごすために、神輿で運ばれ、翌朝、天神はまた太宰府天滿宮に戻されます。この行事では、何百人もの人々が平安時代（794-1185）の衣装を身にまとい、境内を巡行する神輿に付き添います。

1 月 7 日の「鸞かえ神事」も注目の行事です。日本語では、「鸞」と「嘘」の発音は同じく「うそ」です。暗闇の中で押し合う群衆が、停止の合図があるまで木彫りの鸞を交換します。これにより、前の年に知らず知らずのうちについたすべての嘘を、新年の幸に取り替えられると言われています。停止の合図があったときに持っていた木鸞に印があった場合は、純金の鸞と交換でき、来年の幸運を約束されると言われています。

新年（元旦前後）は、太宰府天滿宮にとって最も忙しい時期です。200 万人を超える人々が祈りを捧げ、新年のお守りを手に入れるためにここを訪れます。

【タイトル】 竈門神社

【想定媒体】 看板

<簡体字>

灶门神社

灶门神社供奉的是女神“玉依姬命”，她是爱情和结缘之神。因此，灶门神社广受欢迎，想在各种关系中寻求幸福和好运的人们都会来此参拜。

公元7世纪至12世纪，大宰府（今太宰府，12世纪以前的名称）曾是九州行政中枢，也是外交关系的中心。日本遣唐使在前往中国唐朝(618-907)之前，都会来此祈祷海上航行平安，其中包括著名高僧最澄(767-822)与空海(774-835)。

神社坚固的柱子和人字形屋顶均采用日本扁柏，2013年在翻新神社本殿（正殿）时也使用了同样的木材。神社内，春天樱花盛开，秋天枫叶金红。

神社背后是巍峨耸立的宝满山，它位于太宰府的东北方向。传统上邪灵容易从此方位入侵，因此这座灵峰在保护太宰府免受邪灵侵扰方面发挥着重要作用。宝满山也是修验道信徒的重要修行之地，修验道是一种以山岳崇拜为基础的民间宗教，通过在山间严酷苦修而获得功德。

<繁体字>

灶門神社

灶門神社供奉的是女神玉依姬命，祂是愛情和結緣之神，想尋求幸福和好運的人們都會來此參拜，很受歡迎。

西元7世紀至12世紀，大宰府（今太宰府，12世紀以前的名稱）曾是九州行政中樞，也是外交關係的中心。日本遣唐使在前往中國唐朝（618-907）之前，都會來此祈禱海上航行平安，其中包括著名高僧最澄（767-822）與空海（774-835）。

神社的堅固的柱子和人字形屋頂，均採用日本檜木，2013年在翻新神社本殿（正殿）時也使用了同樣的木材。神社四季各有佳景，春天櫻花盛開，秋天楓葉金紅。

神社背後是巍峨聳立的寶滿山，它位於太宰府的東北方向。傳統上邪靈容易從此方位入侵，這座靈峰可保護太宰府免受邪靈侵擾。寶滿山也是修驗道信徒的重要修行地，修驗道是一種以山嶽崇拜為基礎的民間宗教，信徒們通過在山間嚴酷苦修獲得功德。

<日本語仮訳>

竈門神社

竈門神社は女神の玉依姫命を祀っています。玉依姫命は、恋愛成就や縁結びの神様として知られているため、この神社は、人々の関係の中で幸福や幸運を求める人々を魅了しています。

7世紀から12世紀、大宰府（現在の太宰府、12世紀までの旧名称）は九州の行政の中心地であり、国際関係の中心地でもありました。日本の遣唐使が中国唐朝（618-907）への旅に出る前に、航海の安全を祈るために訪れていました。その中には、有名な高僧最澄（767-822）や空海（774-835）もいました。

大工は、この神社の頑丈な柱と切妻造の屋根にヒノキを使用しましたが、2013年に行われた本殿の改築にも同じ木材が使用されました。境内には、春は桜が咲き、秋にはモミジが赤や黄金色に変わります。

神社の後ろには宝満山が聳えています。この山は太宰府の北東に位置していますが、伝統的に邪気はこの方向から入ると信じられてきたため、宝満山はこれらの悪霊から守るという重要な役割を果たしてきました。またこの山は、山中での厳しい修行を通じて功德を得る、山岳信仰に基づく民間信仰である修験道の重要な拠点にもなっています。

【タイトル】 竈門神社授与所

【想定媒体】 看板

<簡体字>

灶門神社授与所

欢迎光临灶門神社授与所，这里出售各种护身符和吉祥物。

与其他神社的传统授与所相比，这里颇具现代感。这座建筑由日本 Wonderwall 室内设计公司的著名设计师片山正通(1966-)操刀，在国际团队合作下完成。内墙的浅粉色大理石进口自葡萄牙；英国设计师贾斯珀·莫里森(Jasper Morrison, 1959-)设计了露台的长凳和椅子。早在 1300 年前，大宰府（今太宰府，12 世纪以前的名称）就已是通往亚洲大陆的门户和国际外交的枢纽，这一跨国合作延续了太宰府与国际社会广泛合作的悠久传统。

授与所里的护身符五彩缤纷，种类繁多，可以祈求良缘、安产和出行平安。还可以将自己的祈祷或愿望写在“绘马”（日本神社或寺院中许愿用的木制小牌子）上，然后将它挂在神社院子里供奉神灵。授与所天花板上装饰着樱花图案，令人联想到神社的社纹。与太宰府地区常见的梅花形象不同，樱花图案可谓别具一格。

<繁体字>

灶門神社授與所

歡迎光臨灶門神社授與所，這裡販賣各種護身符和吉祥物。

與其他神社的傳統授與所相比，這裡的空間十分新潮。這座建築由日本 Wonderwall 室內設計公司的著名設計師片山正通（1966- ）操刀，在國際團隊合作下完成。內牆的淺粉色大理石進口自葡萄牙；英國設計師賈斯珀·莫里森（Jasper Morrison, 1959- ）為它設計了露臺的長凳和椅子。早在 1300 年前，大宰府（今太宰府，12 世紀以前的名稱）就已是通往亞洲大陸的門戶和國際外交的樞紐，這一跨國合作也恰好延續了太宰府與國際社會廣泛合作的悠久傳統。

授與所裡的護身符五彩繽紛，種類繁多，可以祈求良緣、安產和出行平安。還可以將自己的祈禱或願望寫在「繪馬」（日本神社或寺院中許願用的木製小牌子）上，然後將它掛在神社院子裡供奉神明。授與所天花板上裝飾著櫻花圖案，令人聯想到神社的社紋。與太宰府地區常見的梅花形象不同，櫻花圖案可謂別具一格。

<日本語仮訳>

竈門神社授与所

竈門神社の授与所（お守りを販売する施設）へようこそ。

ほかの神社で見られる伝統的な授与所と比較すると、かなりモダンな空間が広がっています。この建物は、日本のインテリアデザイン会社「ワンダーウォール」の片山正道氏（1966- ）が設計し、国際的な共同作業により実現したものです。内壁の淡いピンク色の大理石はポルトガルから輸入したもので、英国出身のデザイナー、ジャスパー・モリソン氏（1959- ）がテラスのベンチと椅子をデザインしました。1,300 年前から、大宰府（現在の太宰府、12 世紀までの旧名称）はアジア大陸への玄関口であり、国際外交の中心地でした。この国境を越えたコラボレーションは、太宰府がその歴史の中で、広範な国際社会に関与してきた伝統をいまに伝えるものです。

授与所には、恋愛成就や出産、旅の無事を祈願する、カラフルなお守りを幅広く揃えています。絵馬（日本の社寺に祈願の目的で奉納する絵が描かれた木製の板のこと）に祈りや願い事を書き、神社の境内に掛けて、祭神に捧げましょう。天井の桜のモチーフは、神社の紋をほめかすものです。この桜のデザインは、太宰府地域で広まっている梅の花のイメージとは対照的です。

【タイトル】 竈門神社－雰囲気ある森の神社での縁結びの支援

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

灶門神社——助您在氛围浓郁的林地神社中结缘

沿着石阶拾级而上便来到灶门神社。拥有人字形柏木屋顶的木造建筑群完美融合在周边的森林中。院内春季樱花盛开，秋季红叶如火，巨大的樟树已屹立了几个世纪。站在美丽如画的神社中，还能俯瞰太宰府市的风光。

灶门神社供奉的是爱情和结缘之神“玉依姬命”，吸引了众多祈求未来和现有关系幸福美满的人们前来参拜。在神社授与所购买护身符还可能加持好运。

神社授与所的建筑设计令人过目不忘，它出自日本著名室内设计师片山正通(1966-)之手，室内设计采用了葡萄牙原产的粉色大理石和樱花元素。来访者可以从各式各样带有神祇祝福的护身符中挑选心仪之物，还可以将自己的心愿写在“绘马”木牌上，悬挂在神社内。在授与所外的露台上稍作休息时，还能欣赏太宰府的美丽景色，这里的椅子和长凳均由英国设计师贾斯珀·莫里森(Jasper Morrison,1959-)操刀，为拥有数百年历史的神社增添了独特的现代元素。

<繁体字>

灶門神社——助您在氛圍濃郁的林地神社中結緣

沿著石階拾級而上便來到灶門神社。擁有人字形柏木屋頂的木造建築群完美融合在周邊的森林中，巨大的樟樹已屹立了幾個世紀，院內春季櫻花盛開，秋季紅葉如火。站在美麗如畫的神社中，還能俯瞰太宰府市風光。

灶門神社供奉了愛情和結緣之神「玉依姬命」，祈求未來和現有關係能夠幸福的人們絡繹不絕前來參拜。據說在神社授與所購買護身符還可能加持好運。

神社授與所的建築設計令人過目不忘，它出自日本著名室內設計師片山正通（1966-）之手，室內設計採用了葡萄牙原產的粉色大理石和櫻花元素。遊客可以挑選各式各樣帶有神祇祝福的護身符，還可以將心願寫在「繪馬」木牌上，懸掛在神社內。在授與所外的露臺上稍作休息時，還能欣賞太宰府的美麗景色，這裡的椅子和長凳均由英國設計師賈斯珀·莫里森（Jasper Morrison,1959-）操刀，為擁有數百年歷史的神社增添了獨特的現代元素。

<日本語仮訳>

竈門神社－雰囲気ある森の神社での縁結びの支援

石段を登り、竈門神社の境内へと足を踏み入れましょう。ここには、檜の切妻造の屋根と木造の建物が森林地帯に溶け込んだ複合施設が立ち並んでいます。巨大なヒノキは、何世紀にもわたってここに立っており、境内は、春は桜の開花、秋は紅葉を鑑賞する人気スポットです。さらに、神社の美しい境内から、太宰府市が見渡せます。

この神社は、恋愛成就や縁結びの神様である玉依姫命を祀っており、将来そして現在の関係における幸運を求めて多くの参拝者が訪れます。授与所でお守りを購入して、さらに運気を高めましょう。

非常に印象的な木造建築である授与所は、日本を代表するデザイナー片山正道氏（1966- ）によるものです。インテリアデザインには、ポルトガル原産のピンクの大理石と、桜の花のモチーフがあしらわれ、神のご加護が込められた様々なお守りからあなたのお気に入りの一品を選ぶことができます。また、願い事を「絵馬」という木製の板に書き、境内にかけることもできます。授与所の外にあるテラスでくつろげば、眼前には太宰府を一望できる美しい景観が広がります。テラスの椅子とベンチは、英国のデザイナーのジャスパー・モリソン氏（1959- ）によってデザインされたもので、何世紀もの歴史を持つ神社に、現代的な要素を加えています。

【タイトル】 観世音寺宝蔵殿 – 壯観な仏教美術品

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

观世音寺宝蔵殿：壮观的佛教艺术品

观世音寺的宝蔵殿收藏着珍贵稀有的造像。不管是高高耸立的大型佛像，还是小巧玲珑的菩萨像，来访者都可以近距离观赏，感受它们精妙的细节和精湛的工艺。

在日本，很少能有机会近距离观赏（而非隔着陈列柜观看）具有重要文化意义的造像，寺庙和神社中的雕像通常也只能远观。有些艺术品会不定期展出，有的甚至根本不对公众开放。但在观世音寺宝蔵殿，来访者可以直面这些国家指定重要文化财产，欣赏它们每一个精美绝伦的细节。

殿内的 16 尊造像大小不一，既有精致的十一面观音菩萨，也有高达 5 米多的持剑不空羼索观音菩萨。此外，佛教中的四方守护神——忿怒相四天王像也很值得细品。

雕像都配有多种语言说明，在介绍每位佛教神明的背景同时，还提供了雕刻、装饰等方面的重点信息，便于人们更深入了解眼前的作品。

观世音寺在鼎盛时期曾是九州首屈一指的佛教寺院，规模宏大的寺庙建筑群包含了众多建筑和华丽的佛塔。据传，6 次东渡日本才得以成行的中国唐代高僧鉴真(688-763)曾在这里停留，并举办了他在日本的首次授戒。日本高僧空海(774-835)在唐朝修行回国后也曾在此等待入京。如今，这里已被指定为国家史迹。虽然原始建筑已荡然无存，但幽静青翠的庭院、精美的建筑和引人入胜的宝蔵殿，仍然深受人们喜爱。

<繁体字>

觀世音寺寶藏殿：壯觀的佛教藝術品

觀世音寺的寶藏殿收藏著珍貴稀有的造像。不論是高高聳立的大型佛像，還是小巧玲瓏的菩薩像，遊客都可以近距離觀賞，感受它們精妙的細節和精湛的工藝。

在日本，很少能有機會近距離觀賞（而非隔著陳列櫃觀看）具有重要文化意義的造像，寺廟和神社中的雕像通常也只能遠觀。有些藝術品不定期展出，有的甚至根本不對大眾開放。但在觀世音寺寶藏殿，遊客可以直接面對這些國家指定重要文化財產，欣賞每一處細節。

殿內的 16 尊佛像大小不一，既有精緻的十一面觀音菩薩，也有高達 5 公尺多的持劍不空羼索觀音菩薩，佛教中的四方守護神——忿怒相四天王像也很值得細品。

雕像配有多種語言說明，除了介紹每位佛教神明的背景，還提供了雕刻、裝飾等方面的重要訊息，幫助人們更了解眼前的作品。

觀世音寺在鼎盛時期曾是九州首屈一指的佛教寺院，規模宏大的建築群包含了許多建築和華麗的佛塔。據說，6次東渡日本才得以成行的中國唐代高僧鑒真（688-763）曾在這裡停留，並舉辦了其在日本的首次授戒。日本高僧空海（774-835）在唐朝修行回國後也曾在此等待入京。如今，這裡已被指定為國家史跡。雖然原始建築已蕩然無存，但幽靜青翠的庭院、精美的建築和引人入勝的寶藏殿，仍然深受人們喜愛。

<日本語仮訳>

観世音寺宝蔵殿－壮観な仏教美術品

観世音寺の宝蔵殿は、稀少で価値の高い仏像を収蔵しています。聳え立つような大きな像から小さな菩薩像まで、様々な像を間近で見て、精巧な細部と素晴らしい技巧を堪能することが可能です。

日本では、文化的に重要な像を展示ケースなしで間近から鑑賞できることは稀です。寺や神社の像は通常遠くから見ることになります。作品によっては不定期に公開されたり、もしくはまったく公開されない場合もあります。観世音寺の宝蔵殿では、これらの国の重要文化財の真正面に立って、その精巧な技巧を楽しむことができます。

16体の仏像は、繊細な十一面観音菩薩から、剣を持った5メートル以上の高さの不空罽索観音の巨大な像まで様々です。ほかにも、四方で仏教の護衛を司る憤怒相の四天王の像も見どころです。

それぞれの作品には多言語の説明があり、それぞれの仏の役割に加えて、彫刻や装飾に関する重要な情報をより深く理解するのに役立ちます。

観世音寺は、その全盛期に九州を代表する仏教寺院でした。かつての広大な複合施設には、多くの建物や華麗な塔が建っていました。6度目の渡航でやっと日本にたどり着いた中国唐朝の高僧鑒真（688-763）はここに滞在し、日本ではじめて授戒も行われました。また、唐朝での修行を終えて帰国した高僧空海（774-835）も、しばらくここに滞在していました。現在、ここは、国の史跡に指定されています。創建当初の建物は残っていませんが、静かで緑豊かな境内と美しい建物、印象的な宝蔵殿は、人気を集めています。

【タイトル】 大宰府展示館—古代太宰府の証と現在も続く発見

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

大宰府展示館：致敬古代太宰府，发现更多未知之谜

大宰府展示館追溯了太宰府从 7 世纪直到现在的发掘考古历史，并介绍太宰府对日本的历史、文化、教育和宗教所产生的深远影响。

参观者可以通过精致的立体实景模型了解大宰府（今太宰府，12 世纪以前的名称）的原貌；浏览迄今数十年的发掘成果；近距离观赏装饰在屋顶上的“鬼瓦”（与中国古建筑的兽面瓦当相似）。

2019 年 5 月，德仁天皇继位，日本进入了崭新的“令和”时代。在馆内可以了解到，公元 730 年在大宰府举办的“梅花宴”如何为新年号带来了灵感。

展品配备多语言解说，便于来访者更深入地理解太宰府丰富的历史和文化。展示馆位于大宰府官署遗址入口附近，馆内陈列的展品介绍了本地历史，并还原了大宰府的昔日面貌，有助于来访者在游览的同时感受古代大宰府的规模。

<繁体字>

大宰府展示館：致敬古代太宰府，發現更多未知之謎

大宰府展示館追溯了太宰府從 7 世紀直到今天的發掘考古歷史，並介紹太宰府對日本的歷史、文化、教育和宗教所產生的深遠影響。

遊客可以透過詳細的立體實景模型了解大宰府（今太宰府，12 世紀以前的名稱）的原貌；瀏覽數十年的發掘考古成果；近距離觀賞裝飾在屋頂上的「鬼瓦」（與中國古建築的獸面瓦當相似）。

2019 年 5 月，德仁天皇繼位，日本進入了嶄新的「令和」時代。在館內可以了解到，西元 730 年在大宰府舉辦的「梅花宴」如何為新年號帶來了靈感。

展品配備多種語言解說，便於遊客更深入地了解太宰府豐富的歷史和文化。展示館位於大宰府官署遺址入口附近，館內陳列的展品介紹了在地歷史，並還原了大宰府的昔日面貌，有助於遊客在遊覽的同時感受古代大宰府的規模。

<日本語仮訳>

大宰府展示館—古代太宰府の証と現在も続く発見

大宰府展示館では、7 世紀から現在の発掘調査に至るまで、太宰府の歴史を辿ることができ、また、太宰府が日本の歴史、文化、教育、宗教に多大な影響を与えたことを紹介しています。

ここで、大宰府（現在の太宰府、12 世紀までの旧名称）の当時の姿を緻密に再現されたジオラマを見てみたり、何十年にもわたる発掘の成果に関する展示を見学したり、建物の屋根を飾る「鬼瓦」（中国古代建築の獣面文瓦）を間近で観察したりしてみましよう。

2019 年 5 月、徳仁天皇の即位は、日本の新時代「令和」の始まりを告げました。当展示館を訪れば、730 年に大宰府で行われた梅花の宴と「令和」という新しい元号との関連性を知ることができます。

展示品には多言語の説明が用意されており、太宰府の豊かな歴史や文化をより深く理解することができます。展示館は大宰府政庁跡の入口近くに建っています。地域の歴史や大宰府当初の姿を紹介する展示は、ここを散策する際に、古代大宰府の規模を知る手助けとなります。

【タイトル】 客館－太宰府の厚いもてなしを際立たせた新たな発見

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

客馆：彰显太宰府热情好客的新发现

公元7世纪至9世纪，大宰府（今太宰府，12世纪以前的名称）是日本重要的国际外交中心。外国政要及其随行人员乘船驶入博多湾后就被护送至大宰府，继而前往京都或奈良都城。在这座庞大的行政建筑群中心，矗立着宫殿式的官署，对此人们已知甚多，但直到最近，考古学家才发现了供来访外国政要使用的“客馆”遗迹。

发掘显示，当时在这处住宿设施内已经提供日本最高级别的待客之道——“おもてなし”(omotenashi)，即盛情款待。此外，在这里发现了高档餐具的碎片，包括一个日本产的漆盘、中国陶瓷和一套朝鲜式金属嵌套碗。从使用这些餐具中可以看出，当时的外国政要们所受到的无微不至和至高礼遇。

从古代大宰府的棋盘状布局到坐北朝南的行政建筑，都能看出中国的影响，包括中国古代哲学中“金木水火土”相生相克的“五行”的作用。据历史学家推测，在最近发现的客馆内举行的活动中，外国政要被安排在东面，面对西面的日本接待方。根据“五行”原则，主位在东，这意味了古代大宰府把来访的外国人视为东道主，客馆即是其本国领土的延伸，就如同今天的大使馆一样。

历史学家们还推测，正式的外交活动应该是在客馆往北1公里处的大宰府行政官署内举行。可惜的是，昔日美丽的官署已不复存在。来访者可以在官署旁的大宰府展示馆了解更多大宰府的丰富历史。

<繁体字>

客館：彰顯太宰府熱情好客的新發現

西元7世紀至9世紀，大宰府（今太宰府，12世紀以前的名稱）是日本重要的國際外交中心。外國政要及其隨行人員乘船駛入博多灣後就被護送至大宰府，繼而前往京都或奈良都城。人們對於這座龐大的行政建築群中心處矗立著宮殿式的官署已知甚多，但直到最近，考古學家才發現了供來訪外國政要使用的「客館」遺跡。

考古顯示，當時這裡住宿已能提供日本最高級別的待客之道——「おもてなし」(omotenashi)，即盛情款待。此外，在這裡發現了高檔餐具的碎片，包括一個日本產的漆盤、中國陶瓷和一套朝鮮式金屬嵌套碗。從這些餐具中可以看出，當時的外國政要們所受到的無微不至和至高禮遇。

從古代大宰府的棋盤狀布局到坐北朝南的行政建築上，都看得出中國的影響，包括中國古代哲學中「金木水火土」相生相剋的「五行」的作用。據歷史學家推測，在最近發現的客館內舉行的活動中，外國政要被安排在東面，面對西面的日本接待方。根據「五行」原則，主位在東，這意味了古代大宰府把來訪的外國人視為東道主，客館即是其本國領土的延伸，就如同今天的大使館一樣。

歷史學家們還推測，正式的外交活動應該是在客館往北 1 公里處的大宰府行政官署內舉行。可惜的是，昔日美麗的官署已不復存在。遊客可以在官署旁的大宰府展示館了解更多大宰府的豐富歷史。

<日本語仮訳>

客館 – 太宰府の厚いもてなしを際立たせた新たな発見

7 世紀から 9 世紀の間、大宰府（現在の太宰府、12 世紀までの旧名称）は国際外交の中心地でした。博多湾に船で入った外国の高官や随行人は、大宰府に案内された後に、京都や奈良の都に向かっていました。広大な行政複合施設の中心に位置する宮殿のような政庁は、よく知られていますが、外国の高官が訪れた際に使われていた「客館」については、考古学者により、ごく最近になって発見されました。

発掘調査によりますと、当時、この宿泊施設では、すでに日本らしい最高の「おもてなし」が行われていました。ここから、日本産の漆塗りの器や中国の陶器、韓国風の金属製親子茶碗など、高級食器のかけらも見つかっています。このような道具を使っていたことから、外国の高官たちは、細心の心配りと礼儀をもって、もてなされていたことが窺えます。

古代の大宰府において、碁盤目状の都市区画から、南向きの行政施設まで、「金木水火土」相生相剋の中国の哲学理論「五行説」の役割を示唆し、中国の影響を見ることができます。歴史学者はこのように推測します。当時客館の中で行われた儀礼において、外国の高官は東にあり、西にいる日本の応対者と向き合っていました。中国の「五行説」に従えば、東はホスト席になるため、外国の高官は客館内で主人の役割を果たしていたことを意味します。すなわち、客館は来訪者の本拠地（国）の延長として扱われており、現在で言えば、大使館のような存在と考えられます。

歴史家はまた、公式な外交儀礼は、この客館から 1 キロ北の大宰府政庁跡で行われたと推測しています。残念ながら、かつての素晴らしい政庁は、いまは遺跡となっていますが、このそばにある大宰府展示館で、大宰府の豊かな歴史を知ることができます。

解説文一覧

NO.	スポット名 (タイトル)	中国語文字数	想定媒体
024-001	原の辻遺跡	605	パンフ
024-002	一支国博物館	645	パンフ
024-003	壱岐古墳群	490	パンフ
024-004	壱岐古墳群の出土品	460	パンフ
024-005	勝本城跡	475	パンフ
024-006	岳ノ辻	240	パンフ
024-007	カラカミ遺跡	275	パンフ
024-008	生池城跡	340	パンフ
024-009	内海湾	275	パンフ
024-010	壱岐の神社と壱岐神楽	555	パンフ
024-011	金田城跡	570	パンフ
024-012	豆酸の赤米行事	360	パンフ
024-013	万松院と宗家墓所	620	パンフ
024-014	黒瀬の仏像	285	パンフ
024-015	清水山城跡	460	パンフ
024-016	金石城跡と庭園	530	パンフ
024-017	朝鮮通信使	700	パンフ
024-018	対馬博物館	515	パンフ
024-019	お船江跡	315	パンフ
024-020	鰐浦	400	パンフ
024-021	三井楽	310	パンフ
024-022	明星院	580	パンフ
024-023	大宝寺	590	パンフ
024-024	日島の石塔群	430	パンフ
024-025	山王信仰	455	パンフ
024-026	日本遣唐使	535	パンフ
024-027	上五島の日本遣唐使史跡	375	パンフ
024-028	下五島の日本遣唐使史跡	510	パンフ
024-029	国境の島	1235	パンフ

【タイトル】 原の辻遺跡

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

原之辻遺址

大约在公元前 200 年至公元 350 年间，原之辻（音同“十”）是“壹岐国”的都城，当时的“国”是日本古代的行政区划，有别于国家。那时的原之辻十分繁荣，聚集了来自朝鲜半岛、中国、日本本土的商人及旅行者，是货物交易、信息交流的商业中心。

原之辻位处岛上最大的平原，这里气候恶劣，整个冬天都受到强风侵袭。幡铎川上的大型码头是通往聚落的门户，但只有小船才能从最近的海湾逆流而上到达目的地，大船只能停泊在海湾里。原之辻遗址中甚至发现了日本最古老的码头。这些都表明，都城的选址具有战略意义，而商人和农民也是出于政治目的才迁居于此。

从码头前往原之辻，先要渡过环绕都城的两条甚至是三条护城河，再沿着坡道攀登至聚落中心，途中将经过建在浅坑中的住宅、干栏式仓库和瞭望塔等建筑。地势最高处有一座神庙，巫师们在这里与天神沟通，预测未来。神庙大门是神域和世俗世界的分界，上面装饰着被视为神明使者的鸟类雕像。有人认为，这种门是日本神道教神社中“鸟居”的起源。

或许是因为贸易路线的变化，壹岐国逐渐被来自日本本土的势力吞并，原之辻也在 4 世纪中叶走向衰落。该遗址现已发现约 300 处地基，其中 17 座公元 1 世纪至 3 世纪的建筑已被重建。遗址出土的文物中，包括了朝鲜的陶器、来自中国的钱币和闪烁着蓝色光芒的玻璃珠，以及用于贸易的铜砝码和一块雕成人脸形状的石头等物品。现在这些文物都陈列在附近的“一支国博物馆”中。原之辻遗址已经被指定为国家特别史迹。

<繁体字>

原之辻遺址

大約在西元前 200 年至西元 350 年間，原之辻（音同「十」）是「壹岐國」的都城，當時的「國」是日本古代的行政區劃，有別於國家。在這個繁榮的商業中心，當地人與來自朝鮮半島、中國、日本本地的商賈和旅行者進行貨物買賣，也交流各方訊息。

原之辻建在島上最大的平原上，這裡整個冬天都受到強風侵襲，氣候相當惡劣。幡铎川上的大型碼頭是通往聚落的門戶，但大船僅能停泊在海灣裡，只有小船才能從最近的海灣逆流而上到達目的地。原之辻遺址中甚至發現了日本最古老的船隻碼頭。這些都表明，都城的選址具有戰略意義，而商賈和農民遷居於此，則是基於政治目的。

遊客從碼頭前往原之辻時，先要渡過環繞都城的雙環或三環護城河，再經過建在淺坑中的住宅、架高的倉庫和瞭望塔，最後沿著坡道攀登至國都中心。地勢最高處有一座神廟，巫師們在這裡與神明溝通，預測未來。神廟大門是神界和世俗世界的分界，門上裝飾著被視為神明使者的鳥類雕像。有人認為，這種門正是日本神道教神社中鳥居的起源。

或許是因為貿易路線的變化，壹岐國逐漸被來自日本本土的列強勢力吞併，原之辻也在 4 世紀中葉走向衰落。如今，在這個遺址已發現約 300 座建築的地基，其中有 17 座西元 1 世紀至 3 世紀的建築已被重建。遺址出土文物中，包括朝鮮的陶器、來自中國的錢幣和閃爍著藍色光芒的玻璃珠、用於貿易的銅砝碼和一塊雕成人臉形狀的石頭等。這些文物都陳列在毗鄰的「一支國博物館」中。原之辻遺址已經被指定為國家特別史跡。

<日本語仮訳>

原の辻遺跡

紀元前 200 年頃から 350 年頃まで、壹岐国（古代日本の行政区画、現在の「国」と異なる）の王都であった原の辻。朝鮮半島や中国本土、日本本土からの商人や旅人たちと、品物や情報を交換する商取引の拠点として栄えた。

原の辻は島内最大の平野に築かれ、冬は強風にさらされる過酷な場所であった。また、幡鉾川に面した大きな船着き場は集落の玄関口であり、大型船が停泊する湾から小舟で上流に向かわなければならぬ。原の辻遺跡から発見された船着場跡は、日本最古の船着場跡とされている。このように、王都は戦略的に選ばれた場所であり、その住民であった商人や農民は政治的な判断で集められたと考えられる。

原の辻は船着き場から近づくと、まず都を囲む二重、あるいは三重の環濠を越えていく。浅い穴の上に建てられた住居、高床式倉庫、見張り台などを通り、集落の中心に向かって道を登っていく。最も高い場所には神殿があり、占師が天空の神々と会話し、未来を予言する場所であった。神殿の門は聖なる世界と俗なる世界の境界を示し、神の使いとされる鳥の置物で飾られていた。このような門が神道の鳥居の起源であるという説もある。

原の辻は 4 世紀半ば、交易ルートの変更もあって壹岐の国が大陸からの勢力に吸収された結果か、衰退したと考えられている。遺跡からは約 300 棟の基礎が発見され、1 世紀から 3 世紀頃の建物 17 棟が復元されている。朝鮮半島の土器、中国の貨幣ときらきらと青色に輝くトンボ玉、交易に使われた銅の錘、人の顔をかたどった石などの出土品は、隣接する一支国博物館で展示されている。原の辻遺跡は国の特別史跡に指定された。

【タイトル】 一支国博物館

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

一支国博物館

一支国博物館主要介绍公元前 200 年左右至 7 世纪时，壹岐与亚洲大陆之间频繁交流的历史。在此期间，壹岐岛最初是以原之辻（音同“十”）为都城的王国，后来则成为了大和朝廷进军朝鲜半岛的重要立足点。馆内许多展品都是国家指定重要文化财产。

博物館矗立于一座山丘上，由日本著名建筑师黑川纪章(1934-2007)担纲设计，建筑的设计理念是历史遗址的自然延伸。从博物館的屋顶露台和瞭望塔，可以俯瞰古老的原之辻遗址全貌。

常展从沉浸式展览开始，重点介绍了 3 世纪的中国历史典籍《三国志·魏志倭人传》中的段落。这部编年史记述了中国使节前往日本列岛的旅程，首次以文字形式提到了壹岐。在观赏一段描述古代壹岐和原之辻生活情景的视频后，来访者可以从播映厅观摩原之辻遗址。

走出播映厅，一条走廊通向主展厅，走廊两侧陈列着从原之辻遗址和整个壹岐的古坟出土的特别文物。很多展品都被放置在矮架上，可以随意拿起观赏，也方便孩童观看。

主展厅中央是一处还原了原之辻生活场景的立体实景模型，所有人物模型的面部特征都以现在的壹岐居民为原型。场景包括了潜水捕捞贝类、建造坑式住宅，以及王宫的祭祀活动。这里还展示了一艘实物大小的独木舟复制品，它的船舷两侧安装了隔浪板，被称为“准构造船”。过去，壹岐商人就是乘坐这种船只前往朝鲜半岛和九州，用海产品和农产品换取工具、陶器和武器的。

博物館每年举办 4~5 次特展。参观者还可以透过巨大的落地窗观看部分储藏室，也可以窥见博物館工作人员清理和修复文物的大厅。长崎县埋藏文化财中心也在同一栋建筑内。

<繁体字>

一支國博物館

一支國博物館主要介紹西元前 200 年左右至 7 世紀，壹岐與亞洲大陸之間頻繁交流的歷史。在這段時間，壹岐島最早是以原之辻（音同「十」）為都城的王國，後來則成為了大和朝廷進軍朝鮮半島的重要據點。館內許多展品都是國家指定重要文化財產。

博物館建築矗立於一座山丘上，由日本著名建築師黑川紀章（1934-2007）負責設計，它的設計理念是歷史遺址的自然延伸。從博物館的屋頂露台和瞭望塔，可以俯瞰古老的原之辻遺址全貌。

常設展從沉浸式展覽開始，重點介紹 3 世紀的中國歷史典籍《三國志·魏志倭人傳》中的段落。這部編年史記錄了中國使節前往日本列島的過程，首次以文字形式提到了壹岐。接著，在觀賞一段描述古代壹岐和原之辻生活情景的影片後，可以從放映廳觀摩原之辻遺址。

走出放映廳，一條走廊通向主展廳，走廊兩側陳列著從原之辻遺址和整個壹岐的古墳出土的特別文物。很多展品都被置於矮架上，可以隨意拿起觀賞，也方便孩童觀看。

主展廳中央是一處還原了原之辻生活場景的立體實景模型，所有人物模型的臉部特徵都以現在的壹岐居民為原型。場景包括了潛水捕撈貝類、建造坑式住宅，以及王宮的祭祀活動。這裡還展示了一艘實體大小的獨木舟複製品，它的船舷兩側安裝了隔浪板，被稱為「準構造船」。從前，壹岐商人就是乘坐這種船前往朝鮮半島和九州，用海產品和農產品換取工具、陶器和武器的。

博物館每年舉辦 4~5 次特展。遊客還可以透過大型落地窗觀看部分儲藏室，也可以一窺博物館工作人員清理和修復文物的大廳。長崎縣埋藏文化財中心也在同一棟建築內。

<日本語仮訳>

一支国博物館

一支国博物館は紀元前 200 年頃から 7 世紀頃までの壹岐とアジア大陸との交流の歴史を伝える。この時代、原の辻を首都とする王国であり、その後、大和朝廷が朝鮮半島に進出する重要な足がかりとなった。館内多くの展示品は国の重要文化財に指定されている。

博物館は丘の上に建っており、当館の建物は日本著名な建築家黒川紀章（1934-2007）によって設計され、辻遺跡の自然な延長線上にあるようにデザインされている。屋上テラスや展望タワーから古代集落「原の辻」の全貌を見ることができる。

常設展ではまず、3 世紀の中国の歴史書『三国志』の一部である『魏志倭人伝』のテキストに焦点を当てた没入型の展示が行われる。この『魏志倭人伝』には、中国の使者の日本列島への旅の記録という形で、壹岐について初めて記述されたものがある。この序章に続いて、古代の壹岐と原の辻の生活を映像で解説し、上映後はシアタールームから集落跡を見ることができる。

シアタールームからは原の辻遺跡や壹岐の古墳からの特別な出土品を中心に展示した回廊を経て、メインの展示室へと続く。廊下の展示品の多くは実際に手に取ることができ、子どもたちにも見やすいように低い棚に置かれている。

メインの展示室の中央には、現在の壹岐の住民の顔を模した人物を配した原の辻の生活ジオラマが展示されている。水中での魚貝の採取や竪穴住居の建設、王宮での儀式などが描かれている。また、波除けのために両側に板を垂直に取り付けた「準構造船」と呼ばれる船の模型も展示されている。壹岐の商人たちはこのような船で朝鮮半島や九州に渡り、海産物や農作物を道具や陶器、武器

などと交換したのだ。

博物館では年に4～5回の企画展を開催している。また、収蔵庫の一部は大きな窓から見ることができ、館員が遺物の洗浄や修復を行っているホールも覗くことができる。長崎県埋蔵文化財センターが同じ建物に併設されている。

【タイトル】 壹岐古墳群

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>**壹岐古墳群**

壹岐島上共有大約 280 座古墳，大多建造於 6 世紀下半葉至 7 世紀早期。古墳的墓室皆以巨石封閉，上面覆蓋著圓形或是前方後圓的土堆。壹岐島上的古墳，無論是數量還是規模都頗為罕見，其中最大的古墳可與當時統治日本列島的大和朝廷的大墓相匹敵，墓中還出土了價值連城的文物。

這些古墳證明了壹岐在當時的戰略地位十分重要。公元 6 世紀至 7 世紀，大和朝廷及其在朝鮮半島的盟友百濟正與新羅王國作戰，而壹岐應該就是向前方運送人力和物資的基地。埋葬在古墳中的權勢人物可能是大和朝廷的高級武士，也可能是地方首領或是從日本本土派來的指揮官。由於建造大型古墳需要大量勞動力，墳墓數量也印證了本地曾擁有眾多的人口。有幾座最大的古墳建在面向朝鮮半島的高地上，可能是為了嚇退從海上入侵的敵人。

日本別處的古墳通常在初次入葬後就被密封，入口也被小心隱藏，但壹岐的古墳是家族數代成員同葬一墓，且一些古墳在建成數百年後仍在入葬，因此很容易成為盜墓者的目標。儘管如此，一些與死者合葬的珍貴文物依然留存了下來，現在一支國博物館中展出。壹岐最大級別的古墳中，有 6 座已被指定為國家史迹，其中“掛木古墳”和“笹塚古墳”已向公眾開放。

<繁体字>**壹岐古墳群**

壹岐島上共有約 280 座古墳，大多建造於 6 世紀下半葉至 7 世紀早期前後。這些墳墓中的墓室都用一塊巨石密封，上面覆蓋著圓形或是前方後圓形的土堆。壹岐島的古墳，無論是規模還是數量都十分罕見，其中最大的古墳可與當時統治日本列島的大和朝廷的大墓相媲美，墓中還出土了價值連城的文物。

這些古墳證明，在公元 6 世紀至 7 世紀時，壹岐的戰略地位十分重要。當時大和朝廷及其在朝鮮半島的盟友百濟與新羅王國作戰，而壹岐應該就是向前方運送人力和物資的基地。根據推測，埋葬在古墳中的權勢人物可能是大和朝廷的高級武士、地方首領或者是從日本本土派遣的指揮官。從墳墓數量可以推知本地人口繁多，因為建造大型古墳需要大量勞動力。幾座最大的古墳建在面向朝鮮半島的高地上，可能是為了嚇退從海上入侵的敵人。

日本別處的古墳通常在初次安葬後就被密封，入口也被小心隱藏，但壹岐古墳埋葬的

卻是同一家族の數代成員，部分古墳在建成數百年後仍被用作陵墓，因此很容易成為盜墓者的目標。即便如此，在調查研究的過程中還是找到了一些與死者合葬的珍貴文物，並在一支國博物館中展出。在壹岐最大的古墳中，有 6 座已被指定為國家史跡，其中兩座——掛木古墳和笹塚古墳已向大眾開放。

<日本語仮訳>

壱岐古墳群

壱岐の地には古墳が点在している。古墳は、遺骨を埋葬するための部屋を巨大な石で塞ぎ、その上に円形または鍵穴形の土塁を築いたものである。主に 6 世紀後半から 7 世紀前半にかけて、島内に約 280 基の古墳が造られた。壱岐の古墳は、その普及率もさることながら、その大きさも特筆される。最大級のものは、当時日本列島を支配していた大和朝廷の大墳墓に匹敵し、内部からは極めて貴重な品物が発見されている。

古墳のこうした特徴は、古墳が造られた時代の壱岐の戦略的重要性を物語っている。6 世紀から 7 世紀にかけて、大和朝廷と朝鮮半島の同盟国百済は新羅と戦っており、壱岐は前線に人員や物資を送るための拠点として機能していたと思われる。古墳に埋葬された有力者は、大和政権の高級武士であった可能性があり、または地元の首長や大陸から派遣された司令官などの可能性もある。大規模な古墳の建設には相当な労働力が必要であり、その存在は人口の多さを暗示している。最大級の古墳の中には、朝鮮半島に面した高台に造られたものもあり、海から侵入してくる敵を怖がらせて追い払うことも想定していたものと思われる。

日本では古墳は埋葬された後入口を隠して封印されるのが普通であるが、壱岐の古墳は同族を代々埋葬されており、築造後何百年も経ってからも引き続き墓として使用されていたものもある。そのため、墓荒らしに狙われやすかったが、それでも埋葬されていた貴重な遺品の一部が回収され、一支国博物館などで展示されている。壱岐にある最大級の古墳のうち 6 基が国の史跡に指定され、そのうち掛木古墳と笹塚古墳の 2 基は一般公開されている。

【タイトル】 壹岐古墳群の出土品

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

壹岐古墳群の出土文物

从壹岐古坟出土的许多文物可以看出，在公元6世纪至7世纪时，壹岐岛与日本本土、朝鲜半岛和中国之间的交流十分活跃。

最大的古坟据说是为当时统治日本列岛的大和朝廷高级武将而建，这里出土了大量的刀剑、金属箭镞和马具。最引人注目的是在笹塚古坟中发现的一件鍍金青銅龜形馬具，它可能是用来装饰马前额的配饰，现已被指定为国家重要文化财产。在大和朝廷的都城（今奈良县）周边地区也出土了类似图案的物品，可见壹岐与中央集权的大和朝廷之间关系之密切。

另一件值得留意的文物是一把鍍金青銅單鳳環頭大刀の刀柄，出土自位于壹岐中心部最大的古坟之一“双六古坟”，它也是国家指定重要文化财产。环形刀柄上雕刻着神鸟凤凰，其主人可能是一位大和朝廷的将领。

出自双六古坟的还有中国北齐(550-577)的彩绘陶碗和朝鲜新罗王国的香炉等文物，在当时可称得上无价之宝。它们的主人很可能是在对大陆贸易中颇具有影响力的国王或地方首领。另外，来自与大和朝廷敌对的新罗的文物，也表明当时壹岐人很可能已经与朝鲜王国单独建立了商业关系，并充当新罗与大和朝廷的中介人。

<繁体字>

壹岐古墳群の出土文物

從壹岐古墳出土的許多文物可以知道，在西元6世紀至7世紀，壹岐島與日本本土、朝鮮半島和中國之間的交流十分活躍。

最大的古墳據說是為當時統治日本列島的大和朝廷高級武將而建，這裡出土了大量的刀劍、金屬箭鏃和馬具。其中，以在笹塚古墳中發現的一件鍍金青銅龜形馬具最引人注目，它可能是用來裝飾馬前額的配飾，現已被指定為國家重要文化財產。在大和朝廷的都城（今奈良縣）周邊地區也出土了類似圖案的物品，可見壹岐與中央集權的大和朝廷之間的關係相當密切。

另一件值得留意的文物是一把鍍金青銅單鳳環頭大刀の刀柄，出土自壹岐中心最大的古墳之一「雙六古墳」，它的主人可能是一位大和朝廷的將領。這件文物也是國家指定重要文化財產，環形刀柄上雕刻著神鳥鳳凰。

出自雙六古墳的還有中國北齊（550-577）的彩繪陶碗和朝鮮新羅王國的香爐等文物，在當時可稱得上無價之寶，它們的主人很可能是在對大陸貿易中頗具有影響力的國王或地方首領。另外，來自與大和朝廷敵對的新羅的文物，也表明當時壹岐人很可能已經與朝鮮王國單獨建立了商業關係，並充當新羅與大和朝廷的掮客。

<日本語仮訳>

壱岐古墳群の出土品

壱岐の古墳から発見された多くの遺物は、6世紀から7世紀にかけての壱岐島と日本本土、朝鮮半島、中国との活発な交流があったことを窺わせる。

最も大きな古墳は、当時日本列島を支配していた大和朝廷のために戦った高級武士のために造られたと考えられている。刀剣、金属製鏃、馬具類などが数多く出土している。なかでも笹塚古墳から出土した、馬の額を飾ったと思われる金銅製の亀形の飾金具は注目され、国の重要文化財に指定されている。大和朝廷の都（現在の奈良県）付近からも同様のモチーフのものが出土しており、中央集権国家の大和朝廷との関係が窺える。

同じく国の重要文化財に指定された金銅製の剣の柄にも注目が必要である。この剣の柄は、壱岐の中心部に位置する最大級の古墳、双六古墳から出土したものである。環状の柄に霊鳥の鳳凰をかたどっており、大和朝廷の武将のものと考えられる。

双六古墳から出土した中国北齊（550-577）の彩陶碗や朝鮮半島新羅の香炉などは、当時としては大変貴重なものであった。大陸との交易に影響力のある王や酋長が持っていた可能性が高い。大和朝廷の敵である新羅からの出土品の存在は、壱岐の人が新羅と独自の商業関係を築き、新羅と大和朝廷の仲介役を果たした可能性を示唆している。

【タイトル】 勝本城跡

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>**胜本城遗址**

被指定为国家史迹的胜本城位于一座山丘上，它是武将丰臣秀吉(1537-1598)在出兵朝鲜半岛时火速建造的城防工事，曾短暂地发挥了要塞的作用。在统一日本后，雄心勃勃的丰臣秀吉又把目标指向了通过朝鲜半岛征服中国明朝。为了远征朝鲜，他命令家臣在壹岐岛和对马岛上建造了可容纳 15 万大军的兵站基地。包括位于壹岐北缘的胜本在内，每一处基地都建立了一座要塞，以便丰臣秀吉在那里亲自督战。

胜本城于 1591 年仅用 4 个月的时间就建成了。它以一处海拔 80 米、面积 90×40 米的椭圆形台地为中心，可以俯瞰远征军在渡海前往对马岛之前停泊船只的海湾。然而，由于丰臣秀吉的健康状况不佳，这次远征以失败告终。17 世纪早期，德川幕府恢复了与朝鲜的外交关系，并放弃使用在壹岐岛和对马岛上的城防要塞，以示和平。

胜本城遗址上，如今只剩下入口和环绕中心防御区的部分石墙。在古代，要让一座要塞丧失防御功能，大可不必摧毁整座城郭，只需拆除城墙角石即可。胜本城也如此，除了昔日几处瞭望塔的墙角之外，其余的城墙基本保存完好。现在，胜本城遗址已被改造为一个公园，在这里可一览村庄和胜本港美景。

<繁体字>**勝本城遺址**

勝本城是武將豐臣秀吉（1537-1598）在出兵朝鮮半島時火速建造的城防工事，曾短暫地發揮了要塞的作用。它位於一座山丘上，現在已被指定為國家史跡。在統一日本後，雄心勃勃的豐臣秀吉又把目標指向了通過朝鮮半島征服中國明朝。於是，他命令家臣在壹岐島和對馬島上建造可容納 15 萬大軍的兵站基地，企圖遠征朝鮮。包括位於壹岐北緣的勝本在內，每一處基地都建了一座要塞，以便豐臣秀吉在那裡親自督戰。

1591 年，勝本城只用了 4 個月的時間就建成了。它以一處海拔 80 公尺、面積 90×40 公尺的橢圓形台地為中心，可以俯瞰遠征軍渡海前往對馬島之前停泊船隻的海灣。然而，由於豐臣秀吉健康狀況不佳，這次遠征以失敗告終。17 世紀早期，德川幕府恢復了與朝鮮的外交關係，為了表示和平的立場態度，便放棄使用在壹岐島和對馬島上的城防要塞。

勝本城遺址上，如今只剩下入口和環繞中心防禦區的部分石牆。在古代，要讓一座要塞喪失防禦功能，只需拆除城牆角石即可，不必摧毀整座城郭。勝本城也如此，除了昔日

幾處瞭望塔的牆角之外，其餘的城牆基本保存完好。現在，勝本城遺址已被改造為一個公園，在這裡可一覽村莊和勝本港的美景。

<日本語仮訳>

勝本城跡

丘の上に位置した勝本城は、国の史跡に指定されている。勝本城は、豊臣秀吉（1537-1598）が朝鮮半島に侵攻する際に急遽築いた城郭で、短命であった。日本を統一した秀吉は、次に朝鮮半島を経由して明（中国）を征服することを目指した。秀吉は朝鮮半島に進攻するため、壱岐と対馬に15万人規模の大軍のための兵站基地を築くよう家臣に命じた。壱岐の北端の勝本をはじめ、各拠点には秀吉が自ら作戦を指揮できるような城を建てることになった。

勝本城は1591年にわずか4カ月で築城された。対馬に渡る前に船を停泊させる入江を見下ろす、海拔80メートルの90×40メートルの楕円形の敷地を中心にした城である。しかし、秀吉の体調が優れなかったため遠征もままならなかった。そして結局は侵攻も失敗に終わったのである。1600年代初頭、徳川幕府は朝鮮との国交を回復し、和平の意思表示として秀吉の壱岐・対馬の駅城を廃城にした。

勝本城跡はいま、入口と主曲輪を囲んでいた石垣の一部だけが残っている。その昔、城郭を防衛上役に立たないようにするためによく使われる方法として、城をすべて取り壊すことなく、隅石だけを取り除いた。勝本城も例外ではない。物見櫓があった角の部分を除き、城壁の原型はほぼとどめている。現在、勝本城跡は集落と勝本港を見渡せる公園になっている。

【タイトル】 岳ノ辻

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>**岳之辻**

壹岐島地勢平坦，其最高峰是海拔 213 米的岳之辻（音同“十”）。从山顶可以俯瞰岛上众多的小海湾、森林覆盖的丘陵以及原之辻遗址所在的深江田原。天气晴朗时，对马岛和九州都能尽收眼底。

山顶一览无余的开阔视野，令岳之辻自古便具有重要的战略意义。7 世纪时，这里可能有一座烽火台，遇外敌威胁时，可从对马岛向壹岐岛及九州预警。江户时代(1603-1867)，德川幕府严格控制与海外的交流，岳之辻则用来监视周围水域的船只。

如今，有一条道路通往岳之辻山顶，即使乘坐轮椅也能轻松前往山顶观景台。

<繁体字>**岳之辻**

壹岐島地勢平坦，其最高峰是海拔 213 公尺的岳之辻（音同「十」）。從山頂可以俯瞰島上眾多的小海灣、森林覆蓋的丘陵以及原之辻遺址所在的深江田原。天氣晴朗時，對馬島和九州都能盡收眼底。

因為山頂一覽無餘的開闊視野，岳之辻在自古便具有重要的戰略意義。7 世紀，這裡可能有一座烽火台，遇到外敵威脅時，可從對馬島向壹岐島及九州預警。江戶時代（1603-1867），德川幕府則透過岳之辻山頂來監視周圍水域的船隻，嚴格控制與海外的交流。

如今，已經有一條道路通往岳之辻山頂，即使乘坐輪椅也能輕鬆前往山頂觀景台。

<日本語仮訳>**岳ノ辻**

標高 213m の岳ノ辻はほぼ平坦な壹岐で最も高い山である。山頂からは数々の入江や森林丘陵、原の辻遺跡のある深江田原の平野などを見渡すことができる。晴れた日には対馬や九州本土も一望できる。

岳ノ辻はその山頂からの眺望のよさから、古くから戦略上重要な場所であった。7 世紀には、対馬から壹岐、そして九州へと外敵の脅威を知らせる信号が送られる「烽火」が設置されたと考えられている。

る。徳川幕府が外国との交流を厳しく制限していた江戸時代（1603-1867）には、近海を行き交う船を監視するために使われた。

現在、岳ノ辻の上までは道路が整備され、頂上の展望台は車椅子でも容易にアクセスできる。

【タイトル】カラカミ遺跡

【想定媒体】パンフレット

<簡体字>

唐神村落遗址

唐神村落位于壹岐岛西北部的一座山丘顶上，靠近片苗湾。在公元纪年后初期，它是岛上最大的聚居点之一。据说当时的居民以捕鱼、狩猎和打铁为生。

当地废铁碎片和熔炉遗迹等考古发现表明，唐神村民可能在朝鲜半岛和日本本土之间的古代铁器贸易中扮演着中介的角色。他们从铁器生产技术比日本发达的朝鲜半岛购得铁制品，加以改进和强化之后，销往九州和日本各地。在村落遗址中发现的大量来自朝鲜半岛的陶器也证明了唐神与朝鲜的关系。

此外，唐神村落还出土了日本已知最古老的家猫骸骨。由此表明，除了引进了先进的炼铁技术之外，村民们或许将如今人们再熟悉不过的宠物也带到了日本。

<繁体字>

唐神村落遗址

唐神村落位於壹岐島西北部的一座山丘頂上，靠近片苗灣。在西元紀年後初期，它是島上最大的聚落之一。據說當時的居民以捕魚、狩獵和打鐵為生。

當地考古發現了廢鐵碎片和熔爐遺跡，由此推知，唐神村民可能在朝鮮半島和日本本土之間的古代鐵器貿易中扮演著掮客的角色。他們從鐵器生產技術比日本發達的朝鮮半島購得鐵製品，將其改進和強化之後銷往九州和日本各地。在村落遺址中發現的大量來自朝鮮半島的陶器也證明了唐神與朝鮮的關係。

此外，唐神村落還出土了日本已知最古老的家貓骸骨。由此表明，除了引進了先進的煉鐵技術之外，村民們或許將如今人們喜愛不已的寵物也帶到了日本。

<日本語仮訳>

カラカミ遺跡

壹岐の北西部、片苗湾に近い丘の上にあるカラカミは、紀元後初期には島で最も大きな集落の1つであった。集落の人々は漁業、狩猟、鉄工で生計を立てていたと考えられている。

鉄くずや炉の遺構などの考古学的発見から、カラカミ集落の人々は古代の朝鮮半島と日本本土の鉄の交易の仲介役を担っていた可能性がある。日本より早く鉄の生産技術が発達していた朝鮮半島

から鉄製品を入手し、それを改良・補強して九州など日本各地で販売したと考えられる。カラカミと朝鮮半島との関係は、集落跡から発見された朝鮮半島産の土器が証明している。

また、日本最古のイエネコの骨が出土していることから、高度な製鉄技術を日本に伝えただけでなく、身近な愛玩動物の持ち込みにも一役買っていた可能性がある。

【タイトル】 生池城跡

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

生池城遗址

16 世纪中叶，日本各地军阀混战，局势动荡不安，一群被称为“松浦党”的武士时为商人、时为海盗，在包括壹岐岛和五岛在内的九州西北部活动。他们沿着朝鲜半岛海岸进行贸易或抢劫，以及在日本本土做生意，不但积累了可观的财富，还在政治上获得了一定程度的独立。

松浦党的领袖人物之一是出身壹岐的源壹，据说他在该岛中部的一座山丘顶上建造了生池城。这座要塞是战时最后的避难所，平时并无人驻守。核心区域位于一块 150×100 米的平整台地上，外围三层土墙和两条干壕沟。进入要塞需要通过壕沟上 4 座狭窄的土桥，壕沟两侧各有一座。土桥建在醒目之处，目的是将敌人引诱至狭小区域，再从上方瞄准，一举歼灭。

如今，壕沟和土桥几乎完好无损，在山丘顶还可以看到要塞的部分城墙。从附近的停车场可徒步前往生池城遗址。

<繁体字>

生池城遗址

16 世紀中葉，日本局勢動盪不安，各地軍閥混戰。一群武士在包括壹岐島和五島在內的九州西北部活動，他們時為商人時為海盜，被稱為「松浦黨」。他們透過在朝鮮半島海岸進行的貿易和搜刮，以及在日本本土做生意，不但積累了可觀的財富，同時還獲得了一定程度的政治獨立。

松浦黨的領袖人物之一是出身壹岐的源壹，據說他在該島中部的一座山丘頂上建造了生池城。這座要塞是遇敵時最後的避難所，平時並無人駐守。核心區域位於一片 150×100 公尺的平整台地上，外圍三層土牆和兩條乾壕溝。進入要塞需要通過壕溝上 4 座狹窄的土橋，壕溝兩側各有一座。土橋建在醒目之處，目的是引誘敵人進入狹小區域，便於從上方瞄準一舉殲滅。

如今，在山丘頂還可以看到要塞的部分城牆，壕溝和土橋幾乎完好無損。從附近的停車場可步行前往生池城遗址。

<日本語仮訳>

生池城跡

日本の統治をめぐる戦国武将が争っていた16世紀半ば、香岐・五島を含む九州北西部を拠点に、武士であり商人・海賊でもあった松浦党が活動していた。彼らは朝鮮半島の沿岸で貿易や海賊行為、日本本土での商売を通じて大きな利益を得るとともに、一定の政治的な独立も果たした。

松浦党の有力者の一人は香岐の源吉であり、島の中央部の丘の上に生池城を築いたとされる。この城は、最後の砦として設計されたもので、平時は無人の城であったと思われる。メインエリアは150×100メートルの平坦な土地で、三重の土塁と二重の空堀で守られていた。堀にかかる狭い土橋は計4か所あり、左右に1か所ずつ、上から狙いやすい狭い場所に敵をおびき寄せるために、目立つように作られていた。

堀と土橋は現在もほぼ完全な形で残っており、丘の上では城壁の一部を見ることができる。城跡は近くの駐車場から徒歩で簡単にアクセスできる。

【タイトル】 内海湾

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>**内海湾**

古代，往来于壹岐岛与对马岛、朝鲜半岛和九州之间的商人会将船只停泊在壹岐东侧的内海湾，然后将货物重新装载到较小的船只上，继续沿着浅浅的幡铎川逆流而上 1.5 公里，最终到达中心聚落“原之辻”（音同“十”）的码头。大约在公元前 200 年至公元 350 年间，原之辻是“壹岐国”繁荣的都城。当时，“国”是日本古代的行政区划，有别于国家。

如今内海湾的主要景点是小岛神社，这里供奉着与海洋和渔业有关的神明，是壹岐岛诸多神社中颇具代表性一处充满能量的气场(power spot)。神社位于一座小岛上，退潮时能经由海中露出的沙洲步行前往，涨潮时则可乘坐舢板船到达。

<繁体字>**內海灣**

古代，往來於壹岐島與對馬島、朝鮮半島和九州之間的商人會將船隻停泊在壹岐東側的內海灣，然後將貨物重新裝載到較小的船隻上，繼續沿著淺淺的幡铎川逆流而上 1.5 公里，最終到達中心聚落「原之辻」（音同「十」）的碼頭。大約在西元前 200 年至西元 350 年間，原之辻是「壹岐國」繁榮的都城。當時，「國」是日本古代的行政區劃，有別於國家。

如今內海灣的主要景點是小島神社，這裡供奉著與海洋和漁業有關的神明，是壹岐島眾多神社中頗具代表性的一處充滿能量的氣場（power spot）。神社位於一座小島上，退潮時能經由海中露出的沙洲步行前往，漲潮時則可乘坐舢板船到達。

<日本語仮訳>**内海湾**

壹岐の東側にある内海湾は、古くから対馬や朝鮮半島、九州との間を行き来する商人が、中心集落である原の辻に近づく前に船を停泊させた場所である。湾に到着した船は、浅い幡铎川を遡上できる小型の船に荷物を積み替え、原の辻の船着き場まで 1.5 キロ川を遡上する。原の辻は紀元前 200 年頃から紀元後 350 年頃まで「壹岐国」（古代日本の行政区画、現在の「国」と異なる）の王都として栄えたところである。

湾内の主要な観光名所である小島神社は、海や漁業にまつわる神々を祀る神域であり、吉岐に多くある神社の中でも代表的なパワースポットです。干潮時に海から現れる砂州を伝って行ける小島にある。満潮時は伝馬船で行くことができる。

【タイトル】 壹岐の神社と壹岐神楽

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

壹岐的神社和壹岐神乐

壹岐岛上坐落着许多祭祀海神、航海神和战神的古老神社，这不仅反映了海洋在本地人生活中举足轻重的地位，还印证了壹岐岛历来是与外国势力接触的前沿阵地。

10 世纪面世的《延喜式》是一部由朝廷编制的律令实施细则汇编，里面列出了该时期日本所有重要的神社。书中记录了壹岐岛上 100 多座神社中的 20 余座。在这个偏远的小岛上，居然有如此多的宗教场所能够入选重要文献，可见当时的朝廷十分看重壹岐的地缘战略意义。

数百年以来，这些神社也一直是“神乐”的表演场所。神乐是一种结合了舞蹈和音乐的古老表演艺术，通常在秋收时分举行，旨在感谢神灵赐予丰收。不同地区的神乐都有自己的特色，而被指定为国家重要非物质文化遗产的壹岐传统神乐更为特别。它仪式感强，基本没有其他地区神乐里的娱乐元素，唯有神官及其家人才能表演。壹岐神乐共有大约 35 个剧目，都源自岛上神社世代相传的故事。其中既有以日本创世神话为主题的庄严剧情，也有包含了相扑和杂耍要素的表演，并都限定在两叠榻榻米的狭小空间内进行。

壹岐神乐是为了迎接和取悦神明而进行的表演，尽管大多在秋季和冬季进行，但传统上与特定的日子或时间无关。每年向公众开放的最庄重正式的表演有两场：一场 8 月在筒城滨上演，一场 12 月在住吉神社上演，剧目均为《大大神乐》，住吉神社的专场长达 7 小时。

<繁体字>

壹岐的神社和壹岐神樂

壹岐島上遍布著與海神、航海神和戰神有關的古老神社，這不僅反映了海洋與本地人的生活息息相關，同時印證了這座島嶼是古往今來與外來者接觸的前沿陣地。

10 世紀問世的《延喜式》是一部由朝廷編製的律令實施細則匯編，書中列出了該時期日本所有重要的神社，提及了壹岐島上 100 多座神社中的 20 多座。在這座偏遠的小島上，居然有如此多座神社能夠入選，表明了當時的大和朝廷認為壹岐具有重要的戰略意義。

數百年以來，這些神社一直是「神樂」的表演場所。神樂是一種結合舞蹈和音樂的古老表演藝術，通常在秋收時分舉行，以感謝神明賜予豐收。不同地區的神樂各有千秋，而被指定為國家重要非物質文化財產的壹岐傳統神樂更為獨特。它帶有強烈的儀式感，基本

不具備其他地區神樂裡的娛樂元素，且只有神官及其家人才能表演。壹岐神樂共有約 35 個劇目，都源自島上各家神社世代口口相傳的故事。其中既有日本創世神話場景的莊嚴重現，也有包含相撲和雜耍的雜技表演，並都限定在只有兩疊榻榻米的空間內進行。

壹岐神樂是為了迎接和取悅神明的表演，儘管大多在秋季和冬季進行，但傳統上與年中特定的日子或時間無關。每年向大眾開放的最為莊重正式的表演有兩場：一是 8 月在筒城濱舉行，一是 12 月在住吉神社舉行，劇目均為《大大神樂》，住吉神社那場全長 7 小時。

<日本語仮訳>

壹岐の神社と壹岐神樂

壹岐には海の神、航海の神、戦いの神を祀る古代の神社が存在し、地元の人々の生活にとって海が重要であったこと、この島が歴史的に外国勢力との争いの最前線に位置していたことを物語っている。

10 世紀に朝廷が法の施行細則をまとめ、当時の日本全国の神社が列挙されている「延喜式」には、壹岐にある 100 以上の神社のうち 20 数社が記載されている。小さな島にこれほど多くの宗教施設がこの重要な書物に記載されていることは、当時の朝廷が壹岐を戦略的に重要な場所とみなしていたことを窺わせる。

これらの神社は何百年もの間「神樂」の奉納場所としても機能していた。神樂とは一般的に、秋の収穫の時期に、豊作を神に感謝するために舞や音楽を奉納するものである。地域によってさまざまな種類があるが、国の重要無形文化財にも指定されている壹岐の神樂は、かなり独特なものである。非常に儀式的色彩が強く、他の地域で見られるような娯楽的な要素はあまりない。神職とその家族だけが、島の神社で代々口伝されてきた約 35 の演目を演じることが許されている。創造神話を再現する厳かなものから、相撲や曲芸の要素を取り入れたアクロバティックなものまで、さまざまな演目があり、すべてたたみ 2 畳の内で舞う。

壹岐の神樂は、神々を迎えもてなすために演じられるもので、伝統的に特定の日や時期とは関係がなく、おおむね秋から冬にかけて各神社で行われている。一般公開される最も厳粛な演目として、8 月には筒城浜、12 月には住吉神社で 7 時間にも及ぶ「大大神樂」がある。

【タイトル】金田城跡

【想定媒体】パンフレット

<簡体字>

金田城遗址

公元 7 世纪晚期，大和朝廷在对马岛上建造了一座庞大的山顶要塞——金田城，它是日本为了防止中国唐朝和朝鲜半岛的新罗王国入侵而建立的防御网络的一环。海拔 276 米的城山位于对马岛中部的浅芽湾南端，山坡上至今还保留着一长段高达 6 米的石墙。天气晴朗时，从山顶可以远眺朝鲜半岛。金田城遗址现已被指定为国家特别史迹。

663 年，唐朝与新罗结盟，征服了大和朝廷在朝鲜半岛的长期盟友百济，使日本在东亚孤立无援。面对唐朝的强大势力，大和朝廷担心受到来自亚洲大陆的攻击，召集渡过日本海逃到此地的百济军官和工程师，在九州边境岛屿和濑户内海沿岸建造朝鲜风格的堡垒。大和朝廷认为，敌人可能会沿着这条路线攻向当时的首都飞鸟（今奈良县）。

金田城是防御网络的第一道防线。城山的峭壁使要塞西侧易守难攻，东侧和山顶周围则修建了高大的石墙来抵御入侵者。要塞的入口设在南面，需要通过几道门才能到达东面山坡上的平地。据推测，驻守要塞的士兵就住在这块平地上，轮班在城墙和山顶巡逻。

不过，唐朝—新罗联盟在入侵日本之前就已瓦解，金田城也因此失去了意义。1901 年，日本帝国陆军工兵队修建了一条通往山顶的道路，并设置了一个炮台，将金田城改造成一座现代化军事设施。如今，当时的道路成为了供游客徒步的 2.4 公里登山道，沿途还会经过几段古代石墙。如果天公作美，大约 1 小时就能到达山顶。

<繁体字>

金田城遗址

西元 7 世紀晚期，當時的大和朝廷在對馬島上建造了一座龐大的山頂要塞——金田城，它是日本為了防止中國唐朝和朝鮮半島的新羅王國入侵而建的防禦網的一環。位於對馬島中部淺芽灣南端的城山海拔 276 公尺，坡上至今還保留著一長段高達 6 公尺的石牆。天氣晴朗時，從山頂可以遠眺朝鮮半島。金田城遺址現已被指定為國家特別史跡。

663 年，唐朝與新羅結盟，征服了大和朝廷在朝鮮半島的長期盟友百濟，使日本在東亞孤立無援。唐朝勢力強大，大和朝廷擔心會受到來自亞洲大陸的攻擊，便召集逃過日本海的百濟軍官和工程師，在九州的邊境島嶼和瀨戶內海沿岸建造了朝鮮風格的堡壘，因為大和朝廷認為敵人可能會沿著這條路線攻向當時的首都飛鳥（今奈良縣）。

金田城は防禦網の第一道防線。城山の峭壁使要塞西側易守難攻，東側和山頂周圍則修建了高大的石牆來抵禦入侵者。要塞の入口設在南面，需要通過幾道門才能到達東面山坡上的平地。據推測，駐守要塞的士兵就住在這塊平地上，輪班在城牆和山頂巡邏。

不過，唐朝—新羅聯盟在入侵日本之前就已瓦解，金田城也因此失去了意義。1901年，日本帝國陸軍工兵隊將金田城改造成一座現代化軍事設施，不但修建了一條通往山頂的道路，還設置了一個炮台。如今，當時的道路成為了供遊客健行的 2.4 公里登山道，沿途還會經過幾段古代石牆。如果天氣允許，大約 1 小時就能到達山頂。

<日本語仮訳>

金田城跡

7 世紀後半に、大和朝廷が中国・唐と朝鮮半島の新羅の侵略から日本を守るための防衛網の一環として、対馬に広大な山頂の要塞「金田城」を築いた。対馬中部の浅茅湾の南端に位置する標高 276m の城山には、高さ 6m にも及ぶ石塁が長い区間で残っている。晴れた日には山頂から朝鮮半島が見える。金田城遺跡は国の特別史跡に指定されている。

663 年に中国・唐と新羅が大和朝廷と同盟関係にあった朝鮮半島の百済を滅ぼし、日本だけが東アジアで唐の勢力に対抗することになったため、大和朝廷はアジア大陸からの攻撃を恐れていた。日本海を渡って逃れてきた百済の士官や技術者たちは、敵が現在の奈良県に位置する首都の飛鳥に向かうであろう九州の国境の島々と瀬戸内海沿岸に、朝鮮式の城を築くために召集された。

金田城はその最初の防衛線であった。城山は断崖絶壁で西側の防御は容易であり、東側と山頂付近には高い石塁が築かれ、侵入を防いだ。城への入口南側に設置してあり、そこから何重もの門をくぐって、東側の丘の中腹にある平地にたどり着く。城に駐屯していた衛兵はここに住み、交代で城壁や山頂を巡回していたと考えられている。

日本への侵攻が実現する前に唐・新羅同盟は崩壊し、金田城の存在意義は失われた。1901 年に日本陸軍の工兵隊が山頂まで道路を敷き、砲台を設置し、近代的な軍事施設に生まれ変わった。現在、山頂までの 2.4 キロのハイキングコースがあり、この道路を使い散策の途中に、古代の石壁のいくつかを通り過ぎる。天候に恵まれれば、山頂までは 1 時間ほどで到達できる。

【タイトル】 豆酛の赤米行事

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>**豆酛村的赤米祭神**

对马岛南部的豆酛（音同“豆”）村至今保留着稻米祭神的传统，这可能是岛上现存最古老的宗教仪式。每年，人们都会在村里某一家的天花板上悬挂一大草袋稻米，据说里面聚集了神明之灵，以此祈求神祇保佑，并表达感激之情。祭神用的浅红色大米品种被认为是在公元后不久从中国传入对马，由此可见这里与亚洲大陆的古老关系。

每年夏天，豆酛村的村民都会在一片神圣的稻田里种植祭祀用的稻米，那里不允许使用人畜粪便或其他不洁物质制成的肥料。然后，村民们会在第二年的农历一月初十，通常是二月的某一天，聚集在悬挂圣米的人家，取下旧稻米袋，吃掉其中的一部分，再将去年秋天新收获的稻米装入新米袋传给下一户人家。新米袋还是要悬挂在天花板上，直到来年的祭神仪式。不过，现在豆酛村只有一户人家仍在延续这一习俗，所以稻米袋一直悬挂在这家，每年更换一次。

<繁体字>**豆酛村的赤米祭神**

對馬島南部的豆酛（音同「豆」）村至今保留著稻米祭神的傳統，這可能是島上現存最古老的宗教儀式。每年，人們都會在村裡某一家的天花板上懸掛一個大草袋，裡頭裝滿稻米，據說米袋聚集了神明之靈。村民以此祈求神祇保佑，並表達感激之情。祭神用的淺紅色大米品種被認為是在西元後不久從中國傳入對馬，由此可見這裡與亞洲大陸的古老關係。

每年夏天，豆酛村的村民都會在一片神聖的稻田裡種植祭祀用的稻米，那裡不允許使用人畜糞便或其他汙穢物製成的肥料。然後，村民們會在第二年的農曆一月初十，通常是二月的某一天，聚在懸掛著聖米的人家，取下舊稻米袋，吃掉其中的一部分，再將去年秋天新收穫的稻米裝入新米袋傳給下一戶人家。新米袋還是要懸掛在天花板上，直到來年的祭神儀式。不過，現在豆酛村只有一戶人家仍在延續這一習俗，所以稻米袋一直懸掛在這家，每年更換一次。

<日本語仮訳>**豆酛の赤米行事**

対馬の南部、豆酛の集落に伝わる赤米行事は、現存する島内最古の宗教行事のひとつとされている。神の霊が宿るとされる米俵を毎年、村のある家の天井から吊るし、神の庇護と感謝の意を表すというものだ。行事に使われる米はほのかに赤みを帯びており、紀元後初期に中国から伝わったとされ、大陸とのつながりが感じられる。

毎年夏になると、動物や人間の排泄物など穢れたものを使用した肥料を一切使ってはいけない神聖な田んぼで、豆酛の人々は神事に使う米を作る。旧暦の1月10日、通常2月頃に、村人たちは前年の神聖な米を保管していた家に集まるのが習わしとなっている。そして、その年の秋に収穫された米を新しい米俵に詰め、前の年の米俵を天井から取り外して一部を食べる。新しい俵は次の家に引き継がれ、翌年の神事まで天井から吊るされる。現在では、豆酛の一軒だけがこの習慣を守っているため、俵は同じ家に保管され、年に一度だけ詰め替えられる。

【タイトル】 万松院と宗家墓所

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

万松院和宗家族陵园

从 13 世纪至 19 世纪晚期，“宗”家族一直是对马的领主。他们的家庙“万松院”坐落于严原町西缘的清水山麓，山坡上占地面积广阔的家族陵园内，坐落着 1615 年以来的族人坟墓。这里是日本三大墓园之一，也是国家指定史迹。1615 年，宗义成(1604-1657)为纪念父亲宗义智(1568-1615)创建了这座寺庙，并以宗义智的戒名将其命名为万松院。毗邻寺庙的金石城则是宗家族的据点和主要居城。

进入万松院必须走红色山门旁的一条小路。山门是寺庙内唯一留存的原始建筑，其他建筑均在毁于火灾后重建。山门两侧各立一尊仁王像，据说能避邪并保护寺庙。

过了山门就是本堂（正殿），殿内有一套青铜制“三具足”——一盏龟上鹤烛台、一座狮子盖钮香炉和一个圆锥形花瓶。这些都是朝鲜国王为吊唁宗家族的一位家主而赠送的奠仪。朝鲜王朝与宗家族关系密切，而宗家族在整个江户时代(1603-1867)一直负责朝鲜与德川幕府之间的外交事务，同时垄断着与朝鲜的贸易。万松院曾收藏过更多此类金属器皿，但都在二战期间被熔化充当军用了。

从本堂出发，沿 132 级石阶往上可到达宗家族陵园。陵园的最上层是“上御灵屋”，耸立着三棵巨大的杉树，这里安葬着宗家族的领主及其夫人和成年子女。陵墓的大小因各时期对马藩的显赫和富裕程度而异。17 世纪后半叶，对马与朝鲜之间的贸易繁荣兴盛，因此宗义成和他的继任者宗义真(1639-1702)的陵墓最大。陵园下层是其他家族成员的墓地，包括侧室和早逝的子女。

<繁体字>

萬松院和宗家陵園

從 13 世紀至 19 世紀晚期，「宗」家一直是對馬的領主。他們的家廟「萬松院」坐落於嚴原町西緣的清水山麓，山坡上佔地廣闊的家族陵園內，坐落著 1615 年以來的族人墳墓。這裡是日本三大墓園之一，也是國家指定史跡。1615 年，宗義成（1604-1657）為紀念父親宗義智（1568-1615）創立了這座寺廟，並以宗義智的戒名將其命名為萬松院。毗鄰寺廟的金石城則是宗家的據點和主要居城。

進入萬松院必須走紅色山門旁的一條小路。這扇大門是寺目前廟內唯一留下來的原始建築，其他建築均是在毀於火災後新修建的。山門兩側各立一尊仁王像，據說能避邪並保庇寺廟。

過了山門就是本堂（正殿），殿內有一套青銅製「三具足」——一盞龜上鶴燭台、一座獅子蓋鈕香爐和一個圓錐形花瓶。這些是朝鮮國王為弔唁宗家的一位家主而贈送的奠儀。而宗家在整個江戶時代（1603-1867）一直負責朝鮮與德川幕府之間的外交事務，與朝鮮王朝關係密切，同時壟斷著與朝鮮的貿易。萬松院曾收藏過更多此類金屬器皿，但都在二戰期間被熔化充當軍用了。

從本堂出發，沿 132 級石階往上可到達宗家族陵園。陵園的最上層是「上御靈屋」，聳立著三棵巨大的杉樹，這裡安葬著宗家的領主及其夫人和成年子女。陵墓的大小因不同時期對馬藩的顯赫和富裕程度而異。17 世紀後半葉，對馬與朝鮮之間的貿易繁榮興盛，因此宗義成和他的繼任者宗義真（1639-1702）的陵墓最大。陵園下層是其他家族成員的墓地，包括側室和早逝的子女。

<日本語仮訳>

万松院と宗家墓所

万松院は、13 世紀から 19 世紀後半まで対馬の領主であった宗家の菩提寺である。この寺は厳原の町の西端、清水山の麓に位置し、山の中腹には 1615 年以降の宗家の墓がある広大な墓地がある。ここは日本三大墓地の一つと言われ、国指定史跡でもある。宗義成（1604-1657）が父・義智（1568-1615）を偲び、義智の戒名をとって万松院と名付け、1615 年に創建した。寺に隣接した金石城は、宗家の本拠地であり、主な居城であった。

万松院は、赤い山門の横の道を通って入ることになっている。山門は境内に残る唯一のオリジナルの建造物とされており、ほかの建物は火災で消失し、その後再建されたものである。山門の両側には魔除けや寺の守護神として信仰されている仁王像が 1 体ずつ立っている。

境内に入ると本堂があり、そこには 3 つの青銅製祭具「三具足」が納められている。亀の上に鶴が乗っている燭台、蓋に獅子を模った香炉、円錐型の花立が納められている。これらは宗家の家主死去に対する弔意として、朝鮮国王から贈られたものである。朝鮮王朝は、江戸時代を通じて朝鮮と徳川幕府の間の外交を担当し、また朝鮮との貿易を独占していた宗家と緊密な関係を保っていた。万松院はかつてこのような金属製の道具を数多く所有していたが、第二次世界大戦中に軍用として徴用され、溶かされてしまった。

本堂から 132 段の石段を登ると、宗家の墓地がある。最上部の上御靈屋には、3 本の杉の巨木がそびえ立ち、領主の墓とその妻や成人した子供たちの墓がある。墓の大きさは対馬藩の隆盛期と富裕期によって異なる。朝鮮貿易で栄えた 17 世紀後半の対馬の隆盛を反映し、義成の墓とその後継者である義真（1639-1702）の墓が最も大きい。墓地の下層には側室や幼くして亡くなった子供など、他の一族の墓がある。

【タイトル】 黒瀬の仏像

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

黒瀨的佛像

在浅茅湾最里侧的黑瀨渔村，有两尊青铜佛像被供奉在一座简陋的祠堂里，它们象征了对马和朝鲜半岛之间悠久而复杂的关系。

其中一尊可能是阿弥陀佛，据说铸造于8世纪朝鲜半岛的新罗王国。佛像高46厘米，被认为是当时最大的新罗造佛像，已被指定为国家重要文化财产。雕像的身体和基座有明显的灼烧痕迹。这尊珍贵的艺术品是如何流落到黑瀨的已不得而知，但自古本地人便一直将其视为安全分娩的守护神供奉。

另一尊菩萨像据说是14世纪晚期铸造于朝鲜。它的部分身躯和底座也在火灾中熔化。本地人认为，这尊佛像是男性，而新罗造的佛像则是女性。

通常，供奉佛像的祠堂会上锁，但可以联系对马市政府安排参观。

<繁体字>

黑瀨的佛像

在淺茅灣最裡側的黑瀨漁村，有兩尊青銅佛像被供奉在一座簡陋的祠堂裡，它們象徵了對馬和朝鮮半島之間悠久而複雜的關係。

其中一尊可能是阿彌陀佛，據說鑄造於8世紀朝鮮半島的新羅王國。佛像被認為是當時最大的新羅造佛像，高46公分，已被指定為國家重要文化財產。雕像的身體和基座有明显的灼燒痕跡。自古本地人便一直將其視為安全分娩的守護神供奉，但這尊珍貴的藝術品是如何流落到黑瀨的卻已不得而知。

另一尊菩薩像據說是14世紀晚期鑄造於朝鮮。它的部分身軀和底座也在火災中熔化。本地人認為，這尊佛像是男性，而新羅造的佛像則是女性。

通常，供奉佛像的祠堂會上鎖，但可以聯繫對馬市政府安排參觀。

<日本語仮訳>

黒瀨の仏像

浅茅湾の最奥部に位置する黒瀨の漁村のある質素なお堂に、対馬と朝鮮半島の長く複雑な関係を象徴するようなブロンズ像が2体祀られている。

1つは8世紀に新羅で鑄造されたとされる如来像（阿弥陀如来の可能性もある）。高さ46センチのこの仏像は、当時の新羅製の仏像としては最大のものとされ、国の重要文化財に指定されている。像の胴体や座面には大きく焼けた跡が見られる。この貴重な作品がどのような経緯で黒瀬に来たのかは不明だが、地元では古くから安産の守護神として信仰を集めてきた。

もう一体の菩薩像は、14世紀後半に朝鮮で制作されたと推定されている。こちらも火災により、胴体や台座の一部が溶けて塊になっている。地元では伝統的にこの像は男性、新羅の仏像は女性とされていた。

像を納めるお堂は施錠されているが、対馬市役所に問い合わせれば見学は可能である。

【タイトル】 清水山城跡

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

清水山城遗址

清水山城是位于清水山山脊上的一座狭长形要塞，俯瞰着如今的严原町，其遗址已被指定为国家史迹。要塞建于16世纪晚期，当时，武将丰臣秀吉(1537-1598)正计划出兵朝鲜半岛，清水山城很可能是为了迎接他的到来配合山脚下金石城的防御体系而建。

16世纪90年代早期，丰臣秀吉在击败了国内所有对手统一日本之后，计划通过朝鲜半岛征服中国明朝。远征军将从壹岐和对马渡海出发，丰臣秀吉命令家臣在岛屿上建立据点以容纳15万大军。每一处据点还要修筑一座能让丰臣秀吉亲自督战的城防要塞。在严原，统治对马的“宗”家族根据地“金石城”就是其中一处。

清水山城可俯视金石城，由三段防御区构成，其中两处沿山脊而建，另一处则位于206米高的山顶，从上至下分别被称为一之丸、二之丸和三之丸。从金石城遗址到清水山城的三之丸遗址有一条登山道相连。三之丸海拔约100米，可以俯瞰严原町中心部和港口。从三之丸遗迹沿着山脊有一条大约500米长的徒步小道通往另两处防御区，道路旁均筑有石壁加固。一之丸和三之丸这两处遗址保存相对完好，其入口和石墙清晰可辨。

<繁体字>

清水山城遗址

清水山城是位於清水山山脊之上的一座狹長形要塞，俯瞰著如今的嚴原町，其遺址已被指定為國家史跡。要塞建於16世紀晚期，當時，武將豐臣秀吉（1537-1598）正計劃出兵朝鮮半島，清水山城很可能是為了迎接他的到來，配合山腳下金石城的防禦體系而建。

1590年代早期，豐臣秀吉擊敗國內所有對手統一了日本，隨後他打算透過朝鮮半島征服中國明朝。遠征軍將從壹岐和對馬渡海出發，豐臣秀吉命令家臣在島嶼上建立據點，以容納15萬大軍，同時，每一處據點還要修築一座讓他可以親自督戰的城防要塞。在嚴原，統治對馬的「宗」家根據地「金石城」就是其中一處。

清水山城可俯視金石城，由三段防禦區構成，其中兩處沿山脊而建，一處位於206公尺高的山頂，從上至下分別被稱為一之丸、二之丸和三之丸。從金石城遺址到清水山城的三之丸遺址有一條登山道相連。三之丸海拔約100公尺，可以俯瞰嚴原町中心部和港口。從三之丸遺跡沿著山脊有一條大約500公尺長的徒步小道通往另兩處防禦區，道旁均築有石壁加固。一之丸和三之丸這兩處遺址保存相對完好，其入口和石牆清晰可辨。

<日本語仮訳>

清水山城跡

国の史跡に指定された清水山城は 16 世紀後半に、清水山の稜線に沿って現在の巖原町を見下ろすように築かれた細長い城だった。当時、朝鮮半島への侵攻を計画していた豊臣秀吉（1537-1598）の来訪に備え、山麓の金石城の防御を補完する目的で築かれたようである。

1590 年代初頭、秀吉は国内の敵をすべて倒して日本を統一した後、朝鮮半島を経由して明（中国）を征服することに目を向けていた。秀吉は壱岐と対馬に 15 万人の軍勢の渡海を助けるための驛城を築くよう家臣に命じた。各拠点には、秀吉が自ら作戦を指揮できるような城が置かれることになっていた。巖原では対馬を統治していた宗家の本拠地である金石城がそれにあたる。

清水山城は金石城を見下ろすように築かれた。山の尾根に沿った 2 カ所と標高 206 メートルの山頂に 1 カ所、計 3 段の平坦な曲輪があり、上から一の丸、二の丸、三の丸と呼ばれていた。金石城跡から清水山城の三の丸跡に登る道がある。標高約 100m の三の丸からは、現代の巖原市街地や港を見渡すことができる。三の丸跡からほか 2 つの曲輪まで、尾根に沿った全長約 500 メートルに及ぶ石垣で補強されたハイキングコースがある。一の丸と三の丸は保存状態が比較的良好、入口や石垣の跡が山の上にはっきりと残っている。

【タイトル】 金石城跡と庭園

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

金石城遗址和庭园

从 1528 年竣工到 17 世纪晚期，金石城一直是对马大名（大领主）“宗”家族的居城。最初，它就是一处比较简朴的领主宅邸，但在 17 世纪 60 年代变成了一座拥有城墙和瞭望塔的城郭。当时，严原城下町（围绕城郭发展起来市镇）刚遭受了一场毁灭性火灾，正计划使用在对马与朝鲜之间的贸易中获得的丰厚利润来重建，金石城恰逢其时，也一同得到了扩建。

然而在扩建之后，金石城仍无法满足宗家族的需求，1678 年他们将住所迁至城北更大且更宏伟的栈原城。搬迁可能与宗家族需要定期接待朝鲜通信使代表团这一外交职责有关。代表团经由对马被派往江户（今东京）幕府，有时甚至超过 450 人。宗家族主要负责安排通信使在对马的住宿，并陪同他们前往江户。

宗家族保留了金石城作为别邸，并在 17 世纪 90 年代增建了一座小庭园，中央有一口心形池塘。1811 年，金石城最后一次进行官方接待，那也是朝鲜王朝最后一次出使日本。当时双方在节省经费上达成共识，决定在对马会面，金石城故被用作幕府将军代表的下榻之处。

金石城遗址现已被指定为国家史迹。在遗址上建造的对马博物馆，迄今仍留存了部分城墙、重建的大手櫓门（设有望楼的城门）。庭园一度被掩埋，但在 20 世纪 90 年代得到了修复，并被指定为国家名胜，向公众开放。

<繁体字>

金石城遗址和庭园

從 1528 年竣工到 17 世紀晚期，金石城一直是對馬大名（大領主）「宗」家的居城。最初，它只是一處比較簡樸的領主宅邸，但在 1660 年代變成了一座擁有城牆和瞭望塔的城郭。當時，嚴原城下町（圍繞城郭發展起來市鎮）剛遭受了一場毀滅性火災，正待重建，金石城也恰好一同擴建，資金則來自對馬與朝鮮之間繁榮的貿易所賺取的豐厚利潤。

然而在擴建之後，金石城仍無法滿足宗家的需求，1678 年他們將住所遷至城北更大且更宏偉的棧原城。之所以選擇搬遷，可能是因為宗家需要定期接待朝鮮通信使代表團。這些代表團經由對馬被派往江戶（今東京）幕府，有時甚至超過了 450 人。宗家主要負責安排通信使在對馬的住宿，並陪同他們前往江戶。

宗家保留了金石城作為別邸，並在 1690 年代增建了一座小庭園，中央有一口心形池塘。1811 年，金石城最後一次進行官方接待，那也是朝鮮王朝最後一次出使日本。當時雙方在節省經費上達成共識，決定只在對馬會面，金石城遂被用作幕府將軍代表的下榻之處。

金石城遺址現已被指定為國家史跡。在遺址上建造的對馬博物館內留存了部分城牆、重建的大手櫓門（設有望樓的城門）。庭園一度被掩埋，但在 1990 年代得到了修復，並被指定為國家名勝，向大眾開放。

<日本語仮訳>

金石城跡と庭園

金石城は 1528 年の築城から 17 世紀後半まで、対馬の大名である宗家の本城であった。当初は比較的シンプルな館であったが、1660 年代には城壁や物見櫓を備えた城郭となった。対馬と朝鮮半島との交易で栄えた利益を財源に、城下町（城郭を中心に形成された都市）である厳原が火災に遭い、再建されたのと時を同じくして拡張されたのである。

しかし、金石城は拡張されても宗家にとって不十分だったようで、1678 年に北方のより大規模な棧原城に居を移した。この移転は、朝鮮からの通信使を迎えるという外交上の任務と関係があったのだろう。使節団は対馬を経由して江戸幕府に派遣され、その人数は 450 人を超えることもあった。宗家は対馬で使節団の宿泊と江戸までの随行などを担当した。

宗家は金石城を別邸として残し、1690 年代に漢字の「心」の形をした、心字池を中心とした小さな庭園を造営した。城が最後に公式に使用されたのは 1811 年、朝鮮王朝最後の使節団が来日した際、将軍の使者の宿所として使用された時である。その時の朝鮮通信使は双方が決めた経費節減策として、対馬より先足を伸ばさなかった。

現在、金石城は国の史跡に指定されており、対馬博物館となっている敷地には、城壁が一部残っており、大手口の櫓門が復元されている。庭園は埋め立てられていたが、1990 年代に復元され、国の名勝に指定され、一般公開されている。

【タイトル】 朝鮮通信使

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>**朝鮮通信使**

自古以来，朝鲜半岛和日本在政治和商业方面的关系紧密。到了朝鲜王朝(1392-1897)时期，双方关系正式确立。为了进一步发展友好关系和贸易往来，朝鲜国王定期向日本武士政权派遣官方使节团，与统治对马岛的“宗”家族的交往最为频繁。然而16世纪90年代，日本武将丰臣秀吉(1537-1598)入侵朝鲜，宗家族也被迫参与其中，日朝之间的联系因此断绝。

对马的经济一直高度依赖对外贸易，中断与朝鲜半岛的关系对这座小岛而言可谓是灭顶之灾。当丰臣秀吉的侵略失败后，宗家族便立即开始努力恢复与朝鲜的关系。丰臣秀吉死后，德川幕府于1603年建立，为调和朝鲜王朝与新幕府之间的意见分歧，宗家族甚至不惜伪造了政府公文和印章。

宗家族的努力最终得到了回报，1607年，朝鲜恢复了定期赴日通信使代表团。在之后的200多年时间里，朝鲜共向德川幕府派遣了12支使节团。使节团通常于幕府将军继任时来访，朝鲜也成为唯一与德川幕府保持定期外交关系的国家。这些使节团都取道对马，由宗家族负责实际事务。为了节省开支，1811年最后一支使节团没有前往江户（今东京），而是在对马岛行使了所有公务。

宗家族画师笔下的两幅画卷描绘了近500人参与的使节团的盛况。其中较早的一幅被认为是17世纪的作品，描绘的是朝鲜通信使代表团在对马藩的政要和警卫的陪同下，前往江户途中的情形。另一幅卷轴描绘的是1811年使节团在严原城下町（围绕城郭发展起来市镇）主街上行进的场景。两幅作品都被指定为国家重要文化财产，其复制品和电子版在对马博物馆和附近的对马朝鲜通信使历史馆展出。每年8月的“港祭”期间，人们都会严原重现朝鲜通信使代表团出使德川幕府的历史胜景。

<繁体字>**朝鮮通信使**

自古以來，朝鮮半島和日本在政治和商業上的關係緊密。到了朝鮮王朝（1392-1897）時期，雙方關係正式確立。為了進一步發展友好關係和貿易往來，朝鮮國王定期向日本武士政權派遣官方使節團，與統治對馬島的「宗」家的交往最為頻繁。然而1590年代，日本武將豐臣秀吉（1537-1598）入侵朝鮮，宗家也被迫參與其中，日朝之間的聯繫因此斷絕。

對馬の經濟一直高度依賴對外貿易，中斷與朝鮮半島的關係對這座小島而言可謂滅頂之災。當豐臣秀吉的侵略失敗後，宗家便立即開始努力恢復與朝鮮的關係。豐臣秀吉死後，德川幕府於 1603 年成立，為了調和朝鮮王朝與新幕府之間的意見分歧，宗家甚至不惜偽造政府公文和印章。

宗家的努力最終得到了回報，1607 年，朝鮮恢復了定期赴日通信使代表團。在接下來的 200 多年時間裡，朝鮮共向德川幕府派遣了 12 隻使節團。使節團通常於幕府將軍繼任時來訪，朝鮮也成為唯一與德川幕府保持定期外交關係的國家。這些使節團都取道對馬，由宗家負責實際事務。為了節省開支，1811 年最後一隻使節團沒有前往江戶（今東京），而是在對馬島行使了所有公務。

宗家畫師筆下的兩幅畫卷描繪了近 500 人參與的使節團的盛況。其中較早的一幅描繪的是朝鮮通信使代表團在對馬藩的政要和警衛的陪同下，前往江戶途中的情形，這應該是 17 世紀的作品。另一幅卷軸描繪的是 1811 年使節團在嚴原城下町（圍繞城郭發展起來市鎮）主街上行進的場景。兩幅作品都被指定為國家重要文化財產，其複製品和電子版在對馬博物館和附近的對馬朝鮮通信使歷史館展出。每年 8 月的「港祭」期間，人們都會在嚴原重現朝鮮通信使代表團出使德川幕府的歷史勝景。

<日本語仮訳>

朝鮮通信使

朝鮮半島と日本との間には古くから政治的、商業的に強い結びつきがあったが、朝鮮王朝時代（1392-1897）になると、これらの関係はより正式なものになった。朝鮮国王は友好と通商を深めるため、日本の武士政権に定期的に使節を送り、対馬を統治していた宗家と特に頻りに交流した。しかし、1590 年代に豊臣秀吉（1537-1598）の朝鮮出兵が勃発し、宗家もこれに参加せざるを得なくなったため、この関係は断ち切られた。

対馬の経済はもともと海外貿易に大きく依存しており、朝鮮半島との交流が途絶えたことは、島に壊滅的な打撃を与えた。秀吉の侵略が失敗に終わった直後、宗家は朝鮮との関係回復に努めた。秀吉の死後、1603 年に徳川幕府が設立され、宗家は朝鮮王朝と新幕府の意見の相違を調整するために、公文書や印鑑を偽造することもあった。

このような努力の結果、朝鮮は 1607 年に定期的な使節団を復活させた。200 年余りの間、朝鮮は徳川に 12 回の使節を派遣したが、これは主に將軍継承の際に行われた。朝鮮は、徳川幕府が常時の外交関係を維持していた唯一の国であった。これらの使節団はすべて対馬を経由し、宗家が実務を担当した。1811 年の最後の使節団は、経費節減のため、江戸（現在の東京）まで行かずに対馬ですべての公務をこなした。

500 人近くが参加した使節団の豪華さは、宗家の絵師が制作した 2 巻の絵巻物で表現されている。1 つは 17 世紀のもので、朝鮮通信使が対馬藩の高官や護衛を従えて江戸に向かう様子が描かれている。もう一幅は、1811 年の使節団が宗家の城下町（城郭を中心に形成された都市）厳原の幹線道路を練り歩く様子を描いたものである。これらの絵巻は国の重要文化財に指定されており、

対馬博物館と近くの対馬朝鮮通信使歴史館で複製品とデジタル版を展示している。毎年 8 月に厳原で行われる「港まつり」では、徳川幕府に派遣する朝鮮通信使を再現したイベントが開催される。

【タイトル】 対馬博物館

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

对马博物馆

对马博物馆位于严原，馆内展示了从绳文时代（公元前 10,000 年-前 300 年）到当代的对马岛历史。博物馆特别聚焦于对马与亚洲大陆之间交流互动的过程和结果，主题包括古代贸易、冲突与和解，以及江户时代(1603-1867)日本与朝鲜王朝之间的外交。

按时间顺序陈列的常展从一张 17 世纪晚期对马岛地图的简介开始，随后进入“古代”展厅，这里的展柜别具一格，可以从各个角度观察陶器碎片、箭镞、斧刃和装饰玻璃珠等文物。有些复制品可以触摸，比如据说是在公元 1 世纪和 2 世纪祭祀活动中使用的青铜矛头。

“中世”和“近世”展厅着重介绍 14 世纪至 1867 年的文物和事件。展品包括对马商人获得的韩国陶瓷器、对马岛商业关系的文件、对马大名（大领主）“宗”家族伪造的官方印章和公文等。这些伪造品制作于 17 世纪早期，目的是重建德川幕府与朝鲜之间的贸易和外交关系。

博物馆二楼是长崎县对马历史研究中心。宗家族因其细致入微的文档记录而被誉为“记录之魔”，该中心主要对宗家族的官方文件进行保存、修复和研究工作。8 万件藏品几乎涵盖了整个江户时代，其中有一本《每日记》，由宗家族记事员以日记形式记录了对马岛上发生的事件，为历史学家研究岛上数百年的生活打开了一扇窗口。

<繁体字>

對馬博物館

對馬博物館位於嚴原，館內展示了從繩文時代（西元前 10,000 年-前 300 年）到當代的對馬島歷史。博物館特別聚焦於對馬與亞洲大陸之間的交流互動，包括了古代貿易、衝突與和解，以及江戶時代（1603-1867）日本與朝鮮王朝之間的外交等主題。

常設展按時間順序陳列，從一張 17 世紀晚期對馬島地圖的簡介開始。隨後進入「古代」展廳，這裡的展櫃十分獨特，可以從各個角度觀察陶器碎片、箭鏃、斧刃和裝飾玻璃珠等文物。有些複製品可以觸摸，例如據說是在西元 1 世紀和 2 世紀祭祀活動中使用的青銅矛頭。

「中世」和「近世」展廳著重介紹 14 世紀至 1867 年的文物和事件。展品包括對馬商人獲得的韓國陶瓷器、對馬島商業關係的文書、對馬大名（大領主）「宗」家偽造的官方印章和公文等。這些製作於 17 世紀早期的偽造品，其目的是為了重建德川幕府與朝鮮之間的貿易和外交關係。

博物館二樓是長崎縣對馬歷史研究中心。宗家因細緻入微的文檔記錄而被譽為「記錄之魔」，該中心主要對宗家的官方檔進行保存、修復和研究。8 萬件藏品幾乎涵蓋了整個江戶時代，其中有一本《每日記》，由宗家記事員以日記的形式記錄了對馬島上發生的事件，為歷史學家研究島上數百年生活打開了一扇視窗。

<日本語仮訳>

対馬博物館

厳原にある対馬博物館は、縄文時代（紀元前 1 万年前-紀元前 300 年前）から現代に至るまでの対馬の歴史を概観することができる博物館である。特に対馬とアジア大陸との交流の過程と結果に焦点を当て、古代の交易、紛争と和解、江戸時代（1603-1867）の日本と朝鮮王朝との外交などをテーマにしている。

年代順の常設展示は、17 世紀末の対馬の地図を中心とした簡潔な導入部分から始まる。続いて、「古代」の展示室がある。特徴的な展示ケースのおかげで、土器片、鏃、斧、装飾用ガラス玉などの遺物を四方から観察することができる。また、1～2 世紀の祭祀に用いられたとされる青銅製の「鉾」など、実際に手に触れることができる複製品もある。

「中世」と「近世」の展示室では、14 世紀から 1867 年までの遺物や出来事が紹介されている。対馬の貿易商が入手した朝鮮陶磁器、対馬の商業関係を記した文書、対馬の大名であった宗家が偽造した公印や書簡などが展示されている。偽造品は 1600 年代初頭、徳川幕府と朝鮮王朝の通商・外交関係を復活させるために作られたものである。

博物館棟の 2 階には、長崎県対馬歴史研究センターがある。同センターは、「記録魔」として知られた宗家の公文書の保存、修復、調査研究を行っている。江戸時代全般にわたる約 8 万点の資料の中には、宗家の書役たちが対馬の出来事を日記風に記録した『毎日記』も含まれており、対馬の数世紀にわたる生活を知る手がかりとなっている。

【タイトル】 お船江跡

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>**船江遗址**

17 世纪的对马岛经济十分繁荣，当时，统治对马岛的“宗”家族垄断着日本与朝鲜之间的贸易。宗家族在长崎采购香料和苏木等热带产品出口到朝鲜，同时在朝鲜购买生丝、棉花和人参，发往京都和大阪销售。

从双边贸易中赚取利润后，宗家族建造了许多设施，其中一处便是位于严原城下町（围绕城郭发展起来市镇）南部久田川河口的船坞，名为“船江”。船江于 1663 年建成，在一个人工海湾内坐拥 5 座船坞，用于修理和维护在对马和朝鲜釜山和馆（供对马藩武士驻扎、对马商人工匠逗留的外交据点）之间运货的商船。船坞内还停泊着宗家族官员前往江户（今东京）和大阪的船只。船只在涨潮时可以进出船坞，而维修工作主要在退潮时进行。

如今，5 座船坞中 4 座的石堤仍存留在船江遗址中。

<繁体字>**船江遗址**

17 世紀對馬島經濟十分繁榮，當時，統治對馬島的「宗」家壟斷著日本與朝鮮之間的貿易。宗家在長崎採購香料和蘇木等熱帶產品出口到朝鮮，同時在朝鮮購買生絲、棉花和人参，賣往京都和大阪。

從雙邊貿易中賺取利潤後，宗家建造了許多設施，其中一處便是位於嚴原城下町（圍繞城郭發展起來市鎮）南部久田川河口的船塢，名為「船江」。船江於 1663 年建成，在一個人工海灣內坐擁 5 座船塢，用於修理和維護在對馬和朝鮮釜山和館（供對馬藩武士駐紮、對馬商人工匠逗留的外交據點）之間運貨的商船。船塢內還停泊著宗家官員前往江戶（今東京）和大阪的船隻。船隻在漲潮時可以進出船塢，而維修工作主要在退潮時進行。

如今，5 座船塢中 4 座的石堤仍存留在船江遗址中。

<日本語仮訳>**お船江跡**

対馬は、島を統治していた宗家が日朝貿易を独占していた 17 世紀頃、経済的に繁栄していた。長崎で香辛料や蘇木などの熱帯産品を調達して朝鮮に輸出し、朝鮮では主に生糸やコットン、薬用人参などを買い付けて京都や大阪で売りさばいた。

この交流で得た利益をもとに、宗氏は城下町（城郭を中心に形成された都市）・厳原の南にある久田川河口に「お船江」と呼ばれる船渠を建設するなどした。1663 年に完成したお船江は、人工の入江を利用した 5 つの船渠で、対馬と釜山の和館（外交事務のために、対馬藩士が駐在し、対馬の商人・職人が滞在した場所）を結ぶ貿易船の修理や整備に使われた。宗家の関係者が江戸（現在の東京）や大阪に向かう船もここで停泊し、満潮時には船の出入りができ、主に干潮時には修理が行われた。

お船江には 5 つの船渠のうち 4 つの石堤が残されている。

【タイトル】 鰐浦

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>**鰐浦**

位于对马岛最北端的鰐浦与韩国釜山之间的海域宽度不足 50 公里，因此，鰐浦一向是对马和亚洲大陆之间人文与自然交流的前沿阵地。

附近的许多海湾在历史上都曾活跃在朝鲜半岛海岸的商人和海盗的基地，而这些基地同样会受到来自朝鲜半岛的袭击。1592 年，武将丰臣秀吉(1537-1598)率领 10 万大军入侵朝鲜时，鰐浦就是军队渡过海峡前的最后集结地。15 世纪至 19 世纪时，朝鲜国王派往日本幕府的使节团也是从釜山首先抵达此处，然后再沿东海岸向南航行到严原城下町（围绕城郭发展起来市镇）。

对马岛上的一些动植物物种也源自朝鲜半岛，其中最值得一提的是对马山猫和流苏树。对马山猫是大陆豹猫的一个濒危亚种，也是对马岛特有物种。被认定为日本天然纪念物的流苏树，则是一种开羽毛状白色花头的灌木，每年 5 月上旬，鰐浦周围的山上将开满流苏花，日本黄金周期间（4 月末至 5 月初）众多游人都会前来。如此大规模的野生流苏树，全日本独此一处。

<繁体字>**鰐浦**

位於對馬島最北端的鰐浦，一向是對馬和亞洲大陸之間人文與自然交流的前沿陣地，它與韓國釜山之間的海域寬度不足 50 公里。

附近的許多海灣在歷史上都曾活躍在朝鮮半島海岸的商賈和海盗的據點，而這些據點同樣會受到來自朝鮮半島的襲擊。1592 年，武將豐臣秀吉（1537-1598）就是在最後的中繼站鰐浦集結 10 萬大軍，然後渡過海峽入侵朝鮮。15 世紀至 19 世紀，朝鮮國王派往日本幕府的使節團也是從釜山首先抵達鰐浦地區，再沿東海岸向南航行到嚴原城下町（圍繞城郭發展起來市鎮）。

對馬島上的一些動植物物種也源自朝鮮半島，其中最值得一提的是對馬山貓和流蘇樹。對馬山貓是大陸豹貓的一個瀕危亞種，也是對馬島特有物種。被認定為日本天然紀念物的流蘇樹，則是一種開羽毛狀白色花頭的灌木，每年 5 月上旬，鰐浦周圍的山上開滿流蘇花，在日本黃金周期間（4 月末至 5 月初）會吸引大量遊客。如此大規模的野生流蘇樹，全日本獨此一處。

<日本語仮訳>

鰐浦

対馬の北端に位置する鰐浦と韓国の釜山とを隔てているのは、わずか 50km 足らずの海である。そのため、鰐浦は対馬とアジア大陸との人的・自然的交流の最前線にあった。

周辺にいくつも点在する入江は歴史的に、朝鮮半島の海岸を主な活動域とした商人や海賊の拠点となり、時には朝鮮半島からの略奪者の標的ともなった。1592 年、豊臣秀吉（1537-1598）が 10 万の軍勢を率いて海峡を渡って朝鮮を侵略したとき、鰐浦は最後の中継地となった。そして 15 世紀から 19 世紀にかけて朝鮮国王から日本の幕府に送られた使節団は、釜山から鰐浦一帯を経て、島の東海岸を南下して城下町（城郭を中心に形成された都市）である厳原を目指した。

対馬の動植物には朝鮮半島が原産地であるものも多い。特に絶滅の危機に瀕しているツシマヤマネコは大陸ヤマネコの亜種で、対馬の固有種である。また、国の天然記念物であるヒトツバタゴは、羽のような白い花を咲かせる低木で、5 月上旬に鰐浦周辺の山一面に咲き、ゴールデンウィーク（4 月末から 5 月はじめ）には多くの花見客が訪れる。なお、日本国内に、このような大規模な野生が見られるのはここだけ。

【タイトル】 三井楽

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>**三井乐**

三井乐半岛位于五岛列岛最西侧的福江岛西北端，是公元 8 世纪至 9 世纪时许多日本遣唐使团队的最后一处中转站，也是与中国文化交流的中继点。遣唐使们从三井乐出发，直接向西穿越东海，踏上一段乘风破浪的艰险旅程，据说能活着回来的只有半数。冬季，从海上吹来的暴风横扫整个半岛，因此在这个青草萋萋的地方，树木和灌木大多横向生长，这令三井乐更添几分荒凉严酷之感。

半岛气候恶劣，又位于日本列岛的西缘，再加上遣唐使就是在这里告别故土，因此半岛得名“三井乐”，意为世界的尽头。在 10 世纪成书的日本最早的女性日记文学著作《蜻蛉日记》（藤原道纲母著）中有一首诗就流露了作者的内心世界，她祈求能有一天在介于凡间和来世的“三井乐”见到亡母。

<繁体字>**三井樂**

三井樂半島位於五島列島最西側的福江島西北端，是西元 8 世紀至 9 世紀許多日本遣唐使團隊的最後一處中轉站，也是與中國文化交流的中繼地點。遣唐使們從三井樂出發，直接向西穿越東海，踏上一段乘風破浪的艱險旅程，據說能活著回來的只有半數。冬季，從海上吹來的暴風橫掃整個半島，因此在這個青草萋萋的地方，樹木和灌木大多橫向生長，令三井樂更添數份荒涼嚴峻之感。

半島氣候惡劣，又位於日本列島的西緣，再加上遣唐使就是在這裡告別故土，因此半島得名「三井樂」，意為世界的盡頭。在 10 世紀成書的日本最早的女性日記文學著作《蜻蛉日記》（藤原道綱母著）中，有一首詩就流露了作者祈求能有一天在介於凡間和來世的「三井樂」見到亡母的內心世界。

<日本語仮訳>**三井楽**

五島列島の最西端に位置する福江島の北西部に位置する三井楽半島は、8 世紀から 9 世紀にかけて多くの日本遣唐使の最終経由地であり、中国文化との交流の中継地点でもあった。三井楽か

ら東シナ海を真西に渡るという危険な旅に出たが、生きて帰ってこられたのは半数程度だったという。冬になると海から吹き付ける強風のため、草深い半島の木々や草木のほとんどは水平方向に伸びており、三井楽を荒涼とした過酷な場所に感じされる。

この半島の厳しい気候と、日本列島の西端に位置するために遣唐使が故郷に別れを告げる場所であったことから、世界の最果てを意味するこの地名が生まれた。10 世紀の藤原道綱母作、日本最古の女流日記『蜻蛉日記』で詠まれた歌には、死後の世界と現世の狭間である「みみらく」で、いつか亡き母に会えるようにと祈る作者の姿がある。

【タイトル】 明星院

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>**明星院**

明星院位于今福江岛的福江郊外，根据本地传说，这里最初是 8 世纪至 9 世纪经由五岛列岛前往中国的日本遣唐使的驿馆。寺庙中的药师如来铜像据说也来自同一时期，可能是某位遣唐使将其作为护身符带到了岛上，以保佑自己在九死一生的海上旅程中平安。日本遣唐使中最有名的便是佛教高僧空海^{*}（774-835，谥号弘法大师），据说他于 806 年回国时，在这里祈求自己所获得的知识能造福于日本和日本人民。第二天清晨，天空中出现了一颗明亮的星星，预示他的愿望终将实现。于是，空海将祈祷之地命名为“明星庵”，即后来的“明星院”。

从 14 世纪起，统治这里的五岛家族就在明星院祈祷并资助寺院。18 世纪，五岛家族出资重新粉刷了本堂（正殿）内部，并委托著名的狩野派画家在方格天花板上绘制了 121 幅花鸟画。天花板四个角上描绘的是天女，她们引领死者前往西方极乐世界。在本堂“外阵”的中央处，即五岛大名（大领主）入座祈祷的地方，其正上方画着神鸟凤凰，在东亚神话中它预示着国王的诞生，也被认为是权力的象征。明星院的本堂也是五岛列岛现存最古老的木构建筑之一。

※空海：空海出生于赞岐（今香川县）。31 岁时，他作为遣唐使前往长安，在青龙寺跟随真言密宗第七代祖师惠果学习。两年后，他回到日本，开创真言宗，并开辟了日本佛教圣地高野山。今天，中国西安的青龙寺里依然矗立着中日共建的空海纪念碑，周围种植了大片的樱花林。

<繁体字>**明星院**

明星院位於今福江島的福江郊外，根據本地傳說，這裡最初是 8 世紀至 9 世紀經由五島列島前往中國的日本遣唐使的驛館。寺廟中的藥師如來銅像據說也來自同一時期，可能是某位遣唐使將其作為護身符帶到了島上，以保佑自己在九死一生的海上旅程中平安。日本遣唐使中最有名的便是佛教高僧空海^{*}（774-835，諡號弘法大師），據說他於 806 年回國時，在這裡祈求所獲得的知識能造福於日本和日本國民。第二天清晨，天空中出現了一

顆明亮的星星，預示著他的願望終將實現。於是，空海將祈禱之地命名為「明星庵」，即後來的「明星院」。

從 14 世紀起，統治這裡的五島家就在明星院祈禱並資助寺院。18 世紀，五島家出資重新粉刷了本堂（正殿）內部，並委託著名的狩野派畫家在方格天花板上繪製了 121 幅花鳥畫。天花板四個角上描繪的是天女，祂們引領死者前往西方極樂世界。在本堂「外陣」的正中央處，即五島藩大名（大領主）入座祈禱的地方，其正上方畫著神鳥鳳凰，在東亞神話中預示著國王的誕生，也被認為是權力的象徵。明星院的本堂也是五島列島現存最古老的木構建築之一。

※空海：空海出生於贊岐（今香川縣）。31 歲時，他作為遣唐使前往長安，在青龍寺跟隨真言密宗第七代祖師惠果學習。兩年後，他回到日本，開創真言宗，並開闢了日本佛教聖地高野山。今天，中國西安的青龍寺裡依然矗立著中日共建的空海紀念碑，周圍種植了大片的櫻花林。

<日本語仮訳>

明星院

現在の福江島・福江の郊外にある明星院は、もともと 8 世紀から 9 世紀にかけて五島を経由して中国に渡った日本遣唐使の迎賓館だったという言い伝えが地元に残っている。この寺にある銅製の薬師如来像は、使節の一人が海を渡る危険な旅を守る御守として島に持ち込んだと考えられ、この時代のものであると思われる。日本遣唐使で最も有名な一人、仏教の僧・空海^{*}（774-835、死後は弘法大師として知られる）が 806 年に中国から帰国した際、この寺に名前をつけたとされている。伝説では、空海は自分が得た知識が日本とその人々のためになるようにと祈ったという。翌朝、その願いが叶った証として明るい星が空に現れ、空海は祈りの場を「明星庵」と名付け、これが後の「明星院」となった。

島を治めていた五島氏は 14 世紀以降、この明星院で祈願を行い、寄付を行った。18 世紀には五島家の資金で本堂の内装が塗り替えられ、狩野派の絵師に依頼された天井画は、121 枚の草花と鳥の絵で飾られている。天井の四隅には、死者を極楽浄土に導く天使のような存在である天女が描かれている。また、部屋の外陣の中央付近、大名が座って祈る場所の真上には、東アジアの神話で王の誕生を知らせ、権力の象徴とされる鳥「鳳凰」が描かれている。なお、明星院の本堂は五島最古級の木造建築物です。

※空海は讃岐（現在の香川県）で生まれました。31 歳のときに、遣唐使として長安に渡り、青龍寺で真言密教第七祖・惠果大師に師事しました。2 年後に帰国した彼は、真言宗を開き、高野山で日本仏教の聖地を開創しました。現在、中国西安の青龍寺には、日中両国で建てた空海の記念碑があり、植えられた多くの桜の木に囲まれています。

【タイトル】 大宝寺

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>**大宝寺**

玉之浦地区位于日本列岛西端、五岛列岛西南部，数百年以来，往返于中国和日本的大多数旅行者都在这里中转。五岛列岛最古老的寺庙之一“大宝寺”据说创建于 8 世纪，它是一座真言宗佛寺，在其临海一边迄今存留了许多当年旅行者的遗踪。

传说在 806 年，佛教高僧空海^{*}（774-835，谥号弘法大师）从中国学习密宗归来后造访了大宝寺。又说他在大宝寺宣讲了在中国所学的教义，而这些教义正是后来他开创真言宗的根本。真言宗总部位于日本中部的高野山，因与空海的不解之缘，大宝寺便自称为“西高野山”。

在寺庙本堂（正殿）的后山上，矗立着一座建于 1369 年的五层宝塔，石料取自今福井县若狭湾沿岸。五岛的商人经常到若狭湾和日本海沿岸的其他港口销售从中国购得的商品，这些石头应该就是从他们带到五岛的。本地的信徒将此塔视为儿童的守护神，有将新生儿的脐带放在塔内供奉神灵的习俗。

大宝寺的青铜梵钟铸造于 1375 年，也是由一位从现日本中部兵库县前往中国的行脚僧带来的。他将大钟捐给了寺庙，希望这一善举能让神明保佑他平安渡海。现在，梵钟被保存在寺庙钟楼旁的建筑中，以防风雨侵蚀。

※空海：空海出生于赞岐（今香川县）。31 岁时，他作为遣唐使前往长安，在青龙寺跟随真言密宗第七代祖师惠果学习。两年后，他回到日本，开创真言宗，并开辟了日本佛教圣地高野山。今天，中国西安的青龙寺里依然矗立着中日共建的空海纪念碑，周围种植了大片的樱花林。

<繁体字>**大寶寺**

玉之浦地區位於日本列島西端、五島列島西南部，數百年以來，往返於中國和日本的大多數旅行者都在這裡中轉。五島列島最古老的寺廟之一大寶寺據說建於 8 世紀，它是一座真言宗佛寺，在其臨海一邊依舊留存了許多當年旅行者的遺蹤。

傳說在 806 年，佛教高僧空海^{*}（774-835，諡號弘法大師）從中國學習密宗歸來後造訪了大寶寺。又說他在大寶寺宣講了在中國所學的教義，而這些教義正是後來他開創真言

宗の根本。真言宗總部位於日本中部的高野山，因與空海的不解之緣，大寶寺便自稱為「西高野山」。

在寺廟本堂（正殿）的後山上，矗立著一座建於1369年的五層寶塔，石料取自今福井縣若狹灣沿岸。五島的商人經常到若狹灣和日本海沿岸的其他港口販賣從中國購買的商品，這些石頭應該就是由他們帶到五島的。本地的信徒有將新生兒的臍帶放在塔內供奉神祇的習俗，他們將此塔視為兒童的守護神。

大寶寺的青銅梵鐘鑄造於1375年，也是由一位從現日本中部兵庫縣前往中國的行腳僧帶來的。他將大鐘捐給寺廟，希望此一善舉能讓神明保佑他平安渡海。現在，梵鐘被放置在寺廟鐘樓旁的建築中，以防風雨侵蝕。

※空海：空海出生於贊岐（今香川縣）。31歲時，他作為遣唐使前往長安，在青龍寺跟隨真言密宗第七代祖師惠果學習。兩年後，他回到日本，開創真言宗，並開闢了日本佛教聖地高野山。今天，中國西安的青龍寺裡依然矗立著中日共建的空海紀念碑，周圍種植了大片的櫻花林。

<日本語仮訳>

大宝寺

日本列島の西端、五島列島の南西部に位置する玉之浦は、古くから中国と日本を往来する旅人の多くが通過してきた場所である。8世紀に創建されたとされる真言宗の寺院、五島最古級の寺である大宝寺の海辺の境内には、当時の旅の名残が数多く残されている。

806年、密教を学ぶために訪れた中国から帰国した僧侶の・空海[※]（774-835、死後は弘法大師として知られる）が大宝寺を訪れたという伝説がある。中国で学び、後に真言宗を開きかけとなった教えを大宝寺で説いたとされる。このため、大宝寺は空海ゆかりの地として、そして真言宗の総本山、日本中部に位置する高野山にちなんで「西の高野山」を名乗っている。

本堂の裏山にある五重塔は、1369年に現在の福井県、若狹湾の沿岸で産出された石材で作られたものである。五島の商人たちは、中国で仕入れた商品を若狹湾など日本海側の港に運び、売っていたため、石材はそうした経緯で五島に持ち込まれたと考えられる。この塔は子供の守り神として信仰され、新生児のへその緒を塔の中に納めてお祈りする習慣がある。

また、1375年に鑄造された大宝寺の銅製の梵鐘も中国へ向かう旅人、つまり現在の日本中部の兵庫縣から来た僧が持ち込んだものである。東シナ海を渡る危険な旅に神様の守護が得られるようにと、この鐘を寄進したのである。現在、鐘樓の横の建物に風雨から守るように納められている。

※空海は讃岐（現在の香川縣）で生まれました。31歳のときに、遣唐使として長安に渡り、青龍寺で真言密教第七祖・惠果大師に師事しました。2年後に帰国した彼は、真言宗を開き、高野山で日本仏教の聖地を開創しました。現在、中国西安の青龍寺には、日中両国で建てた空海の記念碑があり、植えられた多くの桜の木に囲まれています。

【タイトル】 日島の石塔群

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

日岛石塔群

日岛是紧邻若松岛的一座小岛，其南端一处沙嘴上坐落着 70 多座大小形状各异的石塔。这片荒芜之地曾被森林覆盖，是日本中世纪（12-16 世纪）商人和水手埋葬死者的隐蔽墓地，他们为在海上丧生的战友立碑，甚至为自己建造纪念塔，以迎接同样的命运。

这些石塔大多建于 14 世纪晚期至 15 世纪，当时五岛的水手们活跃于朝鲜半岛和中国沿海，从事贸易活动或抢劫过往船只，还经常向京都的贵族和富人兜售异国的奇珍异宝。

运往京都的货物在日本海沿岸的若狭湾或今天的大阪、神户附近卸下。日岛的许多石塔都采用了这些地区的独有石材，它们很可能是作为压舱石随商船运来的。

从形状和结构来看，有些石塔应该是从日本本土采购后直接运到岛上，而非在现场组装而成。五轮塔是其中常见的一种，由 5 个不同形状的部分组成，象征佛教中构成宇宙的五种元素——方形代表地，球形代表水，金字塔形代表火，半球形代表风（气），宝石形代表天空（空）。另一种常见的是宝篋印塔（篋，音同“窃”），塔顶呈阶梯形金字塔状，带一个尖顶装饰。

<繁体字>

日島石塔群

日島緊鄰若松島，其南端一處沙嘴上坐落著 70 多座大小形狀各異的石塔。這片荒蕪之地曾被森林覆蓋，是日本中世紀（12-16 世紀）商賈和水手埋葬死者的隱蔽墓地，他們為在海上喪生的戰友立碑，甚至為自己建造紀念塔，以迎接同樣的命運。

這些石塔大多建於 14 世紀晚期至 15 世紀，當時五島的水手們在朝鮮半島和中國沿海從事貿易活動或襲擊搶劫船隻，還經常向京都的貴族和富人兜售異國的奇珍異寶。

運往京都的貨物在日本海沿岸的若狹灣或今天的大阪、神戶附近卸下。日島的許多石塔都採用這些地方的特有石材，它們很可能是商船上的壓艙石，隨船運到此處。

從形狀和結構來看，有些石塔應該是從日本本土採購後直接運到島上，而非在現場組裝而成。五輪塔是其中常見的一種，由 5 個不同形狀的部分組成，象徵佛教中構成宇宙的五種元素——方形代表地，球形代表水，金字塔形代表火，半球形代表風（氣），寶石形代表天空（空）。另一種常見的是寶篋印塔（篋，音同「竊」），塔頂呈階梯形金字塔狀，帶一個尖頂裝飾。

<日本語仮訳>

日島の石塔群

若松島に隣接する日島の南端、砂嘴に大小 70 余りの石塔が不毛の地に点在している。かつては森に覆われていたこの場所は、中世（12-16 世紀）の商人や船乗りが死者を埋葬し、海で遭難した仲間のために記念碑を建て、さらには自分も同じ運命になることを覚悟して供養塔を残した人里離れた墓地であったという。

塔の多くは 1300 年代後半から 1400 年代にかけて建立された。当時、五島の船員たちは朝鮮半島や中国の沿岸で交易や海賊行為を盛んに行っており、京都の貴族や富裕層に異国情緒あふれる品々を売り込んでいた。

京都で売るために、日本海側の若狭湾や現在の大阪・神戸付近で荷揚げされた。日島の石塔の多くはこの地域にしかない石材で作られており、五島へ戻る貿易船のバラストとして日島に運ばれた可能性が高い。

また、石塔の形状や構造から、現地で組み立てたのではなく、本土で入手したものをそのまま持ち込んだと考えられるものもある。一般的な形の一つである五輪塔は、仏教で宇宙を構成する五大元素を象徴する 5 つの部分からなる塔のことである。四角は地、球体は水、ピラミッドは火、半球は風、宝珠は空というように、それぞれの元素に対応する形をしている。また「宝篋印塔」という、塔の上に階段状のピラミッドを乗せ、その上に尖ったフィニアルを乗せたものもよく見かけるものである。

【タイトル】 山王信仰

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

山王信仰

山王山位于五岛列岛最北端的中通岛，自远古时代起就被尊为圣山。山坡上高耸的悬崖和洞穴则被视为神的领地，信徒们在这里举行仪式，有些人甚至在山上长期修行。

不知从何时起，人们开始将这座山与山王信仰联系在一起。山王信仰从佛教天台宗创始人、高僧最澄(767-822)的教义发展而来。该宗派崇拜京都附近的天台宗总寺院所在地比睿山，将比睿山山神视为天台宗守护神，以及各种佛陀和菩萨的化身。目前尚不清楚山王信仰是如何传入中通岛的，但有人认为可能是由日本中世纪（12-16 世纪）往返于中日之间的商人和僧侣经由五岛传至岛上。

山王山上有几处古代和中世纪的祭祀场所，包括二之宫岩洞。人们在岩洞里发现了 17 面青铜镜，年代从 13 世纪下半叶至 18 世纪不等。据说，这些镜子是可以用来捕获灵魂的神秘祈祷工具，被信徒们留在了宗教圣地。

如今，在通往山顶的山路起点附近有一座遥拜所，信徒们可以在此遥拜山神。从这里沿着陡峭的山路，经过一之宫神社和二之宫岩洞，就能到达海拔 439 米的山顶，这里坐落着三之宫神社和一处观景台，可以俯瞰整个五岛列岛。

<繁体字>

山王信仰

山王山位於五島列島最北端的中通島，山坡上高聳的懸崖和洞穴則被視為神的領地。信徒們在這裡舉行儀式，有些人甚至在山上長期修行。自遠古時代起，這裡就被尊為聖山。

不知從何時起，人們開始將這座山與山王信仰聯繫在一起。山王信仰從佛教天台宗創始人、高僧最澄（767-822）的教義發展而來。該宗派崇拜京都附近的天台宗總寺院所在地比睿山，將比睿山山神視為天台宗守護神，以及各種佛陀和菩薩的化身。有人認為山王信仰是由日本中世紀（12-16 世紀）往返於中日之間的商人和僧侶經由五島傳至島上，但關於這個說法目前尚沒有定論。

山王山上有包括二之宮岩洞在內的幾處古代和中世紀的祭祀場所。在二之宮岩洞，人們發現了 17 面青銅鏡，年代從 13 世紀下半葉至 18 世紀不等。據說，這些鏡子是可以用來捕獲靈魂的神秘祈禱工具，被信徒們留在了宗教聖地。

如今，在通往山頂的山路起點附近有一座遙拜所，信徒們可以在此遙拜山神。從這裡沿著陡峭的山路，經過一之宮神社和二之宮岩洞，就能到達海拔 439 公尺的山頂，這裡坐落著三之宮神社和一處觀景台，可以俯瞰整個五島列島。

<日本語仮訳>

山王信仰

五島列島の最北に位置する中通島にある山王山は、遠い昔から信仰の対象であった。山の斜面にそびえ立つ崖や洞窟は、神の領域と考えられていた。信者はそこで儀式を行い、中には長期にわたって山にこもり、精神修養をするものもいた。

やがて、山王山は天台宗の開祖である最澄（767-822）の教えを受け継ぐ山王信仰と結びついた。山王信仰は天台宗の総本山である京都の比叡山を信仰し、その山の神々を天台の守護神、諸仏・諸菩薩の化身とするものである。山王信仰がどのように中通島に伝わったかは不明だが、中世（12-16 世紀）の商人や僧侶が五島を経由して中国と日本の間を行き来して持ち込んだのではないかとの説もある。

山王山には 13 世紀後半から 18 世紀にかけての銅鏡 17 枚が発見された二ノ宮の岩窟をはじめ、古代・中世の信仰の場がいくつか確認されている。この鏡は、魂をとらえる神秘的な祈りの道具とされ、信者が宗教的な意味のある場所に置いていったことが知られている。

現在、山頂への登山道入り口付近には遥拝所があり、遠くから山の神々に祈りを捧げることができる。そこから一ノ宮神社と二ノ宮岩窟を経て、急な坂道を上がると、標高 439m の山頂に至る。山頂には三之宮神社が鎮座し、展望台もあり、五島列島を一望できる。

【タイトル】 日本遣唐使

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

日本遣唐使

公元 630 年至 838 年，日本朝廷陆续向当时东亚最先进的文明古国——中国唐朝派遣了 19 支官方使节团。除了加深外交和商业关系，这些被称为“遣唐使”的使节团还负责研究中国的政治、经济、文化和宗教。他们将知识带回日本，为推进日本的土地和行政改革、建立人口登记制度打下了基础，同时也为以唐朝都城长安（今西安）为蓝本的都城平城京（今奈良县）和平安京（今京都）的布局规划提供了参照。

日本历史上最著名的两位佛教高僧——最澄(767-822)和空海(774-835)是 804 年遣唐使团成员。他们以在中国的学习和经历为基础，分别创立了天台宗和真言宗，上千年来对日本的哲学、美学、宗教思想和实践都产生了深远的影响。

每支遣唐使团由 4 艘船组成，船上载有数百名外交官、学者、艺术家和商人。使节团最初从海上经由壹岐岛和对马岛，沿着朝鲜半岛海岸到达山东半岛，在那里登陆后前往长安。这条路线在公元 7 世纪 60 年代中断。自公元 702 年开始，遣唐使船改为从五岛列岛出发，直接横跨东海到达长江口，再前往繁荣的商业城市扬州。这条路线更短，但也更为凶险。

五岛是遣唐使在日本停靠的最后一站，他们在此等待顺风来临时启航渡海。在五岛北部的青方、相河地区以及南部的三井乐半岛周边，迄今仍留存了许多与遣唐使有关的遗址。

<繁体字>

日本遣唐使

西元 630 年至 838 年，日本陸續向當時東亞最先進的文明古國——中國唐朝派遣了 19 支官方使節團。除了加深外交和商業關係，這些被稱為「遣唐使」的使節團還負責研究中國的政治、經濟、文化和宗教。他們將知識帶回日本，為推進日本的土地和行政改革、建立人口登記制度打下了基礎，同時也為以唐朝都城長安（今西安）為藍本的都城平城京（今奈良縣）和平安京（今京都）的布局規畫提供了參照。

最澄（767-822）和空海（774-835）是 804 年遣唐使團成員，他們是日本歷史上最著名的兩位佛教高僧。以在中國的學習和經歷為基礎，他們分別創立了天台宗和真言宗，上千年來對日本的哲學、美學、宗教思想和實踐都產生了深遠的影響。

每支遣唐使團由 4 艘船組成，船上載有數百名外交官、學者、藝術家和商賈。使節團最初從海上經由壹岐島和對馬島，沿著朝鮮半島海岸到達山東半島，在那裡登陸後前往長

安。這條路線在西元 660 年代中斷。自西元 702 年開始，遣唐使改走一條更短，但也更為兇險的路線：從五島列島出發，直接橫跨東海到達長江口，再前往繁榮的商業城市揚州。

五島是遣唐使在日本停靠的最後一站，他們在此等待順風駛過大海。在五島北部的青方、相河地區以及南部的三井樂半島周邊，迄今仍留存了許多與遣唐使有關的遺址。

<日本語仮訳>

日本遣唐使

630 年から 838 年にかけて、日本の朝廷は当時東アジアで最も進んだ文明を持つ唐に 19 の使節団を派遣した。遣唐使は外交・通商関係を深めるだけでなく、中国の政治・経済・文化・宗教を学ぶ役割を担っていた。彼らが持ち帰った知識は、土地改革や行政改革、人口統計の作成、さらには唐の首都・長安をモデルにした平城京（現在の奈良）や平安京（のちの京都）の配置などの基礎となった。

804 年に派遣された遣唐使団には、最澄（767-822）と空海（774-835）という日本史上最も重要な仏師の 2 人が含まれている。彼らは中国での学びと経験から、それぞれ天台宗と真言宗を設立し、何世紀にもわたって日本の哲学、美学、宗教思想と実践に大きな影響を与えるようになった。

遣唐使は 4 隻の船で、数百人の外交官、学者、芸術家、貿易商を乗せた使節団で構成されていた。当初は壱岐、対馬を経て朝鮮半島沿岸を山東半島まで海路で移動し、そこで下船して長安への陸路の旅に出た。660 年代になると、この航路は廃止され、702 年から遣唐使船は五島から直接東シナ海を渡り、長江の河口から商都揚州に至る短いがはるかに危険なルートを取るようになった。

五島は使節団の最後の寄港地であり、そこで順風を待って大海原を渡ったのである。五島北部では青方、相河周辺に、南部では三井樂半島周辺に、遣唐使に関連する遺跡が多数存在する。

【タイトル】 上五島の日本遣唐使史跡

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

上五島の日本遣唐使遺址

中通島上有数处遗址与 8 世纪至 9 世纪时的日本遣唐使有关。这些遗址大多位于岛屿西侧的青方和相河地区，据说遣唐使团在这些避风港内停留补充给养，等待顺风到来，然后踏上横跨东海的危险航程。

据传，遣唐使的大船曾停泊在青方湾南侧**三日之浦**和**锦帆濑**附近，水边有一块船形岩石被称为“**御船様**”，可能曾是遣唐使和本地人的崇拜对象。从这里能望见“圣山”山王山的山顶，或许水手们也曾向山王山祈祷，希望能保佑自己躲过惊涛骇浪。

遣唐使的船只还会停泊在青方湾的最内侧，即今青方港附近。港口边有一块据说是遣唐使用过、名为“**舳網石**”的系泊石。由于后世的填埋工程，这块石柱现在离水边还有一段距离，但在涨潮时仍会被海浪冲刷。汇入海湾的河口坐落着**姬神社遗址**，曾经供奉海之女神。据说公元 776 年，一支因天气恶劣而不得不折返的遣唐使团建立了这座神社，以此祈求来年风平浪静。

<繁体字>

上五島的日本遣唐使遺址

中通島上有數處與 8 世紀至 9 世紀的日本遣唐使有關的遺址。這些遺址大多位於島嶼西側的青方和相河地區，據說遣唐使團在這些避風港內停留補給，等待順風到來後，再踏上橫跨東海的危險航程。

據傳，遣唐使的大船曾停泊在青方灣南側**三日之浦**和**錦帆濑**附近，水邊有一塊船形岩石被稱為「**御船様**」，可能是遣唐使和本地人的朝拜對象。從這裡能望見「聖山」山王山的山頂，也許水手們也曾向山王山祈禱，希望能保佑自己躲過驚濤駭浪。

遣唐使的船隻還會停泊在青方灣的最內側，也就是今天的青方港附近。港口邊有一塊據說是遣唐使用過、名為「**舳網石**」的系泊石。由於後世的填埋工程，這塊石柱現在離水邊還有一段距離，但在漲潮時仍會被海浪沖刷。匯入海灣的河口坐落著**姬神社遺址**，曾經供奉海之女神。據說西元 776 年，一支因天氣惡劣而不得不折返的遣唐使團建了這座神社，以此祈求來年風平浪靜。

<日本語仮訳>

上五島の日本遣唐使史跡

中通島には8世紀から9世紀にかけて日本が唐に派遣した使節団、遣唐使に関連する遺跡がいくつかある。そのほとんどは、島の西側にある避難港である青方と相可の地域にあり、使節団が危険な東シナ海横断を前に、補給と順風を待つために立ち寄ったと考えられている場所である。

遣唐使船は青方湾の南側にある**三日ノ浦**と**錦帆瀬**に停泊していたと考えられている。その水辺にある舟形の岩、**御船様**は、遣唐使や地元の人々の信仰の対象であったかもしれない。この地からは霊峰・山王山の山頂が見え、船乗りたちは山王山に航海の安全を祈ったのだろう。

また、青方湾の最奥部、現在の青方港付近にも遣唐使船が係留されていた。港のそばには遣唐使が使ったとされる**ともじり石**（艦綱石）があるが、周辺が後世に埋め立てられたため、現在は水面から少し離れている。しかし、それでも満潮時には今でも波を浴びる。湾に注ぐ川の河口には、海の女神を祀る**姫神社跡**がある。776年、悪天候のため引き返した遣唐使が、翌年に穏やかな風が吹くことを祈願して建てたのが始まりとされる。

【タイトル】 下五島の日本遣唐使史跡

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

下五島の日本遣唐使遗址

福江岛是公元 8 世纪至 9 世纪时许多日本遣唐使前往中国的最后一站。福江岛西北端的**三井乐半岛**是与遣唐使有关的最著名的景点。对许多使者来说，此处海风肆虐的岬角是他们最后一次见到的故土，因为日本与中国间的往返之路凶险万分，能生还的几乎只有半数。

在通往半岛的主干道旁，有一座名为“**道之站 遣唐使故乡馆**”的博物馆，它既是公路休息站，也是销售本地特产的物产馆，还展出与遣唐使相关的历史文献、介绍古代诗歌中如何描绘三井乐的展板。

传说有些遣唐使团曾在三井乐东面的白石浦靠岸。本地有一块据说是遣唐使船只用过的系泊石，本地人向这块“**舳舻石**”祈求海上平安，并为历经沧桑的石柱建造了一座小祠堂。

福江的**大宝寺**和**明星院**都宣称，它们与日本最著名的遣唐使、日本真言宗创始人空海※（774-835，谥号弘法大师）有关。空海于 804 年随团从五岛出发，据说他在 806 年返回时再次途径福江岛。

※空海：空海出生于赞岐（今香川县）。31 岁时，他作为遣唐使前往长安，在青龙寺跟随真言密宗第七代祖师惠果学习。两年后，他回到日本，开创真言宗，并开辟了日本佛教圣地高野山。今天，中国西安的青龙寺里依然矗立着中日共建的空海纪念碑，周围种植了大片的樱花林。

<繁体字>

下五島的日本遣唐使遺址

福江島是西元 8 世紀至 9 世紀許多日本遣唐使前往中國的最後一站。福江島西北端的**三井樂半島**是與遣唐使有關的最著名景點。因為日本與中國間的往返之路兇險萬分，能倖存的幾乎只有半數，對許多使者來說，這處海風肆虐的岬角是他們最後一次見到的故土。

在通往半島的主幹道旁，有一座名為「**道之站 遣唐使故鄉館**」的博物館，它既是公路服務區，也賣本地特產，同時還展出與遣唐使相關的歷史文獻、介紹古代詩歌中如何描繪三井樂的展板。

傳説有些遣唐使團曾在三井樂東面的白石浦靠岸。本地有一塊據說是遣唐使船隻用過的系泊石，本地人向這塊「**鱸綱石**」祈求海上平安，並為歷經滄桑的石柱建造了一座小祠堂。

福江的**大寶寺**和**明星院**都宣稱，它們與日本最著名的遣唐使、日本真言宗創始人空海※（774-835，諡號弘法大師）有關。空海於 804 年隨團從五島出發，據說他在 806 年返回時再次途徑福江島。

※空海：空海出生於贊岐（今香川縣）。31 歲時，他作為遣唐使前往長安，在青龍寺跟隨真言密宗第七代祖師惠果學習。兩年後，他回到日本，開創真言宗，並開闢了日本佛教聖地高野山。今天，中國西安的青龍寺裡依然矗立著中日共建的空海紀念碑，周圍種植了大片的櫻花林。

<日本語仮訳>

下五島の日本遣唐使史跡

福江島は 8 世紀から 9 世紀にかけて唐に渡った多くの遣唐使の最後の中継地であった。島の北西端にある**三井樂半島**は、遣唐使ゆかりの地として最も有名な場所である。日本から出発した遣唐使のうち、中国との往復に成功したのは半数ほどで、多くの遣唐使にとってこの吹きさらしの岬が故郷を見る最後の場所となった。

半島に向かう主要道路沿いにある「**道の駅 遣唐使ふるさと館**」は、高速道路の休憩所と物産館を兼ねた博物館である。ここでは遣唐使に関する史料や、古歌に詠まれた三井樂の様子を紹介するパネルなどが展示されている。

また、三井樂の東にある白石浦にも遣唐使が入港したとされ、遣唐使船が停泊していたとされる石が祀られている。地元の人々はこの**ともづな石**（鱸綱石）に航海の安全を祈り、年季の入った石を守るために小さな祠を建てている。

福江の**大宝寺**と**明星院**は、日本から唐に渡った旅人の中でも最も有名な人物にゆかりがあると主張している。真言宗の開祖・空海※（774-835、死後は弘法大師として知られる）は、804 年に五島を出発した遣唐使の一員で、806 年に帰国した際にもこの島を経由したと考えられている。

※空海は讃岐（現在の香川県）で生まれました。31 歳のときに、遣唐使として長安に渡り、青龍寺で真言密教第七祖・恵果大師に師事しました。2 年後に帰国した彼は、真言宗を開き、高野山で日本仏教の聖地を開創しました。現在、中国西安の青龍寺には、日中両国で建てた空海の記念碑があり、植えられた多くの桜の木に囲まれています。

【タイトル】 国境の島

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>**国境之岛**

纵观历史，九州西海岸的壹岐岛、对马岛和五岛列岛一直是日本与亚洲大陆接触和交流的最前沿。这些边境岛屿上的古墓、寺庙、古代聚落和要塞遗址，以及至今犹存的习俗和礼仪，都在讲述着一段长达 2300 年的贸易、冲突和文化交流的故事。

一般认为，早在公元前，日本列岛就已经开始与壹岐以及对马所在的对马海峡对岸的亚洲大陆开始定期交流了。公元 3 世纪时的中国历史典籍《三国志·魏志倭人传》最早记载了互动史实。《魏志倭人传》中一段关于曹魏使者经朝鲜半岛前往日本邪马台王国的故事里，描述了对马和古老的壹岐国都城“原之辻”（音同“十”）的情景。

在**被指定为国家特别史迹的原之辻遗址**和毗邻的**一支国博物馆**可以了解壹岐的历史，它曾是壹岐人与朝鲜半岛、中国和日本本土商人及旅行者交换商品和信息的商贸中心。**对马博物馆**则详细展示了对马的早期历史。

据推测，来自日本本土的势力吞并了壹岐王国，并在公元 6 世纪至 7 世纪将此岛作为对朝鲜半岛战争的中转站。彼时，岛上还建造了几百座**古坟**，可能是权贵武士的陵墓。许多古坟保存完好，其中一些面向公众开放。

6 世纪中叶，随着日本及其朝鲜盟国百济的野心被中国唐朝和朝鲜新罗王国终结，对马和壹岐成了抵御大陆入侵的要塞和烽火台网络的关键据点。对马的**金田城**被认为是这一网络的第一道防线，壹岐的**岳之辻**应该是用来向九州预警外来敌袭的烽火台。

尽管政治局势紧张，但 7 世纪也是和平交流活跃的时期。自 630 年起，为了学习中国文化和文明，日本开始定期向唐朝派遣**外交和贸易使团“遣唐使”**。这些使团最初经壹岐和对马出海，但从 702 年开始，改用以五岛列岛直接横跨东海这条更短但凶险万分的路线。五岛列岛上有许多**与遣唐使有关的遗址**，其中包括海风肆虐的**三井乐半岛**——许多遣唐使团的船只都从这里出发。

在日本中世纪（12-16 世纪）和冲突不断的战国时代(1467-1568)，对马海峡两岸的交流形式可谓多种多样。边境岛屿的商人和海盗在朝鲜和中国沿海进行贸易和掠夺，其中一些人积累了可观的财富，并获得了一定程度的政治独立。壹岐岛的**生池城**就是由一位特别成功的商人所建，而五岛列岛中的**日岛石塔群**则是为那些名字已湮没在历史长河中的水手建造的纪念碑。

16 世纪 90 年代，武将丰臣秀吉(1537-1598)两次出兵，试图经由壹岐、对马和朝鲜半岛征服中国，壹岐的**胜本城**和对马的**清水山城**是这两次远征的军事据点。但入侵均以失败告终，边境岛屿和朝鲜半岛之间的关系也因此暂时中断。

17 世纪初，在对马藩主“宗”家族的不懈努力下，两国关系得以修复。在整个江户时代(1603-1867)，宗家族负责管理朝鲜王朝与德川幕府之间的外交事务，作为回报，他们获得了垄断日本与朝鲜间贸易的特权。前往德川幕府的**朝鲜通信使**代表团都会途径对马，岛上的宗家族陵墓**万松院**和**船江船坞**等遗址都是对双边贸易繁荣的见证。

壹岐、对马和五岛列岛上的所有遗址、风俗和文物，都折射出这些岛屿与亚洲大陆交流的历史，它们被共同登记为日本遗产“国境之岛 壹岐、对马、五岛～远古以来的桥梁～”。

<繁体字>

國境之島

九州西海岸的壹岐島、對馬島和五島列島一直是日本與亞洲大陸接觸和交流的最前沿。這些邊境島嶼上的古墓、寺廟、古代聚落和要塞遺址，以及至今猶存的習俗和禮儀，都在講述著一段長達 2300 年的貿易、衝突和文化交流的故事。

一般認為，早在西元前，日本列島就已經開始跨過壹岐以及對馬所在的對馬海峽，與對岸的亞洲大陸開始定期交流了。西元 3 世紀時的中國歷史典籍《三國志·魏志倭人傳》最早記載了互動史實。《魏志倭人傳》中一段關於曹魏使者經朝鮮半島前往日本邪馬台王國的故事裡，描述了對馬和古老的壹岐國都城「原之辻」（音同「十」）的情景。

在**被指定為國家特別史跡的原之辻遺址**和毗鄰的**一支國博物館**可以瞭解壹岐的歷史，這座島嶼曾是壹岐人與朝鮮半島、中國和日本本土商人及旅行者交換商品和訊息的商貿中心。**對馬博物館**則詳細展示了對馬的早期歷史。

據推測，來自日本本土的勢力吞併了壹岐國，並在西元 6 世紀至 7 世紀將此島作為對朝鮮半島戰爭的中轉站。彼時，島上還建造了幾百座**古墳**，可能是權貴武士的陵墓。許多古墳保存完好，其中一些面向大眾開放。

6 世紀中葉，隨著日本及其朝鮮盟國百濟的野心被中國唐朝和朝鮮新羅王國終結，對馬和壹岐成了抵禦大陸入侵的要塞和烽火台網路的關鍵基地。對馬的**金田城**被認為是這一網路的第一道防線，壹岐的**岳之辻**應該是用來向九州預警外來威脅的烽火台。

儘管政治局勢緊張，但 7 世紀也是和平交流活躍的時期。自 630 年起，為了學習中國文化和文明，日本開始定期向唐朝派遣**外交和貿易使團「遣唐使」**。這些使團最初經壹岐和對馬出海，但從 702 年開始，改用了從五島列島直接橫跨東海這條更短但兇險萬分的路線。五島列島上有許多**與遣唐使有關的遺址**，其中包括海風肆虐的**三井樂半島**——許多遣唐使團的船隻都從這裡出發。

在日本中世紀（12-16 世紀）和衝突不斷的戰國時代（1467-1568），對馬海峽兩岸的交流形式可謂多種多樣。邊境島嶼的商賈和海盜在朝鮮和中國沿海進行貿易和掠奪，其中一些人積累了可觀的財富，並獲得了一定程度的政治獨立。壹岐島的**生池城**就是由一位特

別成功の商人所建，而五島列島中の**日島石塔群**則是為那些名字已湮沒在歷史長河中的水手建造的紀念碑。

16世紀90年代，武將豐臣秀吉（1537-1598）兩次出兵，試圖經由壹岐、對馬和朝鮮半島征服中國，壹岐的**勝本城**和對馬的**清水山城**是這兩次遠征的軍事據點。但入侵均以失敗告終，邊境島嶼和朝鮮半島之間的關係也因此暫時中斷。

17世紀初，在對馬藩主「宗」家的不懈努力下，兩國關係得以恢復。在整個江戶時代（1603-1867），宗家負責管理朝鮮王朝與德川幕府之間的外交事務，作為回報，他們獲得了壟斷日本與朝鮮間貿易的特權。前往德川幕府的**朝鮮通信使**代表團都會途徑對馬，島上的宗家陵墓**萬松院**和**船江船塢**等遺址都是對雙邊貿易繁榮的見證。

壹岐、對馬和五島列島上的所有遺址、風俗和文物，都折射出這些島嶼與亞洲大陸交流的歷史，它們被共同登記為日本遺產「國境之島 壹岐、對馬、五島～遠古以來的橋樑～」。

<日本語仮訳>

国境の島

九州の西海岸に浮かぶ壹岐、對馬、五島列島は歴史上常に、日本とアジア大陸との出会いと交流の最前線にあった。古墳や寺院、古代集落や城跡、そして現在も行われている風習や儀式など、これらの島々には2300年にわたる交易、文化交流、そして紛争の歴史を息づいている。

壹岐と對馬が位置する對馬海峡を挟んだ日本列島の人々とアジア大陸の人々との定期的な交流は、紀元前に確立していたと考えられている。そのような交流があったことを示す最古の記録は、中国の3世紀の歴史書『三国志』の一部である『魏志倭人伝』に見られる。『魏志倭人伝』には、朝鮮半島を経由して邪馬台国へ向かう魏の使者について、對馬や壹岐国の王都・原の辻の様子が記されている。

壹岐の人々が朝鮮半島、中国、日本本土からの商人や旅人と品物や情報を交換したこの交流の中心地の歴史は、**特別史跡に指定されている原の辻遺跡**と隣接する**一支国博物館**で知ることができる。對馬の初期の歴史は、詳細な展示を誇る**對馬博物館**に展示されている。

壹岐王国は日本本土の勢力に吸収されたと考えられており、6世紀から7世紀にかけて、朝鮮半島での戦いの中継地としてこの島を利用した。その際、有力な武将の墓として数百基の**古墳**が築かれたと考えられている。古墳の多くは現在も残っており、一部は一般に公開されている。

600年代半ばに、日本とその同盟国百済が唐と新羅によって半島への野心を打ち砕かれた後、對馬と壹岐は大陸からの侵略を防ぐために設けられた城と烽火台のネットワークの重要な拠点となった。對馬の**金田城**はこのネットワークの最初の防衛線であり、壹岐の**岳ノ辻**は外国の脅威を九州に知らせるための烽火の場所であったと考えられている。

7世紀は政治的緊張の一方で、平和的な交流も盛んに行われた時代であった。630年以降、日本は唐に**外交・通商使節**を派遣し、中国の文化や文明に学ぼうとした。当初は壹岐・對馬を経由していたが、702年からは五島から直接東シナ海を横断する、短い危険なルートが採用された。五島

列島には、吹きさらしの海に囲まれながら多くの船が出発している**三井楽半島**をはじめ、**遣唐使ゆかりの地**が数多く点在している。

中世（12-16世紀）から紛争が絶えなかった戦国時代（1467-1568）にかけて、対馬海峡を挟んだ交流はさまざまな形で行われた。国境の島々の商人や海賊は、朝鮮半島や中国の沿岸で交易や海賊行為を行い、中には大きな利益を得て一定の政治的な独立を果たす者もいた。壱岐の**生池城**はその一人によって築かれた一方で、五島列島の**日島の石塔群**は歴史に名を残すことのない船乗りたちの記念碑である。

1590年代、武将の豊臣秀吉（1537-1598）は壱岐、対馬、朝鮮半島を経て中国を征服しようと2度試みた。壱岐の**勝本城**と対馬の**清水山城**はその足がかりとして築かれたが、結局は失敗に終わり、朝鮮半島との関係は一時的に断絶した。

1600年代初頭、対馬の領主である宗家の努力によって再び関係が修復された。江戸時代（1603-1867）に宗家は、朝鮮と徳川幕府の外交関係を管理する見返りに、朝鮮との貿易を独占する特権を与えられた。**朝鮮通信使**はすべて対馬を通過し、**万松院の宗家墓所**や**お船江**の船渠など、対馬には朝鮮貿易の繁栄の象徴となる遺跡が残されている。

このように、壱岐・対馬・五島は、アジア大陸との交流の歴史を物語る多くの遺跡や風習、遺物があり、「国境の島 壱岐・対馬・五島～古代からの架け橋～」として日本遺産に登録されている。